鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書 68

一般国道９号（鳥取西道路）の改築に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書XXXⅧ

鳥取県鳥取市鹿野町

OTSU GA SE YA SHIKI MAWARI

乙亥正屋敷廻遺跡

第4分冊（自然科学分析、データ一覧、総括）

２０１９

鳥取県埋蔵文化財センター

目次（第４分冊）

第Ⅴ章　分析の目的と分析試料

第１節　分析の目的と分析試料……（原田）1
第２節　放射性炭素年代測定結果……4
1　平成28年度実施分の結果……4
2　平成29年度実施分の結果……4
3　平成30年度実施分の結果……7
第３節　珪藻分析結果……9
1　平成28年度実施分の結果……9
2　平成30年度実施分の結果……16
第４節　花粉分析結果……24
1　平成28年度実施分の結果……24
2　平成30年度実施分の結果……30
第５節　寄生虫卵分析結果……38
第６節　種実同定結果……38
1　平成28年度実施分の結果……38
2　平成30年度実施分の結果……45
第７節　昆虫同定結果……60
第８節　古環境に関する考察……61
1　平成28年度分析結果に基づく考察……61
2　平成30年度分析結果に基づく考察……64
3　総括……68
第９節　樹種同定結果……70
1　１回目・２回目の同定結果……70
2　１回目・２回目の同定結果に基づく考察……72
3　３回目の同定結果……74
4　３回目の同定結果に基づく考察……76
第10節　顔料分析及び成分分析結果……90
1　平成28年度実施分顔料分析の結果……90
2　平成30年度実施分顔料分析の結果……91
3　平成29年度実施分土器付着物成分分析の結果……95
4　平成30年度実施分土器付着物成分分析の結果……（原田）98
5　平成30年度実施分金属製品成分分析の結果……101

第Ⅵ章　データ一覧

第１節　土坑、柱穴一覧表……（岡野、原田、馬路）118

第２節　遺物観察表……（岡野、原田、馬路）136
第３節　炭化種実一覧表……（岡野、馬路）291
第４節　写真のみ掲載遺物の一覧表……（岡野、原田、馬路）293
第Ⅶ章　総括
第１節　乙亥正屋敷廻遺跡遺跡の変遷……（岡野、馬路）294
第２節　竪穴住居について……（馬路）300
第３節　乙亥正屋敷廻遺跡の木材利用について……（馬路）302
第４節　段状遺構の構造と出土建築部材の検討……（岡野）328
第５節　まとめ……（原田）340

挿図目次（第４分冊）

第Ⅴ章　分析の目的と分析試料
第１節　分析の目的と分析試料
第２節　放射性炭素年代測定結果
第Ⅴ－２－１図　平成28年度実施　放射性炭素年代暦年較正結果……　5
第Ⅴ－２－２図　平成29年度実施　放射性炭素年代暦年較正結果……　6
第Ⅴ－２－３図　平成30年度実施　放射性炭素年代暦年較正結果……　8
第３節　珪藻分析結果
第Ⅴ－３－１図　平成28年度実施　珪藻化石群集の層位分布（定性）……　12
第Ⅴ－３－２図　平成28年度実施　珪藻化石群集の層位分布（定量）……　15
第Ⅴ－３－３図　平成28年度実施　珪藻分析（珪藻化石）……　17
第Ⅴ－３－４図　平成30年度実施　主要珪藻化石群集（定性）……　20
第Ⅴ－３－５図　平成30年度実施　主要珪藻化石群集（定量）……　23
第Ⅴ－３－６図　平成30年度実施　珪藻分析（珪藻化石）……　25
第４節　花粉分析結果
第Ⅴ－４－１図　平成28年度実施　花粉化石群集の層位分布（定性）……　27
第Ⅴ－４－２図　平成28年度実施　花粉化石群集の層位分布（定量）……　29
第Ⅴ－４－３図　平成28年度実施　花粉分析（花粉化石）……　31
第Ⅴ－４－４図　平成30年度実施　主要花粉化石群集（定性）……　34
第Ⅴ－４－５図　平成30年度実施　主要花粉化石群集（定量）……　37
第Ⅴ－４－６図　平成30年度実施　花粉分析・寄生虫卵分析（花粉化石・寄生虫卵）……　39
第５節　寄生虫卵分析結果
第６節　種実同定結果
第Ⅴ－６－１図　平成28年度実施　種実化石群集の層位分布（栽培種・草本）……　42
第Ⅴ－６－２図　平成28年度実施　種実化石群集の層位分布（木本）……　43
第Ⅴ－６－３図　平成28年度実施　種実同定（大型植物遺体１）……　46
第Ⅴ－６－４図　平成28年度実施　種実同定（大型植物遺体２）……　47
第Ⅴ－６－５図　平成30年度実施　大型植物遺体群集（１）・（２）……　53・54
第Ⅴ－６－６図　平成30年度実施　種実同定（大型植物遺体１）……　57
第Ⅴ－６－７図　平成30年度実施　種実同定（大型植物遺体２）……　58

第Ⅴ－６－８図　平成30年度実施　種実同定(大型植物遺体３)…… 59
第７節　昆虫同定結果
第Ⅴ－７－１図　平成28年度実施　昆虫同定…… 60
第８節　古環境に関する考察
第９節　樹種同定結果
第Ⅴ－９－１図　平成30年度実施　樹種同定(１回目・２回目 木材１) …… 77
第Ⅴ－９－２図　平成30年度実施　樹種同定(１回目・２回目 木材２) …… 78
第Ⅴ－９－３図　平成30年度実施　樹種同定(１回目・２回目 炭化材) …… 79
第Ⅴ－９－４図　平成30年度実施　樹種同定(３回目 木材１) …… 80
第Ⅴ－９－５図　平成30年度実施　樹種同定(３回目 木材２) …… 81
第Ⅴ－９－６図　平成30年度実施　樹種同定(３回目 木材３) …… 82
第Ⅴ－９－７図　平成30年度実施　樹種同定(３回目 木材４) …… 83
第10節　顔料分析及び成分分析結果
第Ⅴ－10－１図　平成28年度実施　赤色物質のＸ線回折チャート…… 90
第Ⅴ－10－２図　平成30年度実施　各ポイントの蛍光Ｘ線スペクトル…… 92
第Ⅴ－10－３図　平成30年度実施　顔料分析(元素マッピング分析結果)…… 93
第Ⅴ－10－４図　平成30年度実施　２S-1276 5092 赤色顔料のＸ線回折チャート …… 94
第Ⅴ－10－５図　平成30年度実施　２S-1276 5092 緑土のＸ線回折チャート …… 94
第Ⅴ－10－６図　平成29年度実施　白色付着物のＸ線回折チャート…… 95
第Ⅴ－10－７図　平成29年度実施　成分分析分析試料(土器付着物)…… 96
第Ⅴ－10－８図　平成29年度実施　黒色付着物及び白色付着物のFT-IRスペクトル…… 97
第Ⅴ－10－９図　平成30年度実施　成分分析分析試料(土器付着物)…… 100
第Ⅴ－10－10図　平成30年度実施　SEMによる２-1472-１分析結果 …… 102
第Ⅴ－10－11図　平成30年度実施　SEMによる２-1472-２分析結果 …… 103
第Ⅴ－10－12図　平成30年度実施　SEMによる２-1571-１黒色部分分析結果 …… 104
第Ⅴ－10－13図　平成30年度実施　SEMによる２-1571-１白色部分分析結果 …… 105
第Ⅴ－10－14図　平成30年度実施　SEMによる２-1571-２黒色部分分析結果 …… 106
第Ⅴ－10－15図　平成30年度実施　SEMによる２-1571-２白色部分分析結果 …… 107
第Ⅴ－10－16図　平成30年度実施　FT-IR分析結果(１)…… 108
第Ⅴ－10－17図　平成30年度実施　FT-IR分析結果(２)…… 109
第Ⅴ－10－18図　平成30年度実施　Py-GC/MSによる２-1472-１分析結果 …… 110
第Ⅴ－10－19図　平成30年度実施　Py-GC/MSによる２-1472-２分析結果 …… 111
第Ⅴ－10－20図　平成30年度実施　Py-GC/MSによる２-1571-１分析結果 …… 112
第Ⅴ－10－21図　平成30年度実施　金属製品成分分析(分析対象遺物と元素マッピング図)…… 114
第Ⅶ章　総括
第１節　乙亥正屋敷廻遺跡の変遷
第Ⅶ－１－１図　遺跡変遷図１…… 295
第Ⅶ－１－２図　遺跡変遷図２…… 296
第２節　建築遺構、遺物について
第３節　乙亥正屋敷廻遺跡の木材利用について
第Ⅶ－３－１図　木器変遷図１…… 303
第Ⅶ－３－２図　木器変遷図２…… 304

第Ⅶ－３－３図　木器変遷図３…… 305
第Ⅶ－３－４図　木器変遷図４…… 306
第Ⅶ－３－５図　木器変遷図５…… 307
第Ⅶ－３－６図　木器変遷図６…… 308
第Ⅶ－３－７図　木器変遷図７…… 309
第Ⅶ－３－８図　木器変遷図８…… 310
第Ⅶ－３－９図　木器変遷図９…… 311
第Ⅶ－３－10図　木器変遷図10…… 312
第Ⅶ－３－11図　木器変遷図11…… 313
第Ⅶ－３－12図　木器変遷図12…… 314
第Ⅶ－３－13図　木器変遷図13…… 315
第Ⅶ－３－14図　木器変遷図14…… 316
第Ⅶ－３－15図　復元径グラフ…… 318
第Ⅶ－３－16図　復元径と推定年輪数グラフ…… 319
第Ⅶ－３－17図　柱等の分割パターン…… 321
第４節　段状遺構の構造と出土建築部材の検討
第Ⅶ－４－１図　段状遺構(S-982)の構造 …… 329
第Ⅶ－４－２図　第10面・第11面出土の建築部材１…… 330
第Ⅶ－４－３図　第10面・第11面出土の建築部材２…… 331
第Ⅶ－４－４図　壁板・床板とみられる部材の幅と厚さ…… 333
第Ⅶ－４－５図　第７面～第９面出土の建築部材１…… 334
第Ⅶ－４－６図　第７面～第９面出土の建築部材２…… 335
第Ⅶ－４－７図　出土建築部材から推定される建物構造…… 337
第５節　まとめ
第Ⅶ－５－１図　各トレンチ花粉分析サンプリング位置図…… 341

挿表目次(第４分冊)

第Ⅴ章　自然科学分析
第１節　分析の目的と分析試料
第Ⅴ－１－１表　平成28年度分析試料一覧及び分析内訳…… 2
第Ⅴ－１－２表　平成29年度分析試料一覧及び分析内訳…… 3
第Ⅴ－１－３表　平成30年度分析試料一覧及び分析内訳…… 3
第２節　放射性炭素年代測定結果
第Ⅴ－２－１表　平成28年度実施　放射性炭素年代測定結果…… 5
第Ⅴ－２－２表　平成29年度実施　放射性炭素年代測定および暦年較正結果…… 6
第Ⅴ－２－３表　平成30年度実施　放射性炭素年代測定結果 …… 7
第３節　珪藻分析結果
第Ⅴ－３－１表　平成28年度実施　珪藻分析結果(定性)(１)…… 10
第Ⅴ－３－１表　平成28年度実施　珪藻分析結果(定性)(２)…… 11
第Ⅴ－３－２表　平成28年度実施　珪藻分析結果(定量)(１)…… 13
第Ⅴ－３－２表　平成28年度実施　珪藻分析結果(定量)(２)…… 14

第Ⅴ－３－３表　平成30年度実施　珪藻分析結果(定性)(１)…… 18
第Ⅴ－３－３表　平成30年度実施　珪藻分析結果(定性)(２)…… 19
第Ⅴ－３－４表　平成30年度実施　珪藻分析結果(定量)(１)…… 21
第Ⅴ－３－４表　平成30年度実施　珪藻分析結果(定量)(２)…… 22
第４節　花粉分析結果
第Ⅴ－４－１表　平成28年度実施　花粉分析結果(定性)…… 26
第Ⅴ－４－２表　平成28年度実施　花粉分析結果(定量)…… 28
第Ⅴ－４－３表　平成30年度実施　花粉分析結果(定性)(１)…… 32
第Ⅴ－４－３表　平成30年度実施　花粉分析結果(定性)(２)…… 33
第Ⅴ－４－４表　平成30年度実施　花粉分析結果(定量)(１)…… 35
第Ⅴ－４－４表　平成30年度実施　花粉分析結果(定量)(２)…… 36
第５節　寄生虫卵分析結果
第Ⅴ－５－１表　平成30年度実施　寄生虫卵分析結果…… 38
第６節　種実同定結果
第Ⅴ－６－１表　平成28年度実施　種実分析結果(１)…… 40
第Ⅴ－６－１表　平成28年度実施　種実分析結果(２)…… 41
第Ⅴ－６－２表　平成28年度実施　主な種実遺体の計測値…… 45
第Ⅴ－６－３表　平成30年度実施　種実同定(単体)結果…… 48
第Ⅴ－６－４表　平成30年度実施　種実同定(洗い出し)結果(１)…… 49
第Ⅴ－６－４表　平成30年度実施　種実同定(洗い出し)結果(２)…… 50
第Ⅴ－６－４表　平成30年度実施　種実同定(洗い出し)結果(３)…… 51
第Ⅴ－６－４表　平成30年度実施　種実同定(洗い出し)結果(４)…… 52
第７節　昆虫同定結果
第Ⅴ－７－１表　平成28年度実施　昆虫同定結果…… 60
第８節　古環境に関する考察
第９節　樹種同定結果
第Ⅴ－９－１表　平成30年度実施　樹種同定結果(１回目)…… 70
第Ⅴ－９－２表　平成30年度実施　樹種同定結果(２回目)…… 71
第Ⅴ－９－３表　平成30年度実施　樹種同定結果(３回目)…… 75
第Ⅴ－９－４表　用途別樹種構成…… 76
第Ⅴ－９－５表　保存処理実施木器樹種同定結果(１)…… 84
第Ⅴ－９－６表　保存処理実施木器樹種同定結果(２)…… 85
第Ⅴ－９－７表　保存処理実施木器樹種同定結果(３)…… 86
第Ⅴ－９－８表　保存処理実施木器樹種同定結果(４)…… 87
第Ⅴ－９－９表　保存処理実施木器樹種同定結果(５)…… 88
第Ⅴ－９－10表　保存処理実施木器樹種同定結果(６)…… 89
第10節　顔料分析及び成分分析結果
第Ⅴ－10－１表　平成28年度実施X線回折測定条件 …… 90
第Ⅴ－10－２表　平成30年度実施　土器付着物分析試料一覧…… 99
第Ⅴ－10－３表　平成30年度実施　金属製品分析試料一覧…… 101
第Ⅴ－10－４表　平成30年度実施　金属製品面分析結果(mass%)　…… 113
第Ⅴ－10－５表　平成30年度実施　整理番号６　八禽鏡のポイント分析(mass%) …… 113

第Ⅵ章　データ一覧

第１節　土坑、柱穴一覧表

第Ⅵ－１－１表　土坑、柱穴一覧表１…… 118
第Ⅵ－１－１表　土坑、柱穴一覧表２…… 119
第Ⅵ－１－１表　土坑、柱穴一覧表３…… 120
第Ⅵ－１－１表　土坑、柱穴一覧表４…… 121
第Ⅵ－１－１表　土坑、柱穴一覧表５…… 122
第Ⅵ－１－１表　土坑、柱穴一覧表６…… 123
第Ⅵ－１－１表　土坑、柱穴一覧表７…… 124
第Ⅵ－１－１表　土坑、柱穴一覧表８…… 125
第Ⅵ－１－１表　土坑、柱穴一覧表９…… 126
第Ⅵ－１－１表　土坑、柱穴一覧表10…… 127
第Ⅵ－１－１表　土坑、柱穴一覧表11…… 128
第Ⅵ－１－１表　土坑、柱穴一覧表12…… 129
第Ⅵ－１－１表　土坑、柱穴一覧表13…… 130
第Ⅵ－１－１表　土坑、柱穴一覧表14…… 131
第Ⅵ－１－１表　土坑、柱穴一覧表15…… 132
第Ⅵ－１－１表　土坑、柱穴一覧表16…… 133
第Ⅵ－１－１表　土坑、柱穴一覧表17…… 134
第Ⅵ－１－１表　土坑、柱穴一覧表18…… 135

第２節　遺物観察表

第Ⅵ－２－１表　土器観察表１…… 136
第Ⅵ－２－１表　土器観察表２…… 137
第Ⅵ－２－１表　土器観察表３…… 138
第Ⅵ－２－１表　土器観察表４…… 139
第Ⅵ－２－１表　土器観察表５…… 140
第Ⅵ－２－１表　土器観察表６…… 141
第Ⅵ－２－１表　土器観察表７…… 142
第Ⅵ－２－１表　土器観察表８…… 143
第Ⅵ－２－１表　土器観察表９…… 144
第Ⅵ－２－１表　土器観察表10…… 145
第Ⅵ－２－１表　土器観察表11…… 146
第Ⅵ－２－１表　土器観察表12…… 147
第Ⅵ－２－１表　土器観察表13…… 148
第Ⅵ－２－１表　土器観察表14…… 149
第Ⅵ－２－１表　土器観察表15…… 150
第Ⅵ－２－１表　土器観察表16…… 151
第Ⅵ－２－１表　土器観察表17…… 152
第Ⅵ－２－１表　土器観察表18…… 153
第Ⅵ－２－１表　土器観察表19…… 154
第Ⅵ－２－１表　土器観察表20…… 155
第Ⅵ－２－１表　土器観察表21…… 156
第Ⅵ－２－１表　土器観察表22…… 157
第Ⅵ－２－１表　土器観察表23…… 158
第Ⅵ－２－１表　土器観察表24…… 159
第Ⅵ－２－１表　土器観察表25…… 160
第Ⅵ－２－１表　土器観察表26…… 161
第Ⅵ－２－１表　土器観察表27…… 162
第Ⅵ－２－１表　土器観察表28…… 163
第Ⅵ－２－１表　土器観察表29…… 164
第Ⅵ－２－１表　土器観察表30…… 165
第Ⅵ－２－１表　土器観察表31…… 166
第Ⅵ－２－１表　土器観察表32…… 167
第Ⅵ－２－１表　土器観察表33…… 168
第Ⅵ－２－１表　土器観察表34…… 169
第Ⅵ－２－１表　土器観察表35…… 170
第Ⅵ－２－１表　土器観察表36…… 171
第Ⅵ－２－１表　土器観察表37…… 172
第Ⅵ－２－１表　土器観察表38…… 173
第Ⅵ－２－１表　土器観察表39…… 174
第Ⅵ－２－１表　土器観察表40…… 175
第Ⅵ－２－１表　土器観察表41…… 176
第Ⅵ－２－１表　土器観察表42…… 177
第Ⅵ－２－１表　土器観察表43…… 178
第Ⅵ－２－１表　土器観察表44…… 179
第Ⅵ－２－１表　土器観察表45…… 180
第Ⅵ－２－１表　土器観察表46…… 181
第Ⅵ－２－１表　土器観察表47…… 182
第Ⅵ－２－１表　土器観察表48…… 183
第Ⅵ－２－１表　土器観察表49…… 184
第Ⅵ－２－１表　土器観察表50…… 185
第Ⅵ－２－１表　土器観察表51…… 186
第Ⅵ－２－１表　土器観察表52…… 187
第Ⅵ－２－１表　土器観察表53…… 188
第Ⅵ－２－１表　土器観察表54…… 189
第Ⅵ－２－１表　土器観察表55…… 190
第Ⅵ－２－１表　土器観察表56…… 191
第Ⅵ－２－１表　土器観察表57…… 192
第Ⅵ－２－１表　土器観察表58…… 193
第Ⅵ－２－１表　土器観察表59…… 194
第Ⅵ－２－１表　土器観察表60…… 195
第Ⅵ－２－１表　土器観察表61…… 196
第Ⅵ－２－１表　土器観察表62…… 197
第Ⅵ－２－１表　土器観察表63…… 198
第Ⅵ－２－１表　土器観察表64…… 199
第Ⅵ－２－１表　土器観察表65…… 200
第Ⅵ－２－１表　土器観察表66…… 201
第Ⅵ－２－１表　土器観察表67…… 202

第Ⅵ－２－１表　土器観察表68…… 203
第Ⅵ－２－１表　土器観察表69…… 204
第Ⅵ－２－１表　土器観察表70…… 205
第Ⅵ－２－１表　土器観察表71…… 206
第Ⅵ－２－１表　土器観察表72…… 207
第Ⅵ－２－１表　土器観察表73…… 208
第Ⅵ－２－１表　土器観察表74…… 209
第Ⅵ－２－１表　土器観察表75…… 210
第Ⅵ－２－１表　土器観察表76…… 211
第Ⅵ－２－１表　土器観察表77…… 212
第Ⅵ－２－１表　土器観察表78…… 213
第Ⅵ－２－１表　土器観察表79…… 214
第Ⅵ－２－１表　土器観察表80…… 215
第Ⅵ－２－１表　土器観察表81…… 216
第Ⅵ－２－１表　土器観察表82…… 217
第Ⅵ－２－１表　土器観察表83…… 218
第Ⅵ－２－１表　土器観察表84…… 219
第Ⅵ－２－１表　土器観察表85…… 220
第Ⅵ－２－１表　土器観察表86…… 221
第Ⅵ－２－１表　土器観察表87…… 222
第Ⅵ－２－１表　土器観察表88…… 223
第Ⅵ－２－１表　土器観察表89…… 224
第Ⅵ－２－１表　土器観察表90…… 225
第Ⅵ－２－１表　土器観察表91…… 226
第Ⅵ－２－１表　土器観察表92…… 227
第Ⅵ－２－１表　土器観察表93…… 228
第Ⅵ－２－１表　土器観察表94…… 229
第Ⅵ－２－１表　土器観察表95…… 230
第Ⅵ－２－１表　土器観察表96…… 231
第Ⅵ－２－１表　土器観察表97…… 232
第Ⅵ－２－１表　土器観察表98…… 233
第Ⅵ－２－１表　土器観察表99…… 234
第Ⅵ－２－２表　石器観察表１…… 235
第Ⅵ－２－２表　石器観察表２…… 236
第Ⅵ－２－２表　石器観察表３…… 237
第Ⅵ－２－３表　金属器観察表…… 238
第Ⅵ－２－４表　古銭観察表…… 238
第Ⅵ－２－５表　ガラス玉観察表…… 238
第Ⅵ－２－６表　木器観察表１…… 239
第Ⅵ－２－６表　木器観察表２…… 240
第Ⅵ－２－６表　木器観察表３…… 241
第Ⅵ－２－６表　木器観察表４…… 242
第Ⅵ－２－６表　木器観察表５…… 243
第Ⅵ－２－６表　木器観察表６…… 244
第Ⅵ－２－６表　木器観察表７…… 245
第Ⅵ－２－６表　木器観察表８…… 246
第Ⅵ－２－６表　木器観察表９…… 247
第Ⅵ－２－６表　木器観察表10…… 248
第Ⅵ－２－６表　木器観察表11…… 249
第Ⅵ－２－６表　木器観察表12…… 250
第Ⅵ－２－６表　木器観察表13…… 251
第Ⅵ－２－６表　木器観察表14…… 252
第Ⅵ－２－６表　木器観察表15…… 253
第Ⅵ－２－６表　木器観察表16…… 254
第Ⅵ－２－６表　木器観察表17…… 255
第Ⅵ－２－６表　木器観察表18…… 256
第Ⅵ－２－６表　木器観察表19…… 257
第Ⅵ－２－６表　木器観察表20…… 258
第Ⅵ－２－６表　木器観察表21…… 259
第Ⅵ－２－６表　木器観察表22…… 260
第Ⅵ－２－６表　木器観察表23…… 261
第Ⅵ－２－６表　木器観察表24…… 262
第Ⅵ－２－６表　木器観察表25…… 263
第Ⅵ－２－６表　木器観察表26…… 264
第Ⅵ－２－６表　木器観察表27…… 265
第Ⅵ－２－６表　木器観察表28…… 266
第Ⅵ－２－６表　木器観察表29…… 267
第Ⅵ－２－６表　木器観察表30…… 268
第Ⅵ－２－６表　木器観察表31…… 269
第Ⅵ－２－６表　木器観察表32…… 270
第Ⅵ－２－６表　木器観察表33…… 271
第Ⅵ－２－６表　木器観察表34…… 272
第Ⅵ－２－６表　木器観察表35…… 273
第Ⅵ－２－６表　木器観察表36…… 274
第Ⅵ－２－６表　木器観察表37…… 275
第Ⅵ－２－６表　木器観察表38…… 276
第Ⅵ－２－６表　木器観察表39…… 277
第Ⅵ－２－６表　木器観察表40…… 278
第Ⅵ－２－６表　木器観察表41…… 279
第Ⅵ－２－６表　木器観察表42…… 280
第Ⅵ－２－７表　２・３区土製品観察表１　281
第Ⅵ－２－７表　２・３区土製品観察表２　282
第Ⅵ－２－７表　２・３区土製品観察表３　283
第Ⅵ－２－７表　２・３区土製品観察表４　284
第Ⅵ－２－７表　２・３区土製品観察表５　285
第Ⅵ－２－７表　２・３区土製品観察表６　286
第Ⅵ－２－７表　２・３区土製品観察表７　287
第Ⅵ－２－７表　２・３区土製品観察表８　288

第Ⅵ－２－７表　２・３区土製品観察表９　289
第Ⅵ－２－７表　２・３区土製品観察表10　290
第３節　炭化種実一覧表
第Ⅵ－３－１表　２・３区炭化種実１…… 291
第Ⅵ－３－１表　２・３区炭化種実２…… 292
第４節　遺物観察表(写真のみ掲載の遺物)
第Ⅵ－４－１表　２・３区土器観察表…… 293
第Ⅵ－４－２表　２・３区木器観察表…… 293
第Ⅶ章　総括
第１節　乙亥正屋敷廻遺跡の変遷
第２節　建築遺構・遺物について
第３節　乙亥正屋敷廻遺跡の木材利用について
第Ⅶ－３－１表　杭の復元径、年輪数データ１…… 324
第Ⅶ－３－１表　杭の復元径、年輪数データ２…… 325
第Ⅶ－３－２表　柱の復元径、年輪数データ１…… 325
第Ⅶ－３－２表　柱の復元径、年輪数データ２…… 326
第Ⅶ－３－３表　建築部材・容器等の復元径、年輪数データ１…… 326
第Ⅶ－３－３表　建築部材・容器等の復元径、年輪数データ２…… 327
第Ⅶ－３－３表　建築部材・容器等の復元径、年輪数データ３…… 328
第４節　段状遺構の構造と出土建築部材の検討
第５節　まとめ
第Ⅶ－５－１表　各トレンチ検出花粉数(定量)…… 342

第Ⅴ章　自然科学分析

本章では、乙亥正屋敷廻遺跡で行った自然科学分析の成果について述べることとする。

第１節　分析の目的と分析試料

１　放射性炭素年代測定（第２節）

乙亥正屋敷廻遺跡で確認した包含層及び遺構の堆積・埋没年代を明らかにするために、放射性炭素年代測定を行った。試料は炭化材を主とし、平成28年度実施分９点、平成29年度実施分３点、平成30年度実施分15点の計27点である。平成29年度実施分には土器内面の付着物も測定対象としている。

２　珪藻分析・花粉分析・寄生虫卵分析（第３節・第４節・第５節・第８節）

乙亥正屋敷廻遺跡で確認した谷地形や溝状遺構の往時の環境を検討するために珪藻分析を行った。試料には調査区内の壁面や、設定したトレンチ壁面等から採取したブロック状の土壌を用いた。試料数は平成28年度実施分22点、平成30年度実施分31点の計53点である。なお、同一土壌試料を用いて花粉分析も併せて行い、平成30年度には寄生虫卵分析も14点行っている。

３　種実同定・種（昆虫）同定（第６節・第７節・第８節）

乙亥正屋敷廻遺跡周辺の往時の植生や植物利用の在り方、土地利用の在り方を検討するため、遺構埋土や包含層から検出された種実について同定を行った。試料は平成28年度実施分18点、平成30年度実施分38点の計56点となる。また、平成28年度には遺構埋土中に含まれていた昆虫の種同定も２点行っている。

４　樹種同定（第９節）

乙亥正屋敷廻遺跡で数多く出土した木製品について、往時の植生、木材利用の在り方を検討するため、平成30年度に135点の樹種同定を３回に分けて行った。また、平成27年度から29年度にかけて311点の木器を委託により保存処理しており、その際に樹種同定も併せて行っている。

５　顔料分析・成分分析（第10節）

包含層中から出土した赤色顔料１点と、木製品に塗布された顔料２点の分析を、平成28年度と平成30年度に行った。また、土器内面の付着物について、その成分分析を平成29年度に、金属製品３点の成分分析を平成30年度に行った。

以上の分析は、木器保存処理と株式会社イビソクに委託して行った金属製品分析を除き、いずれもパリノ・サーヴェイ株式会社に委託し、土器内面付着物については、地方独立行政法人鳥取県産業技術センターの協力を受け、平成30年度に改めて分析を行っている。分析に用いた試料については、パリノ・サーヴェイ株式会社に委託して行った分析試料を、分析実施年度毎に第Ⅴ－１－１から３表に示し、その他の試料は本文中に示した。なお、各分析方法については割愛し、結果のみを掲載した。

第Ⅴ－１－１表　平成28年度分析試料一覧及び分析内訳

採取位置 遺構番号	取上No.	層名	試料 状態	試料の層相	分析項目					
					AMS	珪藻 分析	花粉 分析	種実 分析	種同定 (昆虫)	X線 回折
2ライン トレンチ	7821	33層	堆積物	砂質泥。細礫・粗粒砂混じる。やや腐植質。擾乱顕著。	1	1	1			
2S-763	1929		堆積物	砂質泥～泥。細礫・植物遺体混じる。	1	1	1	1		
2S-763	1992		堆積物	砂質泥～泥質砂。大礫～細礫・粗粒砂混じる。	1					
2S-763	2118		堆積物	腐植質泥質砂～砂質泥。細礫～粗粒砂混じる。		1	1			
2S-730	2637		昆虫片	－					1	
2区南F6	6694		炭化材	－	1					
2S-763	8391		昆虫片	－					1	
東側溝	9030	19層	堆積物	腐植質砂混じり泥。中粒砂～細粒砂の偽礫、花崗岩の風化礫、炭片混じる。		1	1			
	9031	20層	堆積物	有機質砂質泥～泥質粗粒砂の積層からなる。		1	1			
4ライン トレンチ	8671	12層	堆積物	葉理構造をなす砂礫。泥の薄層を挟在する。		1	1	1		
	8671	17層	堆積物	有機質泥質細粒砂～細粒砂質泥。木片等の植物遺体混じる。		1	1	1		
	8804	34層	堆積物	淘汰の悪い極粗粒砂質泥。細礫・後粗粒砂、4cm程度の土器片混じる。		1	1	1		
	8685	23層	堆積物	泥質細粒砂～細礫混じり極粗粒砂。葉理構造をなす。		1	1	1		
6ライン トレンチ	9228	23層	堆積物	腐植質砂質泥。中礫・細礫・極粗粒砂・粗粒砂、2cm以下の土器片混じる。淘汰悪く、擾乱顕著。土壌生成が進行。		1	1	1		
	9229	35層	堆積物	黒褐色腐植質泥質砂。細礫・極粗粒砂・粗粒砂が多く混じる。偽礫状を呈する。		1	1	1		
	9230	38層	堆積物	黒褐色腐植質泥質砂。細礫～大礫混じる。偽礫状の構造が確認される。		1	1	1		
	9231	42層	堆積物	泥の薄層を挟在する。泥質砂～砂質泥の積層。各単層は偽礫状を呈する。		1	1	1		
	9232	43層	堆積物	泥混じり砂質泥～泥質砂。細礫（風化岩片含む）、粗粒砂・極粗粒砂、基盤堆積物由来の偽礫混じる。生物擾乱顕著。		1	1	1		
	9233	73層	堆積物	有機質砂質泥。細礫（風化岩片含む）、基盤堆積物由来の偽礫、粗粒砂・極粗粒砂混じる。生物擾乱著しい。		1	1	1		
	9234	75層	堆積物	暗褐～褐色砂質泥。大礫・細礫～粗粒砂混じる。		1	1	1		
	9235	85層	堆積物	有機質砂質泥～泥質砂。生物擾乱顕著	1	1	1	1		
	9236	88層	堆積物	細礫～粗粒砂混じり黒色腐植質泥質砂と細礫混じり土壌由来の偽礫からなら堆積物の積層。		1	1	1		
	9237	89層	堆積物	砂質泥を挟在する細礫～粗粒砂混じり泥。大礫混混じる。炭片混じる。	1	1	1	1		
	9238	95層	堆積物	細礫～粗粒砂混じり泥。基盤堆積物由来の偽礫、炭化材、生材、植物遺体混じる。崩積堆積物	1	1	1	1		
	9239	98層	堆積物	細礫～粗粒砂混じり泥。基盤堆積物由来の偽礫、炭化材、生材、植物遺体混じる。斜面崩壊堆積物	1	1	1	1		
	9240	101層	堆積物	粗粒砂～細礫と泥混じり砂層の積層。葉理構造発達。植物遺体葉理（樹皮・木片を含む）を挟在。	1	1	1	1		
南西部 ベルト	9521		赤色顔料							1
合計					9	22	22	18	2	1

堆積物試料中より抽出した年代測定試料の詳細

採取位置 遺構番号	取上No.	取上No.	状態	形状	樹皮	残存 年輪数	樹種	測定位置
2ライン トレンチ	7821	7821	生木	芯持丸木	有	2年	エノキ属?	全量
2S-763	1929	1929	炭化材	破片	無	6年	スギ	全量
2S-763	1992	1992	炭化材	破片	無	2年	アカガシ亜属	最大の破片
2区南F6	6694	6694	炭化材	ミカン割状	無	1年	広葉樹	最大の破片
6ライン トレンチ	9235	85層	炭化材	破片	無	3～4年	サクラ属	最大の破片
	9237	89層	炭化材	破片	無	3～4年	ガマズミ属	最大の破片
	9238	95層	生木	破片	無	3年	スギ	外1年分
	9239	98層	炭化材	半裁状	有	3～4年	ハゼノキ類	外側2年分
	9240	101層	生木	破片	無	－	サクラ属	全量

第Ⅴ－１－２表　平成29年度分析試料一覧及び分析内訳

取上No.	地区名	遺構名/遺物名	層位名	種別	分析試料（観察所見）	分析量[1)]（g）	分析項目[2)]		
							^{14}C	XRD	FT-IR
5525	１区Ｈ８	S-977横穴部	埋土（６層上面）	炭	炭化材:モクレン属 長さ10㎜×幅13㎜×厚さ５㎜ 樹皮無し、破片（板目状）、４年輪	0.11	○	－	－
5529	１区Ｈ８	S-977横穴部	埋土（６層上面）	炭	炭化材:モクレン属 長さ11㎜×幅21㎜×厚さ６㎜ 樹皮無し、破片（板目状）、４年輪	0.47	○	－	－
3359 4073	２区Ｅ４	２S-840 台付装飾壺	下層	土器付着物	土器内面付着物 膜状（厚さ１㎜未満） 黒色を呈し、やや光沢を帯びる。	0.08	○	－	○
				土器付着物	土器内面付着物 粉状（泥～極細粒砂径） 白色を呈する。	0.02	－	○	○

１）取上No.5529は湿重量、この他は乾燥重量に相当する。

２）^{14}C：放射性炭素年代測定（AMS法）．XRD：Ｘ線回折分析．FT-IR：赤外分光分析

第Ⅴ－１－３表　平成30年度分析試料一覧及び分析内訳

遺構番号 採取場所	取上No.	層名		分析項目					
				年代	珪藻	花粉	寄生虫卵	種実	Ｘ線回折分析 蛍光Ｘ線分析
２S-1057	3596		種実遺体					1	
４ライントレンチ	4638	102層	土壌	1	1	1			
５ライントレンチ	5460	13層	土壌		1	1		1	
５ライントレンチ	5460	14層	土壌		1	1	1	1	
５ライントレンチ	5460	29層	土壌	1	1	1	1	1	
５ライントレンチ	5460	35層	土壌		1	1		1	
５ライントレンチ	5460	52層上部	土壌					1	
		52層下部	土壌		1	1	1	1	
５ライントレンチ	5460	61層	土壌	1	1	1	1	1	
５ライントレンチ	5460	63層上部	土壌					1	
		63層下部	土壌		1	1	1	1	
５ライントレンチ	5460	65層上部	土壌					1	
		65層下部	土壌	1	1	1	1	1	
５ライントレンチ	5460	66層	土壌		1	1		1	
５ライントレンチ	5460	67層	土壌	1	1	1	1	1	
５ライントレンチ	5460	71層	土壌		1	1		1	
５ライントレンチ	5460	72層上部	土壌					1	
		72層下部	土壌	1	1	1	1	1	
５ライントレンチ	5460	74層	土壌		1	1	1	1	
５ライントレンチ	5460	75層	土壌		1	1		1	
５ライントレンチ	5460	76層	土壌		1	1	1	1	
５ライントレンチ	5456	77層	土壌		1	1		1	
５ライントレンチ	5457	77層	土壌		1	1		1	
５ライントレンチ	5458	10層	土壌		1	1	1	1	
５ライントレンチ	5459	77層	土壌	1	1	1	1	1	
２S-1141	3387	11層	土壌	1					
２S-1141	3468	12層上部	土壌	1	1	1	1	1	
		12層下部	土壌					1	
２S-1141	3529	11層上部	土壌					1	
		11層下部	土壌		1	1	1	1	
２S-1141	3529	12層	土壌		1	1		1	
S-898	5436		土壌	1					
６ライントレンチ	サンプル12	23層	土壌		1	1		1	
６ライントレンチ	サンプル13	37層	土壌		1	1		1	
６ライントレンチ	サンプル14	77層	土壌		1	1		1	
６ライントレンチ	サンプル15	92層	土壌	1	1	1		1	
６ライントレンチ	サンプル16	98層	土壌	1	1	1		1	
６ライントレンチ	サンプル17	100層	土壌		1	1		1	
６ライントレンチ	サンプル18	50層	土壌		1	1		1	
６ライントレンチ	サンプル19	51層	土壌		1	1		1	
S-３	242		土壌	1					
S-５	775		土壌	1					
S-９	1035		種実遺体	1				1	
２S-1276	5092		楯付着顔料						2
合計				15	31	31	14	38	2

第２節　放射性炭素年代測定結果

１　平成28年度実施分の結果

結果を第Ⅴ－２－１表、第Ⅴ－２－１図に示す。いずれの試料も保存状態がよく、AAA処理は酸、アルカリ共に１mol/Lの溶液を使用している。№7821は1890±20BP、№1929は1890±20BP、№1992は1860±20BP、№6694は1860±20BP、№9235は1880±20BP、№9237は1890±30BP、№9238は2040±30BP、№9239は1980±30BP、№9240は1930±30BPである。

暦年較正とは、大気中の^{14}C濃度が一定で半減期が5568年として算出された年代値に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の^{14}C濃度の変動、及び半減期の違い（^{14}Cの半減期5730±40年）を較正することによって、暦年代に近づける手法である。測定誤差２σの暦年代は、結果を第Ⅴ－２－１表、第Ⅴ－２－１図に示す。№7821はcalAD60～210、№1929はcalAD60～210、№1992はcalAD90～230、№6694はcalAD80～230、№9235はcalAD190～210、№9237はcalAD60～210、№9238はcalBC150～AD50、№9239はcalBC40～AD60、№9240はcalAD20～130である。

以上の各年代値は、出土遺物から推定される考古年代と概ね調和的な結果を示している。６トレンチの弥生時代後期の層準では、年代値の逆転が認められる。98層の炭化材片は樹皮を残すことから、伐採年代を示していると思われる。これに対して、95層の生材は破片で最外年輪でないことから、古木効果により古い年代を示している可能性がある。98層・101層の年代値は西本編（2006・2007）による考古年代と実年代の比較検討に基づくと弥生時代後期の年代に相当する。

古墳時代の層準の年代値は考古年代よりやや古い年代を示しているが、古木効果を考慮すると、概ね同調的な年代を示していると判断される。なお、この時期の日本産木材資料の年輪の^{14}C年代がIntCalに比較して古い年代を示すことが指摘されている。箱根産スギ埋没材の西暦100～200年の年輪で30－40年程度古くなること（Sakamoto. et al. 2003）、屋久島産スギ材のほぼ同時期の年輪で45－60年程度古くなること（吉光・中村,2012）が確認されている。時期が異なるが青森県産アスナロ埋没材の西暦1381-1449年の年輪でも35年程度古くなることが確認されている（箱崎,2013）。これらは大気中^{14}C濃度が地域的に均一でないこと（地域効果）によって生じる誤差と考えられており、年代によってIntcalによる暦年較正が真の暦年代を示さない恐れがある。そのため、日本産資料の^{14}C年代を高精度に暦年較正するためには、暦年代の明らかな日本産資料の^{14}C年代測定を年代的・地域的に広範囲にわたって実施していく必要があることが指摘されている（箱崎,2013）。したがって、今回の年代値も同様の事を考慮しておく必要があり、今後日本独自の較正曲線の作成された後、再較正する必要がある。

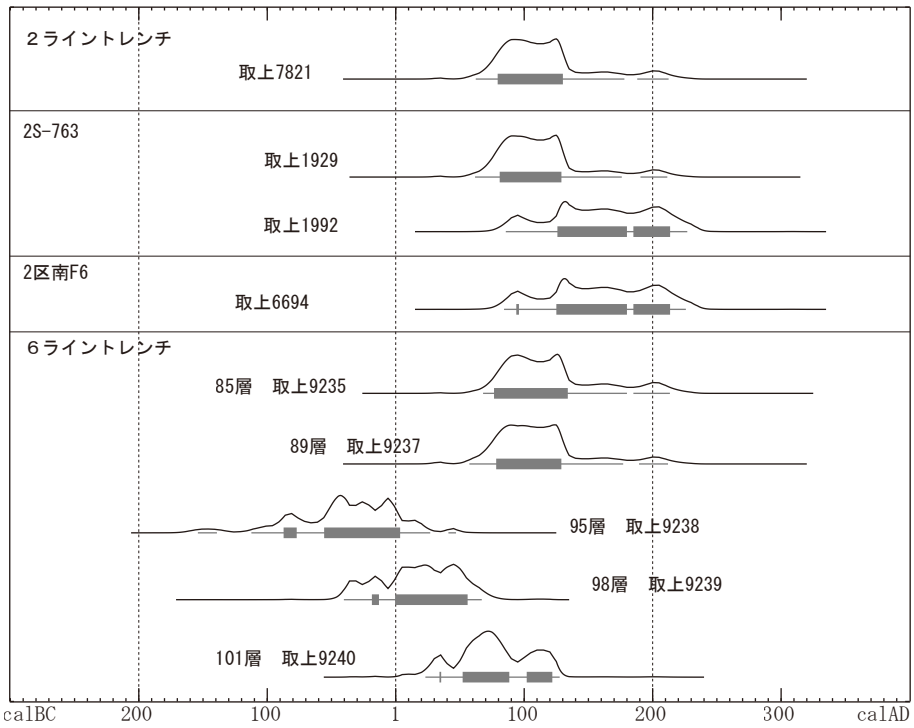
２　平成29年度実施分の結果

炭化材および土器付着物の同位体補正を行った年代値（補正年代）は、S-977横穴部の炭化材（取上№5525）が335±20BP、同（取上№5529）が340±20BP、台付装飾壺（取上№3359・4073）内面の黒色付着物が1920±20BPである。また、暦年較正結果（２σ暦年代範囲）は、S-977横穴部の炭化材（取上№5525）がcalAD1482-calAD1637、同（取上№5529）がcalAD1480-calAD1635、台付装飾壺（取上№3359・4073）内面の黒色付着物がcalAD29-calAD129を示す（第Ⅴ－２－２表、第Ⅴ－２－２図）。S-977横穴部の炭化材２点の暦年代範囲（２σ）は近似しており、いずれも15世紀後半～17世紀前半頃

第Ｖ－２－１表　平成28年度実施　放射性炭素年代測定結果

地点	取上番号	試料状態	分析方法	測定年代 yrBP	δ^{13}C (‰)	暦年較正用	暦年較正年代					Code No.
								年代値		相対比	中央値	
2ライントレンチ	7821	芯持生木 樹皮有 エノキ属?	AAA	1890±20	-28.30±0.52	1888±24	σ	cal AD 79 - cal AD 130	cal BP 1,871 - 1,820	1.000	calAD 108	IAAA-152730
							2σ	cal AD 62 - cal AD 178 cal AD 188 - cal AD 212	cal BP 1,888 - 1,772 cal BP 1,762 - 1,738	0.938 0.062		
2S-763	1929	炭化材片 樹皮無 スギ	AAA	1890±20	-26.07±0.56	1889±23	σ	cal AD 81 - cal AD 129	cal BP 1,869 - 1,821	1.000	calAD 107	IAAA-152731
							2σ	cal AD 62 - cal AD 176 cal AD 191 - cal AD 211	cal BP 1,888 - 1,774 cal BP 1,759 - 1,739	0.952 0.048		
	1992	炭化材片 樹皮無 アカガシ亜属	AAA	1860±20	-26.52±0.48	1856±24	σ	cal AD 126 - cal AD 180 cal AD 185 - cal AD 214	cal BP 1,824 - 1,770 cal BP 1,765 - 1,736	0.666 0.334	calAD160	IAAA-152732
							2σ	cal AD 86 - cal AD 227	cal BP 1,864 - 1,723	1.000		
2区南F6	6694	炭化材片 ミカン割状 樹皮無 広葉樹	AAA	1860±20	-26.55±0.43	1858±24	σ	cal AD 94 - cal AD 96 cal AD 125 - cal AD 180 cal AD 185 - cal AD 214	cal BP 1,856 - 1,854 cal BP 1,825 - 1,770 cal BP 1,765 - 1,736	0.019 0.657 0.324	calAD157	IAAA-152733
							2σ	cal AD 84 - cal AD 226	cal BP 1,866 - 1,724	1.000		
6ライントレンチ	9235 85層	炭化材片 樹皮無 サクラ属	AAA	1880±20	-26.47±0.53	1883±24	σ	cal AD 77 - cal AD 134	cal BP 1,873 - 1,816	1.000	calAD113	IAAA-152734
							2σ	cal AD 68 - cal AD 180 cal AD 185 - cal AD 213	cal BP 1,882 - 1,770 cal BP 1,765 - 1,737	0.907 0.093		
	9237 89層	炭化材破片 樹皮無 ガマズミ属	AAA	1890±30	-25.75±0.57	1892±25	σ	cal AD 78 - cal AD 129	cal BP 1,872 - 1,821	1.000	calAD106	IAAA-152735
							2σ	cal AD 57 - cal AD 177 cal AD 189 - cal AD 212	cal BP 1,893 - 1,773 cal BP 1,761 - 1,738	0.951 0.049		
	9238 95層	生材破片 樹皮無 スギ	AAA	2040±30	-24.08±0.50	2035±25	σ	cal BC 87 - cal BC 77 cal BC 56 - cal AD 3	cal BP 2,036 - 2,026 cal BP 2,005 - 1,947	0.096 0.904	calBC36	IAAA-152736
							2σ	cal BC 154 - cal BC 139 cal BC 112 - cal AD 27 cal AD 41 - cal AD 47	cal BP 2,103 - 2,088 cal BP 2,061 - 1,923 cal BP 1,909 - 1,903	0.021 0.972 0.007		
	9239 98層	炭化材半裁状 樹皮有 ハゼノキ類	AAA	1980±30	-24.12±0.54	1982±25	σ	cal BC 19 - cal BC 13 cal BC 1 - cal AD 56	cal BP 1,968 - 1,962 cal BP 1,950 - 1,894	0.059 0.941	calAD19	IAAA-152737
							2σ	cal BC 40 - cal AD 57	cal BP 1,989 - 1,893	1.000		
	9240 101層	生材破片 樹皮無 サクラ属	AAA	1930±30	-27.82±0.51	1928±25	σ	cal AD 34 - cal AD 35 cal AD 52 - cal AD 88 cal AD 102 - cal AD 122	cal BP 1,916 - 1,915 cal BP 1,898 - 1,862 cal BP 1,848 - 1,828	0.012 0.716 0.273	calAD73	IAAA-152738
							2σ	cal AD 23 - cal AD 128	cal BP 1,927 - 1,822	1.000		

1)計算には、RADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV7.1を 使用。
2)yrBP年代値は、1950年を 基点として何年前であるかを 示す。
3)付記した誤差は、測定誤差σ（測定値の68％が入る範囲）を 年代値に換算した値。
4)AAAは、酸、アルカリ、酸処理、AaAは、アルカリの濃度を 薄く した処理を 示す。
5)計算には表に示した丸める前の値を 使用している。
6)1桁目を 丸めるのが慣例だが、暦年較正曲線や暦年較正プログラム が改正された場合の再計算や比較が行いやすいよう に、1桁目を 丸めていない。
7)統計的に真の値が入る確率はσは68%、2σは95%である
8)相対比は、σ、2σのそれぞれを1とした場合、確率的に真の値が存在する比率を 相対的に示したも のである。
9)中央値は、確率分布図の面積が二分される値を 年代値に換算したも の。

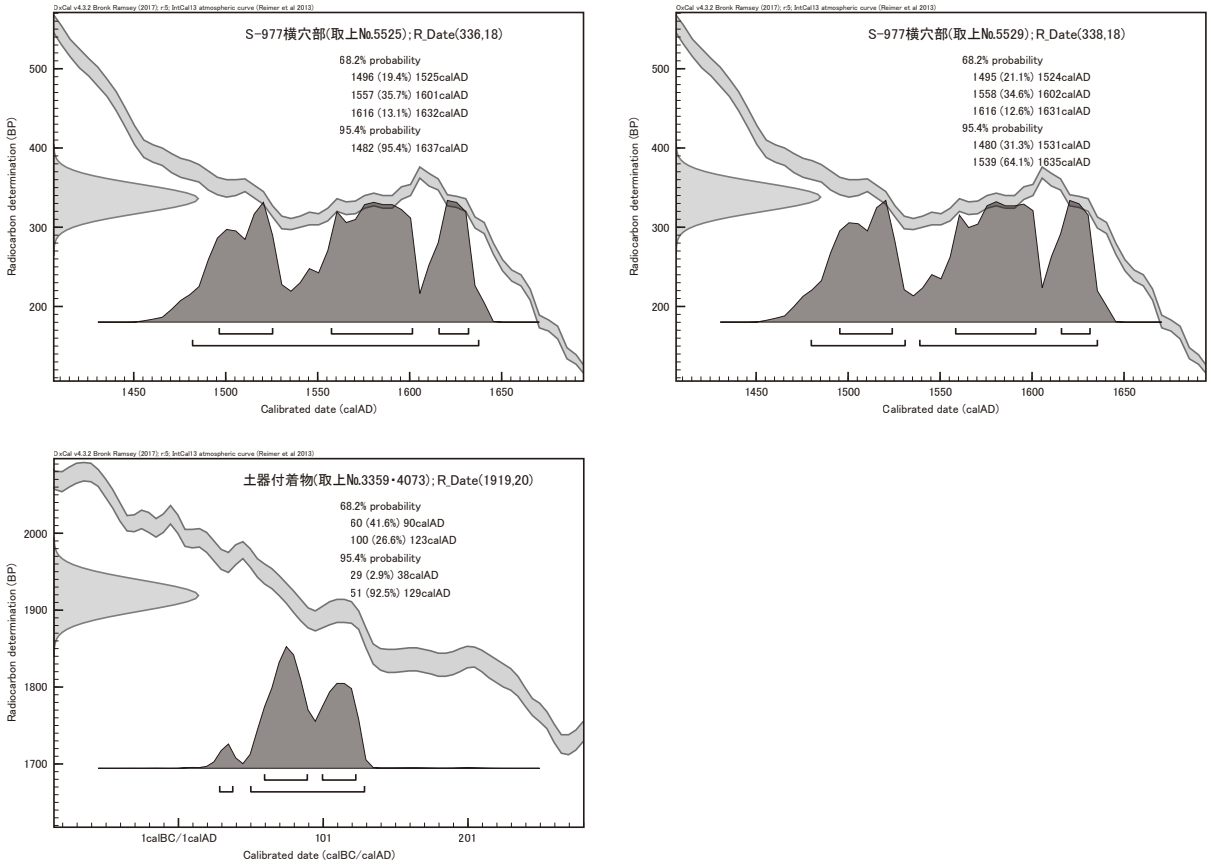


第Ｖ－２－１図　平成28年度実施　放射性炭素年代暦年較正結果

の年代を示した。取上№5525と5529の炭化材試料は板状を呈する破片が多く、木取りや厚さなども概ね類似し、測定に供した炭化材は２点ともにモクレン属に同定された。上記した結果および炭化材試料の特徴が類似し、樹種が共通する点などを踏まえると、同一の資料に由来する可能性も示唆される。また、台付装飾壺(取上№3359・4073)の黒色付着物より得られた暦年代範囲(２σ)は、河合ほか(2011)などを参考とすると、弥生時代後期前葉～中葉頃に相当する。

第Ⅴ－２－２表　平成29年度実施　放射性炭素年代測定および暦年較正結果

試料名	処理方法	補正年代(BP)	δ^{13}C(‰)	補正年代(暦年較正用)(BP)	暦年較正結果		測定番号
					１σ暦年代範囲	２σ暦年代範囲	
取上№5525 S-977横穴部 埋土(６層上面) (炭化材)	AAA	335±20	-	336±18	1496AD(19.4%)1525AD 1557AD(35.7%)1601AD 1616AD(13.1%)1632AD	1482AD(95.4%)1637AD	PLD-35843
取上№5529 S-977横穴部 埋土(６層上面) (炭化材)	AAA	340±20	-25.19±0.16	338±18	1495AD(21.1%)1524AD 1558AD(34.6%)1602AD 1616AD(12.6%)1631AD	1480AD(31.3%)1531AD 1539AD(64.1%)1635AD	PLD-35844
取上№3359・4073 台付装飾壺 内面付着物 (黒色付着物)	AaA	1920±20	-30.78±0.21	1919±20	60AD(41.6%)　90AD 100AD(26.6%)　123AD	29AD(2.9%)　38AD 51AD(92.5%)　129AD	PLD-35845



第Ⅴ－２－２図　平成29年度実施　放射性炭素年代暦年較正結果

３　平成30年度実施分の結果

結果を第Ｖ－２－３表、第Ｖ－２－３図に示す。試料の測定年代(補正年代)は、４ライントレンチの4638-102層が9,895±30yrBP、５ライントレンチの5460-29層が1,905±25yrBP、5460-61層が1,890±20yrBP、5460-65層下部が2,030±20yrBP、5460-67層が1,970±20yrBP、5460-72層下部が2,125±20yrBP、5459-77層が2,325±20yrBP、２S-1141の3387-11層が1,890±20yrBP、3468-12層が1,915±20yrBP、S-898の5436が1,850±20yrBP、６ライントレンチのサンプル15-92層が2,015±20yrBP、サンプル16-98層が2,645±20yrBP、S-３の242が1,395±20yrBP、S-５の775が1,270±20yrBP、S-９の1035が1,830±20yrBPの値を示す。

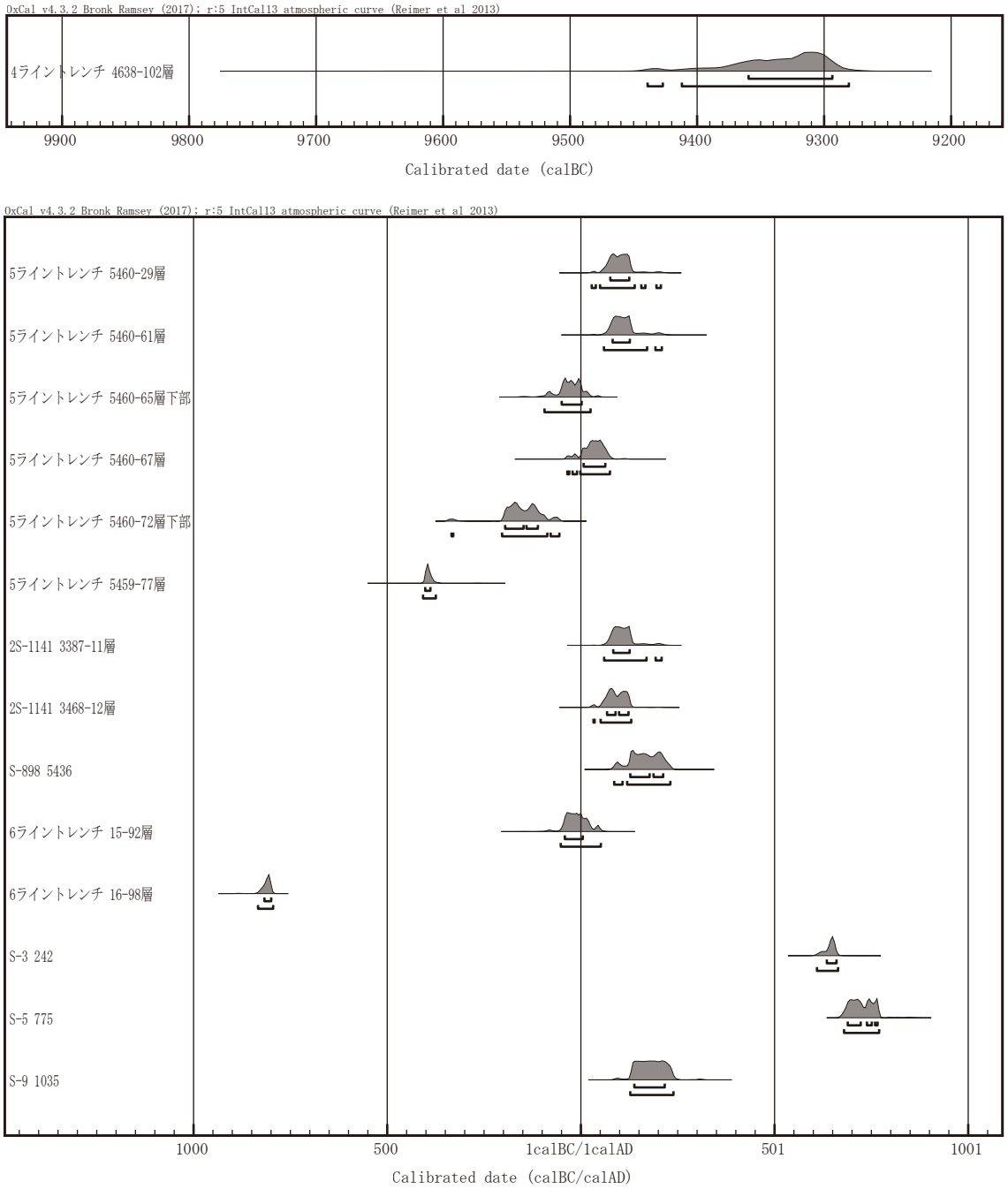
暦年較正年代は、測定誤差を２σとして計算させた結果、４ライントレンチの4638-102層がcalBC 9,440～9,281、５ライントレンチの5460-29層がcalAD29～207、5460-61層がcalAD60～210、5460-65層下部がcalBC95～calAD26、5460-67層がcalBC36～calAD76、5460-72層下部がcalBC335～56、

第Ｖ－２－３表　平成30年度実施　放射性炭素年代測定結果

試料名	性　状		分析方法	測定年代 yrBP	$\delta^{13}C$ (‰)	暦年較正用	暦年較正年代	年代値		確率	Code	No.
４ライントレンチ 4638-102層	炭化材まじり土壌		AAA	9,895±30	-22.94±0.36	9,895±32	σ	cal BC 9360 - cal BC 9294	11309 - 11243 calBP	0.682	pal-11325	YU-8006
							2σ	cal BC 9440 - cal BC 9428	11389 - 11377 calBP	0.021		
								cal BC 9413 - cal BC 9281	11362 - 11230 calBP	0.933		
５ライントレンチ 5460-29層	炭化材 クリ	破片 ３年輪	AAA	1,905±25	-23.55±0.54	1,903±23	σ	cal AD 77 - cal AD 126	1873 - 1824 calBP	0.682	pal-11326	YU-8007
							2σ	cal AD 29 - cal AD 39	1921 - 1911 calBP	0.011		
								cal AD 50 - cal AD 140	1900 - 1810 calBP	0.925		
								cal AD 157 - cal AD 167	1793 - 1783 calBP	0.008		
								cal AD 196 - cal AD 207	1754 - 1743 calBP	0.010		
５ライントレンチ 5460-61層	炭化材 散孔材	破片 ２年輪	AAA	1,890±20	-27.08±0.37	1,891±21	σ	cal AD 83 - cal AD 127	1867 - 1823 calBP	0.682	pal-11327	YU-8008
							2σ	cal AD 60 - cal AD 172	1890 - 1778 calBP	0.927		
								cal AD 193 - cal AD 210	1757 - 1740 calBP	0.027		
５ライントレンチ 5460-65層下部	炭化材 マツ属複維管束亜属	破片 ３年輪	AAA	2,030±20	-25.66±0.36	2,030±20	σ	cal BC 50 - cal AD 3	1999 - 1947 calBP	0.682	pal-11328	YU-8009
							2σ	cal BC 95 - cal AD 26	2044 - 1924 calBP	0.954		
５ライントレンチ 5460-67層	炭化材 クリ	破片 ３年輪	AAA	1,970±20	-26.62±0.32	1,968±21	σ	cal AD 8 - cal AD 64	1942 - 1886 calBP	0.682	pal-11329	YU-8010
							2σ	cal BC 36 - cal BC 31	1985 - 1980 calBP	0.014		
								cal BC 22 - cal BC 11	1971 - 1960 calBP	0.042		
								cal BC 2 - cal AD 76	1951 - 1874 calBP	0.899		
５ライントレンチ 5460-72層下部	炭化材 微細木片	４個	AaA	2,125±20	-27.43±0.38	2,123±21	σ	cal BC 196 - cal BC 149	2145 - 2098 calBP	0.427	pal-11330	YU-8011
								cal BC 141 - cal BC 112	2090 - 2061 calBP	0.255		
							2σ	cal BC 335 - cal BC 330	2284 - 2279 calBP	0.006		
								cal BC 204 - cal BC 87	2153 - 2036 calBP	0.900		
								cal BC 79 - cal BC 56	2028 - 2005 calBP	0.048		
５ライントレンチ 5459-77層	炭化材 散孔材	破片 ２年輪	AAA	2,325±20	-26.03±0.36	2,323±21	σ	cal BC 403 - cal BC 389	2352 - 2338 calBP	0.682	pal-11331	YU-8012
							2σ	cal BC 408 - cal BC 375	2357 - 2324 calBP	0.954		
２S-1141 3387-11層	炭化材 エノキ	破片 ３年輪	AAA	1,890±20	-25.34±0.29	1,891±20	σ	cal AD 84 - cal AD 127	1866 - 1823 calBP	0.682	pal-11332	YU-8013
							2σ	cal AD 61 - cal AD 170	1889 - 1780 calBP	0.931		
								cal AD 194 - cal AD 209	1756 - 1741 calBP	0.023		
２S-1141 3468-12層	炭化材 散孔材	破片 ３年輪	AAA	1,915±20	-24.15±0.45	1,913±21	σ	cal AD 68 - cal AD 90	1882 - 1860 calBP	0.339	pal-11333	YU-8014
								cal AD 99 - cal AD 124	1851 - 1826 calBP	0.343		
							2σ	cal AD 33 - cal AD 36	1917 - 1914 calBP	0.007		
								cal AD 52 - cal AD 131	1898 - 1819 calBP	0.947		
S-898 5436	炭化材 トチノキ	破片 ３年輪	AaA	1,850±20	-26.04±0.37	1,852±20	σ	cal AD 128 - cal AD 178	1822 - 1772 calBP	0.455	pal-11334	YU-8015
								cal AD 188 - cal AD 213	1762 - 1737 calBP	0.227		
							2σ	cal AD 87 - cal AD 108	1863 - 1842 calBP	0.069		
								cal AD 120 - cal AD 232	1830 - 1718 calBP	0.885		
６ライントレンチ 15-92層	炭化材 散孔材	破片 ４年輪	AAA	2,015±20	-25.77±0.41	2,013±21	σ	cal BC 42 - cal AD 6	1991 - 1944 calBP	0.682	pal-11335	YU-8016
							2σ	cal BC 53 - cal AD 52	2002 - 1898 calBP	0.954		
６ライントレンチ 16-98層	炭化材 散孔材	破片 ２年輪	AAA	2,645±20	-25.27±0.49	2,647±22	σ	cal BC 818 - cal BC 800	2767 - 2749 calBP	0.682	pal-11336	YU-8017
							2σ	cal BC 834 - cal BC 795	2783 - 2744 calBP	0.954		
S-３ 242	炭化材 クリ	外側 ４年分	AAA	1,395±20	-25.85±0.47	1,395±21	σ	cal AD 636 - cal AD 661	1314 - 1289 calBP	0.682	pal-11337	YU-8018
							2σ	cal AD 610 - cal AD 665	1340 - 1285 calBP	0.954		
S-５ 775	炭化材 クリ	外側 ５年分	AAA	1,270±20	-25.83±0.34	1,269±20	σ	cal AD 690 - cal AD 723	1260 - 1227 calBP	0.439	pal-11338	YU-8019
								cal AD 739 - cal AD 752	1211 - 1198 calBP	0.159		
								cal AD 760 - cal AD 767	1190 - 1183 calBP	0.084		
							2σ	cal AD 680 - cal AD 771	1270 - 1179 calBP	0.954		
S-９ 1035	種子 ダイズ	１個体	AAA	1,830±20	-27.82±0.42	1,830±22	σ	cal AD 139 - cal AD 217	1811 - 1733 calBP	0.682	pal-11339	YU-8020
							2σ	cal AD 128 - cal AD 240	1822 - 1710 calBP	0.954		

１）年代値の算出には、Libbyの半減期5,568年を使用。
２）yrBP年代値は、1950年を基点として何年前であるかを示す。
３）付記した誤差は、測定誤差σ(測定値の68%が入る範囲)を年代値に換算した値。
４）AAAは酸－アルカリ－酸処理、AaAはアルカリの濃度を薄くした処理を示す。
５）暦年の計算には、Oxcal4.3を使用。
６）暦年の計算には表に示した丸める前の値を使用している。
７）１桁目を丸めるのが慣例だが、暦年較正曲線や暦年較正プログラムが改正された場合の再計算や比較が行いやすいように、１桁目を丸めていない。
８）統計的に真の値が入る確率はσは68%、２σは95%である。

5459-77層がcalBC408～375、２S-1141の3387-11層がcalAD61～209、3468-12層がcalAD33～131、S-898の5436がcalAD87～232、６ライントレンチのサンプル15-92層がcalBC53～calAD52、サンプル16-98層がcalBC834～795、S-３の242がcalAD610～665、S-５の775がcalAD680～771、S-９の1035がcalAD128～240である。なお、炭化材試料および種実遺体を確認した結果、５ライントレンチの5460-29層はクリ、5460-61層は散孔材、5460-65層下部はマツ属複維管束亜属、5460-67層はクリ、5459-77層は散孔材、２S-1141の3387-11層はエノキ、3468-12層は散孔材、S-898の5436はトチノキ、６ライントレンチのサンプル15-92層は散孔材、サンプル16-98層は散孔材、S-３の242はクリ、S-５の775はクリ、S-９の1035はダイズに同定された。5460-72層下部は微細な木片のため、種類の同定に至らなかった。



第Ⅴ－２－３図　平成30年度実施　放射性炭素年代暦年較正結果

第３節　珪藻分析結果

１　平成28年度実施分の結果

定性分析結果を第Ｖ－３－１表(１)・(２)、第Ｖ－３－１図、定量分析結果を第Ｖ－３－２表(１)・(２)、第Ｖ－３－２図に示す。珪藻分析を行った22試料のうち、すべての試料から珪藻が産出したが、№8671(12層)、№8671(17層)、№8804、№8685、№9233(73層)、№9239(98層)、№9240(101からは100個体未満と少ない。

堆積物１g中の珪藻殻は№7821では588608個産出する。№1929、№2118ではそれぞれ79588個、1040604個産出する。№9030、9031ではそれぞれ64415個、141641個産出する。№8671～№8685では1302個～14583個産出する。№9228～№9239では57234個～1013722産出し、№9240では23515個産出する。

珪藻化石が比較的多く検出された試料の淡水生の群集の特徴は、生態性(珪藻の３つの適応性：水中の塩分・pH・流水に対する適応性)について整理してみた場合、以下のような傾向が認められる。

まず、塩分に対する適応性は、淡水中の塩類濃度の違いにより区分したもので、ある程度の塩分が含まれたほうがよく生育する種類は好塩性種とし、少量の塩分が含まれていても生育できるものを不定性種、塩分が存在する水中では生育できないものを嫌塩性種として区分する。これは、主に水域の化学的な特性を知る手がかりとなるが、単に塩類濃度が高いあるいは低いといったことが分かるだけでなく、塩類濃度が高い水域というのは概して閉鎖水域である場合が多いことから、景観を推定する上でも重要な要素である。結果としては、全体的に80～100％と淡水性種が優占する。

pHに対する適応性は、アルカリ性の水域に特徴的に認められる種群を好アルカリ性種、逆に酸性水域に生育する種群を好酸性種、中性の水域に生育する種を不定性種とする。これも、単に水の酸性・アルカリ性のいずれかがわかるだけでなく、酸性の場合は湿地であることが多いなど、間接的には水域の状況を考察する上で必要不可欠である。２ライントレンチでは、好+真アルカリ性種が55％、pH不定性種が38％で産出する。№2118で好+真アルカリ性種が48％、pH不定性種が31％産出した。№1929ではpH不定性種が80％で優占する。東側溝地点では、好+真アルカリ性種が50％、pH不定性種が38％の割合で産出する。№9228は、pH不定性種が62％で優占し、№9229～№9236では好+真アルカリ性種が66％～80％の割合で優占する。№9238では好+真アルカリ性種が47％、好+真酸性性種が33％、pH不定性種が16％の割合で産出する。

流水に対する適応性は、流れのある水域の基物(岩石・大型の藻類・水生植物など)に付着生育する種群であり、特に常時流れのあるような水域でなければ生育出来ない種群を好流水性種、逆に流れのない水域に生育する種群を好止水性種として区分している。流水不定は、どちらにでも生育できる可能性もあるが、それらの大半は止水域に多い種群である。なお、好流水性種と流水不定性種の多くは付着性種であるが、好止水性種には水塊中を浮遊生活する浮遊性種も存在する。浮遊性種は、池沼あるいは湖沼の環境を指標する。

№7821では、流水不定種が80％と優占し、好+真流水性種が12％産出する。№2118で60％以上の流水性種が産出し、№1929では25％産出する。№9030、9031では、流水不定種が70％と優占し、好+真流水性種が20％以上産出する№9228では57％と好+真流水性種が優占し、№9229以降の層準では流水不定種が80％以上で優占する。なお、淡水生種の中には、水中から出て陸域の乾いた環境下でも生育

第Ⅴ－３－１表　平成28年度実施　珪藻分析結果(定性)(１)

種類	生態性			環境指標種	上段：地点名　下段：取上番号・層位																				
					2ﾗｲﾝ	2S-763	2S-763	東側溝		4ライントレンチ				6ライントレンチ											
	塩分	pH	流水		7821	1929	2118	9030	9031	8671	8671	8804	8685	9228	9229	9230	9231	9232	9233	9234	9235	9236	9237	9238	9239	9240
										12層	17層			23層	35層	38層	42層	43層	73層	75層	85層	88層	89層	95層	98層	101層
Arachnoidiscus ehrenbergii Bailey et Ehrenberg	Euh			A,B	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－
Cocconeis scutellum Ehrenberg	Euh-Meh			C1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－	－	4	－	1	－	－	－	4
Cocconeis spp.	Euh-Meh				－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2
Nitzschia levidensis (W.Smith) Grunow	Meh			E1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	2	1	1	－	－
Nitzschia palea (Kuetz.) W.Smith	Ogh-Meh	ind	ind	S	－	－	－	4	3	－	－	－	－	5	3	7	－	1	1	4	1	－	1	32	－	－
Rhopalodia gibberula (Ehr.) Mueller	Ogh-Meh	al-il	ind	U	－	－	－	5	5	2	3	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	3	－	－
Achnanthes japonica H.Kobayasi	Ogh-ind	al-il	r-bi	J,T	－	4	－	－	－	－	－	－	－	1	－	2	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－
Achnanthes lineariformis H.Kobayasi	Ogh-ind	ind	r-bi	J	－	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Achnanthes spp.	Ogh-unk	unk	unk		－	3	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Amphora ovalis (Kuetz.) Kuetzing	Ogh-ind	al-il	ind	T	2	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Amphora ovalis var. *affinis* (Kuetz.) Van Heurck	Ogh-ind	al-il	ind	T	1	－	1	－	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Amphora spp.	Ogh-unk	unk	unk		5	5	－	9	7	－	－	－	－	－	8	8	8	－	－	1	10	－	3	－	－	－
Caloneis bacillum (Grun.) Cleve	Ogh-ind	al-il	r-ph	U	－	－	－	1	6	－	－	－	－	－	6	－	8	－	2	－	－	－	1	－	－	－
Caloneis branderii (Hust.) Krammer	Ogh-unk	unk	l-ph		－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Caloneis molaris (Grun.) Krammer	Ogh-ind	ind	ind		4	－	－	3	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	1	－	－	－	－	－	－
Caloneis silicula (Ehr.) Cleve	Ogh-ind	al-il	ind	O	3	1	－	－	3	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	3	－	－	－	－
Caloneis spp.	Ogh-unk	unk	unk		－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	4	－	－	－	－	－	－
Cocconeis placentula (Ehr.) Cleve	Ogh-ind	al-il	ind	U	－	－	－	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Cocconeis placentula var. *euglypta* (Ehr.) Cleve	Ogh-ind	al-il	r-ph	T	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Cocconeis spp.	Ogh-unk	unk	unk		－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Cymbella aspera (Ehr.) Cleve	Ogh-ind	al-il	ind	O,T	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
Cymbella minuta Hilse ex Rabenhorst	Ogh-ind	ind	r-ph	K,T	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Cymbella turgidula Grunow	Ogh-ind	al-il	r-ph	K,T	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－
Cymbella spp.	Ogh-unk	unk	unk		－	－	－	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Diploneis parma Cleve	Ogh-ind	ind	ind	O	－	－	－	2	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	1
Encyonema silesiacum (Bleisch in Rabenh.) D.G.Mann	Ogh-ind	ind	ind	T	－	2	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	1
Eunotia implicata Noepel & Lange-Bertalot	Ogh-hob	ac-il	ind	O	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Fragilaria capucina Desmazieres	Ogh-ind	al-il	ind	T	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3	－	－	－	－	－
Fragilaria ulna (Nitzsch) Lange-Bertalot	Ogh-ind	al-il	ind	O,U	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－
Fragilaria spp.	Ogh-unk	unk	unk		－	1	－	2	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Frustulia vulgaris (Thwaites) De Toni	Ogh-ind	al-il	ind	U	－	1	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Frustulia spp.	Ogh-unk	unk	unk		－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3	1	－	3	－	－	－	－	－
Gomphonema gracile Ehrenberg	Ogh-ind	al-il	l-ph	O,U	7	3	－	1	5	－	－	－	－	－	6	2	－	2	3	1	1	－	－	－	－	－
Gomphonema parvulum (Kuetz.) Kuetzing	Ogh-ind	ind	ind	U	51	－	19	21	28	－	－	－	7	14	1	4	5	2	3	－	6	7	3	－	－	－
Hantzschia amphioxys (Ehr.) Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	RA,U	106	30	36	77	61	－	2	9	8	32	87	102	90	75	36	55	99	115	53	70	51	10
Hantzschia amphioxys var. *capitata* Muller	Ogh-ind	al-il	ind	RA,U	4	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Hantzschia amphioxys var. *maior* Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	RA,U	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Luticola mutica (Kuetz.)D.G.Mann	Ogh-ind	al-il	ind	RA,S	－	4	－	2	5	－	－	－	－	1	10	3	12	3	－	4	4	15	3	12	7	－
Meridion circulare (Grev.) C.Agardh	Ogh-ind	al-il	r-bi	K,T	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Navicula constans var. *symmetrica* Hustedt	Ogh-unk	unk	unk	O,U	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Navicula contenta Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	RA,T	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3	2	－	3	－	2	3	－	2	－	－	－
Navicula cryptotenella Lange-Bertalot	Ogh-ind	ind	ind	T	3	10	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	6	3	－	11	5	3	－	－	－
Navicula elginensis var. *cuneata* H.Kobayasi	Ogh-ind	al-il	ind	O,U	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	4	－	－
Navicula elginensis var. *neglecta* (Krass.) Patrick	Ogh-ind	al-il	r-ph	U	－	－	－	－	－	－	－	－	3	1	－	2	6	1	2	2	3	－	－	－	－	－
Navicula mutica var. *ventricosa* (Kuetz.) Cleve	Ogh-ind	al-il	ind	RI	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3	3	5	－	－	－	－	－	1	2	－	－
Navicula spp.	Ogh-unk	unk	unk		－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－

第Ⅴ－３－１表　平成28年度実施　珪藻分析結果(定性)(２)

種類	生態性			環境指標種	上段：地点名　下段：取上番号・層位																					
					2ﾗｲﾝ	2S-763	2S-763	東側溝		4ライントレンチ				6ライントレンチ												
	塩分	pH	流水		7821	1929	2118	9030	9031	8671	8671	8804	8685	9228	9229	9230	9231	9232	9233	9234	9235	9236	9237	9238	9239	9240
										12層	17層			23層	35層	38層	42層	43層	73層	75層	85層	88層	89層	95層	98層	101層
Neidium alpinum Hustedt	Ogh-unk	unk	ind	RA	1	－	－	－	－	－	－	－	－	1	3	2	1	1	2	－	－	－	－	7	－	1
Neidium spp.	Ogh-unk	unk	unk		2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－
Nitzschia amphibia Grunow	Ogh-ind	al-bi	ind	S	7	12	－	10	6	－	－	－	－	－	3	1	5	1	1	2	10	3	2	1	－	1
Nitzschia sinuata (W.Smith) Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	U	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	2	－	－	－	－	－	2	－	1	－	－
Nitzschia spp.	Ogh-unk	unk	unk		－	1	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Pinnularia borealis Ehrenberg	Ogh-ind	ind	ind	RA	－	1	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	7	－	－	－	－	2	－	－	－	－
Pinnularia gibba Ehrenberg	Ogh-ind	ac-il	ind	O	－	－	－	－	3	2	－	－	－	3	－	－	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Pinnularia microstauron (Ehr.) Cleve	Ogh-ind	ac-il	ind	S	6	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Pinnularia subcapitata Gregory	Ogh-ind	ac-il	ind	RB,S	－	11	－	2	8	－	－	－	1	24	18	13	23	19	11	17	33	33	20	66	12	－
Pinnularia viridis (Nitz.) Ehrenberg	Ogh-ind	ind	ind	O	15	－	6	1	8	－	－	－	1	－	－	－	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Pinnularia spp.	Ogh-unk	unk	unk		1	－	－	1	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Placoneis elginensis (Greg.) Cox	Ogh-ind	al-il	ind	O,U	16	6	－	3	－	－	－	－	－	6	5	4	13	5	3	1	6	12	2	－	－	－
Planothidium lanceolatum (Breb. ex Kuetz.) Lange-Bertalot	Ogh-ind	ind	r-ph	K,T	32	23	110	40	35	－	－	－	－	110	－	2	6	3	－	－	5	1	－	－	－	－
Rhoicosphenia abbreviata (Ag.) Lang-Bertalot	Ogh-hil	al-il	r-ph	K,T	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	2	－	－	－	－
Sellaphora pupula (Kuetz.) Mereschkowsky	Ogh-ind	ind	ind	S,U	－	－	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3	－	－	－	－	－	－
Stauroneis phoenicenteron (Nitz.) Ehrenberg	Ogh-ind	ind	l-ph	N,O,U	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	2
Surirella minuta Brebisson	Ogh-ind	al-il	r-ph	U	1	－	－	1	3	－	－	－	－	5	－	－	3	－	2	2	5	－	1	－	－	－
Surirella spp.	Ogh-unk	unk	unk		1	－	－	1	1	－	1	－	－	－	－	－	1	－	1	－	－	－	－	－	－	1
海水生種					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
海水～汽水生種					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	4	0	1	0	0	0	6
汽水生種					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1	1	0	0
淡水～汽水生種					0	0	0	9	8	2	3	0	0	5	3	7	1	1	1	4	1	0	1	35	0	0
淡水生種					274	127	179	193	193	5	3	11	20	200	153	158	205	128	72	96	202	200	98	165	70	18
珪藻化石総数					274	127	179	202	201	7	6	11	20	205	156	166	207	130	73	104	203	203	100	202	70	24

凡例

塩分・ｐＨ・流水に対する適応性

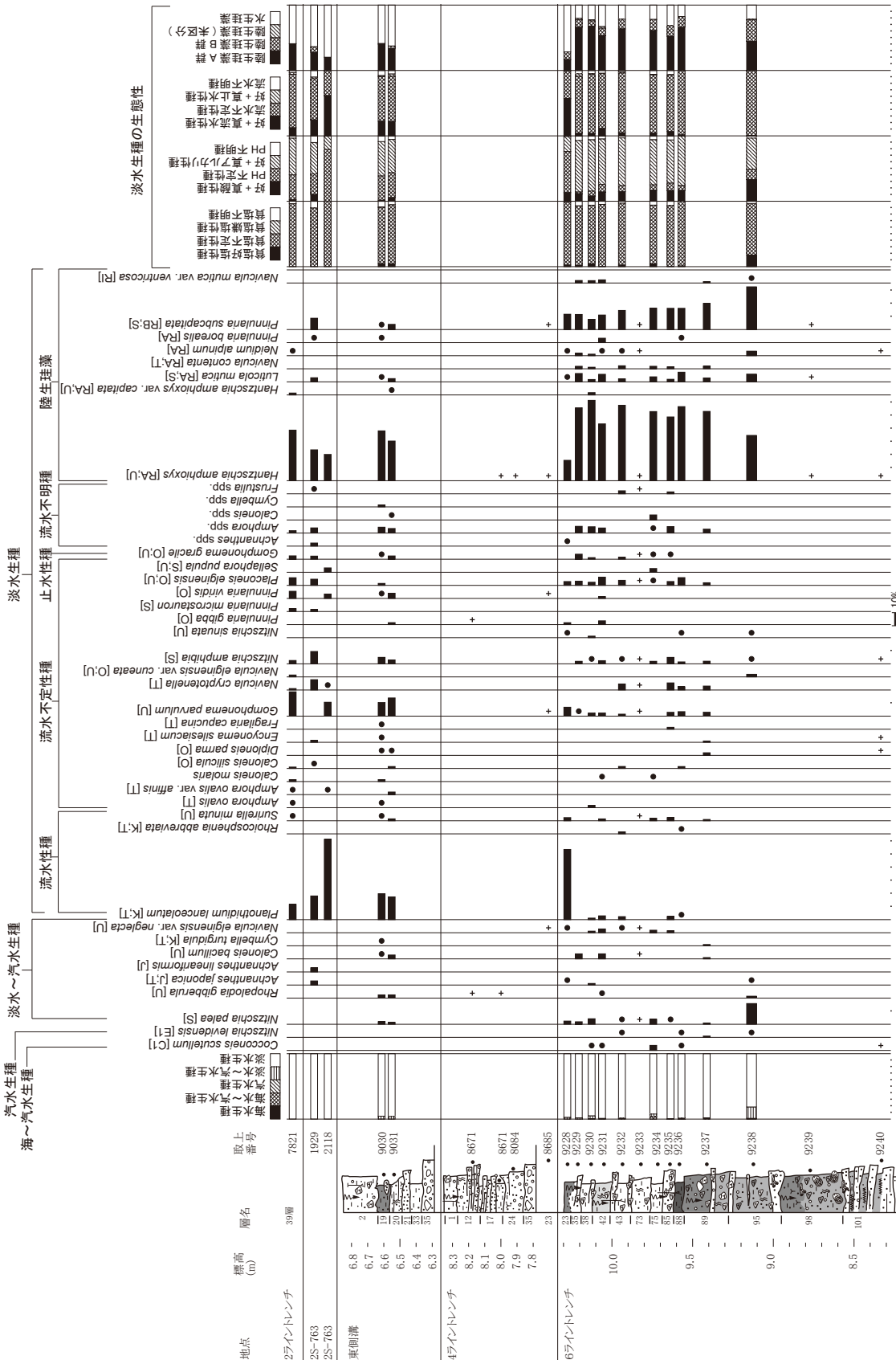
H.R.:塩分濃度に対する適応性
- Euh　:海水生種
- Euh-Meh:海水生種-汽水生種
- Meh　:汽水生種
- Ogh-hil:貧塩好塩性種
- Ogh-ind:貧塩不定性種
- Ogh-hob:貧塩嫌塩性種
- Ogh-unk:貧塩不明種

pH:水素ｲｵﾝ濃度に対する適応性
- al-bi:真ｱﾙｶﾘ性種
- al-il:好ｱﾙｶﾘ性種
- ind　:pH不定性種
- ac-il:好酸性種
- ac-bi:真酸性種
- unk　:pH不明種

C.R.:流水に対する適応性
- l-bi:真止水性種
- l-ph:好止水性種
- ind :流水不定性種
- r-ph:好流水性種
- r-bi:真流水性種
- unk :流水不明種

環境指標種

A:外洋指標種　B:内湾指標種　C1:海水藻場指標種　C2:汽水藻場指標種
D1:海水砂質干潟指標種　D2:汽水砂質干潟指標種
E1:海水泥質干潟指標種　E2:汽水泥質干潟指標種　F:淡水底生種群（以上は小杉，1988）
G:淡水浮遊生種群　H:河口浮遊性種群　J:上流性河川指標種　K:中～下流性河川指標種
L:最下流性河川指標種群　M:湖沼浮遊性種　N:湖沼沼沢湿地指標種　O:沼沢湿地付着生種
P:高層湿原指標種群　Q:陸域指標種群　（以上は安藤，1990）
S:好汚濁性種　T:好清水性種　U:広適応性種（以上はAsai,K. & Watanabe,T.1995）
RI:陸生珪藻（RA:A群,RB:B群、伊藤・堀内，1991）



第Ⅴ－３－１図　平成28年度実施　珪藻化石群集の層位分布（定性）

第Ⅴ－３－２表　平成28年度実施　珪藻分析結果(定量)(１)

種類	生態性			環境指標種	上段:地点名　下段:取上番号・層位																				
					2ライン	2S-763	2S-763	東側溝		4ライントレンチ				6ライントレンチ											
	塩分	pH	流水		7821	1929	2118	9030	9031	8671	8671	8804	8685	9228	9229	9230	9231	9232	9233	9234	9235	9236	9237	9238	9239	9240
										12層	17層			23層	35層	38層	42層	43層	73層	75層	85層	88層	89層	95層	98層	101層
Arachnoidiscus ehrenbergii Bailey et Ehrenberg	Euh			A,B	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	775	－	－
Cocconeis scutellum Ehrenberg	Euh-Meh			C1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	345	307	－	518	3569	－	4994	－	－	－	3919
Cocconeis spp.	Euh-Meh				－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1960
Nitzschia levidensis (W.Smith) Grunow	Meh			E1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	941	－	－	－	9987	1091	775	－	－
Navicula veneta Kuetzing	Ogh-Meh	al-il	ind	U	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		－	1554	－	－	－	－	－	－	－
Nitzschia frustulum (Kuetz.) Grunow	Ogh-Meh	al-bi	ind	O,U	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1554	－	－	－	－	－	－	－
Nitzschia frustulum var. *inconspicua* Grunow	Ogh-Meh	al-il	ind		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2072	－	－	－	－	－	－	－
Nitzschia levidensis var. *victoriae* (Grun.) Cholnoky	Ogh-Meh	al-il	ind	U	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		－	－	－	518	－	－	－	－	－	－	－
Nitzschia macilenta Gregory	Ogh-Meh	unk	ind	U	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	518	－	－	－	－	－	－	－
Nitzschia palea (Kuetz.) W.Smith	Ogh-Meh	ind	ind	S	－	－	－	1276	2114	－	－	－	－	3366	1179	2414	－	941	518	3569	494	－	1091	24815	－	－
Rhopalodia gibberula (Ehr.) Mueller	Ogh-Meh	al-il	ind	U	－	－	－	1594	3523	372	761	－	－	－	－	－	307	－	－	－	－	－	－	2326	－	－
Achnanthes japonica H.Kobayasi	Ogh-ind	al-il	r-bi	J,T	－	2507	－	－	－	－	－	－	－	673	－	690	－	－	－	－	－	－	－	775	－	－
Achnanthes lineariformis H.Kobayasi	Ogh-ind	ind	r-bi	J	－	2507	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Achnanthes spp.	Ogh-unk	unk	unk		－	1880	－	－	－	－	－	－	－	673	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Amphora montana Krasske	Ogh-ind	ind	ind	RA	10741	3133	－	2870	4933	－	－	－	－	－	3144	2758	2455	－	13988	892	4941	－	3273	－	815	－
Amphora ovalis (Kuetz.) Kuetzing	Ogh-ind	al-il	ind	T	4296	－	－	319	－	－	－	－	－	－	－	1034	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Amphora ovalis var. *affinis* (Kuetz.) Van Heurck	Ogh-ind	al-il	ind	T	2148	－	5813	－	2819	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Caloneis bacillum (Grun.) Cleve	Ogh-ind	al-il	r-ph	U	－	－	－	319	4228	－	－	－	－	－	2358	－	2455	－	1036	－	－	－	1091	－	1630	－
Caloneis branderii (Hust.) Krammer	Ogh-unk	unk	l-ph		－	－	－	638	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Caloneis molaris (Grun.) Krammer	Ogh-ind	ind	ind		8593	－	－	957	－	－	－	－	－	－	－	－	614	－	－	892	－	－	－	－	－	－
Caloneis silicula (Ehr.) Cleve	Ogh-ind	al-il	ind	O	6445	627	－	－	2114	－	－	－	－	－	－	－	－	1882	－	－	－	14981	－	－	－	－
Caloneis spp.	Ogh-unk	unk	unk		－	－	－	－	1409	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3569	－	－	－	－	－	－
Cocconeis placentula (Ehr.) Cleve	Ogh-ind	al-il	ind	U	－	－	－	319	705	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Cocconeis placentula var. *euglypta* (Ehr.) Cleve	Ogh-ind	al-il	r-ph	T	2148	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Cocconeis spp.	Ogh-unk	unk	unk		－	－	－	－	－	－	－	1510	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Cymbella aspera (Ehr.) Cleve	Ogh-ind	al-il	ind	O,T	－	－	－	319	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	980
Cymbella minuta Hilse ex Rabenhorst	Ogh-ind	ind	r-ph	K,T	－	－	－	319	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1630	－
Cymbella turgidula Grunow	Ogh-ind	al-il	r-ph	K,T	－	－	－	319	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1091	－	－	－
Cymbella spp.	Ogh-unk	unk	unk		－	－	－	957	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Diploneis parma Cleve	Ogh-ind	ind	ind	O	－	－	－	638	705	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2182	－	－	980
Encyonema silesiacum (Bleisch in Rabenh.) D.G.Mann	Ogh-ind	ind	ind	T	－	1253	－	319	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1091	－	－	980
Eunotia implicata Noepel & Lange-Bertalot	Ogh-hob	ac-il	ind	O	－	－	－	319	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	815	－
Eunotia spp.	Ogh-unk	unk	unk		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	518	－	－	－	－	－	－	－
Fragilaria capucina Desmazieres	Ogh-ind	al-il	ind	T	－	－	－	319	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1036	－	1482	－	－	－	－	－
Fragilaria ulna (Nitzsch) Lange-Bertalot	Ogh-ind	al-il	ind	O,U	－	－	－	－	705	－	－	－	－	－	－	－	－	－	518	－	－	－	－	775	1630	－
Fragilaria spp.	Ogh-unk	unk	unk		－	627	－	638	－	372	－	－	－	－	－	－	－	－	1036	－	－	－	－	－	－	－
Frustulia vulgaris (Thwaites) De Toni	Ogh-ind	al-il	ind	U	－	627	－	－	705	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1036	－	－	－	－	－	815	－
Frustulia spp.	Ogh-unk	unk	unk		－	627	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2824	518	－	1482	－	－	－	－	－
Gomphonema gracile Ehrenberg	Ogh-ind	al-il	l-ph	O,U	15037	1880	－	319	3523	－	－	－	－	－	2358	690	－	1882	1554	892	494	－	－	－	－	－
Gomphonema parvulum (Kuetz.) Kuetzing	Ogh-ind	ind	ind	U	109558	－	110455	6697	19731	－	－	－	5104	9425	393	1379	1534	1882	1554	－	2965	34956	3273	－	－	－
Gomphonema spp.	Ogh-unk	unk	unk		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	518	－	－	－	－	－	－	－
Hantzschia amphioxys (Ehr.) Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	RA,U	227710	18800	209284	24555	42986	－	507	6795	5833	21542	34188	35168	27620	70591	7771	49072	48920	574277	57818	54282	41557	9798
Hantzschia amphioxys var. *capitata* Muller	Ogh-ind	al-il	ind	RA,U	8593	－	－	－	705	－	－	－	－	－	－	1034	－	－	1554	－	－	－	－	－	－	－
Hantzschia amphioxys var. *maior* Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	RA,U	2148	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Luticola mutica (Kuetz.)D.G.Mann	Ogh-ind	al-il	ind	RA,S	－	2507	－	638	3523	－	－	－	－	673	3930	1034	3683	2824	3626	3569	1977	74906	3273	9306	16297	－
Meridion circulare (Grev.) C.Agardh	Ogh-ind	al-il	r-bi	K,T	－	－	－	319	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Navicula constans var. *symmetrica* Hustedt	Ogh-unk	unk	unk	O,U	－	627	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Navicula contenta Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	RA,T	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1179	690	－	2824	2072	1784	1482	－	2182	－	－	－
Navicula cryptotenella Lange-Bertalot	Ogh-ind	ind	ind	T	6445	6267	5813	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	5647	1554	－	5436	24969	3273	－	－	－
Navicula elginensis var. *cuneata* H.Kobayasi	Ogh-ind	al-il	ind	O,U	8593	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3102	－	－

第Ⅴ－３－２表　平成28年度実施　珪藻分析結果(定量)(２)

種類	生態性			環境指標種	上段:地点名　下段:取上番号・層位																				
					2ライン	2S-763	2S-763	東側溝		4ライントレンチ				6ライントレンチ											
	塩分	pH	流水		7821	1929	2118	9030	9031	8671	8671	8804	8685	9228	9229	9230	9231	9232	9233	9234	9235	9236	9237	9238	9239	9240
										12層	17層			23層	35層	38層	42層	43層	73層	75層	85層	88層	89層	95層	98層	101層
Navicula elginensis var. *neglecta* (Krass.) Patrick	Ogh-ind	al-il	r-ph	U	－	－	－	－	－	－	－	－	2188	673	－	690	1841	941	1036	1784	1482	－	－	－	－	－
Navicula mutica var. *ventricosa* (Kuetz.) Cleve	Ogh-ind	al-il	ind	RI	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1179	1034	1534	－	518	－	－	－	1091	1551	－	－
Navicula spp.	Ogh-unk	unk	unk		－	627	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1036	－	－	－	－	－	815	－
Neidium alpinum Hustedt	Ogh-unk	unk	ind	RA	2148	－	－	－	－	－	－	－	－	673	1179	690	307	941	1036	－	－	－	－	5428	－	980
Neidium spp.	Ogh-unk	unk	unk		4296	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	892	－	－	－	－	－	－
Nitzschia amphibia Grunow	Ogh-ind	al-bi	ind	S	15037	7520	－	3189	4228	－	－	－	－	－	1179	345	1534	941	518	1784	4941	14981	2182	775	－	980
Nitzschia brevissima Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	RB,U	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	518	－	－	－	－	－	2445	－
Nitzschia fonticola Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	U	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	518	－	－	－	－	－	－	－
Nitzschia sinuata (W.Smith) Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	U	－	－	－	－	－	－	－	－	－	673	－	690	－	－	－	－	－	9987	－	775	815	－
Nitzschia spp.	Ogh-unk	unk	unk		－	627	－	－	705	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Pinnularia borealis Ehrenberg	Ogh-ind	ind	ind	RA	－	627	－	638	－	－	－	－	－	－	－	－	2148	－	－	－	－	9987	－	－	8148	－
Pinnularia gibba Ehrenberg	Ogh-ind	ac-il	ind	O	－	－	－	－	2114	372	－	－	－	2020	－	－	1841	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Pinnularia microstauron (Ehr.) Cleve	Ogh-ind	ac-il	ind	S	12889	1253	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	518	－	－	－	－	－	1630	－
Pinnularia subcapitata Gregory	Ogh-ind	ac-il	ind	RB,S	－	6893	－	638	5637	－	－	－	729	16157	7073	4482	7058	17883	2072	15168	16307	164792	21818	51181	9778	－
Pinnularia viridis (Nitz.) Ehrenberg	Ogh-ind	ind	ind	O	32223	－	34881	319	5637	－	－	－	729	－	－	－	921	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Pinnularia spp.	Ogh-unk	unk	unk		2148	－	－	319	－	186	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Placoneis elginensis (Greg.) Cox	Ogh-ind	al-il	ind	O,U	34371	3760	－	957	－	－	－	－	－	4039	1965	1379	3990	4706	1036	892	2965	59925	2182	－	－	－
Planothidium lanceolatum (Breb. ex Kuetz.) Lange-Bertalot	Ogh-ind	ind	r-ph	K,T	68742	14414	639478	12756	24664	－	－	－	－	74051	－	690	1841	2824	－	－	2471	4994	－	－	－	－
Rhoicosphenia abbreviata (Ag.) Lang-Bertalot	Ogh-hil	al-il	r-ph	K,T	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1882	－	－	－	9987	－	－	－	－
Sellaphora pupula (Kuetz.) Mereschkowsky	Ogh-ind	ind	ind	S,U	－	－	34881	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1554	2677	－	－	－	－	－	－
Staurosira construens var. *venter* (Ehr.) Hamilton	Ogh-ind	al-il	l-ph	S	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	518	－	－	－	－	－	－	－
Stauroneis obtusa Lagerst	Ogh-ind	ind	ind	RB	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1036	－	－	－	－	－	－	－
Stauroneis phoenicenteron (Nitz.) Ehrenberg	Ogh-ind	ind	l-ph	N,O,U	－	－	－	－	1409	－	－	－	－	－	－	－	307	－	－	－	－	－	－	－	－	1960
Surirella minuta Brebisson	Ogh-ind	al-il	r-ph	U	2148	－	－	319	2114	－	－	－	－	3366	－	－	921	－	1036	1784	2471	－	1091	－	－	－
Surirella ovata var. *pinnata* (W.Smith) Hustedt	Ogh-ind	al-il	r-ph	U	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	518	－	－	－	－	－	－	－
Surirella spp.	Ogh-unk	unk	unk		2148	－	－	319	705	－	254	－	－	－	－	－	307	－	518	－	－	－	－	－	－	980
海水生種					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	775	0	0
海水～汽水生種					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	345	307	0	518	3569	0	4994	0	0	0	5879
汽水生種					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	941	0	0	0	9987	1091	775	0	0
淡水～汽水生種					0	0	0	2870	5637	372	761	0	0	3366	1179	2414	307	941	6735	3569	494	0	1091	27141	0	0
淡水生種					588608	79588	1040604	61546	136004	930	761	8305	14583	134638	60124	54477	62912	120476	53879	85653	99817	998742	106909	127951	88818	17637
1g中の珪藻化石総数					588608	79588	1040604	64416	141641	1302	1522	8305	14583	138004	61303	57235	63526	122358	61132	92791	100311	1013722	109091	156643	88818	23516

凡例

塩分・ｐＨ・流水に対する適応性

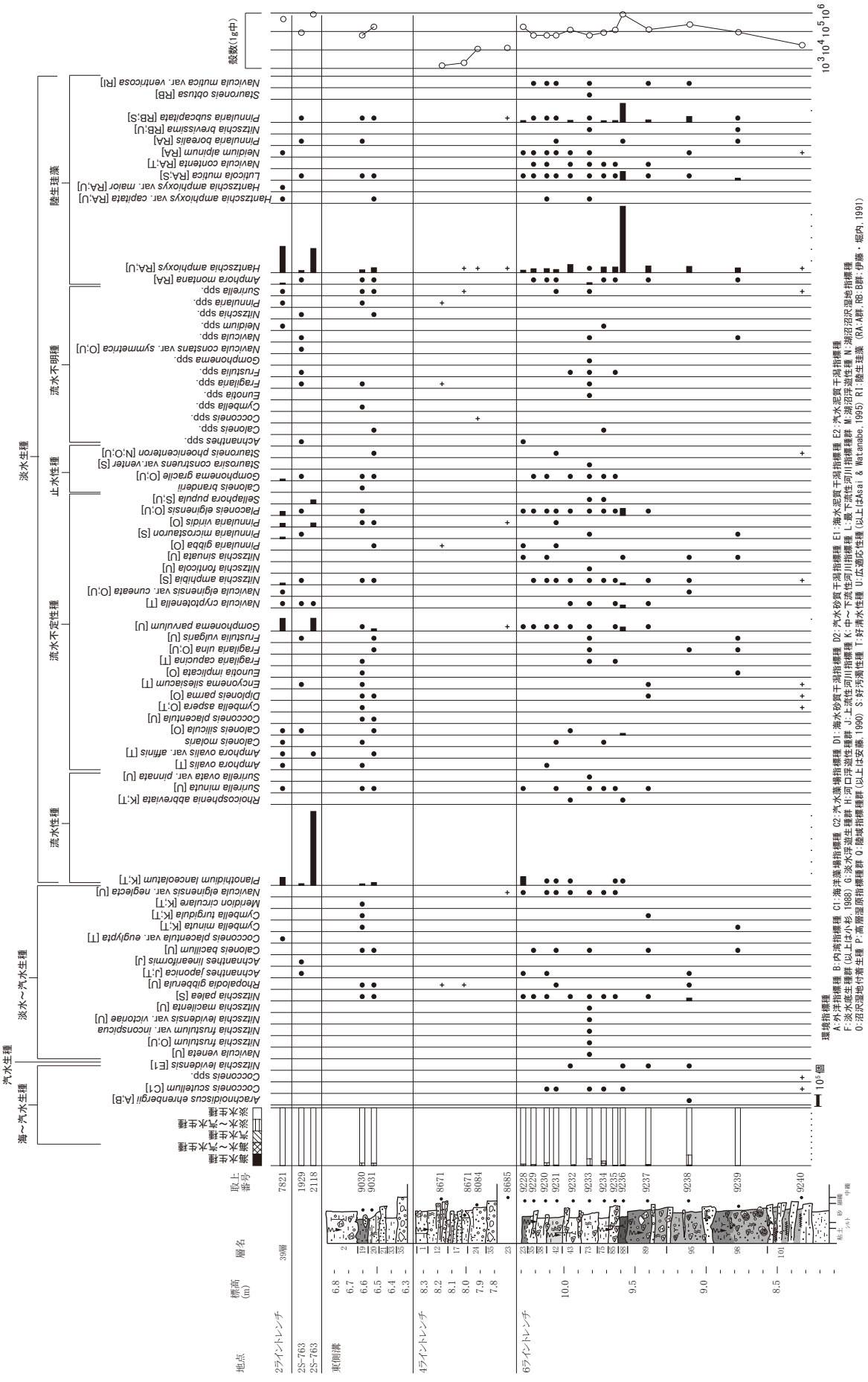
H.R.:塩分濃度に対する適応性
- Euh　:海水生種
- Euh-Meh:海水生種-汽水生種
- Meh　:汽水生種
- Ogh-hil:貧塩好塩性種
- Ogh-ind:貧塩不定性種
- Ogh-hob:貧塩嫌塩性種
- Ogh-unk:貧塩不明種

pH:水素ｲｵﾝ濃度に対する適応性
- al-bi:真ｱﾙｶﾘ性種
- al-il:好ｱﾙｶﾘ性種
- ind　:pH不定性種
- ac-il:好酸性種
- ac-bi:真酸性種
- unk　:pH不明種

C.R.:流水に対する適応性
- l-bi:真止水性種
- l-ph:好止水性種
- ind :流水不定性種
- r-ph:好流水性種
- r-bi:真流水性種
- unk :流水不明種

環境指標種

A:外洋指標種　B:内湾指標種　C1:海水藻場指標種　C2:汽水藻場指標種
D1:海水砂質干潟指標種　D2:汽水砂質干潟指標種
E1:海水泥質干潟指標種　E2:汽水泥質干潟指標種　F:淡水底生種群（以上は小杉，1988）
G:淡水浮遊生種群　H:河口浮遊性種群　J:上流性河川指標種　K:中～下流性河川指標種
L:最下流性河川指標種群　M:湖沼浮遊性種　N:湖沼沼沢湿地指標種　O:沼沢湿地付着生種
P:高層湿原指標種群　Q:陸域指標種群　（以上は安藤，1990）
S:好汚濁性種　T:好清水性種　U:広適応性種（以上はAsai,K. & Watanabe,T.1995）
RI:陸生珪藻（RA:A群,RB:B群、伊藤・堀内，1991）



環境指標種
A:外洋指標種 B:内湾指標種 C1:海洋藻場指標種 C2:汽水藻場指標種 D1:海水砂質干潟指標種 D2:汽水砂質干潟指標種 E1:海水泥質干潟指標種 E2:汽水泥質干潟指標種
F:淡水底生種群(以上は小杉, 1988) G:淡水浮遊生種群 H:河口浮遊性種群 J:上流性河川指標種群 K:中～下流性河川指標種群 L:最下流性河川指標種群 M:湖沼浮遊性種 N:湖沼沼沢湿地指標種
O:沼沢湿地付着生種 P:高層湿原指標種群 Q:陸域指標種群(以上は安藤, 1990) S:好汚濁性種 T:好清水性種 U:広適応性種(以上はAsai & Watanabe, 1995) RI:陸生珪藻(RA:A群, RB:B群; 伊藤・堀内, 1991)

第Ⅴ－３－２図　平成28年度実施　珪藻化石群集の層位分布(定量)

する種群が存在し、これらを陸生珪藻と呼んで、水中で生育する種群と区分している。陸生珪藻は、陸域の乾いた環境を指標することから、古環境を推定する上で極めて重要な種群である。№7821は、水生珪藻が60％、陸生珪藻が40％の割合で産出する。№1929、№2118では、水生珪藻が優占するが、陸生珪藻も比較的多い。№9030、9031では、水生珪藻が60％、陸生珪藻が33％～40％産出する。№9228以降は、№9228では水生珪藻が優占するが、№9229以降は64％～77％程度で陸生珪藻が優占する。

なお、本分析試料に認められた珪藻化石群集は生育環境を異にした種群が同時に認められた事から混合群集といえる。特徴的に見られた種は、淡水生種で流水性種のPlanothidium lanceolatum、流水不定種のGomphonema parvulum、陸生珪藻のHantzschia amphioxys、Pinnularia subcapitataである。

２　平成30年度実施分の結果

定性分析結果を第Ⅴ－３－３表（１）･（２）、第Ⅴ－３－４図、定量分析結果を第Ⅴ－３－４表（１）･（２）、第Ⅴ－３－５図に示す。珪藻分析を行った31試料のうち４ライントレンチ4638-102層および６ライントレンチ13-37層を除く29試料から珪藻が産出した。珪藻が産出した試料のうち、５ライントレンチ5458-10層、5460-66層、5460-67層、5460-72層下部、5460-75層、5459-77層、６ライントレンチ19-51層、15-92層の計11試料からは100体個以上産出したが、その他の試料の産出数は少ない。

堆積物１gあたりの珪藻殻数は、５ライントレンチでは、5459-77層で7000個体程度、5460-75層および5460-10層で1500個体程度、5460-72層下部、5460-67層、5460-66層の３試料では3000個体程度、そのほかの試料では1000個体以下である。２S-1141の３試料では50～110個体程度である。６ライントレンチでは、17-100層、16-98層、14-77層、18-50層、13-37層、12-23層は、いずれも０～400個体と少なく、15-92層で1500個体、19-51層で2000個体程度である。以下、地点ごとに述べる。

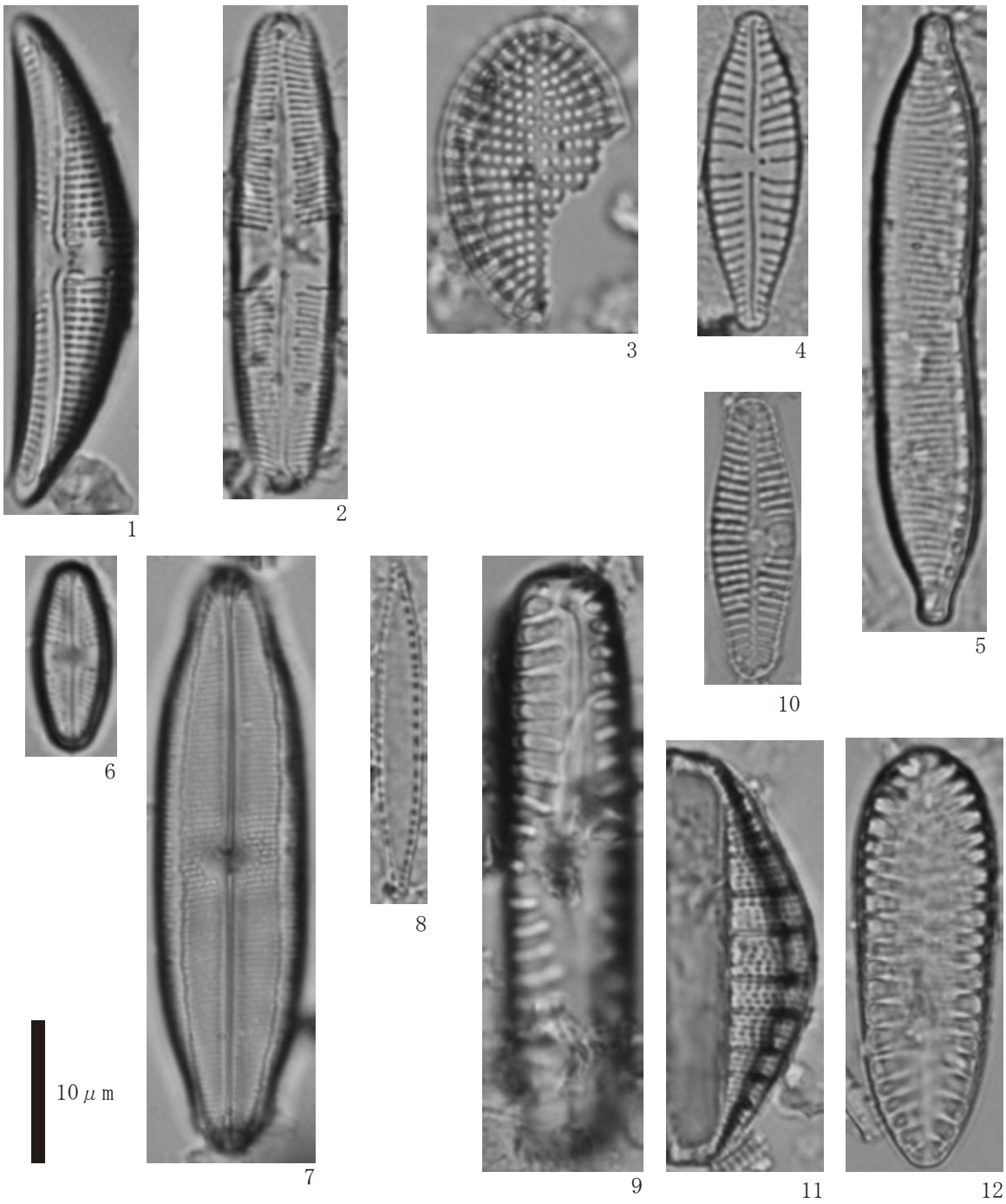
・４ライントレンチ

4638-102層は無化石であった。

・５ライントレンチ

本地点の100個体以上産出した試料の淡水生の群集の特徴について、生態性（珪藻の３つの適応性：水中の塩分・pH・流水に対する適応性）を整理してみた場合、以下のような傾向が認められる。まず、塩分に対する適応性は、全体的に貧塩不定性種が優先する。次に、pHに対する適応性は、77層は貧塩不定性種が優先し、75層でアルカリ性種が優先する。5460-72層、5460-67層、5460-66層では酸性種、アルカリ性種が20～30%産出し、10層ではpH不定性種が優先するが、アルカリ性種も30%程度産出する。流水性の適応性は、全体的に流水不定性種が優先するが、流水性種も5459-77層で60%程度、5460-75層、5460-72層下部、5460-67層、5460-66層、5458-10層で10～20%程度産出する。また、5458-10層、5460-66層、5460-67層、5460-72層下部、5459-77層では水生珪藻が優先するが、75層では陸生珪藻が80%以上産出する。

なお、本地点の珪藻群集は生育環境を異にした種群が同時に認められた事から混合群集といえる。特徴的に産出した種は、淡水～汽水生種のNavicula veneta、淡水性種で流水性種のMelosira varians、Planothidium lanceolatum、淡水性種で流水不定性種のGomphonema parvulum、Pinnularia gibba、陸生珪藻のAmphora montana、Hantzschia amphioxys、Luticola mutica、Pinnularia subcapitata等である。



1．*Amphora ovalis* var. *affinis* (Kuetz.) Van Heurck (No.2118)
2．*Caloneis molaris* (Grun.) Krammer (No.7821)
3．*Cocconeis scutellum* Ehrenberg (No.9231(42層))
4．*Gomphonema parvulum* (Kuetz.) Kuetzing (No.2118)
5．*Hantzschia amphioxys* (Ehr.) Grunow (No.2118)
6．*Luticola mutica* (Kuetz.)D.G.Mann (No.2118)
7．*Neidium alpinum* Hustedt (No.9230(38層))
8．*Nitzschia palea* (Kuetz.) W.Smith (No.9030)
9．*Pinnularia borealis* Ehrenberg (No.9231(42層))
10．*Planothidium lanceolatum* (Breb. ex Kuetz.) (No.7821)
11．*Rhopalodia gibberula* (Ehr.) Mueller (No.9231(42層))
12．*Surirella minuta* Brebisson (No.9230(38層))

第Ⅴ－３－３図　平成28年度実施　珪藻分析(珪藻化石)

第Ⅴ－３－３表　平成30年度実施　珪藻分析結果(定性)(１)

種類	生態性			環境指標種	4ライントレンチ	5ライントレンチ																		2S-1141			6ライントレンチ							
	塩分	pH	流水		4638 102層	5460 13層	5460 14層	5460 29層	5460 35層	5460 52層 下部	5460 61層	5460 63層 下部	5460 65層 下部	5460 66層	5460 67層	5460 71層	5460 72層 下部	5460 74層	5460 75層	5460 76層	5456 77層	5457 77層	5458 10層	5459 77層	3468 12層 上部	3529 11層 下部	3529 12層	12 23層	13 37層	14 77層	15 92層	16 98層	17 100層	18 50層	19 51層
Cocconeis scutellum Ehrenberg	Euh-Meh			C1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	23	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Navicula peregrina (Ehr.) Kuetzing	Meh			E1,E2	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Nitzschia levidensis (W.Smith) Grunow	Meh			E1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Nitzschia levidensis var. *salinarum* Grunow	Meh			E1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Bacillaria paradoxa Gmelin	Ogh-Meh	al-bi	l-ph	U	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	4	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Navicula capitata Ehrenberg	Ogh-Meh	al-il	r-ph	U,D,E	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Navicula veneta Kuetzing	Ogh-Meh	al-il	ind	U	–	–	–	–	–	14	–	–	3	13	24	3	3	–	8	–	–	–	3	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	7
Navicula spp.	Ogh-Meh	al-il	ind		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	10	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Nitzschia palea (Kuetz.) W.Smith	Ogh-Meh	ind	ind	S	–	–	–	2	–	–	3	–	–	–	17	4	8	–	3	–	–	3	2	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1
Nitzschia spp.	Ogh-Meh	unk	unk		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Rhopalodia gibberula (Ehr.) Mueller	Ogh-Meh	al-il	ind	U	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2
Achnanthes crenulata Grunow	Ogh-ind	al-bi	l-ph	T	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1
Achnanthes exigua Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	S	–	–	–	–	–	–	–	–	–	5	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–
Achnanthes spp.	Ogh-unk	unk	unk		–	–	–	–	–	–	–	–	–	3	–	1	7	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	3	–	–	–	–
Achnanthidium minutissimum (Kuetz.) Czarn	Ogh-ind	al-il	ind	U	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	5	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Amphora montana Krasske	Ogh-ind	ind	ind	RA	–	–	2	–	7	7	2	–	–	23	8	7	–	3	18	–	–	–	8	15	–	–	–	–	–	5	18	–	–	–	23
Amphora ovalis (Kuetz.) Kuetzing	Ogh-ind	al-il	ind	T	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Amphora ovalis var. *affinis* (Kuetz.) Van Heurck	Ogh-ind	al-il	ind	T	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3	–	–	3	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–
Amphora spp.	Ogh-unk	unk	unk		–	–	–	–	–	2	–	–	–	7	2	2	5	–	3	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2
Aulacoseira italica (Ehr.) Simonsen	Ogh-ind	al-il	l-ph	U	–	–	–	–	–	–	5	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Aulacoseira spp.	Ogh-unk	unk	l-ph	U	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Caloneis aerophila Bock	Ogh-ind	al-il	ind	RA	–	2	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Caloneis molaris (Grun.) Krammer	Ogh-ind	ind	ind		–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–
Cocconeis spp.	Ogh-unk	unk	unk		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–
Cymbella aspera (Ehr.) Cleve	Ogh-ind	al-il	ind	O,T	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–
Cymbella naviculiformis Auerswald	Ogh-ind	ind	ind	O	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	10	–	18	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Cymbella spp.	Ogh-unk	unk	unk		–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	3	–	8	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Diploneis parma Cleve	Ogh-ind	ind	ind	O	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Encyonema silesiacum (Bleisch in Rabenh.) D.G.Mann	Ogh-ind	ind	ind	T	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Eunotia pectinalis (Dillwyn) Rabenhorst	Ogh-hob	ac-il	ind	O,T	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Eunotia spp.	Ogh-unk	unk	unk		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1
Fragilaria ulna (Nitzsch) Lange-Bertalot	Ogh-ind	al-il	ind	O,U	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	5	–	2	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	2
Fragilaria spp.	Ogh-unk	unk	unk		–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3
Frustulia rhomboides (Ehr.) De Toni	Ogh-hob	ac-il	l-ph	P	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	–	–	–	3	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Frustulia vulgaris (Thwaites) De Toni	Ogh-ind	al-il	ind	U	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Frustulia spp.	Ogh-unk	unk	unk		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–	2	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Gomphonema parvulum (Kuetz.) Kuetzing	Ogh-ind	ind	ind	U	–	1	–	–	–	–	–	–	–	27	15	3	17	–	–	–	–	3	12	35	2	–	1	1	–	–	5	–	–	–	–
Gomphonema spp.	Ogh-unk	unk	unk		–	–	–	–	–	–	–	–	–	8	3	2	8	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Gyrosigma acuminatum (Kuetz.) Rabenhorst	Ogh-ind	al-il	ind		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Gyrosigma spp.	Ogh-unk	unk	unk		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Hantzschia amphioxys (Ehr.) Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	RA,U	–	34	14	27	15	25	9	2	17	15	12	22	5	–	48	5	1	3	17	23	–	2	–	–	–	24	57	2	1	9	110
Karayevia clevei (Grun.) Bukhtiyarova	Ogh-ind	al-il	l-ph	T	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Luticola mutica (Kuetz.)D.G.Mann	Ogh-ind	al-il	ind	RA,S	–	–	–	1	–	–	2	–	–	1	–	–	–	–	28	–	–	–	8	2	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	3
Melosira varians C.Agardh	Ogh-hil	al-bi	r-ph	K,U	–	–	–	–	–	–	–	–	–	13	4	–	8	2	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Melosira spp.	Ogh-unk	unk	unk		–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	1	–	3	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Meridion circulare var. *constrictum* (Ralfs) Van Heurck	Ogh-ind	al-il	r-bi	K,T	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Navicula confervacea (Kuetz.) Grunow	Ogh-ind	al-bi	ind	RB,S	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Navicula contenta Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	RA,T	–	–	–	–	–	4	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Navicula cryptocephala Kuetzing	Ogh-ind	al-il	ind	U	–	–	–	–	–	–	–	–	–	8	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Navicula cryptotenella Lange-Bertalot	Ogh-ind	ind	ind	T	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3	–	2	8	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1
Navicula elginensis var. *neglecta* (Krass.) Patrick	Ogh-ind	al-il	r-ph	U	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3	8	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Navicula lanceolata (Ag.) Ehrenberg	Ogh-ind	al-il	ind	O,U	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	13	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Navicula mutica var. *ventricosa* (Kuetz.) Cleve	Ogh-ind	al-il	ind	RI	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	–	–	–	–	3	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	2	–	–	2	–
Navicula oppugnata Hustedt	Ogh-ind	al-il	ind	T	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Navicula spp.	Ogh-unk	unk	unk		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3	–	4	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–

第Ⅴ－３－３表　平成30年度実施　珪藻分析結果(定性)(２)

種類	生態性			環境指標種	4ライントレンチ	5ライントレンチ																		2S-1141			6ライントレンチ							
	塩分	pH	流水		4638	5460	5460	5460	5460	5460	5460	5460	5460	5460	5460	5460	5460	5460	5460	5456	5457	5458	5459	3468	3529	3529	12	13	14	15	16	17	18	19
					102層	13層	14層	29層	35層	52層 下部	61層	63層 下部	65層 下部	66層	67層	71層	72層 下部	74層	75層	76層	77層	77層	10層	77層	12層 上部	11層 下部	12層	23層	37層	77層	92層	98層	100層	50層	51層
Neidium ampliatum (Ehr.) Krammer	Ogh-ind	ind	l-ph	O	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	9	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Nitzschia brevissima Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	RB,U	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3	4	–	–	8	–	1	–	2	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Nitzschia umbonata (Ehr.) Lange-Bertalot	Ogh-ind	al-il	ind	U	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1
Nitzschia spp.	Ogh-unk	unk	unk		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Pinnularia acrosphaeria W.Smith	Ogh-ind	al-il	l-ph	N,O,U	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3	7	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Pinnularia borealis Ehrenberg	Ogh-ind	ind	ind	RA	–	–	3	–	–	1	–	–	–	–	5	–	5	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	4	–	–	–	–
Pinnularia gibba Ehrenberg	Ogh-ind	ac-il	ind	O	–	–	–	–	–	–	–	–	–	29	37	–	23	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	3	–	–	–	1
Pinnularia microstauron (Ehr.) Cleve	Ogh-ind	ac-il	ind	S	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	2	–
Pinnularia subcapitata Gregory	Ogh-ind	ac-il	ind	RB,S	–	8	3	17	7	10	15	2	3	34	5	2	8	–	15	–	2	3	–	7	1	–	2	–	–	1	7	–	–	2	13
Pinnularia viridis (Nitz.) Ehrenberg	Ogh-ind	ind	ind	O	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	8	3	–	–	–	–	–	–	–	5	5	2	–	3	–	–	–	–	–	–	–
Pinnularia spp.	Ogh-unk	unk	unk		–	3	2	5	–	–	–	–	–	2	8	–	4	–	2	–	2	–	–	1	–	1	–	2	–	–	–	–	–	–	–
Placoneis elginensis (Greg.) Cox	Ogh-ind	al-il	ind	O,U	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	5	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–
Planothidium lanceolatum (Breb. ex Kuetz.) Lange-Bertalot	Ogh-ind	ind	r-ph	K,T	–	7	–	–	–	–	–	–	5	23	13	5	15	–	2	–	–	–	25	112	–	–	–	–	–	–	20	–	–	2	4
Sellaphora pupula (Kuetz.) Mereschkowsky	Ogh-ind	ind	ind	S,U	–	–	–	–	–	–	–	–	–	8	8	–	17	–	1	–	–	–	2	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Sellaphora spp.	Ogh-unk	unk	unk		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3	–	3	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Stauroneis phoenicenteron (Nitz.) Ehrenberg	Ogh-ind	ind	l-ph	N,O,U	–	–	–	–	–	–	–	–	–	4	–	–	4	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Stauroneis phoenicenteron var. *signata* Meister	Ogh-ind	ind	l-ph	O	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–	2	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Stauroneis smithii Grunow	Ogh-ind	al-il	r-ph	U	–	–	–	–	–	–	–	–	–	6	13	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–
Stauroneis tenera Hustedt	Ogh-ind	ind	ind	RB	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	7	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Stauroneis spp.	Ogh-unk	unk	unk		–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	7	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Surirella angusta Kuetzing	Ogh-ind	al-il	r-bi	U	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	5	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Surirella ovata Kuetzing	Ogh-ind	al-il	r-ph	U	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	1	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Surirella spp.	Ogh-unk	unk	unk		–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	2	–	3	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
海水生種					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
海水～汽水生種					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汽水生種					0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
淡水～汽水生種					0	0	0	2	0	14	3	0	3	13	64	7	12	0	11	0	0	3	7	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	10
淡水生種					0	56	24	50	29	51	35	4	25	243	210	53	227	5	131	5	6	10	95	205	9	5	4	6	0	30	128	2	1	19	165
珪藻化石総数					0	56	24	52	29	65	38	4	28	261	274	60	239	5	142	5	6	13	125	205	9	5	4	6	0	30	130	2	1	19	175

凡例

塩分:塩分濃度に対する適応性　pH:水素イオン濃度に対する適応性　流水:流水に対する適応性

Euh　:海水生種　al-bi:真アルカリ性種　l-bi:真止水性種

Euh-Meh:海水生種-汽水生種　al-il:好アルカリ性種　l-ph:好止水性種

Meh　:汽水生種　ind :pH不定性種　ind :流水不定性種

Ogh-Meh:淡水生種-汽水生種　ac-il:好酸性種　r-ph:好流水性種

Ogh-hil:貧塩好塩性種　ac-bi:真酸性種　r-bi:真流水性種

Ogh-ind:貧塩不定性種　unk :pH不明種　unk :流水不明種

Ogh-hob:貧塩嫌塩性種

Ogh-unk:貧塩不明種

環境指標種

A:外洋指標種 B:内湾指標種 C1:海水藻場指標種 C2:汽水藻場指標種

D1:海水砂質干潟指標種 D2:汽水砂質干潟指標種

E1:海水泥質干潟指標種 E2:汽水泥質干潟指標種 F:淡水底生種群(以上は小杉,1988)

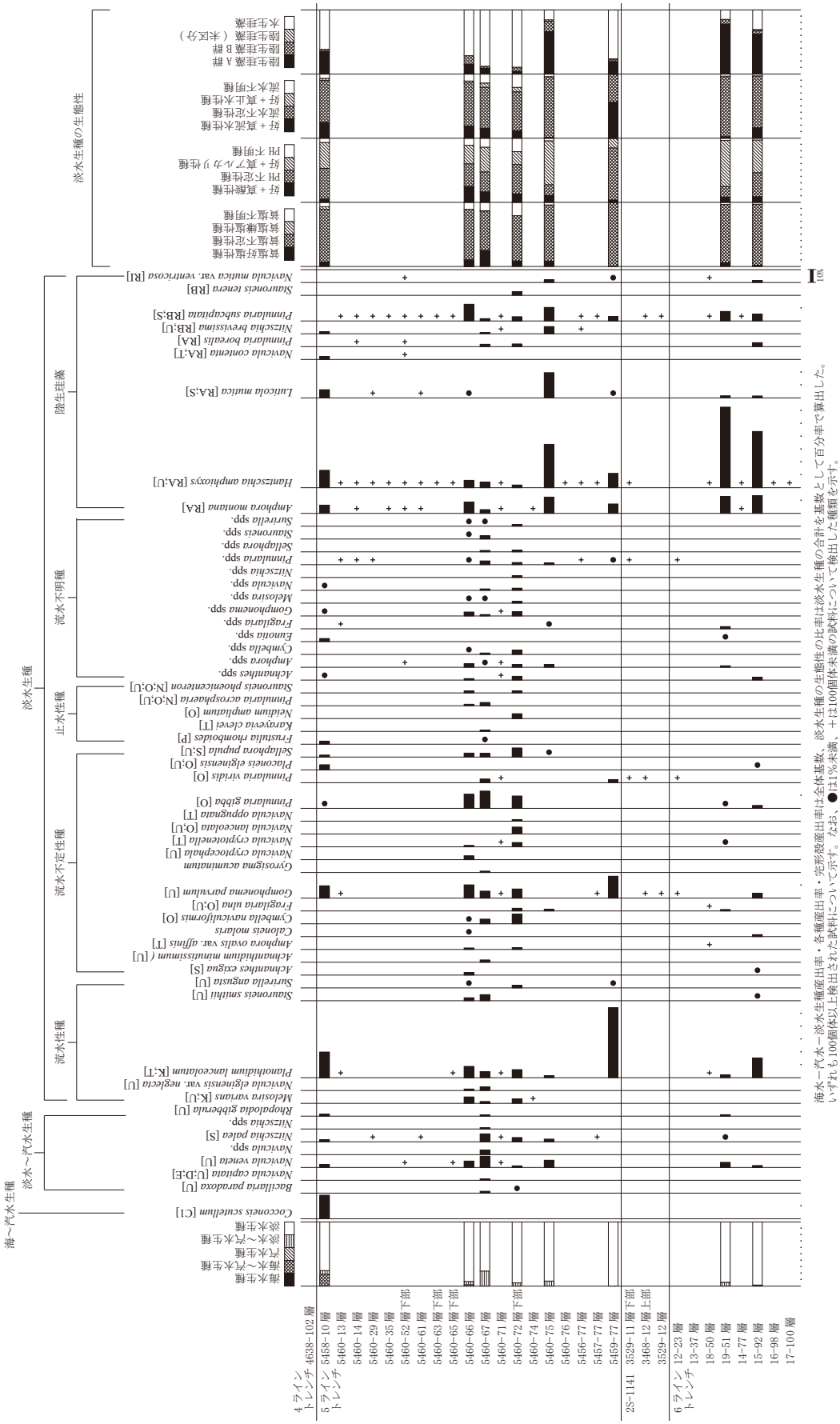
G:淡水浮遊生種群 H:河口浮遊性種群 J:上流性河川指標種 K:中～下流性河川指標種

L:最下流性河川指標種群 M:湖沼浮遊性種 N:湖沼沼沢湿地指標種 O:沼沢湿地付着生種

P:高層湿原指標種群 Q:陸域指標種群(以上は安藤,1990)

S:好汚濁性種 U:広適応性種 T:好清水性種(以上はAsai and Watanabe,1995)

R:陸生珪藻(RA:A群, RB:B群, RI:未区分、伊藤・堀内,1991)



海水～汽水生種産出率・各種産出率・完形殻産出率は全体基数、淡水生種の生態性の比率は淡水生種の合計を基数として百分率で算出した。いずれも100個体以上検出された試料について示す。なお、●は1%未満、＋は100個体未満の試料について検出した種類を示す。

環境指標種
A:外洋指標種 B:内湾指標種 C1:海洋藻場指標種 C2:汽水藻場指標種 D1:海水砂質干潟指標種 D2:汽水砂質干潟指標種
E1:海水泥質干潟指標種 E2:汽水泥質干潟指標種 F:淡水底生種群（以上は小杉, 1988） G:淡水浮遊生種群 H:河口浮遊性種群 I:上流性河川指標種 K:中～下流性河川指標種
L:最下流性河川指標種群 M:湖沼浮遊生種 N:湖沼沼沢湿地指標種 O:沼沢湿地付着生種 P:高層湿原指標種群 Q:陸域指標種群（以上は安藤, 1990）
S:好汚濁性種 T:好清水性種 U:広適応性種（以上はAsai & Watanabe, 1995） RI:陸生珪藻（RA:A群, RB:B群；伊藤・堀内, 1991）

第Ⅴ－３－４図　平成30年度実施　主要珪藻化石群集（定性）

第Ⅴ－３－４表　平成30年度実施　珪藻分析結果(定量)(１)

[個数/g]

種類	生態性			環境指標種	4ライントレンチ	5ライントレンチ																			2S-1141			6ライントレンチ							
	塩分	pH	流水		4638	5460	5460	5460	5460	5460	5460	5460	5460	5460	5460	5460	5460	5460	5460	5456	5457	5458	5459	3468	3529	3529	12	13	14	15	16	17	18	19
					102層	13層	14層	29層	35層	52層下部	61層	63層下部	65層下部	66層	67層	71層	72層下部	74層	75層	76層	77層	77層	10層	77層	12層上部	11層下部	12層	23層	37層	77層	92層	98層	100層	50層	51層
Cocconeis scutellum Ehrenberg	Euh-Meh			C1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	279	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Navicula peregrina (Ehr.) Kuetzing	Meh			E1,E2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Nitzschia levidensis (W.Smith) Grunow	Meh			E1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Nitzschia levidensis var. *salinarum* Grunow	Meh			E1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Bacillaria paradoxa Gmelin	Ogh-Meh	al-bi	l-ph	U	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Navicula capitata Ehrenberg	Ogh-Meh	al-il	r-ph	U,D,E	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Navicula veneta Kuetzing	Ogh-Meh	al-il	ind	U	-	-	-	-	-	173	-	-	39	155	267	39	36	-	82	-	-	-	36	-	-	-	-	-	-	22	-	-	-	78
Navicula spp.	Ogh-Meh	al-il	ind		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	111	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Nitzschia palea (Kuetz.) W.Smith	Ogh-Meh	ind	ind	S	-	-	-	25	-	-	36	-	-	-	189	52	95	-	31	-	-	38	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
Nitzschia spp.	Ogh-Meh	unk	unk		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Rhopalodia gibberula (Ehr.) Mueller	Ogh-Meh	al-il	ind	U	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33	-	-	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22
Achnanthes crenulata Grunow	Ogh-ind	al-bi	l-ph	T	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
Achnanthes exigua Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	S	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-
Achnanthes spp.	Ogh-unk	unk	unk		-	-	-	-	-	-	-	-	-	36	-	13	83	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	33	-	-	-	-	-
Achnanthidium minutissimum (Kuetz.) Czarn	Ogh-ind	al-il	ind	U	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	56	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Amphora montana Krasske	Ogh-ind	ind	ind	RA	-	-	25	-	79	86	24	-	-	274	89	92	-	37	185	-	-	-	97	536	-	-	-	-	-	64	200	-	-	-	256
Amphora ovalis (Kuetz.) Kuetzing	Ogh-ind	al-il	ind	T	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	-	-	-	-	-	-	-	36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Amphora ovalis var. *affinis* (Kuetz.) Van Heurck	Ogh-ind	al-il	ind	T	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36	-	-	36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-
Amphora spp.	Ogh-unk	unk	unk		-	-	-	-	-	25	-	-	-	83	22	26	60	-	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22
Aulacoseira italica (Ehr.) Simonsen	Ogh-ind	al-il	l-ph	U	-	-	-	-	-	-	61	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Aulacoseira spp.	Ogh-unk	unk	l-ph	U	-	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Caloneis aerophila Bock	Ogh-ind	al-il	ind	RA	-	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Caloneis molaris (Grun.) Krammer	Ogh-ind	ind	ind		-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	-	-	-	-
Cocconeis spp.	Ogh-unk	unk	unk		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-
Cymbella aspera (Ehr.) Cleve	Ogh-ind	al-il	ind	O,T	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-
Cymbella naviculiformis Auerswald	Ogh-ind	ind	ind	O	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	111	-	214	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Cymbella spp.	Ogh-unk	unk	unk		-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	33	-	95	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Diploneis parma Cleve	Ogh-ind	ind	ind	O	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Encyonema silesiacum (Bleisch in Rabenh.) D.G.Mann	Ogh-ind	ind	ind	T	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Eunotia pectinalis (Dillwyn) Rabenhorst	Ogh-hob	ac-il	ind	O,T	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Eunotia spp.	Ogh-unk	unk	unk		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
Fragilaria ulna (Nitzsch) Lange-Bertalot	Ogh-ind	al-il	ind	O,U	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60	-	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	22
Fragilaria spp.	Ogh-unk	unk	unk		-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33
Frustulia rhomboides (Ehr.) De Toni	Ogh-hob	ac-il	l-ph	P	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	-	-	-	-	-	-	36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Frustulia vulgaris (Thwaites) De Toni	Ogh-ind	al-il	ind	U	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Frustulia spp.	Ogh-unk	unk	unk		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	24	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Gomphonema parvulum (Kuetz.) Kuetzing	Ogh-ind	ind	ind	U	-	16	-	-	-	-	-	-	-	321	167	39	202	-	-	-	-	38	145	1250	25	-	11	12	-	-	56	-	-	-	-
Gomphonema spp.	Ogh-unk	unk	unk		-	-	-	-	-	-	-	-	-	95	33	26	95	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Gyrosigma acuminatum (Kuetz.) Rabenhorst	Ogh-ind	al-il	ind		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Gyrosigma spp.	Ogh-unk	unk	unk		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Hantzschia amphioxys (Ehr.) Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	RA,U	-	527	176	333	169	309	109	25	222	179	133	288	60	-	492	56	13	38	206	821	-	22	-	-	-	308	633	24	12	102	1222
Karayevia clevei (Grun.) Bukhtiyarova	Ogh-ind	al-il	l-ph	T	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Luticola mutica (Kuetz.)D.G.Mann	Ogh-ind	al-il	ind	RA,S	-	-	-	12	-	-	24	-	-	12	-	-	-	-	287	-	-	-	97	71	-	-	-	-	-	-	22	-	-	-	33
Melosira varians C.Agardh	Ogh-hil	al-bi	r-ph	K,U	-	-	-	-	-	-	-	-	-	155	44	-	95	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Melosira spp.	Ogh-unk	unk	unk		-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	11	-	36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Meridion circulare var. *constrictum* (Ralfs) Van Heurck	Ogh-ind	al-il	r-bi	K,T	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Navicula confervacea (Kuetz.) Grunow	Ogh-ind	al-bi	ind	RB,S	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Navicula contenta Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	RA,T	-	-	-	-	-	49	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Navicula cryptocephala Kuetzing	Ogh-ind	al-il	ind	U	-	-	-	-	-	-	-	-	-	95	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Navicula cryptotenella Lange-Bertalot	Ogh-ind	ind	ind	T	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36	-	26	95	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
Navicula elginensis var. *neglecta* (Krass.) Patrick	Ogh-ind	al-il	r-ph	U	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36	89	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Navicula lanceolata (Ag.) Ehrenberg	Ogh-ind	al-il	ind	O,U	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	155	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Navicula mutica var. *ventricosa* (Kuetz.) Cleve	Ogh-ind	al-il	ind	RI	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	-	-	-	31	-	-	-	-	36	-	-	-	-	-	-	22	-	-	23	-
Navicula oppugnata Hustedt	Ogh-ind	al-il	ind	T	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Navicula spp.	Ogh-unk	unk	unk		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33	-	48	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第Ⅴ－３－４表　平成30年度実施　珪藻分析結果(定量)(２)

[個数/g]

種類	生態性			環境指標種	4ライントレンチ	5ライントレンチ																		2S-1141			6ライントレンチ							
	塩分	pH	流水		4638	5460	5460	5460	5460	5460	5460	5460	5460	5460	5460	5460	5460	5460	5460	5456	5457	5458	5459	3468	3529	3529	12	13	14	15	16	17	18	19
					102層	13層	14層	29層	35層	52層下部	61層	63層下部	65層下部	66層	67層	71層	72層下部	74層	75層	76層	77層	77層	10層	77層	12層上部	11層下部	12層	23層	37層	77層	92層	98層	100層	50層	51層
Neidium ampliatum (Ehr.) Krammer	Ogh-ind	ind	l-ph	O	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	107	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Nitzschia brevissima Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	RB,U	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	33	52	–	–	82	–	13	–	24	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Nitzschia umbonata (Ehr.) Lange-Bertalot	Ogh-ind	al-il	ind	U	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	11
Nitzschia spp.	Ogh-unk	unk	unk		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	36	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Pinnularia acrosphaeria W.Smith	Ogh-ind	al-il	l-ph	N,O,U	–	–	–	–	–	–	–	–	–	36	78	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Pinnularia borealis Ehrenberg	Ogh-ind	ind	ind	RA	–	–	38	–	–	12	–	–	–	–	56	–	60	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	44	–	–	–	–	–
Pinnularia gibba Ehrenberg	Ogh-ind	ac-il	ind	O	–	–	–	–	–	–	–	–	–	345	411	–	274	–	–	–	–	–	12	–	–	–	–	–	–	33	–	–	–	–	11
Pinnularia microstauron (Ehr.) Cleve	Ogh-ind	ac-il	ind	S	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	11	–	–	23	–	–
Pinnularia subcapitata Gregory	Ogh-ind	ac-il	ind	RB,S	–	124	38	210	79	123	182	25	39	405	56	26	95	–	154	–	26	38	–	250	13	–	23	–	–	13	78	–	–	23	144
Pinnularia viridis (Nitz.) Ehrenberg	Ogh-ind	ind	ind	O	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	89	39	–	–	–	–	–	–	–	179	63	22	–	37	–	–	–	–	–	–	–
Pinnularia spp.	Ogh-unk	unk	unk		–	47	25	62	–	–	–	–	–	24	89	–	48	–	21	–	26	–	–	36	–	11	–	25	–	–	–	–	–	–	–
Placoneis elginensis (Greg.) Cox	Ogh-ind	al-il	ind	O,U	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	61	–	–	–	–	–	–	–	11	–	–	–	–
Planothidium lanceolatum (Breb. ex Kuetz.) Lange-Bertalot	Ogh-ind	ind	r-ph	K,T	–	109	–	–	–	–	–	–	65	274	144	65	179	–	21	–	–	–	303	4000	–	–	–	–	–	–	222	–	–	23	44
Sellaphora pupula (Kuetz.) Mereschkowsky	Ogh-ind	ind	ind	S,U	–	–	–	–	–	–	–	–	–	95	89	–	202	–	10	–	–	–	24	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Sellaphora spp.	Ogh-unk	unk	unk		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	33	–	36	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Stauroneis phoenicenteron (Nitz.) Ehrenberg	Ogh-ind	ind	l-ph	N,O,U	–	–	–	–	–	–	–	–	–	48	–	–	48	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Stauroneis phoenicenteron var. *signata* Meister	Ogh-ind	ind	l-ph	O	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	22	–	24	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Stauroneis smithii Grunow	Ogh-ind	al-il	r-ph	U	–	–	–	–	–	–	–	–	–	71	144	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	11	–	–	–	–
Stauroneis tenera Hustedt	Ogh-ind	ind	ind	RB	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	83	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Stauroneis spp.	Ogh-unk	unk	unk		–	–	–	–	–	–	–	–	–	24	78	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Surirella angusta Kuetzing	Ogh-ind	al-il	r-bi	U	–	–	–	–	–	–	–	–	–	24	–	–	60	–	–	–	–	–	–	71	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Surirella ovata Kuetzing	Ogh-ind	al-il	r-ph	U	–	–	–	–	–	–	–	–	–	24	11	–	–	–	–	–	–	–	–	36	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
Surirella spp.	Ogh-unk	unk	unk		–	–	–	–	–	–	–	–	–	24	22	–	36	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
海水生種					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
海水～汽水生種					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	279	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汽水生種					0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
淡水～汽水生種					0	0	0	25	0	173	36	0	39	155	711	92	143	0	113	0	0	38	85	0	0	0	0	0	0	0	22	0	0	0	111
淡水生種					0	868	302	617	328	630	424	49	327	2893	2333	693	2702	62	1344	56	78	128	1152	7321	113	54	46	74	0	385	1422	24	12	215	1833
珪藻化石総数					0	868	302	642	328	802	461	49	366	3107	3044	784	2845	62	1456	56	78	167	1515	7321	113	54	46	74	0	385	1444	24	12	215	1944

凡例

塩分:塩分濃度に対する適応性　pH:水素イオン濃度に対する適応性　流水:流水に対する適応性

Euh　:海水生種　al-bi:真アルカリ性種　l-bi:真止水性種

Euh-Meh:海水生種-汽水生種　al-il:好アルカリ性種　l-ph:好止水性種

Meh　:汽水生種　ind :pH不定性種　ind :流水不定性種

Ogh-Meh:淡水生種-汽水生種　ac-il:好酸性種　r-ph:好流水性種

Ogh-hil:貧塩好塩性種　ac-bi:真酸性種　r-bi:真流水性種

Ogh-ind:貧塩不定性種　unk :pH不明種　unk :流水不明種

Ogh-hob:貧塩嫌塩性種

Ogh-unk:貧塩不明種

環境指標種

A:外洋指標種　B:内湾指標種　C1:海水藻場指標種　C2:汽水藻場指標種

D1:海水砂質干潟指標種　D2:汽水砂質干潟指標種

E1:海水泥質干潟指標種　E2:汽水泥質干潟指標種　F:淡水底生種群(以上は小杉,1988)

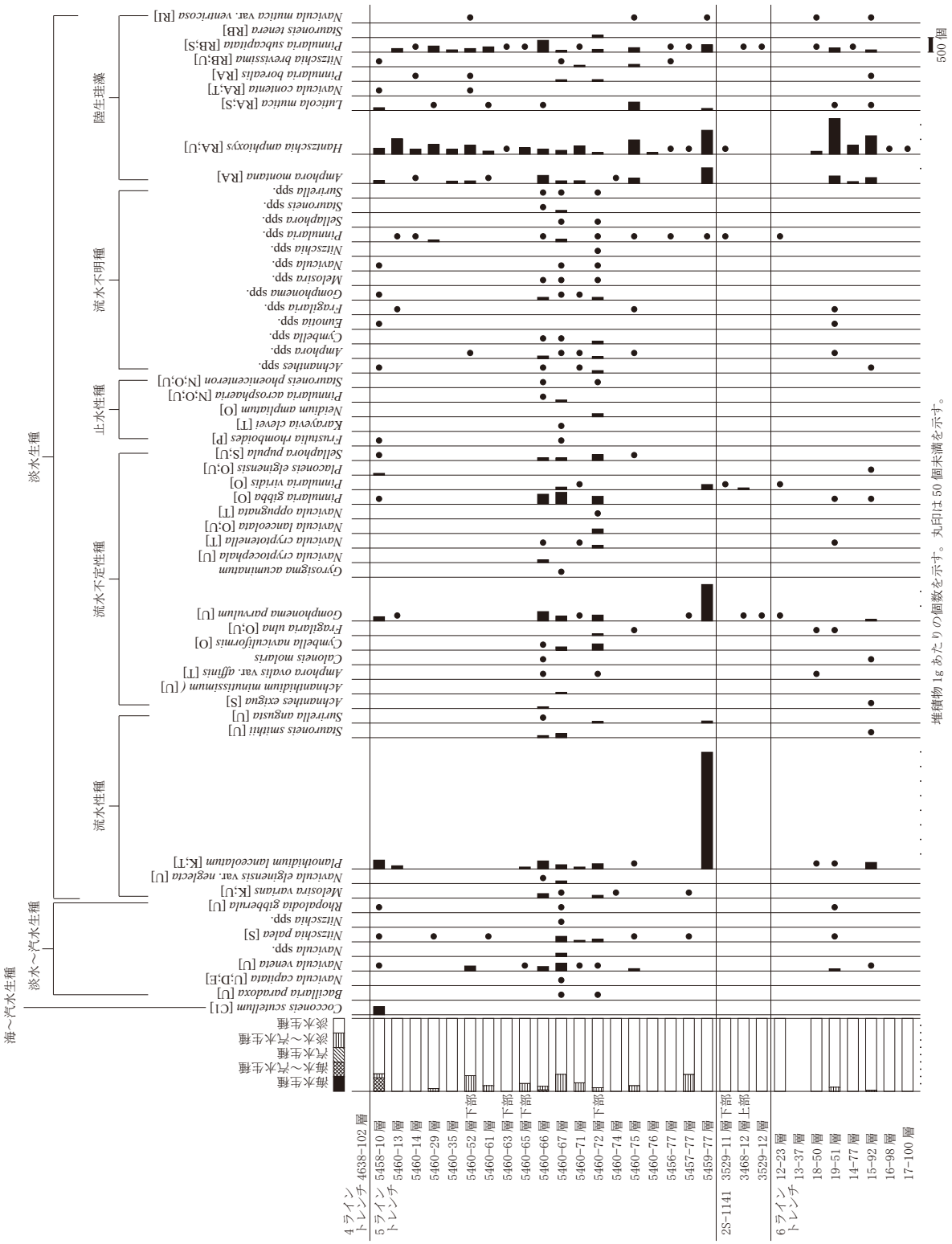
G:淡水浮遊生種群　H:河口浮遊性種群　J:上流性河川指標種　K:中～下流性河川指標種

L:最下流性河川指標種群　M:湖沼浮遊性種　N:湖沼沼沢湿地指標種　O:沼沢湿地付着生種

P:高層湿原指標種群　Q:陸域指標種群(以上は安藤,1990)

S:好汚濁性種　U:広適応性種　T:好清水性種(以上はAsai and Watanabe,1995)

R:陸生珪藻(RA:A群, RB:B群, RI:未区分、伊藤・堀内,1991)



第Ⅴ－３－５図　平成30年度実施　主要珪藻化石群集（定量）

・２S-1141

本地点の３試料は、いずれも産出数が少なく10個体未満である。

・６ライントレンチ

本地点の100個体以上産出したサンプル15-92層およびサンプル19-51層の淡水生の群集の特徴について、生態性を整理してみた場合、以下のような傾向が認められる。まず、塩分に対する適応性は、貧塩不定性種が優先する。次に、pHに対する適応性は、アルカリ性種が優先する。流水に対する適応性は、基本的に流水不定性種が優先するが、サンプル15では、流水性種が15%程度産出する。また、陸生珪藻が70～80%以上産出する。

なお、本地点の珪藻群集は生育環境を異にした種群が同時に認められた事から混合群集といえる。特徴的に産出した種は、淡水性種で流水性種のPlanothidium lanceolatum、淡水性種で流水不定性種のGomphonema parvulum、陸生珪藻のAmphora montana、Hantzschia amphioxys、Pinnularia subcapitata等である。

第４節　花粉分析結果

１　平成28年度実施分の結果

定性分析結果を第Ⅴ－４－１表、第Ⅴ－４－１図、定量分析結果を第Ⅴ－４－２表、第Ⅴ－４－２図に示す。分析残渣は50～100μlであるが、花粉化石の保存状態は相当する時代に比べて悪い。分析残渣には微粒炭が多く、分析残渣中の花粉化石の密度は低い。このため、通常の２倍程度の残渣を検鏡する。また、中には木本花粉が極端に少なく、草本花粉の量が多い試料がある。これらについては、草本花粉組成のみ図化する。

№7821、№1929、№2118の３点は、草本花粉の割合が高いのが特徴である。イネ科の割合が高く、№1929、№2118についてはアブラナ科も多い。イネ科にはイネ属が含まれる。イネ科全体に対するイネ属の割合は10～20%程度であるが、「他のイネ科」の中には保存が悪くイネ属か否かの判別が難しい試料も含むため、実際のイネ属の割合はこれより高い（おそらく30%以上）と思われる。木本花粉はスギ属とマツ属が多い傾向にあるが、№1929は木本花粉の個数が少ない。

№9030と№9031は、花粉化石の保存状態が悪く、検出量も少ない。他の試料でも多い、マツ属やスギ属、イネ科が多い傾向にある。

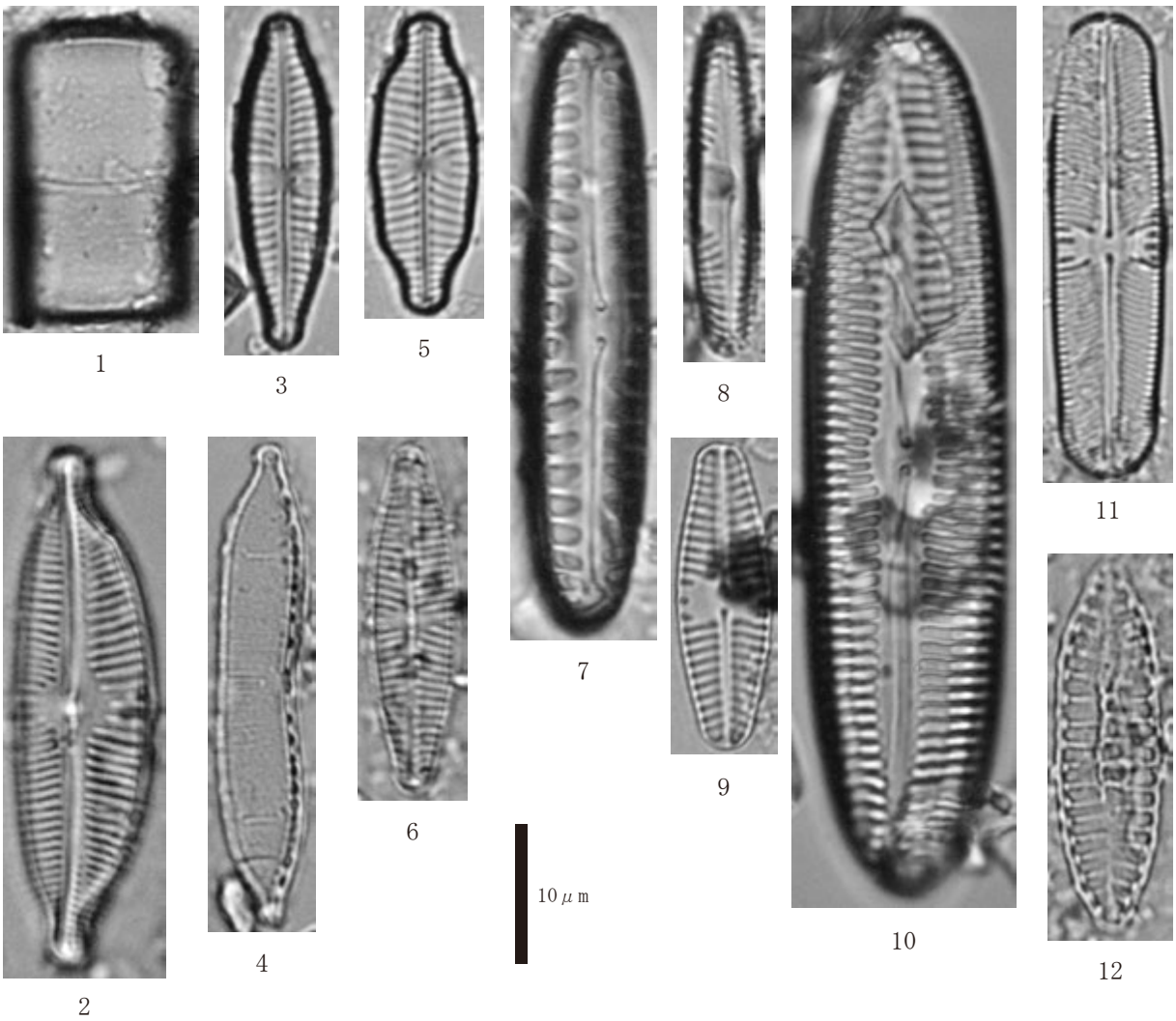
№8671（12層）はシダ類胞子の割合が高い。木本花粉では、マツ属とスギ属が多い。草本花粉はイネ属を含むイネ科が検出されるが、低率である。№8671（17層）花粉化石の保存状態が悪く、検出量も少ない。

№8804、№8685は、木本花粉ではマツ属とスギ属が多い。その他、コナラ亜属やカラスザンショウ属を含む。草本花粉はイネ科が多く、その中にはイネ属も含む。また、アブラナ科も多い。

№9229は、木本花粉は少なく、マツ属とスギ属がやや多く見られる程度である。イネ科の割合が高く、イネ科にはイネ属が含まれる。

№9228、№9231、№9232、№9233、№9234、№9235、№9236、№9237は、花粉化石の保存状態が悪く、検出量も少ない。他の試料でも多い、マツ属やスギ属、イネ科が多い傾向にある。

№9238、№9239は、木本花粉が少なく、大部分がイネ属を含むイネ科である。№9240は、木本花粉

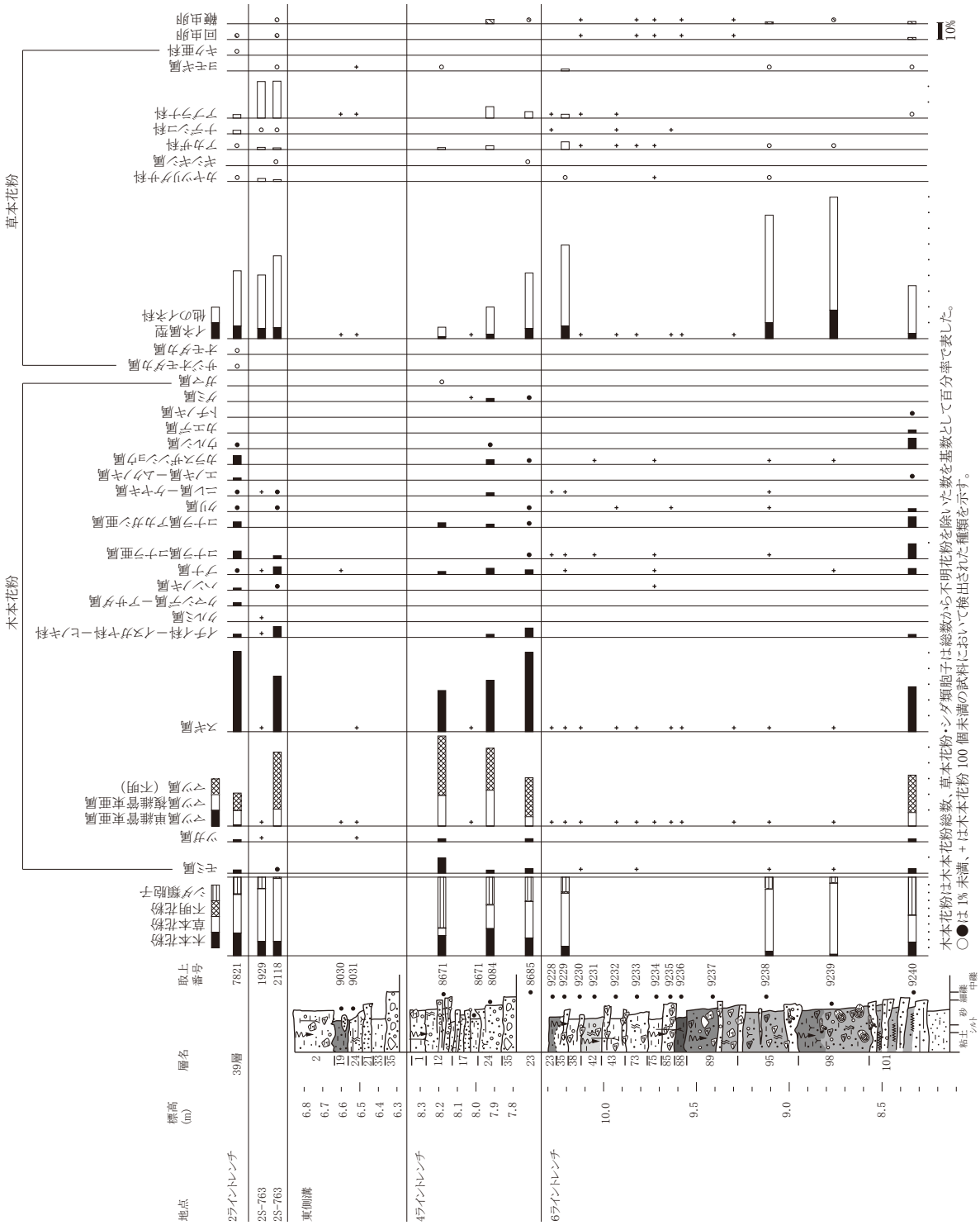


1. *Melosira varians* C.Agardh(5ライントレンチ;5460-66層)
2. *Cymbella naviculiformis* Auerswald(5ライントレンチ;5460-67層)
3. *Gomphonema parvulum* (Kuetz.) Kuetzing(5ライントレンチ;5460-66層)
4. *Hantzschia amphioxys* (Ehr.) Grunow(5ライントレンチ;5460-66層)
5. *Navicula elginensis* var. *neglecta* (Krass.) Patrick(5ライントレンチ;5460-67層)
6. *Navicula veneta* Kuetzing(5ライントレンチ;5460-67層)
7. *Pinnularia borealis* Ehrenberg(6ライントレンチ;15-92層)
8. *Pinnularia subcapitata* Gregory(5ライントレンチ;5460-66層)
9. *Planothidium lanceolatum* (Breb. ex Kuetz.) Lange-Bertalot(5ライントレンチ;5460-72層下部)
10. *Pinnularia viridis* (Nitz.) Ehrenberg(5ライントレンチ;5460-67層)
11. *Sellaphora pupula* (Kuetz.) Mereschkowsky(5ライントレンチ;5460-67層)
12. *Surirella angusta* Kuetzing(5ライントレンチ;5460-72層下部)

第Ｖ－３－６図　平成30年度実施　珪藻分析(珪藻化石)

第Ⅴ－４－１表　平成28年度実施　花粉分析結果(定性)

種　類	上段：地点名　下段：取上番号・層位																					
	2ﾗｲﾝ	2S-763	2S-763	東側溝		4ライントレンチ				6ライントレンチ												
	7821	1929	2118	9030	9031	8671	8671	8804	8685	9228	9229	9230	9231	9232	9233	9234	9235	9236	9237	9238	9239	9240
						12層	17層			23層	35層	38層	42層	43層	73層	75層	85層	88層	89層	95層	98層	101層
木本花粉																						
モミ属	3	－	1	－	－	10	－	2	3	－	－	2	－	－	1	－	－	－	－	2	1	3
ツガ属	2	1	－	－	1	2	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2
マツ属単維管束亜属	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
マツ属複維管束亜属	13	4	11	－	－	20	－	23	6	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	9
マツ属（不明）	16	18	37	1	20	39	4	27	25	2	11	4	－	5	6	3	1	3	2	6	1	25
スギ属	73	10	36	－	12	27	2	33	51	3	5	3	－	4	3	－	1	1	1	11	4	30
イチイ科－イヌガヤ科－ヒノキ科	3	2	7	－	－	－	－	2	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2
クルミ属	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
クマシデ属－アサダ属	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ハシバミ属	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ハンノキ属	2	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－
ブナ属	1	2	5	1	－	2	－	4	3	－	1	－	－	－	－	5	－	－	－	－	1	4
コナラ属コナラ亜属	7	－	2	－	－	－	－	－	1	1	1	－	1	－	－	2	－	－	－	1	－	10
コナラ属アカガシ亜属	5	－	－	－	－	3	－	2	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	7
クリ属	1	－	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	1	－	－	1	－	－	2	－	2
ニレ属－ケヤキ属	1	1	1	－	－	－	－	2	－	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－
エノキ属－ムクノキ属	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
カラスザンショウ属	8	－	－	－	－	－	－	3	1	－	－	－	1	－	－	1	－	－	－	5	1	－
ウルシ属	1	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	7
カエデ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2
トチノキ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
グミ属	－	－	－	－	－	－	1	2	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
草本花粉																						
ガマ属	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
サジオモダカ属	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
オモダカ属	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
イネ属型	39	14	39	－	－	5	－	8	29	－	13	－	－	－	－	－	－	－	－	52	76	20
他のイネ科	172	73	257	14	28	24	9	50	156	－	84	3	－	7	3	－	3	1	13	351	301	182
カヤツリグサ科	2	4	6	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	7	－	－	－	2	－	－
クワ科	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ギシギシ属	－	－	3	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
サナエタデ節－ウナギツカミ節	－	－	－	－	－	1	2	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
アカザ科	3	3	6	－	－	5	－	7	－	－	8	4	－	1	1	2	－	－	－	1	3	－
ナデシコ科	11	1	2	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	1	－	－	1	－	－	－	－	－
アブラナ科	11	50	132	1	1	－	－	21	18	2	4	1	－	1	－	－	－	－	－	－	－	1
キカシグサ属	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
セリ科	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヨモギ属	－	－	4	－	1	1	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	3	－	1
キク亜科	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
タンポポ亜科	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－
不明花粉																						
不明花粉	4	1	－	－	－	2	－	3	2	－	3	－	－	2	－	－	－	－	1	4	2	3
シダ類胞子																						
他のシダ類胞子	105	31	10	－	104	258	19	101	136	13	31	24	7	27	20	11	3	8	26	76	31	290
合　計																						
木本花粉	143	39	102	2	33	103	7	101	101	7	20	9	2	10	10	12	3	4	3	28	8	105
草本花粉	241	145	450	15	30	37	11	87	206	3	112	8	0	10	5	9	4	1	13	409	380	204
不明花粉	4	1	0	0	0	2	0	3	2	0	3	0	0	2	0	0	0	0	1	4	2	3
シダ類胞子	105	31	10	0	104	258	19	101	136	13	31	24	7	27	20	11	3	8	26	76	31	290
合計(不明を除く)	489	215	562	17	167	398	37	289	443	23	163	41	9	47	35	32	10	13	42	513	419	599
その他																						
回虫卵	1	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	1	2	－	2	1	－	－	8
鞭虫卵	－	－	1	－	－	－	－	8	3	－	－	1	－	－	2	1	－	6	4	6	2	9

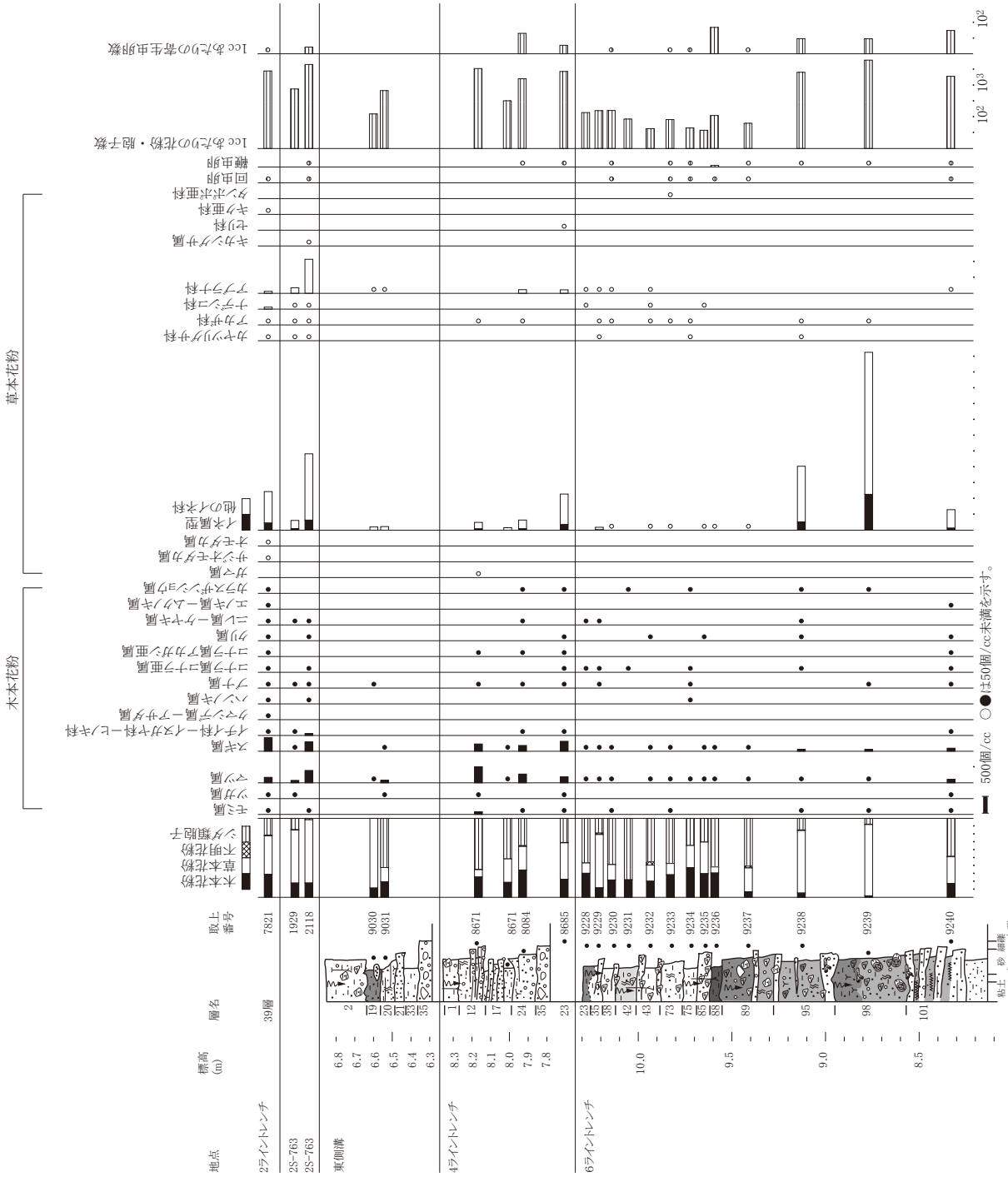


第Ⅴ－４－１図　平成28年度実施　花粉化石群集の層位分布（定性）

第Ⅴ－４－２表　平成28年度実施　花粉分析結果(定量)

種　類	上段:地点名　下段:取上番号・層位																					
	2ライン	2S-763	2S-763	東側溝		4ライントレンチ				6ライントレンチ												
	7821	1929	2118	9030	9031	8671	8671	8804	8685	9228	9229	9230	9231	9232	9233	9234	9235	9236	9237	9238	9239	9240
						12層	17層			23層	35層	38層	42層	43層	73層	75層	85層	88層	89層	95層	98層	101層
木本花粉																						
モミ属	17	－	8	－	－	85	－	11	19	－	－	8	－	－	2	－	－	－	－	10	15	10
ツガ属	12	4	－	－	4	17	－	－	12	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	6
マツ属単維管束亜属	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
マツ属複維管束亜属	75	14	90	－	－	171	－	128	37	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	29
マツ属(不明)	93	64	302	8	82	333	35	150	155	12	10	16	－	4	14	4	4	26	3	30	15	80
スギ属	423	36	294	－	49	230	18	183	316	18	5	12	－	4	7	－	4	9	1	55	60	96
イチイ科－イヌガヤ科－ヒノキ科	17	7	57	－	－	－	－	11	37	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	6
クルミ属	－	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
クマシデ属－アサダ属	17	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ハシバミ属	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ハンノキ属	12	－	8	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－
ブナ属	6	7	41	8	－	17	－	22	19	－	1	－	－	－	－	7	－	－	－	－	15	13
コナラ属コナラ亜属	41	－	16	－	－	－	－	－	6	6	1	－	10	－	－	3	－	－	－	5	－	32
コナラ属アカガシ亜属	29	－	－	－	－	26	－	11	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	23
クリ属	6	－	8	－	－	－	－	－	6	－	－	－	－	1	－	－	4	－	－	10	－	6
ニレ属－ケヤキ属	6	4	8	－	－	－	－	11	－	6	1	－	－	－	－	－	－	－	－	5	－	－
エノキ属－ムクノキ属	12	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3
カラスザンショウ属	46	－	－	－	－	－	－	17	6	－	－	－	10	－	－	1	－	－	－	25	15	－
ウルシ属	6	－	－	－	－	－	－	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	23
カエデ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	6
トチノキ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3
グミ属	－	－	－	－	－	－	9	11	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
草本花粉																						
ガマ属	－	－	－	－	－	9	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
サジオモダカ属	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
オモダカ属	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
イネ属型	226	50	319	－	－	43	－	44	179	－	12	－	－	－	－	－	－	－	－	261	1135	64
他のイネ科	996	260	2100	114	114	205	79	277	965	－	80	12	－	6	7	－	11	9	19	1764	4497	585
カヤツリグサ科	12	14	49	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	10	－	－	－	10	－	－
クワ科	－	－	－	－	－	－	－	－	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ギシギシ属	－	－	25	－	－	－	－	－	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
サナエタデ節－ウナギツカミ節	－	－	－	－	－	9	18	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
アカザ科	17	11	49	－	－	43	－	39	－	－	8	16	－	1	2	3	－	－	－	5	45	－
ナデシコ科	64	4	16	－	－	－	－	－	－	6	－	－	－	1	－	－	4	－	－	－	－	－
アブラナ科	64	178	1079	8	4	－	－	117	111	12	4	4	－	1	－	－	－	－	－	－	－	3
キカシグサ属	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
セリ科	－	－	－	－	－	－	－	－	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヨモギ属	－	－	33	－	4	9	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	15	－	3
キク亜科	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
タンポポ亜科	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－
不明花粉																						
不明花粉	23	4	－	－	－	17	－	16	12	－	3	－	－	2	－	－	－	－	1	20	30	10
シダ類胞子																						
他のシダ類胞子	608	110	82	－	425	2200	167	553	841	78	30	94	67	24	47	15	11	62	38	382	463	933
合　計																						
木本花粉	828	139	833	15	135	878	61	560	625	42	19	35	19	9	24	17	11	34	4	141	120	338
草本花粉	1396	516	3677	110	123	316	97	483	1274	18	107	31	0	9	12	13	15	9	19	2055	5677	656
不明花粉	23	4	0	0	0	17	0	17	12	0	3	0	0	2	0	0	0	0	1	20	30	10
シダ類胞子	608	110	82	0	425	2200	167	560	841	78	30	94	67	24	47	15	11	68	38	382	463	933
合計(不明を除く)	2833	765	4592	125	682	3394	325	1603	2741	138	155	160	86	41	83	45	38	111	62	2578	6260	1926
その他																						
回虫卵	6	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	4	－	－	2	3	－	17	2	－	－	26
鞭虫卵	－	－	16	－	－	－	－	44	19	－	－	4	－	－	5	1	－	51	5	30	30	29

＊数値は1ccあたりの個数



第Ⅴ－４－２図　平成28年度実施　花粉化石群集の層位分布（定量）

はマツ属とスギ属が、草本花粉はイネ属を含むイネ科が多く、№7821に似る。

全体を通して微粒炭が多い。大部分が不明だが、ほとんどの試料から、特徴的な形状の微粒炭が微量みられる。植物珪酸体の痕跡？とみられる小孔があるものや、長方形で波状の細胞壁をもつ微粒炭は、イネ科に由来する微粒炭(小椋,2007;2008など)に似る。また、導管のせん孔、壁孔、放射組織の一部など樹木由来の微粒炭も微量認められる。また量は少ないが、回虫卵、鞭虫卵も認められる。

２　平成30年度実施分の結果

定性分析結果を第Ⅴ－４－３表(１)・(２)、第Ⅴ－４－４図、定量分析結果を第Ⅴ－４－４表(１)・(２)、第Ⅴ－４－５図に示す。産出した花粉化石は、試料により状態がやや異なるが、全体的に保存状態が悪い。分析残渣中には微細な炭化および弱分解された植物片が多い。堆積物１gあたりに含まれる花粉・胞子数は、最も多い試料で約4000個(５ライントレンチ5460-67層)であったが、2000個/g以上が３試料、1000個/g以上が６試料程度であり、残りの21試料は1000個/g未満であった。以下、地点ごとに述べる。

・４ライントレンチ

4638-102層では検出される花粉化石は少なく、木本花粉のハンノキ属、ブナ属、ニレ属―ケヤキ属がわずかに検出された程度である。

・５ライントレンチ

本地点では花粉化石が多産する試料と産状の悪い試料が混在する。5659-77層をみると、木本花粉ではスギ属が最も多く産出し、マツ属、モミ属、コナラ属アカガシ亜属、クリ属等を伴う。草本花粉ではガマ属が最も多く産出し、イネ科、サナエタデ節―ウナギツカミ節、ヨモギ属等を伴う。

5457-77層～5460-65層下部では、花粉化石が多産する試料の群集組成は類似しており、草本花粉の割合が高い。草本花粉ではイネ科の割合が高く、カヤツリグサ科、アカザ科、アブラナ科、ヨモギ属等を伴う。イネ科には、栽培種のイネ属が含まれる。イネ科が100個体以上認められた試料についてみると、イネ科全体に占めるイネ属の割合は６～13%程度である。ただし、全体的に保存状態が悪く、イネ属の可能性があるが断定できない個体は「他のイネ科」に含めたため、本来のイネ属の割合はこれよりも高いと考えられる。木本花粉ではスギ属、マツ属、クリ属が多産し、モミ属、アカガシ亜属、シイ属、カラスザンショウ属などを伴う。

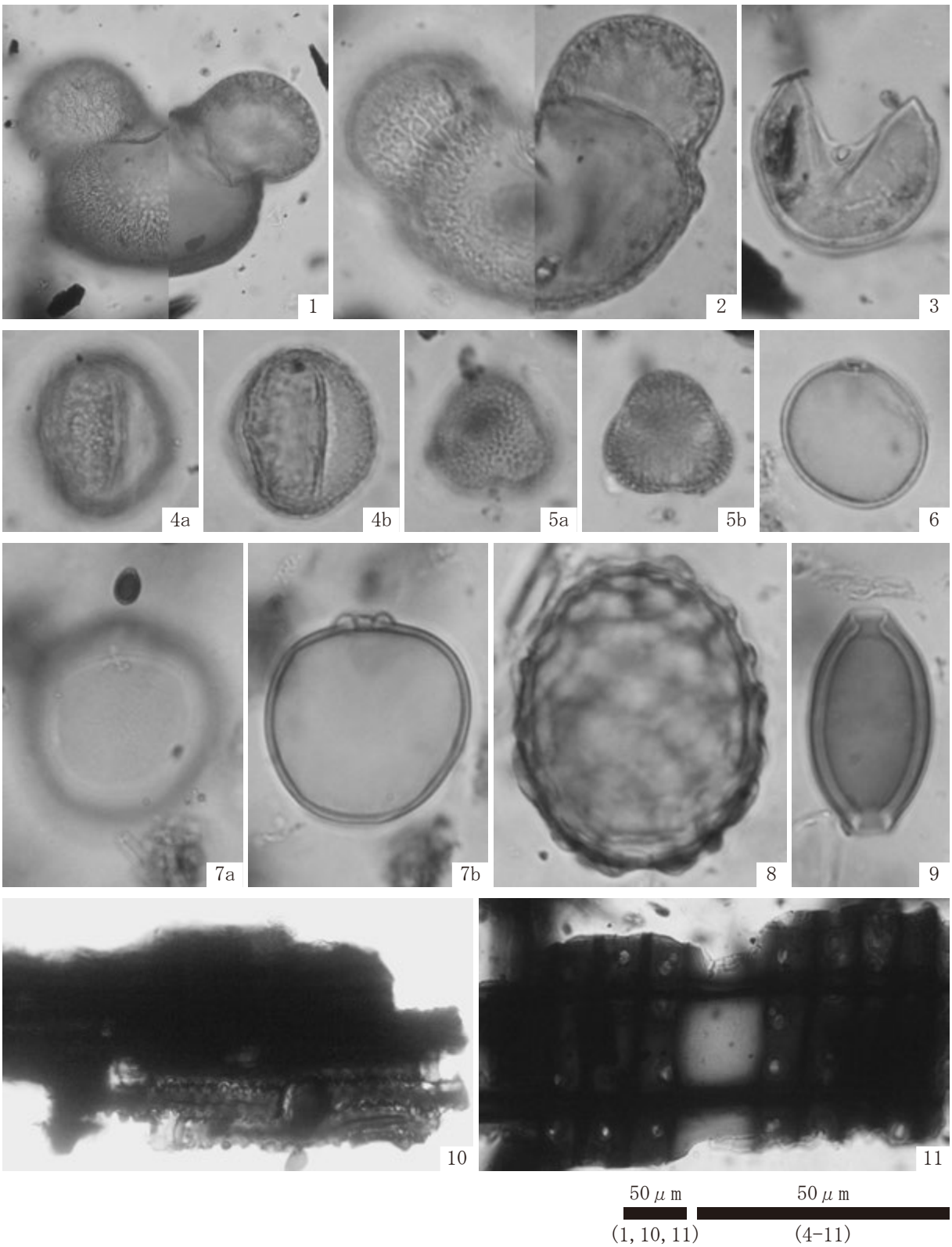
5460-63層下部～5460-13層では、花粉化石の産状が悪く、5460-29層からかろうじて定量解析が行える程度の産出が認められた。木本花粉ではスギ属、マツ属、クリ属、カラスザンショウ属等が、草本花粉ではイネ科、カヤツリグサ科、アカザ科等が検出される。

5458-10層は、草本花粉の割合が高く、イネ科が優占する。イネ科に占めるイネ属の割合は、約24%であった。その他ではカヤツリグサ科、アブラナ科、ヨモギ属等が認められる。木本花粉ではスギ属が最も多く産出し、マツ属、アカガシ亜属、クリ属、ウルシ属等を伴う。

・２S-1141

3529-12層、3468-12層上部、3529-11層下部は、いずれも花粉化石の産状が悪く、木本花粉ではマツ属、スギ属、クリ属等が、イネ属を含むイネ科、アカザ科、ナデシコ科、アブラナ科等が、わずかに認められる程度である。

・６ライントレンチ



1．モミ属(No. 8671(12層))
2．マツ属(No. 8671(12層))
3．スギ属(No. 8671(12層))
4．コナラ亜属(No. 7821)
5．アブラナ科(No. 7821)
6．他のイネ科(No. 9240(101層))
7．イネ属(No. 9240(101層))
8．回虫卵(No. 9240(101層))
9．鞭虫卵(No. 9240(101層))
10．イネ科?由来微粒炭(No. 7821)
11．木材由来微粒炭(No. 8671(12層))

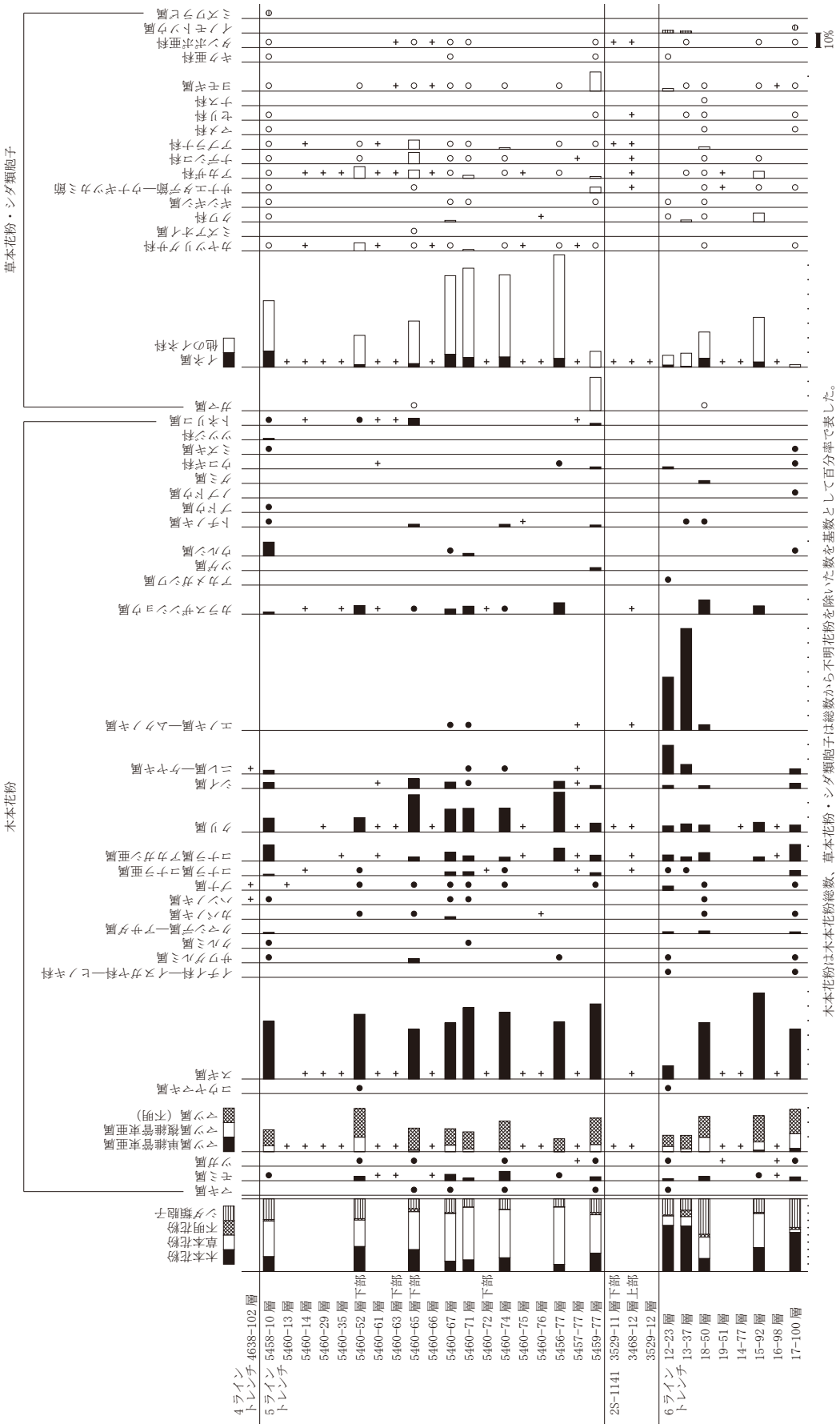
第Ｖ－４－３図　平成28年度実施　花粉分析(花粉化石)

第Ⅴ－４－３表　平成30年度実施　花粉分析結果(定性)(１)

種　類	4ライントレンチ 4638 102層	5ライントレンチ 5460 13層	5460 14層	5460 29層	5460 35層	5460 52層 下部	5460 61層	5460 63層 下部	5460 65層 下部	5460 66層	5460 67層	5460 71層	5460 72層 下部	5460 74層	5460 75層
木本花粉															
マキ属	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	1	－	－	1	－
モミ属	－	－	－	－	－	3	1	1	－	2	5	2	－	7	－
ツガ属	－	－	－	－	－	1	－	－	1	－	－	－	－	1	－
マツ属単維管束亜属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
マツ属複維管束亜属	－	－	2	1	－	10	1	－	1	1	5	2	－	2	2
マツ属（不明）	－	1	1	2	3	20	3	5	16	7	13	13	－	21	3
コウヤマキ属	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－
スギ属	－	－	1	1	1	45	6	11	36	16	44	54	1	50	12
イチイ科―イヌガヤ科―ヒノキ科	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
サワグルミ属	－	－	－	－	－	－	－	－	3	－	－	－	－	－	－
クルミ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－
クマシデ属―アサダ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
カバノキ属	－	－	－	－	－	1	－	－	1	－	2	－	－	－	－
ハンノキ属	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－
ブナ属	1	1	－	－	－	1	－	－	1	－	1	1	－	1	－
コナラ属コナラ亜属	－	－	1	－	－	1	－	－	－	－	3	3	1	1	－
コナラ属アカガシ亜属	－	－	－	－	1	－	1	－	3	－	7	4	－	3	1
クリ属	－	－	－	4	－	10	4	1	27	9	18	18	－	18	8
シイ属	－	－	－	－	－	－	1	－	7	－	5	1	－	－	－
ニレ属―ケヤキ属	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	1	－
エノキ属―ムクノキ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－
サクラ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－
サンショウ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－
カラスザンショウ属	－	－	1	－	2	6	5	－	1	－	4	6	1	1	－
キハダ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－
アカメガシワ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ツゲ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ウルシ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	2	－	－	－
トチノキ属	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	2	1
ブドウ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ノブドウ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
グミ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ウコギ科	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－
ミズキ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ツツジ科	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
エゴノキ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
イボタノキ属	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－
トネリコ属	－	－	1	－	－	1	2	1	5	－	－	－	－	－	－
スイカズラ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
草本花粉															
ガマ属	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－
イネ属	－	－	－	－	－	5	1	－	8	18	70	46	3	40	8
他のイネ科	－	5	13	7	12	58	22	15	98	62	430	424	35	326	124
カヤツリグサ科	－	－	3	－	－	16	2	－	2	1	1	7	－	4	3
ミズアオイ属	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－
クワ科	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	8	－	－	－	－
ギシギシ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－
サナエタデ節―ウナギツカミ節	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－
タデ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
アカザ科	－	－	7	1	2	23	3	3	19	8	5	14	－	1	1
ナデシコ科	－	－	－	－	－	1	－	－	26	－	2	2	－	1	－
カラマツソウ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
キンポウゲ属	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－
キンポウゲ科	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－
アブラナ科	－	－	1	－	－	2	1	－	21	－	2	2	－	6	－
バラ科	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－
マメ科	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
カタバミ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ツリフネソウ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
セリ科	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ナス科	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
オオバコ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヤエムグラ属―アカネ属	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－
ヨモギ属	－	－	－	－	－	1	－	1	2	1	3	4	－	3	－
キク亜科	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－
タンポポ亜科	－	－	－	－	－	－	－	2	1	1	4	1	－	－	－
不明花粉															
不明花粉	－	4	3	2	1	6	2	4	15	2	11	2	1	2	2
シダ類胞子															
ヒカゲノカズラ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－
ゼンマイ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
イノモトソウ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ミズワラビ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
他のシダ類胞子	119	5	36	13	2	80	8	24	47	35	152	79	1	85	27
合　計															
木本花粉	3	2	7	8	7	101	25	19	105	35	114	110	3	109	27
草本花粉	0	5	24	8	14	107	29	21	182	91	527	501	38	382	136
不明花粉	0	4	3	2	1	6	2	4	15	2	11	2	1	2	2
シダ類胞子	119	5	36	13	2	80	8	24	47	35	153	79	1	85	27
合計(不明を除く)	122	12	67	29	23	288	62	64	334	161	794	690	42	576	190

第Ⅴ－４－３表　平成30年度実施　花粉分析結果(定性)(２)

種　類	5ライントレンチ					2S-1141			6ライントレンチ							
	5460 76層	5456 77層	5457 77層	5458 10層	5459 77層	3468 12層 上部	3529 11層 下部	3529 12層	12 23層	13 37層	14 77層	15 92層	16 98層	17 100層	18 50層	19 51層
木本花粉																
マキ属	－	－	－	－	1	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－
モミ属	－	1	－	1	4	－	－	－	2	－	－	1	1	6	3	－
ツガ属	－	－	1	－	1	－	－	－	1	－	－	－	1	1	－	1
マツ属単維管束亜属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	5	－	－
マツ属複維管束亜属	1	－	2	8	7	1	－	－	5	2	－	6	－	23	10	2
マツ属（不明）	1	9	3	22	27	1	1	－	11	10	1	19	1	38	15	2
コウヤマキ属	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－
スギ属	6	40	4	79	76	5	－	－	13	－	3	62	12	78	40	1
イチイ科―イヌガヤ科―ヒノキ科	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	1	－	－
サワグルミ属	－	1	－	1	－	－	－	－	1	－	－	－	－	2	－	－
クルミ属	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
クマシデ属―アサダ属	－	－	－	2	－	－	－	－	2	－	－	－	－	3	2	－
カバノキ属	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－
ハンノキ属	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－
ブナ属	－	－	－	－	1	－	－	－	4	－	－	－	－	1	1	－
コナラ属コナラ亜属	－	－	1	2	3	1	－	－	1	1	－	－	－	8	－	－
コナラ属アカガシ亜属	－	9	2	22	6	1	－	－	6	3	－	3	3	26	6	－
クリ属	－	28	7	19	9	2	1	－	6	6	4	7	6	11	5	－
シイ属	－	5	1	8	3	－	－	－	3	－	－	－	－	8	2	－
ニレ属―ケヤキ属	－	－	1	5	－	－	－	－	28	7	－	－	－	8	－	－
エノキ属―ムクノキ属	－	－	1	－	－	1	－	－	52	75	－	－	－	－	4	－
サクラ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
サンショウ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
カラスザンショウ属	－	8	－	3	－	1	－	－	－	－	－	6	－	－	10	－
キハダ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－
アカメガシワ属	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－
ツゲ属	－	－	－	－	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ウルシ属	－	－	－	19	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－
トチノキ属	－	－	－	1	2	－	－	－	－	1	－	－	－	－	1	－
ブドウ属	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ノブドウ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－
グミ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－
ウコギ科	－	1	－	－	2	－	－	－	2	－	－	－	－	2	－	－
ミズキ属	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－
ツツジ科	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
エゴノキ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	1	－	－
イボタノキ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
トネリコ属	－	－	1	1	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
スイカズラ属	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－
草本花粉																
ガマ属	－	－	－	－	129	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－
イネ属	3	62	39	105	－	6	1	－	3	1	1	11	－	－	34	3
他のイネ科	49	738	263	330	61	28	1	1	15	14	4	96	3	7	100	24
カヤツリグサ科	－	10	4	8	1	－	－	－	－	－	－	－	－	3	4	－
ミズアオイ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
クワ科	1	－	－	3	－	－	－	－	2	2	－	19	－	－	4	－
ギシギシ属	－	－	－	2	1	－	－	－	1	－	－	－	－	－	2	－
サナエタデ節―ウナギツカミ節	－	－	－	2	22	1	－	－	－	－	－	3	－	1	1	1
タデ属	－	－	－	－	－	－	－	－	3	－	－	－	－	－	1	－
アカザ科	－	3	－	2	7	2	－	－	－	1	－	15	－	－	4	2
ナデシコ科	－	－	1	2	－	2	－	－	－	－	－	1	－	－	1	－
カラマツソウ属	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
キンポウゲ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
キンポウゲ科	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
アブラナ科	－	1	－	9	2	2	1	－	－	－	－	－	－	－	9	－
バラ科	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
マメ科	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－
カタバミ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－
ツリフネソウ属	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
セリ科	－	－	－	2	3	1	－	－	－	1	－	－	－	1	3	－
ナス科	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－
オオバコ属	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヤエムグラ属―アカネ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヨモギ属	－	5	－	6	74	－	－	－	4	1	－	2	2	3	2	－
キク亜科	－	－	－	2	2	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－
タンポポ亜科	－	－	－	1	2	1	1	－	－	1	－	1	－	1	－	－
不明花粉																
不明花粉	－	5	2	22	19	3	－	－	3	15	3	6	6	12	23	－
シダ類胞子																
ヒカゲノカズラ属	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	1	－	4	1	－
ゼンマイ属	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
イノモトソウ属	－	－	－	－	－	－	－	－	4	2	－	－	－	1	－	－
ミズワラビ属	－	－	－	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
他のシダ類胞子	8	114	31	272	107	10	18	－	46	25	19	58	21	161	281	4
合　計																
木本花粉	9	102	24	199	147	13	2	0	142	107	8	105	24	227	103	6
草本花粉	53	819	307	476	306	43	4	1	29	22	5	148	5	17	169	30
不明花粉	0	5	2	22	19	3	0	0	3	15	3	6	6	12	23	0
シダ類胞子	8	114	31	276	108	10	18	0	50	27	19	59	21	166	282	4
合計(不明を除く)	70	1035	362	951	561	66	24	1	221	156	32	312	50	410	554	40



木本花粉は木本花粉総数、草本花粉・シダ類胞子は総数から不明花粉を除いた数を基数として百分率で表した。
丸印は 1% 未満、+ は木本花粉 100 個未満の試料において検出された種類を示す。

第Ⅴ－４図　平成30年度実施　主要花粉化石群集（定性）

第Ⅴ－４－４表　平成30年度実施　花粉分析結果(定量)(１)

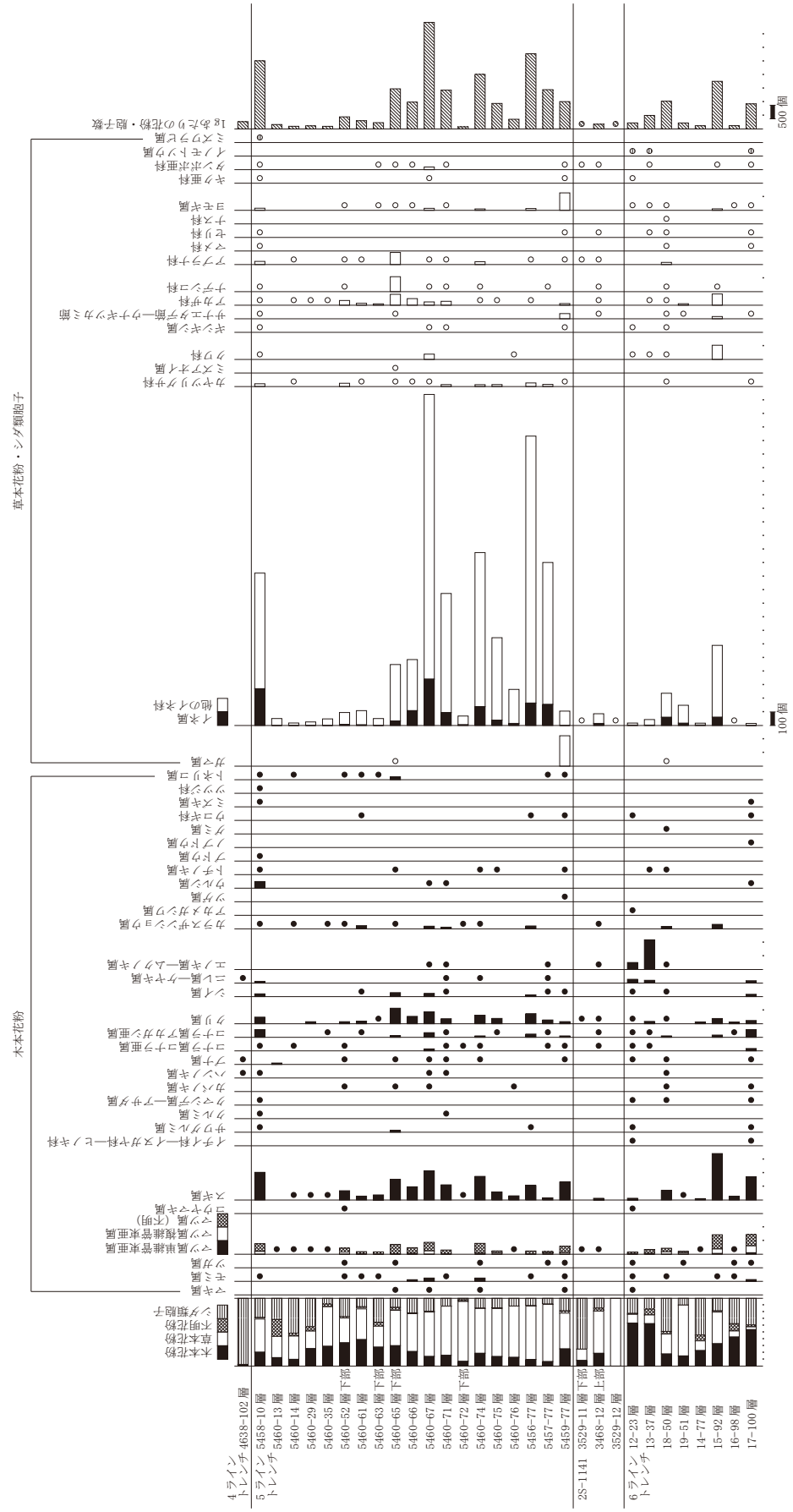
［個数/g］

種　類	4ライントレンチ 4638 102層	5ライントレンチ 5460 13層	5460 14層	5460 29層	5460 35層	5460 52層 下部	5460 61層	5460 63層 下部	5460 65層 下部	5460 66層	5460 67層	5460 71層	5460 72層 下部	5460 74層	5460 75層
木本花粉															
マキ属	－	－	－	－	－	－	－	－	4	－	5	－	－	3	－
モミ属	－	－	－	－	－	5	5	3	－	12	24	4	－	24	－
ツガ属	－	－	－	－	－	2	－	－	4	－	－	－	－	3	－
マツ属単維管束亜属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
マツ属複維管束亜属	－	－	3	4	－	15	5	－	4	6	24	4	－	7	10
マツ属（不明）	－	10	1	8	12	30	14	17	68	43	63	27	－	73	15
コウヤマキ属	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－
スギ属	－	－	1	4	4	68	29	38	153	97	215	112	2	174	59
イチイ科―イヌガヤ科―ヒノキ科	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
サワグルミ属	－	－	－	－	－	－	－	－	13	－	－	－	－	－	－
クルミ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－
クマシデ属―アサダ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
カバノキ属	－	－	－	－	－	2	－	－	4	－	10	－	－	－	－
ハンノキ属	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	5	2	－	－	－
ブナ属	2	10	－	－	－	2	－	－	4	－	5	2	－	3	－
コナラ属コナラ亜属	－	－	1	－	－	2	－	－	－	－	15	6	2	3	－
コナラ属アカガシ亜属	－	－	－	－	4	－	5	－	13	－	34	8	－	10	5
クリ属	－	－	－	15	－	15	19	3	115	55	88	37	－	63	39
シイ属	－	－	－	－	－	－	5	－	30	－	24	2	－	－	－
ニレ属―ケヤキ属	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	3	－
エノキ属―ムクノキ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	5	2	－	－	－
サクラ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	5	－	－	－	－
サンショウ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	5	－	－	－	－
カラスザンショウ属	－	－	1	－	8	9	24	－	4	－	20	12	2	3	－
キハダ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	5	－	－	－	－
アカメガシワ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ツゲ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ウルシ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	5	4	－	－	－
トチノキ属	－	－	－	－	－	－	－	－	8	－	－	－	－	7	5
ブドウ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ノブドウ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
グミ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ウコギ科	－	－	－	－	－	－	5	－	－	－	－	－	－	－	－
ミズキ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ツツジ科	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
エゴノキ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
イボタノキ属	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－
トネリコ属	－	－	1	－	－	2	10	3	21	－	－	－	－	－	－
スイカズラ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
草本花粉															
ガマ属	－	－	－	－	－	－	－	－	4	－	－	－	－	－	－
イネ属	－	－	－	－	－	8	5	－	34	109	342	95	6	139	39
他のイネ科	－	51	18	26	49	88	105	51	416	377	2100	879	64	1136	608
カヤツリグサ科	－	－	4	－	－	24	10	－	8	6	5	15	－	14	15
ミズアオイ属	－	－	－	－	－	－	－	－	4	－	－	－	－	－	－
クワ科	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	39	－	－	－	－
ギシギシ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	5	2	－	－	－
サナエタデ節―ウナギツカミ節	－	－	－	－	－	－	－	－	4	－	－	－	－	－	－
タデ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
アカザ科	－	－	10	4	8	35	14	10	81	49	24	29	－	3	5
ナデシコ科	－	－	－	－	－	2	－	－	110	－	10	4	－	3	－
カラマツソウ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
キンポウゲ属	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－
キンポウゲ科	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3	－
アブラナ科	－	－	1	－	－	3	5	－	89	－	10	4	－	21	－
バラ科	－	－	－	－	－	－	－	－	4	－	－	－	－	－	－
マメ科	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
カタバミ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ツリフネソウ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
セリ科	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ナス科	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
オオバコ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヤエムグラ属―アカネ属	－	－	－	－	－	－	－	－	4	－	－	－	－	－	－
ヨモギ属	－	－	－	－	－	2	－	3	8	6	15	8	－	10	－
キク亜科	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	5	－	－	－	－
タンポポ亜科	－	－	－	－	－	－	－	7	4	6	20	2	－	－	－
不明花粉															
不明花粉	－	41	4	8	4	9	10	14	64	12	54	4	2	7	10
シダ類胞子															
ヒカゲノカズラ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	5	－	－	－	－
ゼンマイ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
イノモトソウ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ミズワラビ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
他のシダ類胞子	262	51	51	49	8	122	38	82	199	213	742	164	2	296	132
合　計															
木本花粉	7	21	10	30	28	154	119	65	445	213	557	228	6	380	132
草本花粉	0	51	34	30	57	163	138	72	772	553	2574	1038	70	1331	667
不明花粉	0	41	4	8	4	9	10	14	64	12	54	4	2	7	10
シダ類胞子	262	51	51	49	8	122	38	82	199	213	747	164	2	296	132
合計	269	164	99	116	97	447	305	232	1481	991	3931	1434	79	2014	942

第Ⅴ－４－４表　平成30年度実施　花粉分析結果(定量)(２)

［個数/g］

種　類	5ライントレンチ					2S-1141			6ライントレンチ							
	5460 76層	5456 77層	5457 77層	5458 10層	5459 77層	3468 12層 上部	3529 11層 下部	3529 12層	12 23層	13 37層	14 77層	15 92層	16 98層	17 100層	18 50層	19 51層
木本花粉																
マキ属	－	－	－	－	2	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－
モミ属	－	3	－	3	7	－	－	－	2	－	－	6	2	13	5	－
ツガ属	－	－	4	－	2	－	－	－	1	－	－	－	2	2	－	6
マツ属単維管束亜属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	6	－	11	－	－
マツ属複維管束亜属	5	－	8	21	12	3	－	－	5	6	－	33	－	51	18	11
マツ属（不明）	5	24	12	57	47	3	2	－	11	29	3	105	2	83	27	11
コウヤマキ属	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－
スギ属	31	107	16	204	132	13	－	－	13	－	10	342	26	171	71	6
イチイ科―イヌガヤ科―ヒノキ科	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	2	－	－
サワグルミ属	－	3	－	3	－	－	－	－	1	－	－	－	－	4	－	－
クルミ属	－	－	－	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
クマシデ属―アサダ属	－	－	－	5	－	－	－	－	2	－	－	－	－	7	4	－
カバノキ属	5	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	2	－
ハンノキ属	－	－	－	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－
ブナ属	－	－	－	－	2	－	－	－	4	－	－	－	－	2	2	－
コナラ属コナラ亜属	－	－	4	5	5	3	－	－	1	3	－	－	－	18	－	－
コナラ属アカガシ亜属	－	24	8	57	10	3	－	－	6	9	－	17	7	57	11	－
クリ属	－	75	28	49	16	5	2	－	6	18	14	39	13	24	9	－
シイ属	－	13	4	21	5	－	－	－	3	－	－	－	－	18	4	－
ニレ属―ケヤキ属	－	－	4	13	－	－	－	－	28	20	－	－	－	18	－	－
エノキ属―ムクノキ属	－	－	4	－	－	3	－	－	52	219	－	－	－	－	7	－
サクラ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
サンショウ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
カラスザンショウ属	－	21	－	8	－	3	－	－	－	－	－	33	－	－	18	－
キハダ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3	－	－	－	－	－	－
アカメガシワ属	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－
ツゲ属	－	－	－	－	5	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ウルシ属	－	－	－	49	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－
トチノキ属	－	－	－	3	3	－	－	－	－	3	－	－	－	－	2	－
ブドウ属	－	－	－	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ノブドウ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－
グミ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	4	－
ウコギ科	－	3	－	－	3	－	－	－	2	－	－	－	－	4	－	－
ミズキ属	－	－	－	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	4	－	－
ツツジ科	－	－	－	5	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
エゴノキ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3	－	－	－	2	－	－
イボタノキ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
トネリコ属	－	－	4	3	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
スイカズラ属	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－
草本花粉																
ガマ属	－	－	－	－	224	－	－	－	－	－	－	－	－	－	4	－
イネ属	15	165	155	271	－	15	2	－	3	3	3	61	－	－	60	17
他のイネ科	251	1969	1047	853	106	71	2	3	15	41	14	530	7	15	178	133
カヤツリグサ科	－	27	16	21	2	－	－	－	－	－	－	－	－	7	7	－
ミズアオイ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
クワ科	5	－	－	8	－	－	－	－	2	6	－	105	－	－	7	－
ギシギシ属	－	－	－	5	2	－	－	－	1	－	－	－	－	－	4	－
サナエタデ節―ウナギツカミ節	－	－	－	5	38	3	－	－	－	－	－	17	－	2	2	6
タデ属	－	－	－	－	－	－	－	－	3	－	－	－	－	－	2	－
アカザ科	－	8	－	5	12	5	－	－	－	3	－	83	－	－	7	11
ナデシコ科	－	－	4	5	－	5	－	－	－	－	－	6	－	－	2	－
カラマツソウ属	－	－	－	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
キンポウゲ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
キンポウゲ科	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
アブラナ科	－	3	－	23	3	5	2	－	－	－	－	－	－	－	16	－
バラ科	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
マメ科	－	－	－	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	2	－
カタバミ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3	－	－	－	－	－	－
ツリフネソウ属	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
セリ科	－	－	－	5	5	3	－	－	－	3	－	－	－	2	5	－
ナス科	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－
オオバコ属	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヤエムグラ属―アカネ属	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヨモギ属	－	13	－	16	129	－	－	－	4	3	－	11	4	7	4	－
キク亜科	－	－	－	5	3	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－
タンポポ亜科	－	－	－	3	3	3	2	－	－	3	－	6	－	2	－	－
不明花粉																
不明花粉	－	13	8	57	33	8	－	－	3	44	10	33	13	26	41	－
シダ類胞子																
ヒカゲノカズラ属	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	6	－	9	2	－
ゼンマイ属	－	－	－	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
イノモトソウ属	－	－	－	－	－	－	－	－	4	6	－	－	－	2	－	－
ミズワラビ属	－	－	－	8	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
他のシダ類胞子	41	304	123	703	186	26	33	－	46	73	65	320	46	354	499	22
合　計																
木本花粉	46	272	96	514	256	33	4	0	141	313	27	580	52	499	183	33
草本花粉	271	2185	1222	1230	532	110	7	3	29	64	17	818	11	37	300	166
不明花粉	0	13	8	57	33	8	0	0	3	44	10	33	13	26	41	0
シダ類胞子	41	304	123	713	188	26	33	0	50	79	65	326	46	365	501	22
合計	358	2775	1449	2514	1009	176	44	3	223	500	120	1757	122	927	1025	221



堆積物 1g あたりの個数を示す。木本花粉、草本花粉・シダ類胞子の丸印は 10 個未満、花粉・胞子数の丸印は 50 個未満を示す。

第Ⅴ－４－５図　平成30年度実施　主要花粉化石群集（定量）

サンプル17-100層では、木本花粉が優占する。木本花粉では、スギ属、マツ属が多産し、モミ属、コナラ属コナラ亜属、アカガシ亜属、クリ属、シイ属、ニレ属―ケヤキ属等を伴う。草本花粉は少なく、イネ科、カヤツリグサ科、ヨモギ属などがわずかに認められる。

サンプル15-92層、サンプル18-50層では、草本花粉の割合が高く、イネ科が多産する。イネ科に占めるイネ属の割合は、10～25%程度である。その他ではクワ科、サナエタデ節―ウナギツカミ節、アカザ科、アブラナ科等を伴う。木本花粉ではスギ属、マツ属が多産し、モミ属、アカガシ亜属、クリ属、エノキ属―ムクノキ属、カラスザンショウ属などを伴う。

サンプル13-37層、サンプル12-23層では、木本花粉の割合が高く、エノキ属―ムクノキ属が多産する。その他ではニレ属―ケヤキ属、マツ属、スギ属、アカガシ亜属、クリ属等を伴う。草本花粉ではイネ科、クワ科、ヨモギ属などがわずかに認められる。

第５節　寄生虫卵分析結果

結果を第Ⅴ－５－１表に示す。５ライントレンチの試料から、回虫卵、鞭虫卵が確認された。産出個体数は全体的に少なく、最も多い5460-65層下部で堆積物１ccあたり168個であり、その他はいずれも１ccあたり50個未満であった。また、２S-1141の２試料からは、寄生虫卵は１個体も確認されなかった。

なお、各試料における花粉・胞子数は、74～3243個/ccと、試料により含有量が異なる。

第Ⅴ－５－１表　平成30年度実施　寄生虫卵分析結果

[個/cc]

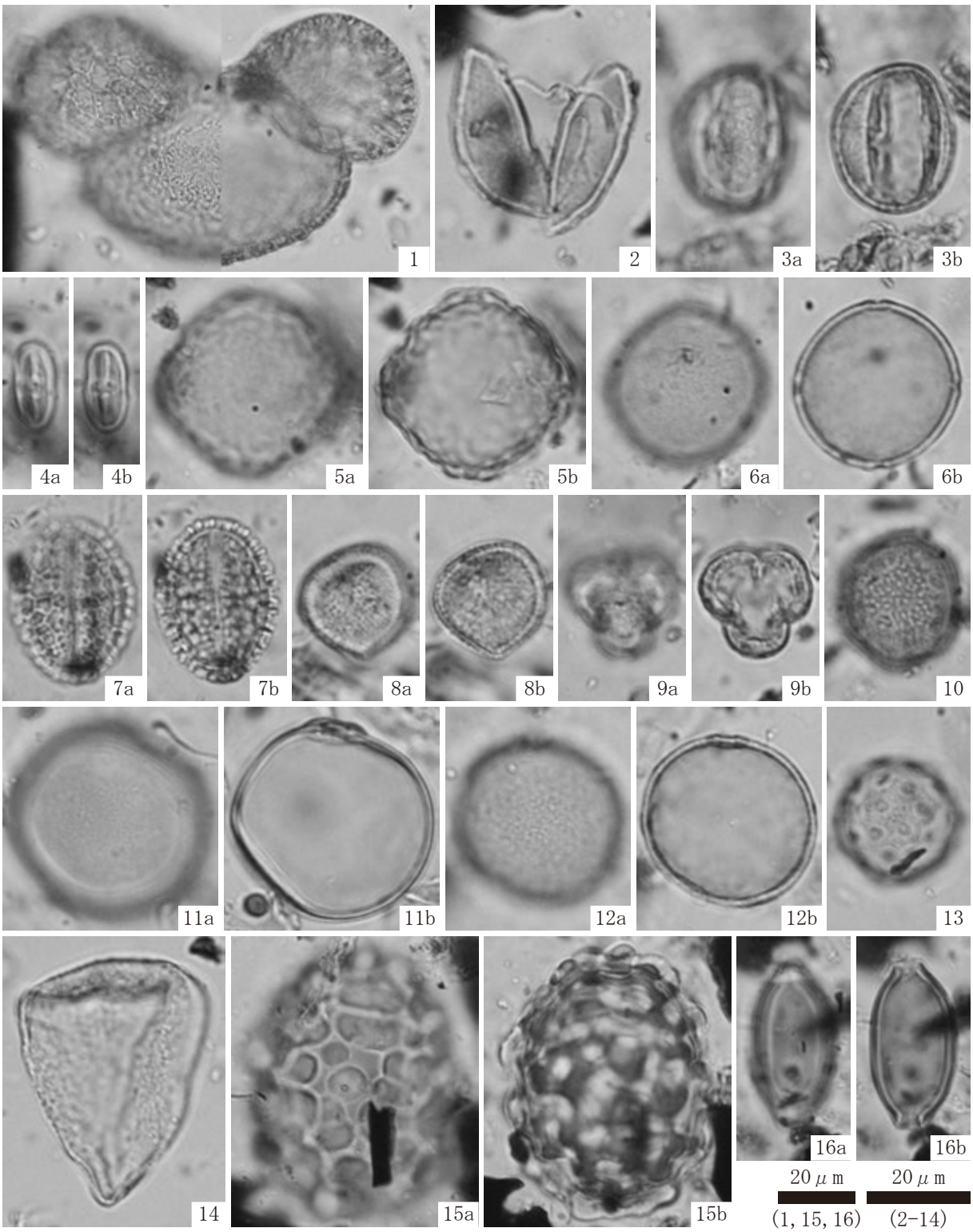
種　類	５ライントレンチ												2S-1141	
	5460 14層	5460 29層	5460 52層 下部	5460 61層	5460 63層 下部	5460 65層 下部	5460 67層	5460 72層 下部	5460 74層	5460 76層	5458 10層	5459 77層	3468 12層 上部	3529 11層 下部
寄生虫卵														
Ascaris　回虫卵	0	0	2	6	0	28	0	0	0	6	7	0	0	0
Trichuris　鞭虫卵	0	0	23	24	44	140	32	0	18	0	27	5	0	0
寄生虫卵数	0	0	25	31	44	168	32	0	18	6	33	5	0	0
花粉・胞子数	179	191	670	390	374	1159	2848	84	1481	452	3243	1392	338	74

第６節　種実同定結果

１　平成28年度実施分の結果

（１）大型植物遺体の出土状況

結果を第Ⅴ－６－１表（１）・（２）、第Ⅴ－６－１・２図に示す。分析に供された18試料を通じて、裸子植物１分類群（針葉樹のスギ）１個の葉と、被子植物57分類群（広葉樹のクヌギ節？、クヌギ節-クリ、ムクノキ、クワ属、カジノキ、サルナシ近似種、マタタビ近似種、マタタビ属、ヒサカキ属、フユイチゴ類、キイチゴ属、アカメガシワ、カラスザンショウ、ブドウ属、ブドウ科、キブシ、タラノキ、ムラサキシキブ属、ニワトコ、草本のイネ、ヒエ近似種、アワ、エノコログサ属、イネ科（イヌビエ属？、シバ類？、半卵体、半狭卵体、他）、スゲ属、テンツキ近似種、カヤツリグサ科、ツチアケビ、アサ、カナムグラ、ミズ属、ギシギシ属、イヌタデ近似種、ナデシコ科、アカザ属、ヒユ属、フウロケマン、アブラナ科、キジムシロ類、アズキ類、カタバミ属、エノキグサ、ヒメミカンソウ、



1. マツ属(5ライントレンチ;5460-52層下部)
2. スギ属(5ライントレンチ;5460-52層下部)
3. コナラ属アカガシ亜属(5ライントレンチ;5458-10層)
4. クリ属(5ライントレンチ;5460-52層下部)
5. ニレ属―ケヤキ属(6ライントレンチ;12-23層)
6. エノキ属―ムクノキ属(6ライントレンチ;12-23層)
7. カラスザンショウ属(5ライントレンチ;5460-52層下部)
8. ガマ属(5ライントレンチ;5459-77層)
9. ヨモギ属(5ライントレンチ;5459-77層)
10. ナデシコ科(5ライントレンチ;5460-65層下部)
11. イネ属(5ライントレンチ;5458-10層)
12. イネ科(5ライントレンチ;5458-10層)
13. アカザ科(5ライントレンチ;5460-52層下部)
14. カヤツリグサ科(5ライントレンチ;5460-52層下部)
15. 回虫卵(5ライントレンチ;5460-65層下部)
16. 鞭虫卵(5ライントレンチ;5460-65層下部)

第Ｖ－４－６図　平成30年度実施　花粉分析・寄生虫卵分析(花粉化石・寄生虫卵)

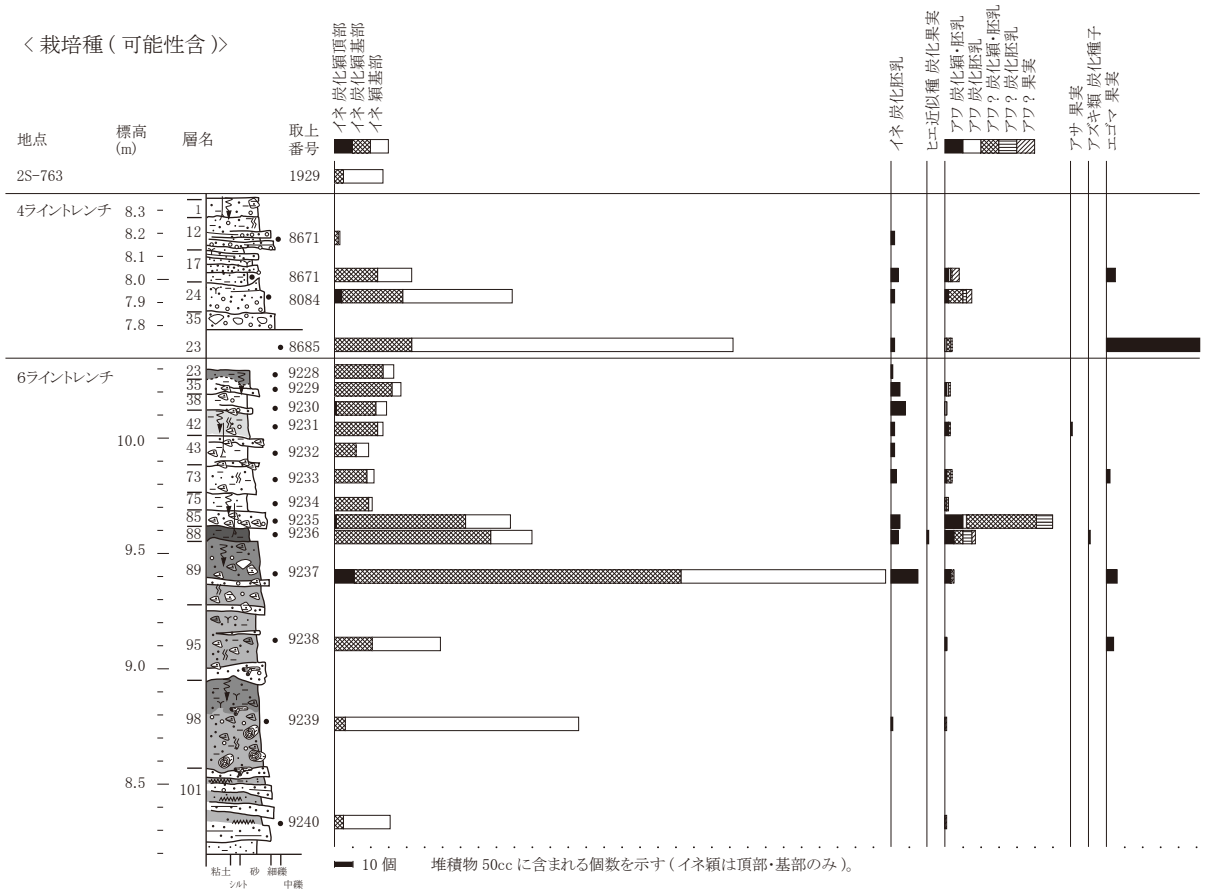
第Ⅴ－６－１表　平成28年度実施　種実分析結果（１）

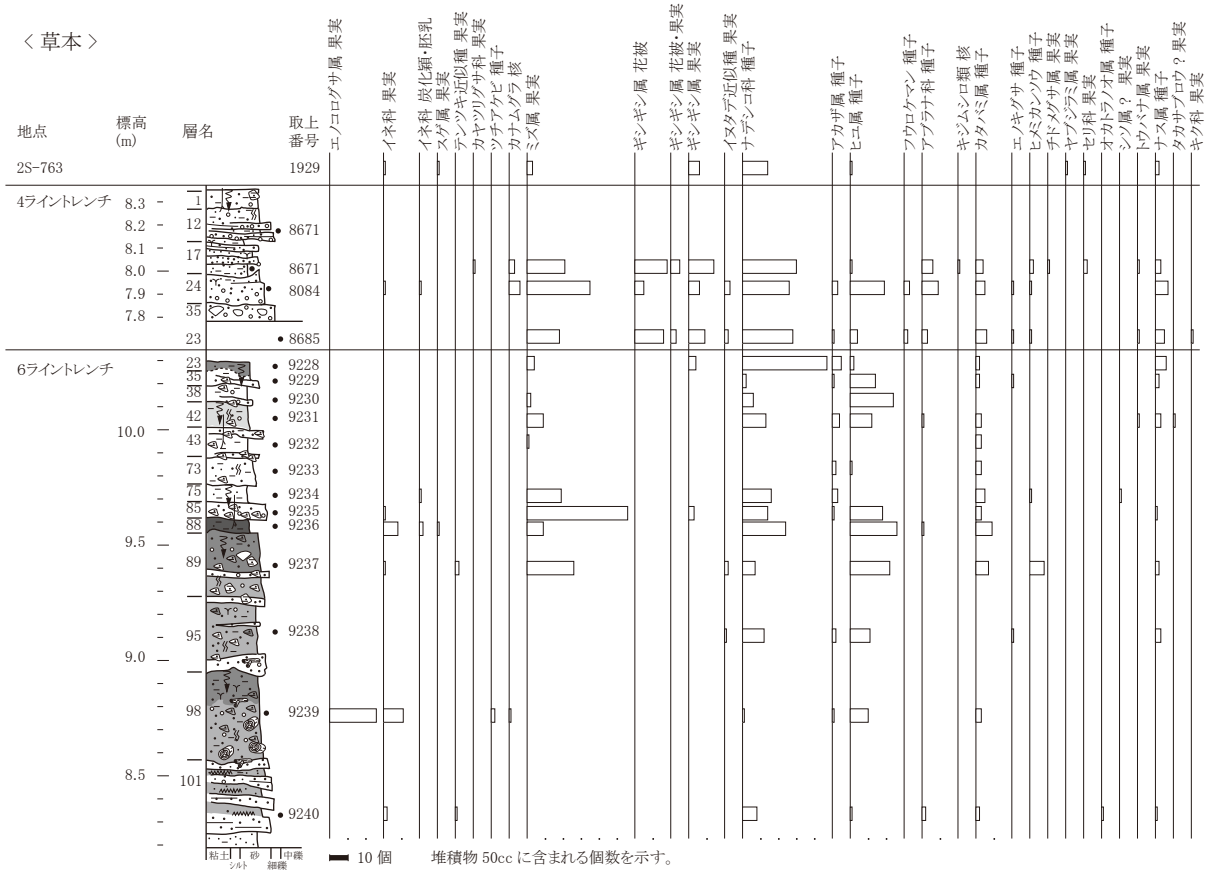
分類群	部位・状態		1段目：地点 2段目：取上No. 3段目：層位																		備考
			2S-763	4ライントレンチ				6ライントレンチ													
			1929	8671		8804	8685	9228	9229	9230	9231	9232	9233	9234	9235	9236	9237	9238	9239	9240	
				12層	17層			23層	35層	38層	42層	43層	73層	75層	85層	88層	89層	95層	98層	101層	
木本																					
スギ	葉	完形	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
クヌギ節?	果実	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	基部
クヌギ節-クリ	果実	破片 炭化	－	－	－	3	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	35層:基部
	果実	破片	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
ムクノキ	核	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	
クワ属	核	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	1	－	
		破片	－	－	1	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
カジノキ	核	破片	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
サルナシ近似種	種子	完形	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	長さ2.2mm
		破片	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	長さ2.1mm
マタタビ近似種	種子	完形	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	長さ1.7mm
		破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	長さ1.7mm
マタタビ属	種子	破片	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
ヒサカキ属	種子	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	
		破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	
フユイチゴ類	核	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	
		破片	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
キイチゴ属	核	完形	－	－	3	2	2	1	－	－	－	－	1	1	－	3	8	－	3	3	
		破片	－	－	－	1	1	1	－	1	1	1	－	1	－	－	－	－	－	1	
アカメガシワ	種子	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	
カラスザンショウ	種子	完形	－	－	2	5	6	－	1	1	2	3	3	3	3	2	2	1	3	3	
		破片	－	7	62	51	73	8	34	41	71	32	57	90	60	71	34	22	11	253	
ブドウ属	種子	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	背面
ブドウ科	種子	破片	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
キブシ	種子	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	
タラノキ	核	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3	
		破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	
ムラサキシキブ属	核	完形	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	
ニワトコ	核	完形	－	－	－	2	5	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	4	
		破片	－	4	1	4	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	4	
草本																					
イネ	穎(基部)	破片	22	1	19	61	>179	6	5	6	3	7	4	2	25	23	114	38	>130	26	
	穎	破片	25	－	28	78	>243	－	2	－	1	－	－	－	6	41	43	47	>132	93	
	穎	破片 灰化	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	1	－	－	－	
	穎(基部)	破片 灰化	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	7	－	－	－	
	穎(頂部)	破片 炭化	－	－	－	4	－	－	－	1	－	－	－	－	1	－	11	－	－	－	
	穎(基部)	破片 炭化	5	2	24	34	43	27	32	22	24	12	18	19	72	87	175	21	6	5	
	穎	破片 炭化	8	1	24	>145	57	37	14	7	16	37	14	10	>167	>175	>238	33	18	15	
	胚乳	完形 炭化	－	－	－	－	1	1	－	－	－	－	－	－	1	1	1	－	1	－	
		破片 炭化	－	2	4	2	1	－	5	8	2	2	3	－	4	3	14	－	－	－	
ヒエ近似種	穎・胚乳	完形 炭化	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	
アワ	穎・胚乳	完形 炭化	－	－	2	2	－	－	1	－	2	－	1	－	6	3	3	－	－	－	
		破片 炭化	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	4	2	－	1	－	－	
	胚乳	完形 炭化	－	－	1	－	1	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	
		破片 炭化	－	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
アワ?	穎・胚乳	完形 炭化	－	－	1	－	－	－	－	－	1	－	－	1	－	－	－	－	－	－	
	胚乳	完形 炭化	－	－	－	1	1	－	1	－	－	－	1	1	9	4	1	－	－	－	
		破片 炭化	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	
エノコログサ属(アワ?)	果実	完形 炭化	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	
		破片 炭化	－	－	－	7	2	－	－	－	－	－	2	－	38	5	1	－	－	－	
	果実	完形	－	－	2	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	
		破片	－	－	2	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	1	
エノコログサ属	果実	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	21	－	
		破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	5	－	
イネ科(イヌビエ属?)	果実	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	
		破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	
イネ科(シバ類?)	果実	完形	1	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	1	8	1	－	－	－	
イネ科(半卵体)	果実	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	7	－	
イネ科(半狭卵体)	果実	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	4	－	
イネ科	穎・胚乳	完形 炭化	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	1	－	2	－	－	－	－	
スゲ属(2面体)	果実	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	
		破片	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
テンツキ近似種	果実	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	1	
		破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	
カヤツリグサ科(3面体)	果実	完形	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
ツチアケビ	種子	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	
アサ	果実	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	頂部
カナムグラ	核	破片	－	－	3	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	

第Ⅴ－６－１表　平成28年度実施　種実分析結果（２）

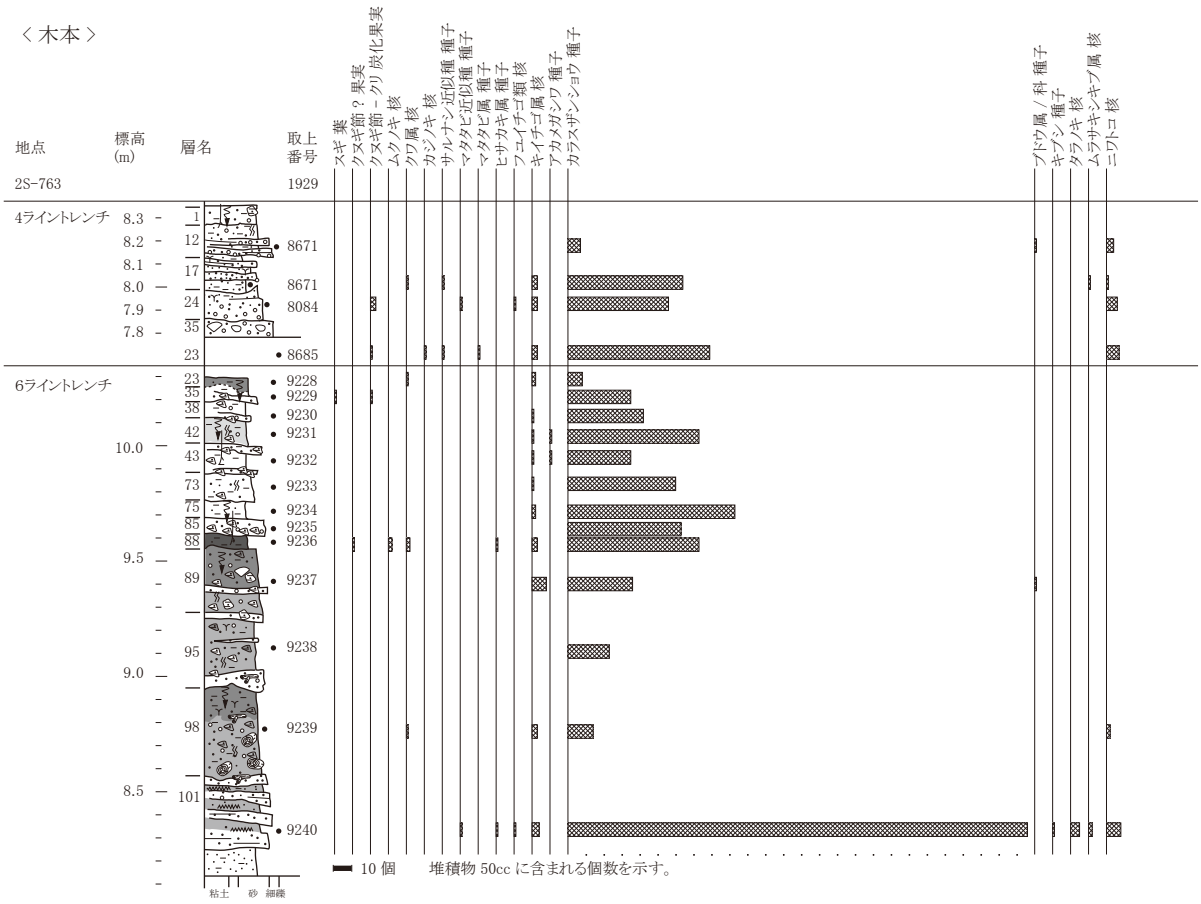
分類群	部位・状態		1段目：地点　2段目：取上No. 3段目：層位																		備考
			2S-763	4ライントレンチ				6ライントレンチ													
			1929	8671		8804	8685	9228	9229	9230	9231	9232	9233	9234	9235	9236	9237	9238	9239	9240	
				12層	17層			23層	35層	38層	42層	43層	73層	75層	85層	88層	89層	95層	98層	101層	
ミズ属	果実	完形 炭化	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	
	果実	完形	3	－	16	13	11	4	－	1	6	1	－	15	46	8	26	－	－	－	
		破片	－	－	5	22	7	－	－	1	3	－	－	4	9	1	－	－	－	－	
ギシギシ属	花被	破片	－	－	18	5	16	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	花被・果実	完形	－	－	5	－	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	果実	完形	2	－	10	1	3	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
		破片	1	－	4	5	6	－	－	－	－	－	－	－	3	－	－	－	－	－	
	果実	完形 炭化	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
イヌタデ近似種	果実	完形	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－	－	
		破片	－	－	－	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	
ナデシコ科	種子	完形	14	－	28	21	24	35	2	6	11	－	－	16	11	18	7	11	1	6	
		破片	－	－	2	5	4	12	－	－	2	－	－	－	3	6	－	1	－	2	
アカザ属	種子	完形	－	－	－	2	1	4	1	－	3	－	2	3	1	－	－	2	1	－	
		破片	－	－	－	1	－	1	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
ヒユ属	種子	完形	1	－	1	11	1	2	1	10	4	－	－	－	6	12	10	8	10	1	
		破片	－	－	－	8	3	－	13	14	8	－	1	－	12	14	12	3	－	－	
フウロケマン	種子	完形	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
		破片	－	－	－	2	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
アブラナ科	種子	完形	－	－	4	9	3	－	－	－	1	－	－	－	－	1	－	－	－	2	
		破片	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
キジムシロ類	核	完形	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	隆条点在
アズキ類	種子	完形 炭化	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	
カタバミ属	種子	完形	－	－	1	4	4	2	2	－	1	3	2	5	3	8	7	－	3	2	
		破片	－	－	3	1	2	－	－	－	2	－	1	－	－	1	－	－	－	－	
エノキグサ	種子	完形	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
		破片	－	－	－	1	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	
ヒメカンソウ	種子	完形	－	－	2	1	1	－	－	－	－	－	－	1	－	－	8	－	－	－	
チドメグサ属	果実	完形	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
ヤブジラミ属	果実	完形	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
セリ科	果実	完形	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
		破片	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
オカトラノオ属	種子	完形	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	
シソ属(エゴマ)	果実	完形	－	－	1	－	17	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
		破片	－	－	4	－	35	－	－	－	－	－	－	－	－	－	6	4	－	－	
	果実	破片 炭化	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	
シソ属-イヌコウジュ属	果実	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	
トウバナ属	果実	完形	－	－	1	－	1	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
ナス属	種子	完形	2	－	2	4	4	5	1	－	2	－	－	－	1	－	2	3	－	1	
		破片	－	－	1	3	1	1	1	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
タカサブロウ?	果実	破片	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
キク科	果実	完形	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
不明																					
堅果類(カヤ?)		破片	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	
アカバナ属?	種子?	完形	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
カリガネソウ属?	果実?	完形	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
不明(表面網目)		破片	－	－	1	1	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	同一種の可能性
合計																					
木本種実・葉			－	12	71	70	93	11	37	43	75	37	61	95	63	82	45	23	20	279	
草本種実			90	6	225	470	681	141	83	77	97	62	52	79	433	429	692	174	343	158	
不明			－	－	1	2	1	2	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	1	
合計(不明を除く)			90	18	296	540	774	152	120	120	172	99	113	174	496	511	737	197	363	437	
その他(抽出同定対象外)																					
炭化材			++	+	+++	++	++	++	++	++	+	++	++	++	++	++	++	++	+	+	
木材			+	+	+	+	+	+	+	+	++	+	+	+	+	+	+	++	++	+	
植物片			++	+	+++	++	++	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
菌核			－	－	－	－	+	－	+	－	－	+	+	+	+	+	+	+	+	+	
昆虫類			+	－	+	+	+	+	+	+	－	－	－	－	+	+	+	+	+	+	
二枚貝類の殻皮			－	－	+	－	+	－	－	+	－	－	－	－	+	－	+	－	－	+	
砂礫			++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	++	+++	++	++	++	++	+++	
土器片			1	1	－	1	－	2	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	
分析量		容積(cc)	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	
		湿重(g)	65	98	79	71	75	66	73	80	93	92	84	65	73	70	79	83	75	81	

注)取上No.8804・8685・9235・9236・9237・9239：イネ穎多量のため、粒径1mmまでの抽出同定にとどめ、個数に「>」を付している。





第Ⅴ－６－１図　平成28年度実施　種実化石群集の層位分布（栽培種・草本）



第Ⅴ－６－２図　平成28年度実施　種実化石群集の層位分布（木本）

チドメグサ属、ヤブジラミ属、セリ科、オカトラノオ属、シソ属（エゴマ）、シソ属-イヌコウジュ属、トウバナ属、ナス属、タカサブロウ？、キク科）5,408個の種実の、計5,409個の大型植物遺体が同定された。９個は同定ができず、カヤの種子に似る堅果片が２個（№9237）、アカバナ属の種子に似る１個（№8804）、カリガネソウ属の果実に似る１個（№9228）と、同一種と考えられる表面網目模様の破片が５個（№8671（17層）、№8804、№8685、№9228、№9240）確認された。大型植物遺体以外は、炭化材、木材、植物片、菌核、昆虫類、二枚貝類の殻皮、砂礫、土器片などが確認された。

大型植物遺体の出土個数（不明を除く）は、№1929が90個、№8671（12層）が18個、№8671（17層）が296個、№8804が>540個、№8685が>774個、№9228（23層）が152個、№9229（35層）が120個、№9230（38層）が120個、№9231（42層）が172個、№9232（43層）が99個、№9233（73層）が113個、№9234（75層）が174個、№9235（85層）が>496個、№9236（88層）が>511個、№9237（89層）が>737個、№9238（95層）が197個、№9239（98層）が>363個、№9240（101層）が437個である。№8804、№8685、№9235、№9236、№9237、№9239が極めて多く、イネ穎の多産に特徴づけられ、うち№8804、№9235、№9236、№9237のイネの多くが炭化している。

栽培種は、イネの穎が>3080個（うち灰化穎９個、炭化穎>1661個）、炭化胚乳が56個、アワの炭化穎･胚乳が27個、炭化胚乳が６個、アサの果実が１個（№9231）確認された。イネは全試料より出土し、全体の６割超を占める。栽培の可能性は、ヒエ近似種の炭化穎･胚乳が１個（№9236）、アワ？の炭化穎･胚乳が３個、炭化胚乳が21個、エノコログサ属（アワ？）の果実が11個、炭化果実が57個、炭化胚乳が６個、アズキ類の炭化種子が１個（№9236）、シソ属（エゴマ）の果実が67個、炭化果実が２個

確認され、№8685におけるシソ属(エゴマ)の多産が特筆される。

栽培種と栽培の可能性を除いた分類群は、木本20分類群1,117個、草本32分類群959個の、計2,076個から成る。木本は、№1929を除く17試料より確認され、針葉樹は常緑高木のスギ葉が１個確認された(№9229)。広葉樹は、落葉高木のクヌギ節？果実、クヌギ節-クリ炭化果実、ムクノキ核、クワ属核、カジノキ核、アカメガシワ種子、カラスザンショウ種子、小高木または低木のキブシ種子、低木のキイチゴ属核、タラノキ核、ムラサキシキブ属核、ニワトコ核、籐本のサルナシ近似種種子、マタタビ近似種種子、マタタビ属種子、ブドウ属種子、ブドウ科種子と、常緑小高木または低木のヒサカキ属種子、つる性低木のフユイチゴ類核が確認され、河畔や林縁等明るく開けた場所を好んで生育する落葉樹が多い。カラスザンショウが1,017個と最多で木本全体の９割を占めるが、うち977個は破片である。特に、カラスザンショウは№9240で256個(うち破片253個)と極めて多い。

草本は、№8671(12層)を除く17試料より確認され、中生植物のエノコログサ属果実、イネ科(シバ類？、半卵体、半狭卵体)果実、炭化穎・胚乳、スゲ属果実、カヤツリグサ科果実、ツチアケビ種子、カナムグラ核、ギシギシ属花被・果実、イヌタデ近似種果実、ナデシコ科種子、アカザ属種子、ヒユ属種子、フウロケマン種子、アブラナ科種子、キジムシロ類核、カタバミ属種子、エノキグサ種子、ヒメミカンソウ種子、チドメグサ属果実、ヤブジラミ属果実、セリ科果実、オカトラノオ属種子、シソ属-イヌコウジュ属果実、ナス属種子、キク科果実と、湿生植物を含むイネ科(イヌビエ属？)、テンツキ近似種果実、ミズ属果実、トウバナ属果実、タカサブロウ？果実が確認され、明るく開けた場所に生育する、いわゆる人里植物に属する分類群が多い。本州中部以西～九州に分布し、山地や低地の日当たりのよい草地に生育する越年草のフウロケマン５個(№8804、8685)と、落葉樹林下またはササの群落中に生育するツチアケビ２個(№9239)が特筆される。

(２)主な種実遺体の記載

・イネ(Oryza sativa L.)　イネ科イネ属

本分析で確認された炭化米は、表面模様がほぼ明瞭で、果皮や種皮が残る「玄米」の状態で、内穎や外穎(籾)が付着する個体が多い。炭化米の出土部位の厳密な区別は困難であるため、本分析では、非可食部の内穎・外穎を「穎(果)」、内部の可食部を「胚乳」としている。

胚乳は、炭化しており黒色、長さ4.0～4.8㎜、幅2.4～2.8㎜、厚さ1.3～2.0㎜のやや偏平な長楕円体を呈す。基部一端には、胚が脱落した斜切形の凹部がある。表面は、２～３本の縦隆条が明瞭である。

保存状態が良好な３個の計測値をもとに「粒大(長さ×幅)、粒形(長さ/幅)」(佐藤,1988)を求めた結果、２個が短粒(1.4～2.0)・極小型(８～12)に、１個が短粒・小型(12～16)に該当する。

胚乳１個を包む穎は、淡～灰褐色、炭化穎は黒色、灰化穎は灰白色、長さ６～８㎜、幅３～４㎜、厚さ２～３㎜のやや偏平な長楕円体を呈す。基部に径１㎜程度の斜切状円柱形の果実序柄(小穂軸)と１対の護穎を有し、その上に外穎(護穎と言う場合もある)と内穎がある。外穎は５脈、内穎は３脈をもち、ともに舟形を呈し、縫合して稲籾を構成する。一部の外穎頂部には長い芒(のぎ)が確認された。果皮は薄く、表面には微細な顆粒状突起が縦列する。

・アズキ類(Vigna subgen. Ceratotropics)　マメ科ササゲ属

種子は炭化しており黒色、長さ6.6㎜、幅4.2㎜、厚さ4.1㎜の直方体状楕円体を呈す。腹面正中線の子葉合わせ目上にある長楕円形の臍は「厚膜タイプ」(小畑,2008;2011)で裂開し、残存長4.7㎜を

測る。臍に隣接する幼根は突出しない。種皮は薄く表面は平滑であるが、焼き崩れている。

炭化種子の計測値より、「簡易楕円体積(長さ/２×幅/２×厚さ/２×４/３×π)」(那須ほか2014;2015)を求めた結果、59.1㎣となる。サイズ範囲(那須ほか,2014;2015)は「野生型(30㎣以下)」と「栽培型(60～70㎣以上)」のサイズが重なる「中間型」に該当し、栽培型に近い。

・シソ属(Perilla)　シソ科

果実は灰褐色、炭化果実は黒色、長さ1.9～2.4(平均2.1)㎜(標本数11)、幅1.6～2.3㎜、厚さ1.4～1.8㎜の倒広卵体を呈す。基部は舌状に突出し、着点がある。果皮表面には浅く大きく不規則な網目模様がある。笠原(1982)の基準(長さ1.4～1.5㎜をシソ、長さ2.0～2.8㎜をエゴマ)や中山ほか(2000)の計測値を参考にすると、エゴマ(P. frutescens (L.) Britt. var. japonica Hara)に近いと判断される。なお、野生種のイヌコウジュ属(Mosla)との区別が困難な破片は、シソ属-イヌコウジュ属としている。

第Ｖ－６－２表　平成28年度実施　主な種実遺体の計測値

分類群	部位・状態	取上No.	層位	番号	長さ(㎜)	幅(㎜)	厚さ(㎜)	粒大	粒形	簡易楕円体積(㎣)	図版番号	備考
イネ	炭化胚乳	9228	23層	－	4.82	2.41	1.25	11.62	2.00	－	22	短粒・極小型,胴切れ
イネ	炭化胚乳	9236	88層	－	4.77	2.82	2.04	13.45	1.69	－	23	短粒・小型
イネ	炭化胚乳	9239	98層	－	4	2.6	1.79	10.40	1.54	－	24	短粒・極小型,胴切れ
ヒエ近似種	炭化穎・胚乳	9236	88層	－	3.25	1.89	1.36	－	－	－	25	
アズキ類	炭化種子	9236	88層	－	6.64	4.15	4.1	－	－	59.13	53	栽培型に近い中間型,臍裂開;残存長4.7㎜
シソ属(エゴマ)	果実	8671	17層	－	2.3	－	－	－	－	－	－	
シソ属(エゴマ)	果実	8685		1	2.38	2.31	1.82	－	－	－	58	
シソ属(エゴマ)	果実	8685		2	2.18	2.03	1.53	－	－	－	－	
シソ属(エゴマ)	果実	8685		3	2.43	2.12	1.52	－	－	－	－	
シソ属(エゴマ)	果実	8685		4	2.03	1.83	1.33	－	－	－	－	
シソ属(エゴマ)	果実	8685		5	2.06	1.61	1.43	－	－	－	－	
シソ属(エゴマ)	果実	8685		6	1.85	－	－	－	－	－	－	
シソ属(エゴマ)	果実	8685		7	1.94	－	－	－	－	－	－	
シソ属(エゴマ)	果実	8685		8	2.22	－	－	－	－	－	－	
シソ属(エゴマ)	果実	8685		9	1.87	－	－	－	－	－	－	
シソ属(エゴマ)	果実	8685		10	2.13	－	－	－	－	－	－	
キク科	果実	8685		－	3.62	1.93	1.06	－	－	－	62	ゴボウとの比較が不十分

注)計測はデジタルノギスを使用。炭化米の粒大・粒形は佐藤(1988)、簡易楕円体積：那須ほか(2014;2015)による。

２　平成30年度実施分の結果

(１)大型植物遺体の出土状況

同定結果を第Ｖ－６－３表、第Ｖ－６－４表(１)～(４)、堆積物50ccあたりの個数で換算した大型植物遺体群集組成を第Ｖ－６－５図(１)・(２)に示す。また、各分類群の写真を第Ｖ－６－６～８図に、主な種実遺体の計測値等を第Ｖ－６－３・４表に示して同定根拠とする。

分析に供された38試料を通じて、裸子植物２分類群(針葉樹のアカマツ、スギ)５個の葉と、被子植物82分類群(広葉樹のクヌギ―アベマキ、アカガシ亜属、クリ、ブナ科(クリ？)、ムクノキ、エノキ属、クワ属、カジノキ、ヒメコウゾ、サルナシ近似種、マタタビ近似種、マタタビ属、ヒサカキ属、スモモ？、モモ、フユイチゴ類、キイチゴ属(２型)、アカメガシワ、カラスザンショウ、サンショウ、ブドウ属、ブドウ科、イイギリ、キブシ、タラノキ、エゴノキ、ハクウンボク、ムラサキシキブ属、ニワトコ、草本のオモダカ科、カワツルモ、コナギ近似種、イネ、コムギ、ヒエ？、タイヌビエ近似種、イヌビエ属、キビ、アワ、エノコログサ属、イネ科(スズメノヒエ属？、シバ類？、他)、スゲ属、ハリイ属、テンツキ近似種、マツカサススキ類？、フトイ類、ホタルイ属、カヤツリグサ属、

1．スギ　葉(№9229(35層))
2．クヌギ節？ 果実(№9236(88層))
3．クヌギ節-クリ　果実(№9229(35層))
4．クヌギ節-クリ　果実(№8804)
5．ムクノキ　核(№9236(88層))
6．クワ属　核(№9236(88層))
7．カジノキ　核(№8685)
8．サルナシ近似種　種子(№8671(17層))
9．マタタビ近似種　種子(№9240(101層))
10．ヒサカキ属　種子(№9236(88層))
11．キイチゴ属　核(№9237(89層))
12．フユイチゴ類　核(№9240(101層))
13．アカメガシワ　種子(№9231(42層))
14．カラスザンショウ　種子(№8685)
15．ブドウ属　種子(№9237(89層))
16．キブシ　種子(№9240(101層))
17．タラノキ　核(№9240(101層))
18．ムラサキシキブ属　核(№8671(17層))
19．ニワトコ　核(№9240(101層))
20．イネ　穎(基部)(№8685)
21．イネ　穎(頂部)(№9237(89層))
22．イネ　胚乳(№9228(23層))
23．イネ　胚乳(№9236(88層))
24．イネ　胚乳(№9239(98層))
25．ヒエ近似種　穎・胚乳(№9236(88層))
26．イネ科(イヌビエ属?)　果実(№9240(101層))
27．アワ　穎・胚乳(№9235(85層))
28．エノコログサ属　果実(№9239(98層))

第Ⅴ－６－３図　平成28年度実施　種実同定(大型植物遺体１)

29．イネ科（半狭卵体）果実（№9239（98層））
30．イネ科（半卵体）果実（№9239（98層））
31．イネ科（シバ類?）果実（№9236（88層））
32．イネ科 穎・胚乳（№9234（75層））
33．スゲ属 果実（№1929）
34．テンツキ近似種 果実（№9237（89層））
35．カヤツリグサ科 果実（№8671（17層））
36．ツチアケビ 種子（№9239（98層））
37．ツチアケビ 種子（№9239（98層））
38．ミズ属 果実（№9235（85層））
39．アサ 果実（頂部）（№9231（42層））
40．カナムグラ 核（№8804）
41．ギシギシ属 花被・果実（№8685）
42．ギシギシ属 果実（№8671（17層））
43．イヌタデ近似種 果実（№9237（89層））
44．ナデシコ科 種子（№9228（23層））
45．アカザ属 種子（№9228（23層））
46．ヒユ属 種子（№9236（88層））
47．フウロケマン 種子（№8685）
48．アブラナ科 種子（№8804）
49．キジムシロ類 核（№8671（17層））
50．カタバミ属 種子（№9236（88層））
51．エノキグサ 種子（№8685）
52．ヒメミカンソウ 種子（№9237（89層））
53．アズキ類 種子（№9236（88層））
54．チドメグサ属 果実（№8671（17層））
55．ヤブジラミ属 果実（№1929）
56．セリ科 果実（№8671（17層））
57．オカトラノオ属 種子（№9240（101層））
58．シソ属（エゴマ）果実（№8685）
59．トウバナ属 果実（№8685）
60．ナス属 種子（№8685）
61．タカサブロウ? 果実（№9231（42層））
62．キク科 果実（№8685）

第Ⅴ－６－４図　平成28年度実施　種実同定（大型植物遺体２）

第Ⅴ－６－３表　平成30年度実施　種実同定(単体)結果

分類群	部位･状態	地区名 層位名 遺構名 取上No.	２区北側C４ A-A'断面 ８・９層 ２S-1057 3596	１区I-11 グリッド 埋土中 S-９ 1035	計測値(mm) 長さ	幅	厚さ	幼根長	簡易 楕円 体積 (mm)	サイズ 範囲	備考
木本種実											
カラスザンショウ	外種皮･種子	完形	47	－	－	－	－	－	－	－	
		完形未満	5	－	－	－	－	－	－	－	
		破片	5	－	－	－	－	－	－	－	
	種子	完形	36	－	－	－	－	－	－	－	
		完形未満	4	－	－	－	－	－	－	－	
		破片	4	－	－	－	－	－	－	－	
ブドウ属	外種皮･種子	完形	1	－	3.30	2.70	2.25	－	－	－	
草本種実											
アズキ亜属	炭化種子	完形	－	3	6.45	4.46	4.48	2.11	67.45	栽培型	臍欠損
		半分	－	5	－	－	－	－	－	－	
		破片	－	6	－	－	.	－	－	－	
ダイズ属	炭化種子	完形	－	2	7.15	4.94	4.12	3.20	76.16	栽培型	臍欠損，１個0.03g年代測定
		破片	－	2	－	－	－	－	－	－	
合　　計			102	18	－	－	－	－	－	－	

1）計測はデジタルノギスを使用した。
2）簡易楕円体積(長さ/２×幅/2×厚さ/２×４/３×π)、サイズ範囲は那須ほか(2014;2015)を適用した。

カヤツリグサ科、カナムグラ、ミズ属、カラムシ属、ギシギシ属、ヤナギタデ近似種、サナエタデ近似種、タデ属、ナデシコ科、アカザ属、ヒユ属、タガラシ、ムラサキケマン型、アブラナ科、アズキ亜属、カタバミ属、エノキグサ、ヒメミカンソウ、ツリフネソウ、スミレ属、スズメウリ、メロン類、セリ科、キランソウ属、エゴマ、シソ属、トウバナ属、ハダカホオズキ類、ナス属、タカサブロウ、ヒヨドリバナ属)12,139個の種実の、計12,144個の大型植物遺体が同定された。12個は同定ができず、木本類の果実に似る破片が１個(サンプル12-23層)、破片が２個(5460-67層)、アブラナ科の種子に似る表面網目模様の破片が２個(5460-65層下部、5460-67層)確認された。大型植物遺体以外は、炭化材、木材、植物片、虫類、砂礫類、土器片などが確認された。

栽培種は、モモが２個、イネが9,141個、コムギが１個、キビが５個、アワが25個、メロン類が１個、エゴマが６個と、栽培の可能性があるスモモ？が４個、ヒエ？が１個、タイヌビエ近似種が３個、イヌビエ属が１個、キビ？が１個、アワ？が11個、イネ科が16個、アズキ亜属が15個、ダイズ属４個、シソ属が７個確認された。イネの穎が最も多く、大型植物遺体群全体の3/4を占める。イネは、特に５ライントレンチの5457-77層、5456-77層、5460-77～67層で極めて多産する。

栽培種と栽培の可能性を除いた分類群は、木本は、針葉樹で常緑高木のアカマツとスギ、広葉樹で落葉高木のクヌギ―アベマキ、クリ、ブナ科(クリ？)、ムクノキ、エノキ属、クワ属、カジノキ、アカメガシワ、カラスザンショウ、イイギリ、小高木のエゴノキ、ハクウンボク、小高木または低木のキブシ、低木のヒメコウゾ、キイチゴ属(２型)、サンショウ、タラノキ、ムラサキシキブ属、ニワトコ、籐本のサルナシ近似種、マタタビ近似種、マタタビ属、ブドウ属、ブドウ科と、常緑高木のアカガシ亜属、小高木または低木のヒサカキ属、つる性低木のフユイチゴ類が確認され、河畔や林縁等明るく開けた場所を好んで生育する樹種が多い。また、カラスザンショウ(？を含む)が1,623個と最も多く、S-９の1035や3468-12層上部・下部とサンプル15-92層における多産が特筆される。その他、5460-65層下部のキイチゴ属の多産も特徴的である。

草本は、明るく開けた場所に生育する、いわゆる人里植物に属する分類群を主体とし、汽水性沈水植物のカワツルモ、抽水植物のオモダカ科、コナギ近似種、マツカサススキ類？、フトイ類、ホタルイ属、湿生植物のハリイ属、テンツキ近似種、ミズ属、ヤナギタデ近似種、タガラシ、ムラサキケマ

第Ⅴ－６－４表　平成30年度実施　種実同定(洗い出し)結果(１)

				5ライントレンチ																				
				5460	5460	5460	5460	5460		5460	5460		5460		5460	5460	5460	5460		5460	5460	5460	5456	5457
				13層	14層	29層	35層	52層		61層	63層		65層		66層	67層	71層	72層		74層	75層	76層	77層	77層
分類群	部位	状態						上部	下部		上部	下部	上部	下部				上部	下部					
木本																								
アカマツ	葉	破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－
スギ	葉	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	4	－	－	－	－	－
クヌギ-アベマキ	果実	破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
アカガシ亜属	幼果	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
クリ	果実	破片	炭化	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	13	1	－	－	－	4	－	－	1	2	9
ブナ科(クリ?)	果実	破片		－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ムクノキ	核	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
エノキ属	種子	破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
クワ属	核	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
カジノキ	核	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
カジノキ?	核	破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヒメコウゾ	核	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
サルナシ近似種	種子	完形	炭化	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
マタタビ近似種	種子	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片		－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
マタタビ属	種子	破片		－	－	－	－	2	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヒサカキ属	種子	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	1	－	－	－
		破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
スモモ?	核	破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	4	－	－	－	－
モモ	核	破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
フユイチゴ類	核	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	1	－
		破片		－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
キイチゴ属(大型)	核	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－
キイチゴ属	核	完形	炭化	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		完形		1	－	－	1	2	1	－	5	8	9	176	2	－	－	－	－	1	－	1	－	1
		破片		－	1	2	－	1	1	－	－	12	6	19	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－
アカメガシワ	種子	完形		－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
カラスザンショウ	種子	完形		1	2	1	4	4	6	2	－	－	－	2	－	－	5	－	－	－	－	3	1	1
		破片		6	28	21	10	28	13	15	7	33	3	37	3	4	2	－	4	1	6	－	4	4
カラスザンショウ?	種子	破片		22	56	25	78	55	95	51	26	41	30	16	10	6	29	7	－	7	8	1	－	4
サンショウ	種子	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－
サンショウ?	種子	破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ブドウ属	種子	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ブドウ科	種子	破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
イイギリ	種子	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片		－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
キブシ	種子	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－
		破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－
タラノキ	核	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片		－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
エゴノキ	種子	破片	炭化	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ハクウンボク	種子	破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－
ハクウンボク?	種子	破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－
ムラサキシキブ属	核	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ニワトコ	核	完形		－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	1	－
草本																								
オモダカ科	種子	完形		－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
カワツルモ	果実	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	1	1	－	－
コナギ近似種	種子	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
イネ	穎	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－
	穎(基部)	破片		－	－	－	3	1	2	25	6	7	23	28	43	123	366	584	957	298	1445	1184	322	419
	穎	破片		－	－	1	－	－	－	3	3	－	3	5	54	>44	>66	>40	>407	>118	>219	>62	>58	>137
	穎(基部)	破片	炭化	23	49	38	12	7	47	6	14	43	1	107	7	1	29	3	15	41	3	4	1	64
	穎	破片	炭化	7	1	1	4	4	11	3	26	45	14	9	15	12	6	－	1	41	12	1	1	57
	胚乳	完形	炭化	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片	炭化	－	2	1	1	－	1	－	8	1	－	5	－	－	－	－	－	1	－	1	1	－
コムギ	胚乳	破片	炭化	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヒエ?	果実	完形	炭化	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
タイヌビエ近似種	果実	完形	炭化	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
イヌビエ属	果実	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
キビ	胚乳	完形	炭化	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
キビ?	胚乳	完形	炭化	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
アワ	果実	完形	炭化	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	3	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－
		破片	炭化	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－
		完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	5	－	－	－	－
		破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	4	－	－	－	－
	胚乳	完形	炭化	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
アワ?	果実	完形	炭化	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－	1	1	－	－	－	1	－	－	－
		破片	炭化	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－
	胚乳	完形	炭化	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		破片	炭化	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
エノコログサ属	果実	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		－
イネ科(アワより小型)	胚乳	完形	炭化	1	1	1	－	－	－	1	－	－	－	3	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－
イネ科(スズメノヒエ属?)	果実	破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

第Ⅴ－６－４表　平成30年度実施　種実同定（洗い出し）結果（２）

				5ライントレンチ																				
				5460	5460	5460	5460	5460		5460		5460		5460	5460	5460	5460		5460	5460	5460	5456	5457
				13層	14層	29層	35層	52層		61層	63層		65層		66層	67層	71層	72層		74層	75層	76層	77層	77層
分類群	部位	状態						上部	下部		上部	下部	上部	下部				上部	下部					
イネ科(シバ類?)	果実	完形	炭化	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–
		完形		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1
イネ科	果実	完形	炭化	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	胚乳	完形	炭化	–	–	1	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
スゲ属	果実	完形		–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–
		破片		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
ハリイ属	果実	完形		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–
テンツキ近似種	果実	完形		–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	1	–	–	–	–	1	–	–	–	–
マツカサススキ類?	果実	完形		–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
フトイ類	果実	完形		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	–	1	–
ホタルイ属	果実	完形		–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
		破片		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
カヤツリグサ属	果実	完形		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
カヤツリグサ科	果実	完形		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	1	–	1	–	–
	果実	破片		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
カナムグラ	核	破片		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2
ミズ属	果実	完形		–	–	1	–	–	1	–	–	2	–	1	–	1	1	–	–	–	–	–	–	–
カラムシ属	果実	完形		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
ギシギシ属	果実	完形		–	–	–	–	–	–	1	–	1	–	–	–	1	–	–	–	1	–	–	–	–
		破片		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	果実・花被	完形		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–
	花被	破片		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	–	–	–	–
ヤナギタデ近似種	果実	完形		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
		破片		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	–	–
サナエタデ近似種	果実	完形		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
タデ属	果実	完形	炭化	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
		破片		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
ナデシコ科	種子	完形	炭化	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
		完形		–	–	–	–	–	11	9	4	30	29	26	6	8	5	–	2	2	1	–	1	–
		破片		–	–	–	–	–	1	–	–	3	7	18	1	–	–	–	3	1	–	–	–	–
アカザ属	種子	完形		–	–	–	1	–	5	–	1	–	1	–	1	1	–	–	–	–	–	–	–	–
		破片		–	–	–	–	–	11	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
ヒユ属	種子	完形	炭化	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
		完形		–	–	–	–	–	–	3	5	1	–	7	6	1	11	–	–	4	1	–	–	–
		破片		–	–	–	–	–	4	3	4	1	–	2	1	–	–	–	3	–	–	–	–	–
タガラシ	果実	破片		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
ムラサキケマン型	種子	破片		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2
アブラナ科	種子	完形		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	1	3	–	–	–	5	2	–	1	–
アズキ亜属	種子	完形	炭化	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
カタバミ属	種子	完形		–	–	–	–	–	12	3	3	5	–	3	–	2	–	–	1	4	5	–	2	1
		破片		–	1	–	3	–	2	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	2	–	–	–
エノキグサ	種子	完形		–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
		破片		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
ヒメミカンソウ	種子	完形		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	–	–	–
ツリフネソウ	種子	破片		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
スミレ属	種子	破片		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
スズメウリ	種子	完形		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
		破片		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
メロン類	種子	破片		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
セリ科	果実	完形		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
		破片		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
キランソウ属	果実	完形		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
エゴマ	果実	完形		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
		破片		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–
シソ属	果実	完形		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
		破片		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	3	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–
トウバナ属	果実	完形		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	1	–	–	–	–	–	–	–
		破片		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
ハダカホオズキ類	種子	完形		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
		破片		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
ナス属	種子	完形		–	–	–	–	–	2	–	1	–	–	1	–	–	1	–	–	1	2	1	–	–
		破片		–	–	–	–	1	2	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–
タカサブロウ	果実	完形		–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
ヒヨドリバナ属	果実	完形		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
		破片		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
不明																								
木本類?	果実?	破片		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
	不明	破片		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–	–	–	–	–
アブラナ科?	種子?	破片		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	1	–	–	–	–	–	–	–	–
不明		完形		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
不明		破片	炭化	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–	–	2	–	–	–	–
不明		破片		–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	–	–	–	–	–
合計																								
木本				31	91	51	95	93	117	68	38	95	50	265	16	13	39	7	15	15	17	7	9	19
草本				5491	5516	5505	5486	5473	114	5520	5538	141	5540	235	5600	>5662	>5952	>6089	>1392	>5992	>7155	>6716	>5846	>6140
不明				–	–	–	–	–	–	–	–	–	1	1	–	3	–	–	1	2	–	–	–	–
合計(不明を除く)				5522	5607	5556	5581	5566	231	5588	5576	236	5590	500	5616	>5675	>5991	>6096	>1407	>6007	>7172	>6723	>5855	>6159
種実以外																								
木材				–	–	–	–	–	–	+	+	+	+++	+++	+++	+	++	+	++	++	++	+++	++	++
炭化材				++	++	++	++	++	++	+	+++	+++	++	++	++	+	++	+	+	++	++	++	++	++
植物片				+	+	+	+	+	+	++	+	+	++	–	–	++	+	–	–	++	++	+	+	++
虫類				–	–	+	–	–	+	–	+	–	–	–	+	+	–	+	–	+	+	+	–	+
砂礫類				+++	+++	+++	+++	+++	++	+++	+++	+++	++	+++	+++	++	++	++	++	+++	++	++	+++	++
土器片				–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–
分析量				75	150	150	100	150	150	50	50	100	50	50	50	25	50	25	50	50	50	50	50	50
				128	253	273	187	269	252	86	84	163	63	75	80	35	81	30	61	75	65	57	70	66

1)「+」:少量、「++」:中量、「+++」:多量。

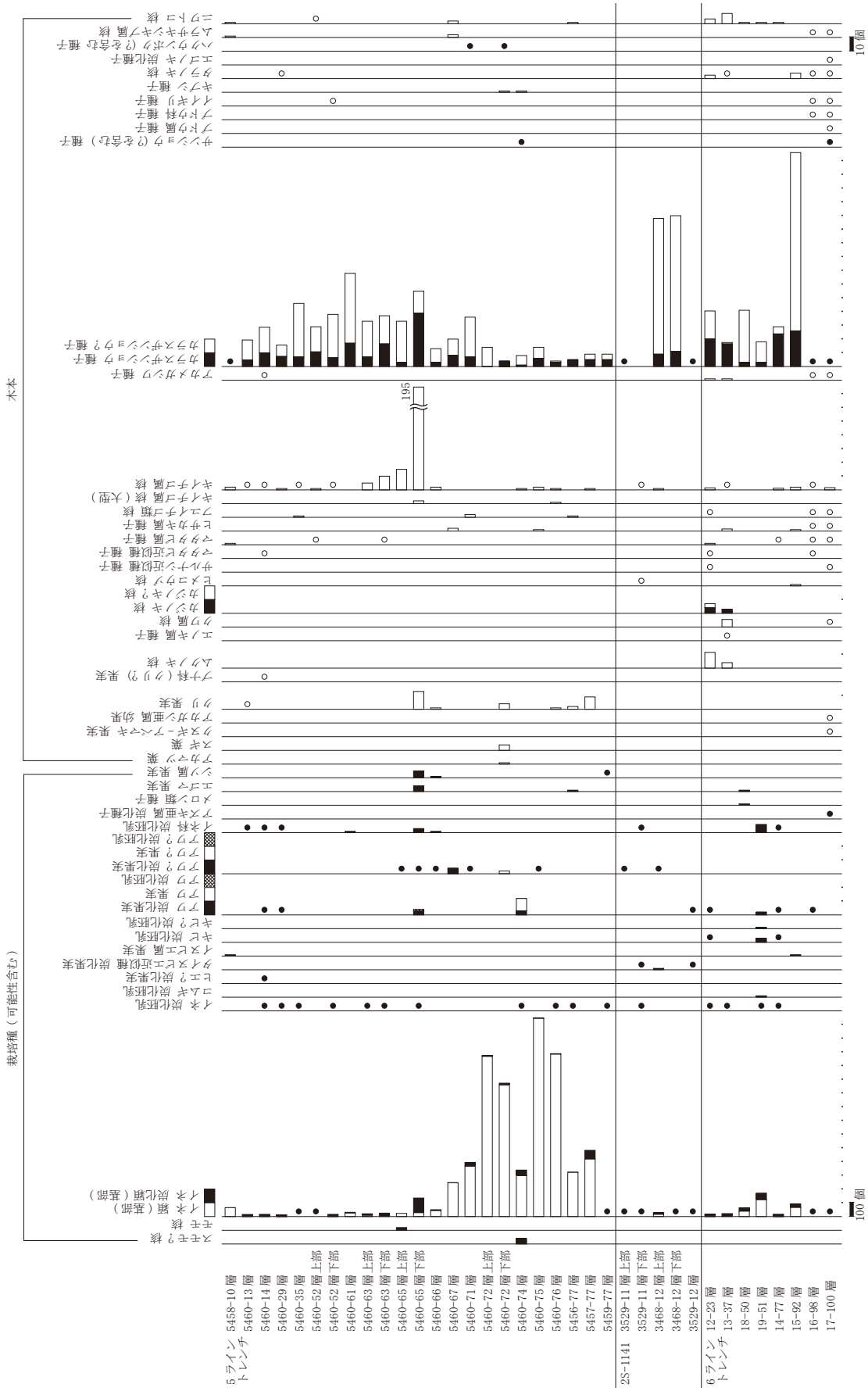
第Ⅴ－６－４表　平成30年度実施　種実同定(洗い出し)結果(３)

				5ライントレンチ		2S-1141					6ライントレンチ								
				5458	5459	3468		3529		3529	12	13	14	15	16	17	18	19	
				10層	77層	12層		11層		12層	23層	37層	77層	92層	98層	100層	50層	51層	
分類群	部位	状態				上部	下部	上部	下部										備考
木本																			
アカマツ	葉	破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
スギ	葉	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
クヌギ-アベマキ	果実	破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	5	－	－	
アカガシ亜属	幼果	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	花柱長い;イチイガシ・アラカシ・シラカシ以外
クリ	果実	破片	炭化	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
		破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
ブナ科(クリ?)	果実	破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
ムクノキ	核	完形		－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	
		破片		－	－	－	－	－	－	－	22	8	－	－	－	－	－	－	
エノキ属	種子	破片		－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	
クワ属	核	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	4	－	－	－	4	－	－	
		破片		－	－	－	－	－	－	－	－	7	－	－	－	3	－	－	
カジノキ	核	完形		－	－	－	－	－	－	－	6	1	－	－	－	－	－	－	
		破片		－	－	－	－	－	－	－	2	4	－	－	－	－	－	－	
カジノキ?	核	破片		－	－	－	－	－	－	－	6	1	－	－	－	－	－	－	
ヒメコウゾ	核	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	
		破片		－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
サルナシ近似種	種子	完形	炭化	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	
		完形		－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	3	－	－	12:長さ2.37mm
マタタビ近似種	種子	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	長さ1.62mm
		破片		－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	12:長さ1.51mm
マタタビ属	種子	破片		1	－	－	－	－	－	－	2	－	1	－	3	2	－	－	
ヒサカキ属	種子	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	3	－	－	－	3	－	－	
		破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	8	2	－	－	
スモモ?	核	破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	残存径4.00mm,1個基部
モモ	核	破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	残存径16.53mm
フユイチゴ類	核	完形		－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	2	5	－	－	
		破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	12	9	－	－	
キイチゴ属(大型)	核	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
		破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
キイチゴ属	核	完形	炭化	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
		完形		2	－	－	－	－	1	－	1	1	5	1	1	25	－	－	
		破片		－	－	1	－	－	－	－	2	－	－	1	1	8	－	－	
アカメガシワ	種子	完形		－	－	－	－	－	－	－	2	1	－	－	－	－	－	－	12:1個外種皮残存
		破片		－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	2	6	－	－	
カラスザンショウ	種子	完形		－	1	1	－	－	－	－	2	1	4	1	－	－	－	1	5460-76層;1個外種皮残存
		破片		－	9	8	11	－	－	3	38	32	91	25	－	2	3	2	
カラスザンショウ?	種子	破片		1	8	99	99	3	－	－	41	2	21	130	2	－	38	15	
サンショウ	種子	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
サンショウ?	種子	破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	
ブドウ属	種子	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	長さ4.01,幅3.17,厚さ2.16mm,合点窪まない
		破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	
ブドウ科	種子	破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	4	－	－	腹面右
イイギリ	種子	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	
		破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	4	2	－	－	
キブシ	種子	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
		破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
タラノキ	核	完形		－	－	－	－	－	－	－	4	－	－	－	2	5	－	－	
		破片		－	－	－	－	－	－	－	1	1	－	4	4	14	－	－	
エゴノキ	種子	破片	炭化	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	
ハクウンボク	種子	破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
ハクウンボク?	種子	破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
ムラサキシキブ属	核	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	3	－	－	
		破片		1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	1	－	－	
ニワトコ	核	完形		－	－	－	－	－	－	－	5	4	2	－	－	－	1	1	
		破片		1	－	－	－	－	－	－	2	11	2	－	－	－	－	－	
草本																			
オモダカ科	種子	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
カワツルモ	果実	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
コナギ近似種	種子	完形		－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
イネ	穎	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	穎(基部)	破片		65	－	16	1	－	1	－	－	6	－	66	15	1	39	122	
	穎	破片		85	－	95	9	－	－	－	－	35	1	8	82	8	100	67	
	穎(基部)	破片	炭化	－	12	12	3	5	33	31	36	37	67	27	2	1	24	49	
	穎	破片	炭化	－	－	－	3	－	2	－	5	13	45	9	5	1	－	14	
	胚乳	完形	炭化	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	1	3529-11層下部;長さ5.16,幅2.73,厚さ1.89mm, 5460-35層;長さ5.32,幅2.87,厚さ2.29mm
		破片	炭化	－	3	－	－	－	－	－	1	6	1	－	－	－	－	4	
コムギ	胚乳	破片	炭化	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	頂部
ヒエ?	果実	完形	炭化	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
タイヌビエ近似種	果実	完形	炭化	－	－	1	－	－	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	
イヌビエ属	果実	完形		1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	
キビ	胚乳	完形	炭化	－	－	－	－	－	－	－	1	－	1	－	－	－	－	3	
キビ?	胚乳	完形	炭化	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	小型
アワ	果実	完形	炭化	－	－	－	－	－	－	－	1	－	1	－	－	－	－	1	
		破片	炭化	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	1	
		完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	
		破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	胚乳	完形	炭化	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
アワ?	果実	完形	炭化	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
		破片	炭化	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
		破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	胚乳	完形	炭化	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
		破片	炭化	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
エノコログサ属	果実	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	
イネ科(アワより小型)	胚乳	完形	炭化	－	－	－	－	－	1	－	－	－	1	－	－	－	－	6	
イネ科(スズメノヒエ属?)	果実	破片		－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	

第Ⅴ－６－４表　平成30年度実施　種実同定(洗い出し)結果(４)

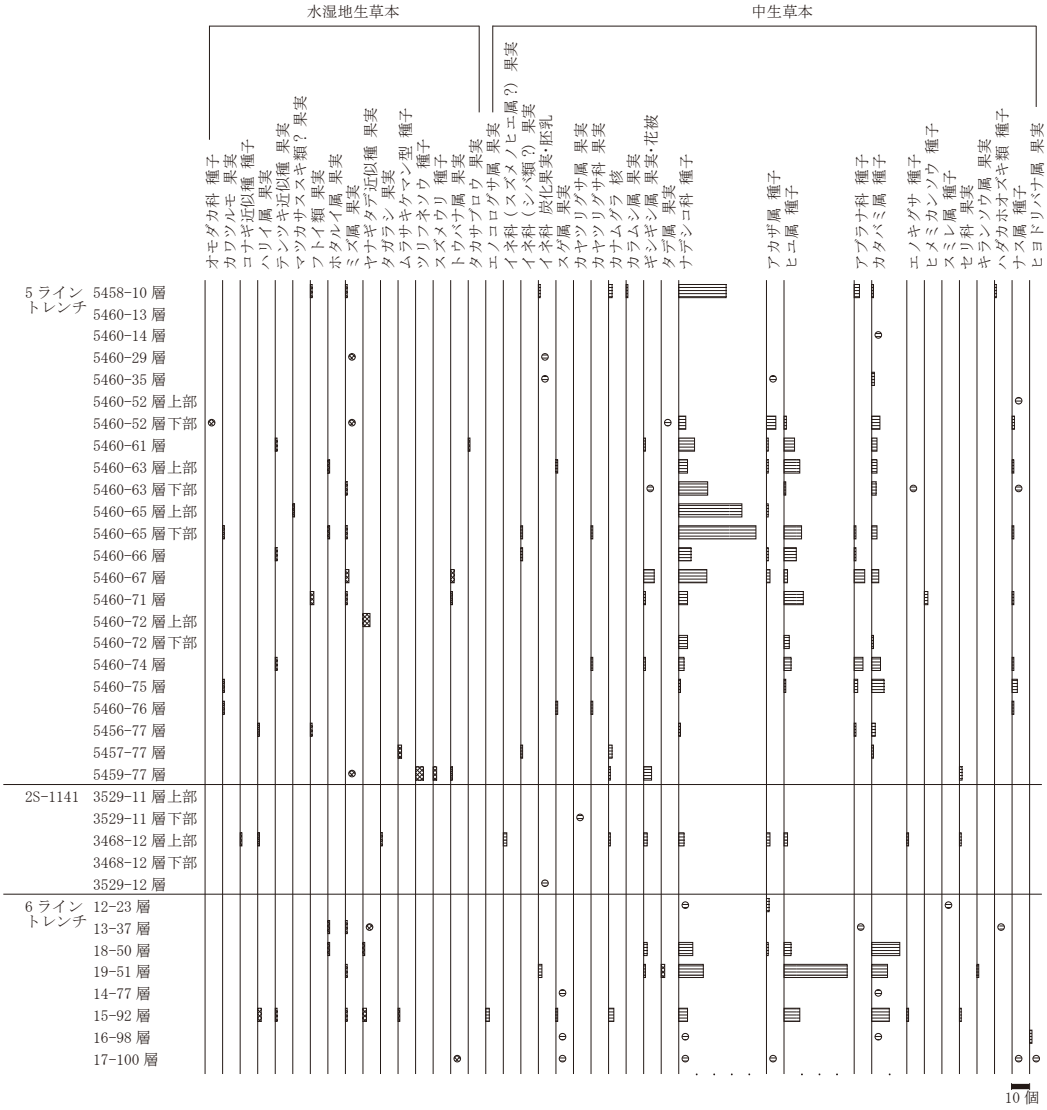
				5ライントレンチ		2S-1141					6ライントレンチ								
				5458	5459	3468		3529		3529	12	13	14	15	16	17	18	19	
				10層	77層	12層		11層		12層	23層	37層	77層	92層	98層	100層	50層	51層	
分類群	部位	状態				上部	下部	上部	下部										備考
イネ科(シバ類?)	果実	完形	炭化	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
		完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
イネ科	果実	完形	炭化	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	
	胚乳	完形	炭化	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	1	
スゲ属	果実	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	3	3	－	－	3面体,複数種
		破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	3	－	－	
ハリイ属	果実	完形		－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	複数種
テンツキ近似種	果実	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	
マツカサススキ類?	果実	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
フトイ類	果実	完形		1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
ホタルイ属	果実	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	
		破片		－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	
カヤツリグサ属	果実	完形		－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
カヤツリグサ科	果実	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2面体
	果実	破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
カナムグラ	核	破片		2	2	1	－	－	－	－	－	－	－	3	－	－	－	－	
ミズ属	果実	完形		1	1	－	－	－	－	－	－	2	－	1	－	－	－	1	
カラムシ属	果実	完形		1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
ギシギシ属	果実	完形		－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	
		破片		－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	果実・花被	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
	花被	破片		－	9	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	
ヤナギタデ近似種	果実	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	
		破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
サナエタデ近似種	果実	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	1	－	
タデ属	果実	完形	炭化	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	焼き膨れ,3面粗面
		破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	表面網目模様
ナデシコ科	種子	完形	炭化	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
		完形		18	－	3	－	－	－	－	1	－	－	4	3	1	5	5	
		破片		9	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	3	9	
アカザ属	種子	完形		－	－	2	－	－	－	－	2	－	－	－	－	1	－	－	
		破片		－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	2	1	－	
ヒユ属	種子	完形	炭化	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
		完形		－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	4	－	－	1	15	
		破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	5	－	－	3	21	
タガラシ	果実	破片		－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
ムラサキケマン型	種子	破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	
アブラナ科	種子	完形		3	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	
アズキ亜属	種子	完形	炭化	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	長さ6.53,幅4.23,厚さ4.31mm, 臍:長さ2.56,幅0.82mm;半露出型
カタバミ属	種子	完形		1	－	－	－	－	－	－	－	－	1	7	1	－	6	3	
		破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3	－	－	10	6	
エノキグサ	種子	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	
		破片		－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
ヒメミカンソウ	種子	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
ツリフネソウ	種子	破片		－	9	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
スミレ属	種子	破片		－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	
スズメウリ	種子	完形		－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
		破片		－	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
メロン類	種子	破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	基部,残存長4.86mm
セリ科	果実	完形		－	3	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	
		破片		－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
キランソウ属	果実	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	
エゴマ	果実	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	長さ2.60mm/2.32mm
		破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	
シソ属	果実	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	長さ1.65mm
		破片		－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
トウバナ属	果実	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	
		破片		－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
ハダカホオズキ類	種子	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	
		破片		1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
ナス属	種子	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3	－	－	
		破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
タカサブロウ	果実	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
ヒヨドリバナ属	果実	完形		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	－	－	
		破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	23	1	－	－	
不明																			
木本類?	果実?	破片		－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	
	不明	破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
アブラナ科?	種子?	破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	表面網目模様
不明		完形		－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	1	－	－	－	
不明		破片	炭化	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
不明		破片		－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	サンプル14;断面柵状
合計																			
木本				6	18	109	110	3	2	3	140	83	126	164	47	115	42	19	合計2138個
草本				5647	5505	3610	16	3535	40	3564	61	117	133	165	154	45	216	355	合計>124266個
不明				－	－	－	－	－	－	－	1	1	1	－	1	－	－	－	合計12個
合計(不明を除く)				5653	5523	3719	126	3538	42	3567	201	200	259	329	201	160	258	374	合計>126404個
種実以外																			
木材				+++	+	+	－	－	－	－	++	+	+	+	－	+	－	++	
炭化材				++	+	++	+	+	++	++	++	+	+++	++	+	+	++	++	
植物片				++	－	+	－	－	+	－	+	－	+	－	－	++	++	+	
虫類				+	+	+	－	－	－	－	+	+	－	－	－	+	+	+	
砂礫類				++	++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	+++	
土器片				－	－	－	－	－	－	3	－	－	2	－	－	－	1	－	
分析量				50	100	50	50	150	150	200	100	100	200	50	900	1000	50	50	容積(cc)
				70	145	103	103	402	287	416	187	167	381	109	1824	1898	89	85	湿重(g)

1)「+」:少量、「++」:中量、「+++」:多量。



堆積物 50cc あたりの個数で示す。イネ穎は基部残存のみとする。イネ穎の丸印は 10 個未満、それ以外の丸印は 1 個未満を示す。

第Ⅴ－６－５図　平成30年度実施　大型植物遺体群集（１）



堆積物 50cc あたりの個数で示す。丸印は１個未満を示す。

第Ⅴ－６－５図　平成30年度実施　大型植物遺体群集（２）

ン型、ツリフネソウ、スズメウリ、トウバナ属、タカサブロウなどの水湿地生植物や、中生植物のエノコログサ属、イネ科(スズメノヒエ属？、シバ類？、他)、スゲ属、カヤツリグサ属、カヤツリグサ科、カナムグラ、カラムシ属、ギシギシ属、タデ属、ナデシコ科、アカザ属、ヒユ属、アブラナ科、カタバミ属、エノキグサ、ヒメミカンソウ、スミレ属、セリ科、キランソウ属、ハダカホオズキ類、ナス属、ヒヨドリバナ属が確認された。

以下、大型植物遺体の出土状況を試料別に述べる。

・２S-1057

3596からは、河畔や林縁等明るく開けた場所を好んで生育する落葉高木のカラスザンショウの種子が101個と、籐本のブドウ属の種子が１個の、計102個が確認された。種子の保存状態は良好で、カラスザンショウ57個とブドウ属には外種皮が残存する。

・S-９

1035からは、栽培の可能性があるアズキ亜属の炭化種子が14個、ダイズ属の炭化種子が２個の、計16個が確認され、保存状態が良好なアズキ亜属とダイズ属の種子のサイズ範囲は「栽培型」（那須ほ

か,2014;2015)に該当する。このうち、ダイズ属１個を年代測定試料に供している。分析残渣は、炭化材を主体とする。

・５ライントレンチ

大型植物遺体の出土個数は、5459-77層(100cc)が64個、5457-77層(50cc)が702個、5456-77層(50cc)が399個、5460-76層(50cc)が1,263個、5460-75層(50cc)が1,712個、5460-74層(50cc)が547個、5460-72層下部(50cc)が1,407個、5460-72層上部(25cc)が636個、5460-71層(50cc)が531個、5460-67層(25cc)が215個、5460-66層(50cc)が156個、5460-65層下部(50cc)が500個、5460-65層上部(50cc)が130個、5460-63層下部(100cc)が236個、5460-63層上部(50cc)が116個、5460-61層(50cc)が128個、5460-52層下部(150cc)が231個、5460-52層上部(150cc)が106個、5460-35層(100cc)が121個、5460-29層(150cc)が96個、5460-14層(150cc)が147個、5460-13層(75cc)が62個、5458-10層(50cc)が195個である。

大型植物遺体群は、圧倒的な栽培種(イネ穎)主体の組成を示す。栽培種は、モモが２個、イネが8,031個、アワが18個、エゴマが５個の他に、栽培の可能性があるスモモ？が４個、ヒエ？が１個、イヌビエ属が１個、アワ？が９個、イネ科が８個、シソ属が７個確認された。最も多いイネの穎は、５ライントレンチの5457-77層、5456-77層、5460-77～67層で極めて多産する。また、5460-65層下部、63層下部・上部、52層下部・上部、35層、29層、14層、13層では炭化穎を主体とする組成が確認された。

栽培種と栽培の可能性を除いた分類群は、木本19分類群(アカマツ、スギ、クリ、ブナ科(クリ？)、マタタビ近似種、マタタビ属、ヒサカキ属、フユイチゴ類、キイチゴ属(２型)、アカメガシワ、カラスザンショウ、サンショウ、イイギリ、キブシ、タラノキ、ハクウンボク、ムラサキシキブ属、ニワトコ)、水湿地生草本14分類群(オモダカ科、カワツルモ、ハリイ属、テンツキ近似種、マツカサススキ類？、フトイ類、ホタルイ属、ミズ属、ヤナギタデ近似種、ムラサキケマン型、ツリフネソウ、スズメウリ、トウバナ属、タカサブロウ)、中生草本18分類群(イネ科(シバ類？)、イネ科、スゲ属、カヤツリグサ科、カナムグラ、カラムシ属、ギシギシ属、タデ属、ナデシコ科、アカザ属、ヒユ属、アブラナ科、カタバミ属、エノキグサ、ヒメミカンソウ、セリ科、ハダカホオズキ類、ナス属)から成る。各層よりカラスザンショウが連続的に確認される他、5460-65層下部のキイチゴ属の多産やナデシコ科のやや多産がみられる。

・２S-1141

大型植物遺体の出土個数は、3529-12層(200cc)が38個、3529-11層下部(150cc)が42個、3529-11層上部(150cc)が９個、3468-12層下部(50cc)が126個、3468-12層上部(50cc)が251個である。3468-12層下部・上部で多い。

栽培種は、イネが212個、アワが２個の他に、栽培の可能性があるタイヌビエ近似種が３個、アワ？が２個、イネ科が１個確認された。3468-12層上部よりイネ穎が多産する(123個)。また、3529-12層、11層下部・上部は炭化穎を主体とする。

栽培種と栽培の可能性を除いた分類群は、木本３分類群(ヒメコウゾ、キイチゴ属、カラスザンショウ)、水湿地生草本３分類群(コナギ近似種、ハリイ属、タガラシ)、中生草本10分類群(イネ科(スズメノヒエ属？)、イネ科、カヤツリグサ属、カナムグラ、ギシギシ属、ナデシコ科、アカザ属、ヒユ属、エノキグサ、セリ科)から成り、3468-12層下部・上部より多産するカラスザンショウ？が大半

を占める。

・６ライントレンチ

大型植物遺体の出土個数は、サンプル17-100層(1000cc)が143個、サンプル16-98層(900cc)が185個、サンプル15-92層(50cc)が314個、サンプル14-77層(200cc)が245個、サンプル19-51層(50cc)が355個、サンプル18-50層(50cc)が240個、サンプル13-37層(100cc)が187個、サンプル12-23層(100cc)が189個である。サンプル15、19、18が多産するのに対して、サンプル17、16は極めて少ないため、試料のほぼ全量を使用した。

栽培種は、イネが898個、コムギが１個、キビが５個、アワが５個、メロン類が１個、エゴマが１個の他に、栽培の可能性があるイヌビエ属が１個、キビ？が１個、イネ科が７個、アズキ亜属が１個確認された。イネの穎がサンプル19で最も多く、サンプル18、15と次いで多い。特に5460-77～67層、5457-77層で極多産する。なお、コムギ、キビ、アズキ亜属、メロン類は、本分析試料中、６ライントレンチのみで確認される。

栽培種と栽培の可能性を除いた分類群は、木本23分類群(クヌギ―アベマキ、アカガシ亜属、ムクノキ、エノキ属、クワ属、カジノキ、ヒメコウゾ、サルナシ近似種、マタタビ近似種、マタタビ属、ヒサカキ属、フユイチゴ類、キイチゴ属、アカメガシワ、カラスザンショウ、サンショウ？、ブドウ属、ブドウ科、イイギリ、タラノキ、エゴノキ、ムラサキシキブ属、ニワトコ)、水湿地生草本７分類群(ハリイ属、テンツキ近似種、ホタルイ属、ミズ属、ヤナギタデ近似種、ムラサキケマン型、トウバナ属)、中生草本18分類群(エノコログサ属、イネ科、スゲ属、カナムグラ、ギシギシ属、タデ属、ナデシコ科、アカザ属、ヒユ属、アブラナ科、カタバミ属、エノキグサ、スミレ属、セリ科、キランソウ属、ハダカホオズキ類、ナス属、ヒヨドリバナ属)から成る。サンプル19、18はヒユ属やカタバミ属、ナデシコ科などの中生草本を主体とし、サンプル15～12はカラスザンショウなどの落葉樹主体の組成を示す。

(２)主な種実遺体の記載

大型植物遺体の保存状態は概ね良好で、エゴノキ、コムギ、ヒエ？、タイヌビエ近似種、キビ、アズキ亜属、ダイズ属と、一部のクリ、サルナシ近似種、キイチゴ属、イネ、アワ、イネ科、タデ属、ナデシコ科、ヒユ属は炭化している。以下、主な分類群の形態的特徴等を述べる。

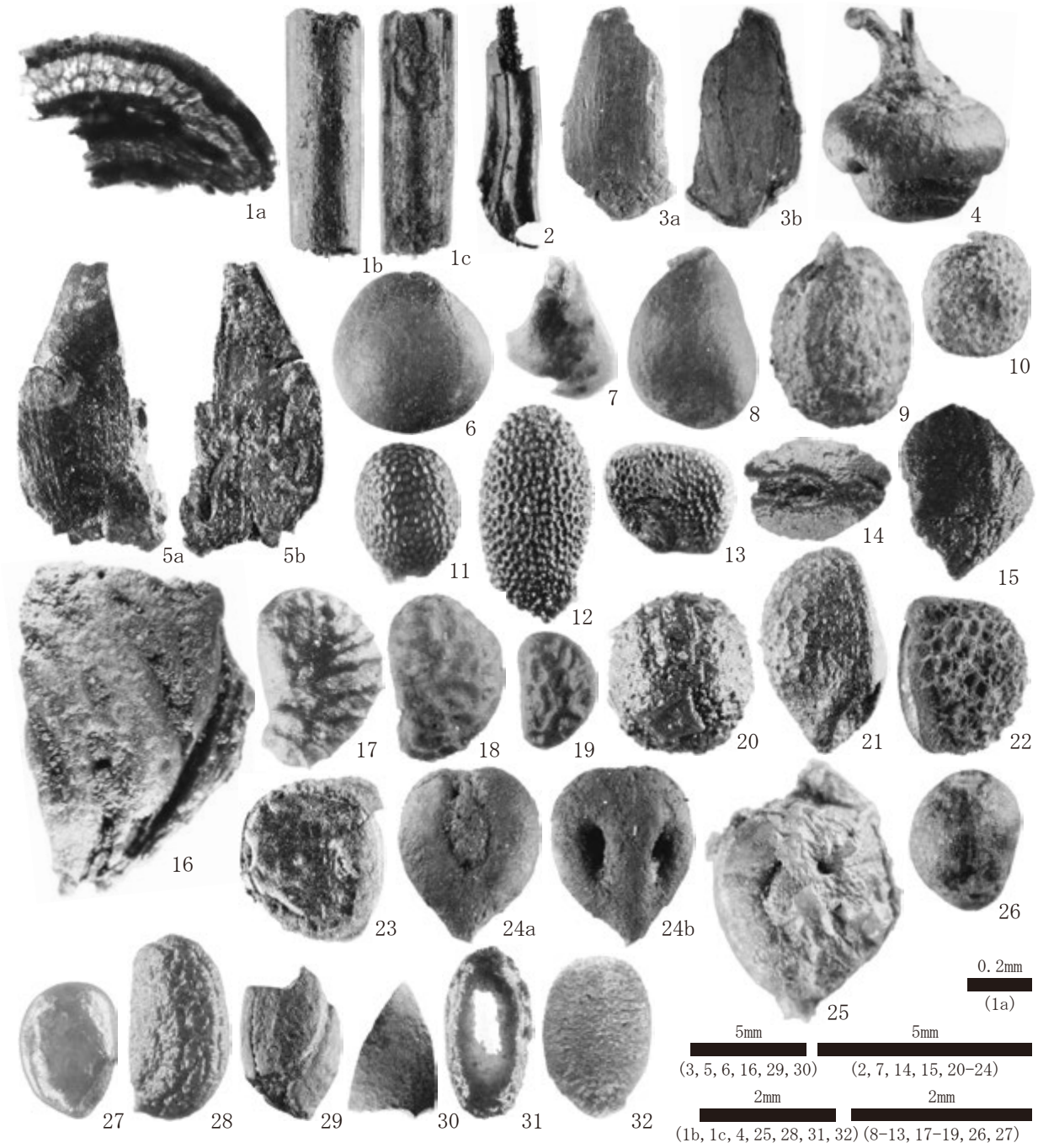
・カラスザンショウ(Zanthoxylum ailanthoides Sieb. et Zucc.)　ミカン科サンショウ属　第Ⅴ－６－６図22,23

種子は黒灰褐色、長さ2.6～3.0㎜、幅2.1～2.3㎜、厚さ2.0～2.3㎜の非対称広倒卵体で、正面観は楕円形、側面観はD字形を呈す。腹面正中線上に長さ2.2～2.6㎜の広線形の臍がある。種皮は厚く硬く、表面には粗く深い網目模様がある。表面には黒色で光沢のある膜質の外種皮が残存する種子がみられ、特に２S-1057の3596で多い。

・イネ(Oryza sativa L.)　イネ科イネ属　第Ⅴ－６－７図37,38

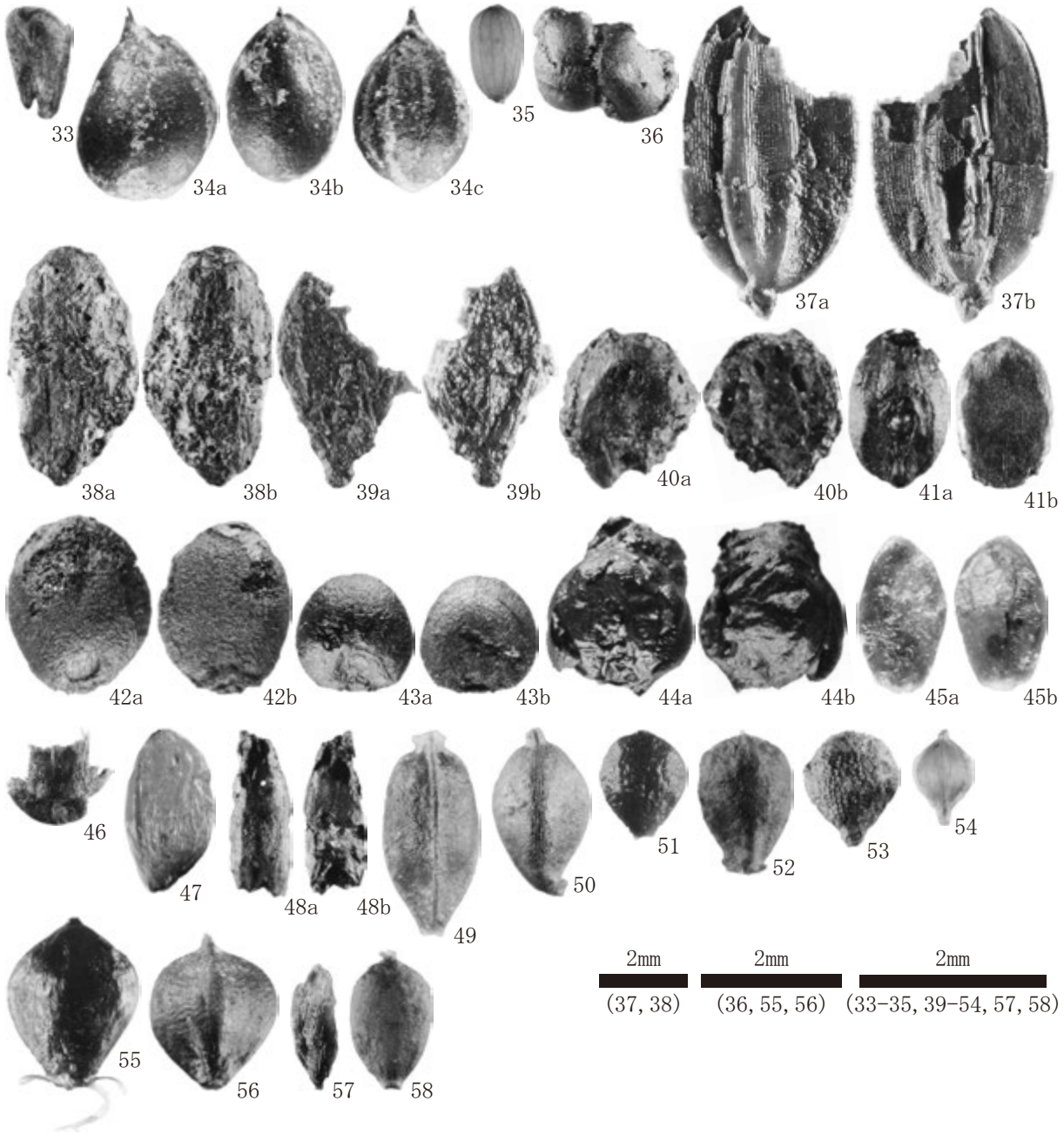
胚乳は炭化しており黒色、やや偏平な長楕円体を呈す。基部一端には、胚が脱落した斜切形の凹部がある。表面は、２～３本の縦隆条が不明瞭ながら確認される。

計測可能な２個の計測値と「粒大(長さ×幅)、粒形(長さ/幅)」(佐藤,1988)を求めた結果、3529-11層下部が長さ5.16㎜、幅2.73㎜、厚さ1.89㎜、粒大14.09、粒形1.89、5460-35層が長さ5.32㎜、幅2.87㎜、厚さ2.29㎜、粒大15.26、粒形1.85となり、２個とも短粒(1.4～2.0)・小型(12～16)に該当



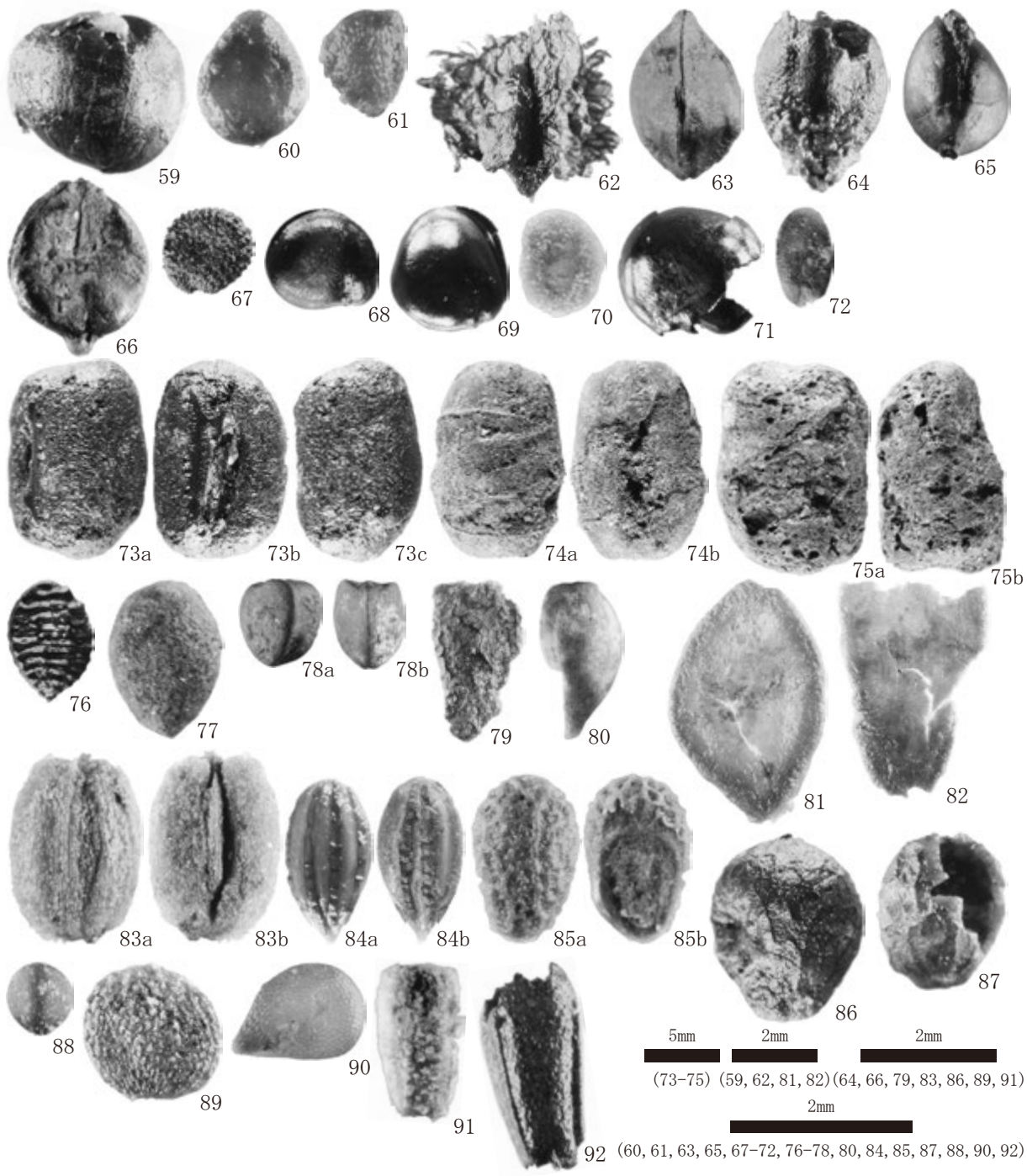
1. アカマツ 葉(a:横断面)(5ライントレンチ;5460-72層下部)
2. スギ 葉(5ライントレンチ;5460-72層下部)
3. クヌギ-アベマキ 果実(6ライントレンチ;サンプル17)
4. アカガシ亜属 幼果(6ライントレンチ;サンプル17)
5. クリ 果実(5ライントレンチ;5460-65層下部)
6. ムクノキ 核(6ライントレンチ;サンプル12)
7. エノキ属 種子(6ライントレンチ;サンプル13)
8. クワ属 核(6ライントレンチ;サンプル17)
9. カジノキ 核(6ライントレンチ;サンプル12)
10. ヒメコウゾ 核(6ライントレンチ;サンプル15)
11. マタタビ近似種 種子(6ライントレンチ;サンプル12)
12. サルナシ近似種 種子(6ライントレンチ;サンプル12)
13. ヒサカキ属 種子(6ライントレンチ;サンプル17)
14. スモモ? 核(5ライントレンチ;5460-74層)
15. スモモ? 核(5ライントレンチ;5460-74層)
16. モモ 核(5ライントレンチ;5460-65層上部)
17. フユイチゴ類 核(6ライントレンチ;サンプル17)
18. キイチゴ属 核(5ライントレンチ;5460-65層下部)
19. キイチゴ属 核(5ライントレンチ;5460-65層下部)
20. アカメガシワ 種子(外種皮残存)(6ライントレンチ;サンプル12)
21. サンショウ 種子(5ライントレンチ;5460-74層)
22. カラスザンショウ 種子(2S-1057;3596)
23. カラスザンショウ 種子(外種皮残存)(2S-1057;3596)
24. ブドウ属 種子(6ライントレンチ;サンプル17)
25. ブドウ属 種子(外種皮残存)(2S-1057;3596)
26. イイギリ 種子(6ライントレンチ;サンプル17)
27. キブシ 種子(5ライントレンチ;5460-72層下部)
28. タラノキ 核(6ライントレンチ;サンプル17)
29. エゴノキ 種子(6ライントレンチ;サンプル17)
30. ハクウンボク 種子(5ライントレンチ;5460-72層下部)
31. ムラサキシキブ属 核(6ライントレンチ;サンプル17)
32. ニワトコ 核(6ライントレンチ;サンプル13)

第Ⅴ－６－６図　平成30年度実施　種実同定(大型植物遺体１)



33. オモダカ科 種子(5ライントレンチ;5460-52層下部)
34. カワツルモ 果実(5ライントレンチ;5460-65層下部)
35. コナギ近似種 種子(2S-1141;3468-12層上部)
36. コムギ 胚乳(6ライントレンチ;サンプル19)
37. イネ 穎(5ライントレンチ;5460-72層下部)
38. イネ 胚乳(2S-1141;3529-11層下部)
39. イヌビエ属 果実(5ライントレン;5458-10層チ)
40. ヒエ? 果実(5ライントレンチ;5460-14層)
41. タイヌビエ近似種 果実(2S-1141;3468-12層上部)
42. キビ 胚乳(6ライントレンチ;サンプル19)
43. キビ? 胚乳(6ライントレンチ;サンプル19)
44. アワ 果実(6ライントレンチ;サンプル19)
45. エノコログサ属 果実(6ライントレンチ;サンプル15)
46. イネ科(スズメノヒエ属?) 果実(2S-1141;3468-12層上部)
47. イネ科(シバ類?) 果実(5ライントレンチ;5460-65層下部)
48. イネ科 果実(6ライントレンチ;サンプル19)
49. スゲ属 果実(6ライントレンチ;サンプル16)
50. スゲ属 果実(6ライントレンチ;サンプル17)
51. ハリイ属 果実(6ライントレンチ;サンプル15)
52. ハリイ属 果実(6ライントレンチ;サンプル15)
53. テンツキ近似種 果実(5ライントレンチ;5460-66層)
54. マツカサススキ類? 果実(5ライントレンチ;5460-65層上部)
55. フトイ類 果実(5ライントレン;5460-71層)
56. ホタルイ属 果実(6ライントレンチ;サンプル18)
57. カヤツリグサ属 果実(2S-1141;3529-11層下部)
58. カヤツリグサ科 果実(5ライントレンチ;5460-74層)

第Ⅴ－６－７図　平成30年度実施　種実同定(大型植物遺体２)



59. カナムグラ 核(6ライントレンチ;サンプル15)
60. ミズ属 果実(6ライントレンチ;サンプル13)
61. カラムシ属 果実(5ライントレン;5458-10層チ)
62. ギシギシ属 果実・花被(5ライントレン;5460-71層)
63. ギシギシ属 果実(2S-1141;3468-12層上部)
64. ヤナギタデ近似種 果実(6ライントレンチ;サンプル13)
65. タデ属 果実(5ライントレンチ;5460-52層下部)
66. サナエタデ近似種 果実(6ライントレンチ;サンプル15)
67. ナデシコ科 種子(5ライントレンチ;5460-63層下部)
68. アカザ属 種子(5ライントレンチ;5460-52層下部)
69. ヒユ属 種子(6ライントレンチ;サンプル19)
70. タガラシ 果実(2S-1141;3468-12層上部)
71. ムラサキケマン型 種子(5ライントレンチ;5459-77層)
72. アブラナ科 種子(5ライントレンチ;5460-74層)
73. アズキ亜属 種子(6ライントレンチ;サンプル17)
74. アズキ亜属 種子(S-9;1035)
75. ダイズ属 種子(年代測定)(S-9;1035)
76. カタバミ属 種子(5ライントレンチ;5460-52層下部)
77. エノキグサ 種子(5ライントレンチ;5460-63層下部)
78. ヒメミカンソウ 種子(5ライントレン;5460-71層)
79. ツリフネソウ 種子(5ライントレンチ;5459-77層)
80. スミレ属 種子(6ライントレンチ;サンプル12)
81. スズメウリ 種子(5ライントレンチ;5459-77層)
82. メロン類 種子(6ライントレンチ;サンプル18)
83. セリ科 果実(5ライントレンチ;5459-77層)
84. セリ科 果実(5ライントレンチ;5459-77層)
85. キランソウ属 果実(6ライントレンチ;サンプル19)
86. エゴマ 果実(5ライントレンチ;5460-65層下部)
87. シソ属 果実(5ライントレンチ;5460-65層下部)
88. トウバナ属 果実(5ライントレン;5460-67層)
89. ハダカホオズキ類 種子(6ライントレンチ;サンプル13)
90. ナス属 種子(6ライントレンチ;サンプル17)
91. タカサブロウ 果実(5ライントレンチ;5460-61層)
92. ヒヨドリバナ属 果実(6ライントレンチ;サンプル17)

第Ⅴ－６－８図　平成30年度実施　種実同定(大型植物遺体３)

する。

胚乳１個を包む穎は、淡～灰褐色、炭化穎は黒色、長さ６～８㎜、幅３～４㎜、厚さ２～３㎜のやや偏平な長楕円体を呈す。基部に径１㎜程度の斜切状円柱形の果実序柄(小穂軸)と１対の護穎を有し、その上に外穎(護穎と言う場合もある)と内穎がある。外穎は５脈、内穎は３脈をもち、ともに舟形を呈し、縫合して稲籾を構成する。果皮は薄く、表面には微細な顆粒状突起が縦列する。

・アズキ亜属(Vigna subgen. Ceratotropics)　マメ科ササゲ属　第Ⅴ－６－８図73,74

種子は炭化しており黒色、直方体状楕円体。腹面正中線の子葉合わせ目上にある長楕円形の臍は「厚膜タイプ」(小畑,2008;2011)で隣接する幼根は殆ど突出しない。種皮は薄く表面は平滑。

計測可能な２個の計測値と「簡易楕円体積(長さ/２×幅/２×厚さ/２×４/３×π)」(那須ほか2014;2015)を求めた結果、S-９　1035が長さ6.45㎜、幅4.46㎜、厚さ4.48㎜、簡易楕円体積62.30㎣、６ライントレンチのサンプル17が長さ6.53㎜、幅4.23㎜、厚さ4.31㎜、臍(半露出型)の長さ2.56㎜幅0.82㎜、簡易楕円体積67.45㎣となり、サイズ範囲(那須ほか,2014;2015)は「栽培型(60～70㎣以上)」に該当する。

・ダイズ属(Glycine)　マメ科　第Ⅴ－６－８図75

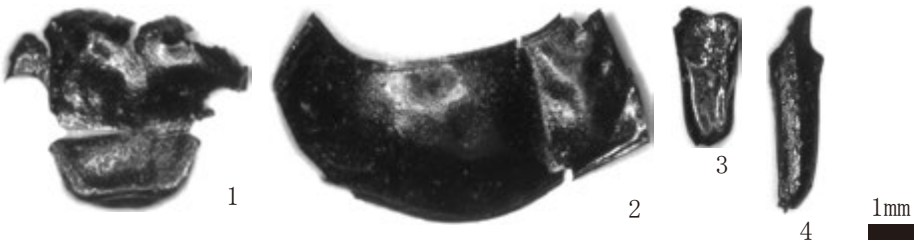
種子は炭化しており黒色、やや偏平な楕円体。年代測定試料に供したS-９　1035の種子の計測値は、重量0.03g、長さ7.15㎜、幅4.94㎜、厚さ4.12㎜を測る。簡易楕円堆積(那須ほか,2014;2015)は76.16㎣となり、サイズ範囲(那須ほか,2014;2015)は「栽培型(70㎣以上)」に該当する。出土種子は、腹面正中線の子葉合わせ目にある臍を欠損する。臍に隣接する幼根はやや突出し、長さ3.20㎜を測る。種皮は薄く表面は平滑で、発泡している。

第７節　昆虫同定結果

同定結果を第Ⅴ－７－１表に示す。№2673からは、コガネムシの頭部と前胸背左半が検出され、同一個体と思われる。頭部は、頭頂と頭盾が認められるが，複眼と触角は失われている。頭盾前縁の形

第Ⅴ－７－１表　平成28年度実施　昆虫同定結果

番号	試料名	目名	科名	種名	部位
1	2区南E5　2673	コウチュウ目	コガネムシ科	コガネムシ	頭部
2	2区南E5　2673	コウチュウ目	コガネムシ科	コガネムシ	前胸背左半
3	2区南E5　8391	コウチュウ目	コガネムシ科	スジコガネ属の一種	腿節基半
4	2区南E5　8391	コウチュウ目	コガネムシ科	コガネムシ	右前脛節



1．コガネムシ(2区南E5;2673)　　2．コガネムシ(2区南E5;2673)
3．スジコガネ属の一種(2区南E5;8391)　　4．コガネムシ(2区南E5;8391)

第Ⅴ－７－１図　平成28年度実施　昆虫同定

状と隆起部の状態により、コガネムシ科のコガネムシと同定した。前胸背板は、左側湾曲部が圧力で平圧されたものと思われる。前角の突出の状態と全体的な形状から、コガネムシ科のコガネムシと判断される。その大きさから同一個体と思われる。本種は本州以南東南アジアまで広く分布する。河川敷などの開けた場所に多く、ギシギシ・イタドリ・ノイバラなどの花を摂食する。幼虫は草本の根を食害する。№8391は、スジコガネ属の腿節基半である。前脚もしくは中脚の腿節基半であるが、先端部の種の特徴的な部位が失われているため、スジコガネ属の一種との判断にとどめた。№2673出土個体と同種か同一の可能性もある。№8391のもう１片は、コガネムシ科コガネムシの右前脛節である。前脛節が完全な状態で保存されており、先端部の突起の状態、符節の付着点と外刺の位置からコガネムシ科のコガネムシ雄個体と判断される。

第８節　古環境に関する考察

１　平成28年度分析結果に基づく考察

(１)珪藻化石からみた堆積時の水分環境

№7821で特徴的に見られた種は、淡水生種で流水性種のPlanothidium lanceolatum、流水不定種のGomphonema parvulum、陸生珪藻のHantzschia amphioxyである。淡水生種で流水性種のPlanothidium lanceolatumは、安藤(1990)によれば、河川の中～下流部、すなわち、河川沿いに河成段丘、扇状地、自然堤防および後背湿地に集中して出現し、中～下流河川指標種群とされる。流水不定性種のGomphonema parvulumは、流水に対して不定なだけでなく、塩分濃度やpHに対しても不定であり、極めて高い適応能力を持つ種であり、さまざまな水域に認められる。そのため、Asai and Watanabe(1995)は、広域適応種としている。ただし、経験的には、流水域に多産することが多いことから、以前は流水性種に含められていた種である。Hantzschia amphioxys等の陸生珪藻は、水中や水底の環境以外のたとえばコケを含めた陸上植物の表面や岩石の表面、土壌の表層部など大気に接触した環境に生活する一群(小杉、1986)であり、その中でもA群は特に乾燥に耐えうることのできる種群とされる(伊藤・堀内,1989;1991)。今回の結果は、陸生珪藻が40％産出し、流水性種も多産する。後述する６ライントレンチでは基本的に好気的な堆積環境であった事を考慮すると、２ライントレンチも基本的には好気的な環境ではあるが、水が流れていた時期もあった可能性と推定される。

№1929、№2118で特徴的に見られた種は、淡水生種で流水性種のPlanothidium lanceolatum、流水不定種のGomphonema parvulum、陸生珪藻のHantzschia amphioxys、Pinnularia subcapitataである。認められた種の生態性または生育環境(前述していない種)について述べると、Pinnularia subcapitataは、Hantzschia amphioxysと同様に陸生珪藻で、その中でも特に耐乾性の高いA群である。以上の結果から本地点においても基本的には好気的な環境ではあるが、水が流れていた時期があった可能性があると推定される。

№9030、№9031で特徴的に見られた種は淡水生種で流水性種のPlanothidium lanceolatum、流水不定種のGomphonema parvulum、陸生珪藻のHantzschia amphioxysである。少数ではあるが特徴的な種として、Nitzschia paleaが産出する。認められた種の生態性または生育環境(前述していない種)について述べると、淡水～汽水生種としたNitzschia paleaは、好汚濁性種(Asai ＆Watanabe、1995)とされ、水中の塩類濃度が高まった後背湿地や特に人為的な影響で汚濁した水域に特徴的に認められる

種である。以上の結果から本地点においても基本的には好気的な環境ではあるが、水が流れていた時期があった可能性がある。また、Nitzschia paleaが産出していることから人為的影響等によって汚濁していた可能性がある。

４ライントレンチ(№8671、№8671、№8804、№8685)は、いずれも少なく、20個体以下である。そのため、珪藻化石の生態性や群集の生育特性による、直接的な堆積環境の推定は困難である。珪藻殻を構成する生物源シリカ鉱物は、温度増加および時間経過にしたがって、オパールA→オパールCT→石英に変化することが知られている(Mizutani,1977;Mitsui and Taguchi,1977;Kano,1979;Iijima and Tada,1981)。経験的には、堆積後に好気的環境下で大気に曝されると、短期間に分解消失することがわかっている。また、珪藻化石を構成するシリカ鉱物は、温度が高いほど、流速が早いほど、水素イオン濃度が高いほど溶解度が大きくなり溶けやすいことが実験により推定されているほか（千木良,1995)、亜熱帯湿潤気候下では、堆積物中で珪酸分を含む無機成分の溶脱作用が起こることも知られている(松井,1988)。以上のことから、取り込まれた珪藻化石は、堆積後に分解が進んで消失したと考えられる。

６ライントレンチ(№9228～№9240)で特徴的に見られた種は、淡水生種で流水性種のPlanothidium lanceolatum、流水不定種のGomphonema parvulum、陸生珪藻のHantzschia amphioxys、Pinnularia subcapitataである。少数ではあるが特徴的な種として、Nitzschia paleaが産出する。№9229～№9238では、陸生珪藻が優占しており、好気的な環境が続いたと推定される。また、Nitzschia paleaが産出していることから人の影響による汚濁があったと推定される。№9228は流水性種が優占しているが陸生珪藻も多産する。№9229～№9238が好気的な環境であった事を考慮すると、基本的には好気的な環境ではあるが、水が流れていた時期があった推定される。また、Nitzschia paleaが産出していることから人の影響による汚濁があったと推定される。

(２)古植生

今回の弥生時代後期～古墳時代の花粉分析結果をみると、全体的に花粉化石の保存が悪い。花粉化石は好気的環境下による風化に弱く、かつ広葉樹にくらべ針葉樹やシダ類胞子の方が風化に対する耐性が強いという特長をもつ(中村,1967など)。立地や堆積物の状況からみて、堆積物の母材が氾濫等の河川堆積物であることは間違いないであろうが、その後好気的環境下におかれることによって、花粉化石の保存状態が悪くなったと考えられる。これは、水生植物由来の花粉化石や種実遺体がほとんどみられないこと、陸生珪藻が多産することとも一致する。

花粉化石が検出される試料ではイネ属を含むイネ科の割合が高い。イネ科に占めるイネ属の割合は20%以下の試料が多いが、花粉化石の保存が悪く、判別できない個体を「他のイネ科」に含めているため、本来のイネ属の割合はこれより高いと思われる。イネ科は風媒花であるため花粉生産量が多い。このため、花粉分析では、実際の周辺植生よりも高率になることが多い(Moore & Webb,1978)。一方大型植物遺体では、イネの頴が多量に検出されているが、イネ科は花の構造上、頴の中に花粉が残存する。このことから、花粉分析で検出されたイネ属の一部は、稲籾に由来する可能性がある。

種実分析の結果でも、栽培種のイネの穎が非常に多い。穎は、古墳時代前期の№8804、8685、弥生時代後期の9235、9236、9237、9239で極めて多く、うち№8804、9235、9236、9237では多くが炭化し、外穎に長い芒(のぎ)をもつ品種を含むことも確認された。また、穎とともに確認された炭化胚乳(炭化米)の粒大･粒形(佐藤,1988)は、２個が短粒･極小型、１個が短粒･小型であった。同試料の花粉

分析結果においてもイネ属花粉が多産することから、当時の周辺域におけるイネの栽培･利用が示唆され、一部火を受けたと推測される。さらに、花粉化石残渣で微粒炭が多いことから、火入れによって遷移が進むのを防ぎ、耕地を維持していた可能性がある。なお、このような農法は古来から行われている。

イネを除いた栽培種は、№1929、8671(12層)、9228、9232を除く14試料から雑穀類のアワと、№9231から食用や繊維等に利用可能なアサが確認される。その他に、№9236から雑穀類のヒエ近似種、豆類のアズキ類、№8671(17層)、8685、9233、9237、9238から食用や油料等に利用可能なシソ属(エゴマ)が確認され、栽培の可能性が高い。これらの栽培種と栽培の可能性がある分類群は、当時イネとともに利用された植物質食料と示唆される。特に、№9236より出土したアズキ類炭化種子のサイズ範囲(那須ほか,2014;2015)は、現在の栽培種アズキのサイズ範囲である「栽培型」に近い「中間型」に該当し、現生のヤブツルアズキに類似するサイズの「野生型」とは区別されることが明らかとなった。

アズキ類は、近年の土器圧痕調査や炭化種実の研究で、縄文時代以降の栽培やサイズの大型化が検討されている(中山,2010;西本ほか,2012;那須ほか,2014;2015等)。今回確認された「栽培型」に近い「中間型」のアズキ類炭化種子は、１個のみの出土であるが、当時利用された植物質食料と示唆され、遺跡周辺における栽培やサイズの大型化の可能性を支持する考古資料と言える。今後の資料蓄積が期待される。

他の草本類では、アカザ科、ナデシコ科、ヨモギ属など開けた土地を好む花粉化石が検出される。種実では、エノコログサ属、イネ科、スゲ属、カヤツリグサ科、ツチアケビ、カナムグラ、ギシギシ属、イヌタデ近似種、ナデシコ科、アカザ属、ヒユ属、フウロケマン、アブラナ科、キジムシロ類、カタバミ属、エノキグサ、ヒメミカンソウ、チドメグサ属、ヤブジラミ属、セリ科、オカトラノオ属、シソ属-イヌコウジュ属、ナス属、キク科などの、人里近くの開けた場所に多い植物が生育することから、開発によって切り開かれ、周辺は草地化していたと考えられる。このことは、草食性の昆虫が検出されたこととも調和的である。また、№1929、№2118ではアブラナ科の花粉化石が多い。アブラナ科も開けた土地を好む野生種が多いが、虫媒花であるため多産することは希である。アブラナ科には多くの有用な野菜が存在し、古来から食用にされてきたことがわかっている。大阪平野では中近世以降にアブラナ科花粉化石が多量に検出されることがあり、栽培に由来する可能性が指摘されている(藤田ほか,1991)。今回の例とは時代は大きく異なるが、本遺跡から多産したアブラナ科は、栽培に由来する可能性がある。なお、湿性植物の分類群は、ガマ属、オモダカ属、テンツキ近似種、ミズ属、トウバナ属、タカサブロウ？などが検出されるが少ない。このことから、当時の調査区周辺はやや乾いた草地環境と推測され、水湿地の存在は考え難い。したがって、稲作が行われた耕作地は、乾田であった可能性がある。このことは、陸生珪藻が多産する環境とも調和的である。

花粉残渣の中には微粒炭が多い。ほとんどが不明だが、木材やイネ科に由来すると思われる微粒炭も含まれる。微粒炭の成因は様々だが、今回は花粉化石で草本類が圧倒的に多いことを考慮すると、火入れなど人間活動に由来する可能性がある。また、微量ではるが、回虫や鞭虫卵が検出される。正確な定量をしているわけではないが、１ccあたり数千個を超えるトイレ遺構と比べると数百分の一以下であり、汚染の範囲内(金原・金原、1994)である。この汚染の要因としては、人間活動によると考えられ、生活域からの汚物の流入や施肥などの可能性がある。珪藻分析の結果でも水域の汚濁が指摘

されており、調和的である。

木本花粉は全体的に低率であり、上記とおり遺跡周辺は草本類が中心であったと思われる。木本花粉は、マツ属とスギ属が高率である。両者ともに風媒花で、花粉生産量が多いことから、実際の周辺植生の割合より出現率が高くなっていると思われる。年代測定の結果から、約2000年前の堆積物と考えられる。これまでの分析例でも、約2000年前を中心としてスギ属の花粉化石や埋没林が、山陰～北陸の日本海側において多く検出されており、当時低地を中心にスギ林が分布していたと考えられている(高原,1998)。また、青谷上寺地遺跡の分析結果をみても(安・辻,2009;古環境研究所,2009)、縄文時代末から古墳時代にかけてスギ属の花粉化石が多産する。一方、マツ属は海岸沿いの砂丘など通常の植物が生育しにくい場所に二次林を構成していた可能性がある。また、マツ林は、開発によって本来の植生が失われた場所に、先駆的に侵入し、マツの二次林を形成する。今回の結果では、草本花粉の割合が高く、それに合わせてイネ属花粉が検出されることから、周囲が耕地化されたと推測される。マツ属は林縁や開発が進んだ山地を中心生育していたと思われる。

その他、種実、花粉、木材の結果をみると、ナラ、カシ類、ムクノキ、クワ属、カジノキ、アカメガシワ、カラスザンショウ、キブシ、マタタビ属、ブドウ属、ヒサカキ属、フユイチゴ類、キイチゴ属、タラノキ、ムラサキシキブ属、ニワトコ、ガマズミ類等である。カラスザンショウなど他の部位と重複する種類も認められる。木本類は、分類群数・個数ともに少なく、河畔や林縁等明るく開けた場所に生育する落葉樹を主体とする。草本花粉や種実の多産を考え合わせると、当時の調査区周辺域は開発が進んだ明るく開けた環境と推測され、まとまった林分が存在しなかった可能性が高い。これらの樹木は、土地利用がしづらい川沿いや、産地との縁辺部などに生育していたと考えられる。

2　平成30年度分析結果に基づく考察

(1)堆積層の年代観

各地点の放射性炭素年代測定結果を見る。4ライントレンチの4638-102層は補正年代で9,895±30yrBP、暦年代でcalBC9,440～9,281の値が得られた。既存の調査例に基づくと、得られた年代は縄文時代草創期～早期頃に比定される。試料が採取された102層は、溝状に削り込まれた地山内に挟在する薄層であることから、古い時代の堆積物、あるいは古い時代の炭化物が多く混入する堆積物の可能性が想定される。この点については、出土遺物の年代など、現地調査所見を併せて検討する必要がある。

5ライントレンチの5459-77層は、補正年代で2,325±20yrBP、暦年代でcalBC408～375であり、弥生時代前期～中期に比定される。本試料は、溝状の充填物の底部に近い層準であることから、古い時代の炭化材が混入していた可能性が指摘される。

5ライントレンチの5460-72層下部～5460-29層にかけては、補正年代で2,125～1,890±20yrBP、暦年代でcalBC335～calAD210の値が得られており、途中で年代の逆転も見られるものの、概ね上位に向かって新しい年代を示す。これらは弥生時代中期～後期に比定されることから、調査所見と概ね調和的と言える。

2S-1141の3468-12層、3387-11層、S-898の5436、6ライントレンチのサンプル15-92層、S-9の1035は概ね同時期の年代を示し、補正年代で2,015～1,830±20yrBP、暦年代でcalBC53～calAD240の値である。これらは弥生時代後期～古墳時代初頭に比定されることから、調査所見と調和的であ

る。

６ライントレンチのサンプル16-98層は補正年代で2,645±20yrBP、暦年代でcalBC834～795であり、縄文時代晩期に比定される年代値を示した。また、S-３の242は補正年代で1,395±20yrBP、暦年代でcalAD610～665、S-５の775は補正年代で1,270±20yrBP、暦年代でcalAD680～771であり、古墳時代末～奈良時代頃の年代値を示した。これらについては、堆積状況などを精査し、検証する必要がある。

（２）堆積環境

・４ライントレンチ

4638-102層は無化石であった。そのため、珪藻化石の生態性や群集の生育特性による、直接的な堆積環境の推定は困難である。経験的には、堆積後に好気的環境下で大気に曝されると、短期間に分解消失することがわかっている。また、珪藻化石を構成するシリカ鉱物は、温度が高いほど、流速が早いほど、水素イオン濃度指数が高いほど溶解度が大きくなり溶けやすいことが実験により推定されている（千木良,1995）。

以上のことから、取り込まれた珪藻化石は、堆積後に分解が進んで消失した可能性が高い。

・５ライントレンチ

5257-77層から産出した種は、淡水性種で流水性種のPlanothidium lanceolatum、淡水性種で流水不定性種のGomphonema parvulum、陸生珪藻のAmphora montana、Hantzschia amphioxys、Pinnularia subcapitata等である。産出した種の生態性について述べると、淡水生種で流水性種のPlanothidium lanceolatum は、安藤（1990）によれば、河川の中～下流部、すなわち、河川沿いに河成段丘、扇状地、自然堤防および後背湿地といった地形がみられる部分に集中して出現し、他の地域には出現しなかったり、出現しても主要でないことから、この地域を指標する可能性が大きい種群とされ、中～下流河川指標種群とされている。次に、流水不定性種のGomphonema parvulumは、流水に対して不定なだけでなく、塩分濃度やpHに対しても不定であり、極めて高い適応能力を持つ種であり、さまざまな水域に認められる。そのため、Asai and Watanabe（1995）は、広域適応種としている。ただし、経験的には、流水域に多産することが多いことから、以前は流水性種に含められていた種である。Amphora montana、Hantzschia amphioxys、Pinnularia subcapitata等の陸生珪藻は水中や水底の環境以外のたとえばコケを含めた陸上植物の表面や岩石の表面、土壌の表層部など大気に接触した環境に生活する一群（小杉,1986）である。特に、本試料から産出した陸生珪藻は、離水した場所の中で乾燥に耐えうることのできる群集とされる（伊藤・堀内,1989;1991）。また、堆積物の分析を行った際、これらの種群が優占（70～80%以上）する結果が得られれば、その試料が堆積した場所は、水域以外の空気に曝されて乾いた環境であったことが推定できるとしている。

5257-77層堆積時は、流水性種が特徴的に産出したことから、流水域であったと考えられる。

5457-77層、5456-77層、5460-76層は、産出数は少ない。産状をみると、陸生珪藻が産出していることや保存状態が悪かったことから、好気的な環境であったと示唆される。

5460-75層から産出した種は、陸生珪藻のAmphora montana、Hantzschia amphioxys、Luticola mutica、Pinnularia subcapitata等である。前述のように、これらは離水した場所の中で乾燥に耐えうることのできる群集であり、陸生珪藻が80%以上を占めることも踏まえると、基本的に好気的な環境であったと考えられる。

5460-72層下部、5460-67層および5460-66層は、産出した種に多少の差異はあるものの、ほぼ同様の傾向を示す。本3試料から産出した種は、淡水～汽水生種のNavicula veneta、淡水性種で流水性種のMelosira varians、Planothidium lanceolatum、淡水性種で流水不定性種のGomphonema parvulum、Pinnularia gibba、陸生珪藻のHantzschia amphioxys、Pinnularia subcapitata等である。産出した種の生態性(前述していない種)について述べると、淡水～汽水生種のNavicula venetaは、広温性、電解質の多い水域または汽水域、富栄養化の著しい水域で強腐水域まで耐えられるとされる。電解質の乏しい水域には生育できない(Lange-Bertalot,2001)とされる。電解質物質の豊富な水域から汽水域に普通にみられるほか、強度に富栄養化した時にもみられることから、汚濁に対する適応性が強い種とされている(Witkowski et al.,2000)。流水性種のMelosira variansは、河川等の流水域に生育する種であり、中～下流河川指標種群と呼ばれる(安藤,1990)。流水不定性種のPinnularia gibba は、好酸性(最適pH６付近)、富栄養から貧栄養種で、湧泉や小川等にみられる着生種とされる(中島ほか,1978)。

以上の産出種の生態性と群集の特徴から、5460-72層下部～5460-66層の堆積時の環境は、流水性種が特徴的に産出したことから、基本的に流水域であったと考えられる。

5460-71層および5460-65層は珪藻の産出数は少ないが、前述した層とほぼ同様の種が産出していることから、同様に流水域であった可能性が示唆されるが、一時的に好気的な環境になり、ほとんどの珪藻化石が分解消失したか、流速が速く珪藻化石が取り込まれにくかった可能性が考えられる。

5460-63層下部～5460-13層は、産出数は少ないが陸生珪藻が産出していることや保存状態が悪かったことから、好気的な環境であったと示唆される。

5458-10層から産出した種は、淡水性種で流水性種のPlanothidium lanceolatum、淡水性種で流水不定性種のGomphonema parvulum、陸生珪藻のAmphora montana、Hantzschia amphioxys、Pinnularia subcapitata等である。以上の産出種の生態性と群集の特徴から、5458-10層の堆積時の環境を推定すると、流水性種が特徴的に産出したことから、基本的に流水域であったと考えられる。なお、海水～汽水生種であるCocconeis scutellumが多く産出しているが、海水生種、海水～汽水生種および汽水生種が産出してないことから、流れ込みによる２次堆積が否定できず、本試料の堆積環境を示す種では無い可能性が高い。

・２S-1141

3529-12層、3468-12層上部および3529-11層上部の３試料は、いずれも産出数が少なく10個体未満である。そのため、珪藻化石の生態性や群集の生育特性による、直接的な堆積環境の推定は困難である。珪藻化石の産状を考慮すると、堆積後に分解が進んで消失した可能性が高い。

・６ライントレンチ

サンプル17-100層、サンプル16-98層、サンプル14-77層、サンプル18-50層、サンプル13-37層、サンプル12-23層は、いずれも産出数が非常に少なく、特にサンプル18-50層は無化石であった。そのため、珪藻化石の生態性や群集の生育特性による、直接的な堆積環境の推定は困難である。これらの堆積層においても、取り込まれた珪藻化石は、堆積後に分解が進んで消失した可能性が高い。

サンプル15-92層およびサンプル19-51層から産出した種は、淡水性種で流水性種のPlanothidium lanceolatum、淡水性種で流水不定性種のGomphonema parvulum、陸生珪藻のAmphora montana、Hantzschia amphioxys、Pinnularia subcapitata等である。以上の産出種の生態性と群集の特徴から堆

積時の環境を推定すると、陸生珪藻が70%以上産出していることから、基本的に好気的な環境であったと考えられるが、92層では流水性種が複数種産出していることから、断続的な流水があった可能性がある。

（３）古植生

本分析調査で対象とした、４ライントレンチ、５ライントレンチ、２S-1141、６ライントレンチのいずれにおいても、花粉化石の保存状態は全体的に不良であり、花粉外膜が破損あるいは溶解しているものが多く確認された。一般的に花粉やシダ類胞子の堆積した場所が、常に酸化状態にあるような場合、花粉は酸化や土壌微生物によって分解・消失するとされている（中村,1967;徳永・山内,1971;三宅・中越,1998など）。遺跡が小規模な谷底平野と丘陵地との境界付近に立地しており、珪藻分析結果も踏まえると、堆積後に好気的環境下に晒され、花粉化石の保存状態が悪くなったと考えられる。この点を考慮して、古植生を考察する。

全体的な傾向をみると、草本類の割合が高い試料が多く、特にイネ科の割合が高い。イネ科には栽培種のイネ属が含まれるが、イネ科に占めるイネ属の割合は10%前後の試料が多い。ただし、保存状態が悪くイネ属と判断しかねる個体は「他のイネ科」に含めたため、本来の割合はこれより高いと推測される。一方、大型植物遺体でもイネの穎が多量に検出されている。イネの花粉は、生産される花粉の1/4がもみ殻内に残留することが知られている（中村,1980b）。このことから、イネ属を含むイネ科の多産は、堆積物中に取り込まれたイネの穎の影響を反映していると考えられる。

種実同定の結果でも、栽培種のイネの穎を主体とする組成を示した。イネ穎は、特に５ライントレンチの5457-77層、5456-77層、5460-77～67層で極めて多い状況が確認された。また、5460-65層下部、63層下部・上部、52層下部・上部、35層、29層、14層、13層では炭化穎を主体とする組成が確認された。さらに、炭化胚乳（炭化米）の粒大･粒形（佐藤,1988）は、２個が短粒・小型であった。当時の周辺域におけるイネの利用が示唆され、一部火を受けたと推測される。

イネを除いた栽培種と栽培の可能性がある分類群は、果樹のスモモ（？）、モモ、穀類のコムギ、ヒエ（？）、キビ、アワ、豆類のアズキ亜属、ダイズ属、果菜類のメロン類、食用や油料等に利用可能なエゴマ、シソ属が確認され、S-９の1035のアズキ亜属とダイズ属、６ライントレンチのサンプル17-100層の炭化種子は、現在の栽培種のサイズ範囲である「栽培型」（那須ほか,2014;2015）に該当することが明らかとなった。これらの栽培種と栽培の可能性がある分類群は、当時イネとともに利用された植物質食料と示唆され、一部火を受けたと推測される。なお、今回新たに確認された栽培種（可能性含む）は、果樹のスモモ（？）、モモ、穀類のコムギ、ヒエ（？）、キビ、果菜類のメロン類である。

その他の草本類をみると、花粉化石ではカヤツリグサ科、アカザ科、ナデシコ科、アブラナ科、ヨモギ属などが多く認められ、5459-77層では水湿地生のガマ属も高率で検出された。種実遺体では汽水性沈水植物のカワツルモ、抽水植物のオモダカ科、コナギ近似種、フトイ類、ホタルイ属、湿生植物のハリイ属、テンツキ近似種、ミズ属、タガラシ、ツリフネソウ、タカサブロウなどの水湿地生植物や、中生植物のエノコログサ属、イネ科（スズメノヒエ属？、シバ類？、他）、スゲ属、カヤツリグサ属、カヤツリグサ科、カナムグラ、カラムシ属、ギシギシ属、タデ属、ナデシコ科、アカザ属、ヒユ属、アブラナ科、カタバミ属、セリ科、ナス属など、人里植物主体の分類群から成る。このことから、当時の調査区周辺は明るく開けた草地と推測され、水深の浅い水湿地の存在も推測される。なお、５ライントレンチでは淡水域から汽水域に生育するカワツルモも確認された。

また、５ライントレンチの試料からは、寄生虫の卵である回虫卵、鞭虫卵が確認されたが、殆どが堆積物１ccあたり50個未満であり、最も多い5460-65層下部でも168個/ccであった。寄生虫卵の分解に対する抵抗性は花粉化石と同程度とされていることから(黒崎ほか,1993)、分解の影響を受けたことが考えられるが、花粉・胞子数は74～3243個/ccと、比較的多い試料もあることから、元々取り込まれにくかったことが想定される。トイレ遺構では１ccあたり数千～数万個の寄生虫卵が検出されており、100個未満程度の場合、ある程度の人口密度を持つ集落による汚染の範囲内とみなされている(金原ほか,1995a;1995b)。今回も、汚染の範囲内と想定され、生活域からの汚物の流入などの可能性が考えられる。

木本類についてみると、花粉化石、種実遺体とも木本類の割合が低く、遺跡周辺は草本類中心の植生であったと推測される。花粉化石ではスギ属とマツ属が全体を通じて多産し、大型植物遺体でもアカマツやスギの葉が確認されている。年代測定の結果では概ね2,000年前前後の年代値が得られている。これまでの分析例でも、約2,000年前を中心としてスギ属の花粉化石や埋没林が、山陰～北陸の日本海側において多く検出されており、当時低地を中心にスギ林が分布していたと考えられている(高原,1998)。また、青谷上寺地遺跡でも、縄文時代末から古墳時代にかけてスギ属の花粉化石が多産する結果が得られている(安・辻,2009)。一方、マツ属は生育の適応範囲が広く、尾根筋や湿地周辺、海岸砂丘上など他の広葉樹の生育に不適な立地にも生育が可能である。また、極端な陽樹であり、やせた裸地などでもよく発芽し生育することから、伐採された土地などに最初に進入する二次林の代表的な種類でもある。花粉化石群集は草本花粉の割合が高く、栽培種のイネ(イネ属)に由来する花粉や穎、胚乳が多産することから、周囲に稲作地が広がっており、マツ属は周囲の二次林などを構成していたと思われる。

その他、花粉化石や種実遺体の結果をみると、クヌギ―アベマキ(コナラ属コナラ亜属)、コナラ属アカガシ亜属、クリ(クリ属)、ニレ属―ケヤキ属、ムクノキ、エノキ属、クワ属、カジノキ、アカメガシワ、カラスザンショウ、ウルシ属、エゴノキ、ヒサカキ属、キイチゴ属、タラノキ、ニワトコ、マタタビ近似種、マタタビ属などの木本類が確認された。種実遺体で多産するカラスザンショウは、河原や崩壊地、伐採跡などの日当たりの良い低地に先駆的に侵入する二次林要素である。出土種子に外種皮が残存する出土状況を考慮すると、遺跡のごく近辺に生育していた可能性が高い。また、花粉化石で比較的高率に産出したクリ属は、虫媒花で広範囲に花粉を散布する種類でないことから、クリ属は調査地点の近傍に生育していた可能性がある。その他の種類も、河畔や林縁などの明るい場所に生育する分類群が多く、草本類の多産なども踏まえると、山地やその林縁部、河川沿いなどの集水域に、これらの木本類が生育してと推測される。特に６ライントレンチのサンプル13-37層、サンプル12-23層では、河畔などの湿地部に生育するエノキ属―ムクノキ属、ニレ属―ケヤキ属の割合が高い。これらの層準ではムクノキ、エノキ属などの種実遺体も確認されることから、河畔などの堆積物が本地点に流入した可能性が想定される。

３　総括

①堆積時の水分環境

２ライントレンチは、平成28年度調査のみであるが、基本的に好気的な環境であったが、水が流れていた時期がある環境であると考えられる。

４ライントレンチの平成28年度調査では、分析した４試料からは産出した数が少なく、堆積した後にほとんど珪藻化石は分解消失するような好気的な環境であったと可能性が示唆された。平成30年度調査では、分析した１試料は無化石であり、堆積した珪藻殻が分解消失するような好気的な環境であったと可能性が示唆された。以上の結果を合わせると４ライントレンチは、基本的に好気的な環境であり、堆積した珪藻殻のほとんどが分解消失するような環境であったと考えられる。

５ライントレンチは、平成30年度調査のみであるが、基本的に好気的な環境であり、度々、水が流れている時期があるような環境であったと考えられる。

２S-762も、基本的に好気的な環境であったが、水が流れていた時期があったと推定される。

２S-1141は、産出した数が少なく、堆積した後にほとんど珪藻化石は分解消失するような好気的な環境であった可能性が示唆される。

６ライントレンチは、平成28年度調査および平成30年度調査のいずれにおいても分析結果が類似しており、基本的に好気的な環境であり、度々水が流れている時期があるような場所であったと考えられる。

②古植生

平成28年度調査、および平成30年度調査を比較すると、花粉化石や大型植物遺体の群集組成は類似しており、遺跡周辺はイネ科を主体とした草本植生が中心の開けた環境であったことが窺える。花粉分析では栽培種のイネ属が検出されており、種実同定でもイネの穎が多量に検出された。このことから、周辺での稲作が想定され、開けた環境は稲作地として利用されていた可能性がある。

イネを除いた栽培種、あるいは栽培の可能性がある分類群では、木本のスモモ(？)、モモ、草本のコムギ、ヒエ(？)、キビ、アワ、アサ、アブラナ科、アズキ亜属、ダイズ属、メロン類、エゴマ、シソ属などが挙げられる。

栽培種以外の草本類では、イネ科、スゲ属、カヤツリグサ科、ギシギシ属、ナデシコ科、アカザ科、ヒユ属、アブラナ科、カタバミ属、ヨモギ属など、人里植物主体の分類群から成る。これらが、本遺跡周辺の草地や林縁林床などを構成していたと考えられる。また、平成28年度調査では、ガマ属、オモダカ属、テンツキ近似種、ミズ属、トウバナ属、タカサブロウ？などの湿生植物が検出されるが少ないことから、周辺はやや乾いた草地環境と推測された。しかしながら、平成30年度調査では、ガマ属、オモダカ科、カワツルモ、コナギ近似種、フトイ類、ホタルイ属、ハリイ属、テンツキ近似種、ミズ属、タガラシ、ツリフネソウ、タカサブロウなどの水湿地生植物が検出され、水深の浅い水湿地の存在も想定された。これらは、地点や層位等の差を反映している可能性がある。

木本植生は、平成28年度調査、平成30年度調査のいずれも、スギ属とマツ属が多産する。このことから、スギ属は低地を中心に、マツ属は周囲の二次林などを中心に、それぞれ生育していたと考えられる。その他では、ナラ類、カシ類、クワ属、カジノキ、カラスザンショウ、ヒサカキ属、キイチゴ属、タラノキ、ニワトコ、マタタビ近似種、マタタビ属などが周辺の森林や林縁などを構成し、ニレ属―ケヤキ属、ムクノキ、エノキ属などは河畔沿いなどに生育していたと思われる。なお、平成30年度調査の５ライントレンチでは、虫媒花のクリ属が比較的高率で産出したことから、５ライントレンチの近傍にクリ属が生育していた可能性も指摘される。

第９節　樹種同定結果

平成30年度に３回に分けて行った樹種同定の結果と、平成27年度から29年度にかけて行った保存処理の際に併せて行った樹種同定結果についても一覧表のみ掲載する。

１　１回目・２回目の同定結果

第Ⅴ－９－１表に示した１回目の樹種同定では、木製品は針葉樹２分類群（スギ、カヤ）と広葉樹５分類群（コナラ属アカガシ亜属、スダジイ、ツブラジイ、ケヤキ、クスノキ科）に同定された。第Ⅴ－９－２表に示した２回目の樹種同定では、木製品は針葉樹２分類群（スギ、カヤ）と広葉樹３分類群（コナラ属アカガシ亜属、シイ属？、ヤマグワ）が同定された。なお、２S-840の4513と4523は、散孔材の道管配列を有する広葉樹であるが、種類不明である。同定された各分類群の解剖学的特徴等を記す。

・スギ（Cryptomeria japonica（L. f.）D. Don）　スギ科スギ属

軸方向組織は仮道管と樹脂細胞で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行はやや急で、晩材部の幅は比較的広い。樹脂細胞はほぼ晩材部に認められる。放射組織は柔細胞のみで構成される。

第Ⅴ－９－１表　平成30年度実施　樹種同定結果（１回目）

報告書掲載番号	遺構等	取上No.	試料採取位置	状態	器種	木取り	樹種名
－	２S-180	7499		生木	柱or杭	芯持丸木	ケヤキ
－	２S-1063	4086	上	生木	板状	板目	スダジイ
			下	生木	板状	不明	スダジイ
－	２S-1147	3660	a	炭化材	破片	柾目状	コナラ属アカガシ亜属
			b	炭化材	棒状	丸木状	イネ科
			c	炭化材	破片	柾目状	スダジイ
			d	炭化材	破片	板目状	スギ
			e	炭化材	破片	板目状	スギ
			f	炭化材	破片	板目状	スギ
－	２S-1147	3659		炭化材	板状	板目	スダジイ
－	２S-1147	3648		炭化材	板状	板目	スダジイ
－	２S-1147	3649		炭化材	板材	板目	スダジイ
－	２S-1147	3650		炭化材	板状	板目	スダジイ
－	２S-1147	3653	－1	炭化材	角棒状	分割状	カヤ
			－2	炭化材	破片	ミカン割状	スダジイ
－	２S-1147	3655	上	炭化材	破片	分割状	スダジイ
			下	炭化材	棒状？	分割状	スギ
－	２S-1147	3657		炭化材	棒状	分割棒状	スダジイ
－	２S-1147	3705		生木	薄板状	柾目～追柾	スギ
－	２S-1147	3884		生木	板状	板目	スギ
－	２S-1147	3877		生木	板材	板目	スギ
－	２S-1147	3878		生木	板状	板目	スギ
－	２S-1147	3879		生木	板状	板目	スギ
－	２S-1147	3880		生木	棒状	分割棒状	スギ
－	２S-1147	4104		生木	板材	柾目～追柾	スギ
－	２S-1147	4106		生木	板材	柾目	スギ
－	２S-1147	4107		生木	棒状	板目	スギ
－	２S-1147	4108		生木	板材	板目	スギ
－	２S-1147	4109		生木	板材	板目	スギ
4111	２S-1147	4111		生木	板杭？	板目	スギ
4112	２S-1147	4112		生木	棒状	芯持丸木	ツブラジイ
－	２S-1147	4116		生木	板材	板目	スダジイ
4115	２S-1147	4115		生木	棒状	芯持丸木	スダジイ
4117	２S-1147	4117		生木	板杭？	板目	スギ
4118	２S-1147	4118		生木	杭？	芯持丸木	クスノキ科
4113	２S-1147	4113		生木	棒状	芯持丸木	スギ

第Ｖ－９－２表　平成30年度実施　樹種同定結果（２回目）

報告書掲載番号	遺構等	取上No.	出土層位等	状態	器種	木取り	樹種名
8931	２S-0245	8931	木杭断割	生木	把手	板目	スギ？
8381	２S-0245	8381	埋土中	生木	櫂	板目	スギ
8710	２S-0245	8710	埋土中	生木	高杯（脚）	横木取り	カヤ
8886	２S-0245	8886	埋土中	生木	鞘	柾目	スギ
8982	２S-0245	8982	埋土中	生木	栓？	芯去材	スギ？
9010	２S-0245	9010	埋土中	生木	机（脚）	芯去材	スギ
1721	２S-0245	1721	SPCライントレンチ	生木	匙		スギ？
8502	２S-0267 （２S-367）	8502	埋土中	生木	容器	横木取り	ヤマグワ
7502	２S-0347	7502	埋土中	生木	剣形	芯去材	カヤ
2936	２S-0698	2936	埋土中	生木	不明（櫂状）	板目	スギ
2920	２S-0730	2920	底面	生木	蓋	横木取り	スギ
3221	２S-0730	3221	底面	生木	不明（櫂状）	板目	スギ
4632	２S-0754	4632	杭４サブトレンチ下層 流路下土壌層（Ⅵ層）	生木	蓋	板目	スギ
4597	２S-0754	4597	杭３サブトレンチ	生木	容器	横木取り	カヤ
9625	２S-0763	9625	杭25	生木	斧の柄		アカガシ亜属
9621	２S-0763	9621	杭57	生木	杭/楔	芯持材（丸太材）	カヤ
6889	２S-0763	6889	埋土中	生木	蓋		スギ
6034	２S-0763	6034	埋土中	生木	脚		ヤマグワ
3291	２S-0840	3291	中層	生木	衣笠	芯持材	カヤ
4501	２S-0840	4501	中層	炭化材	鋤 （組み合わせ）	追柾目	アカガシ亜属
3172	２S-0840	3172	中層	生木	高杯（脚）		スギ
3297 /3582	２S-0840	3297 /3582	中層	生木	匙		カヤ
3717	２S-0840	3717	中層	生木	網枠		カヤ
3934D	２S-0840	3934D	中層	生木	容器		スギ
4191	２S-0840	4191	中層	生木	蓋		ケヤキ
4513	２S-0840	4513	中層	生木	不明（部材）		広葉樹（散孔材）
4844	２S-0840	4844	中層	生木	紡錘車		カヤ
3934B	２S-0840	3934B	中層	炭化材	櫂	追柾目	ヤマグワ？
4134	２S-0840	4134	中層	生木	櫂	追柾目	シイ属？
4523	２S-0840	4523	中層	生木	部材	柾目	広葉樹（散孔材）
4820	２S-0840	4820	中層	生木	桶蓋	縦木取り	スギ
4903	２S-0840	4903	中層	生木	木包丁	柾目	ヤマグワ
4602	２S-0840	4602	中層	生木	木包丁	柾目	スギ
1807	２S-0901	1807	埋土中	生木	泥除け		アカガシ亜属
9272	２S-0902	9272	35層	生木	不明（棒状品）	芯去材	スギ
559	２S-0902	559	埋土中	生木	衣笠		カヤ
1054	２S-0927	1054	埋土中	生木	容器		カヤ
1191	２S-0977	1191	埋土中	生木	高杯（脚）		ヤマグワ
1514	２S-0978	1514	埋土中	生木	把手		スギ
1061	２S-0999	1061	埋土中	生木	農具（エブリ）		アカガシ亜属
2007	２S-1030	2007	埋土中	生木	匙		カヤ
2653	２S-1046	2653	埋土中	生木	容器		ヤマグワ
3328	２S-1057	3328	８層	生木	鋤		アカガシ亜属
3456	２S-1057	3456	埋土中	生木	桶蓋		スギ
3391	２S-1079	3391	上層	生木	鍬		アカガシ亜属
3389	２S-1079	3389	上層	生木	堅杵	芯去材（板目）	アカガシ亜属
2207	２S-1079	2207	埋土中	生木	不明（農具形）		スギ
2278	２S-1120	2278	埋土中	生木	柄		スギ
4120	２S-1147	4120	貼床下位層	生木	木包丁	柾目	ヤマグワ
5121	２S-1265	5121	埋土中	生木	たも枠		ヤマグワ
7022	３S-0076	7022	２層	炭化材	木包丁	柾目	ケヤキ
7571	３S-0115	7571	埋土中	生木	槽	横木取り	カヤ
1254	東側溝	1254		生木	容器		スギ
8796	東側溝ベルト	8796	第Ⅵ層	生木	たも枠	芯持材	カヤ？
1394		1394	第Ⅶ層	生木	高杯？（花弁）	横木取り	ヤマグワ
1189		1189	第Ⅶ層	生木	衣笠？	芯去材（板目）	スギ

分野壁孔はスギ型で、１分野に２-４個。放射組織は単列、１-10細胞高。

・カヤ(Torreya nucifera Sieb. et Zucc.)　イチイ科カヤ属

軸方向組織は仮道管のみで構成され、樹脂道および樹脂細胞は認められない。仮道管の早材部から晩材部への移行はやや急で、晩材部の幅は狭い。仮道管内壁には２本が対をなしたらせん肥厚が認められる。放射組織は柔細胞のみで構成される。分野壁孔はトウヒ型～ヒノキ型で、１分野に１-４個。放射組織は単列、１-10細胞高。

・コナラ属アカガシ亜属(Quercus subgen. Cyclobalanopsis)　ブナ科

放射孔材で、道管は単独で放射方向に配列する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、１-15細胞高のものと複合放射組織とがある。

・スダジイ(Castanopsis cuspidata var. sieboldii (Makino) Nakai)　ブナ科シイ属

環孔性放射孔材で、道管は接線方向に１-２個幅で放射方向に配列する。孔圏部は３-４列、孔圏外で急激に径を減じたのち、漸減しながら火炎状に配列する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、１-20細胞高。

・ツブラジイ(Castanopsis cuspidata (Thunberg) Schottky)　ブナ科シイ属

環孔性放射孔材で、道管は接線方向に１-３個幅で放射方向に配列する。孔圏部は３-４列、孔圏外でやや急激に径を減じたのち、漸減しながら火炎状に配列する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、１-20細胞高のものと集合～複合放射組織とがある。

・シイ属(Castanopsis spp.)？　ブナ科シイ属

道管は、孔圏外で漸減しながら火炎状に配列する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、１-20細胞高。シイ属？とされた試料は、木器の取上№4134であるが、本試料は孔圏部が観察できなかったため、確実な同定には至っておらず、クリ、コナラ節の可能性もある。

・ケヤキ(Zelkova serrata (Thunb.) Makino)　ニレ科ケヤキ属

環孔材で、孔圏部は１-２列、孔圏外で急激に径を減じたのち、塊状に複合して接線・斜方向に紋様状あるいは帯状に配列し、年輪界に向かって径を漸減させる。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列、小道管内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は異性、１-６細胞幅、１-50細胞高。放射組織の上下縁辺部を中心に結晶細胞が認められる。

・ヤマグワ(Morus australis Poiret)　クワ科クワ属

環孔材で、孔圏部は３-５列、孔圏外への移行は緩やかで、晩材部では単独または２-４個が複合して斜方向に配列し、年輪界に向かって管径を漸減させる。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列、小道管内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は異性、１-６細胞幅、１-50細胞高。

・クスノキ科(Lauraceae)

散孔材で、道管は単独または２-３個が放射方向に複合して散在する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は異性、１-２細胞幅、１-20細胞高。柔組織は周囲状および散在状。柔細胞には油細胞が認められる。

２　１回目・２回目の同定結果に基づく考察

１回目の棒状、板材を主体とする樹種同定では、合計で８種類が認められた(第Ⅴ－９－１表)。各分類群の材質についてみると、針葉樹のスギは木理が通直で割裂性と耐水性が比較的高い。カヤは、

針葉樹にしては重硬・緻密で強度と耐水性が高い。広葉樹のアカガシ亜属とケヤキは重硬で強度が高く、スダジイ、ツブラジイ、ムクロジも比較的重硬な部類に入る。クスノキ科は、やや重硬な種類から比較的軽軟な種類まであり、材質に幅がある。

点数の多い、２S-1147から出土した試料についてみると、杭？の他、板状(板材や板杭？を含む)と棒状の試料がある。杭？はクスノキ科に同定された。一方、板状の試料は、板目が中心であるが、柾目や柾目～追柾目の試料も少数含まれる。樹種は、スギを中心とするが、スダジイも１点混じる。スギについては、分割加工が容易なことや耐水性等から利用されたと考えられる。なお、スギの板のうち、3879と4108には、軸方向に直交するように何らかの物質が当たっていた痕跡がある。また、板杭?とした4111と4117は、一方の先端を尖らせる加工が認められる。このほか、3659、3648、3649、3650の４点は火を受けて炭化している。3705は他の試料に比べて板の厚みが薄い。こうした状況の違いは、スギが複数の用途・部位に利用されていた可能性を示唆する。１点認められたスダジイ(4116)は、住居の壁板と考えられており、一方の面のみ炭化している。スギとは材質が異なっており、利用状況も異なっていた可能性がある。今後、出土状況と併せた検討が望まれる。また、棒状の試料についてみると、芯持丸木の試料(4112、4115、4113)と分割材(3653-１、3655下、3657、3880、4107)とがある。木取り別にみると、芯持丸木では３点中２点がシイ属(スダジイ、ツブラジイ)、１点がスギである。一方、分割材では、3657の１点がスダジイで、残る４点はスギであった。いずれの木取りでもスギとシイ属が混在しており、現状では木取りによる樹種の違いは明瞭ではない。この他、3660の炭化材についてみると、いずれも小破片であり、元の形状は不明である。樹種をみると、板状や棒状の試料にも認められたスギやシイ属が目立つが、板状や棒状の試料には認められなかったアカガシ亜属やイネ科も認められる。このうち、アカガシ亜属については、強度を要する用途・部位の利用が推定される。イネ科については、屋根等の萱材に由来する可能性がある。

２S-1063の板材２点は、上の板の一部に下とした板状の試料が付着している状況である。いずれもスギに同定された。この結果は、２S-1147の結果とも整合的である。

２S-180から出土した柱or杭は、芯持丸木で、全体像は不明であるが、残存部位の一方に向かって細くなるような形状を示す。ケヤキに同定され、柱とすれば強度や耐朽性を考慮した用材選択が推定される。

２回目の様々な木製品を対象にした樹種同定では、合計で６類と不明１種類が認められた(第Ⅴ－９－２表)。各分類群の材質についてみると、針葉樹のスギは木理が通直で割裂性と耐水性が比較的高い。カヤは、針葉樹にしては重硬・緻密で、強度と耐水性が高く、弾力性がある。広葉樹のアカガシ亜属とケヤキは重硬で強度が高く、ヤマグワはアカガシ亜属ほどではないが硬い材種の部類に入る。

用途別の樹種を見ると、鋤、鍬、斧の柄などの農工具はアカガシ亜属が使用されている。今回の調査で同定されたアカガシ亜属はすべてこれら用途のものであり、重硬で強度の高い性質が利用されたと考えられる。木包丁、高杯はヤマグワが多く、スギ、ケヤキ、カヤが利用されている。櫂は不明(櫂状)も含めるとスギが多いといえる。匙はカヤとスギが利用され、把手・柄・鞘はスギが利用されている。また、蓋もスギが利用され、容器はスギ、カヤ、ヤマグワが利用され、槽はカヤが利用されている。伊東・山田(2012)のデータベースによると、鳥取県の遺跡から出土した木製品のうち、木包丁、高杯はヤマグワ、櫂、容器はヤマグワとスギの利用例が多く、蓋はスギの利用例が多いとされる。本遺跡出土の木製品の樹種利用は、鳥取県下の出土例と比べると、カヤの利用が多いものの、県

下の出土例と同様の樹種が選択されている傾向と言える。

３　３回目の同定結果

結果を第Ⅴ－９－３表に示す。同定の結果、針葉樹５種類(スギ、ヒノキ属、イチイ属、カヤ、イヌガヤ)、広葉樹６種類(アカガシ亜属、クリ、ケヤキ、ヤマグワ、クスノキ、サカキ)が検出された。針葉樹が多く、分析を行った試料の半数以上をスギが占める。以下に同定された各分類群の解剖学的特徴等を記す。

・スギ(Cryptomeria japonica（L. f.）D. Don)　スギ科スギ属

軸方向組織は仮道管と樹脂細胞で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行はやや急で、晩材部の幅は比較的広い。樹脂細胞はほぼ晩材部に認められる。放射組織は柔細胞のみで構成される。分野壁孔はスギ型で、１分野に２個が多い。放射組織は単列、１～10細胞高。

・ヒノキ属(Chamaecyparis)　ヒノキ科

軸方向組織は仮道管と樹脂細胞で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行は緩やか～やや急で、晩材部の幅は狭い。樹脂細胞は晩材部付近に認められる。放射組織は柔細胞のみで構成される。分野壁孔はヒノキ型で、基本的に１分野に２個が多い。放射組織は単列、１～15細胞高。

・カヤ(Torreya nucifera Sieb. et Zucc.)　イチイ科カヤ属

軸方向組織は仮道管のみで構成され、樹脂道および樹脂細胞は認められない。仮道管の早材部から晩材部への移行はやや急で、晩材部の幅は狭い。仮道管内壁には２本が対をなしたらせん肥厚が認められる。放射組織は柔細胞のみで構成される。分野壁孔はトウヒ型～ヒノキ型で、１分野に１～４個。放射組織は単列、１～10細胞高。

・イチイ属(Taxus)　イチイ科

軸方向組織は仮道管のみで構成され、樹脂道および樹脂細胞は認められない。仮道管の早材部から晩材部への移行はやや急で、晩材部の幅は狭い。仮道管内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は柔細胞のみで構成される。分野壁孔はヒノキ型で、１分野に１～２個。放射組織は単列、１～５細胞高。

・イヌガヤ(Cephalotaxus harringtonia（Knight）K. Koch f.)　イヌガヤ科イヌガヤ属

軸方向組織は仮道管と樹脂細胞で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行は緩やか。仮道管内壁にはらせん肥厚が認められる。樹脂細胞は早材部および晩材部に散在する。放射組織は柔細胞のみで構成され、分野壁孔はヒノキ型で１分野に１～２個。放射組織は単列、１～10細胞高。

・コナラ属アカガシ亜属(Quercus subgen. Cyclobalanopsis)　ブナ科

放射孔材で、道管は単独で放射方向に配列する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、１～15細胞高のものと複合放射組織とがある。

・クリ(Castanea crenata Sieb. et Zucc.)　ブナ科クリ属

環孔材で、孔圏部は３-４列、孔圏外で急激に管径を減じたのち、漸減しながら火炎状に配列する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、１～15細胞高。

・ケヤキ(Zelkova serrata（Thunb.）Makino)　ニレ科ケヤキ属

環孔材で、孔圏部は１～２列、孔圏外で急激に径を減じたのち、塊状に複合して接線・斜方向に紋様状あるいは帯状に配列し、年輪界に向かって径を漸減させる。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状

第Ｖ－９－３表　平成30年度実施　樹種同定結果（３回目）

報告書掲載番号	遺構等	取上げNo.	出土層位	器　種	樹　種　名
2199	S-0275	2199	埋土中	柱	クリ（根材）？
9172	S-0766	9172	床面直上	ヘラ状	スギ
9174	S-0766	9174	流入土中	不明	スギ
9175	S-0766	9175	床面直上	不明	クリ
4920	２S-0180	4920	埋土中	脚	スギ
6825	２S-0180	6825	埋土中	機織具	スギ
2225	２S-0245	2225	埋土中	板	スギ
5076	２S-0245	5076	埋土中	容器	スギ
5185	２S-0245	5185	埋土中	高杯	ケヤキ
5190	２S-0245	5190	埋土中	匙	イヌガヤ
5911	２S-0245	5911	埋土中	容器	スギ
3678	２S-0701	3678	埋土中	桙	ヒノキ属？
5956	２S-0762	5956	埋土中	柄	ヒノキ属
9326	２S-0762	9326	埋土中	槽	スギ
6033	２S-0763	6033	埋土中	脚	クスノキ
3148D	２S-0840	3148D	中層	柄	サカキ
3629	２S-0840	3629	中層	建築部材	スギ
8958	２S-0841	8958	埋土中	容器	カヤ
9081	２S-0841	9081	埋土中	桶未製品	スギ
1995	２S-0965	1995	埋土中	脚部	カヤ
1769	２S-1026	1769	埋土中	紡織具？	スギ
2009	２S-1030	2009	埋土中	不明	ケヤキ
2746	２S-1030	2746	埋土中	不明	スギ
2058	２S-1057	2058	トレンチ	鍬	コナラ属アカガシ亜属
2279	２S-1057	2279	埋土中	櫂	ヤマグワ
3344	２S-1057	3344	A-A'断面７層	板	ケヤキ
3417	２S-1057	3417	A-A'断面８層	盾	スギ
3418	２S-1057	3418	埋土中	木包丁	ヤマグワ
3593	２S-1057	3593	A-A'断面８・９層	アカとり？	クリ
3670	２S-1057	3670	A-A'断面８層	建築部材	スギ
3702	２S-1057	3702	A-A'断面８・９層	指物	スギ
4195	２S-1057	4195	A-A'断面９層	建築部材	スギ
4203	２S-1057	4203	A-A'断面９層	鍬未製品	コナラ属アカガシ亜属
2849	２S-1066	2849	埋土中	木包丁	ヤマグワ
4014	２S-1237	4014	埋土中	柱	クスノキ
4013	２S-1238	4013	埋土中	柱	クスノキ
3882	２S-1239	3882	埋土中	建築部材	スギ
3883	２S-1239	3883	埋土中	建築部材	スギ
5112	２S-1264	5112	埋土中	建築部材	スギ
5122	２S-1269	5122	埋土中	柱	スギ
7764	３S-0115	7764	埋土中	鍬	コナラ属アカガシ亜属
3860	－	3860	Ⅳ層	不明（棒状品）	イチイ属
4931	－	4931	Ｖ３層	不明（部材）	スギ

に配列、小道管内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は異性、１～６細胞幅、１～50細胞高。放射組織の上下縁辺部を中心に結晶細胞が認められる。

・ヤマグワ（Morus australis Poiret）　クワ科クワ属

環孔材で、孔圏部は３-５列、孔圏外への移行は緩やかで、晩材部では単独または２-４個が複合して斜方向に配列し、年輪界に向かって管径を漸減させる。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列、小道管内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は異性、１-６細胞幅、１-50細胞高。

・クスノキ（Cinnamomum camphora（L.）Presl）　クスノキ科クスノキ属

散孔材で、道管径は比較的大径、管壁は薄く、横断面では楕円形、単独または２～３個が放射方向に複合して散在する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は異性Ⅲ型、１～３細胞幅、１～20細胞高。柔組織は周囲状～翼状。柔細胞には油細胞が認められる。

・サカキ（Cleyera japonica Thunb.）　ツバキ科サカキ属

散孔材で、小径の道管が単独または２-３個が複合して散在し、年輪界に向かって径を漸減させる。道管の分布密度は高い。道管は階段穿孔を有し、壁孔は対列～階段状に配列する。放射組織は異性、単列、１～20細胞高。

４　３回目の同定結果に基づく考察

用途別の種類構成を第Ⅴ－９－４表に示す。用途の分類は、伊東・山田編(2012)の木材データベースによった。今回分析した試料の半数以上がスギである。本遺跡における過去の分析結果でも、スギの木材が多く同定検出されている。伊東・山田編(2012)の木材データベースでみても、県内の遺跡でスギの木製品が多く検出されていることがわかる。現在では、スギは山間部にその分布が限られているが、日本海側では、低地においてスギの埋没林が存在することや、遺跡からスギの木製品や自然木が多数検出されていることから、以前は、低地周辺にもスギが多く生育していたと考えられている(鈴木,2002など)。また、花粉分析の結果でも、約2000年前を中心としてスギ属の花粉化石が、山陰～北陸の日本海側において多く検出されている(高原,1998)。木理が通直で割裂性と耐水性が比較的高いため、多様な用途に対応できる有用材であることから、周辺で得やすい有用材を多用した状況が窺える。

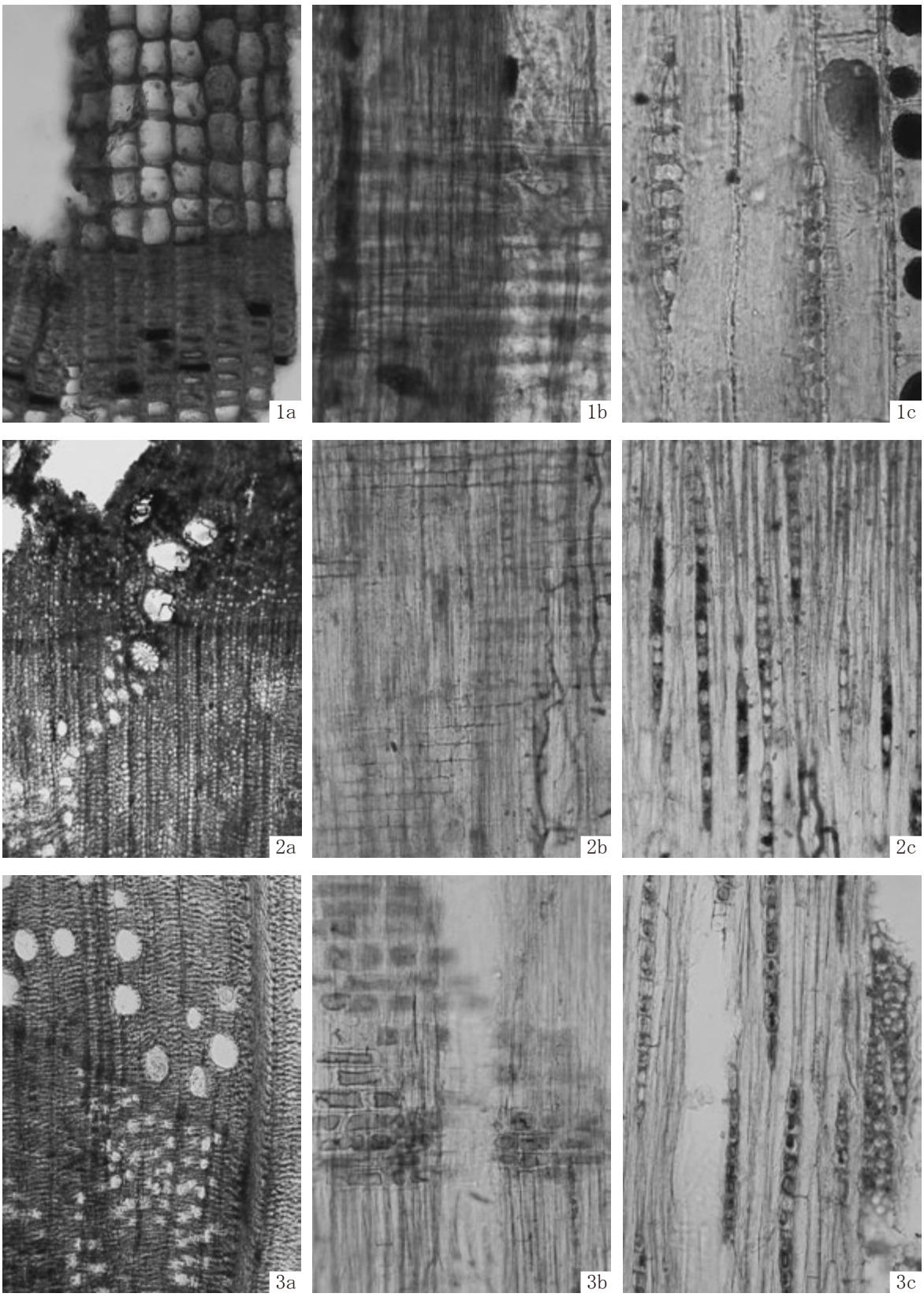
スギ以外の針葉樹をみると、ヒノキ属、イチイ属、カヤ、イヌガヤが検出される。伊東・山田編(2012)の木材データベースで県内の出土状況をみると、いずれの樹種も出土事例がある。ヒノキ属は、腐朽しにくく、耐久性に優れる。県内では、桂見遺跡などで器具や建材として多用されている。イチイ属は緻密で狂いが生じにくく加工しやすい特徴をもつ。県内の検出例は少ないが桂見遺跡などで棒材や漁労具としての利用例がある。カヤは、重硬・緻密で強度と耐水性が高い。県内でも青谷上寺地遺跡において高杯としての利用例がある。イヌガヤは緻密で硬く、粘りがあって耐久性にも優れる。青谷上寺地遺跡において、本遺跡と同様に調理具としての利用例がある。

一方広葉樹では、アカガシ亜属が重硬で強度が高く、農具として使われる例が多いが、本分析調査でも鍬として利用されている。クリ、ケヤキ、ヤマグワも比較的重硬で強度がある木材であり、強度を必要する木製品の部材として使われることが多い。クスノキの木材は軟質だが、見た目に美しく、虫に強いことから建築材(主に内装材として)使われる場合がある。サカキの木材も強度があり、道具の柄として使われることが多い。今回の結果をみると、用途が判明している木材に関しては、それぞれの木材の特性を生かした用材選択が行われていることがわかる。

第Ⅴ－９－４表　用途別樹種構成

	農工土木	紡織具	運搬具	武器・武具	容器	調理加工・食事	調度	建築部材	その他	合計
スギ		2		1	4	2	1	7	6	23
ヒノキ属	1	1								2
イチイ属									1	1
カヤ					1				1	2
イヌガヤ						1				1
アカガシ亜属	3									3
クリ								1	2	3
ケヤキ					1				2	3
ヤマグワ			1							1
クスノキ								2	1	3
サカキ	1									1

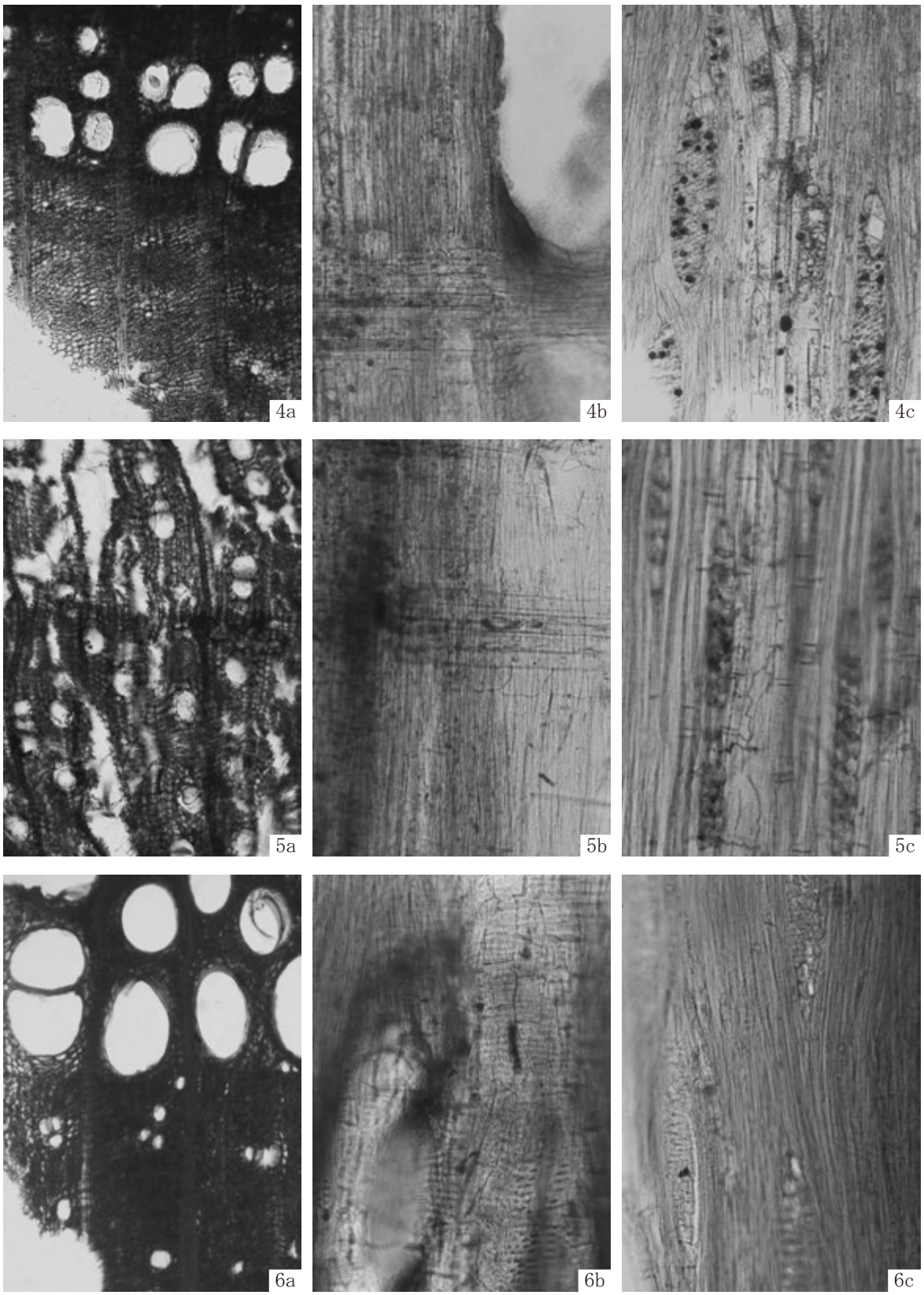
※木製品分類は伊藤・山田編(2012)による



1. スギ(2S-1147;4107)
2. スダジイ(2S-1147;4116)
3. ツブラジイ(2S-1147;4112)
　a：木口，b：柾目，c：板目

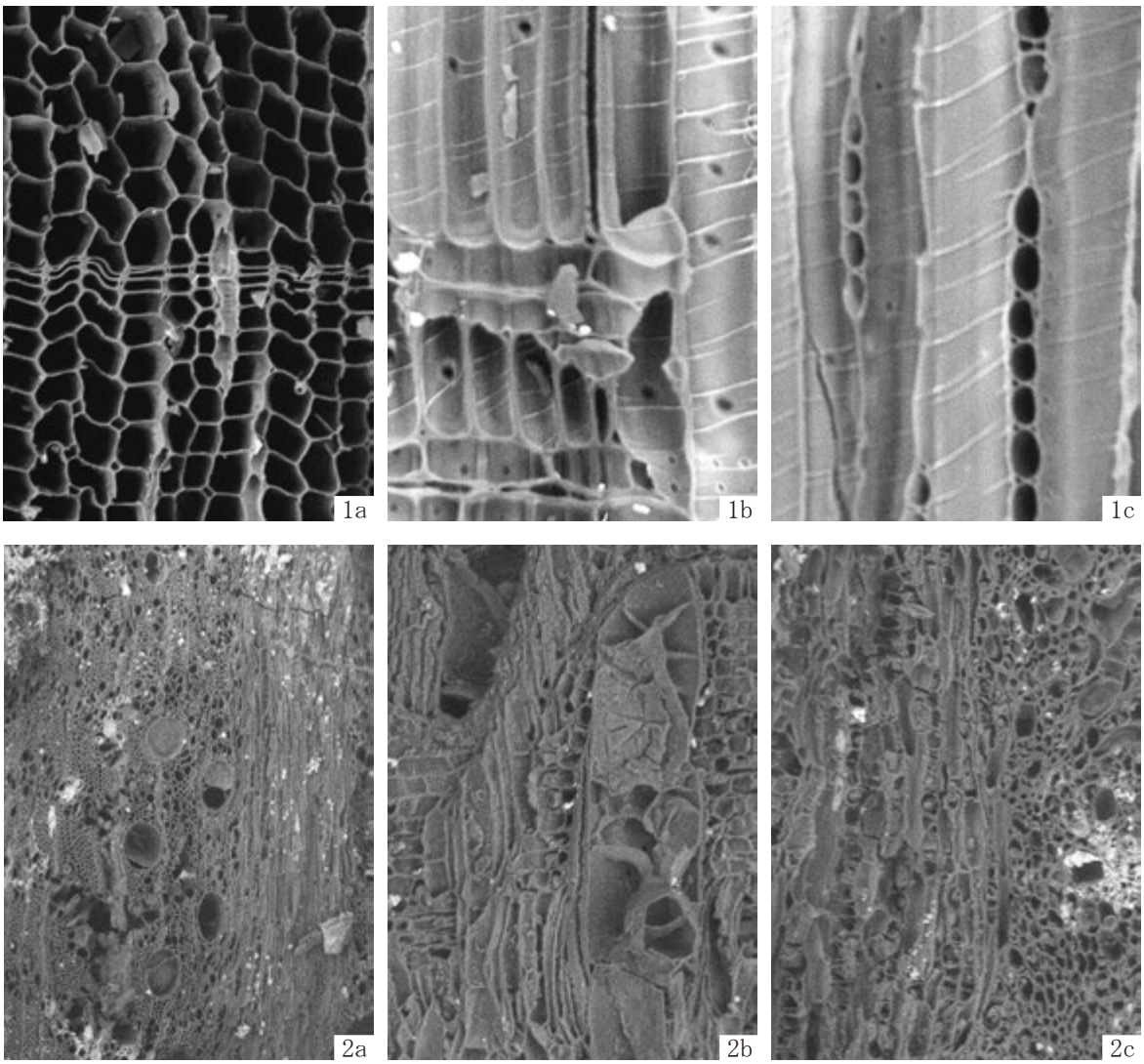
100μm:2-3a
100μm:1a, 2-3b, c
100μm:1b, c

第Ｖ－９－１図　平成30年度実施　樹種同定（１回目・２回目 木材１）



4. ケヤキ(2S-180;7499)
5. クスノキ科(2S-1147;4118)
6. ヤマグワ(1394)
　a：木口，b：柾目，c：板目

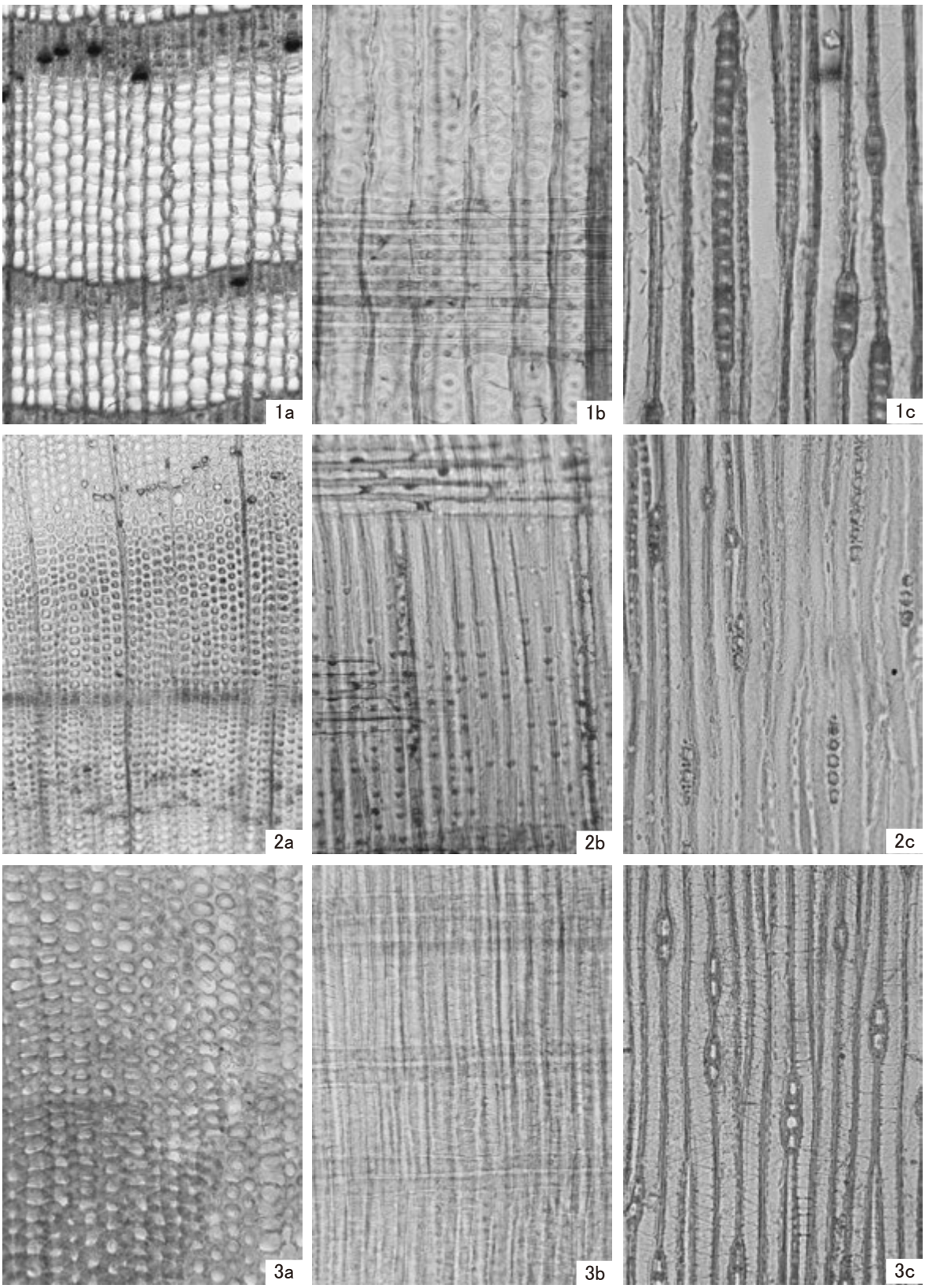
第Ⅴ－９－２図　平成30年度実施　樹種同定（１回目・２回目 木材２）



1. カヤ(2S-1147;3653-1)
2. コナラ属アカガシ亜属(2S-1147;3660-a)
　a:木口,b:柾目,c:板目

100μm:2a
100μm:1a, 2b, c
100μm:1b, c

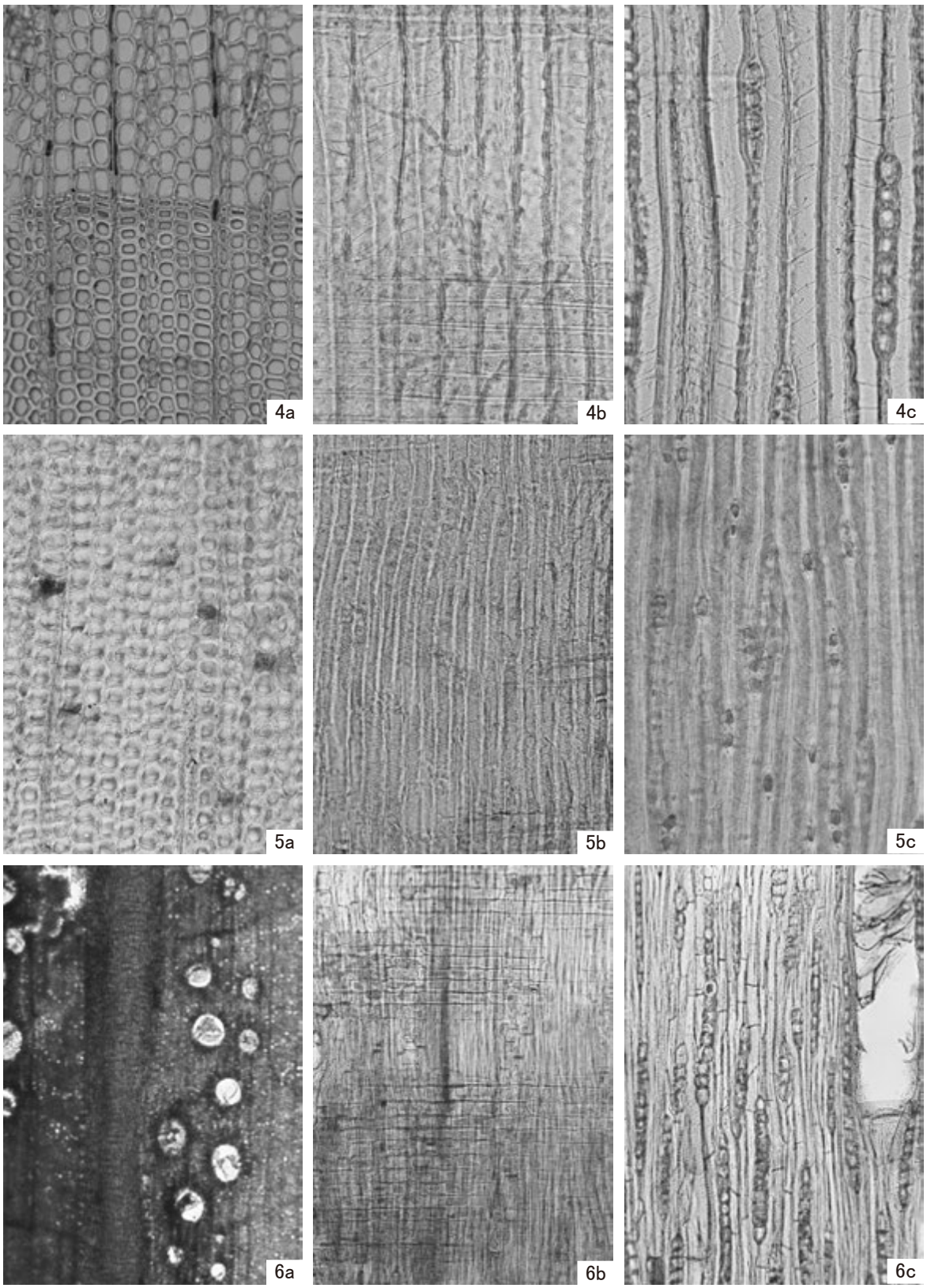
第Ｖ－９－３図　平成30年度実施　樹種同定（１回目・２回目 炭化材）



1.スギ(No.38)
2.ヒノキ属(No.23)
3.イチイ属(No.7)

a:木口　b:柾目 c:板目
100μm(a)
100μm(b;c)

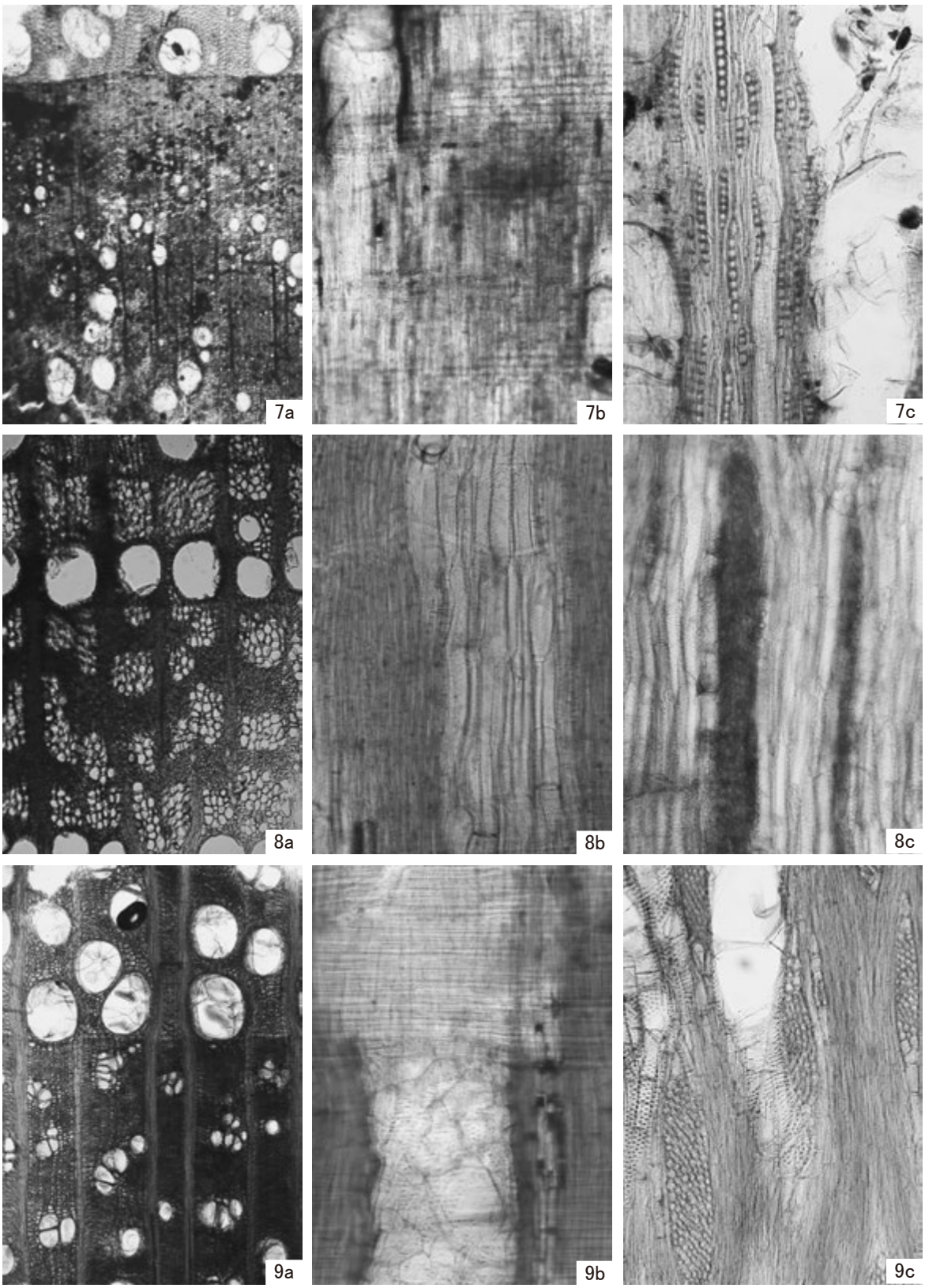
第Ⅴ－９－４図　平成30年度実施　樹種同定（３回目 木材１）



4.カヤ(No.13)
5.イヌガヤ(No.31)
6.アカガシ亜属(No.15)

a:木口　b:柾目 c:板目
100μm(6a)
100μm(4a,5a,6b,c)
100μm(4b,c,5b,c)

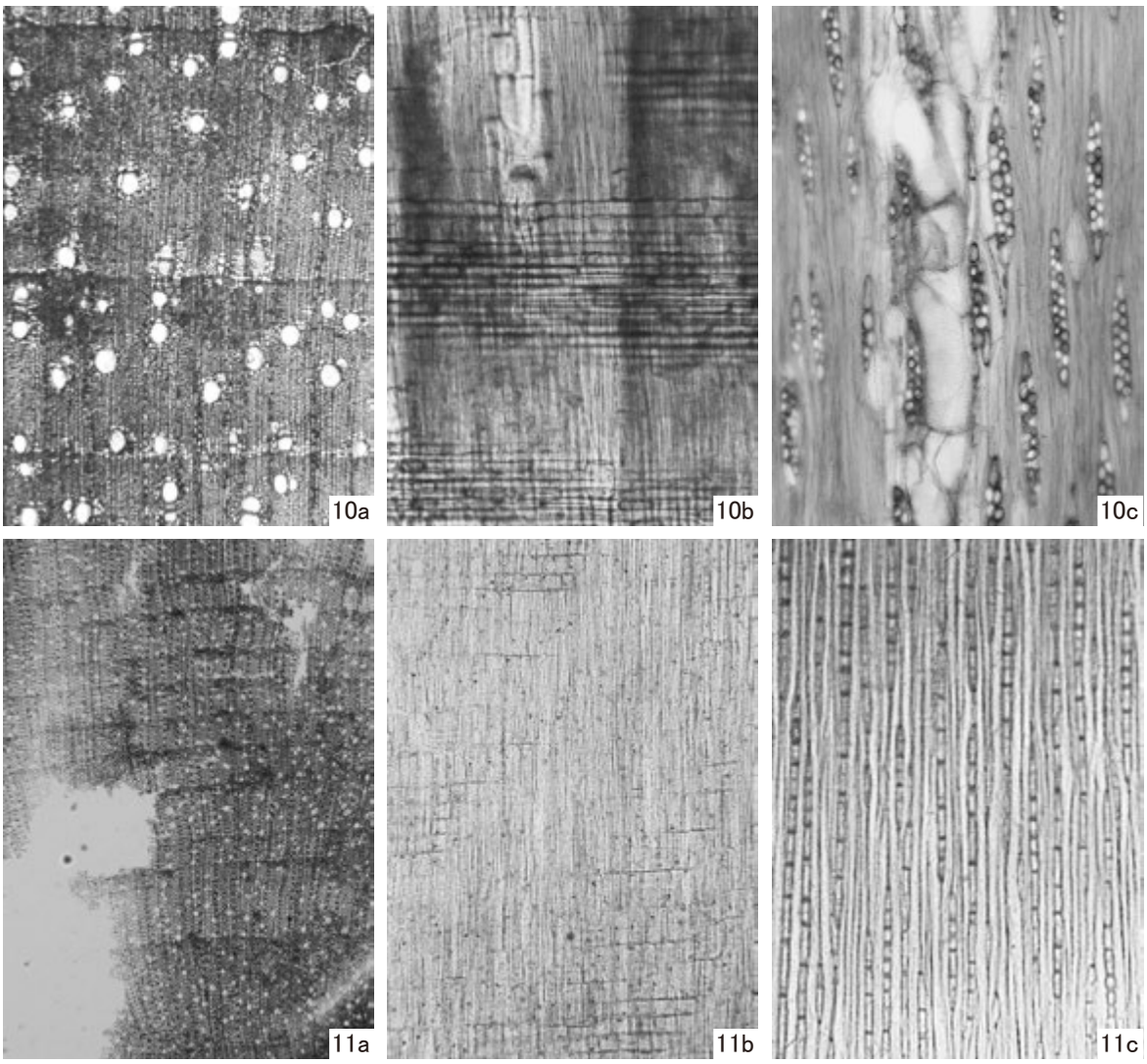
第Ｖ－９－５図　平成30年度実施　樹種同定（３回目 木材２）



7.クリ(No.3)
8.ケヤキ(No.14)
9.ヤマグワ(No.17)

a:木口　b:柾目 c:板目
100μm(a)
100μm(b,c)

第Ⅴ－９－６図　平成30年度実施　樹種同定（３回目 木材３）



10.クスノキ(No.42)
11.サカキ(No.37)

a:木口　b:柾目 c:板目
100μm(a)
100μm(b,c)

第Ｖ－９－７図　平成30年度実施　樹種同定（３回目 木材４）

第Ⅴ－９－５表　保存処理実施木器樹種同定結果（１）

報告書掲載番号	遺構等	取上げ№	出土層位	器　　種	樹　種　名
9173	S-0766	9173	床面直上	カセ？	スギ
	2S-0245	716	埋土中	鍬	コナラ属アカガシ亜属
	2S-0245	721	堀方埋土中	高坏脚	イチイ
1416	2S-0245	1416	埋土中	建築部材	スギ
1423	2S-0245	1423	埋土中	建築部材	スギ
	2S-0245	1574	埋土中	部材	クリ
	2S-0245	1862	掘方埋土	田舟？	スギ
3257	2S-0245	3257	埋土中	杭	スダジイ
3263	2S-0245	3263	埋土中	杭	サカキ
5055	2S-0245	5055	埋土中	不明(部材)	カラスザンショウ
6976	2S-0245	6976	埋土中	容器	モクレン属
	2S-0245	8014 8023	埋土中	不明	スギ
	2S-0245	8292	埋土中	高杯	イチイ
8448	2S-0245	8448	埋土中	建築部材	スギ
8625	2S-0245	8625	木杭断割	盾	モミ属
	2S-0245	8646	埋土中	木包丁	クワ科クワ属
8653	2S-0245	8653	埋土中	鋤	コナラ属アカガシ亜属
8654	2S-0245	8654	埋土中	剣形	ブナ科コナラ属アカガシ亜属
8691	2S-0245	8691	埋土中	不明	クワ属
8768	2S-0245	8768	埋土中	建築部材	スギ
8971	2S-0245	8971	埋土中	栓	スギ
9025	2S-0245	9025	埋土中	鎌？	コナラ属アカガシ亜属
	2S-0266	7988	埋土中	礎板	スギ
	2S-0313	7959 8085	埋土中	礎板	スギ
	2S-0313	8313	埋土中	礎板	スギ
	2S-0314	7565	埋土中	礎板	スギ
7987	2S-0315	7987	掘方埋土	槽	スギ
2765	2S-0348	2765	埋土中	板状品	スギ
8481	2S-0367	8481	埋土中	装飾付の柄	スギ
1966 2020	2S-0593	1966 2020	埋土中	板状品	スギ
	2S-0701	3174	底面	火きり臼	ツバキ科ナツツバキ属
	2S-0701	3175	底面	火きり臼	マタタビ科マタタビ属
3550	2S-0703	3550	底面	火きり臼	マタタビ科マタタビ属
3055	25-0730	3055	埋土中	木製品	スダジイ
3119	25-0730	3119	埋土中	臼	トチノキ
	2S-0730	3224	底面	建築部材	スギ
4481	2S-0742	4481		桶(井戸枠)	スギ
5308	2S-0762	5308	埋土中	桶	スギ
5312	2S-0762	5312	埋土中	容器	スギ
5716	2S-0762	5716	埋土中	桶	スギ
6156	2S-0763	6156	埋土中	建築部材？	スギ
6235	2S-0763	6235	埋土中	不明木製品	広葉樹樹皮
6237	2S-0763	6237	埋土中	不明木製品	広葉樹樹皮
6422	2S-0763	6422	埋土中	木包丁	クワ属
6722	2S-0763	6722	埋土中	たも枠	モミ属
6867	2S-0763	6867	埋土中	不明木製品 (取手？)	スギ
7166	2S-0763	7166	埋土中	又鍬	コナラ属アカガシ亜属
7606	2S-0763	7606	埋土中	腰掛	スギ
7856	2S-0763	7856	埋土中	不明	キハダ
8177	2S-0763	8177	掘方埋土中	匙	スギ
8441	2S-0763	8441	埋土中	不明	スギ
8934	2S-0763	8934	埋土中	建築部材	スギ
	2S-0763	9334	埋土中	建築部材	スギ
	2S-0763	9367	埋土中	建築部材	スギ
	2S-0763	9368	埋土中	建築部材	スギ
435	2S-0763 南側溝	435	－	杓子	スギ

第Ｖ－９－６表　保存処理実施木器樹種同定結果（２）

報告書掲載番号	遺構等	取上げ№	出土層位	器　　種	樹　種　名
5069	２S-0764	5069	埋土中	火きり臼	スギ
7824B	２S-0790	7824B	埋土中	建築部材	スギ
8114	２S-0790	8114	埋土中	杭	クワ属
8115	２S-0790	8115	埋土中	杭	クワ属
8116	２S-0790	8116	埋土中	杭	クワ属
	２S-0790	8117	埋土中	杭	スギ
8118	２S-0790	8118	埋土中	杭	クワ属
8309	２S-0824	8309	埋土中	桶	スギ
8612	２S-0824	8612	埋土中	容器(指物)	スギ
8727	２S-0824	8727	埋土中	建築部材	スギ
8742	２S-0824	8742	埋土中	容器	スギ
8750	２S-0824	8750	埋土中	建築部材	スギ
	２S-0824	8806	埋土中	建築部材	スギ
8813 8815	２S-0824	8813 8815	埋土中	桶	スギ
8888	２S-0824	8888	埋土中	高杯脚	クワ科クワ属
	２S-0833	9141	埋土中	不明	アジサイ属
	２S-0840	2692	中層	桶	スギ
2801 3907	２S-0840	2801 3907	中層	腰掛け	スギ
	２S-0840	2809	埋土中	不明	イヌガヤ
3156	２S-0840	3156	中層	不明	ハリギリ
3173	２S-0840	3173	中層	槽	スギ
3178	２S-0840	3178	埋土中	建築部材	スギ
3223	２S-0840	3223	中層	不明	ハリギリ
	２S-0840	3538	埋土中	板状品	スギ
3581	２S-0840	3581	中層	桶	スギ
3614	２S-0840	3614	埋土中	建築部材	スギ
	２S-0840	3623	中層	建築部材	スギ
3934I	２S-0840	3934I	中層	槽	スギ
3981 3982	２S-0840	3981 3982	下層 中層	刺突具？	スギ
4021	２S-0840	4021	中層	桶	スギ
	２S-0840	4022	中層	建築部材	スギ
4037	２S-0840	4037	中層	高坏	クワ科クワ属
4038	２S-0840	4038	中層	高坏	クワ科クワ属
	２S-0840	4056	埋土中	建築部材	スギ
4190	２S-0840	4190	中層	桶	スギ
	２S-0840	4235 4236	埋土中	建築部材	スギ
	２S-0840	4239	埋土中	建築部材	スギ
4241	２S-0840	4241	埋土中	建築部材	スギ
	２S-0840	4246	埋土中	建築部材	スギ
	２S-0840	4247	埋土中	建築部材	スギ
	２S-0840	4248	埋土中	建築部材	スギ
	２S-0840	4249	埋土中	建築部材	スギ
	２S-0840	4255	埋土中	建築部材	スギ
4257	２S-0840	4257	埋土中	建築部材	スギ
	２S-0840	4258	埋土中	建築部材	スギ
4277	２S-0840	4277	埋土中	建築部材	スギ
	２S-0840	4301	埋土中	建築部材	スギ
	２S-0840	4306	埋土中	建築部材	スギ
4312	２S-0840	4312	埋土中	建築部材	スギ
	２S-0840	4317	埋土中	建築部材	スギ
4318	２S-0840	4318	埋土中	建築部材	スギ
4321	２S-0840	4321	埋土中	建築部材	スギ
	２S-0840	4334	埋土中	建築部材	スギ
	２S-0840	4335	埋土中	建築部材	スギ
	２S-0840	4340	埋土中	建築部材	スギ
4377	２S-0840	4377	中層	建築部材	スギ

第Ⅴ－９－７表　保存処理実施木器樹種同定結果（３）

報告書掲載番号	遺構等	取上げ№	出土層位	器　　種	樹　種　名
	２S-0840	4378	中層	建築部材	スギ
	２S-0840	4389	埋土中	建築部材	スギ
4393	２S-0840	4393	埋土中	建築部材	スギ
4401	２S-0840	4401	中層	建築部材	スギ
	２S-0840	4402	中層	建築部材	スギ
	２S-0840	4404	中層	建築部材	スギ
4405	２S-0840	4405	中層	建築部材	スギ
	２S-0840	4420	埋土中	建築部材	スギ
	２S-0840	4423	埋土中	建築部材	スギ
	２S-0840	4428	埋土中	建築部材	スギ
	２S-0840	4441	埋土中	建築部材	スギ
4475	２S-0840	4475	埋土中	建築部材	スギ
	２S-0840	4508	中層	建築部材	スギ
	２S-0840	4509	中層	建築部材	スギ
	２S-0840	4510	中層	建築部材	スギ
	２S-0840	4511	中層	建築部材	スギ
4521	２S-0840	4521	埋土中	建築部材	スギ
	２S-0840	4529	中層	建築部材	スギ
	２S-0840	4530	埋土中	建築部材	スギ
	２S-0840	4531A	中層	建築部材	クスノキ科クスノキ属
	２S-0840	4531B	中層	建築部材	スギ
	２S-0840	4538	埋土中	建築部材	スギ
4542	２S-0840	4542	埋土中	建築部材	スギ
	２S-0840	4545 4546	埋土中	建築部材	スギ
	２S-0840	4547	埋土中	建築部材	スギ
	２S-0840	4561 4564	埋土中	建築部材	スギ
	２S-0840	4563	埋土中	建築部材	スギ
	２S-0840	4573	埋土中	建築部材	スギ
	２S-0840	4634	中層	建築部材	スギ
	２S-0840	4635	中層	建築部材	スギ
	２S-0840	4637	中層	建築部材	スギ
4639 4640	２S-0840	4639 4640	埋土中	建築部材	スギ
	２S-0840	4698	埋土中	建築部材	スギ
	２S-0840	4699	埋土中	建築部材	スギ
	２S-0840	4706 4707	埋土中	建築部材	スギ
	２S-0840	4714	埋土中	建築部材	スギ
	２S-0840	4728	埋土中	建築部材	スギ
4729	２S-0840	4729	埋土中	建築部材	スギ
	２S-0840	4734	埋土中	建築部材	スギ
4737	２S-0840	4737	埋土中	建築部材	スギ
	２S-0840	4739	埋土中	建築部材	スギ
	２S-0840	4740	埋土中	建築部材	スギ
	２S-0840	4747	中層	建築部材	スギ
4767	２S-0840	4767	埋土中	建築部材	スギ
4787	２S-0840	4787	中層	盾	スギ
	２S-0840	4789	中層	建築部材	スギ
4790	２S-0840	4790	中層	台付壺	クワ科クワ属
4811	２S-0840	4811	埋土中	建築部材	スギ
4845	２S-0840	4845	中層	建築部材	スギ
	２S-0840	4848	中層	腰掛け	カラスザンショウ
4850	２S-0840	4850	中層	建築部材	スギ
4856	２S-0840	4856	中層	蓋	クワ科クワ属
4883B 4884F	２S-0840	4883B 4884F	中層	柄	ツバキ科ツバキ属
4883C	２S-0840	4883C	中層	木包丁	クワ科クワ属
	２S-0840	4897	埋土中	建築部材	スギ

第Ｖ－９－８表　保存処理実施木器樹種同定結果（４）

報告書掲載番号	遺構等	取上げ№	出土層位	器　　種	樹　種　名
4900	２S-0840	4900	中層	桶	スギ
4902	２S-0840	4902	中層	脚	クリ
4929	２S-0840	4929	中層	鍬	ブナ科コナラ属アカガシ亜属
4935	２S-0840	4935	埋土中	建築部材	スギ
5096D	２S-0840	5096D	埋土中	底板	スギ
	２S-0840	5110	中層	漆器	モクレン科モクレン属
9503 9504	２S-0840	9503 9504	埋土中	高杯(脚部)	クワ科クワ属
93	２S-0840 ４ライントレンチ	93	－	刀形	スギ
	２S-0841 サブトレンチ１	109	埋土中	匙	イヌガヤ
8995	２S-0841	8995	埋土中	容器	クワ科クワ属
9014	２S-0841	9014	埋土中	高杯	ケヤキ
9035	２S-0841	9035	埋土中	高杯	クワ属
	２S-0841	9077D	埋土中	桶	スギ
9077E	２S-0841	9077E	埋土中	鍬	ブナ科コナラ属アカガシ亜属
9482	２S-0841	9482	埋土中	槽	スギ
	２S-0841	9491	埋土中	建築部材	スギ
4163	２S-0856	4163	埋土中	農具	ブナ科コナラ属アカガシ亜属
4963A 5023	２S-0856	4963A 5023	埋土中	蓋	スギ
	２S-0856	5031	埋土中	杭	コナラ属アカガシ亜属
5038	２S-0856	5038	埋土中	杭	スダジイ
	２S-0901	858	埋土中	容器	クワ科クワ属
1806	２S-0901	1806	埋土中	栓	スギ
	２S-0902	539	埋土中	容器	スギ
564	２S-0902	564	埋土中	梯子	スギ
	２S-0916	4998	埋土中	杭	ウルシ
1396	２S-0923	1396	埋土中	不明	クワ属
	２S-0927	4838	埋土中	杭	クリ
	２S-0927	5086	埋土中	栓	スギ
2177	２S-0927 杭4･5･6･7トレンチ	2177	－	杭	クリ
3492	２S-0965	3492	埋土中	板	スギ
	２S-1025	1628	埋土中	建築部材	スギ
1648	２S-1025	1648	埋土中	建築部材	スギ
4590	２S-1028	4590	埋土中	農具	スギ
2066	２S-1030	2066	埋土中	建築部材	スギ
	２S-1030	2115	埋土中	建築部材	スギ
2121	２S-1030	2121	埋土中	建築部材	スギ
	２S-1030	2123	埋土中	建築部材	スギ
2744	２S-1030	2744	埋土中	盤	スギ
3848	２S-1046	3848	埋土中	栓	クワ科クワ属
2401	２S-1057	2401	埋土中	建築部材	スギ
	２S-1057	2412	A-A'断面 13層	板	スギ
	２S-1057	3320	埋土中	礎板	スギ
3321	２S-1057	3321	埋土中	礎板	スギ
	２S-1057	3414	A-A'断面 ７層	杭	クリ
3494	２S-1057	3494	A-A'断面 ８層	建築部材	スギ
	２S-1057	3701	A-A'断面 ９層	建築部材	スギ
	２S-1057	3886	A-A'断面 ８・９層	建築部材	ブナ科シイ属
3663 4032	２S-1057	3663 4032	埋土中	板	スギ
	２S-1057 南北トレンチ	2020	－	梯子	スギ
2006	２S-1057トレンチ	2006		栓	スギ

第Ⅴ－９－９表　保存処理実施木器樹種同定結果（５）

報告書掲載番号	遺構等	取上げ№	出土層位	器　　種	樹　種　名
	２S-1061	1343	埋土中	蹴放し？	スギ
2848	２S-1066	2848	埋土中	盤	スギ
3195	２S-1066	3195	埋土中	盤	スギ
	２S-1066	3796	埋土中	盤	スギ
	２S-1079	3540	上層	建築部材	スギ
3826	２S-1079	3826	埋土中	泥除け未製品	スギ
	２S-1110	5137	埋土中	柱	カラスザンショウ
	２S-1141	3154	埋土中	槽	スギ
	２S-1141	3155	埋土中	槽	スギ
4099	２S-1143	4099	埋土中	建築部材	スギ
4100	２S-1143	4100	埋土中	建築部材	スギ
4121	２S-1143	4121	埋土中	杭	クリ
4126	２S-1143	4126	埋土中	杭	ヤナギ属
	２S-1143	4133	埋土中	杭	ヤナギ属
	２S-1147	4114	埋土中	杭	スダジイ
	２S-1172	2712	埋土中	建築部材	スギ
	２S-1247	3976	埋土中	建築部材	スギ
4058	２S-1250	4058	埋土中	杭	スギ
	２S-1264	5114	埋土中	建築部材	スギ
5124	２S-1264	5124	埋土中	棒	スダジイ
4815	２S-1271	4815	埋土中	建築部材	スギ
4819	２S-1271	4819	埋土中	杭	スダジイ
	２S-1272	5012	埋土中	木包丁	クワ科クワ属
	２S-1276	5092	埋土中	盾	マツ科モミ属
8404	３S-0040	8404	埋土中	紡錘車	クワ属
	３S-0070	6345	埋土中	建築部材	スギ
6364	３S-0070	6364	埋土中	盾	モミ属
6429	３S-0070	6429	埋土中	柄？	サカキ
6841	３S-0070	6841	埋土中	柱	ブナ科シイ属
7272	３S-0076	7272	埋土中	盾	モミ属
7477	３S-0115	7477	埋土中	杓子形木器	スギ
7519	３S-0115	7519	埋土中	木包丁	クワ科クワ属
7630	３S-0115	7630	埋土中	不明木製品	イスノキ
7632	３S-0115	7632	埋土中	盾	モミ属
7672	３S-0115	7672	埋土中	鍬	コナラ属アカガシ亜属
7629	３S-0115	7629	埋土中	盾	モミ属
1338	－	1338	Ⅰ層	紡錘車	スギ
1439	－	1439	Ⅱ層	椀	トチノキ
1483	－	1483	Ⅱ層	椀	トチノキ
1514	－	1514	Ⅱ層	椀	ブナ属
	－	1676	Ⅱ層	槽	スギ
5109	－	5109	Ⅴ層	容器	トチノキ
4837	－	4837	Ⅴ-３層	桶	スギ
4838	－	4838	Ⅴ-３層	桶	スギ
4841	－	4841	Ⅴ-３層	桶	スギ
4875	－	4875	Ⅴ-３層	建築部材	スギ
4978	－	4978	Ⅴ-３層	桶	スギ
5193	－	5193	Ⅴ-３層	桶	スギ
5278 5282	－	5278 5282	Ⅴ-３層	盾	マツ科モミ属
	－	4299	Ⅴ-４層	不明（板状品）	スギ
7034	－	7034	Ⅴ-４層	桶	スギ
7882	－	7882	Ⅴ-４層	不明木製品	スギ
7883	－	7883	Ⅴ-４層	不明木製品	スギ
8214	－	8214	Ⅴ-４層	不明	スギ
8306	－	8306	Ⅵ層	桶	クワ科クワ属
8307	－	8307	Ⅵ層	梯子	スギ
9512	－	9512	Ⅹ層	鋤	コナラ属アカガシ亜属
	４ライントレンチ	2573C	－	不明	クワ科クワ属
	４ライントレンチ	3490	－	木包丁	クワ科クワ属

第Ｖ－９－10表　保存処理実施木器樹種同定結果（６）

報告書掲載番号	遺構等	取上げ№	出土層位	器　　種	樹　種　名
	４ライントレンチ	3864B	－	不明	スギ
7007	４ライントレンチ	7007	－	桶	スギ
	５ライントレンチ拡張部分	1723	－	容器	スギ
	Ｅ・Ｆライン間トレンチ	719	－	容器	クリ
	Ｆ・Ｇ６確認坑	3932	－	建築部材	スギ
3535	Ｆ・Ｇ６確認杭	3535	－	容器（挽物）	クワ属
9056	Ｆ・Ｇ６確認杭	9056	－	高杯脚	クワ属
	Ｇ７トレンチ	7782	－	はしご	スギ
9016	Ｇ７トレンチ	9016	－	匙	クワ属
9164	Ｇ７トレンチ	9164	－	北側扉	スギ
9165	Ｇ７トレンチ	9165	－	南側扉	スギ
9166	Ｇ７トレンチ	9166	－	北側門	クワ属
9167	Ｇ７トレンチ	9167	－	南側門	クワ属
9241	Ｇ７トレンチ	9241	－	容器	クワ属
9242	Ｇ７トレンチ	9242	－	桶	スギ
	Ｇ７トレンチ	9225 9245	－	桶	スギ
7280	Ｈ７－２トレンチ	7280	－	不明木製品	スギ
7469	Ｈ７－２トレンチ	7469	－	容器（刳物）	スギ
7563	Ｈ７－２トレンチ	7563	－	槽	スギ
8286	Ｈ７－２トレンチ	8286	－	盾	モミ属
	Ｈ７－２トレンチ	8551	－	容器	クリ
	東側溝	157	－	建築部材	スギ
	東側溝	3145	－	建築部材	スギ
1284	南側溝	1284	－	槽	スギ
3894	北側溝	3894	－	木錘	イスノキ
	第Ｖ－１層サブトレンチ２	2428A	－	桶	スギ
	第Ｖ－２層サブトレンチ	1896	－	容器	クワ科クワ属
	第Ｖ－１面サブトレンチ２	2428B	－	底板	スギ
	撹乱	118	－	容器蓋（挽物）	トチノキ
992	撹乱	992	－	梯子	スギ
919	撹乱	919	－	椀	スギ
7502	撹乱	7502	底面	椀	ブナ属
1706	－	1706	－	椀	ブナ属
	－	1721	埋土（流路内）	梯子	スギ
1820	－	1820	－	部材	スギ

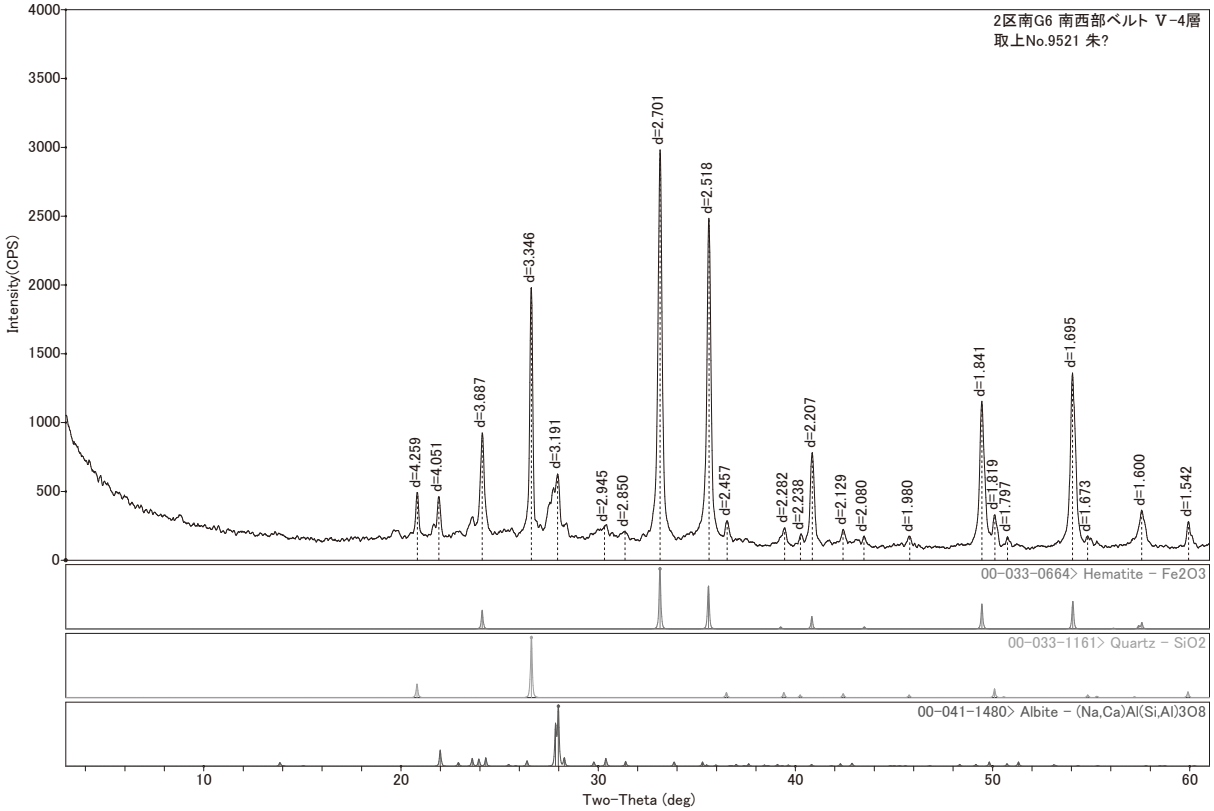
第10節　顔料分析及び成分分析結果

1　平成28年度実施分顔料分析の結果

測定条件を第Ⅴ－10－１表に、Ｘ線回折図を第Ⅴ－10－１図に示す。図中上段には試料のＸ線回折図、下段には検出された鉱物の回折パターンを掲げている。なお、文中で( )内に示したものは、X線回折図で同定された鉱物名である。固溶体やポリタイプを有する鉱物については、X線回折試験では正確な同定は困難であるため、最終的な検出鉱物名としては、それらを包括する大分類の鉱物名を使用している。供試試料には、2.70Å、2.52Å、3.69Åなどにおいて赤鉄鉱(hematite)に基づく尖度の高い明瞭な反射が確認されたほか、石英(quartz)、斜長石(曹長石：albite)が認められる。赤色を呈する代表的な顔料鉱物にはベンガラ(赤鉄鉱；hematite[α-Fe_2O_3])のほか、水銀朱(辰砂；cinnabar[HgS])、鉛丹(鉛丹；minium[Pb_3O_4])などがあるが、調査結果では赤鉄鉱が確認された。水銀朱など他の顔料鉱物は認められないことより、当該赤色物質は「狭義のベンガラ」と認識できる。なお、ベンガラには天然の赤鉄鉱を利用する場合のほか、含水水酸化鉄を焼成して得られる赤鉄鉱を利用する場合がある。また、赤鉄鉱にはパイプ状構造をなすものと、非パイプ状(塊状、球状、不定形など)構造のものとがあり、前者については沼沢地などにおいて鉄バクテリアが生成する含水水酸化鉄が出発物質であることが判明している(岡田,1997;織

第Ⅴ－10－１表　平成28年度実施
X線回折測定条件

装置	UltimaⅣ Protectus
Target	Cu (Kα)
Monochrometer	Graphite湾曲
Voltage	40kV
Current	40mA
Detector	SC
Calculation Mode	cps
Divergency Slit	1°
Scattering Slit	1°
Recieving Slit	0.3mm
Scanning Speed	2° /min
Scanning Mode	連続法
Sampling Range	0.02°
Scanning Range	3～61°



第Ⅴ－10－１図　平成28年度実施　赤色物質のＸ線回折チャート

幡・沢田,1997)。このような背景から、ベンガラ材料の産出地は無数に存在することとなり、材料産出地を言及することは難しいが、一遺跡において同一時期に使用されるベンガラはパイプ状もしくは非パイプ状のどちらかが支配的な傾向にある(成瀬,1998)。今後、確認されたベンガラのパイプ状構造の有無を把握しておくことも有益かと思われる。

２　平成30年度実施分顔料分析の結果

①X線回折分析

試験結果の同定解析は、測定回折線の主要ピークと回折角度から原子面間隔および相対強度を計算し、それに該当する化合物または鉱物を、JCPDS(Joint Committee on Powder Diffraction Standards)のPDF(Powder Data File)をデータベースとしたX線粉末回折線解析プログラムJADEにより検索し、同定した。X線回折チャートを第Ⅴ－10－４・５図に示す。図中の最上段が試料の回折図であり、下段が同定された結晶性鉱物もしくは化合物の回折パターンである。以下の文中においては、回折チャートの同定に使用したPDFデータの鉱物名(英名)は括弧内に記している。

・２S-1276 5092赤色顔料

回折試験の結果、辰砂(cinnabar)およびカリ長石(microcline)が検出された。赤色顔料の材料と考えられる辰砂の回折線が明瞭であり、3.35Å(２θ：26.6°)に最強回折線、2.87Å(２θ：31.3°)に第二強線が認められるほか、高次の回折線も多数検出される。

・２S-1276 5092緑土

回折試験の結果、ポリエチレングリコール(polyethylene glycol)が検出された。保存処理剤とみられるポリエチレングリコールは、4.60Å(２θ：19.3°)に最強回折線、3.80Å(２θ：23.4°)に第二強線を示すが、強度の弱い回折線となっている。

②元素マッピング・蛍光X線分析

元素マッピング分析により得られたアルミニウム(Al)、ケイ素(Si)、硫黄(S)、カリウム(K)、カルシウム(Ca)、鉄(Fe)、水銀(Hg)、バックグラウンドのマッピング図を第Ⅴ－10－３図に、マッピング図に示したa～eの各ポイントの分析結果を第Ⅴ－10－２図に示す。

緑土は、鉱物としてはセラドナイト($K(Mg,Fe_2)(Fe_3,Al)Si_4O_{10}(OH)_2$)であり、蛍光X線分析においては、アルミニウム(Al)、ケイ素(Si)、カリウム(K)、鉄(Fe)が検出される。このうち、アルミニウム(Al)、ケイ素(Si)は、通常の土砂においても多く検出される。また、鉄(Fe)は、木製品が埋没時に付着した鉄分の影響が大きい。よって、元素マッピング分析では、カリウム(K)の分布を中心に検討し、カリウム(K)の輝度の高い箇所を選んで、蛍光X線分析を行った。

元素マッピング分析では、カリウム(K)の輝度の高い箇所が、それほど多くないものの確認された。また、蛍光X線分析においては、カリウム(K)とともに、ケイ素(Si)や鉄(Fe)の含有も確認された。

③考察

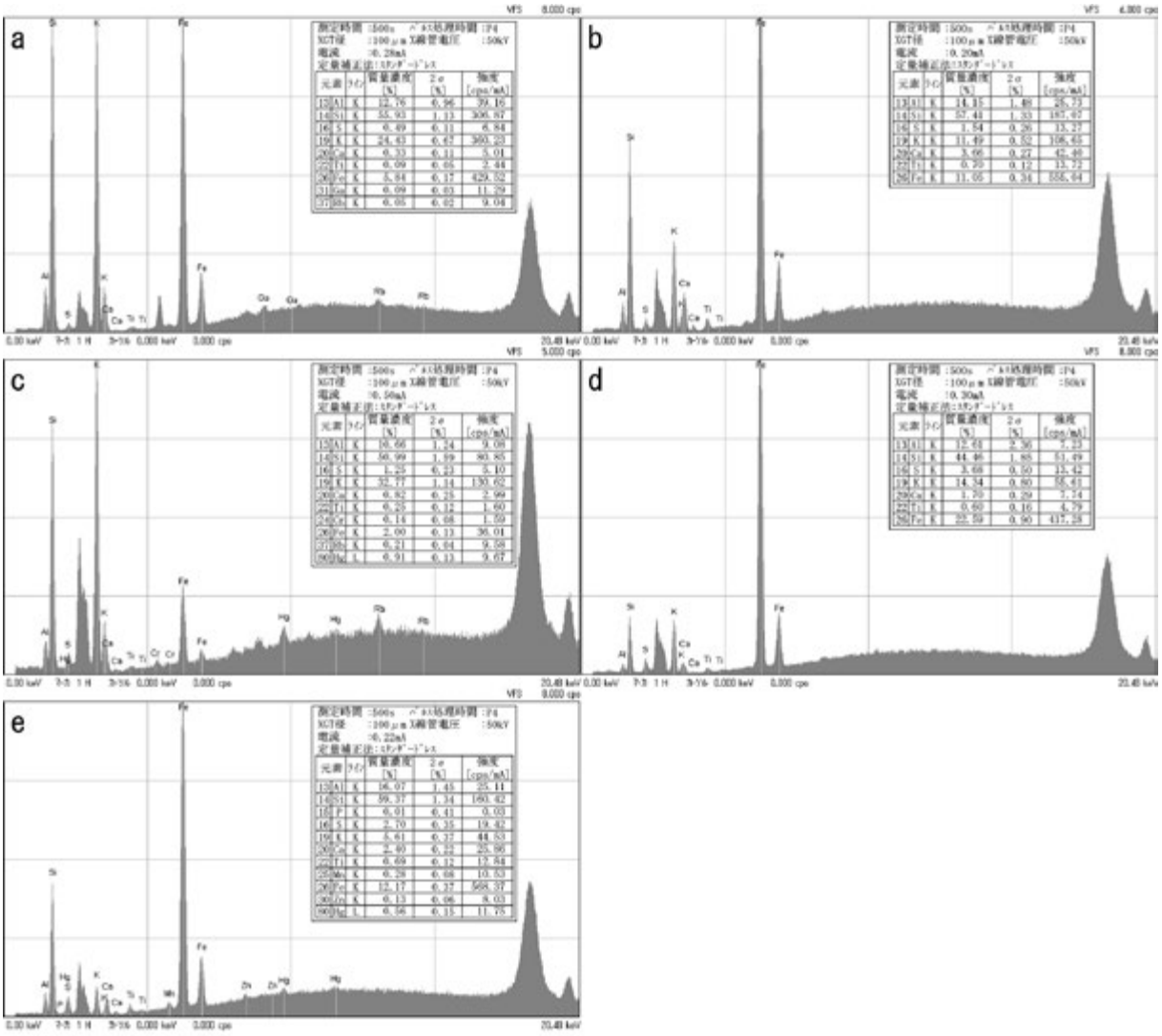
遺跡から出土する赤色を呈する代表的な顔料としては、ベンガラ(赤鉄鉱:hematite[α-Fe_2O_3])のほか、水銀朱(辰砂:cinnabar[HgS])、鉛丹(鉛丹:minium[Pb_3O_4])などが知られている。木製品に塗布された赤色顔料は、X線回折分析により、辰砂と判定された。

鳥取県下には、辰砂が多産する産地は知られておらず、県外産の辰砂を用いた可能性が考えられる。西日本にける辰砂の多産地域としては、三重県、奈良県、徳島県などにおける中央構造線周辺に

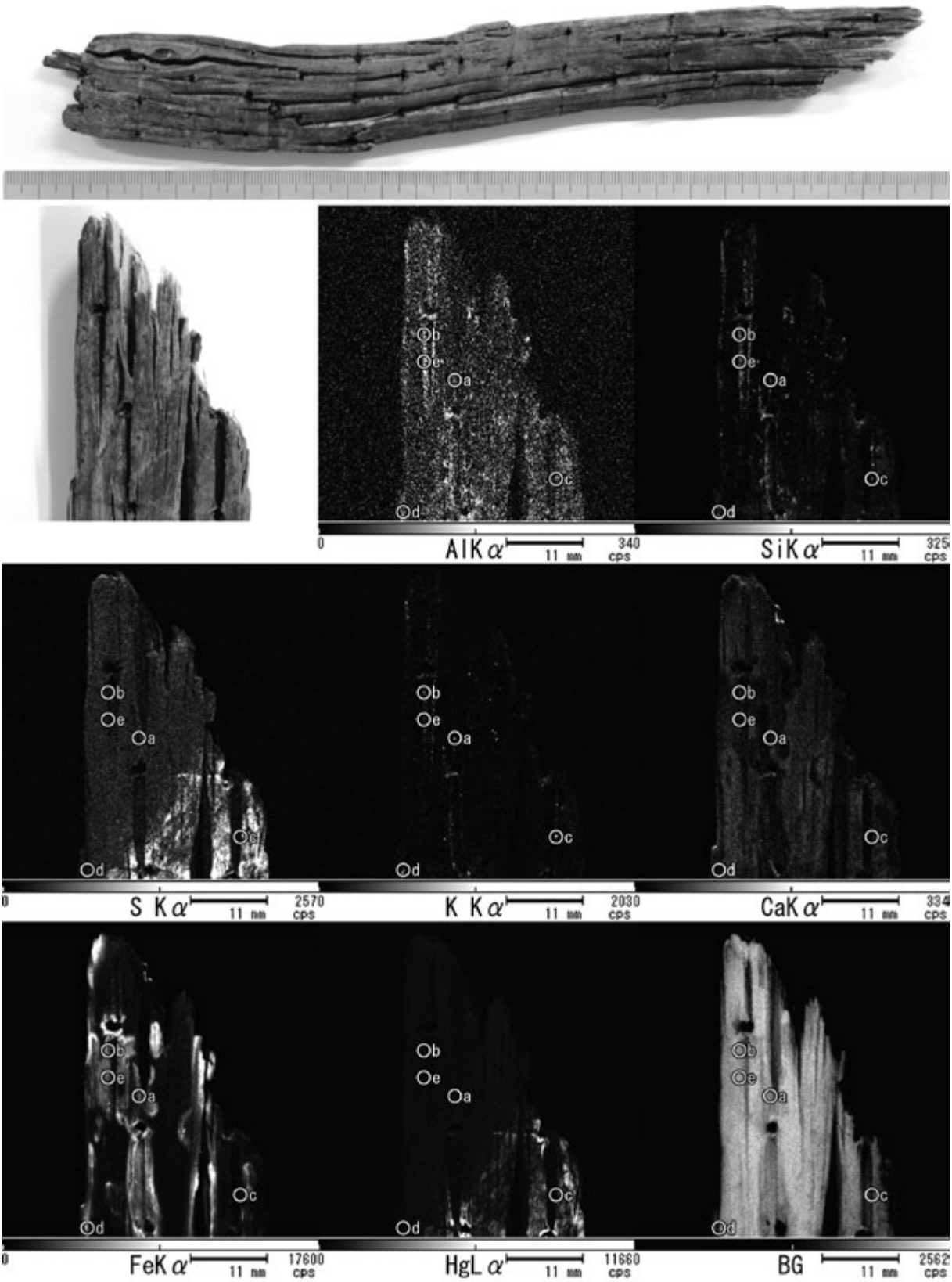
多数知られている(奥,1998など)。検出された辰砂の産地を特定することは困難であるが、木製品へ潤沢に使用されている状況を考慮すると、三重県、奈良県、徳島県方面産の辰砂原石を用いた可能性が示唆される。

一方、緑土には、海緑石やセラドナイトなどが知られている。緑土とみられる付着物については、付着量がきわめて微量であったため、それに該当する鉱物等は検出されなかった。第Ⅴ－10－５図のX線回折チャートに認められた回折線は、保存処理剤とみられるポリエチレングリコールと判定された。

元素マッピング分析では、カリウムの輝度の高い箇所が、それほど多くないものの確認された。また、蛍光X線分析においては、カリウムとともに、ケイ素や鉄の含有も確認されたため、これらの箇所がセラドナイトに由来する可能性は十分に考えられる。

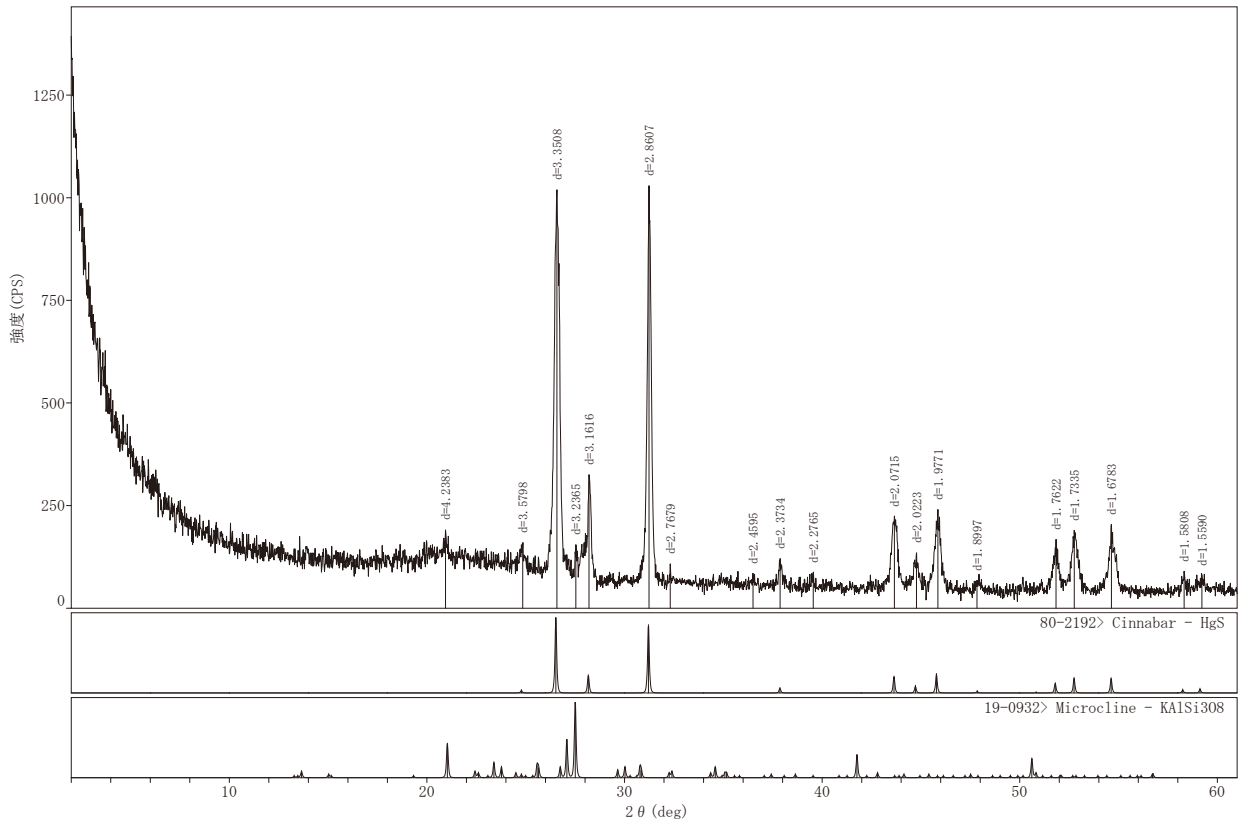


第Ⅴ－10－２図　平成30年度実施　各ポイントの蛍光Ｘ線スペクトル

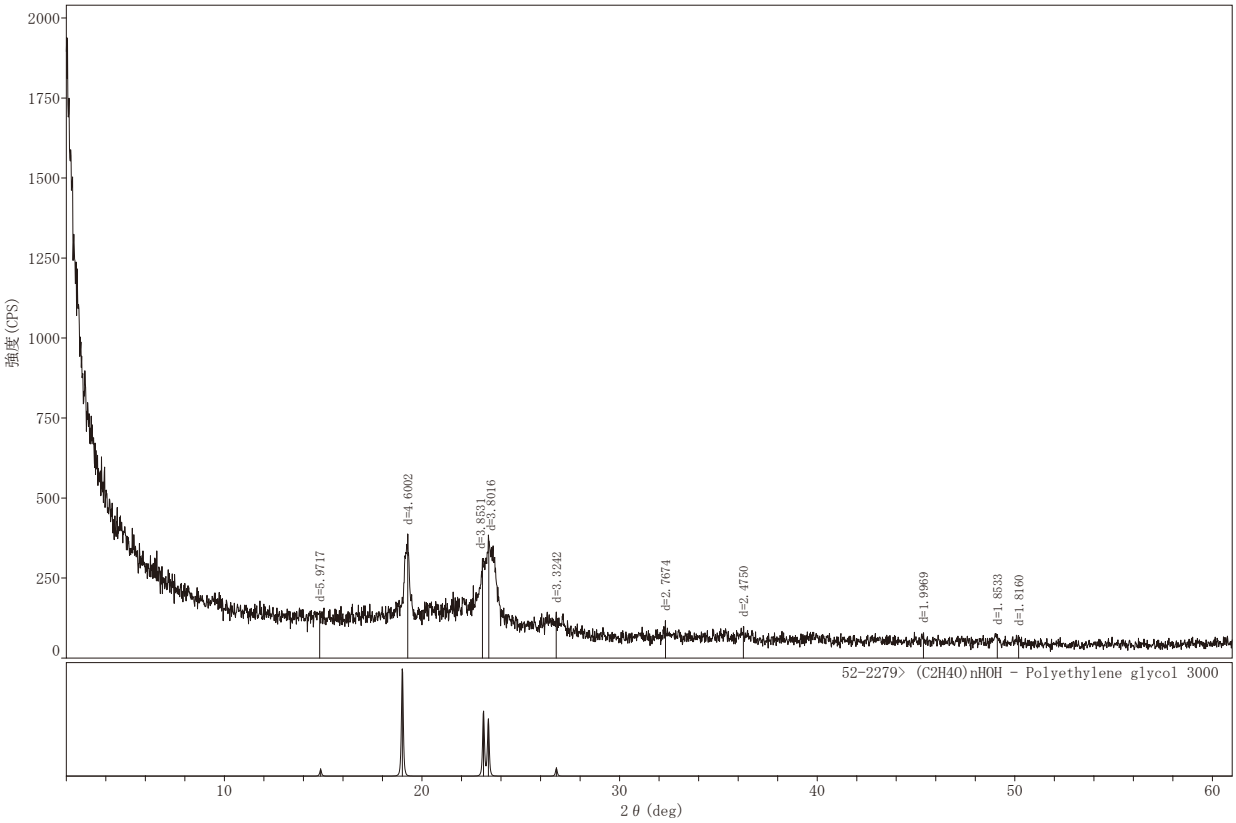


Al：アルミニウム　Si：ケイ素　S：硫黄　K：カリウム　Ca：カルシウム　Fe：鉄　Hg：水銀
BG：バックグラウンド

第Ⅴ－10－３図　平成30年度実施　顔料分析(元素マッピング分析結果)



第Ⅴ－10－４図　平成30年度実施　２S-1276 5092　赤色顔料のＸ線回折チャート



第Ⅴ－10－５図　平成30年度実施　２S-1276 5092　緑土のＸ線回折チャート

３　平成29年度実施分土器付着物成分分析の結果

（１）Ｘ線回折分析

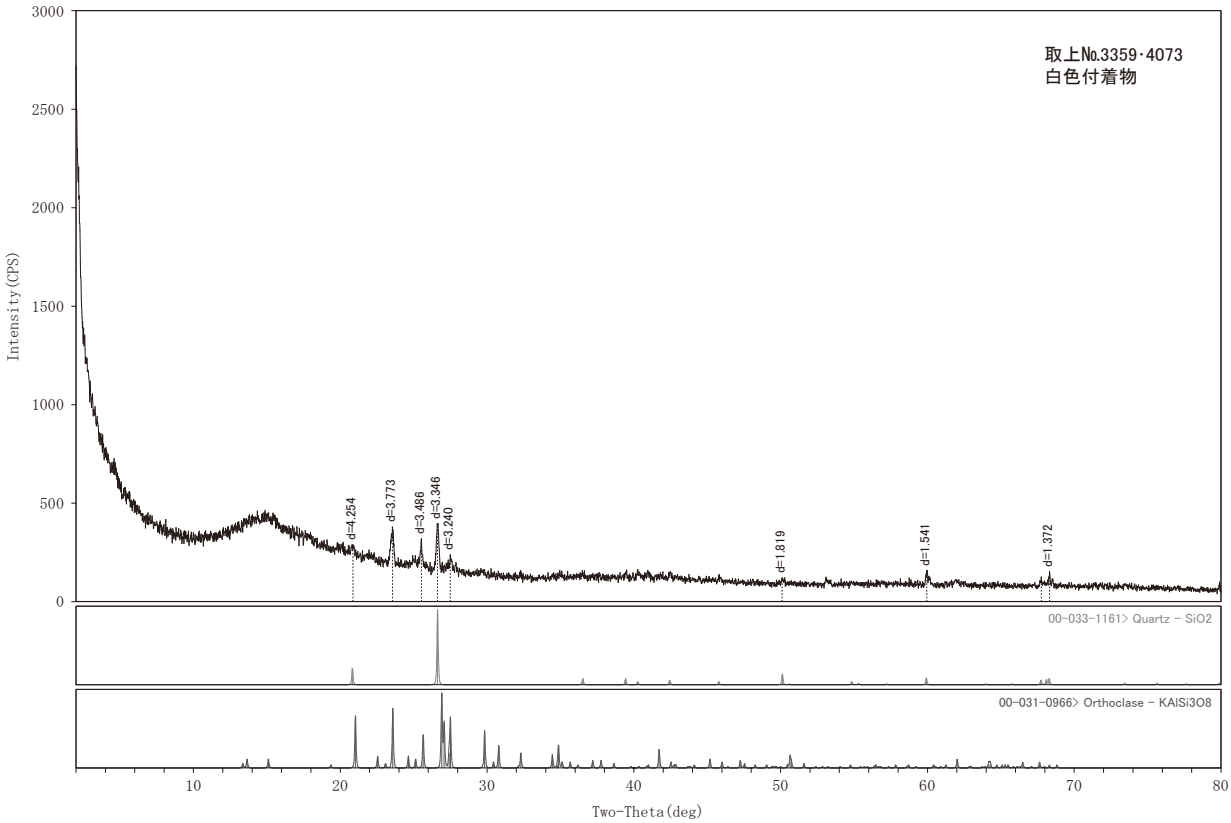
Ｘ線回折図を第Ｖ－10－６図に示す。なお、図中上段に白色付着物のＸ線回折図、下段に検出された鉱物の参照パターンを掲げている。なお、文中で括弧内に示したものは、Ｘ線回折図で同定された鉱物名である。固溶体やポリタイプを有する鉱物については、Ｘ線回折分析では正確な同定は困難であるため、最終的な検出鉱物名としては、それらを包括する大分類の鉱物名を使用している。

白色付着物は、10～18°（２θ）付近にかけてブロードな回折が観測されるのみである。なお、供試試料からは、石英（quartz）およびカリ長石（正長石:orthoclase）を示唆する反射が認められたが、反射強度が弱いことや下記の赤外分光分析の結果から、白色付着物の本質とは捉え難い。

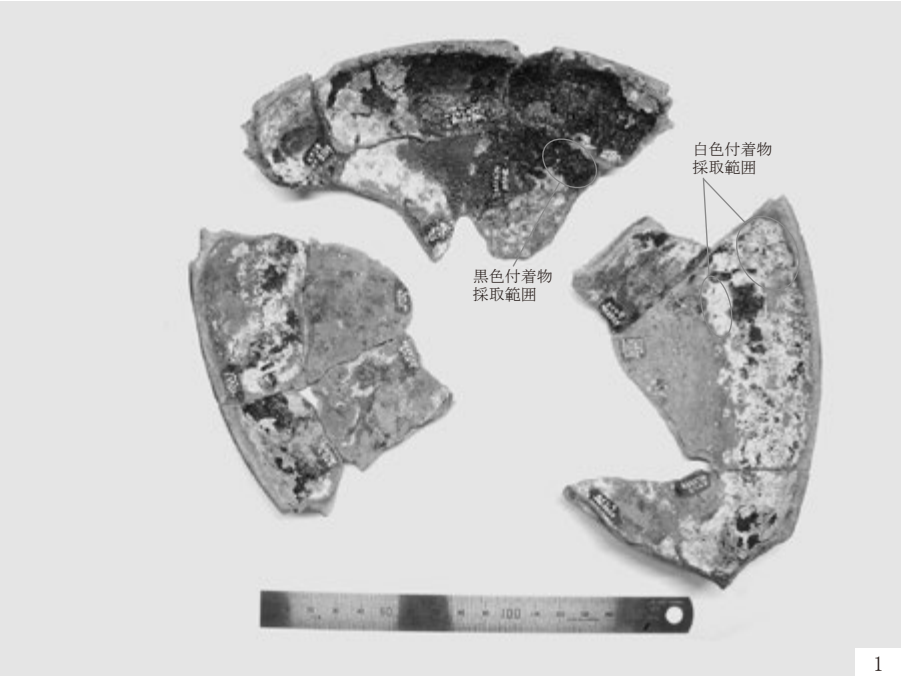
（２）赤外分光分析（FT-IR）

FT-IRスペクトルを第Ｖ－10－８図に示す。なお、図中には参考までに取り上げた比較資料の実測スペクトルを併記している。

白色および黒色付着物の赤外線吸収特性は同様で、2930ｃｍ$^{-1}$、2860ｃｍ$^{-1}$、1730～1600ｃｍ$^{-1}$、1460ｃｍ$^{-1}$、1380ｃｍ$^{-1}$付近の強い吸収帯と1250ｃｍ$^{-1}$、1180ｃｍ$^{-1}$、1090ｃｍ$^{-1}$、1050ｃｍ$^{-1}$、990ｃｍ$^{-1}$付近の吸収帯によって特徴付けられるほか、3400ｃｍ$^{-1}$付近を中心に幅広く弱い吸収帯が認められる。なお、2930ｃｍ$^{-1}$、2860ｃｍ$^{-1}$の吸収帯はメチル基およびメチレン基のC-H伸縮振動、1730～1600ｃｍ$^{-1}$付近の吸収帯はC=O伸縮振動、1460ｃｍ$^{-1}$、1380ｃｍ$^{-1}$、990ｃｍ$^{-1}$付近の吸収帯はC-H変角変動、1250ｃｍ$^{-1}$、1180ｃｍ$^{-1}$、1090ｃｍ$^{-1}$、1050ｃｍ$^{-1}$付近の吸収帯はC-O伸縮振動と予想される。また、3400ｃｍ$^{-1}$付近の幅広く弱い吸収帯はO-H伸縮振動と見られる。

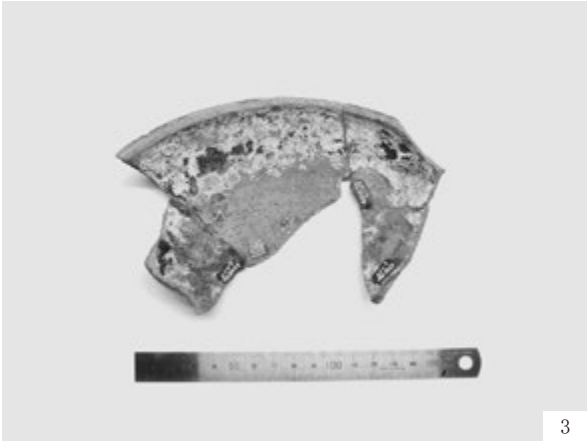


第Ｖ－10－６図　平成29年度実施　白色付着物のＸ線回折チャート

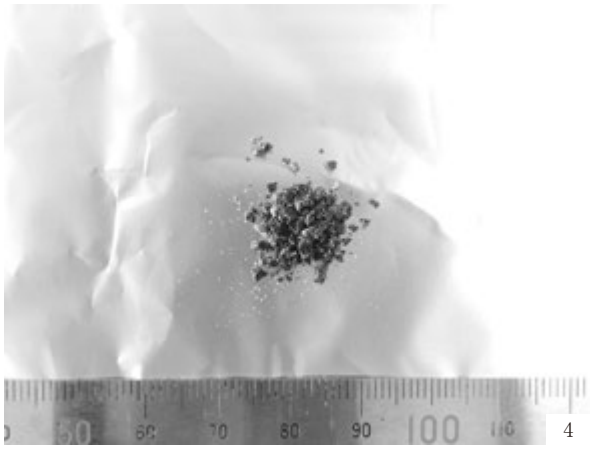


1

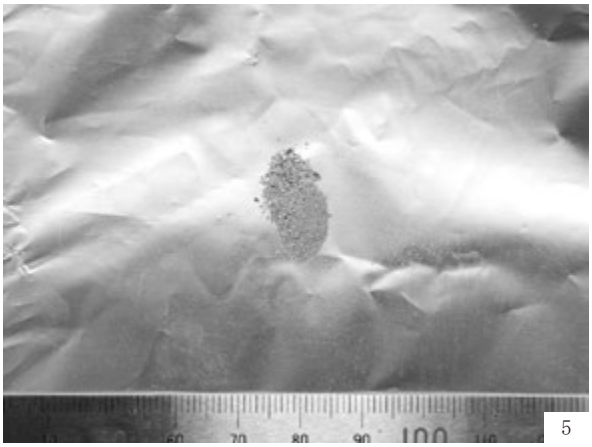
2



3



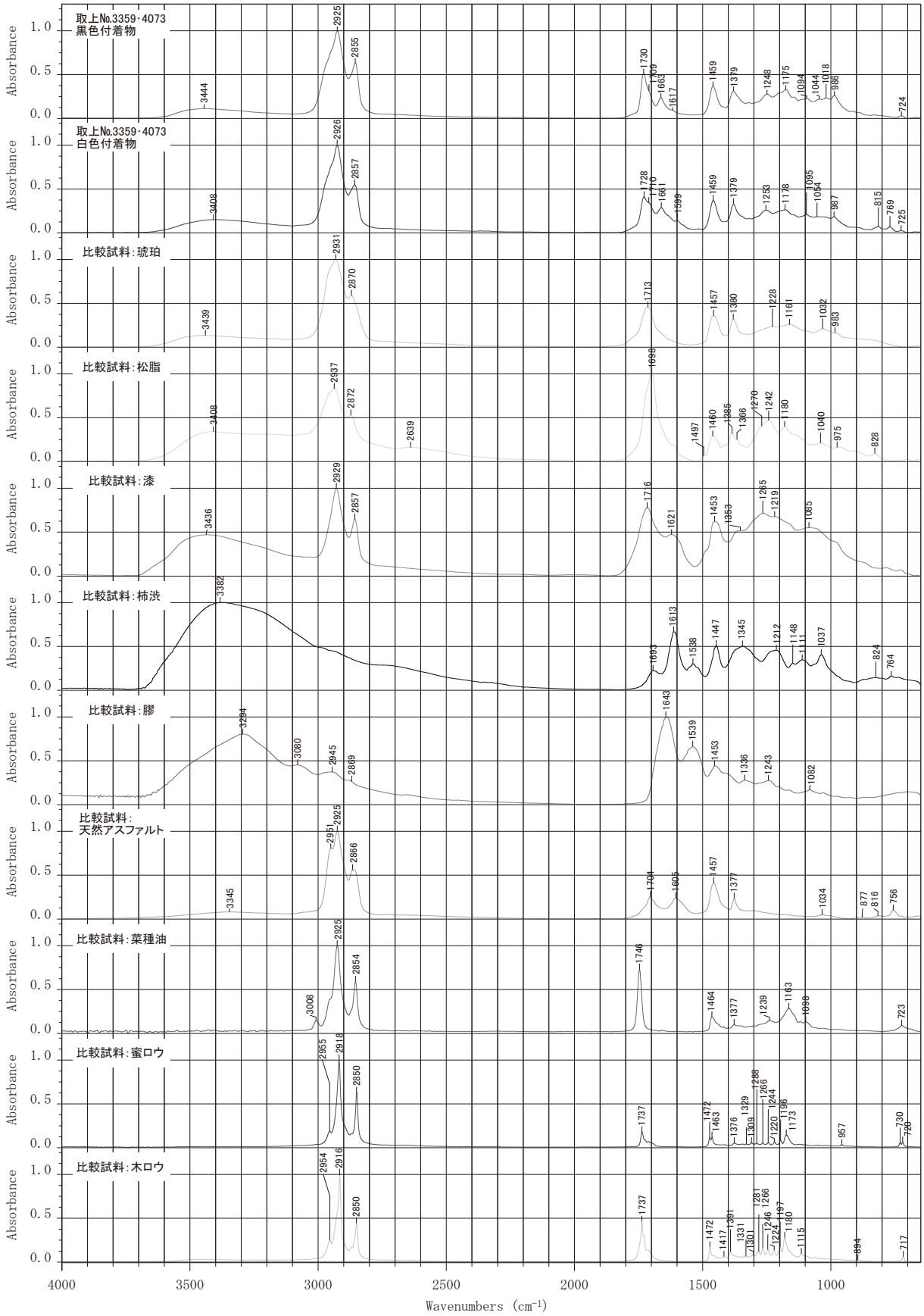
4



5

1. 土器付着物状況(試料採取前)(取上№3359・4073) 赤枠内：試料採取範囲
2. 試料採取後状況(黒色付着物)
3. 試料採取後状況(白色付着物)
4. 採取試料(黒色付着物)
5. 採取試料(白色付着物)

第Ⅴ－10－７図　平成29年度実施　成分分析分析試料(土器付着物)



第Ⅴ－10－８図　平成29年度実施　黒色付着物及び白色付着物のFT-IRスペクトル

（３）考察

台付装飾壺（取上№3359・4073）内面に認められた白色および黒色を呈する付着物は、有機化合物としての特質を有し、赤外線吸収特性の類似性から材質を同じくすることが示唆される。なお、Ｘ線回折分析では白色付着物から僅かに石英などの造岩鉱物が検出されたものの、赤外分光分析において1100～900ｃｍ$^{-1}$に無機珪酸塩に伴う明瞭な吸収が見られないことから、供試試料に混入した土壌鉱物等と推定される。

ところで、当社では試料の出所が明らかな既知の物質について、同一測定条件で赤外線吸収スペクトルを測定した例がいくつかある（未公表）。今回の付着物より得られたスペクトルと当社保有のスペクトルデータベースを対照させた結果では、琥珀と比較的高いマッチング率が得られた。ただし、琥珀と両付着物ではカルボニル基の領域（1800～1600ｃｍ$^{-1}$）に差異があり、琥珀には認められないエステルの>C=O伸縮振動に伴う1730ｃｍ$^{-1}$付近に明瞭な吸収が見られる特徴があるほか、指紋領域（1500～600ｃｍ$^{-1}$）におけるスペクトルパターンの一致性も乏しい。また、土器内面の付着物であるという状況からも琥珀とは考え難い。さらに、琥珀以外の天然樹脂として、松脂・漆・柿渋（植物由来）、膠（動物由来）、天然アスファルト（鉱物由来）との比較においても、いずれも1730ｃｍ$^{-1}$付近のエステル由来の吸収は認められず、スペクトルパターンの類似性も乏しい。

一方、1730ｃｍ$^{-1}$付近のエステル由来の吸収は比較資料として示した菜種油、蜜ロウ、木ロウといった油脂や蝋に特徴的に認められる吸収であり、指紋領域（1500～600ｃｍ$^{-1}$）におけるスペクトルパターンは油脂に類する。ただし、付着物には3400ｃｍ$^{-1}$、1710ｃｍ$^{-1}$、1660ｃｍ$^{-1}$付近に油脂の比較試料として示した菜種油には見られない吸収が認められ、炭化水素の領域（3200～2800ｃｍ$^{-1}$）のパターンも異なる。油脂の劣化に伴い遊離脂肪酸（3400ｃｍ$^{-1}$[O-H伸縮]、1710ｃｍ$^{-1}$[C=O伸縮]）や不飽和アルデヒド・ケトン（1660ｃｍ$^{-1}$[C=O伸縮]）の生成、カルボニル化合物の炭素鎖切断による低級化（3200～2800ｃｍ$^{-1}$の吸収パターンの変化）の可能性も疑われるが確証は得難い。

以上のＸ線回折分析および赤外分光分析の結果、白色および黒色付着物は赤外線吸収特性を同じくする有機化合物であることが明らかとなった。ただし、上述した既知物質との比較ではスペクトルパターンの一致がみられず、現時点では両付着物の材質について言及することは難しい。なお、今回の分析では油脂の可能性も示されたことから、今後、熱分解ガスクロマトグラフィー質量分析（Py-GC/MS）や脂質分析などの調査による素材物質に関する検討が期待される。

４　平成30年度実施分土器付着物成分分析の結果

台付装飾壺（取上№3359・4073）内面に認められた白色および黒色を呈する付着物について、「なお、今回の分析では油脂の可能性も示されたことから、今後、熱分解ガスクロマトグラフィー質量分析（Py-GC/MS）や脂質分析などの調査による素材物質に関する検討が期待される。」という分析結果を受け、地方独立行政法人鳥取県産業技術センター協力のもと、熱分解ガスクロマトグラフ質量分析（Py-GC/MS）を実施した。また、胴部片（取上№9264・9319）内面に認められた黒色を呈する付着物についても、併せて分析を実施した。以下にその内容について報告する。

（１）試料採取

肉眼観察により、台付装飾壺（取上№3359・4073）では、白色と黒色に大きく２分される付着物が認

められ、胴部片（取上№9264・9319）では黒色の付着物が認められた。これらの付着物について、実態顕微鏡を用い、台付装飾壺からは黒色光沢部分（試料№２-1472-１）と白色部分（試料№２-1472-２）の２点、胴部片（取上№9264・9319）からは黒色光沢部分（試料№２-1571-１）と黒色光沢、白色部分（試料№２-1571-２）の２点を、それぞれ採取した（第Ⅴ－10－９図）。

第Ⅴ－10－２表　平成30年度実施　土器付着物分析試料一覧

報告書掲載番号	遺構	取上No.	器種	試料No.	種別	分析試料（観察所見）	分析項目[1] SEM	FT-IR	Py-GC/MS
11-061	2S-840	3359 4073	台付装飾壺	2-1472-1	土器付着物	土器内面付着物 黒色を呈し、やや光沢を帯びる。	○	○	○
				2-1472-2	土器付着物	土器内面付着物 白色を呈する。	○	○	○
－	G７トレンチ	9264 9319	胴部片	2-1571-1	土器付着物	土器内面付着物 黒色を呈し、やや光沢を帯びる。	○	○	○
				2-1571-2	土器付着物	土器内面付着物 黒色を呈し、やや光沢を帯びる部分と白色を呈する部分が混在。	○	○	－

1）SEM：電子顕微鏡分析．FT-IR：赤外分光分析．Py-GC/MS：熱分解ガスクロマトグラフ質量分析

（２）電子顕微鏡分析装置（SEM）による分析（第Ⅴ－10－10～15図）

いずれの試料からも多くの炭素のほか、酸素、アルミ、ケイ素を含むという結果が得られた。この中でアルミは分析の際に用いた台座成分が検出されたと考えられるが、いずれの試料も有機物であることの確証は得られたと言える。

（３）赤外分光光度計・赤外顕微鏡装置（FT-IR）による分析（第Ⅴ－10－16・17図）

台付装飾壺黒色光沢部分（試料№２-1472-１）でパラフィンオイルに近いスペクトルが確認されているが、必ずしも一致するものではないという結果が得られた。他の３点については、全体のスペクトルカーブは試料№２-1472-１と類似しているものの、カルボン酸に由来するピークが顕著であるなど、やや異なる特徴を持っているという結果が得られた。このことから、カルボン酸を持つ高分子の有機物であることが考えられ、長期間土中にあったことを考慮すれば、分子量の低い油のようなものではなく、分子量の高い「蠟」のようなものである可能性があるのではという指摘を受けた。

（４）熱分解ガスクロマトグラフ質量分析計（Py-GC/MS）による分析（第Ⅴ－10－18～20図）

赤外分光光度計・赤外顕微鏡装置（FT-IR）による分析結果から、胴部片（取上№9264・9319）から採取した黒色光沢部分（試料№２-1571-１）と黒色光沢、白色部分（試料№２-1571-２）は、分析値がほぼ一致しているため、台付装飾壺黒色光沢部分（試料№２-1472-１）と白色部分（試料№２-1472-２）及び胴部片（取上№9264・9319）黒色光沢部分（試料№２-1571-１）の３点について分析を実施した。

①分析方法

試料0.3mgを秤とり分析に用いた。

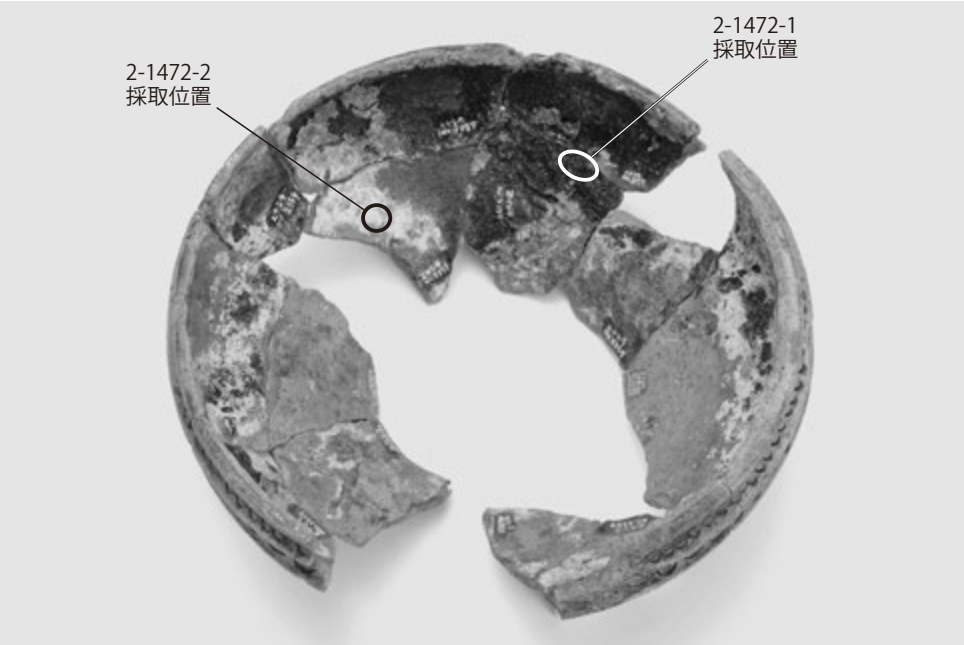
試料をヘリウム気流化で100℃から毎分20℃で300度まで加熱し、揮発してくる成分を分析した。続いて、300℃まで加熱した試料をヘリウム気流化600℃で燃焼し、分解生成物を分析した。

②分析条件

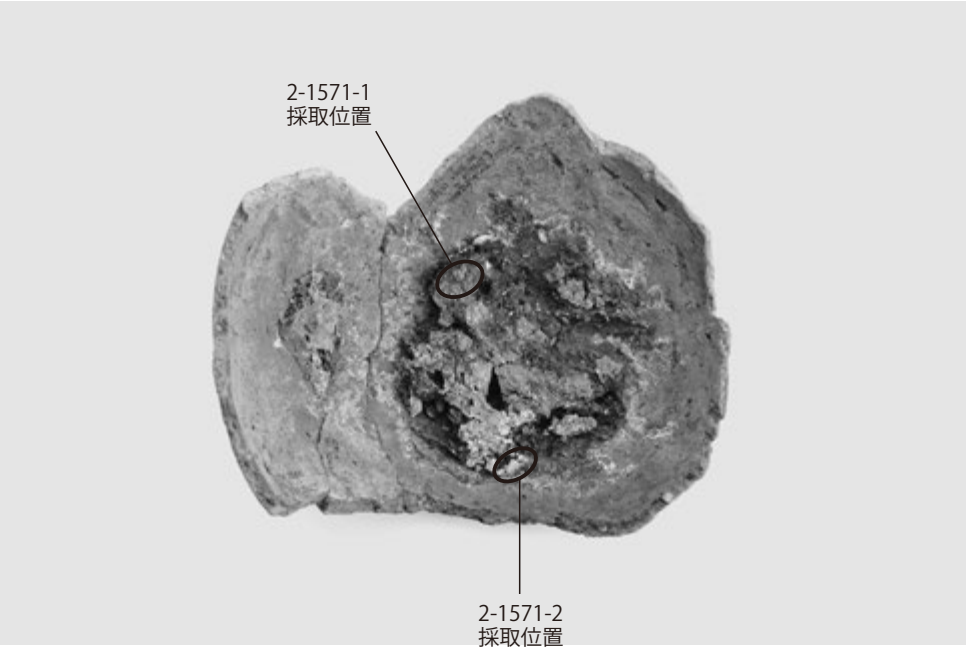
②－１：熱分解温度

・熱脱着：100℃（０分）→（20℃/分）→300℃（０分）

・パイロリシス：600℃、30秒



台付装飾壺（取上№3359・4073）　※掲載倍率任意



胴部片（取上№9264・9319）　※掲載倍率任意

第Ⅴ－10－９図　平成30年度実施　成分分析分析試料（土器付着物）

②－２：ガスクロマトグラフ条件

・カラム：Ultra ALLOY－$^{+}$5
（30m×0.25㎜、0.25㎛）

・注入口温度：300℃

・カラム温度：40℃（１分）→（10℃/分）→300℃（43分）

・注入圧：69.4MPa

・スプリット比：50

②－３：質量分析計条件

・イオン源温度：230℃

・インターフェイス部温度：300℃

（５）熱脱着分析結果

既存データベースとの一致は見ないものの、テルペノイドと呼ばれる類の化合物が多く、中でも特にトリテルペンやステロイドなど沸点の高いものが多いという印象が得られる。テルペノイドには揮発しやすいものから揮発しにくいものまで種々のものがあるが、長期間の間に揮発しにくいものだけが残ったと考えるのが妥当と思われる。検出した数量と、タンパク系の変質物が認められない点から、主に植物由来のものであり、樹液を加工して使用していた可能性はあると言える。

（６）パイロリシス結果

パイロリシスの結果からもテルペノイド類は検出されており、熱脱着分析結果で得られたように植物由来のものである可能性は高い。ただし、ベンゼン環を持った化合物が検出されていないので、当時植物由来の有機物として利用されていた漆の可能性はないと思われる。なお、保持時間10分前後の辺りに等間隔でアルケンと呼ばれる化合物類のピークが観察され、アルケンが炭化水素の仲間であることから、「木蠟」のようなものに由来する可能性は考えられる。ただし、化合物として脂肪酸が多く検出され得ておらず、必ずしも「木蠟」のようなものに由来していると判断し難い。

以上、地方独立行政法人鳥取県産業技術センターで行った分析に関する結果をまとめた。分析結果から、台付装飾壺と胴部片の内面に付着した有機物が何に由来するものを明らかにするには至らなかった。しかし、植物由来であり、樹液を加工して得られたものであった可能性、「木蠟」であった可能性が得られたことは大きな成果であると言える。今後、更なる試料の増加等も含め、類似した付着物の由来が明らかとなることを期待したい。

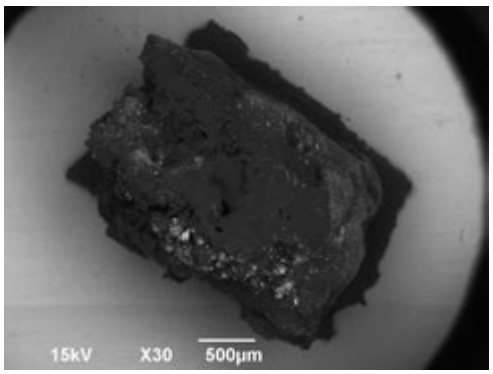
５　平成30年度実施分金属製品成分分析の結果

（１）分析試料

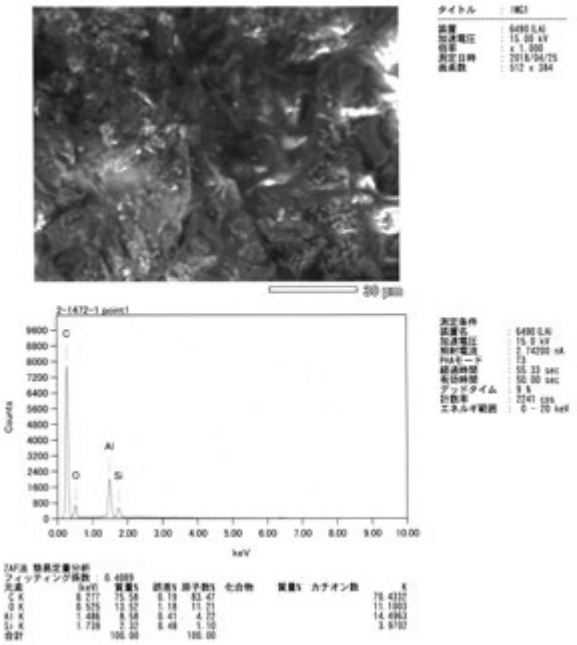
分析対象は、第Ⅴ－10－３表に示す金属製品３点である。時期は、弥生時代末から古墳時代前期とみられている。３点の遺物について、蛍光X線分析装置による８㎜ないし１㎜照射径での面分析を行った。測定位置を第Ⅴ－10－21図１、３、４に示す。整理番号10の素文鏡については、鏡背の付着物

第Ⅴ－10－３表　平成30年度実施　金属製品分析試料一覧

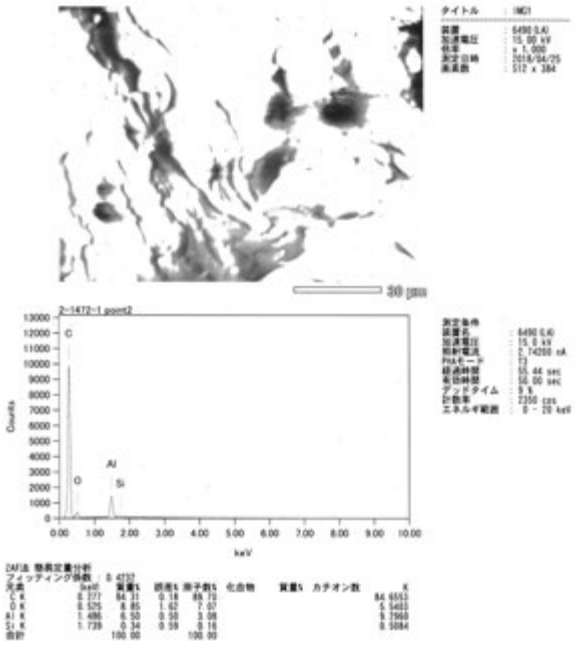
報告書掲載番号	整理番号	年度	調査区	取上No.	グリッド	遺構麺	遺構層位	器種	面分析（照射径）	ﾏｯﾋﾟﾝｸﾞ	備考
Br1837	6	H26	２区	1837	D７	－	Ⅰb層	八禽鏡	○（８㎜）	○	破鏡、亀裂あり
Br265	8	H27	２区	265	G６	第01面	２S-370 埋土中	巴形銅器	○（１㎜）		金属露出箇所周辺を測定
Br1746	10	H27	２区	1746	D３	第04面	２S-650 埋土中	素文鏡	○（１㎜）		鏡背付着物も測定



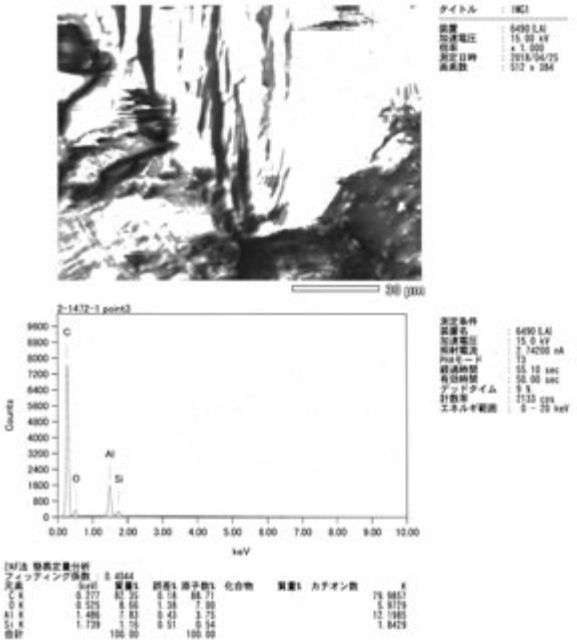
2-1472-1 SEM 画像



2-1472-1 point1

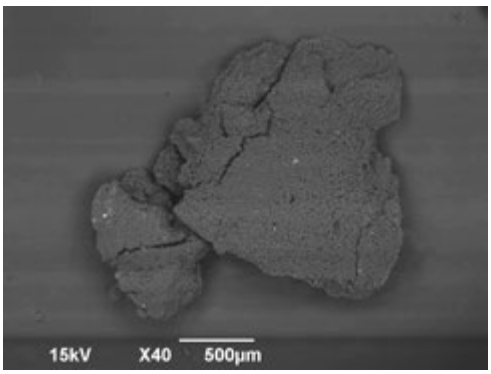


2-1472-1 point2

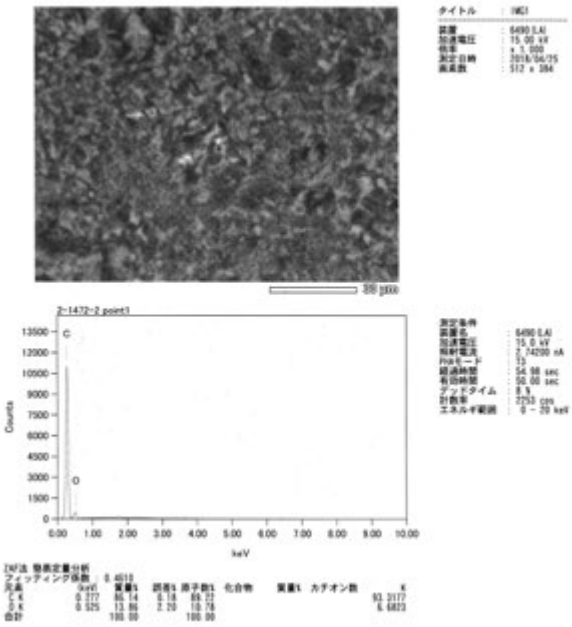


2-1472-1 point3

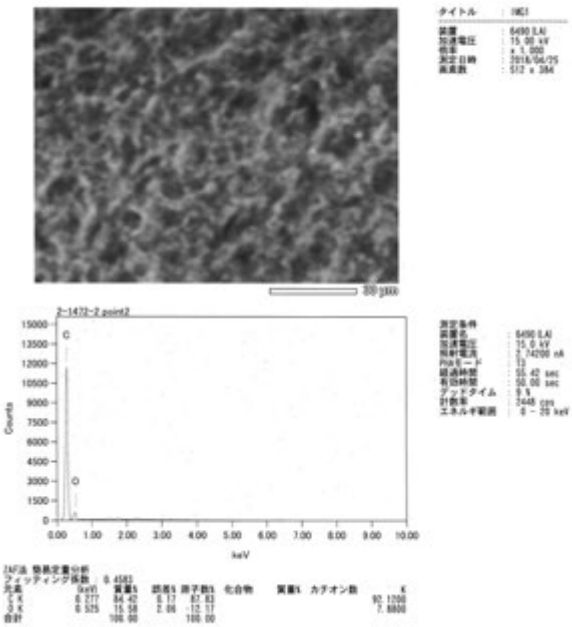
第Ⅴ－10－10図　平成30年度実施　SEMによる２-1472-１分析結果



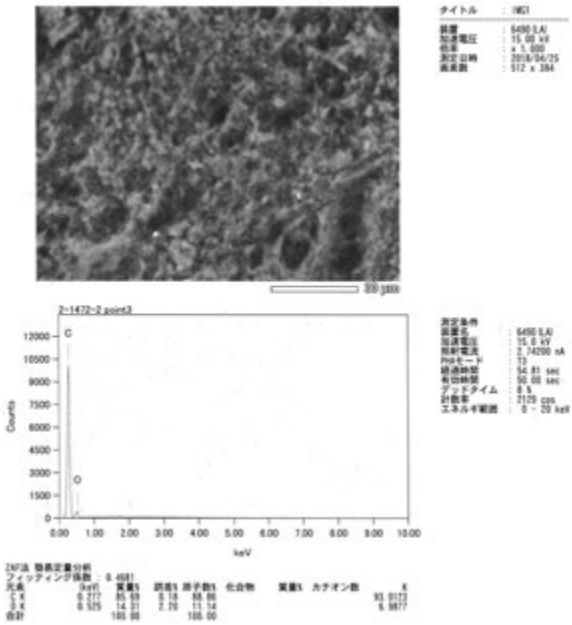
2-1472-2 SEM 画像



2-1472-2 point1

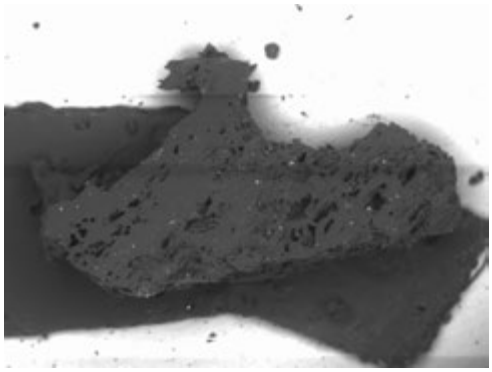


2-1472-2 point2

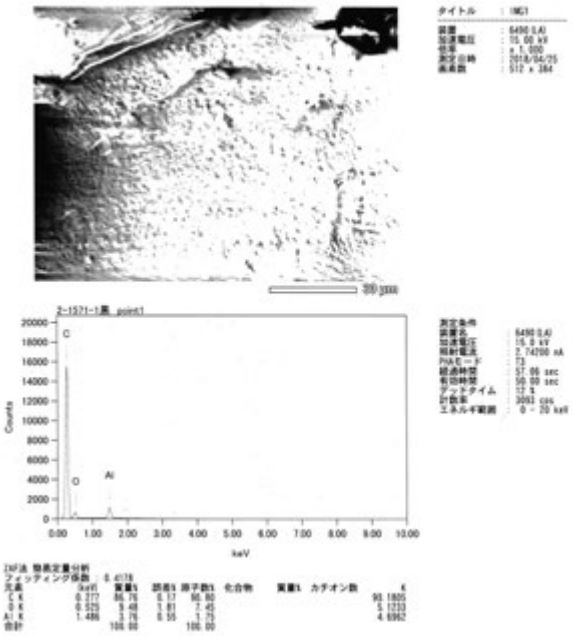


2-1472-2 point3

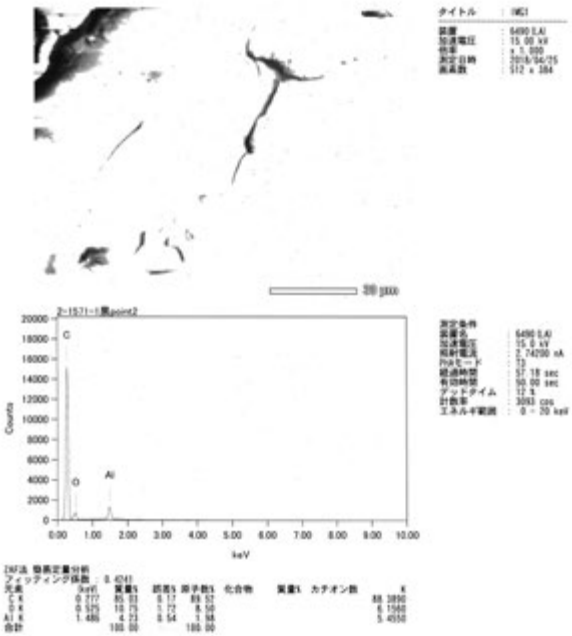
第Ⅴ－10－11図　平成30年度実施　SEMによる２-1472-２分析結果



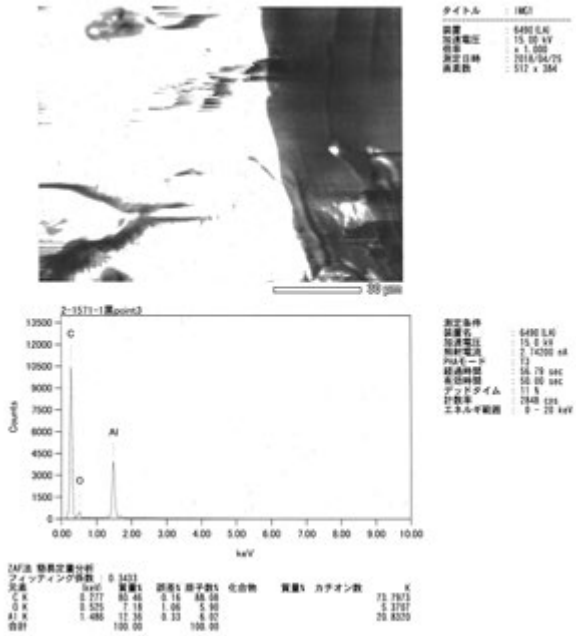
2-1571-1 黒 SEM 画像



2-1571-1 黒 point1

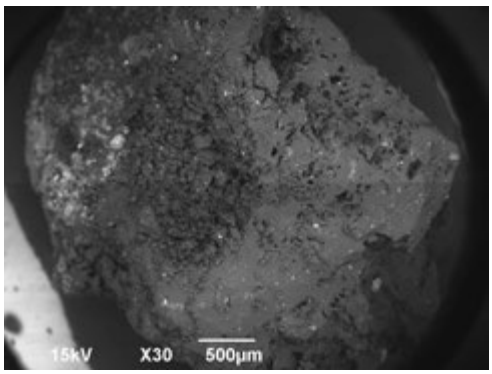


2-1571-1 黒 point2

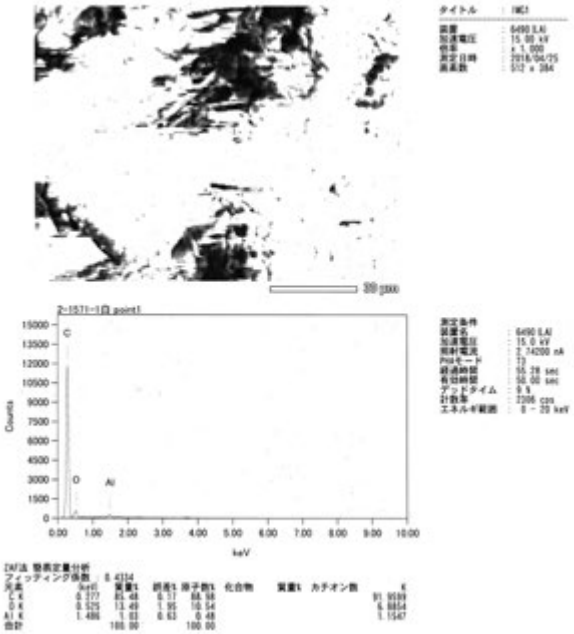


2-1571-1 黒 point3

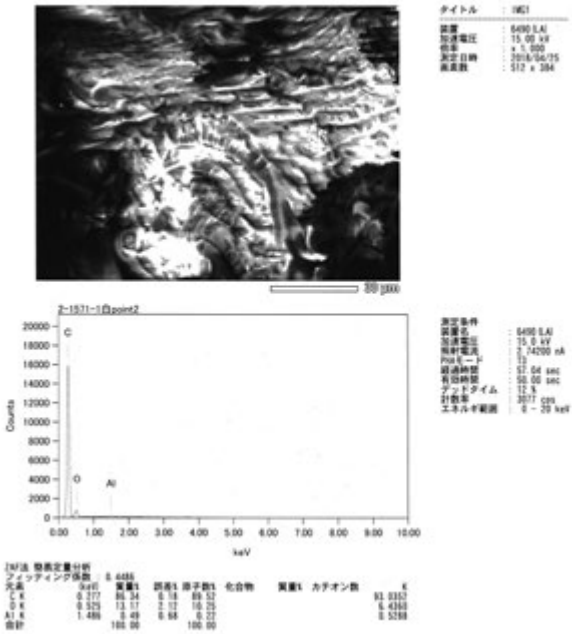
第Ⅴ－10－12図　平成30年度実施　SEMによる２-1571-１黒色部分分析結果



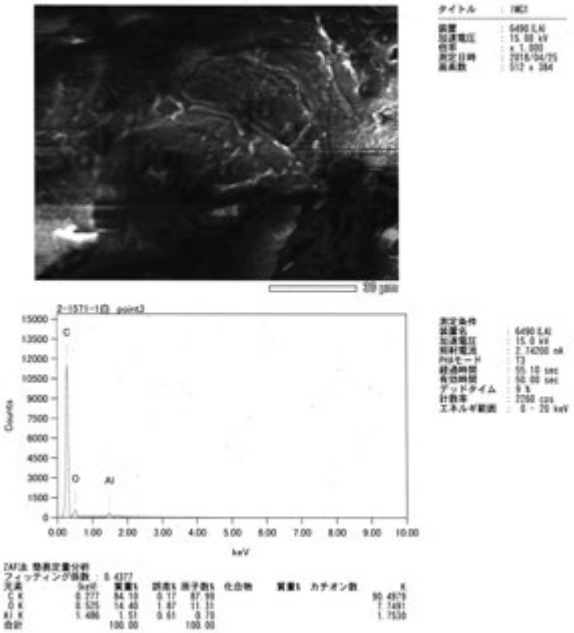
2-1571-1 白 SEM 画像



2-1571-1 白 point1

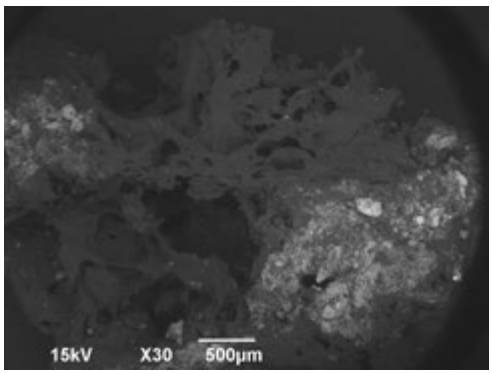


2-1571-1 白 point2

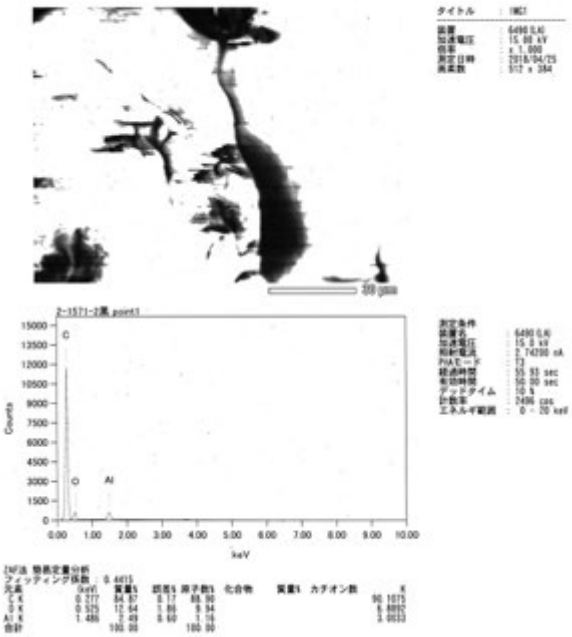


2-1571-1 白 point3

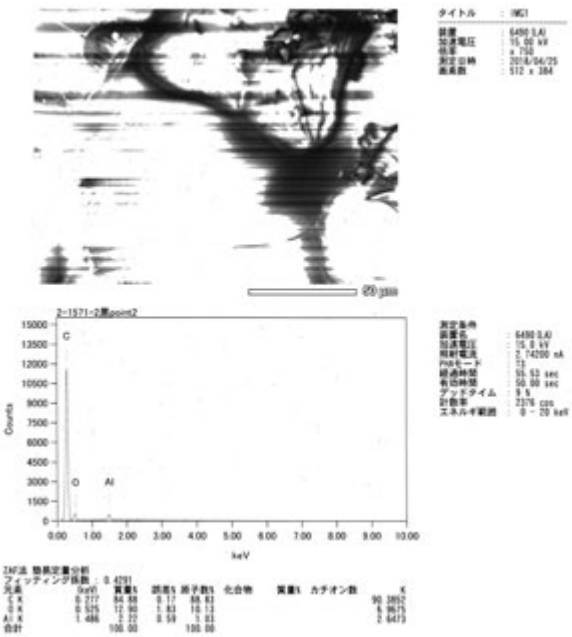
第Ⅴ－10－13図　平成30年度実施　SEMによる２-1571-１白色部分分析結果



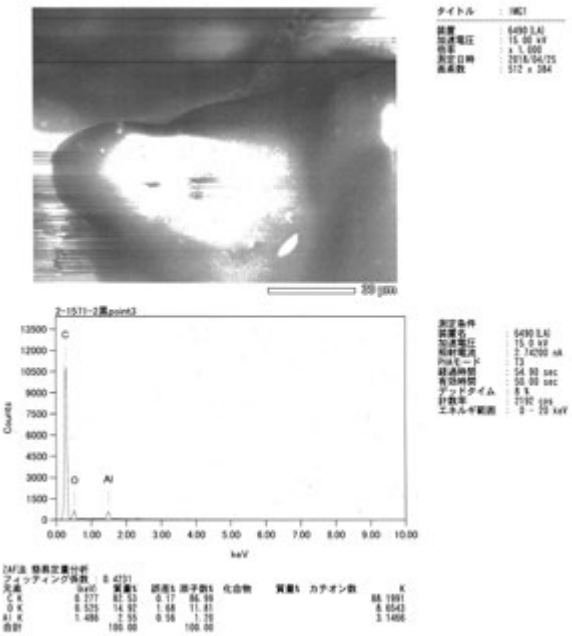
2-1571-2 SEM 画像



2-1571-2 黒 point1

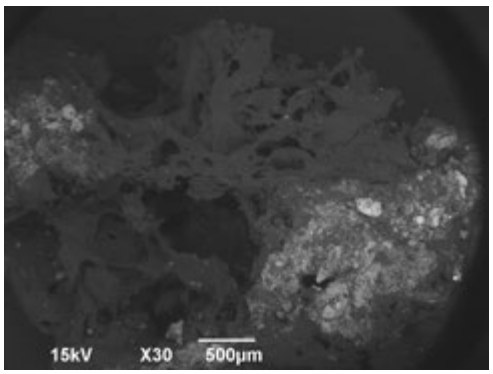


2-1571-2 黒 point2

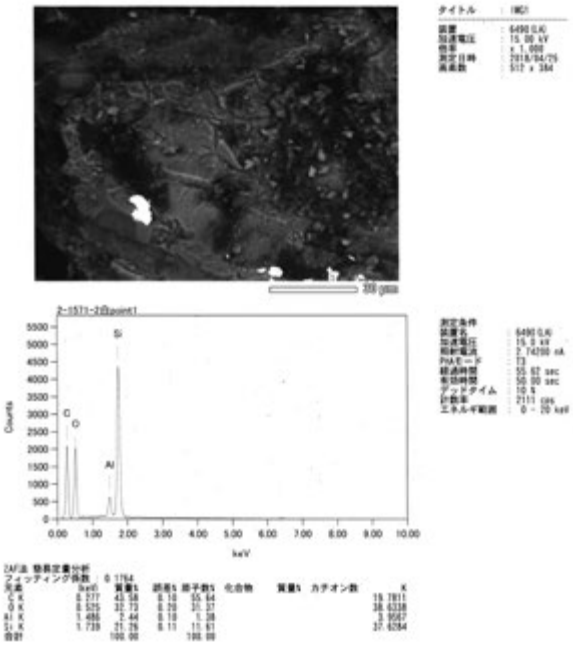


2-1571-2 黒 point3

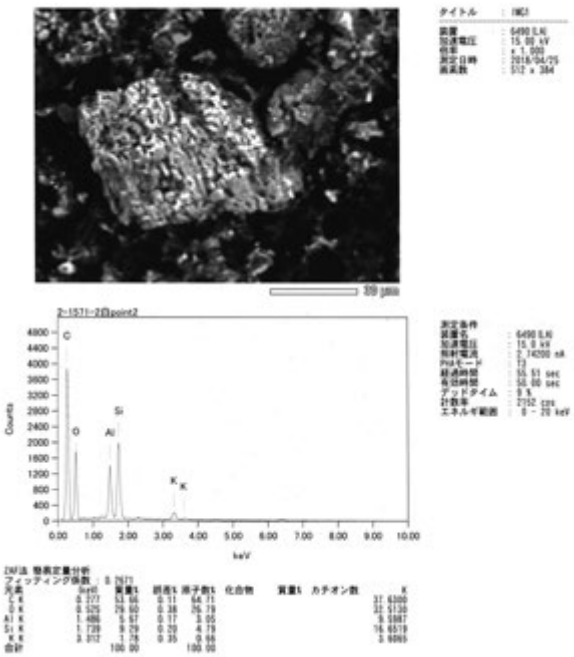
第Ⅴ－10－14図　平成30年度実施　SEMによる２-1571-２黒色部分分析結果



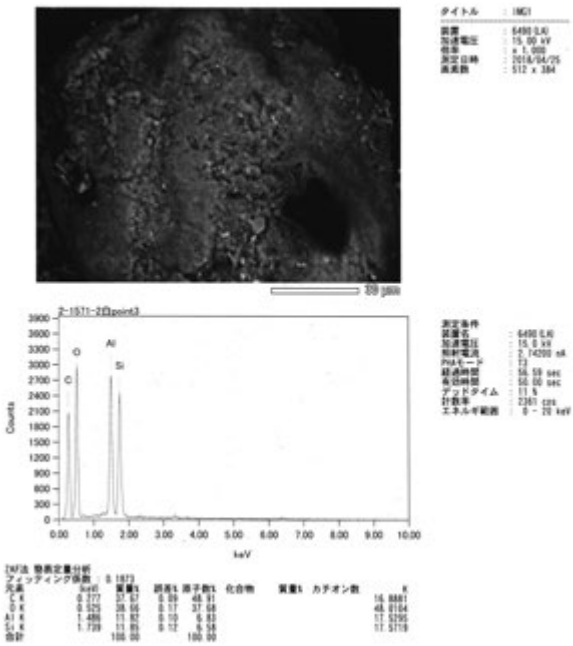
2-1571-2 SEM 画像



2-1571-2 白 point1

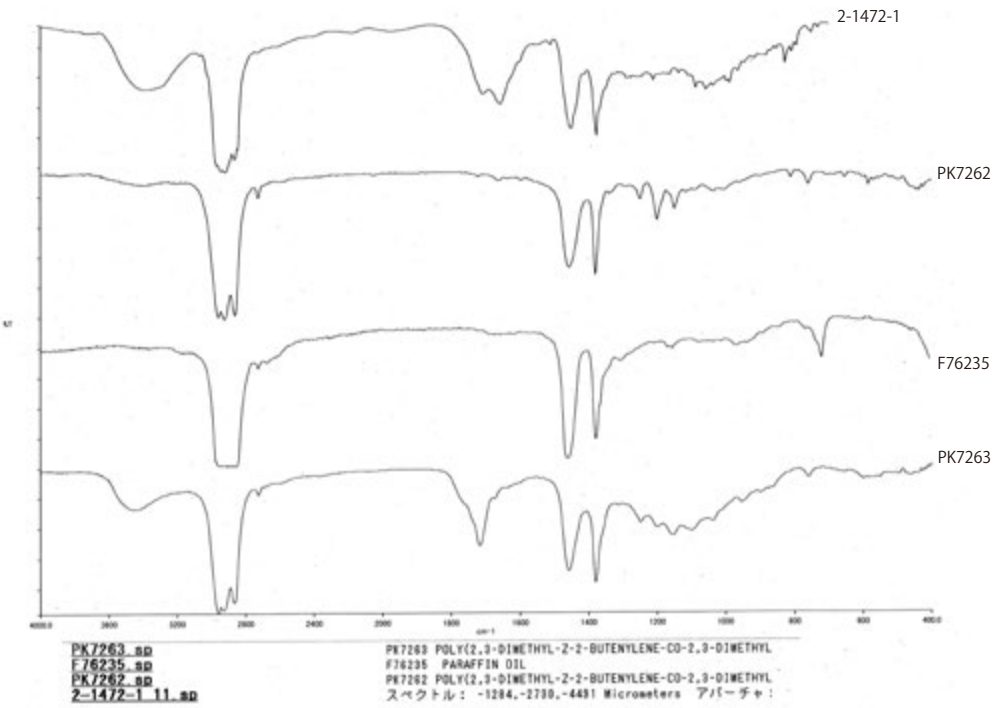


2-1571-2 白 point2

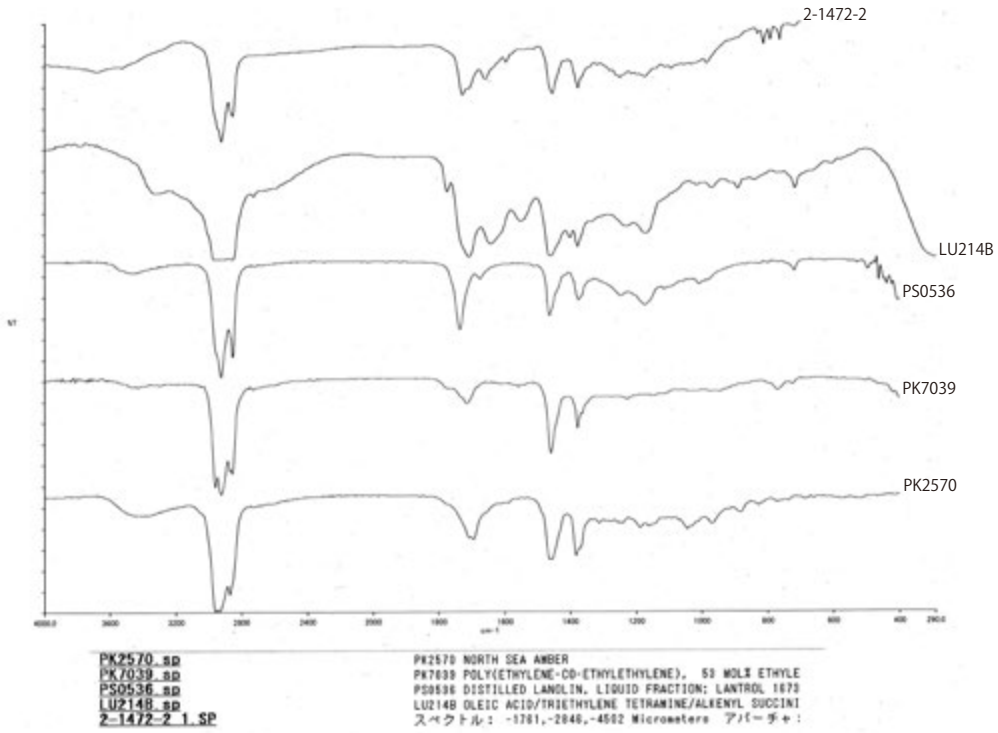


2-1571-2 白 point3

第Ⅴ－10－15図　平成30年度実施　SEMによる２-1571-２白色部分分析結果

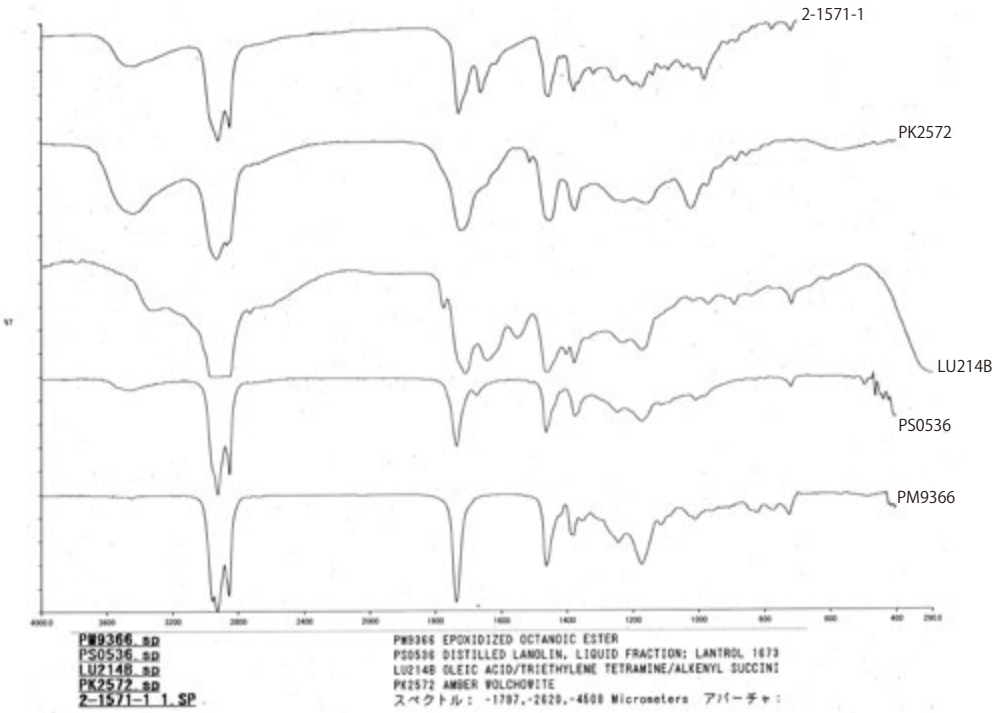


2-1472-1 FT-IR 分析結果と既存 DB 比較

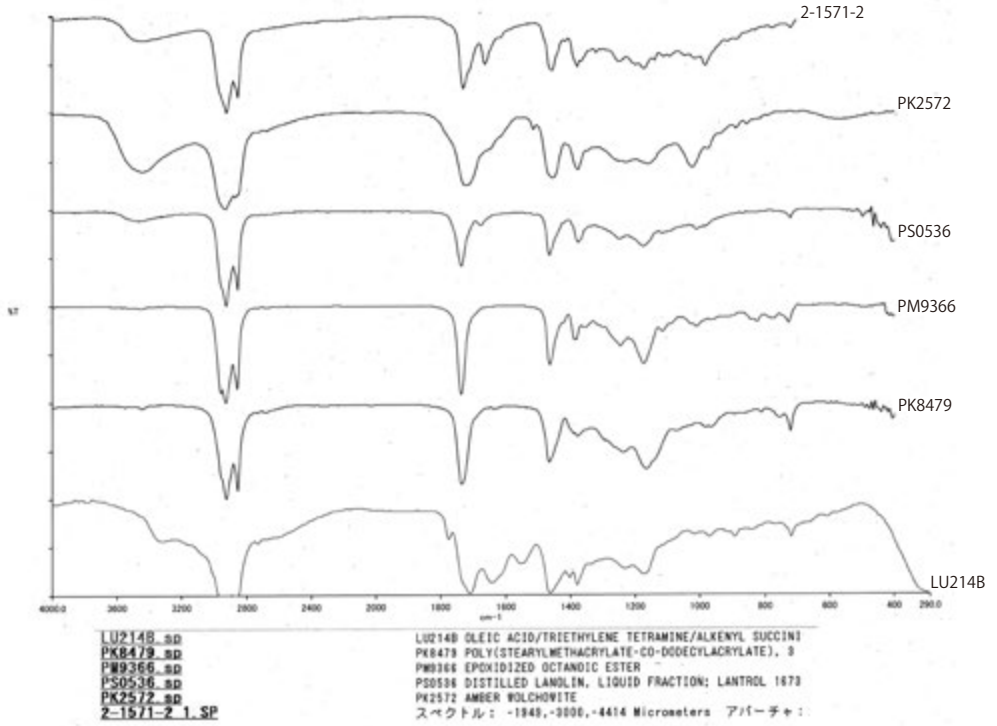


2-1472-2 FT-IR 分析結果と既存 DB 比較

第Ⅴ－10－16図　平成30年度実施　FT-IR分析結果（１）



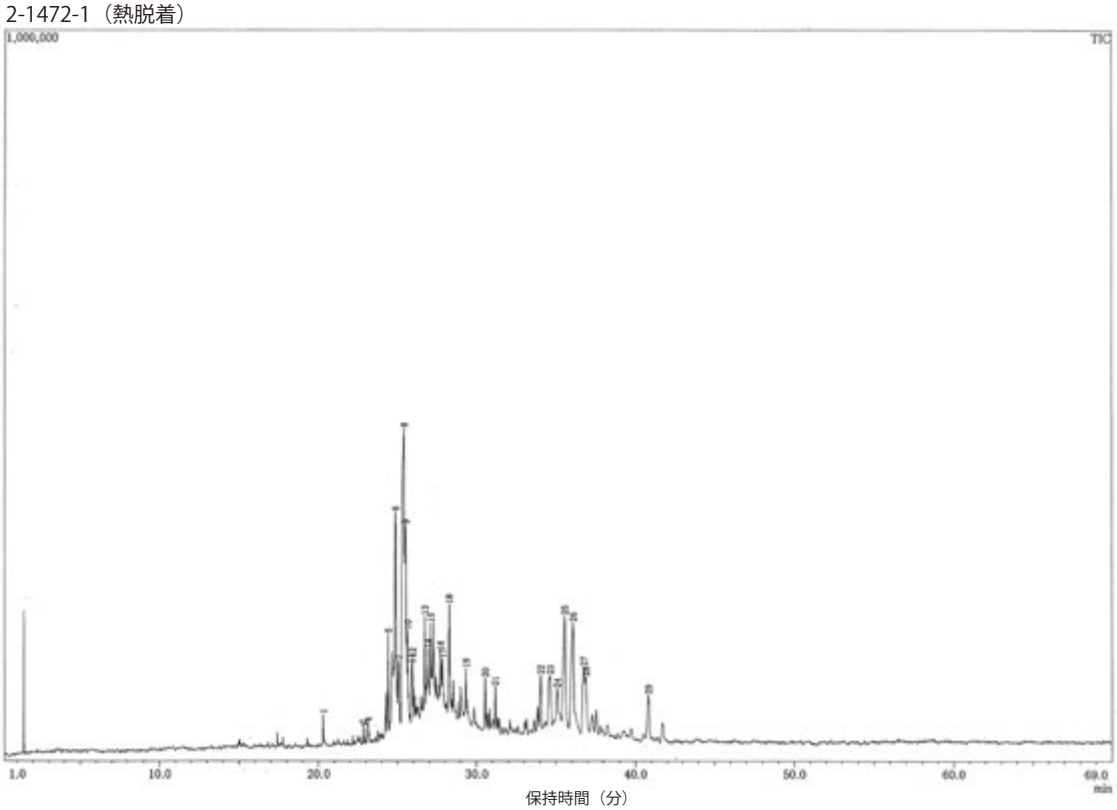
2-1571-1 FT-IR 分析結果と既存 DB 比較



2-1571-2 FT-IR 分析結果と既存 DB 比較

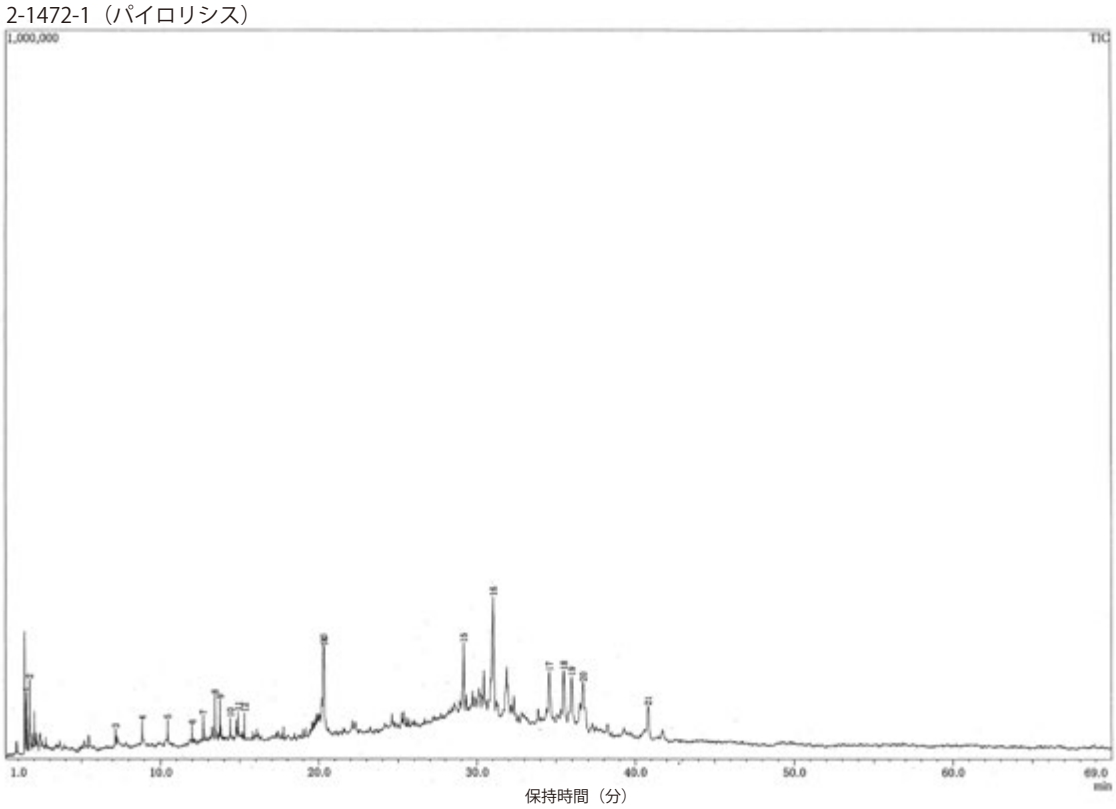
第Ⅴ－10－17図　平成30年度実施　FT-IR分析結果（２）

2-1472-1（熱脱着）



100℃から 300℃まで 20℃/ 分で加熱した時に発生する成分の熱分解 GC-MS による分析結果

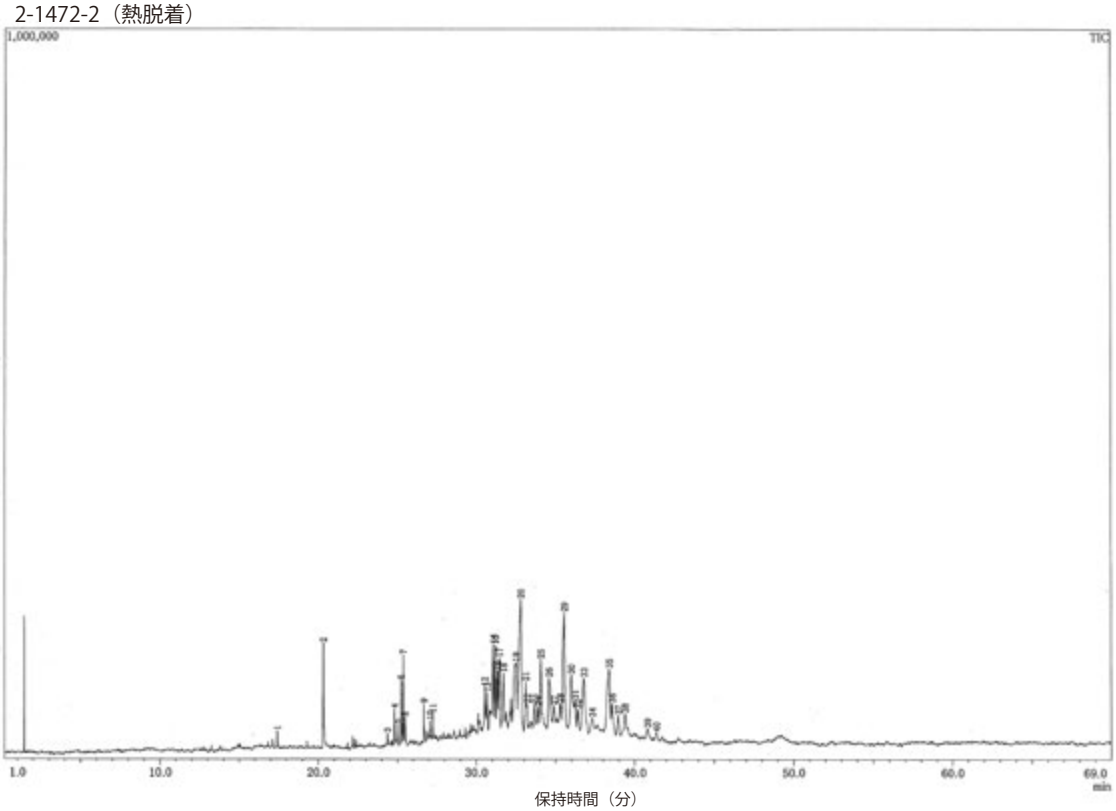
2-1472-1（パイロリシス）



600℃で 30 秒間加熱した時に発生する成分の熱分解 GC-MS による分析結果

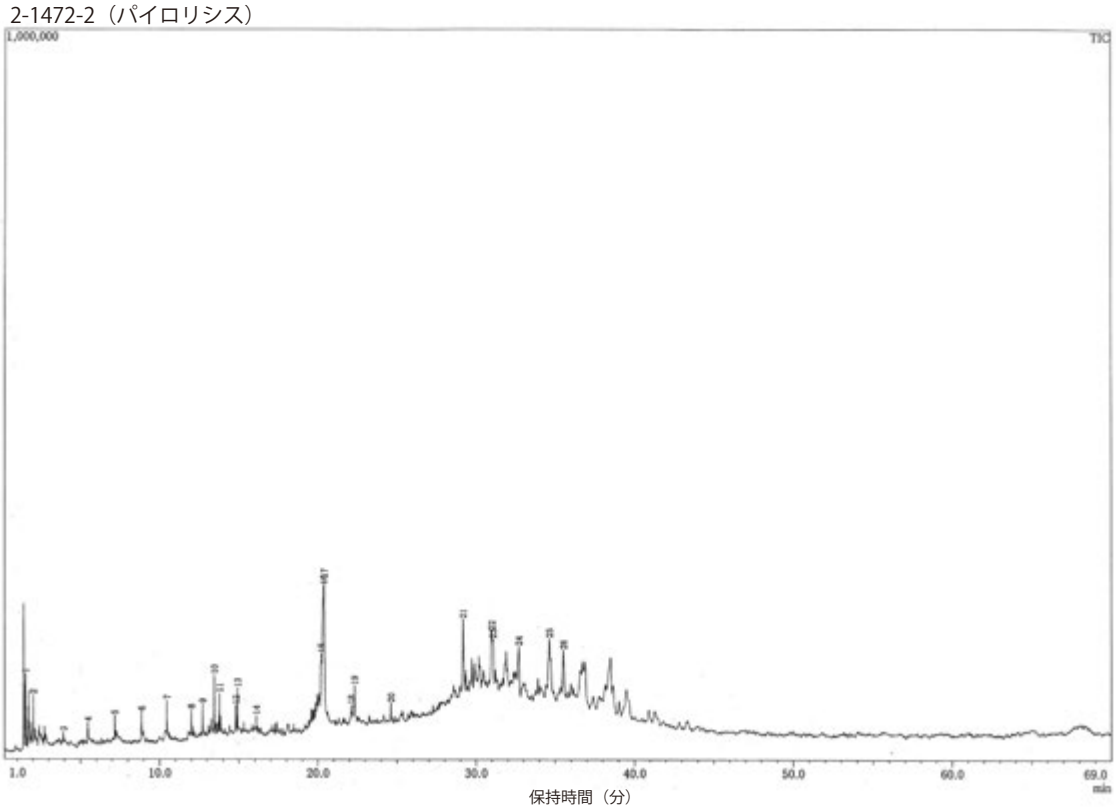
第Ⅴ－10－18図　平成30年度実施　Py-GC/MSによる２-1472-１分析結果

2-1472-2（熱脱着）



100℃から 300℃まで 20℃/ 分で加熱した時に発生する成分の熱分解 GC-MS による分析結果

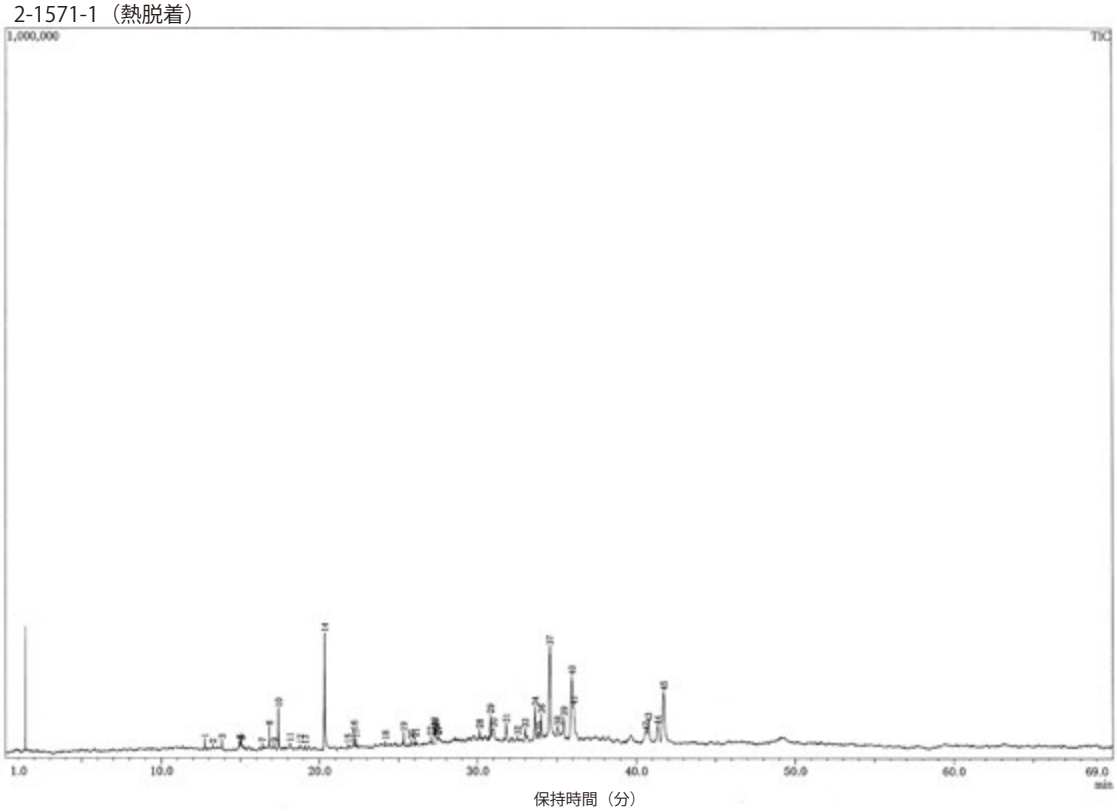
2-1472-2（パイロリシス）



600℃で 30 秒間加熱した時に発生する成分の熱分解 GC-MS による分析結果

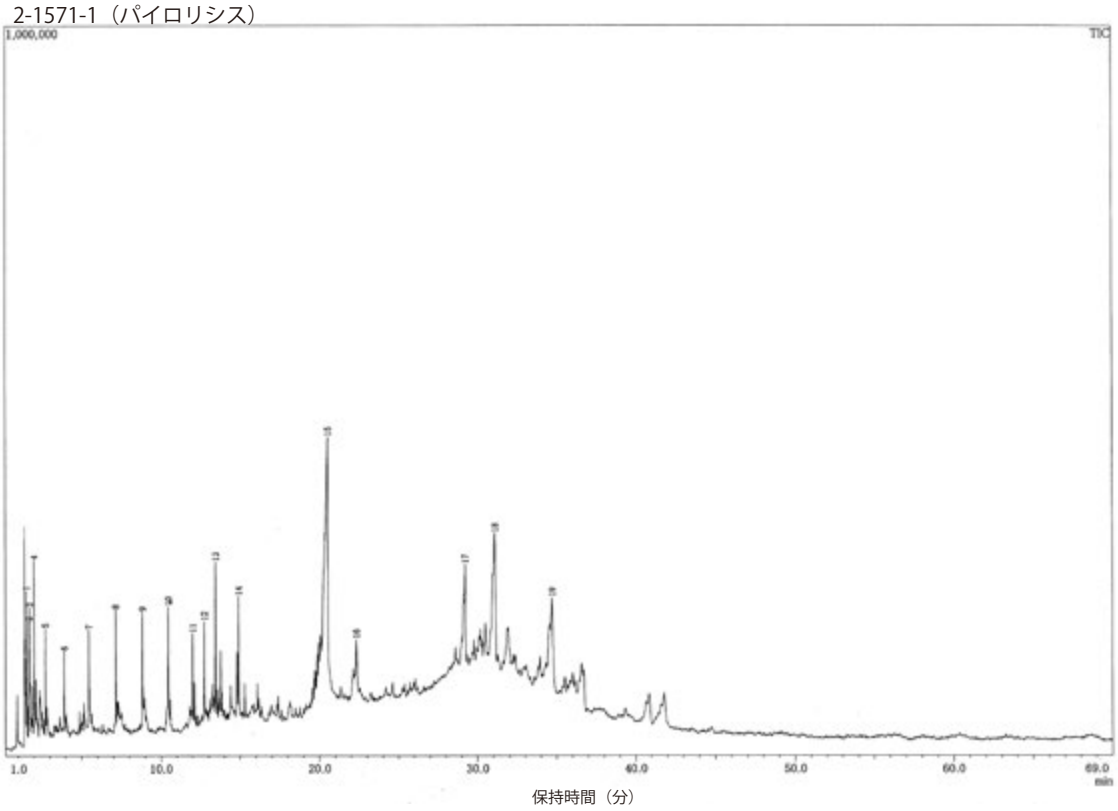
第Ⅴ－10－19図　平成30年度実施　Py-GC/MSによる２-1472-２分析結果

2-1571-1（熱脱着）



100℃から 300℃まで 20℃/ 分で加熱した時に発生する成分の熱分解 GC-MS による分析結果

2-1571-1（パイロリシス）



600℃で 30 秒間加熱した時に発生する成分の熱分解 GC-MS による分析結果

第Ⅴ－10－20図　平成30年度実施　Py-GC/MSによる２-1571-１分析結果

(b)も測定した。また、整理番号６の八禽鏡については、X線透過撮影において亀裂が認められており、その亀裂付近の元素マッピング分析を行い、亀裂の入っていない箇所(a)と亀裂の入っている箇所(b)のポイント分析(照射径100μm)を行った。測定は、いずれも非破壊で行った。

(２)分析結果

面分析により得られた半定量分析結果を第Ⅴ－10－４表に示す。鉄(Fe)、ニッケル(Ni)、銅(Cu)、ヒ素(As)、銀(Ag)、スズ(Sn)、アンチモン(Sb)、鉛(Pb)、ビスマス(Bi)が検出された。

また、整理番号６の八禽鏡の元素マッピング分析により得られたマッピング図を第Ⅴ－10－21図２に、マッピング図に示したa、bの各ポイントの半定量分析結果を第Ⅴ－10－５表に示す。

(３)考察

整理番号６の八禽鏡の元素マッピング図からも明らかなように、銅合金製品は、腐食により遺物表面の化学組成に変化が生じており、位置により含有率が大きく異なる。そのため、非破壊分析である今回の分析結果より、細かい組成比について検討すべきではない点にあらかじめ留意する必要がある。

整理番号６の八禽鏡は、銅(Cu)、スズ(Sn)、鉛(Pb)を主成分とした、Cu-Sn-Pb系の青銅製品と考えられる(第Ⅴ－10－４表)。ほかに、鉄(Fe)、ニッケル(Ni)、ヒ素(As)、銀(Ag)、アンチモン(Sb)、ビスマス(Bi)が検出された。また、元素マッピング分析では、亀裂部は鉄(Fe)の輝度が高い傾向がみられた(第Ⅴ－10－21図２、第Ⅴ－10－５表)。肉眼観察では亀裂部に空隙はないが、X線透過撮影では、亀裂部はX線の透過率が高い。割れてわずかな空隙ができていた箇所に、緑青錆が発生して周辺の鉄分を取り込みつつ、隙間を充填したものと考えられる。

整理番号８の巴形銅器は、若干のスズ(Sn)と鉛(Pb)を含むが、銅(Cu)を主成分とした、ほぼ純銅に近い銅製品と考えられる(第Ⅴ－10－４表)。ほかに、鉄(Fe)、ニッケル(Ni)、ヒ素(As)、銀(Ag)、アンチモン(Sb)、ビスマス(Bi)が検出された。現在は錆びてわかりにくいものの、当時は典型的な青銅製品とは色調が明らかに異なる、赤みの強い金属光沢のある製品だったと推定される。

整理番号10の素文鏡は、銅(Cu)、スズ(Sn)、鉛(Pb)を主成分とした、Cu-Sn-Pb系の青銅製品と考えられる(第Ⅴ－10－４表の10-a)。ほかに、鉄(Fe)、ニッケル(Ni)、ヒ素(As)、銀(Ag)、アンチモン(Sb)、ビスマス(Bi)が検出された。当資料は、鏡背周辺にかさぶた状の付着物があり、その箇所の分析では、銅(Cu)、スズ(Sn)とともに鉄(Fe)が極めて多く検出された(第Ⅴ－10－４表の10-

第Ⅴ－10－４表　平成30年度実施　金属製品面分析結果(mass%)

整理番号	Fe	Ni	Cu	As	Ag	Sn	Sb	Pb	Bi	備考
6	3.97	0.11	26.89	0.23	0.26	59.70	0.69	8.00	0.15	
8	0.51	0.05	95.21	0.32	0.33	1.03	0.53	1.94	0.09	金属露出
10-a	1.47	0.04	61.92	0.42	0.32	22.89	0.62	12.01	0.31	
10-b	38.12	—	47.72	0.21	0.13	12.89	0.34	0.58	—	付着物

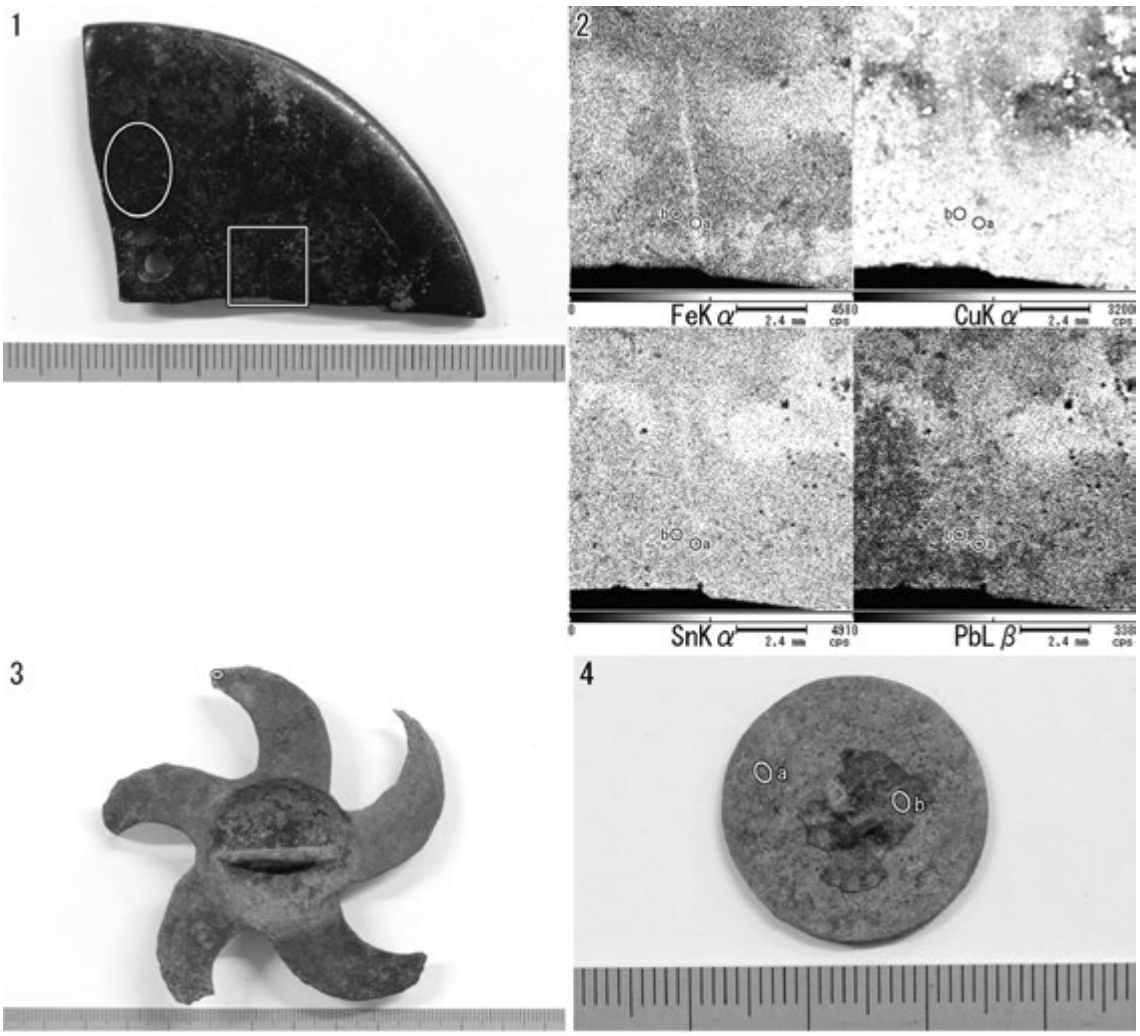
第Ⅴ－10－５表　平成30年度実施　整理番号６　八禽鏡のポイント分析(mass%)

位置		Fe	Ni	Cu	As	Ag	Sn	Sb	Pb	備考
6	a	3.11	—	61.40	0.14	0.08	29.31	0.09	5.86	亀裂以外
	b	1.47	0.11	47.55	0.21	0.12	39.81	0.13	10.62	亀裂部

b)。素文鏡本体から析出した緑青錆や周辺の鉄分を取り込んで現在の形になっていると考えられるが、この付着物がただの錆なのか、それとも有機質などを母体に沈着して生成したものなのかは判別不能であった。

（４）おわりに

乙亥正屋敷廻遺跡より出土した金属製品の蛍光X線分析を行った結果、八禽鏡および素文鏡はいずれもCu-Sn-Pb系の青銅製品、巴形銅器は銅を主成分とした銅製品と定性的に考えられた。



（図中の○は面分析位置、□は元素マッピング位置）

１．整理番号６八禽鏡　２．整理番号６八禽鏡の元素マッピング図（Fe:鉄、Cu:銅、Sn:スズ、Pb:鉛）
３．整理番号８巴形銅器　４．整理番号10素文鏡（bは表面付着物）

第Ⅴ－10－21図　平成30年度実施　金属製品成分分析（分析対象遺物と元素マッピング図）

＜平成28年度　パリノ・サーヴェイ株式会社実施分析引用文献＞
安藤一男, 1990, 淡水産珪藻による環境指標種群の設定と古環境復元への応用. 東北地理, 42,73～88.
安昭炫・辻　誠一郎,2009,平成18・19年度ボーリング調査と古環境分析　花粉化石群の記載と古環境.鳥取県埋蔵文化財センター調査報告27　青谷上寺地遺跡10　第9次発掘調査報告書,鳥取県埋蔵文化財センター, 121-126.
Asai, K. & Watanabe, T., 1995, Statistic Classification of Epilithic Diatom Species into Three Ecological Groups relating to Organic Water Pollution (2) Saprophilous and saproxenous taxa.Diatom,10,35－47.
千木良雅弘,1995,風化と崩壊.近未来社,204p.
Desikachiary, T. V., 1987, Atlas of Diatoms. Marine Diatoms of the Indian Ocean. Madras science foundation, Madras, Printed at TT. Maps & Publications Private Limited, 328, G. S. T. Road, Chromepet, Madras-600044. 1-13, Plates : 401-621.
Erdtman G.,1952,Pollen morphology and plant taxonomy: Angiosperms (An introduction to palynology. I).Almqvist&Wiksells,539p.
Erdtman G.,1957, Pollen and Spore Morphology/Plant Taxonomy: Gymnospermae, Pteriodophyta, Bryophyta (Illustrations) (An Introduction to Palynology. II),147p.
Feagri K. and Iversen Johs.,1989,Textbook of Pollen Analysis.The Blackburn Press,328p.
藤木利之・小澤智生,2007,琉球列島産植物花粉図鑑.アクアコーラル企画,155p.
藤田憲司・古谷正和・渡邊正巳,1991,大阪府南部地域におけるアブラナ科花粉高出現率期について. 日本文化財科学会第８回大会研究発表要旨集, p.33-34.
Hustedt, F., 1930, Die Kieselalgen Deutschlands, Oesterreichs und der Schweiz. under Berucksichtigung der ubrigen Lander Europas Sowie der angrenzenden Meeresgebiete. in Dr. Rabenhorsts Kryptogamen Flora von Deutschland, Oesterreichs unt der Schweiz, 7, Leipzig, Part 1, 920p.
Hustedt, F., 1937-1938, Systematische unt okologische Untersuchungen mit die Diatomeen-Flora von Java, Bali und Sumatra. Ⅰ～Ⅲ. Arch. Hydrobiol. Suppl., 15, 131-809p, 1-155p, 274-349p.
Hustedt, F., 1938, Systematische und okologische untersuchungen uber der diatomeen flora von Java, Bali und Sumatra nach dem material der Deutschen limnologischen Sunda Expedition. Arch. Hydrobiol. suppl.
Hustedt, F., 1959, Die Kieselalgen Deutschlands, Oesterreichs und der Schweiz. under Berucksichtigung der ubrigen Lander Europas Sowie der angrenzenden Meeresgebiete. in Dr. Rabenhorsts Kryptogamen Flora von Deutschland, Oesterreichs unt der Schweiz, 7, Leipzig, Part 2, 845p.
Hustedt, F., 1961-1966, Die Kieselalgen Deutschlands, Oesterreichs und der Schweiz. under Berucksichtigung der ubrigen Lander Europas Sowie der angrenzenden Meeres-gebiete. in Dr. Rabenhorsts Kryptogamen Flora von Deutschland, Oesterreichs unt der Schweiz, 7, Leipzig, Part 3, 816p.
Iijima, A. and Tada, R., 1981, Silica diagenesis of Neogne diatomaceous and volcaniclastic sediments in northern Japan. Sedimentology, 28, 185-200.
箱崎真隆,2013,高精度暦年較正に向けた北日本産樹木の放射性炭素年代測定.名古屋大学加速器質量分析計業績報告書, XXⅣ: 42-51.
石川茂雄,1994,原色日本植物種子写真図鑑.石川茂雄図鑑刊行委員会,328p.
伊藤良永・堀内誠示, 1989, 古環境解析からみた陸生珪藻の検討　－－陸生珪藻の細分－－.日本珪藻学会第10回大会講演要旨集, 17.
伊藤良永・堀内誠示, 1991, 陸生珪藻の現在に於ける分布と古環境解析への応用. 日本珪藻学誌,6, 23-44.
笠原安夫,1982,鳥浜貝塚の植物種実の検出とエゴマ・シソ種実タール状塊について.鳥浜貝塚1980年度発掘調査概報・研究の成果　－縄文前期を主とする低湿地遺跡の調査2－,福井県教育委員会,65-87.
金原正明・金原正子,1994,堆積物中の情報の可視化.可視化情報,14,9-14.
小杉正人, 1986, 陸生珪藻による古環境の解析とその意義－わが国への導入とその展望－. 植生史研究, 1, 9-44.
小杉正人,1988, 珪藻の環境指標種群の設定と古環境復原への応用. 第四紀研究, 27,(1), 1-20.
Kano, K., 1979, Depisition and diagenesis of siliceous sediments of the Onnagawa Formation . Sci. Rep.,Tohoku Univ., 14, 135-189.
Krammer, K. and H. Lange-Bertalot, 1985, Naviculaceae. Bibliothyca Diatomologica, vol. 9, p. 250. Krammer, K. and H. Lange-Bertalot, 1986, Bacillariophyceae, Susswasser flora von Mitteleuropa, 2(1) : 876p.
Krammer, K. and H. Lange-Bertalot, 1988, Bacillariophyceae, Susswasser flora von Mitteleuropa 2(2): 596p.
Krammer, K. and H. Lange-Bertalot, 1990, Bacillariophyceae, Susswasser flora von Mitteleuropa 2(3): 576p.
Krammer, K. and H. Lange-Bertalot, 1991a, Bacillariophyceae, Susswasser flora von Mitteleuropa 2(4): 437p.
松井　健,1988,土壌地理学序説,築地書館株式会社,316p.
三好教夫・藤木利之・木村裕子,2011,日本産花粉図鑑.北海道大学出版会,824p.
Mitsui, K and Taguchi, K., 1977, Silica minerals diagenesis in Neogene Tertiary shales in the Tempoku district, Hokkaido, Japan. Jour. Sedim. Petrol., 47, 158-167.
Mizutani, S., 1977, Progressiv ordering of cristobalitic silica in early stage of diagenesis.Contri.Miner. Petrol.,61,129-140.
Moore P.D.& Webb J.A.,1978,an illustrated guide to Pollen Analysis.Hodder and Stoughton,133p.
中村　純,1967,花粉分析.古今書院,232p.
中村　純,1980,日本産花粉の標徴　Ⅰ　Ⅱ(図版).大阪市立自然史博物館収蔵資料目録　第12,13集,91p.
中山誠二,2010,縄文時代のアズキ亜属に関する基礎的研究.東海史学,第44号,83-103.
中山至大・井之口希秀・南谷忠志,2010,日本植物種子図鑑(2010年改訂版).東北大学出版会,678p.
那須浩郎･中沢道彦･中村　豊･森泉かよ子･会田　進,2014,縄文-弥生移行期におけるアズキ亜属の大型化.第29回日本植生史学会大会講演要旨集,38.
那須浩郎・会田　進・佐々木由香・中沢道彦・山田武文・奥石　甫,2015,炭化種実資料からみた長野県諏訪地域における縄文時代中期のマメの利用.資源環境と人類,第5号,明治大学黒耀石研究センター,37-52.
成瀬正和,1998,縄文時代の赤色顔料Ⅰ.考古学ジャーナル,438,10-14.
西本豊弘 編,2006,新弥生時代のはじまり　第１巻 弥生時代の新年代.雄山閣,143p.
西本豊弘 編,2007,新弥生時代のはじまり　第２巻 縄文時代から弥生時代へ,雄山閣,185p.
西本豊弘・住田雅和・竜子正彦・高橋　潔・近藤奈央・吉崎　伸,2012,縄文時代のアズキについて－京都市上里遺跡出土のアズキ類の検討－.動物考古学,第29号,45-53.
小畑弘巳,2008,マメ科種子同定法.「極東先史古代の雑穀3」,日本学術振興会平成16～19年度科学研究費補助金(基盤B-2)(課題番号16320110)「雑穀資料からみた極東地域における農耕受容と拡散過程の実証的研究」研究成果報告書,小畑弘巳編,熊本大学埋蔵文化財調査室,225-252.

小畑弘己,2011,東北アジア古民族植物学と縄文農耕.同成社,309p.
小椋純一,2007,微粒炭の母材植物特定に関する研究.植生史研究,15,85-96.
小椋純一,2008,釧路湿原北東陸地部における微粒炭分析.日本植生史学会第23回大会講演要旨集,46-47
岡田文男,1997,パイプ状ベンガラ粒子の復元.日本文化財科学会第14回大会研究発表要旨集,38-39.
織幡順子・沢田正昭,1997,酸化鉄系赤色顔料の基礎的研究.日本文化財科学会第14回大会研究発表要旨集,76-77.
Reimer PJ, Bard E, Bayliss A, Beck JW, Blackwell PG, Bronk Ramsey C, Buck CE, Cheng H, Edwards RL, Friedrich M, Grootes PM, Guilderson TP, Haflidason H, Hajdas I, Hatté C, Heaton TJ, Hoffmann DL, Hogg AG, Hughen KA, Kaiser KF, Kromer B, Manning SW, Niu M, Reimer RW, Richards DA, Scott EM, Southon JR, Staff RA, Turney CSM, van der Plicht J. ,2013,IntCal13 and Marine13 radiocarbon age calibration curves 0–50,000 years cal BP. Radiocarbon ,55,1869–1887.
Sakamoto M, Imamura M, van der Plicht J, Mitsutani T, Sahara M. 2003. Radiocarbon calibration for Japanese wood samples. Radiocarbon, 45(1): 81-89.
佐藤敏也,1988,弥生のイネ.弥生文化の研究2生業,金関　恕・佐原　真編,雄山閣,97-111.
島倉巳三郎,1973,日本植物の花粉形態.大阪市立自然科学博物館収蔵目録　第5集,60p.
Stuiver　Minze and Polach A Henry,1977, Radiocarbon 1977 Discussion Reporting of 14C Data. Radiocarbon , 19, 355-363.
鈴木庸夫・高橋　冬・安延尚文,2012,ネイチャーウォッチングガイドブック　草木の種子と果実－形態や大きさが一目でわかる植物の種子と果実632種－.誠文堂新光社,272p.
高原　光,1998,スギ林の変遷.図説　日本列島植生史,安田喜憲・三好教夫編,朝倉書店,207-223.
吉光貴裕・中村俊夫.2012. 日本産樹木年輪の炭素 14 濃度測定およびIntCal09 との比較検討.名古屋大学加速器質量分析計業績報告書,　XXill: 57-62.

＜平成29年度　パリノ・サーヴェイ株式会社実施分析引用文献＞

Bronk R. C.,2009,. Bayesian analysis of radiocarbon dates. Radiocarbon ,51, 337-360.
河合章行・村田泰輔・吉田邦夫,2011,放射性炭素年代測定値と共伴土器.青谷上寺地遺跡景観復元調査研究報告書,鳥取県埋蔵文化財センター調査報告40,鳥取県埋蔵文化財センター,198-202.
Reimer, P. J., Bard, E., Bayliss, A., Beck, J. W., Blackwell, P. G., Bronk Ramsey, C., Grootes, P. M., Guilderson, T. P., Haflidason, H., Hajdas, I., Hatté, C., Heaton, T. J., Hoffmann, D. L., Hogg, A. G., Hughen, K. A., Kaiser, K. F., Kromer, B., Manning, S. W., Niu, M., Reimer, R. W., Richards, D. A., Scott, E. M., Southon, J. R., Staff, R. A., Turney, C. S. M., and van der Plicht, J.,2013,IntCal13 and Marine13 Radiocarbon Age Calibration Curves 0-50,000 Years cal BP. Radiocarbon,55,1869–1887.
Stuiver M. & Polach A.H.,1977,Radiocarbon 1977 Discussion Reporting of 14C Data. Radiocarbon ,19, 355-363.
山田富貴子,1986,赤外線吸収スペクトル法,機器分析のてびき第１集.化学同人,1-18.

＜平成30年度　パリノ・サーヴェイ株式会社実施分析引用文献＞

安　昭炫・辻　誠一郎,2009,平成18・19年度ボーリング調査と古環境分析　花粉化石群の記載と古環境.鳥取県埋蔵文化財センター調査報告27　青谷上寺地遺跡10　第9次発掘調査報告書,鳥取県埋蔵文化財センター,121-126.
安藤一男,1990,淡水産珪藻による環境指標種群の設定と古環境復元への応用.東北地理,42,73-88.
Asai, K. and Watanabe, T.,1995,Statistic Classification of Epilithic Diatom Species into Three Ecological Groups relating to Organic Water Pollution (2) Saprophilous and saproxenous taxa.Diatom,10,35－47.
Bronk, R. C.,2009,Bayesian analysis of radiocarbon dates. Radiocarbon,51,337-360.
千木良雅弘,1995,風化と崩壊.近未来社,204p.
Desikachary, T. V., 1987, Atlas of Diatoms. Marine Diatoms of the Indian Ocean. Madras science foundation,1-13, Plates,401-621.
藤木利之・小澤智生,2007,琉球列島産植物花粉図鑑.アクアコーラル企画,155p.
林　昭三,1991,日本産木材　顕微鏡写真集.京都大学木質科学研究所.
Hustedt, F., 1930, Die Kieselalgen Deutschlands, Oesterreichs und der Schweiz. under Berucksichtigung der ubrigen Lander Europas Sowie der angrenzenden Meeresgebiete. in Dr. Rabenhorsts Kryptogamen Flora von Deutschland, Oesterreichs unt der Schweiz, 7, Leipzig, Part 1, 920p.
Hustedt, F., 1937-1938, Systematische unt okologische Untersuchungen mit die Diatomeen-Flora von Java, Bali und Sumatra. Ⅰ～Ⅲ. Arch. Hydrobiol. Suppl., 15, 131-809p, 1-155p, 274-349p.
Hustedt, F., 1959, Die Kieselalgen Deutschlands, Oesterreichs und der Schweiz. under Berucksichtigung der ubrigen Lander Europas Sowie der angrenzenden Meeresgebiete. in Dr. Rabenhorsts Kryptogamen Flora von Deutschland, Oesterreichs unt der Schweiz, 7, Leipzig, Part 2, 845p.
Hustedt, F., 1961-1966, Die Kieselalgen Deutschlands, Oesterreichs und der Schweiz. under Berucksichtigung der ubrigen Lander Europas Sowie der angrenzenden Meeres-gebiete. in Dr. Rabenhorsts Kryptogamen Flora von Deutschland, Oesterreichs unt der Schweiz, 7, Leipzig, Part 3, 816p.
石川茂雄,1994,原色日本植物種子写真図鑑.石川茂雄図鑑刊行委員会,328p.
伊東隆夫,1995,日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅰ.木材研究・資料,31,京都大学木質科学研究所,81-181.
伊東隆夫,1996,日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅱ.木材研究・資料,32,京都大学木質科学研究所.66-176.
伊東隆夫,1997,日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅲ.木材研究・資料,33,京都大学木質科学研究所,83-201.
伊東隆夫,1998,日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅳ.木材研究・資料,34,京都大学木質科学研究所,30-166.
伊東隆夫,1999,日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅴ.木材研究・資料,35,京都大学木質科学研究所,47-216.
伊東隆夫・山田昌久(編),2012,木の考古学　出土木製品用材データベース.海青社,449p.
伊藤良永・堀内誠示,1989,古環境解析からみた陸生珪藻の検討　－陸生珪藻の細分－.日本珪藻学会第10回大会講演要旨集,17.
伊藤良永・堀内誠示,1991,陸生珪藻の現在に於ける分布と古環境解析への応用.日本珪藻学誌,6,23-44.
金原正明・金原正子・中村亮仁,1995a,大宮坊跡(厠跡)における自然科学的分析.史跡石動山環境整備事業報告Ⅱ,石川県鹿島町教育委員会,51-70.
金原正明・金原正子・中村亮仁,1995b,川合遺跡八反田地区SE402・SE405における寄生虫卵・植物遺体分析,静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告　第63集　川合遺跡　八反田地区Ⅱ　本文編,静岡県埋蔵文化財調査研究所,341-354.
笠原安夫,1982,鳥浜貝塚の植物種実の検出とエゴマ・シソ種実タール状塊について.鳥浜貝塚1980年度発掘調査概報・研究の成果　－

縄文前期を主とする低湿地遺跡の調査2－,福井県教育委員会,65-87.
小杉正人,1986,陸生珪藻による古環境の解析とその意義－わが国への導入とその展望－. 植生史研究,1,9-44.
小杉正人,1988,珪藻の環境指標種群の設定と古環境復原への応用. 第四紀研究,27,1-20.
Krammer, K. and H. Lange-Bertalot,1985,Naviculaceae. Bibliothyca Diatomologica,9,250p.
Krammer, K. and H. Lange-Bertalot,1986,Bacillariophyceae, Susswasser flora von Mitteleuropa, 2(1): 876p.
Krammer, K. and H. Lange-Bertalot,1988,Bacillariophyceae, Susswasser flora von Mitteleuropa 2(2): 596p.
Krammer, K. and H. Lange-Bertalot,1990,Bacillariophyceae, Susswasser flora von Mitteleuropa 2(3): 576p.
Krammer, K. and H. Lange-Bertalot,1991,Bacillariophyceae, Susswasser flora von Mitteleuropa 2(4): 437p.
黒崎　直・松井　章・金原正明・金原正子,1993,糞便堆積物の分析－特に寄生虫卵分析について－.日本文化財科学会第10回大会研究発表要旨集, 日本文化財科学会,115-115.
Lange-Bertalot, H.,2000,ICONOGRAPHIA DIATOMOLOGICA: Annotated diatom micrographs. Witkowski, A., Horst Lange-Bertalot, Dittmer Metzeltin: Diatom Flora of Marine Coasts Volume 1. 219 plts. 4504 figs, 925 pgs.
Lange-Bertalot, H.,2001,Navicula sensu stricto. 10 Genera separated from Navicula sensu lato. Frustulia. Diatoms of Europe: diatoms of the European inland waters and comparable habitats,2,1-526.
三宅　尚・中越信和,1998,森林土壌に堆積した花粉・胞子の保存状態.植生史研究,6,15-30.
三好教夫・藤木利之・木村裕子,2011,日本産花粉図鑑.北海道大学出版会,824p.
中島啓治・田中宏之・吉田武雄・服部幸雄, 1978, 奥利根地域の珪藻類.群馬県奥利根地域学術調査報告書(Ⅲ), 146-165.
中村　純,1967,花粉分析.古今書院,232p.
中村　純,1980a,日本産花粉の標徴　Ⅰ　Ⅱ(図版).大阪市立自然史博物館収蔵資料目録　第12,13集,91p.
中村　純,1980b,花粉分析による稲作史の研究.自然科学の手法による遺跡・古文化財等の研究　－総括報告書－,文部省科研費特定研究「古文化財」総括班,187-204.
中山至大・井之口希秀・南谷忠志,2010,日本植物種子図鑑(2010年改訂版).東北大学出版会,678p.
那須浩郎･中沢道彦･中村　豊･森泉かよ子･会田　進,2014,縄文-弥生移行期におけるアズキ亜属の大型化.第29回日本植生史学会大会講演要旨集,38.
那須浩郎・会田　進・佐々木由香・中沢道彦・山田武文・奥石　甫,2015,炭化種実資料からみた長野県諏訪地域における縄文時代中期のマメの利用.資源環境と人類,第5号,明治大学黒耀石研究センター,37-52.
小畑弘己,2008,マメ科種子同定法.「極東先史古代の雑穀3」,日本学術振興会平成16～19年度科学研究費補助金(基盤B-2)(課題番号16320110)「雑穀資料からみた極東地域における農耕受容と拡散過程の実証的研究」研究成果報告書,小畑弘巳編,熊本大学埋蔵文化財調査室,225-252.
小畑弘己,2011,東北アジア古民族植物学と縄文農耕.同成社,309p.
奥　義次,1998,縄文時代の赤色顔料Ⅲ　－伊勢における朱の開発をめぐって－,考古学ジャーナル,438,17-18.
Reimer, P. J., Bard, E., Bayliss, A., Beck, J. W., Blackwell, P. G., Bronk Ramsey, C., Grootes, P. M., Guilderson, T. P., Haflidason, H., Hajdas, I., Hatté, C., Heaton, T. J., Hoffmann, D. L., Hogg, A. G., Hughen, K. A., Kaiser, K. F., Kromer, B., Manning, S. W., Niu, M., Reimer, R. W., Richards, D. A., Scott, E. M., Southon, J. R., Staff, R. A., Turney, C. S. M., and van der Plicht, J.,2013,IntCal13 and Marine13 Radiocarbon Age Calibration Curves 0-50,000 Years cal BP. Radiocarbon,55,1869–1887.
Richter, H. G., Grosser, D., Heinz, I. and Gasson, P. E.(編),2006,針葉樹材の識別　IAWAによる光学顕微鏡的特徴リスト.伊東隆夫・藤井智之・佐野雄三・安部　久・内海泰弘(日本語版監修),海青社,70p.［Richter, H. G., Grosser, D., Heinz, I. and Gasson, P. E.(2004) IAWA List of Microscopic Features for Softwood Identification］.
佐伯秀治・升　秀夫・早川典之,1998,臨床検査シリーズ　寄生虫鑑別アトラス－オールカラー版－.株式会社メディカルサイエンス社,162P.
斉藤崇人・田中義文,2007,寄生虫卵殻の形態分類.徳永重元博士献呈論集,パリノ・サーヴェイ株式会社,407-416.
佐藤敏也,1988,弥生のイネ.弥生文化の研究2生業,金関　恕・佐原　真編,雄山閣,97-111.
島地　謙・伊東隆夫,1982,図説木材組織.地球社,176p.
島倉巳三郎,1973,日本植物の花粉形態.大阪市立自然科学博物館収蔵目録　第5集,60p.
Stuiver, M., and Polach, H. A.,1977,Discussion Reporting of 14C Data. Radiocarbon ,19, 355-363.
鈴木庸夫・高橋　冬・安延尚文,2012,ネイチャーウォッチングガイドブック　草木の種子と果実－形態や大きさが一目でわかる植物の種子と果実632種－.誠文堂新光社,272p.
高原　光,1998,スギ林の変遷.図説　日本列島植生史,安田喜憲・三好教夫編,朝倉書店,207-223.
徳永重元・山内輝子,1971,花粉・胞子.化石の研究法,共立出版株式会社,50-73.
Wheeler, E. A., Bass P. and Gasson P. E.(編),1998,広葉樹材の識別　IAWAによる光学顕微鏡的特徴リスト.伊東隆夫・藤井智之・佐伯浩(日本語版監修),海青社,122p.［Wheeler, E. A., Bass, P. and Gasson, P. E.(1989)IAWA List of Microscopic Features for Hardwood Identification］.
Witkowski, A., Lange-Bertalot, H. and Metzeltin, D.,2000,Diatom Flora of Marine Coasts I. Iconographia Diatomologica Vol. 7. A.R.G. Gantner Verlag K.G., Ruggell, Liechtenstein. 925 p.
鈴木三男，2002，日本人と木と文化，八坂書房，255p.

＜平成30年度　株式会社イビソク実施分析参考文献＞
村上　隆（2003a）金工技術．日本の美術，443，98p，至文堂.
村上　隆（2003b）銅．馬淵久夫・杉下龍一郎・三輪嘉六・沢田正昭・三浦定俊編「文化財科学の事典」：69-72，朝倉書店.
中井　泉編（2005）蛍光X線分析の実際．242p，朝倉書店.

技術協力：竹原弘展（パレオ・ラボ）

第Ⅵ章　データ一覧

第１節　土坑、柱穴一覧表

番号	種別	グリッド	遺構面	長径(cm)※	短径(cm)※	深さ(cm)※	備　　考
2S-4	土坑	E7	第１面	(113)	(99)	(105)	2S-24に切られる。乙亥正Ⅵ～Ⅹ期頃の土器片出土。
2S-5	土坑	E10	第１面	60	46	(42)	
2S-6	土坑	E10	第１面	56	41	(21)	
2S-7	土坑	E9	第１面	59	47	(29)	
2S-8	土坑	E9	第１面	35	29	(17)	
2S-9	土坑	E9	第１面	41	34	(29)	土器小片出土。
2S-10	土坑	E9	第１面	28	26	(39)	乙亥正Ⅷ期以降の土器出土。
2S-11	土坑	E9	第１面	32	28	(33)	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-12	土坑	E8	第１面	24	23	(18)	
2S-13	土坑	E9	第１面	(32)	27	(30)	
2S-14	土坑	E9	第１面	39	37	(35)	
2S-15	土坑	E9	第１面	48	48	(28)	土器小片出土。
2S-16	土坑	E9	第１面	82	68	(53)	古墳時代後期の須恵器出土。
2S-17	土坑	D9	第１面	83	75	(40)	乙亥正Ⅷ期以降の土器小片出土。
2S-18	土坑	E8	第１面	77	74	(36)	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-19	土坑	E8	第１面	48	44	(31)	乙亥正Ⅷ期以降の土器小片出土。
2S-20	土坑	E8	第１面	57	48	(30)	乙亥正Ⅷ期以降の土器小片出土。
2S-21	土坑	E7	第１面	(45)	(40)	(11)	
2S-22	土坑	E7	第１面	53	42	(22)	
2S-23	土坑	E7	第１面	42	40	(23)	
2S-24	土坑	E7	第１面	58	46	(16)	2S-4を切る。
2S-25	土坑	D8	第１面	23	22	(6)	
2S-27	土坑	D8	第１面	24	18	(20)	
2S-28	土坑	D8	第１面	34	24	(10)	2S-29に切られる。
2S-29	土坑	D8	第１面	19	13	(12)	2S-28を切る。
2S-30	土坑	D8	第１面	23	18	(26)	
2S-31	土坑	D8	第１面	25	24	(22)	
2S-33	土坑	E8	第１面	23	16	(12)	
2S-34	土坑	E7	第１面	81	76	(29)	乙亥正Ⅷ期以降の土器出土。
2S-35	土坑	D7	第１面	58	54	(34)	乙亥正Ⅷ期以降の土器出土。
2S-36	土坑	E8	第１面	29	24	(16)	
2S-37	土坑	E8	第１面	26	20	(19)	
2S-38	土坑	E8	第１面	16	15	(18)	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-39	土坑	D7	第１面	34	30	(10)	乙亥正Ⅴ期の土器出土。
2S-40	土坑	E8	第１面	30	22	(7)	
2S-41	土坑	E8	第１面	(21)	16	(8)	
2S-42	土坑	E8	第１面	84	82	(16)	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-44	土坑	C6	第１面	49	42	(20)	2S-66を切る。
2S-45	柱穴	D6	第１面	55	45	(30)	乙亥正Ⅷ期以降の土器小片出土。
2S-46	土坑	C5	第１面	53	(43)	(8)	2S-66を切る。乙亥正Ⅷ期以降の土器小片出土。
2S-47	土坑	C5	第１面	39	35	(10)	2S-66を切る。乙亥正Ⅷ期以降の土器小片出土。
2S-48	土坑	C5	第１面	(17)	(15)	(5)	
2S-49	土坑	C5	第１面	26	24	(7)	
2S-53	土坑	C4	第１面	(83)	(69)	(6)	乙亥正Ⅷ期以降の土器出土。
2S-54	土坑	C4	第１面	124	64	(15)	
2S-56	土坑	D4	第１面	(33)	23	(24)	乙亥正Ⅷ期以降の土器出土。
2S-57	土坑	D7	第１面	49	(33)	(25)	乙亥正Ⅷ期以降の甕口縁端部片出土。
2S-58	土坑	C4	第１面	98	(47)	(8)	

第Ⅵ－１－１表　土坑、柱穴一覧表１

番号	種別	グリッド	遺構面	長径(cm)※	短径(cm)※	深さ(cm)※	備　　考
２S-60	土坑	Ｃ３	第１面	82	(70)	(5)	
２S-61	土坑	Ｅ７	第１面	25	20	(8)	
２S-62	土坑	Ｅ７	第１面	26	21	(35)	
２S-63	土坑	Ｅ７	第１面	50	41	(13)	
２S-64	土坑	Ｅ７	第１面	47	(43)	(13)	
２S-65	土坑	Ｅ６	第１面	46	(37)	(29)	
２S-67	土坑	Ｃ３	第１面	85	75	(40)	乙亥正Ⅷ期以降の土器片出土。
２S-68	土坑	Ｃ３	第１面	(75)	65	(49)	乙亥正Ⅷ期以降の土器片出土。
２S-69	土坑	Ｃ３	第１面	28	(24)	(31)	
２S-70	土坑	Ｄ３	第１面	45	35	(20)	
２S-71	土坑	Ｄ３	第１面	52	47	(15)	
２S-72	柱穴	Ｃ３	第１面	45	(35)	(54)	土器小片出土。
２S-74	土坑	Ｃ３	第１面	48	47	(24)	乙亥正Ⅵ～Ⅷ期頃の土器出土。
２S-75	柱穴	Ｃ３	第１面	(58)	50	(84)	乙亥正Ⅵ～Ｘ期頃の土器小片出土。
２S-76	土坑	Ｃ２	第１面	115	106	(26)	乙亥正Ⅲ～Ｘ期頃の土器小片出土。
２S-77	土坑	Ｃ２	第１面	23	18	(10)	
２S-78	土坑	Ｃ２	第１面	38	31	(30)	乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器片出土。
２S-79	土坑	Ｃ２	第１面	53	35	(43)	
２S-80	土坑	Ｄ２	第１面	94	58	(11)	乙亥正Ⅷ～Ｘ期頃の土器小片出土。
２S-81	土坑	Ｄ２	第１面	40	38	(21)	乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器小片出土。
２S-82	土坑	Ｄ２	第１面	25	20	(27)	
２S-83	土坑	Ｄ２	第１面	54	46	(13)	乙亥正Ⅲ～Ｘ期頃の土器小片出土。
２S-84	土坑	Ｄ２	第１面	55	41	(38)	
２S-85	土坑	Ｄ２	第１面	67	(43)	(25)	乙亥正Ⅴ期の甕出土。他に土師器の小片出土。
２S-86	土坑	Ｃ３	第１面	64	62	(39)	
２S-87	土坑	Ｃ３	第１面	65	16	(31)	乙亥正Ⅴ期～Ｘ期頃の土器出土。
２S-88	土坑	Ｃ３	第１面	(76)	66	(35)	乙亥正Ⅴ期の甕出土。
２S-89	土坑	Ｃ３	第１面	94	63	(25)	土器小片出土。
２S-90	土坑	Ｂ３	第１面	63	(29)	(24)	乙亥正Ｘ期の甕出土。
２S-92	土坑	Ｃ５	第１面	38	32	(30)	
２S-94	土坑	Ｃ５	第１面	32	25	(15)	
２S-95	土坑	Ｃ５	第１面	30	21	(18)	
２S-96	土坑	Ｃ５	第１面	25	22	(7)	
２S-149	土坑	Ｄ３	第１面	124	50	(20)	中世の鍋片出土。
２S-150	土坑	Ｄ５	第１面	(44)	34	(10)	
２S-268	土坑	Ｃ３	第１面	202	172	(32)	乙亥正Ⅲ～Ｘ期頃の土器小片出土。
２S-269	土坑	Ｃ３	第１面	96	89	(16)	
２S-343	柱穴	Ｄ６	第１面	(48)	(40)	(14)	
２S-361	柱穴	Ｄ５	第１面	(36)	(23)	(31)	乙亥正Ⅷ～Ｘ期頃の土器小片出土。
２S-370	土坑	Ｇ６	第１面	30	27	15	巴形銅器出土。
２S-372	土坑	Ｆ２	第１面	125	(38)	66	南側溝ベルトに連続しており未完掘。乙亥正Ⅴ期の土器小片出土。
２S-373	土坑	Ｆ２	第１面	(20)	(19)	14	
２S-374	土坑	Ｆ２	第１面	20	17	6	
２S-375	土坑	Ｅ２	第１面	47	37	47	乙亥正Ⅲ～Ｘ期の土器小片出土。
２S-376	柱穴	Ｆ２	第１面	80	33	27	柱根残存。乙亥正Ⅴ～Ｘ期頃の土器片出土。
２S-378	土坑	Ｅ・Ｆ２	第１面	60	43	23	乙亥正Ⅲ～Ｘ期頃の土器小片出土。
２S-379	土坑	Ｆ２	第１面	56	46	38	乙亥正Ⅲ～Ｘ期頃の土器小片出土。
２S-380	土坑	Ｆ２	第１面	(145)	61	12	乙亥正Ⅲ～Ｘ期頃の土器小片出土。
２S-382	土坑	Ｆ２	第１面	37	(36)	9	乙亥正Ⅲ～Ｘ期頃の土器小片出土。
２S-383	土坑	Ｆ２	第１面	21	18	9	乙亥正Ⅲ～Ｘ期頃の土器小片出土。
２S-384	土坑	Ｅ２	第１面	72	64	7	乙亥正Ⅲ～Ｘ期頃の土器小片出土。
２S-387	柱穴	Ｅ２	第１面	44	37	33	柱痕跡有。
２S-388	土坑	Ｅ２	第１面	57	(30)	13	古墳時代後期後葉の須恵器出土。

第Ⅵ－１－１表　土坑、柱穴一覧表２

番号	種別	グリッド	遺構面	長径(cm)※	短径(cm)※	深さ(cm)※	備　　考
2S-391	土坑	F2	第1面	32	26	32	
2S-392	土坑	F2	第1面	31	23	21	
2S-393	土坑	F2	第1面	55	54	44	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-394	土坑	F2	第1面	25	23	46	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-396	土坑	F2	第1面	43	32	36	
2S-397	柱穴	F2	第1面	28	26	23	柱痕跡有。
2S-398	土坑	E2	第1面	33	26	12	中世以降。
2S-399	土坑	E2	第1面	24	22	12	
2S-401	土坑	F3	第1面	22	21	18	
2S-402	土坑	E2	第1面	23	20	12	中世以降。
2S-403	土坑	E2	第1面	68	42	11	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-406	土坑	E2	第1面	34	27	17	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-408	土坑	E2	第1面	39	31	14	
2S-410	土坑	E2	第1面	41	33	11	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-412	土坑	E2	第1面	50	42	33	中世以降の土器片出土。
2S-413	土坑	E2	第1面	23	20	12	
2S-414	土坑	D2	第1面	(135)	127	49	乙亥正Ⅹ期の甕、高坏など出土。
2S-415	土坑	D2	第1面	18	18	10	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-416	土坑	E3	第1面	62	59	42	乙亥正Ⅹ期の土師器出土。
2S-417	土坑	D2	第1面	29	26	22	須恵器の小片が混じる。古墳時代後期以降。
2S-418	土坑	D3	第1面	29	29	25	乙亥正Ⅹ期の甕口縁部小片出土。
2S-419	柱穴	D3	第1面	46	37	14	柱根残存。乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-420	土坑	D3	第1面	(35)	(15)	13	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-421	土坑	D3	第1面	39	39	36	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-422	土坑	D3	第1面	27	26	18	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-423	柱穴	D3	第1面	32	28	30	柱根残存。乙亥正Ⅴ～Ⅹ期の壷口縁部出土。
2S-424	土坑	D3	第1面	30	28	15	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-425	土坑	D3	第1面	224	173	81	回転糸切りの椀、乙亥正Ⅹ期の甕口縁部出土。
2S-426	土坑	D3	第1面	51	47	26	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-427	土坑	D・E3	第1面	87	74	48	中世以降の陶磁器出土。
2S-428	土坑	E3	第1面	20	19	9	
2S-429	土坑	E3	第1面	21	18	6	乙亥正Ⅶ～Ⅷ期頃の甕口縁部出土。
2S-431	土坑	E3	第1面	41	(20)	15	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-432	土坑	E3	第1面	49	24	21	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-433	土坑	E3	第1面	23	20	11	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-434	土坑	E3	第1面	19	(18)	23	
2S-435	土坑	E3	第1面	15	13	39	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-436	土坑	E3	第1面	35	33	20	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-437	土坑	E3	第1面	45	36	30	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-438	土坑	E3	第1面	26	24	10	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-439	土坑	E3	第1面	29	20	20	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-440	土坑	E3	第1面	23	22	7	
2S-442	土坑	E3	第1面	30	27	39	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-443	土坑	E3	第1面	28	22	30	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-444	土坑	E3	第1面	16	13	8	
2S-445	柱穴	E3	第1面	37	32	38	柱痕跡有。乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-446	柱穴	E3	第1面	28	27	26	柱痕跡有。
2S-447	柱穴	E3	第1面	35	(30)	42	柱痕跡有。
2S-448	土坑	E3	第1面	52	34	22	
2S-449	土坑	E3	第1面	16	14	28	
2S-451	土坑	E3	第1面	15	14	16	
2S-452	土坑	E3	第1面	36	33	46	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-454	土坑	E3	第1面	31	25	62	乙亥正Ⅴ期の甕口縁部出土。

第Ⅵ－１－１表　土坑、柱穴一覧表３

番号	種別	グリッド	遺構面	長径(cm)※	短径(cm)※	深さ(cm)※	備　　考
２S-455	柱穴	Ｅ３	第１面	34	23	61	柱痕跡有。乙亥正Ⅷ～Ｘ期頃の土器小片出土。
２S-456	柱穴	Ｅ３	第１面	46	30	19	柱痕跡有。乙亥正Ⅲ～Ｘ期頃の土器小片出土。
２S-457	土坑	Ｅ３	第１面	63	39	21	乙亥正Ⅲ～Ｘ期頃の土器小片出土。
２S-458	土坑	Ｅ３	第１面	23	23	9	土器小片出土。
２S-459	土坑	Ｅ３	第１面	20	17	19	
２S-460	柱穴	Ｅ３	第１面	35	30	26	柱痕跡有。
２S-461	土坑	Ｅ３	第１面	(43)	30	46	土器小片出土。
２S-462	土坑	Ｅ３	第１面	(27)	26	47	乙亥正Ⅲ～Ｘ期頃の土器小片出土。
２S-463	土坑	Ｅ・Ｆ３	第１面	38	33	60	乙亥正Ⅷ～Ｘ期頃の甕口縁端部片出土。
２S-465	土坑	Ｆ３	第１面	(40)	25	7	
２S-466	土坑	Ｆ３	第１面	38	32	54	
２S-468	土坑	Ｆ３	第１面	35	35	44	土器小片出土。
２S-469	土坑	Ｆ３	第１面	19	18	9	
２S-470	土坑	Ｆ３	第１面	21	21	16	
２S-473	土坑	Ｆ３	第１面	22	21	17	
２S-474	土坑	Ｆ３	第１面	14	13	10	
２S-475	土坑	Ｆ３	第１面	25	25	3	
２S-476	土坑	Ｆ３	第１面	23	23	4	
２S-477	土坑	Ｆ３	第１面	74	63	52	乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器小片出土。
２S-478	土坑	Ｆ３	第１面	23	19	9	
２S-479	土坑	Ｄ２	第１面	77	32	38	乙亥正Ⅴ期の器台の他、乙亥正Ⅷ～Ｘ期頃の甕の口縁部出土。
２S-480	土坑	Ｅ２・３	第１面	27	25	12	乙亥正Ⅷ～Ｘ期頃の土器小片出土。
２S-481	土坑	Ｅ２	第１面	21	20	3	
２S-482	土坑	Ｆ３	第１面	28	12	37	乙亥正Ⅲ～Ｘ期頃の土器小片出土。
２S-483	柱穴	Ｅ２	第１面	24	23	15	柱痕跡有。
２S-485	土坑	Ｄ２	第１面	26	23	11	乙亥正Ⅷ～Ｘ期頃の土器小片出土。
２S-486	土坑	Ｄ・Ｅ４	第１面	113	59	5	乙亥正Ⅷ～Ｘ期頃の土器小片出土。
２S-489	土坑	Ｅ５	第１面	55	42	9	乙亥正Ⅷ期以降の土器小片出土。
２S-490	土坑	Ｅ５	第１面	47	44	20	乙亥正Ⅷ期以降の土器小片出土。
２S-491	土坑	Ｅ５	第１面	58	43	8	乙亥正Ⅷ期以降の土器小片出土。
２S-492	柱穴	Ｅ５	第１面	27	27	12	柱根残存。乙亥正Ⅷ～Ｘ期頃の土器小片出土。
２S-493	土坑	Ｅ５	第１面	96	89	20	乙亥正Ⅷ期以降の土器小片出土。
２S-495	土坑	Ｅ・Ｆ５	第１面	53	50	13	乙亥正Ⅷ期以降の土器小片出土。
２S-497	土坑	Ｅ４	第１面	42	35	46	乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器小片出土。
２S-498	土坑	Ｅ４	第１面	20	18	7	
２S-499	柱穴	Ｅ４	第１面	35	30	22	柱痕跡有。
２S-502	土坑	Ｅ４	第１面	31	29	8	
２S-503	土坑	Ｅ４	第１面	17	15	7	
２S-504	土坑	Ｆ２	第１面	43	24	18	土器小片出土。
２S-509	土坑	Ｆ５	第１面	23	22	14	乙亥正Ⅷ期以降の土器小片出土。
２S-512	土坑	Ｅ３	第１面	(33)	(27)	34	２S-450に切られる。
２S-513	柱穴	Ｅ６	第１面	44	35	23	柱痕跡有。
２S-514	土坑	Ｅ６	第１面	44	40	23	乙亥正Ⅷ～Ｘ期頃の土器出土。
２S-515	柱穴	Ｅ６	第１面	51	(23)	23	柱痕跡有。乙亥正Ⅷ期以降の土器小片出土。
２S-516	土坑	Ｅ６	第１面	41	36	14	乙亥正Ⅵ～Ⅷ期の土器小片出土。
２S-517	柱穴	Ｅ６	第１面	22	20	12	柱痕跡有。
２S-518	土坑	Ｅ６	第１面	36	32	10	
２S-519	土坑	Ｅ６	第１面	25	23	4	
２S-520	柱穴	Ｅ６	第１面	46	42	11	柱痕跡有。乙亥正Ⅷ期以降の土器小片出土。
２S-521	土坑	Ｅ６	第１面	35	20	19	乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器小片出土。
２S-522	土坑	Ｅ６	第１面	45	43	8	
２S-523	土坑	Ｅ６	第１面	68	43	5	

第Ⅵ－１－１表　土坑、柱穴一覧表４

番号	種別	グリッド	遺構面	長径(cm)※	短径(cm)※	深さ(cm)※	備　　考
2S-526	柱穴	E6	第1面	41	35	27	柱痕跡有。乙亥正Ⅷ～X期頃の土器出土。
2S-527	土坑	E6	第1面	35	33	28	
2S-528	柱穴	E6	第1面	39	38	13	柱痕跡有。乙亥正Ⅷ期以降の土器小片出土。
2S-529	土坑	E6	第1面	41	33	5	乙亥正Ⅶ～乙亥正X期頃の土器小片出土。
2S-530	土坑	E6	第1面	58	43	37	乙亥正Ⅷ～X期頃の土器出土。
2S-531	土坑	E6	第1面	50	36	22	
2S-532	土坑	E6	第1面	52	34	13	乙亥正Ⅲ～X期頃の土器小片出土。
2S-533	土坑	E6	第1面	43	39	11	
2S-534	柱穴	E6	第1面	39	33	19	柱痕跡有。乙亥正Ⅲ～X期頃の土器小片出土。
2S-536	土坑	E6	第1面	56	33	8	乙亥正Ⅲ～X期頃の土器小片出土。
2S-537	柱穴	E6	第1面	(70)	48	60	柱痕跡有。乙亥正Ⅷ～X期頃の土器出土。
2S-538	柱穴	E6	第1面	42	34	33	柱痕跡有。乙亥正Ⅷ～X期頃の土器小片出土。
2S-539	土坑	E6	第1面	(48)	35	21	乙亥正Ⅷ期以降の土器小片出土。
2S-540	土坑	E6	第1面	32	29	7	乙亥正Ⅷ期以降の土器小片出土。
2S-541	土坑	E6	第1面	28	22	15	
2S-542	土坑	E6	第1面	(41)	(18)	17	
2S-543	土坑	E6	第1面	(28)	(25)	(10)	
2S-545	土坑	F6	第1面	(35)	31	8	2S-546に切られる。乙亥正Ⅷ期以降の土器小片出土。
2S-546	土坑	F6	第1面	29	27	7	2S-545を切る。
2S-547	土坑	F6	第1面	33	22	17	乙亥正Ⅷ～X期頃の土器出土。
2S-548	土坑	F6	第1面	54	33	21	乙亥正Ⅲ～X期頃の土器小片出土。
2S-549	土坑	F6	第1面	41	28	20	乙亥正Ⅲ～X期頃の土器小片出土。
2S-551	土坑	F7	第1面	39	35	33	乙亥正Ⅷ～X期頃の土器出土。
2S-552	土坑	F7	第1面	40	34	55	乙亥正Ⅷ～X期頃の土器出土。
2S-553	柱穴	F7	第1面	45	39	42	柱痕跡有。
2S-554	土坑	F7	第1面	24	22	42	
2S-555	土坑	F7	第1面	53	47	47	乙亥正Ⅷ～X期頃の土器出土。
2S-557	柱穴	E7	第1面	35	24	15	柱痕跡有。乙亥正Ⅷ期以降の土器小片出土。
2S-558	土坑	E7	第1面	48	45	48	乙亥正Ⅲ～V期の土器出土。
2S-559	土坑	E7	第1面	78	59	6	乙亥正Ⅷ期以降の土器小片出土。
2S-562	土坑	E7	第1面	32	22	29	
2S-563	柱穴	E7	第1面	30	27	64	柱痕跡有。乙亥正Ⅷ期以降の土器小片出土。
2S-564	土坑	E7	第1面	39	36	28	乙亥正Ⅷ期以降の土器小片出土。
2S-565	土坑	E7	第1面	40	24	4	
2S-566	土坑	E7	第1面	15	13	23	乙亥正Ⅷ期以降の土器小片出土。
2S-567	土坑	E7	第1面	25	24	12	乙亥正Ⅲ～V期の土器出土。
2S-568	柱穴	E7	第1面	31	23	42	柱痕跡有。乙亥正Ⅷ期頃の土器小片出土。
2S-569	土坑	E7	第1面	46	43	77	乙亥正Ⅷ～X期頃の土器小片出土。
2S-570	土坑	E7	第1面	79	54	4	乙亥正Ⅷ期以降の土器小片出土。
2S-571	土坑	E7	第1面	29	25	30	乙亥正Ⅷ期以降の土器小片出土。
2S-572	土坑	F7	第1面	(38)	32	7	
2S-576	柱穴	F2	第1面	96	62	76	柱根残存。根石有。中世羽釜片出土。
2S-577	土坑	E6	第1面	28	23	4	
2S-578	土坑	E6	第1面	29	26	22	乙亥正Ⅷ～X期頃の土器小片出土。
2S-579	柱穴	E6	第1面	43	42	15	柱痕跡有。
2S-580	土坑	G・H6	第1面	30	25	41	
2S-581	土坑	G6	第1面	26	25	31	
2S-582	土坑	G6	第1面	30	27	25	
2S-583	土坑	G6	第1面	59	57	47	
2S-586	土坑	H6	第1面	37	33	18	
2S-587	土坑	G6	第1面	21	20	13	
2S-588	土坑	E7	第1面	22	22	20	
2S-589	土坑	E3	第1面	30	25	39	

第Ⅵ－1－1表　土坑、柱穴一覧表5

番号	種別	グリッド	遺構面	長径(cm)※	短径(cm)※	深さ(cm)※	備　　考
２S-590	土坑	Ｅ６	第１面	(53)	41	38	
２S-591	土坑	Ｅ６	第１面	35	34	11	
２S-592	土坑	Ｅ６	第１面	(52)	32	28	乙亥正Ⅷ期以降の土器小片出土。
２S-593	土坑	Ｅ６	第１面	148	126	68	乙亥正Ⅲ期以降の土器、板材等出土。
２S-594	土坑	Ｅ６	第１面	37	32	26	乙亥正Ⅷ～Ｘ期の土器小片出土。
２S-598	柱穴	Ｅ６	第１面	42	36	23	柱痕跡有。２S-599を切る。乙亥正Ⅷ期以降の土器小片出土。
２S-599	柱穴	Ｅ６	第１面	43	(33)	28	柱痕跡有。２S-598に切られる。乙亥正Ⅷ期以降の土器小片出土。
２S-600-Ｐ１	柱穴	Ｈ６	第１面	40	30	15	竪穴住居(２S-600)の主柱穴。根石有。
２S-600-Ｐ２	柱穴	Ｈ６	第１面	41	30	10	竪穴住居(２S-600)の主柱穴。根石有。
２S-603	柱穴	Ｆ７	第１面	(47)	46	23	柱痕跡有。乙亥正Ⅷ期以降の土器小片出土。
２S-604	土坑	Ｅ６	第１面	27	(19)	5	
２S-605	土坑	Ｅ６	第１面	(30)	22	16	
２S-607	土坑	Ｅ３	第１面	23	18	8	
２S-608	土坑	Ｅ３	第１面	(52)	42	8	
２S-609	土坑	Ｅ３	第１面	50	38	37	
２S-610	土坑	Ｇ６	第１面	(360)	140	81	
２S-611	土坑	Ｆ５	第１面	54	37	21	乙亥正Ⅲ～Ｖ期の土器小片出土。
２S-612	柱穴	Ｅ４	第１面	44	33	22	柱根残存。
２S-613	土坑	Ｆ３	第１面	61	43	15	
２S-614	柱穴	Ｅ６・７	第１面	27	27	24	柱痕跡有。乙亥正Ⅷ～Ｘ期頃の土器小片出土。
２S-615	土坑	Ｅ６	第１面	20	18	7	
２S-616	土坑	Ｅ６	第１面	37	33	16	乙亥正Ⅷ期以降の土器小片出土。
２S-617	土坑	Ｅ６	第１面	21	16	7	
２S-618	土坑	Ｅ６	第１面	29	28	4	乙亥正Ⅶ～Ⅷ期頃の土器出土。
２S-619	柱穴	Ｅ６	第１面	25	21	20	柱痕跡有。乙亥正Ⅷ期以降の土器小片出土。
２S-620	柱穴	Ｅ６	第１面	26	24	16	根石有。
２S-621	柱穴	Ｅ６	第１面	46	42	29	柱痕跡有。乙亥正Ⅷ期以降の土器小片出土。
２S-622	土坑	Ｆ６	第１面	24	21	17	
２S-644	土坑	Ｄ４	第１面	67	46	27	Ｖ層下面で検出。埋土の特徴からⅡ層下面帰属。乙亥正Ｘ期の土器小片出土。
２S-649	土坑	Ｄ３	第１面	49	33	22	乙亥正Ⅷ～Ｘ期の土器小片出土。
２S-686	土坑	Ｄ５	第１面	29	27	12	
２S-687	土坑	Ｄ５	第１面	56	47	20	
２S-688	土坑	Ｄ５	第１面	22	20	5	
２S-691	土坑	Ｄ５	第１面	50	39	15	乙亥正Ⅷ期以降の土器小片出土。
２S-692	土坑	Ｄ５	第１面	29	27	14	乙亥正Ⅷ期以降の土器小片出土。
２S-693	土坑	Ｄ５	第１面	43	43	13	
２S-694	土坑	Ｄ５	第１面	50	47	16	
２S-695	土坑	Ｄ５	第１面	29	22	3	
２S-697	土坑	Ｄ・Ｅ５	第１面	36	30	22	土師器小片出土。
２S-732	柱穴	Ｄ５	第１面	(39)	(27)	20	柱痕跡有。
２S-740	柱穴	Ｅ６	第１面	43	34	20	柱痕跡有。乙亥正Ｖ期の土器出土。
２S-741	土坑	Ｅ６	第１面	67	53	19	
２S-750	土坑	Ｆ２	第１面	(97)	(87)	26	乙亥正Ｖ期の甕出土。
２S-786	土坑	Ｅ３	第１面	(67)	(43)	10	Ｖ-４層下面で検出。埋土の特徴からⅡ層下面帰属。２S-787を切る。乙亥正Ｖ期、乙亥正Ⅸ期の甕出土。
２S-787	土坑	Ｅ３	第１面	90	(77)	31	Ｖ-４層下面で検出。埋土の特徴からⅡ層下面帰属。乙亥正Ｖ期、乙亥正Ⅸ期の甕出土。。
２S-804	柱穴	Ｆ４	第１面	41	34	19	柱痕跡有。
２S-805	柱穴	Ｅ３	第１面	28	22	30	
２S-806	土坑	Ｅ３	第１面	31	29	2	
２S-807	土坑	Ｅ３	第１面	33	31	25	
２S-808	土坑	Ｅ３	第１面	(39)	(35)	6	

第Ⅵ－１－１表　土坑、柱穴一覧表６

番号	種別	グリッド	遺構面	長径(cm)※	短径(cm)※	深さ(cm)※	備　　考
2S-809	土坑	F3	第1面	23	21	24	
2S-810	土坑	F3	第1面	29	(29)	10	
2S-811	柱穴	F3	第1面	33	30	37	柱痕跡有。
2S-812	土坑	F3	第1面	23	20	13	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-813	土坑	F3	第1面	32	29	39	
2S-814	土坑	F3	第1面	24	19	15	
2S-815	土坑	E・F3	第1面	48	(34)	38	
2S-816	土坑	E3	第1面	22	17	14	
2S-817	柱穴	E3	第1面	41	32	32	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-819	土坑	E3	第1面	(38)	(34)	7	
2S-823	土坑	F6	第1面	21	18	8	
2S-842	土坑	F7	第1面	132	126	63	
2S-843	土坑	F6	第1面	32	31	24	
2S-846	土坑	F7	第1面	90	71	35	
2S-849	土坑	F7	第1面	27	17	25	
2S-850	土坑	F7	第1面	32	23	50	
3S-62	柱穴	C1	第1面	(36)	(26)	(62)	Ⅴ層下面調査中に検出。埋土の特徴からⅡ層下面帰属。
3S-63	土坑	C1	第1面	53	45	(45)	Ⅴ層下面調査中に検出。埋土内からは木器が出土。埋土の特徴からⅡ層下面帰属。
3S-64	土坑	C1	第1面	76	62	(28)	Ⅴ層下面調査中に検出。埋土の特徴からⅡ層下面帰属。
3S-65	土坑	C1	第1面	(36)	(27)	(63)	Ⅴ層下面調査中に検出。3S-62と重複し切る。埋土の特徴からⅡ層下面に帰属。乙亥正Ⅲ～Ⅴ期の土器片出土。
3S-72	柱穴	C1	第1面	(48)	(42)	(61)	Ⅴ層下面調査中に検出。埋土の特徴からⅡ層下面帰属。
2S-97	土坑	D9	第2面	43	38	(17)	
2S-98	土坑	D9	第2面	(26)	25	(13)	
2S-99	土坑	E9	第2面	44	33	(24)	
2S-100	土坑	E9	第2面	30	29	(20)	2S-105を切る。
2S-101	土坑	E9	第2面	(30)	(21)	(39)	
2S-102	土坑	E9	第2面	35	33	(10)	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-103	土坑	E9	第2面	26	25	(10)	
2S-104	柱穴	E9	第2面	42	41	(46)	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-105	土坑	E9	第2面	(55)	(45)	(37)	2S-100を切る。乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器出土。
2S-106	柱穴	E9	第2面	59	53	54	古墳時代後期の須恵器出土。
2S-107	土坑	E9	第2面	35	33	(45)	2S-108を切る。乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-108	柱穴	E9	第2面	40	34	(48)	2S-107に切られる。
2S-220	土坑	D・E9	第2面	(108)	59	(14)	古代の須恵器片出土。
2S-625	土坑	G7	第2面	(91)	82	15	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器出土。
2S-639	土坑	E4	第2面	28	27	12	須恵器小片出土。
2S-109	土坑	E9	第3面	41	35	(41)	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-110	土坑	D9	第3面	24	22	(19)	土器小片出土。
2S-111	土坑	D9	第3面	68	53	(15)	古墳時代後期の土器片出土。
2S-112	柱穴	D9	第3面	30	29	(25)	
2S-113	土坑	D9	第3面	21	20	(6)	2S-160に切られる。
2S-114	土坑	D9	第3面	31	(30)	(30)	
2S-115	土坑	D9	第3面	40	20	(10)	
2S-116	土坑	D9	第3面	(36)	(33)	(20)	
2S-117	土坑	E9	第3面	32	30	(24)	
2S-118	土坑	D9	第3面	27	26	(30)	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-119	土坑	D9	第3面	25	23	(25)	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-120	土坑	D9	第3面	34	34	(18)	乙亥正Ⅴ期の土器片出土。
2S-121	土坑	D9	第3面	36	33	(23)	
2S-122	土坑	E9	第3面	41	37	(46)	
2S-124	土坑	D8	第3面	37	32	(8)	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-130	土坑	D8	第3面	28	25	(25)	

第Ⅵ－1－1表　土坑、柱穴一覧表7

番号	種別	グリッド	遺構面	長径(cm)※	短径(cm)※	深さ(cm)※	備　　考
２S-132	土坑	Ｄ７	第３面	31	25	(17)	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器片出土。
２S-133	土坑	Ｄ７	第３面	25	22	(16)	乙亥正Ⅶ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
２S-134	土坑	Ｄ７	第３面	29	26	(12)	
２S-135	土坑	Ｄ７	第３面	60	(41)	(14)	
２S-136	土坑	Ｄ８	第３面	40	36	(36)	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
２S-137	土坑	Ｄ８	第３面	26	21	(6)	
２S-139	土坑	Ｄ７	第３面	(29)	(25)	(15)	
２S-140	土坑	Ｄ２	第３面	50	(44)	(28)	
２S-141	土坑	Ｄ３	第３面	(45)	44	(26)	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
２S-142	土坑	Ｃ２	第３面	39	(33)	(21)	
２S-143	土坑	Ｃ３	第３面	38	31	(10)	
２S-144	土坑	Ｃ３	第３面	95	(36)	(6)	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
２S-145	土坑	Ｃ３	第３面	49	(46)	(6)	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
２S-146	土坑	Ｃ３	第３面	17	14	(7)	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
２S-147	土坑	Ｂ３	第３面	37	32	(9)	乙亥正Ⅲ～Ⅶ期頃の土器出土。
２S-152	柱穴	Ｄ５	第３面	23	20	(24)	断割内から土器多数出土。
２S-153	土坑	Ｄ５	第３面	(19)	17	(10)	
２S-154	土坑	Ｄ５	第３面	65	53	(17)	
２S-155	柱穴	Ｂ４	第３面	28	24	(34)	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
２S-156	土坑	Ｃ４	第３面	35	(34)	(9)	
２S-157	土坑	Ｄ６	第３面	50	44	(7)	
２S-158	土坑	Ｄ６	第３面	45	31	(13)	２S-159に切られる。
２S-159	土坑	Ｄ６	第３面	31	28	(10)	２S-158を切る。
２S-160	土坑	Ｄ９	第３面	(52)	38	(28)	２S-113を切る。
２S-194	土坑	Ｅ９	第３面	27	25	(24)	２S-321を切る。
２S-319	柱穴	Ｄ９	第３面	(48)	47	(53)	
２S-321	柱穴	Ｅ９	第３面	(63)	(50)	(48)	２S-194に切られる。
２S-628	土坑状遺構	Ｇ・Ｈ７	第３面	(298)	(211)	(50)	２S-626を切る。須恵器出土。
２S-162	土坑	Ｄ２	第４面	(38)	34	(27)	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
２S-163	土坑	Ｄ２	第４面	34	32	(20)	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
２S-164	土坑	Ｄ３	第４面	47	42	(8)	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
２S-166	土坑	Ｄ３	第４面	43	33	(34)	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
２S-168	土坑	Ｃ３	第４面	53	37	(15)	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
２S-170	土坑	Ｃ３	第４面	20	13	(19)	
２S-171	土坑	Ｃ３	第４面	(67)	(50)	(35)	乙亥正Ⅴ期の土器片出土。
２S-172	土坑	Ｃ３	第４面	(30)	23	(7)	
２S-173	土坑	Ｃ３	第４面	(37)	(20)	(7)	
２S-174	土坑	Ｃ３	第４面	47	45	(20)	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
２S-175	土坑	Ｃ３	第４面	23	(21)	(19)	
２S-176	土坑	Ｃ３	第４面	(27)	(22)	(14)	
２S-177	土坑	Ｃ３	第４面	28	18	(7)	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
２S-178	土坑	Ｃ２	第４面	50	45	(32)	乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器小片出土。
２S-179	土坑	Ｃ４	第４面	(42)	42	(16)	
２S-181	土坑	Ｄ４	第４面	50	26	(27)	
２S-182	土坑	Ｄ４	第４面	41	(28)	(21)	
２S-183	土坑	Ｃ５	第４面	60	57	(20)	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器出土。
２S-184	土坑	Ｄ６	第４面	51	40	(8)	
２S-185	土坑	Ｄ６	第４面	45	43	(16)	
２S-187	土坑	Ｄ６	第４面	52	(40)	(15)	
２S-190	土坑	Ｅ９	第４面	32	30	(20)	２S-335を切る。乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器出土。
２S-191	土坑	Ｅ９	第４面	(30)	(25)	(14)	
２S-192	柱穴	Ｄ９	第４面	(53)	42	(29)	土器小片出土。
２S-193	柱穴	Ｄ９	第４面	58	－	(35)	２S-365を切る。胴部片出土。
２S-196	柱穴	Ｅ９	第４面	37	32	(20)	
２S-197	土坑	Ｅ９	第４面	(18)	15	(16)	
２S-198	土坑	Ｄ９	第４面	18	14	(3)	
２S-199	土坑	Ｄ９	第４面	30	28	(22)	

第Ⅵ－１－１表　土坑、柱穴一覧表８

番号	種別	グリッド	遺構面	長径(cm)※	短径(cm)※	深さ(cm)※	備　　考
2S-200	柱穴	D9	第4面	(34)	31	(22)	乙亥正Ⅴ期の土器片出土。
2S-201	土坑	D5	第4面	28	(17)	(14)	近接する2S-152の断割調査によって南半は消失。乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器出土。
2S-202	土坑	D9	第4面	45	34	(39)	
2S-203	土坑	D9	第4面	24	18	(22)	
2S-204	土坑	D9	第4面	27	25	(23)	
2S-205	土坑	D9	第4面	29	27	(21)	
2S-206	土坑	D9	第4面	(44)	(19)	(12)	
2S-208	柱穴	D9	第4面	(38)	(19)	(24)	土器片出土。
2S-209	土坑	D9	第4面	28	19	(10)	
2S-210	土坑	D9	第4面	(35)	(31)	(43)	2S-211に切られる。
2S-211	土坑	E9	第4面	19	11	(19)	2S-210を切る。
2S-212	土坑	E8	第4面	(37)	34	(9)	乙亥正Ⅶ～Ⅹ期頃の土器出土。
2S-213	土坑	D8	第4面	31	26	(28)	
2S-214	土坑	E8	第4面	(17)	(16)	(7)	
2S-215	土坑	E8	第4面	18	13	(6)	
2S-216	土坑	D8	第4面	(22)	(21)	(27)	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-217	土坑	D8	第4面	45	41	(31)	乙亥正Ⅴ期の土器片出土。
2S-218	土坑	D8	第4面	(41)	39	(19)	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-219	土坑	D8	第4面	(34)	19	(20)	南側は中央側溝により消滅。乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-221	土坑	D7	第4面	53	(36)	(8)	西側は攪乱により消滅。
2S-222	土坑	D7	第4面	(50)	(45)	(25)	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器片出土。
2S-223	土坑	D7	第4面	68	(52)	(30)	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-225	土坑	D7	第4面	(58)	(35)	(28)	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-226	土坑	D7	第4面	37	22	(14)	
2S-227	土坑	D7	第4面	(84)	(69)	(14)	
2S-228	土坑	D7	第4面	32	30	(17)	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-229	土坑	D7	第4面	43	30	(18)	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-230	土坑	D7	第4面	(39)	(30)	(13)	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-231	土坑	D7	第4面	(44)	(37)	(24)	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-233	土坑	D7	第4面	12	(11)	(6)	
2S-234	土坑	D7	第4面	22	13	(7)	
2S-235	土坑	D7	第4面	(34)	33	(22)	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-236	土坑	D7	第4面	29	28	(15)	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-237	土坑	D7	第4面	(43)	(40)	(22)	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器出土。
2S-238	土坑	D7	第4面	(26)	(16)	(29)	
2S-239	土坑	D7	第4面	47	42	(36)	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器出土。
2S-240	土坑	D7	第4面	(33)	(23)	(29)	乙亥正Ⅶ～Ⅷ期頃の土器出土。
2S-241	土坑	D7	第4面	31	29	(42)	
2S-242	土坑	D7	第4面	(260)	(180)	(18)	
2S-243	土坑	D7	第4面	(110)	(44)	(9)	2S-244を切る。
2S-244	土坑	D7	第4面	(156)	(40)	(8)	2S-254を切り、2S-243に切られる。
2S-246	土坑	D7	第4面	45	(30)	(26)	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-247	土坑	D7	第4面	(34)	30	(45)	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-249	土坑	D7	第4面	(65)	43	(17)	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-253	土坑	D7	第4面	(22)	(18)	(11)	
2S-255	土坑	D7	第4面	35	(31)	(12)	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器出土。
2S-256	土坑	D7	第4面	37	37	(15)	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器出土。
2S-257	土坑	D7	第4面	48	(38)	(8)	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-259	土坑	D7	第4面	(35)	33	(39)	
2S-260	土坑	D8	第4面	100	62	(49)	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-263	土坑	D9	第4面	24	24	(18)	
2S-264	土坑	D9	第4面	42	40	(19)	2S-365を切る。
2S-288	土坑	D7	第4面	25	(13)	(17)	
2S-299	土坑	D8	第4面	(28)	(18)	(24)	西側は北側溝により消滅。
2S-300	土坑	D7	第4面	(51)	(49)	(42)	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器出土。
2S-301	土坑	D7	第4面	33	(30)	(15)	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-306	土坑	D3	第4面	45	37	(15)	乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器小片出土。
2S-307	柱穴	B3	第4面	—	—	—	柱根のみ検出。
2S-317	土坑	D5	第4面	171	(102)	(18)	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器出土。
2S-318	柱穴	D4	第4面	(37)	(18)	(28)	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器小片出土。

第Ⅵ－1－1表　土坑、柱穴一覧表9

番号	種別	グリッド	遺構面	長径(cm)※	短径(cm)※	深さ(cm)※	備　　考
２S-320	土坑	D９	第４面	(23)	(14)	(6)	２S-365を切り、２S-329に切られる。
２S-322	土坑	E10	第４面	(58)	(35)	(52)	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
２S-325	土坑	E10	第４面	(60)	(45)	(35)	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器出土。
２S-327	柱穴	E10	第４面	39	37	(43)	
２S-328	土坑	D10	第４面	47	(43)	(9)	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
２S-329	土坑	D９	第４面	42	(41)	(24)	２S-319・320・365を切る。
２S-330	土坑	E９	第４面	(30)	(27)	(10)	
２S-331	土坑	E９	第４面	(17)	(13)	(15)	
２S-335	土坑	E９	第４面	43	(39)	(22)	２S-190に切られる。乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器出土。
２S-336	土坑	D10	第４面	(43)	(34)	(12)	古墳時代前期の土器出土。
２S-337	土坑	E10	第４面	(81)	(30)	(14)	２S-338を切る。
２S-338	土坑	E10	第４面	(55)	(36)	(7)	２S-337に切られる。
２S-344	柱穴	D４	第４面	35	25	(10)	土器胴部片出土。
２S-346	土坑	D５	第４面	(19)	(14)	(14)	２S-353を切る。
２S-350	土坑	E10	第４面	(35)	34	(29)	北側は北側溝により消滅。乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
２S-352	土坑	D７	第４面	(28)	(15)	(33)	
２S-353	土坑	D６	第４面	(80)	(36)	(26)	２S-347を切り、２S-346に切られる。
２S-354	土坑	D７	第４面	(94)	(57)	(8)	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
２S-362	土坑	E10	第４面	23	(17)	(29)	
２S-365	土坑	D９	第４面	(107)	(54)	(27)	２S-193・220・264・319・320・329に切られる。
２S-366	土坑	E９	第４面	(17)	(16)	(8)	
２S-632	土坑	F４	第４面	20	(19)	19	
２S-633	土坑	E４	第４面	32	28	4	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
２S-634	土坑	F４	第４面	76	34	15	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
２S-635	土坑	F４	第４面	18	17	4	
２S-636	柱穴	F４	第４面	34	29	23	柱痕跡有。
２S-642	土坑	D４	第４面	24	23	20	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
２S-643	土坑	D４	第４面	75	53	29	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
２S-646	土坑	E４	第４面	20	(19)	23	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
２S-647	土坑	E４	第４面	78	71	41	底面で板石が出土。
２S-648	柱穴	D３	第４面	41	26	5	柱根残存。乙亥正Ⅸ期の土器出土。
２S-651	土坑	D３	第４面	41	38	28	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
２S-652	土坑	D３	第４面	30	29	20	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
２S-653	土坑	D３	第４面	25	24	28	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
２S-654	土坑	D３	第４面	23	21	6	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器出土。
２S-655	土坑	E３	第４面	19	14	10	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
２S-656	土坑	D４	第４面	22	21	8	
２S-659	土坑	F６	第４面	48	42	9	乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器出土。
２S-665	土坑	E３	第４面	23	21	10	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
２S-667	柱穴	D４	第４面	(46)	(37)	57	柱痕跡有。
２S-262	土坑	B３	第５面	(44)	41	(14)	乙亥正Ⅴ期の土器出土。
２S-270	土坑	C３	第５面	(56)	(46)	(23)	乙亥正Ⅲ～Ⅴ期の土器片出土。
２S-271	土坑	B３	第５面	(17)	(16)	(7)	
２S-272	土坑	C３	第５面	(28)	28	(12)	乙亥正Ⅴ期の土器出土。
２S-273	土坑	C３	第５面	39	(30)	(32)	
２S-274	土坑	C３	第５面	(45)	38	(53)	乙亥正Ⅲ～Ⅸ期頃の土器小片出土。
２S-275	土坑	D３	第５面	31	(29)	(11)	
２S-276	土坑	D３	第５面	(51)	50	(6)	
２S-277	土坑	C３	第５面	39	(36)	(20)	
２S-278	柱穴	C３	第５面	30	24	(24)	
２S-279	土坑	C３	第５面	33	32	(8)	
２S-280	土坑	C３	第５面	32	(28)	(23)	
２S-281	土坑	C３	第５面	(35)	(35)	(26)	
２S-282	土坑	C３	第５面	(27)	20	(15)	
２S-283	土坑	B２	第５面	(23)	(19)	(17)	
２S-284	土坑	B２	第５面	(29)	(23)	(26)	
２S-285	土坑	B２	第５面	(22)	(17)	(22)	
２S-286	土坑	C２	第５面	(33)	(15)	(29)	
２S-287	土坑	C２	第５面	(18)	(17)	(42)	
２S-289	柱穴	D２	第５面	34	31	(38)	
２S-291	柱穴	C３	第５面	(48)	(35)	(35)	
２S-293	土坑	C２	第５面	(30)	29	(11)	
２S-294	土坑	C３	第５面	(55)	(20)	(34)	
２S-295	土坑	C３	第５面	(23)	17	(12)	
２S-296	土坑	C３	第５面	(30)	28	(12)	
２S-297	柱穴	C２	第５面	14	13	(8)	
２S-298	杭	D２	第５面	—	—	—	杭跡。
２S-302	土坑	B２	第５面	(16)	(11)	(16)	

第Ⅵ－１－１表　土坑、柱穴一覧表10

番号	種別	グリッド	遺構面	長径(cm)※	短径(cm)※	深さ(cm)※	備　　考
2S-303	土坑	C3	第5面	(32)	30	(18)	
2S-304	土坑	C3	第5面	(48)	46	(14)	
2S-305	土坑	C2	第5面	(42)	(39)	(30)	
2S-308	土坑	C3	第5面	(40)	(14)	(23)	
2S-312	柱穴	C3	第5面	(37)	(26)	(46)	
2S-704	柱穴	E4	第5面	45	42	31	柱根残存。乙亥正Ⅷ～Ⅸ期頃の土器小片出土。
2S-705	柱穴	E4	第5面	(42)	(23)	57	柱根残存。乙亥正Ⅷ～Ⅸ期頃の土器出土。
2S-707	柱穴	E4	第5面	32	27	11	柱根残存。乙亥正Ⅲ～Ⅸ期頃の土器片出土。
2S-708	土坑	E4	第5面	22	21	33	乙亥正Ⅷ～Ⅸ期頃の土器出土。
2S-709	土坑	E4	第5面	38	(23)	7	乙亥正Ⅲ～Ⅸ期頃の土器小片出土。
2S-713	柱穴	D4	第5面	57	43	26	柱根残存。根石有。乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-715	柱穴	D4	第5面	47	38	25	2S-714竪穴住居の主柱穴。柱根残存。乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-717	土坑	D4	第5面	32	25	11	
2S-718	土坑	D4	第5面	(32)	(28)	44	
2S-721	土坑	E4	第5面	22	14	5	
2S-722	土坑	E4	第5面	(38)	(20)	27	
2S-723	土坑	D3	第5面	(47)	(38)	16	
2S-727	土坑	D・E3	第5面	50	45	7	乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器小片出土。
2S-729	土坑	E3	第5面	52	49	9	乙亥正Ⅷ～Ⅸ期頃の土器出土。
2S-731	土坑	E5	第5面	45	40	8	乙亥正Ⅷ～Ⅸ期頃の土器出土。
2S-736	柱穴	E4	第5面	(52)	(45)	51	2S-714竪穴住居の主柱穴。柱痕跡有。乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-737	土坑	E4	第5面	26	20	5	
2S-739	土坑	G6	第5面	301	170	20	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器出土。
2S-743	土坑	E3	第5面	26	16	5	乙亥正Ⅲ～Ⅸ期頃の土器小片出土。
2S-749	土坑	E2	第5面	38	38	23	乙亥正Ⅲ～Ⅸ期頃の土器小片出土。
2S-751	土坑	G7	第5面	212	(120)	(38)	乙亥正Ⅲ～Ⅹ期頃の土器出土。
2S-752	柱穴	D・E4	第5面	100	46	59	柱根残存。乙亥正Ⅷ～Ⅹ期頃の土器小片出土。
2S-761	柱穴	E5	第5面	(1.00)	(0.82)	40	礎板有り。
3S-4	土坑	B2	第5面	(21)	(20)	(22)	3S-3を切る。雨により崩落した為、平面形は断面図から復元。
3S-6	土坑	B2	第5面	(30)	20	(11)	3S-3を切る。
3S-7	土坑	B2	第5面	(17)	(8)	(5)	3S-3を切る。雨により崩落した為、平面形は断面図から復元した。
3S-9	土坑	B2	第5面	36	(22)	(3)	3S-3を切る。
3S-10	柱穴	B2	第5面	(27)	(26)	(11)	3S-3を切る。
3S-11	土坑	B2	第5面	(32)	(24)	(24)	3S-3を切る。
3S-12	土坑	B2	第5面	(21)	(20)	(10)	3S-3を切る。
3S-13	土坑	B2	第5面	42	31	(26)	3S-3を切る。
3S-14	土坑	B2	第5面	(96)	(52)	(22)	3S-3を切る。乙亥正Ⅲ期の土器出土。
3S-16	土坑	C2	第5面	(52)	41	(27)	3S-3を切る。
3S-18	土坑	C2	第5面	19	17	(7)	3S-3を切る。
3S-19	柱穴	C2	第5面	(34)	23	(28)	柱痕残存。3S-3を切る。
3S-21	土坑	C2	第5面	78	31	(4)	3S-3を切る。
3S-23	土坑	C2	第5面	(28)	(25)	(5)	
3S-26	土坑	C2	第5面	(21)	(19)	(9)	3S-3を切る。
3S-27	土坑	B2	第5面	17	16	(10)	3S-3を切る。
3S-28	土坑	B2	第5面	(110)	(64)	(36)	3S-3を切る。
3S-29	土坑	B1	第5面	(92)	(36)	(14)	3S-3を切る。乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器小片出土。
3S-30	土坑	B2	第5面	(28)	(24)	(15)	3S-3を切る。
3S-31	土坑	B2	第5面	(31)	(30)	(24)	3S-3を切る。柱痕残存。乙亥正Ⅵ～Ⅷ期頃の土器片出土。
3S-32	土坑	C2	第5面	30	20	(8)	3S-3を切る。
3S-33	土坑	B1	第5面	(119)	78	(20)	3S-3を切り、3S-42・43に切られる。乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器片出土。
3S-34	土坑	C1	第5面	(19)	(16)	(12)	3S-3を切る。
3S-35	柱穴	C2	第5面	(28)	(22)	(16)	3S-3を切る。
3S-36	土坑	B1	第5面	(46)	(42)	(17)	3S-3を切る。
3S-37	柱穴	B1	第5面	(50)	40	(9)	3S-3を切る。
3S-38	土坑	B2	第5面	(20)	(14)	(18)	3S-3を切る。
3S-41	土坑	B1	第5面	(97)	47	(8)	3S-3を切る。甑形土器の把手出土。
3S-42	土坑	B1	第5面	(28)	(22)	(14)	3S-3と3S-33を切る。
3S-43	土坑	B1	第5面	(30)	(24)	(27)	3S-3と3S-33を切る。
3S-44	土坑	D1	第5面	49	37	(12)	3S-39を切る。
3S-45	土坑	D0	第5面	(75)	70	(24)	
3S-46	土坑	D2	第5面	61	36	(10)	3S-39を切る。板状木器出土。
3S-47	土坑	C1	第5面	41	30	(11)	
3S-100	土坑	B2	第5面	(30)	28	(12)	3S-3を切る。

第Ⅵ－1－1表　土坑、柱穴一覧表11

番号	種別	グリッド	遺構面	長径(cm)※	短径(cm)※	深さ(cm)※	備　　考
３S-102	土坑	Ｃ１	第５面	21	16	(12)	板状木器が出土。
２S-266	柱穴	Ｄ６	第６面	88	72	18	２S-266・313～316で構成される礎板建物。掘方は未検出のため規模不明
２S-313	柱穴	Ｄ６	第６面	84	64	18	２S-266・313～316で構成される礎板建物。
２S-314	柱穴	Ｄ５	第６面	102	100	14	２S-266・313～316で構成される礎板建物。
２S-315	柱穴	Ｄ５	第６面	108	96	18	２S-266・313～316で構成される礎板建物。
２S-316	柱穴	Ｄ５	第６面	96	72	20	２S-266・313～316で構成される礎板建物。
２S-760	土坑	Ｅ５	第６面	34	30	14	乙亥正Ⅷ～Ⅷ期頃の土器出土。
２S-818	土坑	Ｇ７	第６面	339	(138)	(32)	古墳時代前期の土器出土。
２S-821	土坑	Ｆ６	第６面	24	17	9	乙亥正Ⅷ～Ⅷ期頃の土器出土。
２S-822	土坑	Ｆ６	第６面	54	49	19	乙亥正Ⅲ～Ⅷ期頃の土器小片出土。
２S-765	土坑	Ｄ３	第７面	24	20	12	
２S-768	土坑	Ｄ４	第７面	(21)	(10)	4	
２S-769	柱穴	Ｅ４	第７面	28	20	17	柱根残存。乙亥正Ⅲ～Ⅶ期頃の土器小片出土。
２S-770	土坑	Ｅ４	第７面	32	26	14	乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器小片出土。
２S-771	土坑	Ｅ４	第７面	55	(41)	14	乙亥正Ⅲ～Ⅶ期頃の土器小片出土。
２S-772	土坑	Ｅ４	第７面	77	(37)	19	土器小片出土。
２S-773	柱穴	Ｅ４	第７面	19	16	26	柱痕跡有。土器小片出土。
２S-774	土坑	Ｅ４	第７面	64	(45)	29	乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器小片出土。
２S-776	土坑	Ｅ４	第７面	21	20	8	乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器小片出土。
２S-779	土坑	Ｅ３	第７面	53	50	22	土器小片出土。
２S-780	土坑	Ｅ３	第７面	66	55	44	
２S-782	柱穴	Ｅ３	第７面	43	31	73	柱根残存。乙亥正Ⅶ～Ⅶ期頃の土器小片出土。
２S-783	土坑	Ｅ３	第７面	61	48	39	乙亥正Ⅲ～Ⅶ期頃の土器小片出土。
２S-784	土坑	Ｅ３	第７面	39	38	16	
２S-788	柱穴	Ｅ２	第７面	37	32	20	柱根残存。乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器小片出土。
２S-789	土坑	Ｆ２	第７面	56	53	22	乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器小片出土。
２S-792	柱穴	Ｅ２	第７面	39	(37)	27	柱痕跡・礎板有。乙亥正Ⅴ期の土器小片出土。
２S-793	土坑	Ｅ４	第７面	(24)	(8)	(16)	
２S-794	土坑	Ｆ５	第７面	99	88	14	乙亥正Ⅶ期頃の土器出土。
２S-795	土坑	Ｅ５	第７面	28	23	6	乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器小片出土。
２S-796	土坑	Ｅ５	第７面	49	35	23	
２S-797	土坑	Ｆ５	第７面	42	35	5	乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器小片出土。
２S-798	土坑	Ｆ５	第７面	32	31	22	乙亥正Ⅲ～Ⅶ期頃の土器小片出土。
２S-799	土坑	Ｅ５	第７面	26	24	9	土器小片出土。
２S-800	土坑	Ｅ５	第７面	48	48	14	乙亥正Ⅲ～Ⅶ期頃の土器小片出土。
２S-801	土坑	Ｆ５	第７面	27	24	10	柱痕跡有。乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器出土。
２S-820	柱穴	Ｆ６	第７面	40	34	23	柱痕跡有。乙亥正Ⅷ～Ⅶ期頃の土器小片出土。
２S-884	土坑	Ｄ８	第７面	132	75	16	２S-895<２S-884
３S-51	土坑	Ｃ２	第７面	28	25	(27)	
３S-52	土坑	Ｃ１	第７面	16	15	(5)	
３S-66	土坑	Ｃ１	第７面	30	(25)	(8)	
３S-67	土坑	Ｃ１	第７面	26	22	(9)	
３S-79	柱穴	Ｃ１	第７面	(25)	(16)	(18)	
３S-81	土坑	Ｃ１	第７面	28	25	(9)	
３S-84	土坑	Ｃ１	第７面	(22)	(20)	(19)	
３S-85	土坑	Ｃ１	第７面	27	24	(18)	
３S-86	土坑	Ｃ１	第７面	(31)	26	(15)	
２S-903	土坑	Ｆ５	第８面	85	(51)	19	乙亥正Ⅲ～Ⅶ期頃の土器小片出土。
２S-905	土坑	Ｅ５	第８面	58	52	21	乙亥正Ⅶ期頃の土器出土。
２S-906	土坑	Ｅ４	第８面	25	21	10	
２S-907	土坑	Ｅ４	第８面	23	19	17	
２S-908	土坑	Ｄ４	第８面	30	24	7	
２S-909	土坑	Ｄ・Ｅ４	第８面	16	11	16	
２S-911	土坑	Ｄ・Ｅ４	第８面	34	30	19	２S-975を切る。土器小片出土。
２S-913	土坑	Ｄ４	第８面	150	140	28	２S-912に切られる。乙亥正Ⅶ期頃の土器出土。
２S-914	土坑	Ｄ４	第８面	30	25	5	２S-915を切る。乙亥正Ⅲ～Ⅶ期頃の土器小片出土。
２S-915	土坑	Ｄ４	第８面	105	87	7	２S-914に切られる。２S-916との新旧不明。乙亥正Ⅶ期頃の土器出土。
２S-918	土坑	Ｅ４	第８面	16	14	11	
２S-919	土坑	Ｅ４	第８面	82	(35)	46	東側を攪乱に切られる。
２S-924	土坑	Ｄ４	第８面	33	(12)	35	東側を５ライントレンチに切られる。
２S-925	土坑	Ｄ４	第８面	35	(32)	22	
２S-929	土坑	Ｅ・Ｆ２	第８面	34	32	36	
２S-930	土坑	Ｅ２	第８面	36	35	13	
２S-971	土坑	Ｅ２	第８面	36	30	26	乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器小片出土。
２S-972	土坑	Ｅ２	第８面	25	25	15	２S-973に切られる。乙亥正Ⅵ～Ⅶ期頃の土器小片出土。
２S-973	土坑	Ｅ２	第８面	40	36	15	２S-972を切る。乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器小片出土。
２S-974	土坑	Ｅ２	第８面	21	(18)	31	

第Ⅵ－１－１表　土坑、柱穴一覧表12

番号	種別	グリッド	遺構面	長径(cm)※	短径(cm)※	深さ(cm)※	備　　考
2S-975	土坑	D・E4	第8面	(48)	32	37	2S-911に切られる。
2S-976	土坑	E4	第8面	35	30	18	
2S-1001	土坑	D8	第8面	57	(19)	15	2S-900<2S-1001<2S-899
2S-1002	土坑	D8	第8面	45	43	20	
2S-1003	土坑	D8	第8面	(45)	27	26	2S-1003<2S-876<2S-886、土器小片
2S-1043	土坑	E4	第8面	(53)	(42)	(60)	乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器小片出土。
2S-1044	土坑	D・E4	第8面	(46)	33	49	
2S-1078	柱穴	D・E3	第8面	(47)	38	18	2S-901を切る。乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器小片出土。
2S-1144	土坑	D2	第8面	114	106	47	乙亥正Ⅲ～Ⅶ期頃の土器小片出土。
2S-1145	土坑	D2	第8面	87	80	31	乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器小片出土。
2S-1173	柱穴	C8	第8面	31	(17)	37	
2S-1244	土坑	D4	第8面	32	29	26	
2S-1254	柱穴	E3	第8面	(24)	23	24	柱根出土。
3S-71	土坑	C1	第8面	41	(33)	(11)	乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器小片出土。
3S-73	土坑	C1	第8面	(33)	(32)	(31)	
3S-76	土坑	D1	第8面	(336)	(80)	(30)	3S-74の底面で検出された。検出状況は明瞭。3S-77に切られる。
3S-82	土坑	C1	第8面	(24)	(20)	(10)	3S-70のテラス部分で検出された。新旧関係は不明。
3S-83	土坑	C1	第8面	26	(22)	(20)	3S-70を切る。
3S-87	土坑	C1	第8面	24	(22)	(8)	
3S-88	土坑	C1	第8面	22	(20)	(6)	
3S-89	土坑	C1	第8面	(20)	(18)	(8)	
2S-859	土坑	D8	第8面	68	(49)	18	
2S-860	土坑	D8	第8面	25	24	21	
2S-861	土坑	D8	第8面	30	25	33	
2S-862	土坑	D8	第8面	30	29	10	
2S-863	土坑	D8	第8面	32	32	22	
2S-864	土坑	D8	第8面	50	50	29	2S-879<2S-890<2S-864
2S-865	土坑	D8	第8面	27	(26)	19	
2S-866	土坑	D8	第8面	(41)	(32)	39	
2S-869	土坑	D8	第8面	52	34	10	
2S-870	土坑	D・E8	第8面	(25)	(21)	23	2S-885<2S-870
2S-871	土坑	D・E8	第8面	22	21	6	
2S-875	土坑	E8	第8面	42	37	22	2S-1003<2S-875
2S-876	土坑	E8	第8面	37	19	23	2S-886<2S-876
2S-877	土坑	E8	第8面	39	34	27	
2S-878	土坑	E8	第8面	37	31	18	2S-868<2S-878
2S-880	土坑	E8	第8面	39	35	13	
2S-881	土坑	E8	第8面	132	40	8	
2S-882	土坑	E8	第8面	28	25	11	
2S-885	土坑	E8	第8面	51	51	16	2S-871<2S-870・885
2S-886	土坑	D・E8	第8面	145	116	53	2S-872･1002･1003<2S-886<2S-876　乙亥正Ⅳ～Ⅴ
2S-887	土坑	E8	第8面	71	38	15	
2S-888	土坑	E8	第8面	29	25	14	
2S-889	土坑	E8	第8面	38	22	14	
2S-891	土坑	E8	第8面	24	20	17	
2S-892	土坑	D8	第8面	44	38	33	
2S-894	土坑	E8	第8面	30	30	40	
2S-897	土坑	D8	第8面	44	43	15	
2S-899	土坑	D8	第8面	56	30	18	2S-899<2S-1001<2S-900
2S-900	土坑	D8	第8面	25	(18)	25	2S-900<2S-1001<2S-900
2S-673	土坑	D5	第9面	16	13	5	
2S-674	土坑	D5	第9面	18	13	13	
2S-675	柱穴	D5	第9面	(30)	28	34	乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器小片出土。
2S-676	土坑	D5	第9面	35	(31)	27	乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器出土。
2S-677	柱穴	D5	第9面	41	38	40	乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器小片出土。
2S-678	柱穴	D5	第9面	34	33	31	乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器小片出土。
2S-679	土坑	D5	第9面	35	29	27	乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器小片出土。
2S-680	土坑	D5	第9面	21	18	7	
2S-681	土坑	D5	第9面	43	41	41	土器小片出土。
2S-682	土坑	D5	第9面	(19)	19	8	
2S-683	土坑	D5	第9面	61	57	22	乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器小片出土。
2S-684	土坑	D5	第9面	20	18	13	
2S-685	土坑	D5	第9面	41	35	20	土器小片出土。
2S-755	土坑	D5	第9面	(35)	(29)	45	
2S-828	土坑	F6	第9面	47	37	40	乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器小片出土。
2S-851	土坑	E5・6	第9面	115	20	42	乙亥正Ⅶ期頃の土器出土。
2S-890	土坑	D8	第9面	112	94	53	2S-879<2S-890<2S-864、乙亥正Ⅵ～Ⅶ期
2S-933	土坑	C4	第9面	15	13	8	
2S-937	土坑	C4	第9面	20	17	8	

第Ⅵ－1－1表　土坑、柱穴一覧表13

番号	種別	グリッド	遺構面	長径(cm)※	短径(cm)※	深さ(cm)※	備　　考
２S-938	土坑	C４	第９面	23	16	7	
２S-943	土坑	C４	第９面	60	53	13	
２S-944	土坑	C４	第９面	36	29	7	
２S-945	土坑	C４	第９面	32	27	4	２S-945<２S-1000
２S-946	土坑	C４	第９面	96	50	15	
２S-947	土坑	C４	第９面	30	29	13	
２S-948	柱穴	C４	第９面	37	31	18	
２S-950	柱穴	C４	第９面	40	34	38	
２S-952	土坑（２S-1155）	C・D３	第９面	40	19	9	２S-953を切る。
２S-953	土坑（２S-1155）	C・D３	第９面	52	41	24	２S-952に切られる。弥生時代後期の土器小片出土。
２S-954	土坑（２S-1155）	C３	第９面	28	22	12	土器小片出土。
２S-955	土坑（２S-1155）	C３	第９面	49	39	14	古墳時代前期の土器小片出土。
２S-956	土坑（２S-1155）	C３	第９面	24	21	7	
２S-957	土坑（２S-1155）	C３	第９面	30	(29)	16	弥生時代後期以降の土器片出土。
２S-961	土坑	C４	第９面	36	34	18	
２S-963	土坑	C４	第９面	31	26	20	
２S-966	土坑	D４	第９面	64	25	9	
２S-967	土坑	D４	第９面	46	38	18	
２S-968	土坑	D４	第９面	47	37	20	
２S-969	土坑	D４	第９面	34	33	9	
２S-970	柱穴	C・D４	第９面	41	37	28	
２S-979	土坑	E２	第９面	34	31	29	２S-1041<２S-979
２S-980	土坑	E２	第９面	16	15	20	土器小片出土。
２S-981	柱穴	C４	第９面	57	52	26	
２S-982	土坑	C４	第９面	50	40	16	
２S-983	土坑	C・D４	第９面	29	25	27	
２S-984	土坑	D４	第９面	32	24	6	
２S-985	土坑	D４	第９面	74	52	30	
２S-989	土坑	D４	第９面	22	19	7	
２S-990	土坑	D４	第９面	38	27	19	
２S-991	土坑	C・D４	第９面	41	35	16	
２S-993	土坑	C・D４	第９面	51	41	9	
２S-994	土坑	D４	第９面	24	15	6	
２S-995	土坑	D４	第９面	28	28	19	
２S-996	土坑	C・D４	第９面	23	18	25	
２S-997	土坑	D４	第９面	27	22	8	
２S-1000	土坑	C４	第９面	21	17	5	２S-945<２S-1000
２S-1006	土坑	D４	第９面	20	18	16	
２S-1007	土坑	D４	第９面	22	19	9	
２S-1008	土坑	D４	第９面	40	37	17	
２S-1017	土坑	E８	第９面	(145)	(135)	36	乙亥正Ⅵ期。
２S-1018	土坑	E８	第９面	118	93	22	２S-1019<２S-1018<２S-1020、乙亥正Ⅵ期。
２S-1019	土坑	E８	第９面	118	94	22	２S-1019<２S-1018<２S-1020、乙亥正Ⅵ期。
２S-1020	土坑	E８	第９面	125	115	34	２S-1019<２S-1018<２S-1020、乙亥正Ⅵ期。
２S-1031	土坑（２S-1155）	C３	第９面	44	35	24	古墳時代前期の土器出土。
２S-1034	土坑	C・D３	第９面	53	(28)	22	２S-1241<２S-1034<２S-1178、２S-1034<２S-964
２S-1035	土坑（２S-1155）	C３	第９面	133	79	26	B段階中央ピット。弥生時代後期の土器片出土。
２S-1036	土坑	C・D４	第９面	38	37	21	２S-964<２S-1036、２S-1241<２S-964
２S-1039	土坑（２S-1155）	C３	第９面	59	32	21	弥生時代後期の土器片出土。
２S-1040	土坑（２S-1155）	D３	第９面	60	49	16	２S-1056・1190を切る。弥生時代後期以降の土器片出土。

第Ⅵ－１－１表　土坑、柱穴一覧表14

番号	種別	グリッド	遺構面	長径(cm)※	短径(cm)※	深さ(cm)※	備　　考
2S-1051	土坑（2S-1155）	C3	第9面	(73)	43	20	
2S-1052	土坑（2S-1155）	C3	第9面	(34)	25	20	
2S-1053	土坑（2S-1155）	C3	第9面	28	21	22	
2S-1054	土坑（2S-1155）	D3	第9面	43	28	6	2S-277に切られる。土器小片出土。
2S-1055	土坑（2S-1155）	D3	第9面	34	22	18	上層遺構に切られる。弥生時代後期の土器片出土。
2S-1056	土坑（2S-1155）	D3	第9面	35	35	12	2S-1040に切られる。
2S-1058	土坑	C4	第9面	57	52	36	
2S-1059	土坑（2S-1155）	C3	第9面	31	20	11	
2S-1060	土坑	D3	第9面	40	37	16	
2S-1068	柱穴	D8	第9面	112	80	20	
2S-1070	土坑	D8	第9面	(133)	(117)	45	
2S-1080	土坑	E5	第9面	55	50	23	乙亥正Ⅷ期頃の土器小片出土。
2S-1121	土坑	E5	第9面	32	26	12	
2S-1122	土坑	E5	第9面	(29)	(22)	10	
2S-1123	土坑	E5	第9面	36	35	29	
2S-1124	土坑	E5	第9面	46	30	60	
2S-1125	土坑	E5	第9面	50	21	13	土器小片出土。
2S-1126	土坑	E5	第9面	27	21	28	
2S-1127	土坑	E5	第9面	35	30	10	
2S-1128	土坑	E5	第9面	29	27	21	
2S-1129	土坑	E5	第9面	43	21	17	土器小片出土。
2S-1130	土坑	E5	第9面	30	17	12	
2S-1131	土坑（2S-1155）	D3	第9面	36	31	24	土器小片出土。
2S-1132	土坑（2S-1155）	D3	第9面	50	42	21	
2S-1134	土坑（2S-1155）	D3	第9面	56	(48)	32	2S-1151に切られる。
2S-1135	土坑（2S-1155）	D3	第9面	40	33	24	土器小片出土。
2S-1138	土坑（2S-1155）	C3	第9面	46	(23)	31	土器小片出土。
2S-1139	土坑（2S-1155）	C3	第9面	57	40	30	2S-1180を切る。土器小片出土。
2S-1154	土坑（2S-1155）	C・D3	第9面	66	52	31	弥生時代後期の土器出土。
2S-1156	土坑（2S-1155）	D3	第9面	46	40	19	土器小片出土。
2S-1157	土坑（2S-1155）	D3	第9面	43	42	25	弥生時代後期の土器片出土。
2S-1159	土坑（2S-1155）	D3	第9面	40	30	16	弥生時代後期の土器片出土。
2S-1160	土坑（2S-1155）	D3	第9面	35	34	35	
2S-1161	土坑（2S-1155）	C3	第9面	20	18	11	弥生時代後期の土器片出土。
2S-1162	土坑（2S-1155）	C3	第9面	30	(15)	30	弥生時代後期の土器片出土。
2S-1163	土坑	C3	第9面	118	63	36	2S-1164に切られる。
2S-1164	土坑	C3	第9面	100	72	13	2S-1163を切る。
2S-1165	土坑（2S-1155）	D3	第9面	25	23	19	
2S-1166	土坑（2S-1155）	C3	第9面	32	(32)	22	
2S-1167	土坑（2S-1155）	C3	第9面	22	10	6	
2S-1168	土坑（2S-1155）	C3	第9面	50	50	48	土器小片出土。
2S-1170	土坑（2S-1155）	C3	第9面	178	100	43	C段階中央ピット。弥生時代後期の土器出土。

第Ⅵ－１－１表　土坑、柱穴一覧表15

番号	種別	グリッド	遺構面	長径(cm)※	短径(cm)※	深さ(cm)※	備　　考
２S-1176	土坑（２S-1155）	Ｄ３	第９面	50	50	55	２S-1152に切られ、２S-1200を切る。
２S-1177	土坑（２S-1155）	Ｃ３	第９面	35	30	8	
２S-1178	土坑	Ｃ・Ｄ４	第９面	33	30	9	２S-1034と重複、新旧不明、古いか？樹皮出土、２S-1241＜２S-1178
２S-1179	土坑（２S-1155）	Ｃ３	第９面	45	32	25	弥生時代後期の土器片出土。
２S-1180	土坑（２S-1155）	Ｃ３	第９面	52	42	16	２S-1180に切られる。弥生時代後期の土器片出土。
２S-1181	土坑（２S-1155）	Ｄ３	第９面	32	(21)	12	
２S-1182	土坑（２S-1155）	Ｃ３	第９面	79	59	43	２S-1183に切られる。弥生時代後期の土器片出土。
２S-1183	土坑（２S-1155）	Ｃ３	第９面	50	50	32	２S-1182を切る。土器小片出土。
２S-1184	土坑（２S-1155）	Ｄ３	第９面	54	47	19	２S-1056・1157・1185に切られる。弥生時代後期の土器片出土。
２S-1185	土坑（２S-1155）	Ｄ３	第９面	35	30	21	２S-1184を切る。弥生時代後期の土器片出土。
２S-1188	土坑（２S-1155）	Ｃ３	第９面	(48)	(48)	15	２S-1204に切られる。弥生時代後期の土器片出土。
２S-1189	土坑（２S-1155）	Ｄ３	第９面	40	32	13	土器小片出土。
２S-1190	土坑（２S-1155）	Ｄ３	第９面	38	37	21	２S-1040に切られる。土器小片出土。
２S-1196	土坑（２S-1155）	Ｄ３	第９面	(29)	(22)	10	
２S-1197	土坑（２S-1155）	Ｄ３	第９面	47	46	16	２S-1205を切る。弥生時代後期の土器出土。
２S-1200	土坑（２S-1155）	Ｄ３	第９面	33	23	19	
２S-1201	土坑（２S-1155）	Ｄ３	第９面	40	35	24	
２S-1202	土坑（２S-1155）	Ｄ３	第９面	27	22	29	
２S-1203	土坑（２S-1155）	Ｄ３	第９面	19	18	5	
２S-1204	土坑（２S-1155）	Ｃ３	第９面	41	41	18	弥生時代後期の土器片出土。
２S-1205	土坑（２S-1155）	Ｄ３	第９面	28	28	9	
２S-1206	土坑（２S-1155）	Ｃ３	第９面	32	16	17	
２S-1207	土坑（２S-1155）	Ｄ３	第９面	39	38	14	
２S-1211	土坑	Ｃ３	第９面	29	29	17	
２S-1212	土坑	Ｃ３	第９面	(19)	(10)	27	
２S-1213	土坑	Ｃ３	第９面	10	8	－	
２S-1214	土坑	Ｃ３	第９面	12	9	－	
２S-1215	土坑	Ｃ３	第９面	15	11	－	
２S-1217	土坑	Ｃ３	第９面	19	18	－	
２S-1218	土坑	Ｃ３	第９面	21	18	－	
２S-1219	土坑	Ｃ３	第９面	17	17	－	
２S-1220	土坑	Ｃ３	第９面	22	17	－	
２S-1221	土坑	Ｃ３	第９面	15	13	－	
２S-1222	土坑	Ｄ３	第９面	8	8	－	
２S-1223	土坑	Ｄ３	第９面	15	12	(35)	
２S-1224	土坑	Ｄ３	第９面	15	11	－	
２S-1227	土坑（２S-1155）	Ｃ３	第９面	29	26	12	土器小片出土。
２S-1228	土坑（２S-1155）	Ｃ３	第９面	36	25	16	
２S-1229	土坑（２S-1155）	Ｃ３	第９面	30	23	8	
２S-1230	土坑（２S-1155）	Ｃ３	第９面	24	17	12	
２S-1241	土坑	Ｃ４	第９面	34	33	21	２S-1241＜２S-1034・1178、２S-1241＜２S-1036

第Ⅵ－１－１表　土坑、柱穴一覧表16

番号	種別	グリッド	遺構面	長径(cm)※	短径(cm)※	深さ(cm)※	備　考
2S-1251	土坑（2S-1155）	D3	第9面	19	17	21	
2S-1252	土坑（2S-1155）	D3	第9面	27	(21)	19	
2S-1257	土坑（2S-1155）	D4	第9面	36	34	29	
2S-1258	土坑（2S-1155）	D4	第9面	25	25	19	
2S-1259	土坑（2S-1155）	D4	第9面	38	35	24	
2S-1260	土坑（2S-1155）	D4	第9面	27	23	15	
2S-1261	土坑（2S-1155）	D4	第9面	28	17	4	
3S-91	土坑	C1	第9面	(300)	102	12	
3S-92	土坑	C1	第9面	14	14	20	
3S-94	土坑	C1	第9面	294	114	10	土器小片出土。
3S-96	土坑	C1	第9面	(35)	(31)	19	
3S-97	土坑	C2	第9面	40	38	33	
3S-98	土坑	C2	第9面	22	20	14	
3S-109	土坑	D1	第9面	(32)	(29)	9	
3S-110	土坑	D1	第9面	(30)	(28)	34	
3S-112	柱穴	C1	第9面	14	(10)	27	柱根残存。
3S-116	土坑	B・C1	第9面	88	78	14	
3S-117	土坑	B・C1	第9面	(41)	33	10	
3S-121	土坑	D2	第9面	23	18	28	
2S-832	土坑	F6	第10面	31	29	39	
2S-835	土坑	F6	第10面	31	27	52	
2S-836	土坑	F6	第10面	22	19	10	
2S-837	土坑	F6	第10面	27	25	7	
2S-838	土坑	F6	第10面	36	26	10	
2S-853	土坑	F6	第10面	34	33	27	
2S-855	土坑	F6	第10面	26	25	10	
2S-1049	土坑	E2	第10面	28	23	7	
2S-1050	土坑	E2	第10面	62	50	16	乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器小片出土。
2S-1062	土坑	D8	第10面	233	50	20	2S-1062<2S-1005
2S-1067	土坑	D8	第10面	(70)	30	32	
2S-1071	土坑	E・F2	第10面	192	101	27	乙亥正Ⅲ～Ⅶ期頃の土器出土。
2S-1072	土坑	E2	第10面	43	26	40	乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器出土。
2S-1073	土坑	E・F2	第10面	30	23	18	2S-1072に切られる。乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器出土。
2S-1074	土坑	E・F2	第10面	37	(28)	18	2S-1072・1073に切られる。
2S-1075	土坑	F2	第10面	30	28	6	2S-1076を切る。
2S-1076	土坑	E・F2	第10面	42	27	9	2S-1075に切られる。
2S-1086	柱穴	E2	第10面	42	27	16	乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器出土。
2S-1087	土坑	E2	第10面	19	19	10	乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器出土。
2S-1088	土坑	E2	第10面	25	19	13	土器小片出土。
2S-1089	柱穴	E2	第10面	26	20	17	柱根残存。
2S-1091	土坑	E2	第10面	20	14	29	
2S-1092	柱穴	E2	第10面	17	15	16	柱根残存。土器小片出土。
2S-1093	土坑	E2	第10面	49	33	34	乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器小片出土。
2S-1094	土坑	E2	第10面	58	27	27	乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器小片出土。
2S-1095	土坑	E2	第10面	25	21	16	乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器出土。
2S-1097	土坑	E2	第10面	22	18	27	
2S-1098	土坑	E2	第10面	71	36	36	乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器小片出土。
2S-1100	柱穴	D・E2	第10面	32	25	25	
2S-1101	土坑	D2	第10面	20	18	6	
2S-1102	土坑	D2	第10面	39	29	4	
2S-1103	土坑	D2	第10面	18	17	30	乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器小片出土。
2S-1104	柱穴	D2	第10面	23	23	21	柱根残存。
2S-1106	土坑	D2	第10面	22	20	20	2S-1108を切る。
2S-1109	土坑	D2	第10面	25	18	6	
2S-1110	柱穴	D2	第10面	26	23	12	柱根残存。
2S-1111	柱穴	D2	第10面	38	35	23	
2S-1112	土坑	D2	第10面	(34)	26	25	2S-1113に切られる。
2S-1113	土坑	D2	第10面	26	20	12	2S-1112を切る。
2S-1114	土坑	D2	第10面	26	24	31	2S-1108を切る。
2S-1115	土坑	D2	第10面	33	(15)	22	
2S-1116	土坑	D2	第10面	50	(15)	9	2S-1117を切る。
2S-1117	土坑	D2	第10面	17	(10)	10	2S-1116に切られる。

第Ⅵ－１－１表　土坑、柱穴一覧表17

番号	種別	グリッド	遺構面	長径(cm)※	短径(cm)※	深さ(cm)※	備　　考
２S-1118	土坑	Ｄ２	第10面	24	17	15	２S-1108を切る。乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器小片出土。
２S-1148	土坑	Ｄ２	第10面	64	55	45	２S-1108を切る。乙亥正Ⅲ～Ⅴ期頃の土器出土。
２S-1149	土坑	Ｄ２	第10面	63	38	33	２S-1108を切る。
２S-1150	土坑	Ｄ２	第10面	15	12	11	２S-1108を切る。
３S-122-Ｐ１	土坑	Ｄ１	第10面	(68)	66	(18)	
３S-122-Ｐ２	柱穴	Ｄ１	第10面	68	54	(8)	P-３を切る。
３S-122-Ｐ３	柱穴	Ｄ１	第10面	42	(30)	(10)	P-２に切られる。
３S-122-Ｐ４	柱穴	Ｄ１	第10面	(50)	42	(12)	
３S-122-Ｐ５	柱穴	Ｄ１	第10面	(52)	48	(24)	
３S-122-Ｐ６	柱穴	Ｄ１	第10面	(44)	36	(8)	
３S-122-Ｐ７	土坑	Ｄ１	第10面	21	(17)	(8)	
３S-122-Ｐ８	土坑	Ｄ１	第10面	(13)	(9)	(7)	
３S-122-Ｐ９	土坑	Ｄ１	第10面	18	16	(13)	
３S-122-P10	土坑	Ｄ１	第10面	(31)	(24)	(8)	
３S-124	土坑	Ｄ１	第10面	(15)	(14)	8	
３S-125	土坑	Ｄ１	第10面	(12)	(10)	14	
３S-126	土坑	Ｄ１	第10面	(10)	(8)	14	
３S-127	土坑	Ｄ１	第10面	11	12	4	
３S-129	土坑	Ｄ１	第10面	(27)	(20)	6	
３S-133	土坑	Ｄ１	第10面	(22)	(21)	(6)	
３S-134	土坑	Ｄ１	第10面	31	25	(6)	
３S-135	土坑	Ｄ１	第10面	(43)	(33)	(9)	
３S-136	土坑	Ｄ１	第10面	19	25	(8)	
３S-137	土坑	Ｄ１	第10面	34	30	(9)	
２S-1004	土坑（２S-1262）	Ｄ８	第11面	38	34	30	
２S-1191	柱穴（２S-1262･1281）	Ｄ８	第11面	32	25	11	
２S-1192	土坑（２S-1262）	Ｄ８	第11面	32	30	23	
２S-1193	土坑（２S-1262）	Ｄ８	第11面	30	(20)	25	
２S-1194	土坑（２S-1262）	Ｄ８	第11面	20	17	24	
２S-1195	土坑（２S-1262）	Ｄ８	第11面	(36)	31	31	
２S-1231	土坑（２S-1262）	Ｄ８	第11面	(44)	41	12	
２S-1236	土坑	Ｅ２	第11面	70	(62)	33	２S-1147-Ｐ４
２S-1237	柱穴	Ｅ２	第11面	43	41	79	２S-1147-Ｐ１
２S-1238	柱穴	Ｅ２	第11面	43	39	85	２S-1147-Ｐ２
２S-1240	土坑	Ｅ２	第11面	(109)	70	13	２S-1242に切られる。
２S-1242	土坑	Ｅ２	第11面	58	33	13	２S-1240を切る。
２S-1267	柱穴（２S-1262）	Ｄ８	第11面	49	40	61	
２S-1268	柱穴（２S-1262）	Ｄ８	第11面	64	53	31	
２S-1269	柱穴（２S-1262）	Ｄ８	第11面	(75)	(67)	57	
２S-1273	柱穴（２S-1262･1281）	Ｄ８	第11面	52	32	52	
２S-1272	土坑	Ｃ４	第11面	(184)	61	49	２S-1276＜２S-1272
２S-1276	土坑	Ｃ４	第11面	(208)	60	47	

※（　）の法量は残存値である。

第Ⅵ－１－１表　土坑、柱穴一覧表18

第２節　遺物観察表

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
1-001	Ⅳ-2-1	H27	234 271	E・F5	第１面	– Ⅱ層	壺	– △7.3 – ※12.1	普通	良	灰色～にぶい橙色
1-002	Ⅳ-2-1	H27	273	G6	第１面	– Ⅱ層	壺	5.6 7.8 – 7.4	普通	良	浅黄橙色
1-003	Ⅳ-2-1	H27	274	G7	第１面	– Ⅱ層	壺	– △1.95 – –	普通	良	灰黄褐色～灰白色
1-004	Ⅳ-2-1	H27	1653	D5	第１面	– Ⅱ層	鉢	※7.6 △7.2 – –	普通	良	浅黄色
1-005	Ⅳ-2-1	H27	257	G7	第１面	– Ⅱ層	甕	※15.4 △5.7 – –	普通	良	にぶい黄橙色
1-006	Ⅳ-2-1	H26	6176 7296	E1・2	第１面	２ライントレンチ Ⅱ層 Ⅵ層	壺	※15.8 △14.7 – ※19.4	普通	良	灰白色
1-007	Ⅳ-2-1	H27	181 241 2127	G6	第１面	– Ⅱ層 撹乱	甕	※16.2 △16.0 – ※18.3	普通	良	灰黄褐色
1-008	Ⅳ-2-1	H27	227 274	G6・7	第１面	– Ⅱ層	甕	※22.1 △11.35 – –	普通	良	暗褐色～黒褐色
1-009	Ⅳ-2-1	H27	123	G7	第１面	H7トレンチ Ⅱ層	坏	※11.6 3.9 6.1 –	普通	良	灰色
1-010	Ⅳ-2-1	H27	257	G7	第１面	– Ⅱ層	坏	※13.4 4.3 7.8 –	普通	良	灰白色
1-011	Ⅳ-2-1	H27	257	G7	第１面	– Ⅱ層	甕	※22.4 △8.0 – –	普通	良	橙色
1-012	Ⅳ-2-1	H27	3220	E5	第１面	– Ⅱ層	甕	※24.0 △11.1 – –	普通	良	灰黄褐色
1-013	Ⅳ-2-1	H26	1850	D8	第１面	– Ⅱ層	甕	※23.0 △6.8 – –	粗	良	暗灰黄色
1-014	Ⅳ-2-1	H27	1328 1406 1410	C・D3	第１面	– Ⅱ層	器台	– △13.0 – –	普通	良	灰白色
1-015	Ⅳ-2-1	H27	1504 1529 1571	B2	第１面	– Ⅱ層	羽釜	※24.0 △7.3 – ※26.4	普通	良	黒褐色～黒色
1-016	Ⅳ-2-1	H27	958	G7	第１面	H7ベルト Ⅱ層	鍋	※24.6 △7.4 – –	普通	良	淡黄色～灰色
1-017	Ⅳ-2-1	H27	213	E4	第１面	– Ⅱ層	甕	– △9.0 ※19.2 –	普通	良	暗赤灰色
1-018	Ⅳ-2-1	H27	1445	D2	第１面	– Ⅱ層	皿	– △3.2 5.0 –	精緻	良	にぶい黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表１

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
1-019	Ⅳ-2-1	H27	1537	C4	第１面	－ Ⅱ層	碗	※8.6 △6.05 － －	精緻	良	灰オリーブ色
1-020	Ⅳ-2-1	H27	1509	C3	第１面	－ Ⅱ層	碗	－ △2.4 ※4.8 －	精緻	良	明緑灰色
1-021	Ⅳ-2-3	H26	1792	D7	第１面	－ Ⅱ層	皿	※8.2 △1.0 － －	精緻	良	灰黄褐色
1-022	Ⅳ-2-3	H26	1655	D6	第１面	－ Ⅱ層	皿	※9.6 1.8 ※5.8 －	普通	良	浅黄色
1-023	Ⅳ-2-3	H27	1653 1672	D5	第１面	－ Ⅱ層	皿	※14.8 2.1 ※8.2 －	普通	良	灰白色
1-024	Ⅳ-2-3	H27	257	G7	第１面	－ Ⅱ層	坏蓋	※15.2 △4.7 － －	精緻	良	灰色
1-025	Ⅳ-2-3	H27	298	G7	第１面	－ Ⅱ層	坏蓋	※12.8 4.3 ※7.8 －	精緻	良	灰色
1-026	Ⅳ-2-3	H27	274	G7	第１面	－ Ⅱ層	坏	※14.0 △3.4 － －	精緻	良	灰色
1-027	Ⅳ-2-3	H27	226 275	G7	第１面	－ Ⅱ層 Ⅱ層直下	瑤	－ △7.7 － ※12.0	精緻	良	灰白色
1-028	Ⅳ-2-3	H27	240	G7	第１面	－ Ⅱ層	底部	－ △3.4 9.6 －	粗	良	灰色
1-029	Ⅳ-2-3	H26	3474	C6	第１面	－ Ⅱ層	底部	－ △2.0 8.15 －	精緻	良	灰色
1-030	Ⅳ-2-3	H26	1658	C6	第１面	－ Ⅱ層	底部	－ △1.6 ※8.5 －	精緻	良	灰色
1-031	Ⅳ-2-3	H27	257	G7	第１面	－ Ⅱ層	坏	－ △1.35 ※7.2 －	精緻	良	灰白色
1-032	Ⅳ-2-14	H26	2015	D6	第１面	2S－45 埋土中	甕	－ △4.2 － －	普通	良	灰白色～灰黄褐色
1-033	Ⅳ-2-14	H26	3928	D5	第１面	2S－45 埋土中	甕	※20.2 △5.6 － －	普通	良	灰白色
1-034	Ⅳ-2-15	H27	636	F2	第１面	2S－576 埋土中	羽釜	－ △4.1 － －	普通	良	灰色
1-035	Ⅳ-2-15	H27	500	E2	第１面	2S－376 埋土中	甕	※20.0 △14.4 － ※17.45	普通	良	灰黄色～黒褐色
1-036	Ⅳ-2-15	H27	534	D3	第１面	2S－423 埋土中	壺	※14.8 △8.2 － －	普通	良	浅黄色
1-037	Ⅳ-2-17	H27	744	E6	第１面	2S－526 埋土中	甕	※15.9 △3.3 － －	普通	良	灰白色～灰黄褐色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表２

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
1-038	Ⅳ-2-17	H27	649	E6	第1面	2S-526 埋土中	低脚坏	– △2.85 ※5.2 –	普通	良	にぶい黄橙色
1-039	Ⅳ-2-19	H27	880	E6	第1面	2S-537 埋土中	甕	※16.4 4.3 – –	粗	良	浅黄橙色
1-040	Ⅳ-2-19	H27	848	E6	第1面	2S-537 埋土中	甕	– △4.8 – –	普通	良	灰白色
1-041	Ⅳ-2-19	H27	853	E6	第1面	2S-537 1層	高坏	※22.6 △5.4 – –	普通	良	灰黄色
1-042	Ⅳ-2-19	H27	645	E6	第1面	2S-537 埋土中	器台	※17.8 △8.2 – –	普通	良	灰白色
1-043	Ⅳ-2-24	H27	3200	E6	第1面	2S-740 埋土中	甕	– △4.2 – –	普通	不良	にぶい黄橙色
1-044	Ⅳ-2-26	H26	2768	E7	第1面	2S-4 下層	甕	※16.0 △4.8 – –	普通	良	にぶい橙色
1-045	Ⅳ-2-26	H26	2584	E7	第1面	2S-4埋土 上層	甕	※18.6 △7.1 – –	普通	良	浅黄橙色
1-046	Ⅳ-2-26	H26	1842	E8	第1面	2S-4 埋土中	高坏	– △6.5 9.7 –	普通	良	灰黄色
1-047	Ⅳ-2-26	H26	2584	E7	第1面	2S-4 埋土上層	低脚坏	– △2.3 5.9 –	普通	良	灰白色
1-048	Ⅳ-2-26	H27	9273 9280 9363	F7	第1面	2S-842 埋土中	甕	※28.2 △15.6 – –	普通	良	浅黄橙色
1-049	Ⅳ-2-26	H27	9363	F7	第1面	2S-842 埋土中	甕	※20.2 △12.0 – –	普通	良	にぶい橙色
1-050	Ⅳ-2-26	H27	9107,9221,9223 9273,9281,9359 9363,9364,9389	F7	第1面	2S-842 埋土中	甕	21.9 △16.6 – ※16.6	普通	良	浅黄橙色
1-051	Ⅳ-2-26	H27	9273,9357,9358 9363,9390	F7	第1面	2S-842 埋土中	甕	※20.5 △22.4 – ※29.2	普通	良	浅黄橙色
1-052	Ⅳ-2-26	H27	9363	F7	第1面	2S-842 埋土中	蓋	※8.3 △5.25 – –	普通	良	浅黄橙色
1-053	Ⅳ-2-28	H27	2718	E6	第1面	2S-593 埋土中	甕	※15.2 △5.4 – –	粗	良	黄灰色
1-054	Ⅳ-2-28	H27	1344 1574 2718	E6	第1面	2S-593 埋土中	甕	14.2 △4.75 – –	普通	良	にぶい黄橙色
1-055	Ⅳ-2-28	H27	1164 1165	E6	第1面	2S-593 埋土中	甕	– △5.7 – –	粗	良	灰白色
1-056	Ⅳ-2-28	H27	1262 1265 1266	E6	第1面	2S-593 埋土中	甕	※16.8 △5.3 – –	普通	良	灰黄色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表３

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
1-057	Ⅳ-2-28	H27	1271	E6	第１面	2S-593 埋土中	甕	※18.5 △5.4 － －	普通	良	浅黄橙色
1-058	Ⅳ-2-28	H27	1720,1812,1969 2021,2540	E6	第１面	2S-593 埋土中	高坏	－ △7.1 － －	普通	良	にぶい橙色～褐灰色
1-059	Ⅳ-2-28	H27	1580	E6	第１面	2S-593 埋土中	低脚坏	－ △2.65 6.5	普通	良	灰黄色
1-060	Ⅳ-2-29	H26	1933	E9	第１面	2S-16 埋土中	坏身	－ △0.65 － －	普通	不良	灰色
1-061	Ⅳ-2-29	H26	1965 2004	E7	第１面	2S-34 埋土中	甕	※17.8 △6.5 － －	普通	良	浅黄橙色
1-062	Ⅳ-2-29	H26	1965 2002 2003	E4	第１面	2S-34 埋土中	甕	※17.0 △11.6 － －	普通	良	にぶい橙色
1-063	Ⅳ-2-29	H26	2346	D7	第１面	2S-35 埋土中	甕	※19.2 △6.0 － －	普通	良	浅黄橙色
1-064	Ⅳ-2-29	H26	1977	D7	第１面	2S-35 埋土中	甕	－ △5.4 － －	普通	良	にぶい黄橙色
1-065	Ⅳ-2-29	H26	1928	E9	第１面	2S-10 埋土中	甕	－ △4.25 － －	普通	良	灰白色
1-066	Ⅳ-2-29	H26	1964	D7	第１面	2S-39 埋土中	甕	－ △3.3 － －	粗	良	にぶい橙色
1-067	Ⅳ-2-29	H26	2012	C5	第１面	2S-47 埋土中	高坏	－ △9.0 － －	普通	良	にぶい橙色
1-068	Ⅳ-2-30	H26	2078	D4	第１面	2S-57 埋土中	甕	※16.0 △3.85 － －	普通	良	にぶい黄橙色
1-069	Ⅳ-2-30	H26	2078	D4	第１面	2S-57 埋土中	甕	－ △4.8 － －	普通	良	にぶい黄橙色
1-070	Ⅳ-2-30	H26	2757	C3	第１面	2S-87 埋土中	甕	※19.4 △5.3 － －	粗	良	黒褐色～灰黄褐色
1-071	Ⅳ-2-30	H26	2580	D2	第１面	2S-85 埋土中	甕	－ △4.0 － －	粗	良	褐色
1-072	Ⅳ-2-30	H26	2184	B3	第１面	2S-90 埋土中	甕	※15.4 △13.0 － 17.85	粗	良	灰黄色
1-073	Ⅳ-2-30	H27	727	D2	第１面	2S-414 埋土中	壺	－ △5.4 － －	普通	良	にぶい黄橙色
1-074	Ⅳ-2-30	H27	825	D2	第１面	2S-414 埋土中	甕	－ △4.7 － －	普通	良	灰黄褐色
1-075	Ⅳ-2-30	H27	727	D2	第１面	2S-414 埋土中	高坏	－ △9.6 － －	普通	良	灰黄色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表４

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
1-076	Ⅳ-2-31	H27	538	G6	第1面	2S-370 埋土中	甕	※22.8 △5.35 － －	普通	良	にぶい橙色
1-077	Ⅳ-2-31	H27	537	G6	第1面	2S-370 埋土中	甕	－ △5.2 － －	普通	良	橙色
1-078	Ⅳ-2-31	H27	536	G6	第1面	2S-370 埋土中	甕	－ △5.2 － －	普通	良	にぶい黄橙色
1-079	Ⅳ-2-33	H27	939	D2	第1面	2S-479 埋土中	器台	－ △3.7 － －	普通	良	灰褐色
1-080	Ⅳ-2-33	H27	633	D2	第1面	2S-479 埋土中	器台	－ △7.6 － －	普通	良	灰黄色
1-081	Ⅳ-2-33	H27	977	E6	第1面	2S-530 埋土中	低脚坏	－ △2.1 6.4 －	普通	良	浅黄橙色
1-082	Ⅳ-2-33	H27	1022	E6	第1面	2S-618 埋土中	底部	－ △1.8 ※2.6 －	粗	良	灰黄色
1-083	Ⅳ-2-33	H27	3821	F2	第1面	2S-750 埋土中	甕	※18.8 △4.2 － －	普通	良	褐色
1-084	Ⅳ-2-33	H27	4596	E3	第1面	2S-787 埋土中	甕	※17.6 △5.35 － －	普通	良	暗灰黄色
1-085	Ⅳ-2-33	H27	4596	E3	第1面	2S-787 埋土中	甕	※17.8 △5.7 － －	普通	良	灰白色～灰黄色
1-086	Ⅳ-2-34	H26	1988	C3	第1面	2S-52 埋土中	甕	※14.8 △6.3 － －	普通	良	にぶい黄橙色
1-087	Ⅳ-2-34	H26	1988	C3	第1面	2S-52 埋土中	坏	－ △2.3 － －	精緻	良	灰色
1-088	Ⅳ-2-37	H26	7210	D6	第1面	2S-345 埋土中	甕	※15.8 △4.7 － －	普通	良	にぶい黄橙色
1-089	Ⅳ-2-37	H27	532	E5	第1面	2S-345 埋土中	甕	－ △5.6 － －	普通	良	灰白色
1-090	Ⅳ-2-37	H26	7210 7344	D・E6	第1面	2S-345 埋土中	高坏	※16.4 9.6 ※10.1 －	普通	良	灰白色
1-091	Ⅳ-2-37	H27	885	E6	第1面	2S-345 埋土中	器台	※18.4 △7.6 － －	普通	良	にぶい黄橙色
1-092	Ⅳ-2-40	H26	7080	D1	第1面	3S-90 埋土中	壺	※12.8 △5.5 － －	普通	良	にぶい黄褐色
1-093	Ⅳ-2-40	H26	7080	D1	第1面	3S-90 埋土中	甕	－ △4.35 － －	普通	良	灰黄褐色
1-094	Ⅳ-2-40	H26	7080	D1	第1面	3S-90 埋土中	甕	－ △3.4 － －	普通	良	灰白色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表５

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
1-095	Ⅳ-2-40	H26	7080	D1	第1面	3S-90 埋土中	壺	– △4.8 – –	普通	良	灰黄色
1-096	Ⅳ-2-40	H26	7080	D1	第1面	3S-90 埋土中	甕	– △4.65 – –	普通	良	にぶい黄橙色
1-097	Ⅳ-2-40	H26	7080	D1	第1面	3S-90 埋土中	甕	– △3.6 – –	普通	良	灰色
1-098	Ⅳ-2-41	H26	3130	C0	第1面	3S-2 埋土中	甕	※15.0 △6.4 – ※16.2	普通	良	明黄褐色
1-099	Ⅳ-2-41	H26	3349	D0	第1面	3S-2 清掃中	甕	– △6.8 – –	普通	良	浅黄色
1-100	Ⅳ-2-41	H26	3131	D0	第1面	3S-2 埋土中	蓋	– △4.2 – – つまみ4.3	普通	良	にぶい黄橙色
1-101	Ⅳ-2-41	H26	3254	C1	第1面	3S-2 埋土中	坏	– △1.2 – –	精緻	良	灰色
1-102	Ⅳ-2-46	H26	2122	D3・4	第1面	2S-66 埋土中	壺	※23.0 △8.8 – –	普通	良	にぶい黄橙色
1-103	Ⅳ-2-46	H26	2601	D4	第1面	2S-66 埋土中	壺	※18.4 △8.7 – –	普通	良	にぶい黄橙色
1-104	Ⅳ-2-46	H26	2615	D4	第1面	2S-66 埋土中	壺	※8.0 △10.3 – ※11.6	普通	良	にぶい黄橙色
1-105	Ⅳ-2-46	H26	2033 2034	C6	第1面	2S-66 埋土中	甕	※18.4 △5.7 – –	普通	良	にぶい黄褐色～黒色
1-106	Ⅳ-2-46	H26	2309	D3	第1面	2S-66 埋土中	甕	※17.2 △6.5 – –	普通	良	にぶい黄橙色
1-107	Ⅳ-2-46	H26	2313	D3	第1面	2S-66 埋土中	甕	※14.6 △5.6 – –	普通	良	にぶい赤褐色
1-108	Ⅳ-2-46	H26	2324	D3	第1面	2S-66 埋土中	甕	※16.2 △10.0 – –	普通	良	灰白色
1-109	Ⅳ-2-46	H26	2262 2297 2210	D4	第1面	2S-66 埋土中	甕	※14.6 △7.9 – –	普通	良	にぶい黄橙色～褐色
1-110	Ⅳ-2-46	H26	2210 2377	D3・4	第1面	2S-66 埋土中	甕	※11.0 △5.1 – –	普通	良	灰白色
1-111	Ⅳ-2-46	H26	2668	D4	第1面	2S-66 埋土中	甕	※13.3 △6.8 – –	普通	良	明黄褐色～黒色
1-112	Ⅳ-2-46	H26	2434	D3	第1面	2S-66 埋土中	低脚坏	– △2.6 4.6 –	粗	良	浅黄色～橙色
1-113	Ⅳ-2-46	H26	2387	D3	第1面	2S-66 埋土中	低脚坏	– △4.1 ※5.8 –	普通	良	にぶい黄褐色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表６

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
1-114	Ⅳ-2-46	H26	2134	C5	第1面	2S-66 埋土中	蓋	– △4.8 – – つまみ※6.0	普通	良	にぶい黄橙色
1-115	Ⅳ-2-46	H26	2039	C6	第1面	2S-66 埋土中	坏身	※10.6 5.0 – –	普通	良	灰色～灰白色
1-116	Ⅳ-2-47	H27	529	F5	第1面	2S-507 埋土中	直口壺	※10.4 △8.7 – –	普通	良	にぶい黄橙色
1-117	Ⅳ-2-47	H27	866	F5	第1面	2S-0507 埋土中 Ⅳ層	甕	※15.6 △6.8 – –	普通	良	灰黄色
1-118	Ⅳ-2-47	H27	4604 4631	F5	第1面	2S-507 埋土中	甕	※17.2 △7.6 – –	普通	良	淡黄色
1-119	Ⅳ-2-47	H27	690 691	F5	第1面	2S-507 底面	甕	※16.1 △7.1 – –	普通	良	にぶい黄橙色
1-120	Ⅳ-2-47	H27	692	F5	第1面	2S-507 埋土中	甕	※15.8 △8.1 – –	普通	良	灰白色
1-121	Ⅳ-2-47	H27	694	F5	第1面	2S-507 埋土中	甕	※20.6 △7.75 – –	普通	良	にぶい黄橙色
1-122	Ⅳ-2-48	H27	480 515	F5	第1面	2S-507 埋土中	壺	※20.8 △27.5 – ※27.3	普通	良	浅黄橙色
1-123	Ⅳ-2-48	H27	690 691	F5	第1面	2S-507 底面	甕	※15.7 △16.8 – ※22.5	普通	良	にぶい黄橙色
1-124	Ⅳ-2-48	H27	862	F5	第1面	2S-507 埋土中	甕	13.8 △13.4 – ※20.0	粗	良	淡黄色
1-125	Ⅳ-2-48	H27	690	F5	第1面	2S-507 底面	甕	14.0 19.2 – 18.2	普通	良	灰白色～黒色
1-126	Ⅳ-2-48	H27	687	F5	第1面	2S-507 埋土中	甕	– △11.8 – ※21.8	普通	良	浅黄色～黄灰色
1-127	Ⅳ-2-48	H27	691	F5	第1面	2S-507 底面	甕	– △10.3 – ※15.6	普通	良	にぶい黄橙色
1-128	Ⅳ-2-48	H27	480 656	F5	第1面	2S-507 埋土中	高坏	※18.6 △11.0 – –	普通	良	浅黄橙色
1-129	Ⅳ-2-48	H27	4622	F5	第1面	2S-507 埋土中	高坏	– △8.5 – –	普通	良	にぶい黄橙色
1-130	Ⅳ-2-48	H27	656 688	F5	第1面	2S-507 埋土中 底面	高坏	– △5.3 13.0 –	普通	良	浅黄橙色
1-131	Ⅳ-2-48	H27	480	F5	第1面	2S-507 埋土中	低脚坏	※15.4 4.5 ※4.1 –	普通	良	浅黄橙色
1-132	Ⅳ-2-4	H27	684	F5	第1面	2S-507 底面	低脚坏	※19.6 △4.5 – –	普通	良	にぶい黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表７

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
1-133	Ⅳ-2-48	H27	694 4604	F5	第１面	2S-507 埋土中	器台	※20.2 11.8 ※18.4 －	普通	良	灰白色
1-134	Ⅳ-2-48	H27	685	F5	第１面	2S-507 底面	器台	※21.0 △6.3 － －	普通	良	浅黄橙色
2-001	Ⅳ-3-1	H27	1054	G7	第２面	－ Ⅲ層	壺	※21.2 △8.4 － －	普通	良	明黄褐色
2-002	Ⅳ-3-1	H27	1030 1156	G6	第２面	－ Ⅲ層	甕	※19.8 △7.4 － －	普通	良	灰白色～にぶい黄橙色
2-003	Ⅳ-3-1	H26	2832	D10	第２面	－ Ⅲ層	甕	－ △10.9 － －	粗	良	灰黄色～灰黄褐色
2-004	Ⅳ-3-1	H27	1199	H7	第２面	－ Ⅲ層	小型器台	10.6 △3.7 － －	普通	良	橙色
2-005	Ⅳ-3-1	H27	1016	H7	第２面	－ Ⅲ層	高坏	－ △6.7 ※13.2 －	普通	良	浅黄橙色
2-006	Ⅳ-3-1	H27	2189	G6	第２面	－ Ⅲ・Ⅳ層	鉢	※10.0 5.8 － －	普通	良	浅黄橙色
2-007	Ⅳ-3-1	H26	2985	E8	第２面	－ Ⅲ層	蓋	－ △4.35 － － つまみ※5.3	普通	良	灰白色
2-008	Ⅳ-3-1	H27	1159	E4	第２面	－ Ⅲ層	蓋	※13.0 △1.6 － －	精緻	良	灰色
2-009	Ⅳ-3-1	H26	2764	E9	第２面	－ Ⅲ層	坏	※13.0 △3.8 － －	精緻	良	灰色
2-010	Ⅳ-3-1	H27	1159	E4	第２面	－ Ⅲ層	坏	－ △3.3 ※6.8 －	精緻	良	灰色
2-011	Ⅳ-3-1	H26	2698	E9	第２面	－ Ⅲ層	底部	－ △2.0 7.7 －	精緻	良	灰色
2-012	Ⅳ-3-1	H27	1159	E4	第２面	－ Ⅲ層	高坏	－ △7.9 － －	精緻	良	灰オリーブ色
2-013	Ⅳ-3-6	H26	3247	E9	第２面	2S-106 埋土中	坏身	※12.6 △2.2 － －	普通	良	灰色
2-014	Ⅳ-3-6	H26	3247	E9	第２面	2S-106 埋土中	坏	※15.1 2.9 ※10.6 －	精緻	良	灰色
2-015	Ⅳ-3-6	H26	4889	E9	第２面	2S-220 埋土中	底部	－ △2.0 7.0 －	精緻	良	灰色
2-016	Ⅳ-3-6	H27	1093	G7	第２面	2S-625 埋土中	高坏	－ △10.1 － －	普通	良	灰黄色
2-017	Ⅳ-3-6	H27	1109	G7	第２面	2S-625 埋土中	器台	－ △5.6 － －	粗	良	浅黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表８

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
2-018	Ⅳ-3-7	H27	1038 1088	G7	第2面	2S-623 埋土中	壺	10.5 △7.5 － －	普通	良	にぶい橙色
3-001	Ⅳ-4-1	H26	3341	D4	第3面	－ Ⅳ層	鉢	－ △4.8 － －	普通	良	暗褐色
3-002	Ⅳ-4-1	H26	3557	C3	第3面	－ Ⅳ層	壺	9.0 △3.1 － －	普通	良	灰白色
3-003	Ⅳ-4-1	H26	3842 3862	D7・8	第3面	－ Ⅳ層	壺	※13.6 △6.85 － －	普通	良	にぶい黄橙色
3-004	Ⅳ-4-1	H26	4017	C4	第3面	－ Ⅳ層	壺	－ △12.4 － －	普通	良	灰白色
3-005	Ⅳ-4-1	H26	3342 3380	C・D5	第3面	－ Ⅳ層	甕	※16.9 △6.3 － ※17.4	普通	良	浅黄色
3-006	Ⅳ-4-1	H26	3856	E9	第3面	－ Ⅳ層	甕	※20.0 △6.5 － －	普通	良	浅黄橙色
3-007	Ⅳ-4-1	H26	3652	C7	第3面	－ Ⅳ層	甕	※24.5 △9.1 － －	普通	良	浅黄色
3-008	Ⅳ-4-1	H26	3374	E9	第3面	－ Ⅳ層	甕	※16.2 △8.8 － －	粗	良	にぶい黄橙色
3-009	Ⅳ-4-1	H27	1364	H7	第3面	－ Ⅳ層	甕	※13.0 △7.9 － －	普通	良	にぶい黄褐色
3-010	Ⅳ-4-1	H26	3884	E10	第3面	－ Ⅳ層	甕	－ △4.4 － －	普通	良	灰黄褐色
3-011	Ⅳ-4-1	H26	3701	D8	第3面	－ Ⅳ層	器台	※21.7 △7.3 － －	普通	良	橙色
3-012	Ⅳ-4-1	H26	2197	C3	第3面	－ Ⅳ層	器台	－ △13.1 ※15.55 －	普通	良	橙色
3-013	Ⅳ-4-1	H27	2238	G6	第3面	－ Ⅳ層	高坏	14.4 △5.1 － －	普通	良	にぶい黄橙色
3-014	Ⅳ-4-1	H26	3561	B3	第3面	－ Ⅳ層	高坏	－ △5.35 ※9.2 －	普通	良	にぶい橙色
3-015	Ⅳ-4-1	H26	3578 3579 3608	B・D3	第3面	－ Ⅳ層	低脚坏	※22.2 7.95 6.7 －	普通	良	淡黄色
3-016	Ⅳ-4-1	H26	3798 3838	D8	第3面	－ Ⅳ層	低脚坏	※13.8 5.2 6.25 －	普通	良	浅黄橙色
3-017	Ⅳ-4-1	H26	3647	C7	第3面	－ Ⅳ層	蓋	※13.2 6.6 － － つまみ※4.2	粗	良	にぶい黄橙色
3-018	Ⅳ-4-1	H26	3880	D8	第3面	－ Ⅳ層	壺	－ △6.7 － ※9.0	普通	良	にぶい黄橙色～明赤褐色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表９

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
3-019	Ⅳ-4-1	H26	3788	D7	第３面	－ Ⅳ層	坏蓋	※11.4 4.5 － －	精緻	良	灰色
3-020	Ⅳ-4-1	H26	3674	C8	第３面	－ Ⅳ層	坏蓋	※13.4 △3.5 － －	精緻	良	灰色
3-021	Ⅳ-4-1	H26	3696	C7	第３面	－ Ⅳ層	坏身	※12.0 4.4 ※8.2 －	精緻	良	灰色
3-022	Ⅳ-4-1	H26	2869 3873	C8	第３面	－ Ⅳ層	高坏	－ △9.2 ※11.0 －	精緻	良	灰色
3-023	Ⅳ-4-5	H26	7400	E9	第３面	2S－319 埋土中	坏身	※13.0 △3.4 － －	精緻	良	灰白色
3-024	Ⅳ-4-7	H26	3932 3933	E9	第３面	2S－111 2S－109 埋土中	壺	※10.8 △8.7 － －	粗	良	灰黄色
3-025	Ⅳ-4-8	H26	3570	C3	第３面	2S－145 埋土中	甕	－ △4.6 － －	粗	良	にぶい黄橙色
3-026	Ⅳ-4-9	H27	1588	H7	第３面	2S－628 埋土中	甕	※13.5 △5.6 － －	普通	良	赤褐色
3-027	Ⅳ-4-9	H27	1293 1336	H7	第３面	2S－628 埋土中	坏身	※13.2 4.2 ※8.0 －	精緻	良	灰白色～灰色
3-028	Ⅳ-4-10	H26	4062	D7	第３面	2S－126 埋土中	器台	※21.6 △5.4 － －	普通	良	灰白色
3-029	Ⅳ-4-12	H27	7872	G7	第３面	2S－626 埋土中	甕	17.1 △9.4 － －	普通	良	灰黄色
3-030	Ⅳ-4-12	H27	2965	G7	第３面	2S－626 埋土中	甕	※17.2 △10.6 － －	粗	良	にぶい黄橙色
3-031	Ⅳ-4-12	H27	1297,1338,1395 1410,1412,1734	G7	第３面	2S－626 下層	甕	15.2 △8.75 － －	普通	良	灰白色～灰黄褐色
3-032	Ⅳ-4-12	H27	1408 1409	G7	第３面	2S－626 下層	甕	16.8 △7.7 － －	粗	良	淡黄色～黒色
3-033	Ⅳ-4-12	H27	1417 1418	G7	第３面	2S－626 上層	壺	※15.0 △11.85 － －	普通	良	灰黄褐色
3-034	Ⅳ-4-12	H27	2939	G7	第３面	2S－626 埋土中	壺	14.6 △4.6 － －	普通	良	にぶい黄橙色
3-035	Ⅳ-4-12	H27	1630	G7	第３面	2S－626 埋土中	甕	※15.4 △8.1 － －	普通	良	にぶい黄橙色
3-036	Ⅳ-4-12	H27	2967	G7	第３面	2S－626 埋土中	高坏	※22.8 △7.8 － －	普通	良	浅黄橙～にぶい橙色
3-037	Ⅳ-4-12	H27	1758 1757	G7	第３面	2S－626 下層	高坏	※16.2 8.3 － －	普通	良	灰黄褐色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表10

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
3-038	Ⅳ-4-12	H27	1705	G7	第3面	2S-626 埋土中	高坏	– △9.3 13.4 –	普通	良	浅黄橙色
3-039	Ⅳ-4-12	H27	1405 2459 2304 2382	G7	第3面	2S-626 V層 下層	高坏	9.7 △8.5 – 13.8	普通	良	灰白色～浅黄橙色
3-040	Ⅳ-4-12	H27	1257	G7	第3面	2S-626 上層	高坏	– △5.3 – –	精緻	良	灰白色
3-041	Ⅳ-4-12	H27	1297,1398,1412 1734,1748,1749	G7	第3面	2S-626 下層	器台	※21.0 △9.9 – –	普通	良	にぶい黄橙色
3-042	Ⅳ-4-12	H27	1399	G7	第3面	2S-626 下層	蓋	※7.8 5.55 – – つまみ※5.4	普通	良	黄灰色
3-043	Ⅳ-4-13	H27	1553 1610	G7	第3面	2S-627 上層	壺	※20.0 △13.0 – –	普通	良	浅黄橙色
3-044	Ⅳ-4-13	H27	1640	G7	第3面	2S-627 下層	器台	– △12.6 ※17.4 –	粗	良	にぶい橙色
3-045	Ⅳ-4-13	H27	1208	G7	第3面	2S-627 埋土中	器台	– △8.9 ※12.2 –	普通	良	にぶい橙色
3-046	Ⅳ-4-13	H27	1209	F7	第3面	2S-627 埋土中	蓋	※14.8 7.9 – – つまみ5.4	普通	良	にぶい黄橙色
3-047	Ⅳ-4-13	H27	1047	G7	第3面	2S-627 埋土中	坏身	– △1.8 – –	精緻	良	灰白色
3-048	Ⅳ-4-17	H26	7446	D8	第3面	2S-138 埋土中	壺	※20.8 △7.5 – –	普通	良	外面：にぶい橙色 内面：灰白色
3-049	Ⅳ-4-17	H26	7735	C8	第3面	2S-138 埋土中	埦	※15.9 △4.9 – –	精緻	良	にぶい橙色
3-050	Ⅳ-4-17	H26	7705	C7	第3面	2S-138 埋土中	埦	※14.7 7.2 – –	粗	良	褐色
3-051	Ⅳ-4-17	H26	7448	C8	第3面	2S-138 埋土中	手づくね	– △4.55 – 5.4	粗	良	赤褐色
3-052	Ⅳ-4-17	H26	7726	C8	第3面	2S-138 埋土中	壺	※9.5 △14.75 – ※13.8	普通	良	浅黄橙色
3-053	Ⅳ-4-17	H26	4768	C8	第3面	2S-138 埋土中	甕	※17.0 △8.3 – –	粗	良	赤褐色
3-054	Ⅳ-4-17	H26	4305 4766	C8	第3面	2S-138 埋土中	甕	※15.0 △7.85 – –	粗	良	橙色
3-055	Ⅳ-4-17	H26	4785,4815,4819 4838,4883	C8	第3面	2S-138 埋土中	甕	15.4 △19.7 – 19.5	粗	良	にぶい黄橙色
3-056	Ⅳ-4-17	H26	7991	C8	第3面	2S-138 埋土中	高坏	※19.8 △5.8 – –	普通	良	橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表11

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
3-057	Ⅳ-4-17	H26	7289 7697	C8	第３面	2S-138 埋土中 Ⅳ層	高坏	※12.0 8.45 7.0 –	普通	良	褐色
3-058	Ⅳ-4-17	H26	7725 7732	C8	第３面	2S-138 埋土中	高坏	※12.6 8.95 6.6	精緻	良	橙色
3-059	Ⅳ-4-17	H26	4653 5024 7277 7740	C8	第３面	2S-138、2S-189 埋土中、清掃中	高坏	※13.5 △10.65 ※8.0 –	精緻	良	にぶい橙色
3-060	Ⅳ-4-17	H26	4815 4844 4868	C8	第３面	2S-138 埋土中	甕	– △24.3 – –	普通	良	浅黄橙色
3-061	Ⅳ-4-18	H26	4296 4311	C8	第３面	2S-138 埋土中	坏蓋	※12.25 3.6 – –	精緻	良	紫灰色
3-062	Ⅳ-4-18	H26	4313 4815	C8	第３面	2S-138 埋土中	坏蓋	※12.9 3.5 – –	精緻	良	灰色
3-063	Ⅳ-4-18	H26	4190	C8	第３面	2S-138 埋土中	坏蓋	※14.8 △4.2 – –	精緻	良	灰色
3-064	Ⅳ-4-18	H26	4836	C8	第３面	2S-138 埋土中	坏蓋	※13.4 3.0 – –	精緻	良	灰色
3-065	Ⅳ-4-18	H26	4197	C8	第３面	2S-138 埋土中	坏身	※12.8 3.65 – –	精緻	良	灰色
3-066	Ⅳ-4-18	H26	3977 4669	C8	第３面	2S-138 埋土中	高坏	※13.8 △4.0 – –	精緻	良	灰色
3-067	Ⅳ-4-18	H26	4212	C8	第３面	2S-138 埋土中	埦	※11.8 △7.5 – –	普通	良	浅黄色
3-068	Ⅳ-4-18	H26	4198	C8	第３面	2S-138 埋土中	高坏	– △7.0 ※11.3 –	精緻	良	青灰色
3-069	Ⅳ-4-18	H26	3977 4771	C8	第３面	2S-138 埋土中	高坏	※13.4 △11.8 – –	精緻	良	外面：褐灰色 内面：にぶい橙色
4-001	Ⅳ-5-1	H27	1123	E5	第４面	– Ⅴ層	壺	18.8 18.65 – –	普通	良	浅黄色～灰白色
4-002	Ⅳ-5-1	H26	4341 4846	D5	第４面	– Ⅴ層	壺	※17.2 △15.9 – ※24.2	普通	良	にぶい橙色
4-003	Ⅳ-5-1	H27	1023	F5	第４面	– Ⅴ層	壺	– △14.1 – –	普通	良	にぶい橙色
4-004	Ⅳ-5-1	H26	5112	D6	第４面	– Ⅴ層	壺	※16.4 △8.8 – –	普通	良	にぶい黄褐色
4-005	Ⅳ-5-1	H26	4240	D6	第４面	– Ⅴ層	壺	※16.6 △8.4 – –	普通	良	浅黄橙色
4-006	Ⅳ-5-1	H26	4139	C3	第４面	– Ⅴ層	壺	15.8 △7.6 – –	普通	良	にぶい黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表12

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
4-007	Ⅳ-5-1	H26	4132	C3	第4面	– V層	壺	※15.0 △6.35 – –	普通	良	浅黄橙色
4-008	Ⅳ-5-1	H27	1282	E5	第4面	– V層	壺	※18.7 △10.0 – –	普通	良	灰黄色
4-009	Ⅳ-5-3	H27	1004	F5	第4面	– V層	甕	※18.6 △31.3 – –	普通	良	浅黄橙色
4-010	Ⅳ-5-3	H27	1139	E5	04面	– V層	甕	※16.8 △18.2 – ※31.0	普通	良	にぶい黄橙色
4-011	Ⅳ-5-3	H26	4098	C3	第4面	– V層	甕	※31.2 △8.6 – –	普通	良	にぶい黄橙色
4-012	Ⅳ-5-3	H27	1128	E5	第4面	– V層	甕	※17.8 △26.5 – ※24.0	普通	良	灰白色
4-013	Ⅳ-5-3	H27	1012 1043 1157	F5	第4面	– V層	甕	※14.6 △26.0 – ※22.65	普通	良	にぶい黄橙色
4-014	Ⅳ-5-3	H27	1132 1135	E5	第4面	– V層	甕	※12.8 △22.4 – ※17.6	普通	良	にぶい黄橙色
4-015	Ⅳ-5-3	H27	1115	F5	第4面	– V層	甕	12.8 22.05 – ※19.65	普通	良	灰白色
4-016	Ⅳ-5-4	H27	2245	G7	第4面	– V層	甕	※16.7 △11.0 – –	粗	良	褐灰色～灰黄褐色
4-017	Ⅳ-5-4	H27	1143	E5	第4面	– V層	甕	※14.4 △13.6 – ※22.4	普通	良	にぶい黄橙色
4-018	Ⅳ-5-4	H27	1006	F5	第4面	– V層	甕	※17.6 12.2 – –	普通	良	にぶい黄橙色
4-019	Ⅳ-5-4	H26	4412	C7	第4面	– V層	甕	15.8 △13.2 – ※22.2	普通	良	浅黄橙色～黄橙色
4-020	Ⅳ-5-4	H27	2383 2385	G7	第4面	– V層	甕	※21.0 △10.55 – ※21.7	普通	良	にぶい黄橙色
4-021	Ⅳ-5-4	H27	1140	E5	第4面	– V層	甕	※12.2 △16.1 – ※20.4	普通	良	浅黄色
4-022	Ⅳ-5-4	H27	1044	E5	第4面	– V層	甕	※13.2 △14.1 – –	普通	良	灰黄色
4-023	Ⅳ-5-4	H27	1138	E5	第4面	– V層	甕	※14.1 △10.6 – –	普通	良	にぶい黄橙色
4-024	Ⅳ-5-4	H27	1129	E5	第4面	– V層	甕	12.7 △8.25 – –	普通	良	にぶい黄橙色
4-025	Ⅳ-5-4	H27	1044	E5	第4面	– V層	甕	※12.6 △5.5 – –	普通	良	淡黄色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表13

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
4-026	Ⅳ-5-4	H27	1113	F5	第４面	– V層	甕	11.0 15.5 – 14.7	普通	良	灰白色～にぶい黄橙色
4-027	Ⅳ-5-4	H26	5827	D8	第４面	– V層	甕	12.0 △16.2 – 14.4	普通	良	明赤褐色
4-028	Ⅳ-5-4	H27	2655	G7	第４面	– V層	甕	※10.2 △8.8 – –	普通	良	黒色
4-029	Ⅳ-5-4	H27	2277	G7	第４面	– V層	甕	※11.2 △5.9 – –	普通	良	褐灰色
4-030	Ⅳ-5-4	H26	4235	C6	第４面	– V層	甕	※10.6 △5.5 – –	普通	良	黒褐色
4-031	Ⅳ-5-4	H26	4113	D3	第４面	– V層	甕	※10.4 △6.2 – –	普通	良	黄灰色
4-032	Ⅳ-5-5	H27	1126	E5	第４面	– V層	高坏	20.85 15.1 ※13.0 –	普通	良	灰白色
4-033	Ⅳ-5-5	H26	4419	C6	第４面	– V層	高坏	※23.8 △7.45 – –	普通	良	灰白色
4-034	Ⅳ-5-5	H27	2335	H6	第４面	– V層	高坏	12.0 △5.2 – –	普通	良	浅黄橙色
4-035	Ⅳ-5-5	H26	4325 4343	D7	第４面	– V層	高坏	※23.8 △5.6 – –	普通	良	浅黄橙色
4-036	Ⅳ-5-5	H27	1120	E5	第４面	– V層	高坏	※13.6 △5.5 – –	普通	良	淡黄色
4-037	Ⅳ-5-5	H26	4323	D7	第４面	– V層	高坏	16.1 9.2 ※11.0 –	普通	良	にぶい黄橙色
4-038	Ⅳ-5-5	H26	5905 5973	D8	第４面	– V層	高坏	※20.6 △9.0 – –	普通	良	にぶい黄橙色
4-039	Ⅳ-5-5	H28	965	E5	第４面	V層	高坏	※13.6 △5.4 – –	精緻	不良	淡黄色
4-040	Ⅳ-5-5	H27	1135	E5	第４面	– V層	高坏	16.7 △5.2 – –	普通	良	にぶい黄橙色
4-041	Ⅳ-5-5	H26	4321	D7	第４面	– V層	高坏	※15.2 △6.7 – –	普通	良	にぶい褐色
4-042	Ⅳ-5-5	H27	986 1005	F5	第４面	– V層	高坏	12.5 △4.85 – –	普通	良	橙色
4-043	Ⅳ-5-5	H26	4229 4419	C・D6	第４面	– V層	高坏	– △17.0 ※15.8 –	普通	良	浅黄橙色
4-044	Ⅳ-5-5	H26	4399	D8	第４面	– V層	高坏	– △10.8 ※14.8 –	普通	良	灰白色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表14

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
4-045	Ⅳ-5-5	H27	1026	E5	第4面	– V層	高坏	– △7.2 11.1 –	普通	良	にぶい黄橙色
4-046	Ⅳ-5-5	H26	4097 4111	C3	第4面	– V層	高坏	– △18.1 ※20.2 –	普通	良	浅黄橙色
4-047	Ⅳ-5-5	H26	4414 4426	D8	第4面	– V層	高坏	– △11.3 12.9 –	普通	良	にぶい橙色
4-048	Ⅳ-5-5	H27	2671	G7	第4面	– V層	高坏	– △7.4 12.8 –	普通	良	淡橙色
4-049	Ⅳ-5-5	H27	1178	E5	第4面	– V層	高坏	– △5.1 ※18.0 –	普通	良	にぶい黄橙色
4-050	Ⅳ-5-5	H26	4129	C4	第4面	– V層	高坏	– △4.6 12.2 –	普通	良	にぶい黄橙色
4-051	Ⅳ-5-5	H26	4517	D4	第4面	– V層	脚	– △3.5 9.5 –	普通	良	にぶい橙色
4-052	Ⅳ-5-6	H27	2338	G6	第4面	– V層	低脚坏	※15.4 △4.0 ※4.4 –	普通	良	にぶい橙色
4-053	Ⅳ-5-6	H27	1121	E5	第4面	– V層	低脚坏	18.7 5.8 6.8 –	普通	良	淡黄色
4-054	Ⅳ-5-6	H27	1101	F6	第4面	– V層	低脚坏	※17.0 6.7 ※7.3 –	普通	良	灰白色
4-055	Ⅳ-5-6	H26	5755	D8	第4面	– V層	低脚坏	※16.0 6.2 ※6.9 –	普通	良	にぶい橙色～灰褐色
4-056	Ⅳ-5-6	H27	2309	G7	第4面	– V層	低脚坏	※13.2 △6.2 – –	普通	良	淡黄色
4-057	Ⅳ-5-6	H27	1963	G7	第4面	– V層	台付鉢	※13.4 9.4 ※5.0 –	普通	良	灰白色
4-058	Ⅳ-5-6	H26	4240	D6	第4面	– V層	小型器台	– △6.1 – –	粗	良	浅黄色
4-059	Ⅳ-5-6	H27	1127	E5	第4面	– V層	小型器台	※11.3 10.0 11.3 –	普通	良	灰白色
4-060	Ⅳ-5-6	H27	1146	E5	第4面	– V層	小型器台	11.2 △3.15 – –	普通	良	灰白色
4-061	Ⅳ-5-6	H27	1142	E5	第4面	– V層	鉢	14.1 4.4 – –	普通	良	にぶい黄橙色
4-062	Ⅳ-5-6	H26	4108	B3	第4面	– V層	蓋	※7.8 2.45 – – つまみ※3.4	普通	良	灰黄褐色
4-063	Ⅳ-5-6	H26	4398	D9	第4面	– V層	蓋	– 5.1 ※8.4 – つまみ3.7	普通	良	灰黄色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表15

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
4-064	Ⅳ-5-6	H26	5751	D8	第４面	－ Ⅴ層	蓋	12.1 6.0 － － つまみ4.6	普通	良	灰黄褐色
4-065	Ⅳ-5-6	H26	4401 4537	C・D8	第４面	－ Ⅴ層	器台	－ △7.9 － －	普通	良	にぶい橙色～浅黄橙色
4-066	Ⅳ-5-6	H26	480 509	D3	第４面	－ Ⅴ層	器台	※15.8 10.4 ※15.0 －	普通	良	にぶい橙色
4-067	Ⅳ-5-6	H26	4409 4420	C7	第４面	－ Ⅴ層	器台	－ △8.9 － －	普通	良	灰黄色
4-068	Ⅳ-5-6	H26	472 509	D3	第４面	－ Ⅴ層	器台	－ △8.7 ※19.7 －	普通	良	にぶい黄橙色
4-069	Ⅳ-5-6	H27	1206	F5	第４面	Ⅴ層下面 サブトレンチ１ －	器台	－ △9.3 － －	普通	良	にぶい黄橙色
4-070	Ⅳ-5-6	H26	4343	D7	第４面	－ Ⅴ層	甑型土器	※9.8 △13.1 － －	普通	良	浅黄橙色
4-071	Ⅳ-5-6	H27	2301	G7	第４面	－ Ⅴ層	甑	※10.8 △11.55 － －	普通	良	淡黄色
4-072	Ⅳ-5-6	H27	1224	F6	第４面	－ Ⅴ層下面精査中	甑型土器	－ △13.0 － －	普通	良	灰白色
4-073	Ⅳ-5-6	H26	4134	B3	第４面	－ Ⅴ層	甑型土器	※10.3 △9.4 － －	普通	良	灰黄色
4-074	Ⅳ-5-14	H26	7286	E9	第４面	2S－341 埋土中	甕	※15.8 △4.2 － －	粗	良	にぶい黄褐色
4-075	Ⅳ-5-14	H26	7542	E10	第４面	2S－334 2S－349 埋土中	甕	－ △5.7 － －	普通	良	淡黄色
4-076	Ⅳ-5-15	H26	5896	D9	第４面	2S－200 埋土中	甕	※14.5 △5.2 － －	粗	良	灰白色～にぶい黄橙色
4-077	Ⅳ-5-16	H27	1531	D3	第４面	2S－648 埋土中	甕	－ △5.8 － －	普通	良	灰黄色
4-078	Ⅳ-5-18	H26	7093	C5	第４面	2S－183 埋土中	甕	※16.0 △5.7 － －	普通	良	にぶい橙色
4-079	Ⅳ-5-18	H26	6309 7095	C5	第４面	2S－183 埋土中	壺	※17.2 △14.1 － －	普通	良	灰白色
4-080	Ⅳ-5-18	H26	7279	D7	第４面	2S－300 埋土中	甑型土器	－ △6.1 － －	普通	不良	灰白色
4-081	Ⅳ-5-12	H26	7171	D5	第４面	2S－317 埋土中	壺	※16.8 △7.1 － －	普通	良	灰白色
4-082	Ⅳ-5-12	H26	7355	D5	第４面	2S－317 埋土中	壺	※16.2 △7.3 － －	精緻	良	灰黄褐色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表16

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
4-083	Ⅳ-5-21	H26	7173,7179,7180 7184,7187,7347 7348,7349,7488 7360	D5	第4面	2S-317 埋土中	甕	※24.7 △8.5 – –	精緻	良	杯白色
4-084	Ⅳ-5-21	H26	7160	D5	第4面	2S-317 埋土中	甕	※31.4 △10.7 – –	普通	良	褐灰色
4-085	Ⅳ-5-21	H26	7346	D5	第4面	2S-317 埋土中	甕	※16.9 △11.6 – 20.2	普通	良	淡橙色
4-086	Ⅳ-5-21	H26	7483	D5	第4面	2S-317 埋土中	蓋	※11.0 4.9 ※5.5 –	普通	良	にぶい黄橙色
4-087	Ⅳ-5-22	H26	4644	C3	第4面	2S-171 埋土中	器台	– △4.2 ※10.4 –	普通	良	にぶい黄橙色
4-088	Ⅳ-5-22	H26	4645	C3	第4面	2S-174 埋土中	甕	※23.3 △4.9 – –	粗	良	灰黄色～黒褐色
4-089	Ⅳ-5-23	H26	4884	E9	第4面	2S-190 埋土中	甕	※14.6 △4.9 – –	普通	良	にぶい黄橙色
4-090	Ⅳ-5-23	H26	4845	D5	第4面	2S-201 埋土中	壺	– △10.9 – –	普通	良	明褐灰色
4-091	Ⅳ-5-23	H26	6732	D8	第4面	2S-217 埋土中	甕	※23.4 △4.3 – –	普通	良	にぶい褐色
4-092	Ⅳ-5-24	H26	4890	D4	第4面	2S-222 埋土中	甕	– △5.2 – –	普通	良	灰白色
4-093	Ⅳ-5-25	H26	7323	D10	第4面	2S-325 埋土中	甕	※17.3 △4.4 – –	粗	良	灰白色
4-094	Ⅳ-5-25	H26	7061	D10	第4面	2S-325 埋土中	甕	– △5.7 – –	普通	良	淡黄色
4-095	Ⅳ-5-27	H27	1458	E4	第4面	2S-647 埋土中	甕	※17.6 △7.4 – –	普通	良	にぶい黄橙色
4-096	Ⅳ-5-27	H26	4888	D9	第4面	2S-210 埋土中	甕	– △4.1 – –	普通	良	にぶい黄橙色
4-097	Ⅳ-5-27	H26	6185	D7	第4面	2S-240 埋土中	甕	※18.1 △5.2 – –	普通	良	灰白色
4-098	Ⅳ-5-28	H27	1754	F6	第4面	2S-659 埋土中	壺	※16.4 △7.4 – –	普通	良	浅黄橙色
4-099	Ⅳ-5-30	H28	605	C8	第4面	2S-857 –	壺	※11.7 △9.8 – ※17.8	普通	良	にぶい黄橙色
4-100	Ⅳ-5-30	H28	99	D8	第4面	2S-857 –	高坏	※11.8 △3.7 – –	精緻	良	にぶい橙色
4-101	Ⅳ-5-30	H28	895	C8	第4面	2S-857 –	脚	– △2.5 ※6.4 –	精緻	良	灰黄褐色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表17

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
4-102	Ⅳ-5-30	H28	1892	C8	第４面	2S-857 ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ -	器台	- △4.1 - -	精緻	良	にぶい黄橙色
4-103	Ⅳ-5-31	H26	6311,7205,7253 7254,7255,7257 7258,7278	D7	第４面	2S-251 埋土中	甕	15.6 △19.2 - ※19.4	普通	良	浅黄色
4-104	Ⅳ-5-31	H26	7256	D7	第４面	2S-251 埋土中	甕	※19.4 △5.2 - -	粗	良	橙色
4-105	Ⅳ-5-31	H26	6233	D7	第４面	2S-251 埋土中	甕	※16.8 △6.4 - -	普通	良	にぶい黄橙色
4-106	Ⅳ-5-31	H26	6236 6237	D7	第４面	2S-251 埋土中	高坏	※21.4 △9.9 - -	普通	良	にぶい黄橙色
4-107	Ⅳ-5-32	H27	1665	E5	第４面	2S-1282 埋土中	低脚坏	- △2.7 ※6.0 -	普通	良	灰白色
4-108	Ⅳ-5-37	H27	2515 2592	G6	第４面	2S-666 埋土下層	壺	16.2 21.2 ※4.7 21.2	普通	良	にぶい黄橙色
4-109	Ⅳ-5-37	H27	2194	G6	第４面	2S-666 埋土上層	壺	※27.6 △9.2 - -	普通	良	にぶい黄橙色
4-110	Ⅳ-5-37	H27	2506	G6	第４面	2S-666 埋土下層	壺	※12.3 △8.3 - -	普通	良	灰白色
4-111	Ⅳ-5-37	H27	2509	G6	第４面	2S-666 埋土下層	壺	※15.0 △7.9 - -	普通	良	灰白色～にぶい黄橙色
4-112	Ⅳ-5-37	H27	2598	G6	第４面	2S-666 埋土下層	壺	※14.6 △9.4 - -	普通	良	浅黄橙色
4-113	Ⅳ-5-37	H27	2807	G7	第４面	2S-666 ベルト -	甕	※17.5 △12.9 - ※22.4	普通	良	にぶい黄橙色
4-114	Ⅳ-5-37	H27	2564 2653	G6	第４面	2S-666 埋土下層	甕	18.2 △12.8 - -	普通	良	にぶい黄橙色
4-115	Ⅳ-5-37	H27	2506	G6	第４面	2S-666 埋土下層	甕	※24.2 △8.2 - -	普通	良	にぶい黄橙色
4-116	Ⅳ-5-37	H27	2522 2523	G6	第４面	2S-666 埋土下層	甕	※15.8 △11.4 - -	粗	良	浅黄橙色
4-117	Ⅳ-5-37	H27	2475 2594 2596	G6	第４面	2S-666 埋土下層	甕	※15.6 △6.6 - -	普通	良	にぶい黄橙色
4-118	Ⅳ-5-37	H27	2479	G6	第４面	2S-666 埋土下層	甕	※16.2 △8.8 - -	普通	良	明黄褐色
4-119	Ⅳ-5-37	H27	2804	G6	第４面	2S-666 ベルト -	壺	※16.7 △8.8 - -	粗	良	明赤褐色
4-120	Ⅳ-5-37	H27	2190 2578	G6	第４面	2S-666 埋土下層 埋土上層	高坏	- △12.8 - -	普通	良	にぶい黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表18

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
4-121	Ⅳ-5-37	H27	2462	G6	第4面	2S-666 埋土下層	器台	– △7.8 – ※11.7	普通	良	浅黄橙色
4-122	Ⅳ-5-37	H27	2526	G6	第4面	2S-666 埋土下層	低脚坏	16.2 5.2 4.8 –	普通	良	浅黄橙色
4-123	Ⅳ-5-37	H27	2510	G6	第4面	2S-666 埋土下層	壺	– △9.1 – –	普通	良	灰白色
4-124	Ⅳ-5-38	H27	2940	G7	第4面	2S-672 埋土中	甕	15.7 22.65 – 19.5	普通	良	灰白色～浅黄橙色
4-125	Ⅳ-5-38	H27	2425 2941	G7	第4面	2S-672 埋土中	甕	17.1 △23.0 – 21.5	普通	良	灰白色
4-126	Ⅳ-5-38	H27	7871	G7	第4面	2S-672 埋土中	甕	17.0 △11.5 – –	普通	良	にぶい黄橙色
4-127	Ⅳ-5-38	H27	2999 3012 3014	G7	第4面	2S-672 埋土中	甕	18.7 △13.7 – ※23.0	普通	良	灰白色
4-128	Ⅳ-5-38	H27	3048	G7	第4面	2S-672 埋土中	壺	5.3 9.45 – 10.0	普通	良	灰白色
4-129	Ⅳ-5-38	H27	2968 2978 2999	G7	第4面	2S-672 埋土中	甕	17.4 △14.0 – –	普通	良	灰白色
4-130	Ⅳ-5-38	H27	7871	G7	第4面	2S-672 埋土中	甕	※17.0 △11.15 – ※20.2	普通	良	浅黄色
4-131	Ⅳ-5-38	H27	2654	G7	第4面	2S-672 埋土中	甕	※11.1 △5.6 – ※10.9	粗	良	灰黄色
4-132	Ⅳ-5-38	H27	2702 2703	G7	第4面	2S-672 埋土中	甕	※18.0 △6.8 – –	普通	良	にぶい橙色
4-133	Ⅳ-5-38	H27	2425	G7	第4面	2S-672 埋土中	甕	※15.1 △6.2 – –	普通	良	灰白色
4-134	Ⅳ-5-38	H27	2689	G7	第4面	2S-672 埋土中	甕	※15.2 △7.8 – –	粗	良	にぶい赤褐色
4-135	Ⅳ-5-38	H27	2693	G7	第4面	2S-672 埋土中	高坏	※14.8 △4.5 – –	普通	良	橙色
4-136	Ⅳ-5-38	H27	2408	G7	第4面	2S-672 埋土中	高坏	– △3.6 – –	普通	良	橙色
4-137	Ⅳ-5-38	H27	3013	G7	第4面	2S-672 埋土中	高坏	– △8.0 ※16.4 –	普通	良	浅黄橙色
4-138	Ⅳ-5-39	H27	2999 3009 3012	G7	第4面	2S-672 埋土中	器台	※23.2 14.8 ※19.2 –	普通	良	にぶい黄橙色
4-139	Ⅳ-5-39	H27	7871	G7	第4面	2S-672 埋土中	器台	※15.2 10.3 ※11.8 –	普通	良	灰黄色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表19

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
4-140	Ⅳ-5-43	H27	1687	E5	第４面	2S-631 ２層	甕	※15.2 △6.8 － －	普通	良	褐灰色～灰白色
4-141	Ⅳ-5-43	H27	1702	E5	第４面	2S-631 ２層	甕	※15.6 △7.1 － －	普通	良	浅黄色
4-142	Ⅳ-5-43	H27	1681	E5	第４面	2S-631 １層	高坏	※21.4 △5.7 － －	普通	良	にぶい黄橙色
4-143	Ⅳ-5-43	H27	1687	E5	第４面	2S-631 ２層	高坏	※18.1 11.4 ※10.5 －	普通	良	にぶい黄橙色
4-144	Ⅳ-5-43	H27	1681 1682	E5	第４面	2S-631 １層 ２層	高坏	※28.9 △8.9 － －	普通	良	淡黄色
4-145	Ⅳ-5-48	H27	1482	E5	第４面	2S-637 埋土中	直口壺	※10.6 △6.2 － －	普通	良	褐灰色
4-146	Ⅳ-5-48	H27	1915	E5	第４面	2S-637 底面	直口壺	※17.0 △14.7 － －	精緻	良	灰白色
4-147	Ⅳ-5-48	H27	1313 1612 1845	E5	第４面	2S-637 2S-637トレンチ１ 埋土中	壺	19.0 34.5 3.3 27.2	普通	良	灰白色
4-148	Ⅳ-5-48	H27	1555 1612 1904	E5	第４面	2S-637 埋土中 底面	壺	※21.9 △15.1 － －	普通	良	浅黄橙色
4-149	Ⅳ-5-48	H27	1903 1904	E5	第４面	2S-637 底面	甕	※15.4 △8.05 － －	普通	良	灰白色
4-150	Ⅳ-5-48	H27	1849	E5	第４面	2S-637 底面	甕	17.1 △27.3 － 24.6	精緻	良	灰白色
4-151	Ⅳ-5-48	H27	2116	E5	第４面	2S-637 埋土中	甕	※14.6 △25.9 － ※22.6	普通	良	浅黄橙色
4-152	Ⅳ-5-48	H27	1482 1847	E5	第４面	2S-637 埋土中	甕	※12.0 △12.0 － ※20.6	精緻	良	浅黄橙色
4-153	Ⅳ-5-48	H27	2120	E5	第４面	2S-637 埋土中	甕	※14.1 △15.3 － ※21.6	普通	良	浅黄橙色
4-154	Ⅳ-5-49	H27	1832	E5	第４面	2S-637 底面	甕	14.35 22.7 1.6 19.9	普通	良	灰白色
4-155	Ⅳ-5-49	H27	1854 1856	E5	第４面	2S-637 底面	甕	※14.4 △22.9 － ※21.9	普通	良	浅黄橙色
4-156	Ⅳ-5-49	H27	2082	E5	第４面	2S-637 底面	甕	※13.6 △12.2 － ※19.4	普通	良	灰白色
4-157	Ⅳ-5-49	H27	1923	E5	第４面	2S-637 埋土中	甕	※12.6 △8.75 － ※16.95	精緻	良	灰白色
4-158	Ⅳ-5-49	H27	1927	E5	第４面	2S-637 底面	甕	※13.4 △18.8 － 18.3	普通	良	灰白色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表20

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
4-159	Ⅳ-5-49	H27	1929	E5	第4面	2S-637 埋土中	甕	12.6 21.1 1.0 18.1	精緻	良	灰白色
4-160	Ⅳ-5-49	H27	1482,1555,1858 1859,1888,1970 1974	E5	第4面	2S-637 埋土中 底面	甕	※13.8 21.2 ※10.0 ※19.4	普通	良	にぶい黄橙色
4-161	Ⅳ-5-49	H27	2118	E5	第4面	2S-637 底面	甕	12.9 14.25 1.7 14.5	精緻	良	灰白色
4-162	Ⅳ-5-49	H27	1830	E5	第4面	2S-637 底面	甕	※11.0 10.1 ※1.5 ※10.6	普通	良	灰白色
4-163	Ⅳ-5-49	H27	1971	E5	第4面	2S-637 底面	甕	17.85 21.3 11.5 23.0	普通	良	灰白色
4-164	Ⅳ-5-49	H27	1555	E5	第4面	2S-637 埋土中	高坏	– △4.5 – –	普通	良	灰白色
4-165	Ⅳ-5-49	H27	1846	E5	第4面	2S-637 埋土中	低脚坏	– △3.1 7.5 –	精緻	良	灰白色
4-166	Ⅳ-5-49	H27	1852	E5	第4面	2S-637 底面	低脚坏	18.2 5.8 4.6 –	精緻	良	灰白色
4-167	Ⅳ-5-49	H27	1921	E5	第4面	2S-637 埋土中	小型器台	– △7.1 – –	精緻	良	にぶい黄橙色
4-168	Ⅳ-5-49	H27	1837	E5	第4面	2S-637 底面	高坏	※16.0 △4.15 – –	普通	良	浅黄橙色
4-169	Ⅳ-5-49	H27	2084	E5	第4面	2S-637 埋土中	高坏	※18.6 △4.6 – –	精緻	良	灰白色
4-170	Ⅳ-5-49	H27	1991 2081	E5	第4面	2S-637 底面 断面B1層	高坏	※20.8 △7.7(脚)△4.6(坏) 11.6 –	普通	良	にぶい橙色
4-171	Ⅳ-5-50	H27	1313 1873 2122	E5	第4面	2S-637 埋土中	高坏	20.6 14.85 13.5	普通	良	灰白色
4-172	Ⅳ-5-50	H27	8841	E5	第4面	2S-637 埋土中	高坏	21.0 14.4 13.1 –	精緻	良	灰白色
4-173	Ⅳ-5-50	H27	1870	E5	第4面	2S-637 底面	器台	20.0 △9.55 – –	普通	良	灰白色
4-174	Ⅳ-5-50	H27	1902	E5	第4面	2S-637 底面	器台	※20.0 9.9 18.4	普通	良	灰白色
4-175	Ⅳ-5-51	H28	851,1203,1230 1348,1601,1931	E5	第4面	2S-977 埋土中	甕	17.3 △13.3 – ※23.5	普通	良	にぶい橙色
4-176	Ⅳ-5-51	H28	1931	E5	第4面	2S-977 埋土中	甕	※20,2 △5.0 – –	普通	良	にぶい橙色
4-177	Ⅳ-5-55	H26	4111 4649 4806	C3・6	第4面	2S-180 埋土中 V層	壺	※24.6 10.8 – –	普通	良	明褐灰色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表21

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
4-178	Ⅳ-5-55	H28	1131	D4	第４面	2S-180	小型丸底壺	※13.1 △6.7 – –	精緻	良	橙色
4-179	Ⅳ-5-55	H26	2669	D4	第４面	2S-180 埋土中	小型丸底壺	10.4 △5.1 – –	精緻	良	にぶい黄橙色～褐色
4-180	Ⅳ-5-55	H26	4478	C5	第４面	2S-180 埋土中	壺	※8.8 △7.9 – ※12.6	普通	良	にぶい黄橙色
4-181	Ⅳ-5-55	H26	4629	D5	第４面	2S-180 埋土中	壺	10.5 11.7 – 12.6	普通	良	にぶい黄橙色
4-182	Ⅳ-5-55	H26	2041	C6	第４面	2S-180 埋土中	壺	※10.6 8.1 – 12.25	普通	良	にぶい黄橙色～灰黄褐色
4-183	Ⅳ-5-55	H26	4530	C5	第４面	2S-180 埋土中	壺	※11.8 △6.1 – –	普通	良	にぶい黄橙色
4-184	Ⅳ-5-55	H26	4584 4602 4696	D4	第４面	2S-180 埋土中	壺	※20.6 △9.3 – –	普通	良	にぶい黄橙色
4-185	Ⅳ-5-55	H27	1432 1520 1779	D3	第４面	2S-180 底面 埋土中	壺	※13.7 △11.8 – –	普通	良	にぶい黄橙色
4-186	Ⅳ-5-55	H26	4489	C5	第４面	2S-180 埋土中	壺	14.8 △9.7 – –	普通	良	にぶい黄橙色
4-187	Ⅳ-5-55	H28	1131	D4	第４面	2S-180	直口壺	※17.8 △7.2 – –	普通	良	灰白色
4-188	Ⅳ-5-55	H26	4512 4574 4649 6871	C5・6	第４面	2S-180 埋土中	直口壺	※19.4 △17.2 – –	普通	良	浅黄色
4-189	Ⅳ-5-55	H26	4603	D4	第４面	2S-180 埋土中	甕	※24.6 △10.7 – –	普通	良	浅黄橙色
4-190	Ⅳ-5-55	H26	4934	C3	第４面	2S-180 清掃中	甕	※23.8 △7.2 – –	普通	良	にぶい黄橙色
4-191	Ⅳ-5-55	H26	4602 4617 4650	D4	第４面	2S-0180 埋土中	甕	※17.8 △13.9 – –	普通	良	浅黄色～黄灰色
4-192	Ⅳ-5-56	H26	6821	D5	第４面	2S-180 埋土中	甕	※14.7 △7.7 – –	普通	良	にぶい黄橙色
4-193	Ⅳ-5-56	H26	4574 4575	C5・6	第４面	2S-180 埋土中	甕	※13.6 △7.8 – –	普通	良	にぶい橙色
4-194	Ⅳ-5-56	H26	4650 4724 4914	D4	第４面	2S-180 埋土中	甕	13.5 22.0 – ※19.4	普通	良	にぶい黄橙色～灰黄褐色
4-195	Ⅳ-5-56	H26	4525	C5	第４面	2S-180 埋土中	甕	※14.5 △5.75 – –	普通	良	にぶい黄橙色
4-196	Ⅳ-5-56	H26	4574	C5	第４面	2S-180 埋土中	壺	※13.4 △5.0 – –	普通	良	にぶい黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表22

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
4-197	Ⅳ-5-56	H26	4349	D4	第4面	2S-180 埋土中	甕	– △8.4 – –	普通	良	にぶい赤褐色
4-198	Ⅳ-5-56	H26	4641	D4	第4面	2S-180 埋土中	甕	※16.0 △8.3 – –	普通	良	にぶい黄橙色
4-199	Ⅳ-5-56	H26	6822	D5	第4面	2S-180 埋土中	鉢	※9.8 △6.4 – –	普通	良	灰白色
4-200	Ⅳ-5-56	H26	4650	D4	第4面	2S-180 埋土中	高坏	12.4 △5.4 – –	普通	良	橙色
4-201	Ⅳ-5-56	H26	4803	C6	第4面	2S-180 埋土中	高坏	14.6 △4.3 – –	普通	良	浅黄橙色
4-202	Ⅳ-5-56	H26	4491 4497 6872	C・D5	第4面	2S-180 埋土中	高坏	18.4 △6.3 – –	普通	良	にぶい黄橙色
4-203	Ⅳ-5-56	H27	1435	D3	第4面	2S-180 埋土中	小型器台	※10.0 10.0 ※10.7 –	普通	良	にぶい黄橙色
4-204	Ⅳ-5-56	H26	4519	C5	第4面	2S-180 埋土中	高坏	– △8.45 ※12.2 –	普通	良	にぶい橙色
4-205	Ⅳ-5-56	H26	4590	C6	第4面	2S-180 埋土中	高坏	– △7.8 13.0 –	普通	良	にぶい橙色
4-206	Ⅳ-5-56	H26	4500 4649	C6	第4面	2S-180 埋土中	高坏	– △7.0 9.6 –	普通	良	橙色
4-207	Ⅳ-5-56	H26	4502	C6	第4面	2S-180 埋土中	高坏	– △6.9 10.5 –	普通	良	浅黄橙色
4-208	Ⅳ-5-56	H27	1519 1798	D4	第4面	2S-180 埋土中 底面	高坏	– △5.5 15.05 –	普通	良	灰白色
4-209	Ⅳ-5-56	H27	1791	D4	第4面	2S-180 底面	高坏	– △4.8 12.4 –	粗	良	橙色
4-210	Ⅳ-5-56	H26	7380	D4	第4面	2S-180 埋土中	蓋	– △5.0 ※10.6 –	粗	良	褐灰色
4-211	Ⅳ-5-56	H26	6872	D5	第4面	2S-180 埋土中	低脚坏	16.7 5.2 3.9 –	普通	良	浅黄橙色
4-212	Ⅳ-5-56	H26	4594	D4	第4面	2S-180 埋土中	低脚坏	– △3.7 ※7.4 –	普通	良	にぶい黄橙色
4-213	Ⅳ-5-56	H26	4809	C6	第4面	2S-180 埋土中	高坏	– △13.7 14.6 –	普通	良	橙色
4-214	Ⅳ-5-56	H26	4802	C6	第4面	2S-180 埋土中	器台	※18.4 10.4 – ※15.0	粗	良	にぶい黄褐色
4-215	Ⅳ-5-57	H26	4916	D4	第4面	2S-180 埋土中	甑型土器	– △12.8 ※45.4 –	普通	良	にぶい黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表23

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
4-216	Ⅳ-5-61	H28	4042	Ｂ２	第４面	２Ｓ－650 埋土中	壺	※19.2 △9.25 － －	普通	良	灰黄色
4-217	Ⅳ-5-61	H27	1733	Ｄ２	第４面	２Ｓ－650 埋土中	甕	※16.6 △8.1 － －	普通	良	にぶい黄橙色
4-218	Ⅳ-5-61	H27	1737	Ｄ３	第４面	２Ｓ－650 埋土中	甕	※18.0 △6.7 － －	普通	良	にぶい黄橙色
4-219	Ⅳ-5-61	H27	1737	Ｄ３	第４面	２Ｓ－650 埋土中	甕	※17.4 △5.2 － －	普通	良	灰白色
4-220	Ⅳ-5-61	H27	1733	Ｄ２	第４面	２Ｓ－650 埋土中	甕	※12.6 △4.4 － －	普通	良	にぶい黄褐色
4-221	Ⅳ-5-61	H27	1822	Ｄ３	第４面	２Ｓ－650 底面	高坏	－ △7.5 ※10.2 －	普通	良	にぶい黄橙色
4-222	Ⅳ-5-61	H27	1733	Ｄ２	第４面	２Ｓ－650 埋土中	甑型土器	※12.6 △8.6 － －	普通	良	にぶい黄橙色
5-001	Ⅳ-6-3	H26	5860	Ｂ３	第５面	－ Ｖ－２層	壺	※12.8 △10.0 － －	普通	良	橙色
5-002	Ⅳ-6-3	H26	5781	Ｅ２	第５面	－ Ｖ－２層	壺	※16.4 △9.6 － －	普通	良	灰白色
5-003	Ⅳ-6-3	H28	1027	Ｄ４	第５面	－ Ｖ－２層	壺	※18.4 △7.3 － －	普通	良	灰黄色
5-004	Ⅳ-6-3	H28	1073	Ｄ３	第５面	－ Ｖ－２層	壺	※20.4 △9.1 － －	精緻	良	灰白色
5-005	Ⅳ-6-3	H26	6942	Ｅ８	第５面	－ Ｖ－２層	壺	※15.6 △9.9 － －	粗	良	にぶい黄橙色
5-006	Ⅳ-6-3	H26	6906 6943 6970	Ｅ８,Ｄ９	第５面	－ Ｖ－２層	甕	※29.1 △13.0 － －	普通	良	にぶい黄橙色
5-007	Ⅳ-6-3	H27	2247	Ｆ５	第５面	－ Ｖ－２層	甕	※16.2 △13.5 － －	普通	良	にぶい黄橙色
5-008	Ⅳ-6-3	H26	4710 4871 4902	Ｄ５	第５面	－ Ｖ－２層	甕	※33.8 △9.3 － －	普通	良	にぶい黄橙色～灰白色
5-009	Ⅳ-6-3	H27	2248	Ｆ５	第５面	－ Ｖ－２層	甕	※25.2 42.4 ※4.4 ※35.5	普通	良	灰白色～にぶい黄橙色
5-010	Ⅳ-6-3	H26	6138	Ｅ２	第５面	－ Ｖ－２層	甕	※22.6 △5.35 － －	普通	良	にぶい黄橙色
5-011	Ⅳ-6-4	H26	6814 6815	Ｃ３	第５面	－ Ｖ－２層	甕	※19.6 △10.3 － ※22.2	普通	良	浅黄橙色
5-012	Ⅳ-6-3	H26	3821 5809	Ｅ２	第５面	－ Ｖ－２層	甕	※19.4 △11.8 － －	普通	良	灰白色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表24

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
5-013	Ⅳ-6-3	H27	2977	G7	第5面	– V－2層	甕	※17.4 △8.8 – –	普通	良	にぶい橙色
5-014	Ⅳ-6-4	H26	4851 4904	D6	第5面	– V－2層	甕	16.8 △7.7 – –	普通	良	灰白色
5-015	Ⅳ-6-4	H27	2567	F5	第5面	– V－2層	甕	※17.0 △9.3 – –	普通	良	明褐灰色
5-016	Ⅳ-6-4	H26	6136	E2	第5面	– V－2層	甕	※17.6 △9.2 – –	普通	良	浅黄橙色
5-017	Ⅳ-6-4	H26	6141	E2	第5面	– V－2層	甕	※17.3 △8.0 – –	普通	良	にぶい黄橙色
5-018	Ⅳ-6-4	H26	5710	B3	第5面	– V－2層	甕	※15.8 △5.6 – –	普通	良	灰白色
5-019	Ⅳ-6-4	H26	7215	D9	第5面	– V－2層	甕	※17.2 △5.4 – –	精緻	良	にぶい黄橙色
5-020	Ⅳ-6-4	H26	4047 5799	E2	第5面	– V－2層	甕	※16.6 △12.0 – –	普通	良	にぶい橙色
5-021	Ⅳ-6-4	H27	2271 2272	E5	第5面	– V－2層	甕	※12.8 △10.5 – ※18.0	普通	良	にぶい黄橙色
5-022	Ⅳ-6-4	H27	2273	E5	第5面	– V－2層	甕	※13.8 △13.2 – ※21.35	普通	良	浅黄橙色
5-023	Ⅳ-6-4	H27	2154 2567	F5	第5面	– V－2層	甕	※17.6 △11.3 – –	粗	良	浅黄橙色
5-024	Ⅳ-6-4	H27	2177	E5	第5面	– V－2層	甕	※14.4 △8.4 – –	普通	良	浅黄橙色
5-025	Ⅳ-6-4	H27	4045	E2	第5面	– V－2層	甕	– △5.2 – –	普通	良	浅黄橙色
5-026	Ⅳ-6-4	H26	3820 6161	D2 E1	第5面	– V－4層 V－2～V－4層	甕	※15.9 △5.4 – –	普通	良	にぶい黄橙色
5-027	Ⅳ-6-4	H26	6813	C3	第5面	– V－2層	甕	※15.8 △5.4 – –	普通	良	にぶい黄橙色
5-028	Ⅳ-6-4	H27	4044	D2	第5面	– V－2層	甕	※14.4 △4.9 – –	普通	良	浅黄橙色
5-029	Ⅳ-6-4	H26	3685	D1	第5面	– V－2層	甕	※16.2 △5.3 – –	普通	良	灰黄褐色
5-030	Ⅳ-6-4	H27	2346	E2	第5面	– V－2層	甕	15.2 △7.7 – –	普通	良	にぶい黄橙色
5-031	Ⅳ-6-4	H27	2154	F5	第5面	– V－2層	甕	※16.3 △6.5 – –	普通	良	灰白色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表25

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
5-032	Ⅳ-6-4	H28	1020	D3	第5面	– V－2層	甕	※13.2 △9.5 – –	精緻	良	浅黄橙色
5-033	Ⅳ-6-4	H28	1027	D4	第5面	– V－2層	甕	※14.2 △4.1 – –	普通	良	にぶい黄橙色
5-034	Ⅳ-6-4	H28	1027	D4	第5面	– V－2層	壺	※13.4 △4.4 – –	普通	良	にぶい黄橙色
5-035	Ⅳ-6-4	H26	3626	D1	第5面	– V－2層	甕	※13.4 △10.4 – –	普通	良	にぶい黄橙色
5-036	Ⅳ-6-4	H26	6030	C3	第5面	– V－2層	壺	※7.1 △8.15 – ※10.0	普通	良	浅黄橙色
5-037	Ⅳ-6-4	H26	4939	C4	第5面	– V－2層	壺	※8.5 △10.0 ※2.2 –	普通	良	にぶい黄橙色
5-038	Ⅳ-6-4	H26	3792	E1	第5面	– V－2層	鉢	※11.2 △8.8 – ※10.1	粗	良	にぶい黄橙色
5-039	Ⅳ-6-4	H26	5860	B3	第5面	– V－2層	鉢	※10.8 11.5 ※6.6 ※12.6	普通	良	にぶい褐色
5-040	Ⅳ-6-5	H27	2567	F5	第5面	– V－2層	甕	※15.3 △18.8 – ※22.4	普通	良	にぶい黄橙色
5-041	Ⅳ-6-5	H27	2567	F5	第5面	– V－2層	甕	※12.6 △11.0 – ※14.8	普通	良	にぶい橙色
5-042	Ⅳ-6-5	H27	2188	E5	第5面	– V－2層	甕	※15.0 △9.6 – ※15.4	普通	良	灰白色
5-043	Ⅳ-6-5	H26	6105	E2	第5面	– V－2層	甕	※16.5 △15.0 – ※17.8	普通	良	灰黄色
5-044	Ⅳ-6-5	H26	5777 5778	E2	第5面	– V－2層	甕	※16.2 △9.9 – ※17.8	普通	良	にぶい黄橙色
5-045	Ⅳ-6-5	H27	2233 3232	D・E4	第5面	– V－2層	高坏	※9.0 9.8 ※9.1 –	普通	良	にぶい黄橙色
5-046	Ⅳ-6-5	H27	3285	G7	第5面	– V－2層	高坏	※19.6 △11.7 – –	普通	良	浅黄橙色
5-047	Ⅳ-6-5	H28	1022	D3	第5面	– V－2層	高坏	16.2 △4.7 – –	普通	良	にぶい橙色
5-048	Ⅳ-6-5	H28	1075	D3	第5面	– V－2層	高坏	※12.6 △5.9 – –	精緻	良	橙色
5-049	Ⅳ-6-5	H28	1986	D4	第5面	– V－2層 下面清掃中	高坏	※11.2 △5.0 – –	普通	不良	灰白色
5-050	Ⅳ-6-5	H26	5147	D5	第5面	– V－2層	高坏	– △6.8 10.55 –	普通	良	灰褐色～にぶい赤褐色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表26

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
5-051	Ⅳ-6-5	H26	5775	E2	第5面	－ V－2層	高坏	－ △9.4 － －	普通	良	灰白色
5-052	Ⅳ-6-5	H26	3006 3680	D・E1	第5面	2ライントレンチ V－2層	高坏	－ △3.9 13.7 －	普通	良	にぶい黄橙色
5-053	Ⅳ-6-5	H26	4848	D5	第5面	－ V－2層	高坏	－ △3.5 11.1 －	普通	良	にぶい黄橙色
5-054	Ⅳ-6-5	H26	8286	D8	第5面	－ V－2層	高坏	－ △4.0 9.9 －	普通	良	にぶい黄橙色
5-055	Ⅳ-6-5	H26	3719 3791 3905	E1・2	第5面	－ V－2層	高坏	－ △5.4 ※11.3 －	普通	良	にぶい黄橙色
5-056	Ⅳ-6-5	H26	4856	C5	第5面	－ V－2層	高坏	－ △5.0 ※14.95 －	普通	良	にぶい橙色
5-057	Ⅳ-6-5	H27	2146 2186	E5	第5面	－ V－2層	高坏	－ △7.8 18.9 －	普通	良	にぶい黄橙色
5-058	Ⅳ-6-5	H26	4858 4877 4879	D5	第5面	－ V－2層	高坏	－ △6.25 ※21.5 －	普通	良	灰白色
5-059	Ⅳ-6-5	H27	3283	G7	第5面	－ V－2層	高坏	－ △8.9 － －	普通	良	にぶい黄橙色
5-060	Ⅳ-6-5	H27	2175	E5	第5面	－ V－2層	低脚坏	※17.55 8.2 9.0 －	普通	良	にぶい黄橙色
5-061	Ⅳ-6-5	H27	2209 3234 3235	D・E4	第5面	－ V－2層	高坏	20.6 △6.6 － －	普通	良	にぶい黄橙色
5-062	Ⅳ-6-5	H26	4899	C5	第5面	－ V－2層	低脚坏	※13.2 5.65 6.0 －	普通	良	にぶい黄橙色
5-063	Ⅳ-6-5	H27	2174	F5	第5面	－ V－2層	低脚坏	※17.5 5.6 5.4 －	普通	良	灰白色
5-064	Ⅳ-6-5	H27	2977	G7	第5面	－ V－2層	低脚坏	※14.6 △5.8 － －	普通	良	浅黄橙色
5-065	Ⅳ-6-5	H26	3821	E2	第5面	－ V－2～V－4層	低脚坏	－ △4.0 5.8 －	普通	良	灰白色
5-066	Ⅳ-6-5	H27	2186	E5	第5面	－ V－2層	低脚坏	※8.8 4.4 ※4.7 －	普通	良	にぶい橙色
5-067	Ⅳ-6-6	H26	6104	E2	第5面	－ V－2層	低脚坏	－ △3.35 ※8.9 －	普通	良	灰黄褐色
5-068	Ⅳ-6-6	H26	6123	E2	第5面	－ V－2層	台付鉢	※12.5 8.9 6.1 －	普通	良	灰白色
5-069	Ⅳ-6-6	H27	2196	D4	第5面	－ V－2層	小型器台	※10.8 △8.1 － －	普通	良	にぶい黄橙色

第Ⅵ－2－1表　土器観察表27

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
5-070	Ⅳ-6-6	H28	1986	D4	第５面	－ Ⅴ－２層下面清掃中	小型器台	－ △3.4 － －	精緻	良	浅黄橙色
5-071	Ⅳ-6-6	H27	2195	D4	第５面	－ Ⅴ－２層	小型器台	※10.8 △5.1 － －	普通	良	灰白色
5-072	Ⅳ-6-6	H26	3629	E1	第５面	－ Ⅴ－２層	注口土器 (注口)	－ △5.55 － －	普通	良	にぶい黄橙色
5-073	Ⅳ-6-6	H26	5802	B3	第５面	－ Ⅴ－２層	器台	※19.0 15.0 ※15.0 6.4	粗	良	浅黄橙色
5-074	Ⅳ-6-6	H26	5802 5860	B3	第５面	－ Ⅴ－２層	器台	※21.0 12.1 ※16.9 －	普通	良	浅黄橙色
5-075	Ⅳ-6-6	H26	4899 4902	C・D5	第５面	－ Ⅴ－２層	器台	※20.0 12.3 ※17.8 －	普通	良	にぶい黄橙色
5-076	Ⅳ-6-6	H26	3678 3680	D1	第５面	－ Ⅴ－２層	器台	※21.8 △6.6 － －	普通	良	にぶい黄橙色
5-077	Ⅳ-6-6	H27	2365 2366	D5	第５面	－ Ⅴ－２層	器台	※16.2 8.8 ※14.8 －	普通	良	にぶい黄橙色
5-078	Ⅳ-6-6	H26	7033	D6	第５面	－ Ⅴ－２層	器台	－ △7.0 17.95 －	普通	良	浅黄橙色
5-079	Ⅳ-6-6	H26	3712 3897	C1	第５面	－ Ⅴ－２層	器台	※22.4 △10.4 － －	普通	良	灰白色
5-080	Ⅳ-6-6	H26	4899	C5	第５面	－ Ⅴ－２層	器台	－ △9.5 － －	普通	良	浅黄色
5-081	Ⅳ-6-6	H28	1027	D4	第５面	－ Ⅴ－２層	器台	－ △5.9 ※19.6 －	普通	良	淡黄色
5-082	Ⅳ-6-6	H26	6147	E2	第５面	－ Ⅴ－２層	器台	－ △5.9 ※26.2 －	普通	良	にぶい黄橙色
5-083	Ⅳ-6-6	H26	3820	D2	第５面	－ Ⅴ－２～Ⅴ－４層	蓋	※5.9 4.2 － －	普通	良	灰黄褐色
5-084	Ⅳ-6-6	H26	8321	C5	第５面	－ Ⅶ層	蓋	7.8 2.9 － －	精緻	良	にぶい黄橙色
5-085	Ⅳ-6-6	H26	4899	C5	第５面	－ Ⅴ－２層	蓋	－ △4.8 － － つまみ3.4	粗	良	灰黄褐色
5-086	Ⅳ-6-6	H26	5713	C3	第５面	－ Ⅵ層	蓋	※12.2 △6.3 － －	普通	良	にぶい黄橙色
5-087	Ⅳ-6-6	H26	5860	B3	第５面	－ Ⅵ層	蓋	※14.8 7.1 － －	普通	良	にぶい橙色
5-088	Ⅳ-6-6	H26	5763	B3	第５面	－ Ⅵ層	蓋	※13.4 4.9 － － つまみ5.0	普通	良	浅黄色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表28

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
5-089	Ⅳ-6-6	H28	1075	D3	第5面	– V－2層	蓋	8.0 5.0 – – つまみ3.5	普通	良	にぶい黄橙色
5-090	Ⅳ-6-6	H26	6011	C3	第5面	– V－2層	蓋	10.2 6.2 – –	普通	良	にぶい黄橙色
5-091	Ⅳ-6-6	H26	2063 2275 2842 3900	D1	第5面	中央側溝 V－2層 表土掘削 機械掘削後清掃中	甑型土器	– △24.9 ※36.4 –	普通	良	にぶい黄橙色
5-092	Ⅳ-6-15	H27	2912	D4	第5面	2S－714 埋土中	甕	– △4.3 – –	普通	良	灰黄色
5-093	Ⅳ-6-17	H27	2923	E4	第5面	2S－705 埋土中	甕	– △5.0 – –	普通	良	浅黄橙色
5-094	Ⅳ-6-21	H27	4773	E5	第5面	2S－761 埋土中	甕	※17.8 △4.1 – –	精緻	良	にぶい黄橙色
5-095	Ⅳ-6-23	H26	6770 7008 7197	B3	第5面	2S－262 埋土中	甕	17.0 28.2 5.0 21.6	普通	良	浅黄橙色
5-096	Ⅳ-6-23	H26	6685	B3	第5面	2S－270 埋土中	甕	– △9.4 – –	普通	良	灰黄褐色
5-097	Ⅳ-6-23	H26	6736	C3	第5面	2S－272 埋土中	壺	※11.0 △6.8 – –	普通	良	にぶい黄橙色
5-098	Ⅳ-6-23	H27	3067	E4	第5面	2S－708 埋土中	甕	– △4.7 – –	普通	良	灰黄褐色
5-099	Ⅳ-6-24	H27	3011	G6	第5面	2S－739 埋土中	壺	※15.4 △9.1 – –	普通	良	灰白色
5-100	Ⅳ-6-24	H27	3011	G6	第5面	2S－739 埋土中	甕	※16.2 △8.3 – –	粗	良	灰黄褐色
5-101	Ⅳ-6-24	H27	3261	G6	第5面	2S－739 埋土中	甕	※17.4 △5.9 – –	普通	良	淡黄色
5-102	Ⅳ-6-25	H27	4002 4003 4050	G7	第5面	2S－751 埋土中	甕	※17.8 △14.6 – ※22.3	普通	良	にぶい黄褐色
5-103	Ⅳ-6-25	H27	7902	G7	第5面	2S－751 埋土中	甕	※17.8 △11.5 – –	普通	良	明黄褐色
5-104	Ⅳ-6-25	H27	4001 7902	G7	第5面	2S－751 埋土中	甕	※16.9 △12.2 – –	普通	良	浅黄色
5-105	Ⅳ-6-25	H27	7902	G7	第5面	2S－751 埋土中	低脚坏	※15.4 7.1 ※6.2 –	普通	良	灰黄褐色
5-106	Ⅳ-6-26	H27	3360	E3	第5面	2S－729 埋土中	甕	※16.8 △5.8 – –	普通	良	にぶい黄橙色
5-107	Ⅳ-6-26	H26	3823	B2	第5面	3S－14 埋土中	壺	– △3.65 – –	普通	良	明赤褐色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表29

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
5-108	Ⅳ-6-26	H26	4048	B2	第５面	3S-28 埋土中	壺/甕	– △1.55 – –	精緻	良	にぶい橙色
5-109	Ⅳ-6-26	H26	4050	B1	第５面	3S-33 埋土中	甕	– △3.2 – –	普通	良	にぶい黄橙色
5-110	Ⅳ-6-27	H26	3908	B1	第５面	3S-31 埋土中	甕	– △4.7 – –	普通	良	にぶい黄橙色
5-111	Ⅳ-6-27	H26	4052	B1	第５面	3S-41 埋土中	甑型土器	– △6.45 – –	普通	良	にぶい黄橙色
5-112	Ⅳ-6-27	H26	4576	D1	第５面	3S-45 埋土中	甕	– △4.85 – –	普通	良	にぶい黄褐色
5-113	Ⅳ-6-27	H26	4576	D1	第５面	3S-45 埋土中	甕	– △4.9 – –	普通	良	にぶい黄橙色
5-114	Ⅳ-6-27	H26	4576	D1	第５面	3S-45 埋土中	甕	– △5.0 – –	普通	良	灰白色
5-115	Ⅳ-6-27	H26	4010	D2	第５面	3S-46 埋土中	甕	– △4.1 – –	普通	良	灰黄褐色
5-116	Ⅳ-6-27	H26	4387	C1	第５面	3S-47 埋土中	甕	– △5.0 – –	普通	良	にぶい黄橙色
5-117	Ⅳ-6-27	H26	4320	C1	第５面	3S-47 埋土中	高坏	– △6.5 – –	普通	良	灰白色
5-118	Ⅳ-6-29	H27	4613	G7	第５面	2S-742 埋土中	甕	※16.2 △7.4 – –	普通	良	にぶい黄橙色
5-119	Ⅳ-6-29	H27	4215	G7	第５面	2S-742 埋土中	甕	△14.3 5.4 – –	普通	良	にぶい黄褐色
5-120	Ⅳ-6-30	H26	7850	D6	第５面	2S-347 埋土中	直口壺	※16.4 △10.1 – –	普通	良	にぶい黄橙色
5-121	Ⅳ-6-30	H26	7906	D6	第５面	2S-347 埋土中	甕	※19.0 △8.5 – –	精緻	良	灰白色
5-122	Ⅳ-6-30	H26	7876	D6	第５面	2S-347 埋土中	甕	※14.0 △6.35 – –	精緻	良	灰白色
5-123	Ⅳ-6-30	H26	7836	D6	第５面	2S-347 埋土中	甕	※17.9 △7.5 – –	精緻	良	灰白色
5-124	Ⅳ-6-30	H26	7851	D6	第５面	2S-347 埋土中	低脚坏	– △3.5 ※5.6 –	普通	良	淡橙色
5-125	Ⅳ-6-30	H26	7861	D6	第５面	2S-347 埋土中	器台	20.3 11.9 17.7 –	普通	良	にぶい黄橙色
5-126	Ⅳ-6-30	H26	7238 7444 7863	D6	第５面	2S-347 埋土中	器台	21.0 13.3 ※18.0 –	普通	良	淡橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表30

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
5-127	Ⅳ-6-35	H27	2622 3653 3727	E5 D4	第5面	2S-348サブトレンチ2 2S-699 埋土中	壺	23.0 △16.1 – –	普通	良	にぶい黄橙色
5-128	Ⅳ-6-35	H27	2753	E5	第5面	2S-348 埋土中	甕	※12.4 △9.7 – –	普通	良	にぶい黄橙色
5-129	Ⅳ-6-35	H27	2622	E5	第5面	2S-348 サブトレンチ2 –	甕	※12.2 △9.8 – ※16.9	普通	良	にぶい黄橙色
5-130	Ⅳ-6-35	H27	2766	E5	第5面	2S-348 埋土上層	低脚坏	18.4 5.9 ※4.4 –	普通	良	浅黄橙色
5-131	Ⅳ-6-36	H27	3478	D4	第5面	2S-700 埋土下層	壺	※17.4 △6.9 – –	普通	良	浅黄橙色
5-132	Ⅳ-6-36	H27	3289 3473 3635	D・E4	第5面	2S-700 2S-700サブトレンチ 埋土下層	甕	※18.6 △7.7 – –	普通	良	にぶい黄橙色
5-133	Ⅳ-6-36	H27	3478	D4	第5面	2S-700 埋土下層	甕	※14.0 △6.2 – –	普通	良	浅黄橙色
5-134	Ⅳ-6-36	H27	3380	D4	第5面	2S-700 埋土上層	甕	※15.7 △6.15 – –	普通	良	にぶい橙色
5-135	Ⅳ-6-36	H27	3380	D4	第5面	2S-700 埋土上層	甕	– △5.9 – –	普通	良	浅黄橙色
5-136	Ⅳ-6-36	H27	3478	D4	第5面	2S-700 埋土下層	高坏	– △9.2 – –	普通	良	にぶい橙色
5-137	Ⅳ-6-37	H27	3610 3815	D5	第5面	2S-746 埋土中 埋土上層	甕	※8.8 △5.3 – ※12.6	普通	良	にぶい橙色
5-138	Ⅳ-6-37	H27	3782	D4	第5面	2S-746 埋土下層	甕	※14.6 △4.6 – –	普通	良	灰白色
5-139	Ⅳ-6-37	H27	3738	D4	第5面	2S-746 埋土下層	甕	※15.2 △4.5 – –	普通	良	灰白色
5-140	Ⅳ-6-37	H27	4104	D4	第5面	2S-746 埋土中	甕	※17.2 △6.1 – –	普通	良	にぶい黄橙色
5-141	Ⅳ-6-37	H27	4038 4072	D4	第5面	2S-746 埋土中	甕	※14.4 △7.6 – –	普通	良	明褐灰色
5-142	Ⅳ-6-37	H27	3610 3814	D5	第5面	2S-746 埋土中 埋土上層	高坏	※22.9 △6.0 – –	普通	良	浅黄橙色
5-143	Ⅳ-6-37	H27	4038	D4	第5面	2S-746 5ライントレンチ 13層	器台	– △7.4 – ※10.6	普通	良	にぶい黄橙色
5-144	Ⅳ-6-39	H27	4083 4165	E2	第5面	2S-754 埋土中	甕	※15.0 △7.6 – –	普通	良	にぶい橙色
5-145	Ⅳ-6-39	H27	4575	E2	第5面	2S-754 埋土中	甕	※16.0 △5.1 – –	普通	良	にぶい黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表31

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
5-146	Ⅳ-6-42	H27	2792	E5	第５面	2S-735 埋土中	甕	※16.0 △6.7 － －	普通	良	灰白色
5-147	Ⅳ-6-45	H27	3663	G7	第５面	2S-738 埋土中	壺	※16.6 △12.0 － －	普通	良	灰白色
5-148	Ⅳ-6-45	H27	3577	G7	第５面	2S-738 埋土中	壺	※12.4 △11.2 － ※18.1	普通	良	にぶい黄橙色
5-149	Ⅳ-6-45	H27	3526	G7	第５面	2S-738 埋土中	壺	※13.5 △7.4 － －	普通	良	にぶい黄橙色
5-150	Ⅳ-6-45	H27	4015	G7	第５面	2S-738 埋土中	壺	※9.6 △7.8 － ※20.2	普通	良	にぶい黄橙色
5-151	Ⅳ-6-45	H27	3601	G7	第５面	2S-738 トレンチ１ －	甕	※15.0 △5.1 － －	普通	良	灰白色～にぶい橙色
5-152	Ⅳ-6-45	H27	4013	G7	第５面	2S-738 埋土中	甕	※20.0 △17.0 ※26.0 －	普通	良	にぶい橙色
5-153	Ⅳ-6-45	H27	3520	G7	第５面	2S-738 埋土中	甕	※16.6 △18.2 － ※21.5	精緻	良	灰白色
5-154	Ⅳ-6-45	H27	4006	G7	第５面	2S-738 埋土中	甕	※18.6 △10.6 － －	精緻	良	にぶい橙色
5-155	Ⅳ-6-45	H27	3576 4007	G7	第５面	2S-738 埋土中	甕	※17.4 △10.2 － －	普通	良	にぶい黄橙色
5-156	Ⅳ-6-45	H27	4010 4058	G7	第５面	2S-738 埋土中	高坏	－ △7.8 ※10.0 －	普通	良	にぶい黄橙色
5-157	Ⅳ-6-45	H27	3575	G7	第５面	2S-738 埋土中	脚	－ △5.0 ※15.4 －	精緻	良	にぶい橙色
5-158	Ⅳ-6-45	H27	3504 3575 3579	G7	第５面	2S-738 埋土中	鉢	※18.4 △7.1 － －	精緻	良	にぶい橙色
5-159	Ⅳ-6-45	H27	3531	G7	第５面	2S-738 埋土中	低脚坏	※13.6 △6.0 ※7.5 －	普通	良	淡黄色
5-160	Ⅳ-6-45	H27	7876	G7	第５面	2S-738 埋土中	器台	※23.2 △10.8 － －	普通	良	浅黄橙色
5-161	Ⅳ-6-48	H27	4502 4509	E5	第５面	2S-758 埋土中	甕	17.95 △14.5 － 24.55	普通	良	にぶい黄橙色
5-162	Ⅳ-6-48	H27	4364 4492	E5	第５面	2S-758 埋土中	甕	※17.7 △21.1 － ※22.6	普通	良	灰黄色
5-163	Ⅳ-6-48	H27	4492 4493	E5	第５面	2S-758 埋土中	甕	※16.2 △26.0 － ※24.5	普通	良	にぶい黄橙色
5-164	Ⅳ-6-48	H27	4497	E5	第５面	2S-758 埋土中	壺	※19.3 △7.7 － －	精緻	良	にぶい黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表32

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
5-165	Ⅳ-6-48	H27	4231	E4	第5面	2S-758 埋土中	甕	※11.0 △5.2 － －	普通	良	にぶい黄橙色
5-166	Ⅳ-6-48	H27	4504	E5	第5面	2S-758 埋土中	底部	－ △4.1 ※6.6 －	粗	良	にぶい黄橙色
5-167	Ⅳ-6-48	H27	4503	E5	第5面	2S-758 埋土中	蓋	－ △6.7 － － つまみ※5.2	普通	良	にぶい黄橙色
5-168	Ⅳ-6-49	H27	4365,4409,4423 4550,4669,4685 4687,4713,5393	E5	第5面	2S-759 2S-761 埋土中	壺	※17.6 △14.4 － －	精緻	良	にぶい黄橙色
5-169	Ⅳ-6-49	H27	4423 5242	E5	第5面	2S-759 2S-761 埋土中	甕	※17.6 △9.6 － －	精緻	良	にぶい黄橙色
5-170	Ⅳ-6-49	H27	4365 5243 5393	E5	第5面	2S-759 埋土中	甕	※15.4 △10.4 － －	精緻	良	灰白色
5-171	Ⅳ-6-49	H27	4248 4682	E5	第5面	2S-759 2S-759ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ2 埋土中	甕	※15.4 △7.2 － －	精緻	良	にぶい黄橙色
5-172	Ⅳ-6-49	H27	4248,4365,4509 4679,4680	E5	第5面	2S-759 2S-758 2S-759ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ2 埋土中	甕	※16.0 △7.7 － －	普通	良	にぶい黄橙色
5-173	Ⅳ-6-49	H27	4676 4686 4713	E5	第5面	2S-759 埋土中	底部	－ △10.9 ※10.0 －	精緻	良	にぶい黄橙色
5-174	Ⅳ-6-49	H27	5244 5264	E5	第5面	2S-759 埋土中	器台	19.5 11.55 17.5 －	普通	良	灰白色
5-175	Ⅳ-6-49	H27	4684	E5	第5面	2S-759 埋土中	低脚坏	－ △3.1 ※5.8 －	普通	良	にぶい黄橙色
5-176	Ⅳ-6-51	H27	2933	D4	第5面	2S-698 埋土中	直口壺	※9.2 △6.4 － －	普通	良	浅黄橙色
5-177	Ⅳ-6-51	H27	2844	D4	第5面	2S-698 埋土中	甕	－ △5.5 － －	普通	良	明褐灰色
5-178	Ⅳ-6-56	H27	3022	E5	第5面	2S-730 埋土中	壺	※18.6 △9.6 － －	精緻	良	灰白色
5-179	Ⅳ-6-56	H27	3100 3103	E5	第5面	2S-730 埋土中 底面	壺	※19.3 △34.2 － ※27.2	精緻	良	灰白色
5-180	Ⅳ-6-56	H27	3141	E5	第5面	2S-730 埋土中	壺	19.2 33.4 6.5 28.0	普通	良	灰白色
5-181	Ⅳ-6-56	H27	2924,2944,2946 2947,2950,2953 2956,2666,3239	E5	第5面	2S-730 埋土中	壺	25.2 45.55 8.0 37.5	普通	良	灰白色
5-182	Ⅳ-6-57	H27	3226 3497	E5	第5面	2S-730 埋土中 ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ3断面1層	壺	※20.6 △28.8 － ※25.8	精緻	良	灰白色
5-183	Ⅳ-6-57	H27	2738,2778,2948 2949,2950,2953	E5	第5面	2S-730 埋土中	甕	※22.2 △12.6 － －	普通	良	明褐灰色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表33

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
5-184	Ⅳ-6-57	H27	2949 2947 2955	E5	第５面	2S-730 埋土中	甕	※16.0 △14.6 － ※23.8	普通	良	にぶい黄橙色
5-185	Ⅳ-6-57	H27	3228 3788	E5	第５面	2S-730 埋土中 底面	甕	19.1 31.5 2.2 26.5	普通	良	明褐灰色
5-186	Ⅳ-6-57	H27	3086	E5	第５面	2S-730 埋土中	甕	14.5 25.3 2.5 22.3	精緻	良	灰白色
5-187	Ⅳ-6-57	H27	2944,2945,2946 2953,2666	E5	第５面	2S-730 埋土中	甕	17.9 △16.6 － 22.7	精緻	良	灰黄色
5-188	Ⅳ-6-57	H27	3080 3087	E5	第５面	2S-730 埋土中 底面	甕	13.65 22.9 0.7 20.4	普通	良	灰白色
5-189	Ⅳ-6-57	H27	2924,2946,2950 2953,2956,2947	E5	第５面	2S-730 埋土中	甕	※17.0 △23.5 － ※21.5	普通	良	浅黄橙色
5-190	Ⅳ-6-57	H27	3122 3121	E5	第５面	2S-730 底面	甕	14.7 24.6 0.8 21.7	精緻	良	灰白色
5-191	Ⅳ-6-58	H27	3103	E5	第５面	2S-730 埋土中	甕	15.5 △14.2 － ※21.2	精緻	良	灰白色
5-192	Ⅳ-6-58	H27	3083	E5	第５面	2S-730 埋土中	甕	13.8 △11.5 － ※22.0	普通	良	浅黄橙色
5-193	Ⅳ-6-58	H27	3081 3086	E5	第５面	2S-730 埋土中 底面	甕	14.3 △21.7 － 20.6	普通	良	橙色
5-194	Ⅳ-6-58	H27	3140	E5	第５面	2S-730 底面	甕	※14.2 △22.6 － ※21.0	普通	良	浅黄橙色
5-195	Ⅳ-6-58	H27	3088	E5	第５面	2S-730 底面	甕	14.3 22.5 0.4 20.6	精緻	良	灰白色
5-196	Ⅳ-6-58	H27	3085	E5	第５面	2S-730 埋土中	甕	14.4 △22.6 － 20.7	普通	良	灰白色
5-197	Ⅳ-6-58	H27	3083 3084	E5	第５面	2S-730 埋土中 底面	甕	※14.2 △23.4 － ※21.4	精緻	良	灰黄色
5-198	Ⅳ-6-58	H27	3083 3084	E5	第５面	2S-730 埋土中 底面	甕	13.35 21.5 1.9 18.7	精緻	良	浅黄橙色
5-199	Ⅳ-6-59	H27	3091	E5	第５面	2S-730 底面	甕	13.3 △8.9 － －	普通	良	浅黄橙色
5-200	Ⅳ-6-59	H27	3188	E5	第５面	2S-730 底面	甕	※14.4 △7.2 － －	普通	良	灰白色
5-201	Ⅳ-6-59	H27	3789	E5	第５面	2S-730 底面	甕	※12.6 △21.6 － ※22.3	精緻	良	灰白色
5-202	Ⅳ-6-59	H27	3080 3086 3087 3088	E5	第５面	2S-730 埋土中 底面	甕	12.6 16.95 1.0 15.8	精緻	良	灰黄褐色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表34

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
5-203	Ⅳ-6-59	H27	3148	E5	第5面	2S-730 埋土中	甕	11.1 15.8 0.7 15.3	普通	良	灰白色
5-204	Ⅳ-6-59	H27	2666 2738 2824 3147	E5	第5面	2S-730 埋土中	甕	13.5 14.9 1.3 16.0	精緻	良	灰白色
5-205	Ⅳ-6-59	H27	3145	E5	第5面	2S-730 埋土中	甕	13.0 14.4 0.7 14.8	普通	良	灰白色
5-206	Ⅳ-6-59	H27	3095	E5	第5面	2S-730 底面	甕	12.8 14.2 1.2 7.3	普通	良	浅黄橙色
5-207	Ⅳ-6-59	H27	3087	E5	第5面	2S-730 底面	甕	10.1 9.9 1.0 ※11.0	精緻	良	にぶい黄橙色
5-208	Ⅳ-6-59	H27	2636	E5	第5面	2S-730 埋土中	埦	※9.0 △4.7 － －	普通	良	にぶい黄橙色
5-209	Ⅳ-6-59	H27	2636	E5	第5面	2S-730 埋土中	手づくね	4.1 △3.0 － －	精緻	良	灰色
5-210	Ⅳ-6-59	H27	2738	E5	第5面	2S-730 埋土中	高坏	※12.7 △4.6 － －	普通	良	浅黄橙色
5-211	Ⅳ-6-59	H27	3120	E5	第5面	2S-730 底面	高坏	－ △8.1 10.4 －	精緻	良	灰白色
5-212	Ⅳ-6-59	H27	3025	E5	第5面	2S-730 埋土中	高坏	－ △9.3 ※16.0 －	普通	良	灰白色
5-213	Ⅳ-6-59	H27	3194	E5	第5面	2S-730 埋土中	高坏	－ △2.1 ※16.0 －	普通	良	灰白色
5-214	Ⅳ-6-59	H27	3695	E5	第5面	2S-730 埋土中	高坏	－ △2.8 ※18.3 －	精緻	良	橙色
5-215	Ⅳ-6-59	H27	2943	E5	第5面	2S-730 埋土中	小型器台	※10.4 － － －	普通	良	浅黄橙色
5-216	Ⅳ-6-59	H27	2738 2824 2925	E5	第5面	2S-730 埋土中	低脚坏	11.45 5.7 5.1 －	精緻	良	灰白色
5-217	Ⅳ-6-59	H27	3058	E5	第5面	2S-730 底面	低脚坏	－ △2.4 6.7 －	精緻	良	灰白色
5-218	Ⅳ-6-59	H27	3089	E5	第5面	2S-730 底面	器台	18.5 11.0 17.5 －	普通	良	灰白色
5-219	Ⅳ-6-59	H27	3090	E5	第5面	2S-730 底面	器台	21.9 11.5 19.7 －	精緻	良	にぶい黄橙色
5-220	Ⅳ-6-63	H26	4260	B1	第5面	3S-3 埋土中	甕	－ △3.1 － －	普通	良	浅黄色
5-221	Ⅳ-6-71	H27	2696	F5	第5面	2S-703 埋土上層	壺	※21.0 △10.4 － －	普通	良	浅黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表35

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
5-222	Ⅳ-6-71	H27	3323	E4	第５面	2S-703 埋土中	壺	※16.6 △8.4 － －	普通	良	浅黄橙色
5-223	Ⅳ-6-71	H27	3490	E4	第５面	2S-699 埋土上層	壺	－ △8.8 － －	普通	良	黄灰色
5-224	Ⅳ-6-71	H27	2743 2991	E4	第５面	2S-703 埋土中 埋土上層	壺	15.6 △7.2 － －	普通	良	浅黄橙色
5-225	Ⅳ-6-71	H27	3619 3944	E4	第５面	2S-703 埋土中	直口壺	※13.7 △9.5 － －	普通	良	にぶい黄橙色
5-226	Ⅳ-6-71	H27	3410 3619	E4	第５面	2S-703 埋土中	直口壺	11.6 △10.3 － －	普通	良	にぶい黄橙色
5-227	Ⅳ-6-71	H27	3001 3042	F5	第５面	2S-703 埋土下層	直口壺	※13.4 △6.45 － －	普通	良	にぶい黄橙色
5-228	Ⅳ-6-71	H27	3563	E4	第５面	2S-0699 埋土中	甕	※18.2 △7.2 － －	粗	良	橙色
5-229	Ⅳ-6-71	H27	3732	E4	第５面	2S-703 埋土中	壺	※8.2 △6.5 － －	普通	良	にぶい黄橙色
5-230	Ⅳ-6-71	H27	3304	E4	第５面	2S-703 埋土中	甕	※23.8 △22.65 － ※31.4	普通	良	灰黄褐色
5-231	Ⅳ-6-71	H27	2781 2822 3002 3167	E4	第５面	2S-701 底面 埋土下層	甕	※14.9 △20.6 － ※21.0	普通	良	にぶい黄褐色
5-232	Ⅳ-6-71	H27	2743,2991,3003 3330,3404,3409 3440	E4	第５面	2S-703 埋土中 埋土上層	甕	※20.0 △13.7 － ※23.0	普通	良	にぶい黄橙色
5-233	Ⅳ-6-71	H27	3645	E4	第５面	2S-703 埋土中	甕	※19.4 △13.3 － ※21.2	普通	良	灰白色
5-234	Ⅳ-6-71	H27	3326 3328 3329	E4	第５面	2S-703 埋土中	甕	※19.2 △13.5 － ※22.4	普通	良	にぶい黄橙色
5-235	Ⅳ-6-71	H27	3654	D4	第５面	2S-699 埋土中	甕	※16.0 △9.2 － －	普通	良	浅黄橙色
5-236	Ⅳ-6-71	H27	3650 3656	D4	第５面	2S-699 埋土中	甕	※12.7 △7.9 － －	普通	良	明褐灰色
5-237	Ⅳ-6-71	H27	3373 3479 3606	D4	第５面	2S-699 2S-699サブトレンチ 埋土上層 埋土中	甕	15.2 △6.9 － －	普通	良	浅黄橙色
5-238	Ⅳ-6-71	H27	3548 3757	E3	第５面	2S-703 埋土中	甕	※16.7 △16.9 － ※19.0	粗	良	浅黄橙色
5-239	Ⅳ-6-71	H27	2781 3002 3172	E4	第５面	2S-701 底面 埋土下層	甕	14.2 △10.5 － －	普通	良	灰黄褐色
5-240	Ⅳ-6-71	H27	3565	E4	第５面	2S-699 埋土中	甕	※15.0 △5.0 － －	普通	良	にぶい黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表36

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
5-241	Ⅳ-6-71	H27	2672	F5	第5面	2S-703 埋土中	甕	※14.2 △7.5 － －	粗	良	にぶい黄橙色
5-242	Ⅳ-6-71	H27	3651	D4	第5面	2S-699 埋土中	甕	※14.0 △5.3 － －	粗	良	にぶい黄橙色～黒色
5-243	Ⅳ-6-71	H27	3432	E4	第5面	2S-703 埋土中	甕	※15.9 △10.3 － ※17.8	普通	良	にぶい黄橙色
5-244	Ⅳ-6-71	H27	3594 3732 3859	E4	第5面	2S-703 埋土中	甕	※15.5 △7.9 － －	普通	良	にぶい橙色
5-245	Ⅳ-6-71	H27	3428 3429	E4	第5面	2S-703 埋土中	甕	16.65 △7.4 － －	普通	良	にぶい黄橙色
5-246	Ⅳ-6-71	H27	3439 3510 3619 3622	E4	第5面	2S-703 埋土中	甕	※14.9 △13.1 － ※17.0	普通	良	にぶい黄橙色
5-247	Ⅳ-6-71	H27	3002 3168 3688	E4	第5面	2S-701 埋土中 埋土下層	甕	※15.4 △12.0 － ※21.0	普通	良	灰白色
5-248	Ⅳ-6-71	H27	2744	E4	第5面	2S-701 埋土中	甕	※13.2 △5.95 － －	普通	良	にぶい黄橙色
5-249	Ⅳ-6-71	H27	3732	E4	第5面	2S-0703 埋土中	甕	※10.6 △7.65 － －	普通	良	にぶい黄橙色
5-250	Ⅳ-6-71	H27	3003,3336,3423 3622,3938,3940 3944	E4	第5面	2S-703 埋土中 底面	高坏	26.5 22.4 17.3 －	普通	良	灰白色
5-251	Ⅳ-6-71	H27	3137 3619	F5 E4	第5面	2S-703 埋土下層 埋土中	高坏	※31.2 △6.65 － －	普通	良	浅黄色
5-252	Ⅳ-6-71	H27	2418,2991,3003 3621,3646,3731 3944	E4	第5面	2S-703 埋土中 埋土上層	高坏	※22.0 △13.1 － －	普通	良	浅黄橙色
5-253	Ⅳ-6-72	H27	3423 3622 3646 3944	E4	第5面	2S-703 埋土中	高坏	－ △8.2 ※13.6 －	普通	良	にぶい黄橙色
5-254	Ⅳ-6-72	H27	2672	F5	第5面	2S-703 埋土中	高坏	－ △6.6 － －	普通	良	にぶい黄橙色
5-255	Ⅳ-6-72	H27	3444	E4	第5面	2S-703 埋土中	低脚坏	14.0 6.7 8..9 －	普通	良	浅黄橙色
5-256	Ⅳ-6-72	H27	3606 3652	D4	第5面	2S-699 埋土中	高坏	－ △9.0 ※13.0 －	普通	良	にぶい橙色
5-257	Ⅳ-6-72	H27	3169	E4	第5面	2S-701 底面	高坏	－ △6.2 10.0 －	普通	良	浅黄橙色
5-258	Ⅳ-6-72	H27	3648 3655 3664 3666	D4	第5面	2S-699 埋土中	高坏	－ △5.0 19.0 －	普通	良	浅黄橙色
5-259	Ⅳ-6-72	H27	3944	E4	第5面	2S-703 埋土中	低脚坏	※10.6 4.4 4.75 －	普通	良	浅黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表37

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
5-260	Ⅳ-6-72	H27	2782 2823 3446	E4	第５面	2S-703 埋土中	器台	※25.0 △9.2 － －	普通	良	にぶい黄橙色
5-261	Ⅳ-6-72	H27	2823 3003 3512	E4	第５面	2S-703 埋土中	器台	※19.8 10.5 ※17.2 －	普通	良	浅黄橙色
5-262	Ⅳ-6-72	H27	2624	F5	第５面	2S-703 埋土上層	蓋	※13.1 5.65 － － つまみ※5.4	普通	良	にぶい黄橙色
5-263	Ⅳ-6-72	H27	2822 3169 3170	E4	第５面	2S-701 底面 埋土下層	鉢	※11.6 8.8 － －	普通	良	にぶい黄橙色
5-264	Ⅳ-6-76	H27	3826	E2	第５面	2S-748 埋土中	甕	－ △3.45 － －	普通	良	にぶい黄橙色
5-265	Ⅳ-6-81	H27	3831	D2	第５面	2S-290 埋土中	壺	※16.3 △7.4 － －	普通	良	にぶい黄橙色
5-266	Ⅳ-6-81	H27	3831	D2	第５面	2S-290 埋土中	壺	※17.6 △8.1 － －	普通	良	にぶい黄橙色
5-267	Ⅳ-6-81	H26	7303 7792 7798	D1 E1	第５面	3S-39 埋土中	壺	※16.8 △10.2 － －	普通	良	にぶい黄橙色
5-268	Ⅳ-6-81	H26	2086 6485 6697 7303	D1 E1・2	第５面	3S-39 埋土中 Ⅴ－４層 機械掘削	壺	16.4 △8.3 － －	精緻	良	灰黄褐色
5-269	Ⅳ-6-81	H26	7303	E1	第５面	3S-39 埋土中	壺	※12.0 △5.75 － －	普通	良	灰白色
5-270	Ⅳ-6-81	H26	7303	E1	第５面	3S-39 埋土中	壺	※10.6 △8.6 － －	普通	良	にぶい黄橙色
5-271	Ⅳ-6-81	H26	7809	D1	第５面	3S-39 埋土中	直口壺	※12.6 △7.5 － －	普通	良	にぶい黄橙色
5-272	Ⅳ-6-81	H26	4674	D1	第５面	3S-39 埋土中	壺	－ △3.25 － －	普通	良	にぶい黄橙色
5-273	Ⅳ-6-81	H26	6076	E2	第５面	3S-39 埋土中	壺	－ △3.3 － －	普通	良	灰白色
5-274	Ⅳ-6-81	H26	5347	D2	第５面	3S-39 埋土中(砂層)	甕	※16.0 △12.7 － 20.6	普通	良	にぶい黄橙色
5-275	Ⅳ-6-81	H26	4263 5428 5433 5513	D1・2	第５面	3S-39 埋土中 埋土上層	甕	※18.0 △10.1 － －	普通	良	にぶい黄橙色
5-276	Ⅳ-6-81	H26	6206,6464,6475 6482,6697,7303 8177	D1・2 E1・2	第５面	3S-39 埋土中 Ⅴ－４層	甕	※17.3 △9.0 － －	普通	良	灰黄色
5-277	Ⅳ-6-81	H26	3820 3998 5481 5485	D2	第５面	3S-39 埋土中 Ⅴ－２～Ⅴ－４層 Ⅴ－２層	甕	14.3 △9.2 － －	普通	良	にぶい黄橙色
5-278	Ⅳ-6-81	H26	4674 5446 5484	D1・2	第５面	3S-39 埋土中	甕	16.8 △7.6 － －	普通	良	にぶい黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表38

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
5-279	Ⅳ-6-81	H26	5435 5437 5735	D2	第5面	3S-39 埋土中	甕	15.45 △6.65 – –	普通	良	灰白色
5-280	Ⅳ-6-81	H26	7303 8174	D2 E1	第5面	3S-39 埋土中	甕	※19.5 △9.8 – –	普通	良	灰白色
5-281	Ⅳ-6-81	H26	4263	D2	第5面	3S-39 埋土上層	甕	※14.2 △5.9 – –	普通	良	浅黄橙色
5-282	Ⅳ-6-81	H27	3831	D2	第5面	2S-290 埋土中	甕	※14.0 △5.25 – –	普通	良	灰黄褐色
5-283	Ⅳ-6-81	H27	3831	D2	第5面	2S-290 埋土中	甕	※15.6 △6.6 – –	普通	良	浅黄色
5-284	Ⅳ-6-81	H28	1129	D4	第5面	2S-999 –	甕	※14.8 △7.8 – –	精緻	良	にぶい橙色
5-285	Ⅳ-6-81	H28	1936	D4	第5面	2S-999 –	甕	※15.4 △6.9 – –	精緻	良	灰黄褐色
5-286	Ⅳ-6-82	H26	4054 4568 5388 5390	D1・2	第5面	3S-39 埋土中 埋土中(上部砂層)	甕	※20.5 △15.85 – ※27.3	普通	良	にぶい黄橙色
5-287	Ⅳ-6-82	H26	7303,7327,7558 7782,7784	D・E1	第5面	3S-39 2ライントレンチ 埋土中 埋土中(砂層)	甕	19.8 △14.55 – –	普通	良	灰黄色
5-288	Ⅳ-6-82	H26	4364 5441 5516	D2	第5面	3S-39 埋土中 埋土上層	甕	※18.0 △22.2 – 22.2	精緻	良	にぶい橙色
5-289	Ⅳ-6-82	H26	4623,5428,5433 5438,5468,5513 5516,5735,6468 6473,7303	D1・2 E1	第5面	3S-39 埋土中 埋土上層	甕	※17.2 △21.2 – 22.8	普通	良	にぶい黄橙色
5-290	Ⅳ-6-82	H26	5354	D2	第5面	3S-39 埋土中	甕	※16.6 △21.3 – ※23.8	普通	良	灰白色
5-291	Ⅳ-6-82	H26	7303	E1	第5面	3S-39 埋土中	甕	※19.1 △11.35 – –	普通	良	にぶい黄橙色
5-292	Ⅳ-6-82	H26	5415 5735 7303	D1・2 E1・2	第5面	3S-39 埋土中 Ⅴ-4層	甕	15.3 △22.4 – 20.1	普通	良	橙色
5-293	Ⅳ-6-82	H26	4263 6471 7303 7810	D1・2 E1	第5面	3S-39 埋土中 埋土上層	甕	15.05 △19.75 – 19.0	普通	良	にぶい黄橙色
5-294	Ⅳ-6-82	H26	4263 6692 7303	D1・2 E1	第5面	3S-39 埋土中	甕	16.8 △10.1 – –	普通	良	にぶい黄橙色
5-295	Ⅳ-6-83	H26	5735 6517 6518 6697	D1・2 E2	第5面	3S-39 埋土中 Ⅴ-4層	甕	16.4 △12.5 – 19.2	普通	良	にぶい黄橙色
5-296	Ⅳ-6-83	H26	4044,5356,5359 5360,6517	D1・2	第5面	3S-39 埋土中 Ⅴ-2層	甕	18.4 △17.5 – ※21.8	普通	良	灰黄色
5-297	Ⅳ-6-83	H26	5522 5735 7303	D2 E1	第5面	3S-39 埋土中	甕	15.9 △18.3 – 18.25	普通	良	灰黄色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表39

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
5-298	Ⅳ-6-83	H28	1751	D3	第5面	2S-999 –	甕	※13.9 △6.2 – –	普通	良	にぶい黄橙色
5-299	Ⅳ-6-83	H26	4124	D2	第5面	3S-39 埋土上層	甕	※13.4 △5.25 – –	普通	良	にぶい橙色
5-300	Ⅳ-6-83	H26	4056 4263	D2	第5面	3S-39 埋土中(上部砂層) 埋土上層	壺	※10.2 △4.9 – 10.5	普通	良	灰白色
5-301	Ⅳ-6-83	H26	3820 3998 5486 5518	D2	第5面	3S-39 埋土中 Ⅴ－2層 Ⅴ－2～Ⅴ－4層	甕	– △9.9 14.8 ※22.3	普通	良	灰白色
5-302	Ⅳ-6-83	H28	1129	D4	第5面	2S-999 –	蓋	– △2.7 – – つまみ5.3	普通	良	黄灰色
5-303	Ⅳ-6-83	H28	1954	D3	第5面	2S-999 –	蓋	– △4.9 – – つまみ※5.4	普通	良	にぶい黄橙色
5-304	Ⅳ-6-83	H26	5445 6101	D・E2	第5面	3S-39 埋土中 Ⅴ－2層	高坏	※24.4 △5.9 – –	普通	良	にぶい黄橙色
5-305	Ⅳ-6-83	H26	2998,3820,3905 3998,4382,5804 5816,6492,7303 7246,7428	D1・2 E1・2	第5面	3S-39・40 中央側溝 埋土中,13層 Ⅱ層,Ⅴ－2層 Ⅴ－2～Ⅴ－4層	高坏	※28.3 24.25 ※20.8 –	普通	良	灰白色
5-306	Ⅳ-6-83	H26	8201	D2	第5面	3S-39 埋土中	高坏	– △10.6 – –	粗	良	にぶい黄橙色
5-307	Ⅳ-6-83	H26	7303	E1	第5面	3S-39 埋土中	高坏	– △9.6 – –	普通	良	灰白色
5-308	Ⅳ-6-83	H26	4460	D2	第5面	3S-39 埋土上層(砂層)	注口土器 (注口)	– △6.35 – –	普通	良	にぶい赤褐色
5-309	Ⅳ-6-83	H26	5373	D2	第5面	3S-39 埋土中	高坏	※15.2 △4.7 – –	普通	良	灰黄色
5-310	Ⅳ-6-83	H28	1064	D4	第5面	2S-999 –	低脚坏	17.3 △4.9 – –	普通	良	灰白色
5-311	Ⅳ-6-83	H26	3820 5353 5354	D2	第5面	3S-39 埋土中 Ⅴ－2～Ⅴ－4層	高坏	※16.2 △9.0 ※11.2 –	精緻	良	にぶい黄橙色
5-312	Ⅳ-6-83	H26	5520	D2	第5面	3S-39 埋土中	低脚坏	※13.8 6.5 ※6.6 –	精緻	良	にぶい黄橙色
5-313	Ⅳ-6-83	H27	3831	D2	第5面	2S-290 埋土中	高坏	– △5.3 ※8.3 –	普通	良	にぶい黄橙色
5-314	Ⅳ-6-83	H28	1954	D3	第5面	2S-999 –	高坏	– △10.3 ※15.2 –	普通	良	にぶい黄橙色
5-315	Ⅳ-6-83	H26	7785	D1	第5面	3S-39 埋土中	高坏	– △6.4 ※16.4 –	普通	良	にぶい黄橙色
5-316	Ⅳ-6-83	H26	4263	D2	第5面	3S-39 埋土上層	高坏	– △5.6 ※15.6 –	粗	良	浅黄色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表40

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
5-317	Ⅳ-6-83	H26	7297 7303	E1	第5面	3S-39 2ライントレンチ 埋土中 V-2層	高坏	- △6.3 ※13.8 -	普通	良	にぶい黄橙色
5-318	Ⅳ-6-83	H26	5536	D2	第5面	3S-39 埋土中	高坏	- △8.05 ※15.2 -	普通	良	にぶい橙色
5-319	Ⅳ-6-84	H26	5403,5406,5395 5411,5412,5735 6465,6466	D1・2	第5面	3S-39 埋土中	器台	21.3 14.4 19.5 -	普通	良	浅黄色
5-320	Ⅳ-6-84	H26	3952,4004,4006 4446,4449,4453 4564,4674,4675 7507	D1 E1・2	第5面	3S-39・40 埋土中 V-2～V-4層	器台	※23.2 13.3 ※20.9 -	普通	良	にぶい黄橙色
5-321	Ⅳ-6-84	H26	4124	D2	第5面	3S-39 埋土上層	器台	10.3 5.25 ※9.6 -	普通	良	灰白色
5-322	Ⅳ-6-84	H26	5430	D2	第5面	3S-39 埋土中	器台	- △6.55 ※16.0 -	普通	良	灰白色
5-323	Ⅳ-6-84	H28	3347	D4	第5面	2S-999 -	甑型土器	※10.0 △5.6 - -	普通	良	にぶい黄橙色
5-324	Ⅳ-6-84	H26	7387	D4	第5面	2S-180下層流路 (2S-999) 埋土中	甑型土器	※11.6 △11.2 - -	普通	良	にぶい黄橙色
5-325	Ⅳ-6-84	H26	3949 5823 7297 7303	E1・2	第5面	3S-39 2ライントレンチ 埋土中 V-2層	甑型土器	※10.4 △12.2 - -	普通	良	にぶい黄橙色
5-326	Ⅳ-6-89	H26	3998,4682,5371 5375,5377,5382 5384,6496	D2	第5面	3S-39 埋土中、V-2層 埋土下層(泥炭層)	甕	※20.5 △28.0 - ※26.3	普通	良	にぶい黄橙色
5-327	Ⅳ-6-89	H26	3998,4042,4459 4568,4682,4820 5349,5350,5372 5378,5379,5382 5486,5490,5529 5531	D1・2 E1	第5面	3S-39 埋土中、埋土上層 埋土下層(泥炭層) V-2層	甕	19.1 27.5 2.9 22.4	普通	良	灰黄褐色
5-328	Ⅳ-6-89	H26	7296,7297,7303 7793,7795,7971 8173,8174,8175	D1・2 E1	第5面	3S-39 2ライントレンチ 埋土中 埋土中(泥炭層) Ⅱ層、V-2層	甕	※19.2 28.3 3.7 ※24.0	普通	良	にぶい黄橙色
5-329	Ⅳ-6-89	H26	3998 4682 5735	D2	第5面	3S-39 埋土中 埋土下層(泥炭層) V-2層	甕	※19.0 △6.0 - -	精緻	良	にぶい黄橙色
5-330	Ⅳ-6-89	H26	3998 4042 4682 5364	D1・2	第5面	3S-39 埋土中 埋土下層(泥炭層) V-2層	甕	※14.4 △14.5 - ※22.6	普通	良	にぶい黄橙色
5-331	Ⅳ-6-89	H26	3820,3998,4459 5369,5386,5483	D2	第5面	3S-39 埋土中、V-2層 V2～V4層 埋土下層(泥炭層)	甕	※17.2 △15.1 - ※20.7	普通	良	にぶい黄橙色
5-332	Ⅳ-6-89	H26	4364,6461,6469 6520,6524,7303 7803,7805,7813 7955,8169	D1・2 E1	第5面	3S-39 埋土中 埋土下層 埋土中(泥炭層)	甕	※18.0 △21.7 - 21.2	普通	良	にぶい黄橙色
5-333	Ⅳ-6-89	H26	4263,4364,4682 5414,5418,5419 5735	D2	第5面	3S-39 埋土中、埋土上層 埋土下層 埋土下層(泥炭層)	甕	- △24.7 ※3.9 ※22.0	普通	良	にぶい黄橙色
5-334	Ⅳ-6-90	H26	4364 4744 4821 5342	D・E2	第5面	3S-39 埋土中、埋土上層 埋土下層 埋土下層(泥炭層)	甕	※16.0 △9.9 - -	精緻	良	にぶい黄橙色
5-335	Ⅳ-6-90	H26	7303 7557 7775	D・E1	第5面	3S-39 埋土中 埋土中(泥炭層)	甕	※15.5 △10.1 - -	普通	良	浅黄色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表41

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構 層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色　調
5-336	Ⅳ-6-90	H26	4459,4568,4682 5434,5735	D2	第５面	3S-39 埋土中 埋土下層(泥炭層)	甕	※14.7 △11.2 － －	精緻	良	灰白色
5-337	Ⅳ-6-90	H26	4362 4364 4682 5416	D1・2	第５面	3S-39 埋土中、埋土上層 埋土下層 埋土下層(泥炭層)	甕	※14.2 △11.4 － ※17.6	精緻	良	浅黄色
5-338	Ⅳ-6-90	H26	3820 4568 5348 5486	D2	第５面	3S-39 埋土中 埋土下層(泥炭層) Ⅴ2～Ⅴ4層	甕	※16.0 △11.7 － －	精緻	良	にぶい黄橙色
5-339	Ⅳ-6-90	H26	5735,6075,6469 6483,6484,6498 6524,7808,7955	D1・2	第５面	3S-39 埋土中 埋土中(泥炭層)	甕	※15.4 △14.5 － ※18.8	普通	良	灰白色
5-340	Ⅳ-6-90	H26	4364,5361,5414 5419,6480,6491 6498,6697,7303 7557,7801	D1・2 E1・2	第５面	3S-39 埋土中、Ⅴ－4層 埋土下層 埋土中(泥炭層)	甕	※17.6 △14.4 － ※19.8	普通	良	にぶい黄橙色
5-341	Ⅳ-6-90	H26	4362,4682,5393 5394,5397,5402 5403,5404,5405 5412,5444	D1・2	第５面	3S-39 埋土中 埋土下層(泥炭層)	甕	※16.2 △19.0 － ※20.1	普通	良	にぶい黄橙色
5-342	Ⅳ-6-90	H26	3820,4042,4682 6206,6486,6697 7246,7297,7303	D1・2 E1・2	第５面	3S-39 ２ライントレンチ 埋土中 埋土下層(泥炭層) Ⅱ層、Ⅴ－２層 Ⅴ－４層、Ⅴ２～Ⅴ４層	甕	17.4 △22.4 ※3.8 19.2	普通	良	にぶい黄橙色
5-343	Ⅳ-6-90	H26	4568 4682 5735	D2	第５面	3S-39 埋土中 埋土下層(泥炭層)	甕	－ △11.2 － ※17.3	普通	良	にぶい橙色
5-344	Ⅳ-6-90	H26	4568,4682,5487 5490,5491	D2	第５面	3S-39 埋土中 埋土下層(泥炭層)	高坏	※25.7 △6.6 － －	精緻	良	にぶい黄褐色
5-345	Ⅳ-6-90	H26	4682	D2	第５面	3S-39 埋土下層(泥炭層)	高坏	－ △6.6 － －	精緻	良	灰黄褐色
5-346	Ⅳ-6-90	H26	7557 7794	D1	第５面	3S-39 埋土中 埋土中(泥炭層)	低脚坏	14.9 7.1 6.5 －	普通	良	灰白色
5-347	Ⅳ-6-90	H26	6523 7557 7807	D1・2	第５面	3S-39 埋土中 埋土中(泥炭層)	器台	※25.3 △6.7 － －	普通	良	浅黄橙色
5-348	Ⅳ-6-90	H26	4568,5398,5399 5517,6522	D2	第５面	3S-39 埋土中 埋土下層(泥炭層)	器台	21.9 13.8 20.6 －	普通	良	浅黄橙色
5-349	Ⅳ-6-94	H26	5572	E1	第５面	3S-40 埋土中	壺	※13.8 △8.1 － －	普通	良	灰白色
5-350	Ⅳ-6-94	H26	4449 5332	E1	第５面	3S-40 埋土中	壺	※18.0 △11.2 － －	普通	良	にぶい黄橙色
5-351	Ⅳ-6-94	H26	4446 4447 5336 5338	E1 F1	第５面	3S-40 埋土中	壺	19.1 △8.8 － －	普通	良	灰白色
5-352	Ⅳ-6-94	H26	6610	E1	第５面	3S-40 埋土中	台付装飾壺	－ △5.65 － ※12.6	精緻	良	灰黄褐色
5-353	Ⅳ-6-94	H26	5330	E1	第５面	3S-40 埋土中	壺	※17.3 △6.5 － －	普通	良	にぶい黄橙色
5-354	Ⅳ-6-94	H26	4446	E1	第５面	3S-40 埋土中	壺	※7.5 △5.8 － ※8.5	普通	良	灰黄色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表42

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
5-355	Ⅳ-6-94	H26	4670 5318 6332	E1	第5面	3S-40 埋土中	甕	※16.0 △15.3 － ※19.0	普通	良	にぶい黄橙色
5-356	Ⅳ-6-94	H26	4678 5340	E・F1	第5面	3S-40 埋土中	甕	※21.9 △11.35 － －	粗	良	にぶい黄橙色
5-357	Ⅳ-6-94	H26	5704 5705	E1	第5面	3S-40 埋土中	甕	※19.0 △9.4 － －	普通	良	灰白色
5-358	Ⅳ-6-94	H26	4446 4447	E・F1	第5面	3S-40 埋土中	甕	※14.6 △11.7 － ※20.9	普通	良	にぶい黄橙色
5-359	Ⅳ-6-94	H26	4686	E2	第5面	3S-40 －	甕	※15.2 △5.8 － －	普通	良	灰黄色
5-360	Ⅳ-6-94	H26	4675	E1	第5面	3S-40 埋土中	甕	※15.4 △4.25 － －	精緻	良	灰白色
5-361	Ⅳ-6-94	H26	6148 8354	E1・2	第5面	3S-40 埋土中 Ⅴ－4b層	高坏	18.7 15.5 14.5 －	普通	良	灰白色
5-362	Ⅳ-6-94	H26	5321	E1	第5面	3S-40 埋土中	高坏	26.3 △7.3 － －	普通	良	灰白色
5-363	Ⅳ-6-94	H26	5705	E1	第5面	3S-40 埋土中	高坏	※22.7 △8.4 － －	普通	良	にぶい黄橙色
5-364	Ⅳ-6-95	H26	4446 5339	E1	第5面	3S-40 埋土中	高坏	9.0 △11.0 － 15.4	普通	良	にぶい黄橙色
5-365	Ⅳ-6-95	H26	4675	E1	第5面	3S-40 埋土中	高坏	※18.4 △7.6 － －	粗	良	にぶい黄橙色
5-366	Ⅳ-6-95	H26	5643	E1	第5面	3S-40 埋土中	高坏	－ △12.4 － －	普通	良	にぶい黄橙色
5-367	Ⅳ-6-95	H26	4737 5575	D·E·F1	第5面	3S-40 埋土中	高坏	－ △8.95 ※18.2 －	普通	良	にぶい黄橙色
5-368	Ⅳ-6-95	H26	3952,4250,4446 4449,4454,4564 4686	E1・2	第5面	3S-40 Ⅴ－2～Ⅴ－4層、清掃中	高坏	－ △10.15 ※15.3 －	普通	良	にぶい黄橙色
5-369	Ⅳ-6-95	H26	4670 5331	E1	第5面	3S-40 埋土中	高坏	－ △6.4 11.7 －	普通	良	灰白色
5-370	Ⅳ-6-95	H26	8404	E1	第5面	3S-40 埋土中	高坏	－ △4.9 ※14.9 －	普通	良	にぶい黄橙色
5-371	Ⅳ-6-95	H26	6611	E1	第5面	3S-40 埋土中	脚部	－ △6.45 ※12.0 －	普通	良	にぶい黄褐色
5-372	Ⅳ-6-95	H26	5638	E1	第5面	3S-40 埋土中	高坏	－ △5.85 ※7.0 －	普通	良	灰白色
5-373	Ⅳ-6-95	H26	5305 5321 5326 6214	E1	第5面	3S-40 埋土中	器台	※22.6 13.4 ※20.4 －	普通	良	にぶい黄橙色

第Ⅵ－2－1表　土器観察表43

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
5-374	Ⅳ-6-95	H26	3950 5316	E１・２	第５面	３S－40 埋土中 Ｖ－２層	器台	※22.6 △11.1 － －	普通	良	灰白色
5-375	Ⅳ-6-95	H26	8404	E１	第５面	３S－40 埋土中	注口土器 (把手)	－ △4.0 － －	普通	良	にぶい黄褐色
5-376	Ⅳ-6-95	H26	4449	E１	第５面	３S－40 埋土中	注口土器 (注口)	－ △4.4 － －	普通	良	褐灰色
6-001	Ⅳ-7-2	H27	4352 4418	G７	第６面	－ Ｖ－３層	壺	※16.2 △10.55 － －	普通	良	灰白色
6-002	Ⅳ-7-2	H27	4865	G７	第６面	－ Ｖ－３層	壺	※19.1 △9.9 － －	普通	良	浅黄橙色
6-003	Ⅳ-7-2	H27	4386	G６	第６面	－ Ｖ－３層	壺	※18.8 △8.7 － －	普通	良	灰白色
6-004	Ⅳ-7-2	H27	4106,4107,4108 4352,4418,4432	G６・７	第６面	－ Ｖ－３層上面 Ｖ－３層	壺	※14.8 △15.0 － －	普通	良	にぶい黄橙色
6-005	Ⅳ-7-2	H27	4260 4404	G６	第６面	－ Ｖ－３層	甕	※13.6 △6.3 － ※14.0	普通	良	にぶい黄橙色
6-006	Ⅳ-7-2	H27	4200	G６	第６面	－ Ｖ－３層	甕	※13.3 △6.2 － －	普通	良	灰白色
6-007	Ⅳ-7-2	H27	4190,4217,4218 4229,4337,4338	G７	第６面	－ Ｖ－３層	甕	16.4 △22.5 － △21.3	普通	良	灰白色
6-008	Ⅳ-7-2	H27	4190 4324	G７	第６面	－ Ｖ－３層	甕	※17.2 △10.35 － －	普通	良	灰白色
6-009	Ⅳ-7-2	H27	4953,4954,4961 5202,5212	G６・７	第６面	－ Ｖ－３層	甕	16.4 △22.9 － ※21.1	普通	良	灰黄褐色
6-010	Ⅳ-7-2	H27	4386 4862 4865	G７	第６面	－ Ｖ－３層	甕	※23.15 34.4 － ※29.0	普通	良	灰白色～にぶい黄橙色
6-011	Ⅳ-7-2	H27	4342	G６	第６面	－ Ｖ－３層	甕	14.4 △20.6 － ※23.8	普通	良	灰白色
6-012	Ⅳ-7-3	H27	4434	G６	第６面	－ Ｖ－３層	甕	※26.0 △14.4 － －	普通	良	灰白色
6-013	Ⅳ-7-3	H27	4336 4337 4339 4649	G７	第６面	－ Ｖ－３層	甕	※19.8 △13.3 － ※25.1	普通	良	にぶい黄橙色
6-014	Ⅳ-7-3	H27	4649 5124	G７	第６面	－ Ｖ－３層	甕	※16.5 △12.4 － ※20.4	普通	良	黄橙色
6-015	Ⅳ-7-3	H27	4387	G６	第６面	－ Ｖ－３層	高坏	※22.6 △12.85 － －	普通	良	灰白色
6-016	Ⅳ-7-3	H27	5239	G７	第６面	－ Ｖ－３層	高坏	19.1 △9.7 － －	普通	良	灰白色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表44

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
6-017	Ⅳ-7-3	H27	4324	G7	第6面	– V－3層	高坏	24.6 △12.0 – –	普通	良	灰黄褐色
6-018	Ⅳ-7-3	H27	5045	G7	第6面	– V－3層	鉢	※18.95 10.5 ※12.3 –	普通	良	淡黄色
6-019	Ⅳ-7-3	H27	5142	G7	第6面	– V－3層	高坏	– △14.5 ※17.3 –	普通	良	灰白色
6-020	Ⅳ-7-3	H27	4401	G7	第6面	– V－3層	鉢	※19.65 △10.2 – –	普通	良	淡黄色
6-021	Ⅳ-7-3	H27	4328	G7	第6面	– V－3層	高坏	※18.8 △9.45 – –	普通	良	浅黄橙色
6-022	Ⅳ-7-3	H27	7875	G7	第6面	– V－3層	低脚坏	※10.85 7.3 ※4.9 –	普通	良	浅黄橙色
6-023	Ⅳ-7-3	H27	4319	G7	第6面	– V－3層	低脚坏	※11.6 △5.05 – –	普通	良	灰白色
6-024	Ⅳ-7-3	H27	4190,4320,4352 4429,4955	G7	第6面	– V－3層	器台	※23.5 14.8 ※19.2 –	普通	良	灰白色
6-025	Ⅳ-7-3	H27	4190 4229 4314	G6・7	第6面	– V－3層	器台	※25.0 △10.7 – –	普通	良	にぶい黄橙色
6-026	Ⅳ-7-3	H27	4991 4229	G7	第6面	– V－3層	器台	– △13.6 22.7 –	普通	良	灰白色
6-027	Ⅳ-7-3	H27	5141	G7	第6面	– V－3層	脚台	– △3.8 14.3 –	普通	良	灰白色
6-028	Ⅳ-7-3	H27	4404	G6	第6面	– V－3層	蓋	7.8 3.75 – –	普通	良	浅黄橙色
6-029	Ⅳ-7-4	H27	7366	F6	第6面	– V－3層	壺	14.3 ※9.4 – –	精緻	良	灰白色
6-030	Ⅳ-7-4	H26	924,1157,1158 1227,1305,1339 1388,1412,1438 1469,1496,	F6	第6面	南側溝 –	壺	※20.8 △20.5 – ※25.6	精緻	良	灰白色
6-031	Ⅳ-7-4	H27	5155 6005 7421	F6	第6面	– V－3層	壺	※15.6 △18.0 – ※22.6	普通	良	灰白色
6-032	Ⅳ-7-4	H26	1388,1390,1465 1470,1471,1473 1477,1479,1492 1493	F6	第6面	南側溝 –	壺	※17.6 △15.2 – ※25.2	普通	良	灰白色
6-033	Ⅳ-7-4	H27	7864	F6	第6面	– V－3層	壺	△16.8 ※25.2 – ※20.0	普通	良	灰白色
6-034	Ⅳ-7-4	H27	6006 6007	F6	第6面	– V－3層	壺	※17.6 △26.6 – ※24.8	普通	良	浅黄橙色
6-035	Ⅳ-7-4	H26・27	(H26)931,950 5155,6016,6565 7409,7407,7423	F6	第6面	南側溝 V－3層	甕	25.1 △16.6 – –	精緻	良	浅黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表45

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
6-036	Ⅳ-7-4	H26・27	832,834,835,925 926,928 (H27)7408	F6	第６面	南側溝 Ⅴ－３層	甕	23.9 38.1 6.5 31.1	普通	良	灰白色
6-037	Ⅳ-7-5	H27	7370	F6	第６面	－ Ⅴ－３層	直口壺	13.0 △22.5 － 21.6	普通	良	灰白色
6-038	Ⅳ-7-5	H26	659 839 933	F6	第６面	南側溝 －	直口壺	16.1 28.0 4.9 23.8	普通	良	灰白色
6-039	Ⅳ-7-5	H26	1291	F6	第６面	南側溝 －	甕	24.5 9.8 － －	精緻	良	灰白色
6-040	Ⅳ-7-5	H26	659 740 833 836	F6	第６面	南側溝 －	甕	19.6 14.6 － 25.8	普通	良	灰白色
6-041	Ⅳ-7-5	H27	5155,5993,5995 5990,6000,6011 6012,7409,7410 7417,7496,7863	F6	第６面	－ Ⅴ－３層	甕	※19.4 △17.1 － ※24.5	普通	良	灰白色
6-042	Ⅳ-7-5	H26	1030,1180,1205 1237,1256,1281 1304,1305,1315 1373,1374,1412	F6	第６面	南側溝 －	甕	18.0 27.15 2.5 22.2	普通	良	灰白色
6-043	Ⅳ-7-5	H27	5996 6696 6698	F6	第６面	－ Ⅴ－３層	甕	19.65 31.1 2.5 24.9	粗	良	灰白色
6-044	Ⅳ-7-5	H26	924,1169,1170 1205,1237	F6	第６面	南側溝 －	甕	17.85 6.8 － －	精緻	良	灰白色
6-045	Ⅳ-7-6	H27	5155 5569 5570 5572	F6	第６面	－ Ⅴ－３層	甕	17.2 △11.3 － －	普通	良	灰白色
6-046	Ⅳ-7-6	H27	7415 7419	F6	第６面	－ Ⅴ－３層	甕	15.6 △9.6 － －	普通	良	灰白色
6-047	Ⅳ-7-6	H27	7380	F6	第６面	－ Ⅴ－３層	甕	16.0 △9.0 － －	普通	良	灰白色
6-048	Ⅳ-7-6	H27	5998	F6	第６面	－ Ⅴ－３層	甕	※17.6 △13.4 － －	普通	良	灰白色
6-049	Ⅳ-7-6	H27	3390,6621,6565 7393,7394	F6	第６面	南側溝北壁 Ⅴ－３層	甕	18.2 △12.8 － －	普通	良	灰白色
6-050	Ⅳ-7-6	H26	1218	F6	第６面	南側溝 －	甕	※18.2 △16.4 － 23.3	普通	良	灰白色
6-051	Ⅳ-7-6	H27	6550,7420,7421 7422,7496	F6	第６面	－ Ⅴ－３層	甕	※18.6 △23.6 － ※22.0	普通	良	浅黄橙色
6-052	Ⅳ-7-6	H26	1051,1050,1306 1387,1389,1467 1495,1497,1499	F6	第６面	南側溝 －	甕	※17.1 △25.4 ※4.7 ※20.9	普通	良	灰白色
6-053	Ⅳ-7-6	H27	6621 6700	F6	第６面	－ Ⅴ－３層	甕	17.8 26.1 3.8 22.0	普通	良	浅黄橙色
6-054	Ⅳ-7-7	H26	1218,1220,1237 1256,1342	F6	第６面	南側溝 －	甕	17.6 26.2 ※3.2 21.6	普通	良	浅黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表46

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
6-055	Ⅳ-7-7	H26	924,1218,1227 1236,1237,1256 1342,1352,1354 1358,1361,1438	F6	第6面	南側溝 –	甕	※20.0 △29.8 – ※26.6	普通	良	灰白色
6-056	Ⅳ-7-7	H26	924,1218,1223 1256,1351,1353	F6	第6面	南側溝 –	甕	15.5 △9.7 – –	普通	良	灰白色
6-057	Ⅳ-7-7	H27	5155,5516,5891 5990,6699,7863	F6	第6面	– V－3層	甕	※14.8 △11.3 – –	普通	良	灰白色
6-058	Ⅳ-7-7	H27	5394 5888 6018	F6	第6面	– V－3層	甕	※15.8 △14.6 – ※20.8	精緻	良	浅黄橙色
6-059	Ⅳ-7-7	H26・27	5516,6000,6021 6696,7394,7398 (H26)927	F6	第6面	南側溝 V－3層	甕	※15.1 △16.3 – ※20.4	精緻	良	灰白色
6-060	Ⅳ-7-7	H27	7375	F6	第6面	– V－3層	甕	※14.8 24.9 ※1.0 ※20.0	普通	良	灰白色
6-061	Ⅳ-7-7	H27	7423	F6	第6面	– V－3層	甕	15.9 21.9 0.9 18.2	普通	良	灰白色
6-062	Ⅳ-7-8	H26・27	1386,1474,1478 1438,1256,1457 1412,(H27)3694 1205,1156,1155 1150,1015,1237	F6	第6面	南側溝 –	甕	16.2 △15.95 – 17.2	普通	良	淡赤橙色
6-063	Ⅳ-7-8	H27	5155	F6	第6面	– V－3層	甕	※12.3 △13.0 – ※13.4	普通	良	浅黄橙色
6-064	Ⅳ-7-8	H27	6694	F6	第6面	– V－3層	甕	11.1 10.95 0.7 12.4	普通	良	灰白色
6-065	Ⅳ-7-8	H27	5598	F6	第6面	– V－3層	台付装飾壺	4.5 10.2 ※6.3 ※11.1	精緻	良	にぶい黄橙色
6-066	Ⅳ-7-8	H27	5894	F6	第6面	– V－3層	高杯	※16.6 △9.0 – –	粗	良	灰白色
6-067	Ⅳ-7-8	H27	5120,5155,5394 6024,6550,7382	F6	第6面	– V－3層	高杯	18.5 △9.9 – –	普通	良	浅黄橙色
6-068	Ⅳ-7-8	H27	7411	F6	第6面	– V－3層	高坏	– △9.7 ※10.7 –	精緻	良	灰白色
6-069	Ⅳ-7-8	H27	5995	F6	第6面	– V－3層	高杯	※26.6 15.8 – –	普通	良	灰白色
6-070	Ⅳ-7-8	H27	7373	F6	第6面	– V－3層	高杯	※27.3 △8.1 – –	普通	良	にぶい橙色
6-071	Ⅳ-7-8	H26	1237 1256 1308	F6	第6面	南側溝 –	高杯	– △12.2 17.4 –	精緻	良	灰白色
6-072	Ⅳ-7-8	H27	5394 5887 5982	F6	第6面	– V－3層	低脚杯	11.5 4.4 6.1 –	精緻	良	灰白色
6-073	Ⅳ-7-8	H27	5889	F6	第6面	– V－3層	低脚坏	13.9 6.9 7.0 –	精緻	良	にぶい橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表47

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
6-074	Ⅳ-7-8	H27	5566 6421	F6	第６面	－ Ⅴ－３層	低脚坏	15.2 △7.1 ※6.4 －	精緻	良	灰白色
6-075	Ⅳ-7-8	H26	924	F6	第６面	南側溝 －	低脚杯	※17.0 7.0 7.3 －	普通	良	灰白色
6-076	Ⅳ-7-8	H27	6023 6550	F6	第６面	－ Ⅴ－３層	低脚坏	14.0 △5.3 － －	普通	良	灰白色
6-077	Ⅳ-7-8	H26	924	F6	第６面	南側溝 －	蓋	13.8 6.75 － －	普通	良	灰白色
6-078	Ⅳ-7-8	H27	6013	F6	第６面	－ Ⅴ－３層	器台	※21.0 △11.5 － －	普通	良	浅黄橙色
6-079	Ⅳ-7-8	H27	5155 5595	F6	第６面	－ Ⅴ－３層	器台	※19.4 △10.8 ※16.0 －	普通	良	灰白色
6-080	Ⅳ-7-8	H27	5155,5394,6019 6020,6550,6565 6621,7387,7393 7401,7496	F6	第６面	－ Ⅴ－３層	器台	23.0 15.6 ※22.1 －	普通	良	灰白色
6-081	Ⅳ-7-9	H26 H27	5155,5394,5876 5987,6016,6421 7381,(H26)950, (H26)1219	F6	第６面	南側溝 Ⅴ－３層	甑型土器	10.55 66.0 38.2 (42.1)把手込み	普通	良	灰白色～黒色
6-082	Ⅳ-7-9	H26	459,540,541 542,543,544,549 566,710,711,713 714,730,770,729 733,1152	F5 F6	第６面	南側溝 Ⅴ－３層	甑型土器	14.1 65.5 37.7 (38.85)把手込み	普通	良	灰白色～灰黄褐色
6-083	Ⅳ-7-9	H27	4197	F5	第６面	－ Ⅴ－３層	壺	※17.95 29.9 － 25.4	普通	良	浅黄橙色
6-084	Ⅳ-7-9	H27	4196	E5	第６面	－ Ⅴ－３層	甕	※15.8 △10.4 － －	普通	良	灰白色
6-085	Ⅳ-7-9	H27	4196	E5	第６面	－ Ⅴ－３層	甕	※14.6 △14.3 － ※26.3	普通	良	灰黄褐色
6-086	Ⅳ-7-9	H27	4196	E5	第６面	－ Ⅴ－３層	高坏	－ △8.45 13.05 －	普通	良	にぶい黄橙色
6-087	Ⅳ-7-9	H27	4220	E5	第６面	－ Ⅴ－３層	高坏	※11.8 △10.4 － －	普通	良	灰白色
6-088	Ⅳ-7-9	H27	4196	E5	第６面	－ Ⅴ－３層	低脚坏	16.05 8.0 7.15 －	普通	良	灰白色
6-089	Ⅳ-7-29	H26	8196	D6	第６面	２Ｓ－266 掘方埋土	甕	－ △5.0 － －	精緻	良	橙色
6-090	Ⅳ-7-29	H26	6326	D6	第６面	２Ｓ－266 柱掘方	甕	※18.6 △5.8 － －	精緻	良	灰白色
6-091	Ⅳ-7-29	H26	6326	D6	第６面	２Ｓ－266 柱掘方	低脚坏	－ △2.7 － －	精緻	良	褐灰色
6-092	Ⅳ-7-29	H26	8364	D6	第６面	２Ｓ－313 掘方埋土	壺	※18.6 △7.5 － －	精緻	良	にぶい黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表48

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
6-093	Ⅳ-7-29	H26	8299	D6	第6面	2S-313 掘方埋土	甕	※16.7 △6.3 – –	普通	良	にぶい橙色
6-094	Ⅳ-7-29	H26	7966	D5	第6面	2S-314 掘方埋土	甕	– △3.65 – –	精緻	良	にぶい黄橙色
6-095	Ⅳ-7-29	H26	7550 7902	D5	第6面	2S-315 掘方埋土	甕	– △6.5 – –	普通	良	灰白色
6-096	Ⅳ-7-29	H26	8005	D5	第6面	2S-315 掘方埋土	甕	– △4.9 – –	精緻	良	灰白色
6-097	Ⅳ-7-29	H26	7903 7997	D5	第6面	2S-315 掘方埋土	甕	※16.0 △7.7 – –	精緻	良	灰白色
6-098	Ⅳ-7-33	H27	7901	F6	第6面	2S-822 埋土中	甕	※13.2 △4.7 – –	普通	良	灰白色
6-099	Ⅳ-7-33	H27	5134	E5	第6面	2S-760 埋土中	甕	※17.2 △5.9 – –	精緻	良	にぶい黄橙色
6-100	Ⅳ-7-33	H27	7900	F6	第6面	2S-821 埋土中	甕	※19.2 △5.6 – –	普通	良	にぶい黄橙色
6-101	Ⅳ-7-34	H28	492	D6	第6面	2S-896 –	壺	※18.6 △7.0 – –	精緻	良	浅黄橙色
6-102	Ⅳ-7-34	H28	2605	C6	第6面	2S-1171 –	甕	※14.2 △4.6 – –	普通	良	灰白色
6-103	Ⅳ-7-34	H28	2600	C6	第6面	2S-1171 –	高坏	– △3.7 12.8 –	普通	良	にぶい黄橙色
6-104	Ⅳ-7-34	H28	2599	C6	第6面	2S-1171 –	小型壺	– △6.7 – ※12.5	普通	良	にぶい黄橙色
6-105	Ⅳ-7-36	H27	5518 6560	G7	第6面	2S-762 2S-818 埋土中	壺	– △12.3 – ※14.7	普通	良	にぶい黄橙色
6-106	Ⅳ-7-36	H27	6560	G7	第6面	2S-818 埋土中	甕	※15.4 △15.5 – ※22.3	普通	良	灰白色
6-107	Ⅳ-7-36	H27	6568	G7	第6面	2S-818 埋土中	甕	※16.0 △11.0 – –	普通	良	淡黄色
6-108	Ⅳ-7-36	H27	7261	G7	第6面	2S-818 埋土中	甕	16.4 △5.4 – –	粗	良	にぶい黄橙色
6-109	Ⅳ-7-36	H27	7290	G7	第6面	2S-818 埋土中	甕	※19.4 △7.5 – –	普通	良	淡黄色
6-110	Ⅳ-7-36	H27	7290	G7	第6面	2S-818 埋土中	底部	– △8.2 ※2.6 –	普通	良	にぶい黄橙色
6-111	Ⅳ-7-36	H27	6568	G7	第6面	2S-818 埋土中	高坏	※11.8 △3.4 – –	普通	良	にぶい黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表49

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
6-112	Ⅳ-7-36	H27	6568	G7	第６面	2S-818 埋土中	高坏	– △5.5 ※15.4 –	普通	良	灰黄褐色
6-113	Ⅳ-7-36	H27	6794	G7	第６面	2S-818 –	底部	– △3.3 ※4.4 –	普通	良	灰黄褐色
6-114	Ⅳ-7-36	H27	6794	G7	第６面	2S-818 –	底部	– △2.7 7.6 –	普通	良	灰黄色
6-115	Ⅳ-7-36	H27	6568 7290	G7	第６面	2S-818 埋土中	器台	※21.8 13.85 ※19.6 –	普通	良	浅黄橙色・にぶい黄橙色
6-116	Ⅳ-7-36	H27	7290	G7	第６面	2S-818 埋土中	器台	※23.1 12.95 ※19.3 –	普通	不良	灰白色
6-117	Ⅳ-7-36	H27	6560 7290	G7	第６面	2S-818 埋土中	器台	– △8.6 – –	普通	良	淡黄色
6-118	Ⅳ-7-38	H27	5108	G6	第６面	2S-790 埋土中	壺	※17.4 △3.4 – –	普通	良	灰黄褐色
6-119	Ⅳ-7-38	H27	5108	G6	第６面	2S-790 埋土中	壺	※20.0 △7.8 – –	普通	良	にぶい黄橙色
6-121	Ⅳ-7-38	H27	6199	G6	第６面	2S-790 埋土中	壺	※13.6 △7.4 – –	精緻	良	にぶい黄橙色
6-120	Ⅳ-7-38	H27	5108	G6	第６面	2S-790 埋土中	壺	※14.4 △8.2 – –	精緻	良	にぶい黄橙色
6-122	Ⅳ-7-38	H27	6949	G6	第６面	2S-790 埋土中	甕	※16.8 △7.4 – –	精緻	良	にぶい橙色
6-123	Ⅳ-7-38	H27	5954	G6	第６面	2S-790 埋土中	甕	※14.3 △7.8 – –	普通	良	にぶい黄橙色
6-124	Ⅳ-7-38	H27	5454	G6	第６面	2S-790 埋土中	甕	※14.2 △3.9 – –	精緻	良	にぶい黄橙色
6-125	Ⅳ-7-38	H27	6357	G6	第６面	2S-790 埋土中	甕	※14.6 △3.8 – –	精緻	良	にぶい黄橙色
6-126	Ⅳ-7-38	H27	6947	G6	第６面	2S-790 埋土中	高坏	※12.4 △5.1 – –	精緻	良	にぶい黄橙色
6-127	Ⅳ-7-38	H27	7817	G6	第６面	2S-790 埋土中	器台	※20.9 △7.0 – –	精緻	良	にぶい黄橙色
6-128	Ⅳ-7-38	H27	6947 6950	G6	第６面	2S-790 埋土中	器台	– △5.0 ※17.0 –	普通	良	にぶい黄橙色
6-129	Ⅳ-7-38	H27	6950	G6	第６面	2S-790 埋土中	小型壺	※7.8 △4.5 – –	精緻	良	にぶい黄橙色
6-130	Ⅳ-7-38	H27	5108	G6	第６面	2S-790 埋土中	壺	– △3.4 – –	普通	良	にぶい黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表50

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
6-131	Ⅳ-7-41	H27	4285	F4	第6面	2S-747 埋土中	壺	– △7.05 – 8.85	普通	良	にぶい黄橙色
6-132	Ⅳ-7-41	H27	4283	F4	第6面	2S-747 埋土中	甕	– △7.0 – –	普通	良	浅黄色
6-133	Ⅳ-7-41	H27	4284	F4	第6面	2S-747 埋土中	甕	※13.7 △5.3 – –	精緻	良	灰白色
6-134	Ⅳ-7-43	H27	5613 5778 5981	G6	第6面	2S-762 埋土中	甕	※14.4 △9.8 – –	精緻	良	にぶい黄色
6-135	Ⅳ-7-43	H27	5123 5192	G7	第6面	2S-762 埋土中	壺	※15.8 △10.6 – –	普通	良	浅黄橙色
6-136	Ⅳ-7-43	H27	4489	G6	第6面	2S-762 埋土中	壺	※9.6 △8.4 – –	普通	良	灰白色
6-137	Ⅳ-7-43	H27	5662	G7	第6面	2S-762 埋土中	壺	※16.6 △8.9 – –	普通	良	にぶい黄橙色
6-138	Ⅳ-7-43	H27	4489 4689 4765	G6	第6面	2S-762 埋土中	壺	※19.7 △9.6 – –	精緻	良	にぶい黄橙色
6-139	Ⅳ-7-43	H27	5663	G7	第6面	2S-762 埋土中	壺	※9.4 △9.3 – 11.7	普通	良	にぶい黄橙色
6-140	Ⅳ-7-43	H27	5213 6479	G6	第6面	2S-762 2S-790 埋土中	壺	9.0 17.9 – 15.0	普通	良	浅黄橙色
6-141	Ⅳ-7-43	H27	4765	G6	第6面	2S-762 埋土中	壺	10.3 △11.5 – 15.0	普通	良	浅黄橙色
6-142	Ⅳ-7-43	H27	5664	G7	第6面	2S-762 埋土中	壺	※10.1 △5.2 – –	普通	不良	にぶい黄橙色
6-143	Ⅳ-7-43	H27	5123 5415 5518	G6・7	第6面	2S-762 埋土中	甕	※17.3 △21.25 – ※19.9	普通	良	灰白色
6-144	Ⅳ-7-43	H27	5784	G7	第6面	2S-762 埋土中	甕	※16.0 △6.1 – –	普通	良	褐色
6-145	Ⅳ-7-43	H27	5107 5348 5613	G6	第6面	2S-762 埋土中	甕	※15.8 △5.6 – –	粗	不良	にぶい橙色
6-146	Ⅳ-7-43	H27	5123 5613 5784	G6・7	第6面	2S-762 埋土中	甕	※18.2 △7.8 – –	普通	良	にぶい橙色
6-147	Ⅳ-7-43	H27	5192 5415 5518	G6・7	第6面	2S-762 埋土中	甕	※19.4 △5.9 – –	普通	良	にぶい黄橙色
6-148	Ⅳ-7-43	H27	4576	G6	第6面	2S-762 埋土中	甕	※17.8 △7.0 – –	粗	良	にぶい黄橙色
6-149	Ⅳ-7-43	H27	6552	G6	第6面	2S-762 埋土中	甕	※16.1 △8.5 – 18.2	普通	良	にぶい黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表51

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
6-150	Ⅳ-7-43	H27	5615 5709	G7	第６面	2S-762 埋土中	甕	※24.7 △17.4 － ※29.9	普通	良	にぶい黄橙色
6-151	Ⅳ-7-43	H27	5123 5192	G7	第６面	2S-762 埋土中	甕	※23.7 △15.0 － －	普通	良	にぶい黄橙色
6-152	Ⅳ-7-44	H27	5415 5523	G6	第６面	2S-762 埋土中	甕	※28.4 △13.55 － －	普通	良	浅黄橙色
6-153	Ⅳ-7-44	H27	5613 5778	G6	第６面	2S-762 埋土中	甕	19.2 △19.0 － 24.7	普通	良	灰白色
6-154	Ⅳ-7-44	H27	6552	G6	第６面	2S-762 埋土中	甕	15.6 △14.5 － 22.75	普通	良	にぶい黄橙色
6-155	Ⅳ-7-44	H27	5518 5778	G6	第６面	2S-762 埋土中	甕	※15.3 △10.9 － 17.9	精緻	良	浅黄褐色
6-156	Ⅳ-7-44	H27	5709	G7	第６面	2S-762 埋土中	甕	※17.8 △8.0 － －	普通	良	にぶい黄橙色
6-157	Ⅳ-7-44	H27	4576 4644	G6	第６面	2S-762 埋土中	甕	17.4 △12.1 － 21.0	普通	良	灰白色
6-158	Ⅳ-7-44	H27	4811	G6	第６面	2S-762 埋土中	甕	※14.8 △10.1 － －	精緻	良	浅黄橙色
6-159	Ⅳ-7-44	H27	5415	G6	第６面	2S-762 埋土中	壺	※9.4 12.9 － ※13.0	普通	良	浅黄橙色
6-160	Ⅳ-7-44	H27	4489 4689	G6	第６面	2S-762 埋土中	甕	※14.6 △5.9 － －	精緻	良	にぶい黄橙色
6-161	Ⅳ-7-44	H27	4489	G6	第６面	2S-762 埋土中	甕	※30.5 △5.9 － －	普通	良	にぶい黄橙色
6-162	Ⅳ-7-44	H27	5518	G7	第６面	2S-762 埋土中	甕	※12.0 △5.1 － －	精緻	良	にぶい黄橙色
6-163	Ⅳ-7-44	H27	4812	G6	第６面	2S-762 埋土中	甕	※20.6 △11.0 － －	普通	良	にぶい黄橙色
6-164	Ⅳ-7-44	H27	4489	G6	第６面	2S-762 埋土中	甕	※13.2 △12.4 － ※21.9	普通	良	にぶい黄橙色
6-165	Ⅳ-7-45	H27	5778	G6	第６面	2S-762 埋土中	甕	－ △17.3 － 23.0	普通	良	灰黄褐色
6-166	Ⅳ-7-45	H27	5240 5518	G6・7	第６面	2S-762 埋土中	壺	－ △18.3 ※7.7 ※23.4	普通	良	にぶい黄橙色
6-167	Ⅳ-7-45	H27	5123	G7	第６面	2S-762 埋土中	底部	－ △3.3 ※11.3 －	普通	良	にぶい黄橙色
6-168	Ⅳ-7-45	H27	5463	G6	第６面	2S-762 埋土中	底部	－ △4.3 7.0 －	普通	良	にぶい黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表52

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
6-169	Ⅳ-7-45	H27	5518	G6	第6面	2S-762 埋土中	底部	– △3.9 ※4.0 –	精緻	良	灰黄褐色
6-170	Ⅳ-7-45	H27	5123	G7	第6面	2S-762 埋土中	底部	– △3.7 ※3.8 –	普通	良	灰白色
6-171	Ⅳ-7-45	H27	5192	G7	第6面	2S-762 埋土中	底部	– △3.6 ※4.4 –	普通	良	にぶい黄褐色
6-172	Ⅳ-7-45	H27	5518	G7	第6面	2S-762 埋土中	底部	– △3.7 ※2.8 –	粗	良	灰黄褐色
6-173	Ⅳ-7-45	H27	5107	G6	第6面	2S-762 埋土中	底部	– △3.1 3.4 –	精緻	良	にぶい黄橙色
6-174	Ⅳ-7-45	H27	5192	G7	第6面	2S-762 埋土中	底部	– △2.1 ※4.0 –	普通	良	橙色
6-176	Ⅳ-7-45	H27	5349	G7	第6面	2S-762 埋土中	高坏	※24.4 △6.4 – –	普通	良	にぶい黄橙色
6-177	Ⅳ-7-45	H27	4486	G7	第6面	2S-762 埋土中	高坏	※23.6 △5.1 – –	精緻	良	灰白色
6-177	Ⅳ-7-45	H27	5704	G7	第6面	2S-762 埋土中	高坏	※28.8 △6.5 – –	普通	良	にぶい黄橙色
6-178	Ⅳ-7-45	H27	6056	G6	第6面	2S-762 埋土中	高坏	14.75 △5.65 – –	普通	良	浅黄橙色
6-179	Ⅳ-7-45	H27	4405 4489	G6	第6面	2S-762 埋土中	高坏	13.1 △4.8 – –	普通	良	灰白色
6-180	Ⅳ-7-45	H27	6552	G6	第6面	2S-762 埋土中	鉢	18.6 12.7 12.2 –	普通	良	灰白色
6-181	Ⅳ-7-45	H27	4644	G6	第6面	2S-762 埋土中	低脚坏	20.55 △5.6 – –	普通	良	灰白色
6-182	Ⅳ-7-45	H27	4465 4466	G6	第6面	2S-762 埋土中	低脚坏	13.05 4.85 5.0 –	普通	良	灰白色
6-183	Ⅳ-7-45	H27	4467	G6	第6面	2S-762 埋土中	低脚坏	16.2 7.0 7.65 –	普通	良	灰白色
6-184	Ⅳ-7-45	H27	4808	G6	第6面	2S-762 埋土中	低脚坏	※11.3 △5.2 – –	精緻	良	にぶい黄橙色
6-185	Ⅳ-7-45	H27	4576	G6	第6面	2S-762 埋土中	鉢	19.4 △8.2 – –	普通	良	浅黄橙色
6-186	Ⅳ-7-45	H27	4405	G6	第6面	2S-762 埋土中	鉢	– △5.3 – –	普通	良	灰白色
6-187	Ⅳ-7-46	H27	5352	G7	第6面	2S-762 埋土中	高坏	– △11.95 16.0 –	普通	良	灰白色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表53

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
6-188	Ⅳ-7-46	H27	5738	G6	第６面	2S-762 埋土中	高坏	－ △7.95 16.4 －	普通	良	灰白色
6-189	Ⅳ-7-46	H27	5518	G7	第６面	2S-762 埋土中	鉢	－ △5.0 12.7 －	普通	良	にぶい黄橙色
6-190	Ⅳ-7-46	H27	5518	G7	第６面	2S-762 埋土中	脚台部	－ △5.9 ※9.4 －	普通	良	灰黄褐色
6-191	Ⅳ-7-46	H27	5551	G7	第６面	2S-762 埋土中	壺	6.05 12.2 8.3 12.95	普通	良	灰白色
6-192	Ⅳ-7-46	H27	4489 4765	G6	第６面	2S-762 埋土中	壺	－ △13.0 － 16.4	精緻	良	灰白色
6-193	Ⅳ-7-46	H27	5518 5981	G7	第６面	2S-762 埋土中	壺	7.7 △7.1 － 9.7	普通	良	にぶい黄橙色
6-194	Ⅳ-7-46	H27	4689	G6	第６面	2S-762 埋土中	小型壺	※7.6 △4.7 － －	普通	良	にぶい黄橙色
6-195	Ⅳ-7-46	H27	5415	G6	第６面	2S-762 埋土中	小型壺	※2.4 4.5 － 4.0	精緻	良	にぶい黄橙色
6-196	Ⅳ-7-46	H27	4488	G7	第６面	2S-762 埋土中	蓋	13.8 △5.8 － －	普通	良	浅黄橙色
6-197	Ⅳ-7-46	H27	5708	G7	第６面	2S-762 埋土中	蓋	※8.8 4.5 － － つまみ4.7	精緻	良	にぶい黄橙色
6-198	Ⅳ-7-46	H27	5109	G7	第６面	2S-762 埋土中	器台	－ △4.6 － －	精緻	良	にぶい黄橙色
6-199	Ⅳ-7-46	H27	5843	G6	第６面	2S-762 埋土中	甑	13.5 △17.1 － －	普通	良	にぶい黄橙色
6-200	Ⅳ-7-46	H27	5495	G6	第６面	2S-762 埋土中	器台	23.05 14.6 18.3 －	普通	良	灰白色
6-201	Ⅳ-7-46	H27	5778 6479	G6	第６面	2S-762 埋土中	器台	21.4 14.6 19.8 －	普通	良	浅黄橙色
6-202	Ⅳ-7-46	H27	5154	G7	第６面	2S-762 埋土中	器台	21.9 13.65 19.7 －	普通	良	灰黄褐色
6-203	Ⅳ-7-46	H27	4765	G6	第６面	2S-0762 埋土中	器台	※18.8 10.0 ※17.1 －	普通	良	浅黄橙色
6-204	Ⅳ-7-46	H27	4465	G6	第６面	2S-762 埋土中	器台	－ △17.1 25.75 －	普通	良	灰白色
6-205	Ⅳ-7-46	H27	5387	G7	第６面	2S-762 埋土中	器台	－ △9.8 － －	粗	良	浅黄橙色
6-206	Ⅳ-7-46	H27	4405	G6	第６面	2S-762 埋土中	器台	－ △5.7 ※16.4 －	精緻	良	にぶい黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表54

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
7-001	Ⅳ-8-1	H26	4956	D2	第7面	– V-4層	壺	※17.8 △7.0 – –	普通	良	灰黄褐色
7-002	Ⅳ-8-1	H26	6210	E2	第7面	– V-4層	壺	※15.0 △6.9 – –	普通	良	灰黄色
7-003	Ⅳ-8-1	H27	5051	E4	第7面	– V-4層	壺	※17.2 △7.2 – –	普通	良	浅黄橙色
7-004	Ⅳ-8-1	H27	7302	G7	第7面	– V-4層	壺	※18.0 △9.3 – –	普通	良	にぶい黄橙色
7-005	Ⅳ-8-1	H27	6401	G6	第7面	– V-4層	壺	※17.4 △22.5 – ※22.4	普通	良	黄灰色
7-006	Ⅳ-8-1	H27	4242	E4	第7面	– V-4層	壺	※18.0 △15.3 – –	普通	良	黄灰色
7-007	Ⅳ-8-1	H27	6365	G6	第7面	– V-4層	直口壺	※13.4 △6.1 – –	普通	良	明赤褐色
7-008	Ⅳ-8-1	H27	4358 4449 4450	D3	第7面	– V-4層	直口壺	※12.8 △8.3 – –	普通	良	浅黄橙色
7-009	Ⅳ-8-1	H27	5609	F5	第7面	– V-4層	直口壺	※11.6 △5.6 – –	普通	良	にぶい黄橙色
7-010	Ⅳ-8-1	H27	6502	G7	第7面	– V-4層	壺	※15.5 △6.0 – –	普通	良	にぶい黄橙色
7-011	Ⅳ-8-1	H27	7478 7554 7590	E4	第7面	– V-4層	壺	※11.4 △6.0 – –	精緻	良	淡黄色
7-012	Ⅳ-8-1	H27	4242	E4	第7面	– V-4層	壺	※14.6 △6.6 – –	普通	良	にぶい黄橙色
7-013	Ⅳ-8-1	H27	7778	F6	第7面	– V-4層	壺	※9.0 5.7 – –	普通	良	灰黄色
7-014	Ⅳ-8-1	H27	4563	E2	第7面	– V-4層	壺	10.1 9.75 – 10.5	普通	良	にぶい黄橙色
7-015	Ⅳ-8-1	H27	6402	G6	第7面	– V-4層	甕	21.3 33.75 – 28.6	普通	良	にぶい橙色
7-016	Ⅳ-8-1	H27	6365 7302	G6・7	第7面	– V-4層	甕	※29.1 △37.65 – ※35.4	普通	良	にぶい黄橙色～黒色
7-017	Ⅳ-8-2	H27	6365 7039 7302	G6・7	第7面	– V-4層	甕	※28.0 △18.9 – ※35.5	普通	良	にぶい黄橙色
7-018	Ⅳ-8-2	H27	4242	E4	第7面	– V-4層	甕	22.7 10.2 – –	普通	良	灰黄褐色
7-019	Ⅳ-8-2	H27	6403	G6	第7面	– V-4層	甕	20.4 △26.6 – 27.7	普通	良	灰白色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表55

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
7-020	Ⅳ-8-2	H28	1009	E8	第７面	Ⅴ－４層 －	甕	20.1 △11.3 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-021	Ⅳ-8-2	H27	5053 5062 5105	E4	第７面	－ Ⅴ－４層	甕	※19.5 △10.9 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-022	Ⅳ-8-2	H27	6428	G7	第７面	－ Ⅴ－４層	甕	※18.5 △13.3 － －	普通	良	にぶい黄褐色
7-023	Ⅳ-8-2	H27	6069	G6	第７面	－ Ⅴ－４層	甕	※19.5 △11.6 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-024	Ⅳ-8-2	H26	4242	E4	第７面	－ Ⅴ－４層	甕	※19.5 △13.5 － 23.7	普通	良	にぶい黄橙色
7-025	Ⅳ-8-2	H27	6279	E2	第７面	－ Ⅴ－４層	甕	※19.6 △7.2 － －	普通	良	灰白色
7-026	Ⅳ-8-2	H26	6281	E2	第７面	－ Ⅴ－４層	甕	※19.8 △11.65 － －	普通	良	灰白色
7-027	Ⅳ-8-2	H27	7967	G7	第７面	－ Ⅴ－４層	甕	※16.8 △20.7 － ※23.8	普通	良	にぶい黄橙色
7-028	Ⅳ-8-3	H26	6278	E2	第７面	－ Ⅴ－４層	甕	※18.0 △4.95 － －	普通	良	灰黄色
7-029	Ⅳ-8-3	H28	1030	E8	第７面	Ⅴ－４層 －	甕	※16.8 △4.8 － －	普通	不良	にぶい黄橙色
7-030	Ⅳ-8-3	H27	6069 6401 6403 6405	G6	第７面	－ Ⅴ－４層	甕	※17.8 △12.7 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-031	Ⅳ-8-3	H27	5627	F5	第７面	－ Ⅴ－４層	甕	※17.3 △13.4 － ※21.1	普通	良	にぶい黄橙色
7-032	Ⅳ-8-3	H28	67	D8	第７面	Ⅴ－４層 －	甕	※17.7 △6.3 － －	普通	良	灰白色
7-033	Ⅳ-8-3	H27	4439	D3	第７面	－ Ⅴ－４層	甕	※17.8 △9.0 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-034	Ⅳ-8-3	H27	5868 6062	E2	第７面	－ Ⅴ－４層	甕	※15.6 △9.4 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-035	Ⅳ-8-3	H27	5541	E5	第７面	－ Ⅴ－４層	甕	※16.8 △6.5 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-036	Ⅳ-8-3	H26	6277	E2	第７面	－ Ⅴ－４層	甕	※17.2 △7.8 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-037	Ⅳ-8-3	H27	6471 6476	G6	第７面	－ Ⅴ－４層	甕	※16.0 △14.1 － ※19.7	普通	良	浅黄橙色
7-038	Ⅳ-8-3	H27	4830 5459 5543	F5	第７面	－ Ⅴ－４層	甕	※15.2 △18.85 － ※19.4	普通	良	にぶい黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表56

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
7-039	Ⅳ-8-3	H27	8690	E4	第7面	– V－4層	甕	※15.3 △6.7 – –	普通	良	にぶい黄褐色
7-040	Ⅳ-8-3	H27	6069	G6	第7面	– V－4層	甕	※14.2 △9.4 – –	精緻	良	にぶい黄橙色
7-041	Ⅳ-8-3	H27	6406 6407	G6	第7面	– V－4層	甕	16.5 △22.3 – 21.7	普通	良	灰白色
7-042	Ⅳ-8-3	H27	4475	E2	第7面	– V－4層	甕	15.8 22.25 2.9 18.45	普通	良	灰黄褐色
7-043	Ⅳ-8-3	H27	9697	E4	第7面	– 精査中	甕	※15.2 △10.3 – –	普通	良	にぶい黄橙色
7-044	Ⅳ-8-3	H27	5541	E5	第7面	– V－4層	甕	※15.7 △12.4 – ※18.1	普通	良	にぶい橙色
7-045	Ⅳ-8-3	H27	6476 6580	G6	第7面	– V－4層	甕	※11.8 △12.5 – ※13.0	普通	良	灰黄色
7-046	Ⅳ-8-3	H27	7302	G7	第7面	– V－4層	甕	※18.2 △7.2 – –	粗	良	にぶい黄橙色
7-047	Ⅳ-8-3	H27	4533 5050	E4	第7面	– V－4層 V－4層下面検出中	甕	※11.8 △10.2 – –	粗	良	暗灰黄色
7-048	Ⅳ-8-3	H27	5604	E5	第7面	– V－4層	甕	※12.0 △5.3 – –	普通	良	にぶい橙色
7-049	Ⅳ-8-4	H26	4952	C1	第7面	– V－4層	甕	– △5.25 – –	普通	良	浅黄橙色
7-050	Ⅳ-8-4	H27	6063	E2	第7面	– V－4層	底部	– △13.2 5.5 –	普通	良	にぶい黄橙色
7-051	Ⅳ-8-4	H27	6453 6476	G6	第7面	– V－4層	底部	– △15.1 ※4.4 –	普通	良	にぶい黄橙色
7-052	Ⅳ-8-4	H27	6450 6451 6476	G6	第7面	– V－4層	高坏	23.7 17.05 17.0 –	普通	良	浅黄橙色
7-053	Ⅳ-8-4	H27	6452	G6	第7面	– V－4層	高坏	22.4 △13.9 – –	普通	良	灰白色
7-054	Ⅳ-8-4	H27	5550	E4	第7面	– V－4層	高坏	※22.3 △8.0 – –	普通	良	淡黄色
7-055	Ⅳ-8-4	H27	6355	G7	第7面	– V－4層	高坏	※20.0 △5.8 – –	普通	良	淡黄色
7-056	Ⅳ-8-4	H27	9577	E4	第7面	– 第7面精査中	低脚坏	※12.6 6.1 6.4 –	普通	良	にぶい橙色
7-057	Ⅳ-8-4	H27	4358 4536	D3	第7面	– V－4層 V－4層下面検出中	低脚坏	※10.9 5.0 ※5.5 –	普通	良	にぶい黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表57

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構 層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
7-058	Ⅳ-8-4	H27	4358 4390	D3	第７面	－ Ⅴ－４層	低脚坏	※15.7 7.1 ※7.6 －	普通	良	灰白色
7-059	Ⅳ-8-4	H27	6426	G7	第７面	－ Ⅴ－４層	高坏	※14.2 △7.9 － 15.4	普通	良	にぶい黄橙色
7-060	Ⅳ-8-4	H27	8007	G6	第７面	－ Ⅴ－４層 F・G６確認坑	台付甕	－ △12.0 13.0 －	普通	良	にぶい黄橙色
7-061	Ⅳ-8-4	H27	6365	G6	第７面	－ Ⅴ－４層	高坏	18.4 △6.5 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-062	Ⅳ-8-4	H27	6355	G7	第７面	－ Ⅴ－４層	高坏	※22.2 △7.1 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-063	Ⅳ-8-4	H27	6502	G7	第７面	－ Ⅴ－４層	高坏	※19.8 △6.8 － －	普通	良	浅黄橙色
7-064	Ⅳ-8-4	H26	6282	E2	第７面	－ Ⅴ－４層	高坏	－ △8.8 ※10.2 －	普通	良	灰黄色
7-065	Ⅳ-8-4	H27	6627	G6	第７面	－ Ⅴ－４層	高坏	－ △6.4 ※7.0 －	普通	良	浅黄橙色
7-066	Ⅳ-8-4	H27	4297	E3	第７面	－ Ⅴ－４層	高坏	－ △9.6 13.4 －	普通	良	にぶい黄橙色
7-067	Ⅳ-8-4	H27	5052	E4	第７面	－ Ⅴ－４層	高坏	－ △8.1 ※15.0 －	普通	良	にぶい黄橙色
7-068	Ⅳ-8-4	H26	6274 6275	E2	第７面	－ Ⅴ－４層	高坏	－ △6.4 ※14.4 －	普通	良	にぶい黄橙色
7-069	Ⅳ-8-4	H27	6472	G7	第７面	－ Ⅴ－４層	台付鉢	－ △5.5 ※8.0 －	粗	良	にぶい黄橙色
7-070	Ⅳ-8-4	H27	7478	E4	第７面	－ Ⅴ－４層	低脚坏	－ △4.0 ※5.8 －	精緻	良	にぶい黄橙色
7-071	Ⅳ-8-4	H28	97	D8	第７面	Ⅴ－４層 －	低脚坏	－ △3.6 ※5.4 －	精緻	良	灰白色
7-072	Ⅳ-8-4	H27	6963	G6	第７面	－ Ⅴ－４層	低脚坏	－ △2.6 9.4 －	精緻	良	灰色
7-073	Ⅳ-8-5	H27	7478 7584	E4	第７面	－ Ⅴ－４層	高坏	－ △6.7 － －	普通	良	淡黄色
7-074	Ⅳ-8-5	H27	7478 7583 7589	E4	第７面	－ Ⅴ－４層	高坏	－ △6.2 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-075	Ⅳ-8-5	H26	6226	E2	第７面	－ Ⅴ－４層	高坏	－ △7.9 13.1 －	普通	良	浅黄橙色
7-076	Ⅳ-8-5	H27	4637 4720 5106	E4	第７面	－ Ⅴ－４層	甑型土器	－ △17.3 － －	普通	良	淡黄色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表58

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
7-077	Ⅳ-8-5	H26	6208	E2	第7面	－ V－4層	鉢	－ △4.05 4.3 －	普通	良好	灰色
7-078	Ⅳ-8-5	H27	4389	D3	第7面	－ V－4層	壺	－ △4.2 － 6.5	普通	良	浅黄橙色
7-079	Ⅳ-8-5	H27	4242	E4	第7面	－ V－4層	器台	※16.6 14.35 ※12.0 －	粗	良	灰白色
7-080	Ⅳ-8-5	H27	6454 6476	G6	第7面	－ V－4層	器台	21.3 14.95 17.5 －	普通	良	にぶい橙色
7-081	Ⅳ-8-5	H27	6355 6365 7032 7033	G6・7	第7面	－ V－4層	器台	23.65 14.0 19.45 －	普通	良	にぶい黄橙色
7-082	Ⅳ-8-5	H27	6218	G6	第7面	－ V－4層	器台	21.6 △10.0 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-083	Ⅳ-8-5	H27	4427	D3	第7面	－ V－4層	器台	－ △7.6 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-084	Ⅳ-8-5	H27	8417	G6	第7面	－ V－4層	坏	※12.9 △5.7 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-085	Ⅳ-8-5	H27	8407	F5	第7面	－ V－4層下面 清掃中	蓋	6.4 4.0 － － つまみ※2.8	普通	良	灰黄褐色
7-086	Ⅳ-8-5	H27	6365	G6	第7面	－ V－4層	蓋	※10.8 5.2 － － つまみ4.8	普通	良	にぶい黄色
7-087	Ⅳ-8-5	H28	13	F5	第7面	－ 第7面清掃中	蓋	15.0 8.4 － － つまみ4.0	普通	良	暗褐色
7-088	Ⅳ-8-5	H27	5550	E4	第7面	－ V－4層	蓋	－ 4.8 － － つまみ※11.4	普通	良	にぶい黄橙色
7-089	Ⅳ-8-5	H27	9576 9577	E4・5	第7面	－ 第7面精査中	蓋	※26.4 9.7 － － つまみ7.8	普通	良	にぶい黄橙色
7-090	Ⅳ-8-5	H27	6502	G7	第7面	－ V－4層	蓋	12.0 5.6 － － つまみ5.4	普通	良	灰白色
7-091	Ⅳ-8-5	H27	7938	G7	第7面	－ V－4層	不明	幅△4.4 高△3.8 厚△3.9 －	普通	良	黒褐色
7-092	Ⅳ-8-5	H27	5459	F5	第7面	－ V－4層	装飾壺	－ △6.1 － ※12.3	精緻	良	灰白色
7-093	Ⅳ-8-5	H27	4447	D3	第7面	－ V－4層	注口土器	－ △7.1 － ※17.2	普通	良	にぶい黄橙色
7-094	Ⅳ-8-20	H27	7949	F6	第7面	2S－820 埋土中	甕	－ △4.2 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-095	Ⅳ-8-23	H27	5752	F5	第7面	2S－794 埋土中	甕	－ △5.5 － －	普通	良	にぶい黄橙色

第Ⅵ－2－1表　土器観察表59

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
7-096	Ⅳ-8-37	H26	6315 6317 6808	B・C3	第７面	2S-267 埋土中	甕	※18.3 △25.7 － ※24.0	普通	良	灰白色
7-097	Ⅳ-8-37	H26	6284	B3	第７面	2S-267 埋土中	甕	※17.2 △5.2 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-098	Ⅳ-8-37	H26	6317 6800	B・C3	第７面	2S-267 埋土中	高坏	※11.8 △11.0 － ※15.4	普通	不良	にぶい黄橙色
7-099	Ⅳ-8-40	H28	387 588	D6	第７面	2S-245 掘方埋土中	甕	※16.7 △10.8 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-100	Ⅳ-8-40	H28	588 591	D6	第７面	2S-245 掘方埋土中	甕	※15.7 △9.2 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-101	Ⅳ-8-40	H28	707	C5	第７面	2S-245 掘方埋土中	甕	※13.0 △6.5 － －	普通	良	灰黄褐色
7-102	Ⅳ-8-40	H28	1430	D6	第７面	2S-245 掘方埋土中	鉢	※14.6 △7.2 － －	普通	良	にぶい橙色
7-103	Ⅳ-8-42	H26	5170	D6	第７面	2S-245 埋土中	壺	※25.8 △5.0 － －	普通	不良	灰白色
7-104	Ⅳ-8-42	H26・28	382 387 4990	C4・6 D6	第７面	2S-245 埋土中	壺	※20.4 △10.4 － －	普通	良	にぶい橙色
7-105	Ⅳ-8-42	H26	5121	D6	第７面	2S-245 埋土中	壺	※13.9 △7.5 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-106	Ⅳ-8-42	H26	5275	D6	第７面	2S-0245 埋土中	壺	※17.5 △12.0 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-107	Ⅳ-8-42	H26	8268	D6	第７面	2S-245 埋土中	壺	※16.4 △8.0 － －	精緻	良	にぶい黄橙色
7-108	Ⅳ-8-42	H26	8271	D6	第７面	2S-245 埋土中	直口壺	※10.6 △7.1 － ※13.1	普通	良	にぶい黄橙色
7-109	Ⅳ-8-42	H26	8163	D6	第７面	2S-245 埋土中	無頸壺	※9.3 12.1 ※5.4 ※12.8	普通	良	にぶい黄橙色
7-110	Ⅳ-8-42	H26	5857 8253	D6	第７面	2S-245 埋土中	甕	※35.4 △15.5 － －	精緻	良	にぶい黄橙色
7-111	Ⅳ-8-42	H26	8270	D6	第７面	2S-245 埋土中	甕	※23.2 △6.7 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-112	Ⅳ-8-42	H26	8635	D6	第７面	2S-245 埋土中	甕	※17.0 △9.0 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-113	Ⅳ-8-42	H26	5096 5120 5722	D5・6	第７面	2S-245 埋土中	甕	18.05 △11.75 － 20.6	普通	良	灰白色
7-114	Ⅳ-8-42	H28	387	D6	第７面	2S-245 －	甕	※16.8 △11.3 － ※20.1	普通	良	にぶい黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表60

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
7-115	Ⅳ-8-42	H26	4988	C5	第7面	2S-245 埋土中	甕	※18.4 △8.0 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-116	Ⅳ-8-42	H26	5001	C5	第7面	2S-245 埋土中	甕	※15.8 △8.8 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-117	Ⅳ-8-42	H26	8109	C6	第7面	2S-245 埋土中	甕	※16.8 △6.6 － －	普通	良	灰白色
7-118	Ⅳ-8-42	H26	5092	D6	第7面	2S-245 埋土中	甕	※16.5 △6.4 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-119	Ⅳ-8-42	H26	4996	C5	第7面	2S-245 埋土中	甕	※15.0 △6.6 － －	普通	良	にぶい橙色
7-120	Ⅳ-8-42	H26	5721 6960	C・D5	第7面	2S-245 埋土中	甕	※12.7 △6.0 － －	普通	良	にぶい黄褐色
7-121	Ⅳ-8-42	H26	5225	D6	第7面	2S-245 埋土中	甕	※14.2 △6.3 － －	普通	良	にぶい黄褐色
7-122	Ⅳ-8-43	H26	5177	C6	第7面	2S-245 埋土中	高坏	※25.6 △6.2 － －	精緻	良	にぶい黄橙色
7-123	Ⅳ-8-43	H26	5857 8387	C・D6	第7面	2S-245 埋土中	高坏	※18.4 △6.1 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-124	Ⅳ-8-43	H26	5171	D6	第7面	2S-245 埋土中	高坏	※18.6 △7.4 － －	普通	良	浅黄橙色
7-125	Ⅳ-8-43	H26	5169	D6	第7面	2S-245 埋土中	高坏	－ △10.8 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-126	Ⅳ-8-43	H26	5789	D6	第7面	2S-245 埋土中	高坏	－ △10.6 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-127	Ⅳ-8-43	H26	8202	C6	第7面	2S-245 埋土中	低脚坏	※11.8 △4.2 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-128	Ⅳ-8-43	H26	5857	D6	第7面	2S-245 埋土中	低脚坏	※12.0 4.9 ※5.8 －	普通	良	にぶい黄橙色
7-129	Ⅳ-8-43	H26	8398	D6	第7面	2S-245 埋土中	低脚坏	※15.2 6.4 4.4 －	普通	良	灰褐色
7-130	Ⅳ-8-43	H26	8989	D5	第7面	2S-245 埋土中	蓋	※3.4 2.9 － － つまみ※2.6	精緻	良	にぶい黄橙色
7-131	Ⅳ-8-43	H26	5855	C5	第7面	2S-245 埋土中	蓋	※6.2 3.3 － － つまみ※2.4	精緻	良	にぶい黄橙色
7-132	Ⅳ-8-43	H26	8608	C5	第7面	2S-245 埋土中	蓋	10.2 5.0 － － つまみ※4.0	普通	良	にぶい黄橙色
7-133	Ⅳ-8-43	H26	8945	D6	第7面	2S-245 埋土中	鉢	5.8 4.7 － 6.35	普通	良	にぶい黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表61

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
7-134	Ⅳ-8-43	H26	6908	C5	第７面	2S-245 埋土中	器台	※17.2 △6.0 － －	普通	良	灰黄褐色
7-135	Ⅳ-8-43	H26・28	123 8679	C・D5	第７面	2S-245ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ 2S-245 埋土中	器台	－ △6.9 ※17.0 －	普通	良	浅黄橙色
7-136	Ⅳ-8-43	H26	5072	C3	第７面	2S-245 埋土中	高坏	－ △5.4 ※13.8 －	精緻	良	にぶい黄橙色
7-137	Ⅳ-8-43	H26	5118 5224 8125 8396	C5	第７面	2S-245 埋土中	甑型土器	－ △24.1 － －	粗	良	にぶい黄褐色
7-138	Ⅳ-8-43	H26	6875 6909 6910	C5	第７面	2S-245 埋土中	甑型土器	※9.3 △18.2 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-139	Ⅳ-8-43	H28	3819	D6	第７面	2S-245 －	縄文土器 底部	－ △1.7 ※16.2 －	粗	不良	灰黄褐色
7-140	Ⅳ-8-96	H27	5425	E3	第７面	2S-763(新) 埋土中	壺	※18.2 △8.1 － －	普通	良	にぶい橙色
7-141	Ⅳ-8-96	H27	5175	E3	第７面	2S-763(新) 埋土中	甕	※16.4 △8.8 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-142	Ⅳ-8-96	H27	4754	E3	第７面	2S-763(新) 埋土中	甕	－ △9.0 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-143	Ⅳ-8-96	H27	6135 6301	E4	第７面	2S-763 2S-763(新) 埋土中	甕	16.0 △15.4 － 21.2	普通	良	灰白色
7-144	Ⅳ-8-96	H27	4734 5156 7771	E3	第７面	2S-763 2S-763(新) 埋土中	器台	※23.6 △7.6 － －	普通	良	灰白色
7-145	Ⅳ-8-96	H27	5174	E3	第７面	2S-763(新) 埋土中	低脚坏	－ 2.9 9.0 －	精緻	良	にぶい黄橙色
7-146	Ⅳ-8-97	H27	4690	D3	第７面	2S-764 埋土中	壺	※14.0 △6.4 － －	精緻	良	灰白色
7-147	Ⅳ-8-97	H27	4617	D3	第７面	2S-764 埋土中	直口壺	※14.7 △8.6 － －	精緻	良	にぶい黄橙色
7-148	Ⅳ-8-97	H27	6438	E3	第７面	2S-764 埋土中	直口壺	※10.4 △7.2 － －	普通	良	浅黄橙色
7-149	Ⅳ-8-97	H27	4763	D3	第７面	2S-764 埋土中	甕	※15.0 △20.4 － ※17.7	普通	良	灰白色
7-150	Ⅳ-8-97	H27	7474	D3	第７面	2S-764 埋土中	甕	※16.8 △8.6 － －	普通	良	灰黄褐色
7-151	Ⅳ-8-97	H27	6189	E2	第７面	2S-764ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ －	甕	※13.4 △8.6 － ※11.6	普通	良	灰黄褐色
7-152	Ⅳ-8-97	H27	5096	D3	第７面	2S-764 埋土中	低脚坏	－ △3.0 ※6.8 －	普通	良	にぶい黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表62

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
7-153	Ⅳ-8-97	H27	8463	D3	第7面	2S-764 埋土中	注口土器 (注口)	– △6.1 – –	精緻	良	にぶい黄橙色
7-154	Ⅳ-8-116	H27	8462 8483 8651	F・G6	第7面	2S-824 埋土中	壺	※11.4 △10.5 – –	普通	良	にぶい黄橙色
7-155	Ⅳ-8-116	H27	8282	G6	第7面	2S-824 埋土中	壺	※13.2 △5.7 – –	普通	良	にぶい橙色
7-156	Ⅳ-8-116	H27	8282	G6	第7面	2S-824 埋土中	甕	※15.8 △19.1 – ※20.3	普通	良	にぶい黄橙色
7-157	Ⅳ-8-116	H27	8245 8907	G6	第7面	2S-824 2S-824トレンチ2 埋土中	甕	※17.6 △16.3 – ※18.6	普通	良	にぶい黄橙色
7-158	Ⅳ-8-116	H27	8926	F5	第7面	2S-824 埋土中	甕	※19.0 △13.0 – ※22.3	普通	良	にぶい黄橙色
7-159	Ⅳ-8-116	H27	8310	G6	第7面	2S-824 埋土中	甕	※16.2 △5.7 – –	普通	良	にぶい黄橙色
7-160	Ⅳ-8-116	H27	8891 8926	F5	第7面	2S-824 埋土中	器台	– △10.85 ※22.6 –	普通	不良	浅黄橙色
7-161	Ⅳ-8-116	H27	8483 8648	G6	第7面	2S-824 埋土中	壺	6.8 7.3 1.9 10.6	普通	良	にぶい橙色
7-162	Ⅳ-8-116	H27	8823	G6	第7面	2S-824 埋土中	低脚坏	– △5.7 13.2 –	普通	良	にぶい黄橙色
7-163	Ⅳ-8-116	H27	8613	G6	第7面	2S-824 埋土中	低脚坏	– △6.2 ※8.2 –	普通	良	浅黄橙色
7-164	Ⅳ-8-123	H27	7504	E4	第7面	2S-763 埋土中	直口壺	※12.0 △12.5 – ※17.7	普通	良	にぶい黄橙色
7-165	Ⅳ-8-123	H27	5626,5852 6260,7148,776	E4 F5	第7面	2S-763 E・Fﾗｲﾝ間ﾄﾚﾝﾁ 埋土中	甕	※25.5 △13.5 – –	普通	良	にぶい黄橙色
7-166	Ⅳ-8-123	H27	6295	F5	第7面	2S-763 埋土中	甕	※18.6 21.3 ※13.4 ※24.2	普通	良	にぶい黄色
7-167	Ⅳ-8-123	H27	6920	E4	第7面	2S-763 2S-763サブトレンチ2 –	甕	※21.7 △15.85 – –	普通	良	灰白色
7-168	Ⅳ-8-123	H27	6917 7756	E4	第7面	2S-763 埋土中	甕	※20.6 △18.8 – ※23.6	普通	良	灰黄色
7-169	Ⅳ-8-123	H27	6267	F5	第7面	2S-763 埋土中	甕	※19.1 △9.3 – –	普通	良	灰黄褐色
7-170	Ⅳ-8-123	H27	6848 6851 6881	E4	第7面	2S-763 埋土中	甕	※17.6 △10.8 – –	普通	良	にぶい黄橙色
7-171	Ⅳ-8-123	H27	6864	E4	第7面	2S-763 埋土中	甕	※18.6 △11.1 – –	普通	良	灰白色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表63

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
7-172	Ⅳ-8-123	H27	7666	E4	第７面	2S-763 下層	甕	※18.6 △14.1 － ※22.5	普通	良	にぶい黄橙色
7-173	Ⅳ-8-123	H27	6911	E4	第７面	2S-763 埋土中	甕	※17.5 △13.9 － ※19.7	普通	良	灰白色
7-174	Ⅳ-8-123	H27	6729 7896	E4	第７面	2S-763 埋土中 下層	甕	※17.4 △6.6 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-175	Ⅳ-8-124	H27	7690	E4	第７面	2S-763 下層	甕	※14.6 △8.5 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-176	Ⅳ-8-124	H27	7307	E4	第７面	2S-763 下層	甕	※15.1 △6.6 － －	精緻	良	にぶい黄橙色
7-177	Ⅳ-8-124	H27	6256 7131 7134	F5	第７面	2S-763 埋土中	甕	※16.8 27.4 － ※21.7	普通	良	浅黄橙色
7-178	Ⅳ-8-124	H27	6942	E4	第７面	2S-763 埋土中	甕	※16.0 △5.9 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-179	Ⅳ-8-124	H27	7690	E4	第７面	2S-763 下層	甕	※16.4 △5.1 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-180	Ⅳ-8-124	H27	5853 7667	E4	第７面	2S-763 埋土中 下層	甕	※16.2 △5.0 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-181	Ⅳ-8-124	H27	7740	E4	第７面	2S-763 下層	甕	※16.6 △7.4 － －	粗	良	にぶい黄橙色
7-182	Ⅳ-8-124	H27	6505	F5	第７面	2S-763 下層	甕	※16.8 △8.4 － －	普通	不良	灰黄褐色
7-183	Ⅳ-8-124	H27	7668	E4	第７面	2S-763 下層	甕	－ △11.6 ※4.1 ※15.1	普通	良	灰白色
7-184	Ⅳ-8-124	H27	5808 6914	E4	第７面	2S-763 2S-791 －	甕	※11.4 △10.1 － ※12.6	普通	良	にぶい黄橙色
7-185	Ⅳ-8-124	H27	7755	E4	第７面	2S-763 下層	高坏	※26.8 △8.1 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-186	Ⅳ-8-124	H27	7241	F5	第７面	2S-763 埋土中	高坏	－ △10.05 13.4 －	普通	良	にぶい褐色
7-187	Ⅳ-8-124	H27	7145	F5	第７面	2S-763 埋土中	低脚坏	－ △4.1 ※6.2 －	普通	良	にぶい橙色
7-188	Ⅳ-8-124	H27	6910	E4	第７面	2S-763 埋土中	低脚坏	※15.7 6.9 ※6.6 －	普通	良	にぶい黄橙色
7-189	Ⅳ-8-124	H27	5798	E4	第７面	2S-763 埋土中	蓋	4.2 △2.5 － －	普通	良	にぶい黄褐色
7-190	Ⅳ-8-124	H27	6129	F5	第７面	2S-763 埋土中	蓋	※9.0 4.2 － － つまみ※3.8	普通	良	明赤褐色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表64

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
7-191	Ⅳ-8-124	H27	6872	E4	第7面	2S-763 埋土中	台付装飾壺	※12.4 △4.7 – –	普通	良	にぶい黄橙色
7-192	Ⅳ-8-124	H27	6925	E4	第7面	2S-763 埋土中	壺	– △6.9 – ※13.0	普通	良	灰白色
7-193	Ⅳ-8-124	H27	6984	F5	第7面	2S-763 埋土中	埦	※9.6 6.5 4.8 –	普通	良	灰白色
7-194	Ⅳ-8-125	H27	8162	E4	第7面	2S-763 掘方埋土中	壺	※18.2 △11.1 – –	普通	良	にぶい橙色
7-195	Ⅳ-8-125	H27	7734	E4	第7面	2S-763 掘方埋土中	直口壺	12.45 △14.0 – 20.6	普通	良	灰白色
7-196	Ⅳ-8-125	H27	8252	E4	第7面	2S-763 掘方埋土中	直口壺	※12.8 △9.3 – –	普通	良	灰白色
7-197	Ⅳ-8-125	H27	8252	E4	第7面	2S-763 掘方埋土中	甕	※13.8 △5.5 – –	普通	良	にぶい黄橙色
7-198	Ⅳ-8-125	H27	6646	E4	第7面	2S-763 掘方埋土中	結合土器	– △7.15 – –	普通	良	にぶい黄橙色
7-199	Ⅳ-8-143	H28	181	D8	第7面	2S-883 –	甕	※21.8 △8.0 – –	普通	良	にぶい黄橙色
7-200	Ⅳ-8-143	H28	181	D8	第7面	2S-883 –	甕	– △5.2 – –	普通	良	灰白色
7-201	Ⅳ-8-144	H27	5834	E4	第7面	2S-791 埋土中	壺	※8.8 △7.2 – ※10.4	普通	良	にぶい黄橙色
7-202	Ⅳ-8-144	H27	5200	E4	第7面	2S-791 埋土中	甕	※17.2 △8.1 – –	普通	良	にぶい黄橙色
7-203	Ⅳ-8-144	H27	5836	E4	第7面	2S-791 埋土中	甕	※21.0 △10.1 – –	普通	良	にぶい黄橙色
7-204	Ⅳ-8-144	H27	5209 5496	E4	第7面	2S-791 埋土中	高坏	※18.6 △7.45 – –	普通	良	灰白色
7-205	Ⅳ-8-144	H27	5209	E4	第7面	2S-791 埋土中	低脚坏	※13.0 △3.5 – –	普通	良	にぶい黄橙色
7-206	Ⅳ-8-146	H28	138	D8	第7面	2S-858 –	甕	※17.2 △5.5 – –	普通	良	灰白色
7-207	Ⅳ-8-146	H28	399	E8	第7面	2S-858 –	甕	※25.4 △8.8 – –	普通	良	にぶい黄橙色
7-208	Ⅳ-8-146	H28	127 138 217 498	D8	第7面	2S-858 –	甕	※11.8 14.1 ※4.2 ※13.3	普通	良	にぶい黄橙色～黒色
7-209	Ⅳ-8-146	H28	138	D8	第7面	2S-858 –	壺	※8.6 △5.5 – –	普通	良	にぶい黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表65

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
7-210	Ⅳ-8-147	H28	599	D8	第７面	2S-895 －	甕	※18.6 △6.2 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-211	Ⅳ-8-147	H28	497	D8	第７面	2S-895 －	甕	※16.8 △5.5 － －	普通	良	にぶい橙色
7-212	Ⅳ-8-147	H28	598,497	D8	第７面	2S-895 －	蓋	※12.6 7.0 － － つまみ※3.8 －	普通	良	にぶい黄橙色
7-213	Ⅳ-8-147	H28	497	D8	第７面	2S-895 －	壺	△7.1 － －	普通	良	灰黄褐色
7-214	Ⅳ-8-147	H28	497,331	D8	第７面	2S-895 2S-884 －	高坏	※24.4 △3.7 － －	普通	良	浅黄橙色
7-215	Ⅳ-8-147	H28	497	D8	第７面	2S-895 －	高坏	※14.0 △3.5 － －	普通	良	にぶい橙色
7-216	Ⅳ-8-149	H26	4948	C1	第７面	3S-50 埋土中	甕	※14.5 △5.4 － －	粗	良	にぶい褐色
7-217	Ⅳ-8-149	H26	5131	D4	第７面	3S-50 埋土中	甕	※20.4 △5.4 － －	粗	良	にぶい黄褐色
7-218	Ⅳ-8-149	H26	4921	C1	第７面	3S-50 埋土中	甕	※17.8 △5.4 － －	粗	良	にぶい褐色
7-219	Ⅳ-8-149	H26	4948 6391	B・C1	第７面	3S-50 3S-70 埋土中	甕	16.2 △10.3 － ※18.1	普通	良	灰黄褐色
7-220	Ⅳ-8-149	H26	4923 6352	B・C1	第７面	3S-50 3S-70 埋土中	壺	※18.1 △5.65 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-221	Ⅳ-8-149	H26	4922	C1	第７面	3S-50 埋土中	甕	※14.8 △6.7 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-222	Ⅳ-8-149	H26	5029	C1	第７面	3S-50 埋土中	甕	－ △3.25 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-223	Ⅳ-8-149	H26	5029	C1	第７面	3S-50 埋土中	甕	－ △2.35 4.7 －	普通	良	灰黄褐色
7-224	Ⅳ-8-149	H26	5029	C1	第７面	3S-50 埋土中	底部	5.5 △2.95 － －	普通	良	浅黄色
7-225	Ⅳ-8-149	H26	4948	C1	第７面	3S-50 埋土中	鉢	※12.0 △5.65 － －	粗	良	にぶい黄橙色
7-226	Ⅳ-8-149	H26	5156	C1	第７面	3S-50 埋土中	高坏	－ △9.3 － －	普通	良	灰黄色
7-227	Ⅳ-8-149	H26	3711 3712 4948	B・C1	第７面	3S-50 埋土中 Ⅴ－２層	高坏	※27.2 △12.0 － 20.7	普通	良	灰黄褐色
7-228	Ⅳ-8-149	H26	5625	B1	第７面	3S-50 埋土中	壺	4.2 7.1 2.3 6.4	普通	良	にぶい黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表66

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
7-229	Ⅳ-8-151	H26	5154	C1	第7面	3S-55 埋土中	壺	※14.4 △5.7 － －	普通	良	浅黄橙色
7-230	Ⅳ-8-151	H26	5032	C2	第7面	3S-55 埋土中	壺	※16.5 △7.0 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-231	Ⅳ-8-151	H26	5155	C1	第7面	3S-55 埋土中	壺	※15.9 △8.4 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-232	Ⅳ-8-151	H26	5152 6084	C・D1	第7面	3S-55 埋土中 Ⅵ層・2層	直口壺	9.6 △7.2 － －	普通	良	にぶい橙色
7-233	Ⅳ-8-151	H26	5032	C2	第7面	3S-55 埋土中	甕	－ △4.7 － －	粗	良	にぶい黄橙色
7-234	Ⅳ-8-151	H26	5132	C1	第7面	3S-55 埋土中	甕	－ △4.0 － －	普通	良	灰黄褐色
7-235	Ⅳ-8-151	H26	5238	C1	第7面	3S-69 埋土中	甕	※19.0 △3.9 － －	普通	良	灰黄色
7-236	Ⅳ-8-151	H26	5035	C2	第7面	3S-58 埋土中	甕	－ △3.75 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-237	Ⅳ-8-151	H26	5153	C1	第7面	3S-55 埋土中	甕	※24.9 △6.4 － －	普通	良	にぶい橙色
7-238	Ⅳ-8-151	H26	5032	C2	第7面	3S-55 埋土中	甕	※16.7 △5.25 － －	普通	良	灰白色
7-239	Ⅳ-8-151	H26	5137	C1	第7面	3S-69 埋土中	甕	※15.9 △4.3 － －	普通	良	灰黄褐色
7-240	Ⅳ-8-151	H26	5032	C2	第7面	3S-55 埋土中	甕	※23.2 △6.25 － －	粗	良	暗灰黄色
7-241	Ⅳ-8-151	H26	5032	C2	第7面	3S-55 埋土中	甕	※18.9 △6.4 － －	粗	良	にぶい黄橙色
7-242	Ⅳ-8-151	H26	5137	C1	第7面	3S-69 埋土中	甕	※18.4 △5.4 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-243	Ⅳ-8-151	H26	5032 5733 5995	C1・2 D1	第7面	3S-55 埋土中 Ⅵ層・2層	甕	※19.0 △8.7 － －	粗	良	灰白色
7-244	Ⅳ-8-151	H26	5135	C1	第7面	3S-69 埋土中	甕	※17.8 △6.2 － －	普通	良	灰黄色
7-245	Ⅳ-8-151	H26	5036	C2	第7面	3S-59 埋土中	甕	※14.8 △5.5 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-246	Ⅳ-8-151	H26	5238	C1	第7面	3S-69 埋土中	甕	※20.8 △6.0 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-247	Ⅳ-8-151	H26	5137	C1	第7面	3S-69 埋土中	甕	※15.8 △4.4 － －	普通	良	にぶい黄橙色

第Ⅵ－2－1表　土器観察表67

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
7-248	Ⅳ-8-151	H26	5135	C1	第７面	3S-69 埋土中	甕	※13.2 △6.2 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-249	Ⅳ-8-151	H26	5137	C1	第７面	3S-69 埋土中	甕	※18.4 △6.2 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-250	Ⅳ-8-151	H26	5038	C1	第７面	3S-69 埋土中	甕	※14.8 △5.8 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-251	Ⅳ-8-151	H26	5134	C2	第７面	3S-59 埋土中	甕	－ △4.0 － －	普通	良	灰褐色
7-252	Ⅳ-8-151	H26	5137	C1	第７面	3S-69 埋土中	甕	－ △5.9 － －	普通	良	灰白色
7-253	Ⅳ-8-151	H26	5031	C1	第７面	3S-54 埋土中	甕	－ △4.55 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-254	Ⅳ-8-151	H26	5034 5133	C1・2	第７面	3S-55 埋土中	甕	－ △5.0 － －	普通	良	橙色
7-255	Ⅳ-8-151	H26	5036	C2	第７面	3S-59 埋土中	甕	－ △4.3 － －	普通	良	にぶい橙色
7-256	Ⅳ-8-151	H26	5133	C1	第７面	3S-55 埋土中	甕	－ △4.7 － －	普通	良	灰黄色
7-257	Ⅳ-8-151	H26	5133	C1	第７面	3S-55 埋土中	甕	－ △5.45 － －	普通	良	灰黄色
7-258	Ⅳ-8-152	H26	4959	C1	第７面	－ 耕作土掘削中	壺	6.7 5.25 2.45 5.9	普通	良	灰黄色
7-259	Ⅳ-8-152	H26	4995	C1	第７面	－ 耕作土掘削中	底部	－ △5.3 6.4 －	普通	良	灰黄褐色
7-260	Ⅳ-8-152	H26	5133	C1	第７面	3S-55 埋土中	鉢	－ △5.0 ※7.2 －	普通	良	灰黄褐色
7-261	Ⅳ-8-152	H26	5037	B1	第７面	3S-69 埋土中	器台	※22.0 △4.65 － －	普通	良	灰黄褐色
7-262	Ⅳ-8-152	H26	5038	C1	第７面	3S-69 埋土中	高坏	－ △10.1 － －	普通	良	にぶい黄橙色
7-263	Ⅳ-8-152	H26	5137	C1	第７面	3S-69 埋土中	高坏	－ △7.3 － －	普通	良	灰白色
7-264	Ⅳ-8-152	H26	5036	C2	第７面	3S-59 埋土中	高坏	－ △5.25 － －	普通	良	浅黄色
7-265	Ⅳ-8-152	H26	5135	C1	第７面	3S-69 埋土中	低脚坏	－ △2.5 6.0 －	普通	良	にぶい黄橙色
7-266	Ⅳ-8-152	H26	5135	C1	第７面	3S-69 埋土中	蓋	－ △4.1 7.15 －	粗	良	灰黄色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表68

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
7-267	Ⅳ-8-152	H26	5032	C2	第7面	3S-55 埋土中	壺	– △5.6 3.5 7.8	普通	良	にぶい黄橙色
7-268	Ⅳ-8-152	H26	5132	C1	第7面	3S-55 埋土中	蓋	– △5.0 ※15.4 –	普通	良	橙色
8-001	Ⅳ-9-1	H26	5733	C・D1	第8面	– Ⅵ層	壺	※16.2 △6.9 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-002	Ⅳ-9-1	H28	141 2470 2471	D・E4	第8面	– Ⅵ層 Ⅵ層下面清掃中	壺	※17.4 △7.7 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-003	Ⅳ-9-1	H26	6298 7133	C・D1	第8面	東西アゼ2 Ⅵb層 Ⅶb層	壺	※14.1 △6.9 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-004	Ⅳ-9-1	H26	7247	D2	第8面	2ライントレンチ Ⅵ層	壺	※17.0 △8.2 – –	普通	良	灰白色
8-005	Ⅳ-9-1	H28	35 36	F5	第8面	– Ⅵ層	壺	※26.2 △15.2 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-006	Ⅳ-9-1	H28	82	E4	第8面	– Ⅵ層	直口壺	※11.0 △10.6 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-007	Ⅳ-9-1	H26	5995 6045	D1	第8面	– Ⅵ層	甕	※15.2 △4.6 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-008	Ⅳ-9-1	H26	5950	D1	第8面	– Ⅵ層	甕	※20.6 △4.6 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-009	Ⅳ-9-1	H26	5733 5995 6084 6699	C・D1	第8面	– Ⅵ層 Ⅵb層	甕	※13.8 △5.95 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-010	Ⅳ-9-1	H28	991	D8	第8面	– Ⅵ層	甕	※18.4 △4.9 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-011	Ⅳ-9-1	H28	1472	D8	第8面	– Ⅵ層	甕	※16.0 △4.7 – –	普通	良	にぶい黄褐色
8-012	Ⅳ-9-1	H28	848	D8	第8面	– Ⅵ層	甕	※17.1 △7.6 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-013	Ⅳ-9-1	H26	5951 5995	D1	第8面	– Ⅵ層	甕	※17.4 △5.0 – –	普通	良	灰黄褐色
8-014	Ⅳ-9-1	H26	8351	E2	第8面	– Ⅵ層	甕	※16.8 △8.4 – –	普通	良	灰白色
8-015	Ⅳ-9-1	H28	257	D4	第8面	– Ⅵ層	甕	※16.4 △5.0 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-016	Ⅳ-9-1	H26	6082	C1	第8面	– Ⅵb層	甕	– △6.4 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-017	Ⅳ-9-1	H28	90 103	E4	第8面	– Ⅵ層	甕	※17.7 △9.0 – –	精緻	良	灰白色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表69

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
8-018	Ⅳ-9-1	H28	80	E5	第8面	– Ⅵ層	甕	※16.9 △11.3 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-019	Ⅳ-9-1	H26	5996	D2	第8面	– Ⅵ層	甕	※16.2 △6.9 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-020	Ⅳ-9-1	H26	8354	E1	第8面	– Ⅵb層	甕	※19.4 △6.75 – –	普通	良	灰白色
8-021	Ⅳ-9-1	H26	5996	D2	第8面	– Ⅵ層	甕	※17.6 △5.1 – –	普通	良	灰黄褐色
8-022	Ⅳ-9-1	H26	2843 3016 7247	D1・2	第8面	中央側溝 2ライントレンチ Ⅵ層	甕	※15.5 △7.0 – –	普通	良	浅黄橙色
8-023	Ⅳ-9-1	H26	6082	C1	第8面	– Ⅵb層	甕	※16.1 △5.0 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-024	Ⅳ-9-1	H26	5949 5995	D1	第8面	– Ⅵ層	甕	※9.9 △9.8 – ※10.6	普通	良	灰黄褐色
8-025	Ⅳ-9-1	H26	6049	C1	第8面	– Ⅵb	甕	11.0 10.6 – 12.65	普通	良	にぶい黄橙色
8-026	Ⅳ-9-5	H28	59,142,143 144,171,298 300,301,303 304,305,311	E4	第8面	– Ⅵ層	甕	※22.2 32.3 ※4.2 ※28.55	普通	良	灰黄色
8-027	Ⅳ-9-5	H26	5995	D1	第8面	– Ⅵ層	甕	– △14.85 ※3.6 ※16.4	普通	良	にぶい褐色
8-028	Ⅳ-9-5	H28	1427	E2	第8面	– Ⅵ層	甕	※9.4 18.1 ※3.6 ※13.7	普通	良	灰白色
8-029	Ⅳ-9-5	H28	65,103	E4・5	第8面	– Ⅵ層	高坏	※20.3 △5.9 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-030	Ⅳ-9-5	H28	208	D2	第8面	– Ⅵ層	高坏	※14.2 △4.4 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-031	Ⅳ-9-5	H28	254	D4	第8面	– Ⅵ層	高坏	※26.4 △5.9 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-032	Ⅳ-9-5	H28	190,193,201 232,238	D4	第8面	– Ⅵ層	高坏	– △10.2 16.6 –	普通	良	にぶい黄橙色
8-033	Ⅳ-9-5	H28	61	E4	第8面	– Ⅵ層	低脚坏	※11.6 5.3 ※5.4 –	普通	良	にぶい黄橙色
8-034	Ⅳ-9-5	H28	29	F5	第8面	– Ⅵ層	低脚坏	– △5.6 ※7.6 –	普通	良	灰黄色
8-035	Ⅳ-9-5	H26	8350	E2	第8面	– Ⅵ層	高坏	– △10.2 16.45 –	普通	良	灰白色
8-036	Ⅳ-9-5	H28	100	D4	第8面	– Ⅵ層	低脚坏	※11.7 △3.5 – –	普通	良	灰白色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表70

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
8-037	Ⅳ-9-5	H26	2843 2999 7300	C・D2	第8面	中央側溝 2ライントレンチ Ⅵ層	高坏	– △10.95 – ※16.6	普通	良	灰白色
8-038	Ⅳ-9-5	H26	6154 6162	E1	第8面	– Ⅵ層	器台	※21.5 △11.25 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-039	Ⅳ-9-5	H26	6211	E2	第8面	– Ⅵ層	器台	– △9.4 – –	普通	良	灰白色
8-040	Ⅳ-9-5	H26	6164	E1	第8面	– Ⅵ層	器台	– △7.3 – –	普通	良	灰白色
8-041	Ⅳ-9-5	H26	5993 6042	C・D1	第8面	– Ⅵ層 Ⅵb層	器台	– △10.8 ※21.2 –	普通	良	浅黄橙色
8-042	Ⅳ-9-5	H28	29 74	F5	第8面	– Ⅵ層	甑型土器	– △11.1 ※27.4 –	普通	良	灰黄色
8-043	Ⅳ-9-6	H26	7247	D2	第8面	2ライントレンチ Ⅵ層	蓋	6.65 3.3 – – つまみ3.15	普通	良	にぶい黄橙色
8-044	Ⅳ-9-6	H28	1895	D8	第8面	– Ⅵ層	蓋	10.1 5.5 – – つまみ3.6	普通	良	黄灰色
8-045	Ⅳ-9-6	H28	1222	D8	第8面	– Ⅵ層	蓋	※12.4 6.1 – – つまみ6.4	普通	良	にぶい黄橙色
8-046	Ⅳ-9-6	H28	62	F5	第8面	– Ⅵ層	蓋	※13.0 6.6 – –	普通	良	灰黄色
8-047	Ⅳ-9-6	H26	5995	D1	第8面	– Ⅵ層	蓋	– △3.65 – – つまみ※5.7	普通	良	灰黄色
8-048	Ⅳ-9-6	H28	88	E4	第8面	– Ⅵ層	蓋	※13.6 5.9 – – つまみ※5.4	普通	良	にぶい黄橙色
8-049	Ⅳ-9-6	H26	5877 7315	D1・2	第8面	2ライントレンチ Ⅵ層	蓋	※16.4 6.45 – – つまみ5.6	普通	良	灰黄褐色
8-050	Ⅳ-9-13	H26	6078	C1	第8面	3S-70 埋土中	壺	※16.0 △5.6 – –	普通	良	にぶい橙色
8-051	Ⅳ-9-13	H26	6981	C1	第8面	3S-70 埋土中	甕	※16.6 △2.9 – –	普通	良	灰白色
8-052	Ⅳ-9-13	H26	5880	C1	第8面	3S-70 埋土中	甕	※15.4 △3.9 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-053	Ⅳ-9-13	H26	6737	C1	第8面	3S-70 埋土中	甕	– △5.0 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-054	Ⅳ-9-13	H26	6390	B1	第8面	3S-70 埋土中	甕	※16.2 △4.15 – –	普通	良	にぶい橙色
8-055	Ⅳ-9-13	H26	6078	C1	第8面	3S-70 埋土中	底部	– △6.2 ※6.0 –	普通	良	にぶい黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表71

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
8-056	Ⅳ-9-13	H26	5992	C1	第8面	3S-70 埋土中	鉢	– △4.0 – –	粗	良	褐灰色
8-057	Ⅳ-9-20	H26	7311	C1	第8面	3S-103 埋土中 –	甕	– △3.35 – –	普通	良	灰黄色
8-058	Ⅳ-9-22	H28	375 377 470	E8	第8面	2S-886 –	甕	※18.9 △10.4 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-059	Ⅳ-9-22	H28	596 597	D8	第8面	2S-886 –	甕	※20.2 △16.3 – ※25.2	普通	良	灰白色
8-060	Ⅳ-9-22	H28	375,377,470,594 595,596,597	D・E8	第8面	2S-886 –	甕	16.6 △22.8 – 20.0	普通	良	灰白色
8-061	Ⅳ-9-22	H28	375	E8	第8面	2S-886 –	甕	※15.4 △7.0 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-062	Ⅳ-9-22	H28	375	E8	第8面	2S-886 –	蓋	– △3.3 – – つまみ※4.6	普通	良	にぶい橙色
8-063	Ⅳ-9-22	H28	375	E8	第8面	2S-886 –	高坏	※25.4 △4.1 – –	普通	良	灰白色
8-064	Ⅳ-9-22	H28	377	E8	第8面	2S-886 –	高坏	– △12.6 14.0 –	普通	良	灰白色
8-065	Ⅳ-9-23	H28	524	E5	第8面	2S-905 –	甕	※19.4 △5.0 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-066	Ⅳ-9-23	H28	524 1033 2171	E5	第8面	2S-905 –	甕	※15.6 △15.8 – ※21.1	普通	良	灰白色
8-067	Ⅳ-9-24	H28	1031	E4	第8面	2S-913 –	甕	※18.2 △5.0 – –	普通	良	にぶい橙色
8-068	Ⅳ-9-24	H28	425	D4	第8面	2S-913 –	甕	※15.6 △8.9 – –	普通	良	灰黄褐色
8-069	Ⅳ-9-24	H28	1344	D4	第8面	2S-915 –	甕	※19.1 △6.2 – –	普通	良	灰白色
8-070	Ⅳ-9-25	H26	6695	D1	第8面	3S-76 埋土中	甕	※18.9 △7.0 – –	普通	良	灰黄色
8-071	Ⅳ-9-25	H26	6894	D1	第8面	3S-76 1層	甕	※17.2 △4.0 – –	普通	良	灰黄褐色
8-072	Ⅳ-9-25	H26	6891	D1	第8面	3S-76 1層	器台	※22.0 △4.0 – –	普通	良	灰黄褐色
8-073	Ⅳ-9-25	H26	6768	D1	第8面	3S-76 埋土中	蓋	– △3.9 ※13.2 –	普通	良	にぶい黄橙色
8-074	Ⅳ-9-30	H28	670	D8	第8面	2S-860 –	甕	※15.2 △5.5 – –	普通	良	にぶい橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表72

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
8-075	Ⅳ-9-30	H28	670	D8	第8面	2S-860 –	甕	– △5.4 – –	普通	良	灰白色
8-076	Ⅳ-9-30	H28	776	E8	第8面	2S-876 –	甕	※16.2 △3.8 – –	普通	良	にぶい橙色
8-077	Ⅳ-9-35	H28	3006	D4	第8面	2S-1141 –	壺	※18.6 △8.9 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-078	Ⅳ-9-35	H28	3006	D4	第8面	2S-1141 –	壺	※16.6 △7.8 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-079	Ⅳ-9-35	H28	3740	D4	第8面	2S-1141 –	甕	※18.0 △6.7 – –	普通	良	灰白色
8-080	Ⅳ-9-35	H28	3740	D4	第8面	2S-1141 –	甕	※14.0 △5.9 – –	精緻	良	淡黄色
8-081	Ⅳ-9-35	H28	3293 3740	D4	第8面	2S-1141 –	高坏	– △7.1 ※15.4 –	精緻	良	灰白色
8-082	Ⅳ-9-35	H28	3006	D4	第8面	2S-1141 –	壺	※6.0 4.3 4.0 –	普通	良	浅黄色
8-083	Ⅳ-9-43	H27	9039 9571	G6	第8面	2S-841 埋土中	壺	※16.7 △18.9 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-084	Ⅳ-9-43	H27	8995	F6	第8面	2S-841 埋土中	壺	※13.8 △5.9 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-085	Ⅳ-9-43	H27	8995	F6	第8面	2S-841 埋土中	壺	※16.3 △6.0 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-086	Ⅳ-9-43	H27	9481	F5	第8面	2S-841 –	壺	9.4 10.4 2.1 12.9	普通	良	にぶい黄橙色
8-087	Ⅳ-9-43	H27	8995	F6	第8面	2S-841 埋土中	甕	※19.4 △24.4 – 21.0	普通	良	にぶい黄橙色
8-088	Ⅳ-9-43	H27	8952	G6	第8面	2S-841 埋土中	甕	※23.8 △11.7 – –	普通	不良	浅黄橙色
8-089	Ⅳ-9-43	H27	8995 9076	F5・6	第8面	2S-841 埋土中	甕	※18.2 △16.2 – ※20.7	粗	良	にぶい黄橙色
8-090	Ⅳ-9-43	H27	8995 9075 9077	F5・6	第8面	2S-841 埋土中	甕	19.6 21.4 8.0 22.9	普通	良	にぶい黄褐色
8-091	Ⅳ-9-43	H27	8995	F6	第8面	2S-841 埋土中	甕	※17.3 △15.1 – ※19.5	普通	良	にぶい黄褐色
8-092	Ⅳ-9-43	H27	8946 8952 8992 8995	F・G6	第8面	2S-841 埋土中	甕	19.0 21.3 3.3 17.8	普通	良	にぶい黄褐色
8-093	Ⅳ-9-43	H27	8995	F6	第8面	2S-841 埋土中	甕	※18.5 △10.0 – –	普通	良	にぶい黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表73

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
8-094	Ⅳ-9-44	H27	9039	G6	第８面	2S-841 埋土中	甕	※15.6 △8.3 － －	普通	良	にぶい黄橙色
8-095	Ⅳ-9-44	H27	8995	F6	第８面	2S-841 埋土中	甕	※17.0 △5.9 － －	普通	良	にぶい黄橙色
8-096	Ⅳ-9-44	H27	8995	F6	第８面	2S-841 埋土中	甕	※17.2 △5.5 － －	精緻	良	にぶい黄橙色
8-097	Ⅳ-9-44	H27	8952	G6	第８面	2S-841 埋土中	甕	※12.8 △9.0 － －	普通	良	にぶい黄橙色
8-098	Ⅳ-9-44	H27	9466	F6	第８面	2S-841 埋土中	甕	※15.8 △5.8 － －	普通	良	にぶい黄橙色
8-099	Ⅳ-9-44	H27	8995	F6	第８面	2S-841 埋土中	甕	※14.6 △3.6 － －	粗	良	にぶい黄橙色
8-100	Ⅳ-9-44	H27	9039	G6	第８面	2S-841 埋土中	甕	※9.2 △7.9 － 11.0	普通	良	にぶい黄褐色
8-101	Ⅳ-9-44	H27	8952	G6	第８面	2S-841 埋土中	甕	－ △5.0 － －	普通	良	にぶい黄橙色
8-102	Ⅳ-9-44	H27	8952	G6	第８面	2S-841 埋土中	甕	－ △5.5 － －	普通	良	にぶい黄橙色
8-103	Ⅳ-9-44	H27	9076	F5	第８面	2S-841 埋土中	台付鉢	※15.8 △9.5 － －	普通	良	にぶい黄橙色
8-104	Ⅳ-9-44	H27	9076	F5	第８面	2S-841 埋土中	器台	※24.4 △18.5 － －	普通	良	にぶい黄橙色
8-105	Ⅳ-9-44	H27	8945	F6	第８面	2S-841 埋土中	蓋	－ 3.0 口径5.2 －	精緻	良	にぶい黄橙色
8-106	Ⅳ-9-44	H27	9076	F5	第８面	2S-841 埋土中	蓋	12.2 7.8 － － つまみ5.4	普通	良	にぶい黄橙色
8-107	Ⅳ-9-44	H27	8995 9039 9111	F・G6	第８面	2S-841 埋土中	高坏	※27.8 △8.8 － －	普通	良	にぶい黄橙色
8-108	Ⅳ-9-44	H27	8952	G6	第８面	2S-841 埋土中	高坏	－ △7.1 ※14.2 －	粗	良	明黄褐色
8-109	Ⅳ-9-44	H27	8952	G6	第８面	2S-841 埋土中	高坏	※15.4 △11.7 － －	粗	良	暗赤褐色
8-110	Ⅳ-9-44	H27	8952	G6	第８面	2S-841 埋土中	器台	※24.8 △7.0 － －	普通	良	にぶい黄橙色
8-111	Ⅳ-9-44	H27	8995	F6	第８面	2S-841 埋土中	蓋	－ △9.1 12.4 －	普通	良	にぶい黄橙色
8-112	Ⅳ-9-44	H27	8995	F6	第８面	2S-841 埋土中	器台	－ △11.4 ※15.9 －	普通	良	明赤褐色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表74

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
8-113	Ⅳ-9-44	H27	8995	F6	第8面	2S-841 埋土中	脚台	– △5.3 11.6 –	普通	良	にぶい橙色
8-114	Ⅳ-9-44	H27	8995 9076	F5・6	第8面	2S-841 埋土中	底部	– △3.3 13.3 –	普通	良	にぶい黄橙色
8-115	Ⅳ-9-52	H28	1107	F5	第8面	2S-904 –	甕	※12.0 △11.0 – ※12.4	普通	良	灰白色
8-116	Ⅳ-9-52	H28	1091	E5	第8面	2S-904 –	甕	※17.6 △8.3 – –	精緻	良	灰白色
8-117	Ⅳ-9-52	H28	417	F5	第8面	2S-904 –	壺	※12.2 △6.4 – –	普通	良	にぶい黄色
8-118	Ⅳ-9-52	H28	1109	F5	第8面	2S-904 –	蓋	– △5.6 ※12.0 –	普通	良	黄灰色
8-119	Ⅳ-9-52	H28	424	E4	第8面	2S-912 –	甕	18.0 △5.2 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-120	Ⅳ-9-52	H28	423	D4	第8面	2S-912 –	蓋	– △5.7 – – つまみ※5.0	粗	良	にぶい黄橙色
8-121	Ⅳ-9-56	H27	9712	D4	第8面	2S-830 –	甕	– △4.8 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-122	Ⅳ-9-58	H28	2376 2388	D4	第8面	2S-916 –	甕	※17.8 △5.9 – –	普通	良	灰黄褐色
8-123	Ⅳ-9-62	H28	504 980 5089	D・E3	第8面	2S-901 –	甕	※19.4 △10.8 – ※22.8	普通	良	にぶい褐色
8-124	Ⅳ-9-62	H28	504 857 980 1994	D3	第8面	2S-901 –	甕	※19.2 △11.8 – –	普通	良	灰白色
8-125	Ⅳ-9-62	H28	872	E3	第8面	2S-901 –	器台	※22.9 △7.8 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-126	Ⅳ-9-68	H28	1673 1733	E4	第8面	2S-927 杭1,2,3ﾄﾚﾝﾁ内	甕	※17.4 △15.2 – –	普通	良	灰黄色
8-127	Ⅳ-9-68	H28	570	E4	第8面	2S-927 –	甕	※17.7 △9.1 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-128	Ⅳ-9-68	H28	957	E4	第8面	2S-927 –	甕	※16.8 △6.5 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-129	Ⅳ-9-68	H28	1136	E4	第8面	2S-927	甕	※14.2 △9.9 – ※16.6	普通	良	にぶい黄橙色
8-130	Ⅳ-9-68	H28	930	E4	第8面	2S-927 –	高坏	※9.0 △6.7 – –	普通	良	灰黄褐色
8-131	Ⅳ-9-68	H28	1104	E4	第8面	2S-927 –	高坏	– △6.2 14.8 –	精緻	良	灰白色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表75

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構 層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色　調
8-132	Ⅳ-9-68	H28	932 933 938	E4	第８面	2S-927 –	高坏	※19.4 △11.4 – 25.4	普通	良	にぶい黄橙色
8-133	Ⅳ-9-68	H28	569	E4	第８面	2S-927 –	高坏	– △7.8 13.5 –	普通	良	灰白色
8-134	Ⅳ-9-68	H28	508 952 1103	E4	第８面	2S-927 –	器台	※24.6 △12.3 – –	普通	良	灰白色
8-135	Ⅳ-9-68	H28	1255	E4	第８面	2S-928 –	甕	※13.8 △4.5 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-136	Ⅳ-9-68	H28	1068	E4	第８面	2S-928 –	甕	※15.5 △6.7 – –	普通	良	にぶい黄色
8-137	Ⅳ-9-68	H28	517 757 911	E4	第８面	2S-928 2S-928周辺清掃中 –	甕	※18.9 △20.9 – –	精緻	良	にぶい黄橙色
8-138	Ⅳ-9-68	H28	1794	E4	第８面	2S-928 –	甕	※14.1 △8.2 – –	普通	良	灰白色
8-139	Ⅳ-9-68	H28	908 924 971	E4	第８面	2S-928 –	高坏	– △6.8 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-140	Ⅳ-9-76	H28	4034	E4	第８面	2S-1246 –	甕	※18.2 △6.7 – –	普通	良	灰白色
8-141	Ⅳ-9-77	H28	521	E4	第８面	2S-923 –	甕	※17.2 △4.7 – –	普通	良	灰黄褐色
8-142	Ⅳ-9-77	H28	1346	E4	第８面	2S-923 –	甕	– △5.9 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-143	Ⅳ-9-80	H28	989	D8	第８面	2S-1009 –	甕	※20.4 △7.1 – –	普通	良	にぶい橙色
8-144	Ⅳ-9-81	H28	339	E8	第８面	2S-868 –	甕	– △6.6 – –	精緻	良	灰白色
8-145	Ⅳ-9-83	H28	366 407	E2	第８面	2S-902 –	壺	※13.8 △9.5 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-146	Ⅳ-9-83	H28	362	D2	第８面	2S-902 –	甕	※16.1 △9.0 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-147	Ⅳ-9-83	H28	362	D2	第８面	2S-902 –	甕	※15.8 △5.2 – –	普通	良	にぶい黄橙色
8-148	Ⅳ-9-83	H28	689	E2	第８面	2S-902 –	壺	※6.0 △4.3 – –	普通	良	灰白色
8-149	Ⅳ-9-83	H28	362	D2	第８面	2S-902 –	蓋	※11.2 5.9 – – つまみ5.8	粗	良	にぶい黄橙色
8-150	Ⅳ-9-83	H28	401	D2	第８面	2S-902 –	台付鉢	※12.4 7.3 ※7.2 –	普通	良	浅黄色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表76

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
8-151	Ⅳ-9-83	H28	450	D2	第8面	2S-902 –	高坏	– △3.75 10.4 –	普通	良	にぶい橙色
8-152	Ⅳ-9-83	H28	409	E2	第8面	2S-902 –	低脚坏	– 3.6 8.6 –	普通	良	灰黄色
8-153	Ⅳ-9-83	H28	455 456	D2	第8面	2S-902 –	高坏	※19.4 △15.65 ※14.8 –	普通	良	浅黄色
8-154	Ⅳ-9-84	H28	428	E4	第8面	2S-920 –	甕	※20.4 △8.5 – –	普通	良	にぶい黄橙色
9-001	Ⅳ-10-1	H28	5291	B3	第9面	– Ⅶ層	壺	※13.9 △7.2 – –	粗	良	にぶい黄橙色
9-002	Ⅳ-10-1	H26	8078	D1	第9面	– Ⅶ層	直口壺	※19.0 △6.5 – –	普通	良	にぶい黄橙色
9-003	Ⅳ-10-1	H26	6296	D1	第9面	– Ⅶb層	壺	※8.8 △8.1 – –	普通	良	にぶい黄橙色
9-004	Ⅳ-10-1	H26	7330 7464	D1	第9面	– Ⅶ層	甕	※13.0 △15.1 – ※14.7	粗	良	灰黄褐色
9-005	Ⅳ-10-1	H26	8405	E1	第9面	– Ⅶ層	甕	※16.8 △6.2 – –	普通	良	にぶい黄橙色
9-006	Ⅳ-10-1	H26	7249	D2	第9面	– Ⅶ層	甕	※14.6 △6.9 – ※15.4	普通	良	にぶい黄橙色
9-007	Ⅳ-10-1	H26	7048	C1	第9面	– Ⅶ層	甕	※14.2 △4.95 – –	普通	良	にぶい橙色
9-008	Ⅳ-10-1	H26	6334	D1	第9面	– Ⅶb層	甕	– △4.3 – –	普通	良	にぶい黄橙色
9-009	Ⅳ-10-1	H28	4599	D8	第9面	– Ⅶ層	甕	※14.8 △6.2 – –	普通	良	にぶい黄橙色
9-010	Ⅳ-10-1	H28	1159	C3	第9面	– Ⅶ層	甕	※14.4 △6.1 – –	普通	良	浅黄橙色
9-011	Ⅳ-10-1	H28	1698	B3	第9面	– Ⅶ層	甕	– △5.0 – –	普通	良	にぶい黄橙色
9-012	Ⅳ-10-1	H28	1177	D8	第9面	– Ⅶ層	甕	※19.9 △7.3 – –	普通	良	浅黄橙色
9-013	Ⅳ-10-1	H28	1015	B3	第9面	– Ⅶ層	甕	※17.7 △5.6 – –	普通	良	にぶい黄橙色
9-014	Ⅳ-10-1	H28	963	E4	第9面	– Ⅶ層	甕	– △5.3 – –	普通	良	にぶい黄橙色
9-015	Ⅳ-10-1	H28	4598	D8	第9面	– Ⅶ層	甕	※19.8 △4.9 – –	普通	良	灰黄褐色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表77

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構 層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色　調
9-016	Ⅳ-10-1	H28	1159	C3	第９面	－ Ⅶ層	甕	※18.2 △5.0 － －	普通	良	にぶい黄橙色
9-017	Ⅳ-10-1	H28	964	E4	第９面	－ Ⅶ層	甕	※14.0 △7.3 － －	普通	良	にぶい黄橙色
9-018	Ⅳ-10-1	H26	7302	D1	第９面	－ Ⅶ層	甕	※16.4 △4.35 － －	普通	良	灰黄色
9-019	Ⅳ-10-1	H28	802 1019	C3	第９面	－ Ⅶ層上面検出中 Ⅶ層	底部	－ △10.7 3.1 ※15.4	普通	良	にぶい橙色
9-020	Ⅳ-10-1	H26	6763	D2	第９面	－ Ⅶ層	鉢	※7.1 △9.0 － －	普通	良	にぶい黄橙色
9-021	Ⅳ-10-1	H28	2266	E4	第９面	－ Ⅶ層	底部	－ △6.9 ※3.4 －	普通	良	にぶい黄橙色
9-022	Ⅳ-10-1	H28	994	C3	第９面	－ Ⅶ層	高坏	※20.0 △6.3 － －	普通	良	にぶい黄橙色
9-023	Ⅳ-10-1	H28	1086	E4	第９面	－ Ⅶ層	高坏	※9.8 △6.3 － 15.8	普通	良	にぶい黄橙色
9-024	Ⅳ-10-1	H28	1356	D2	第９面	－ Ⅶ層	高坏	－ △6.7 － －	精緻	良	にぶい黄橙色
9-025	Ⅳ-10-3	H28	1187	D2	第９面	－ Ⅶ層	結合土器	－ △11.8 － －	精緻	良	にぶい黄橙色
9-026	Ⅳ-10-3	H28	2240	E4	第９面	－ Ⅶ層	蓋	※13.6 6.8 － － つまみ4.0	普通	良	にぶい橙色
9-027	Ⅳ-10-3	H28	1234	E2	第９面	－ Ⅶ層	蓋	－ △4.8 － － つまみ3.4	普通	良	にぶい黄橙色
9-028	Ⅳ-10-3	H26	6289	D1	第９面	－ Ⅶｂ層	低脚坏	※11.8 △4.85 － －	普通	良	にぶい黄橙色
9-029	Ⅳ-10-3	H26	7195	D2	第９面	－ Ⅶ層	器台	－ △8.4 ※15.6 －	普通	良	灰白色
9-030	Ⅳ-10-3	H28	2308	E4	第９面	－ Ⅶ層	器台	※27.4 △8.2 － －	精緻	良	灰白色
9-031	Ⅳ-10-3	H28	1232	D2	第９面	－ Ⅶ層	器台	－ △5.8 ※18.8 －	普通	良	にぶい黄橙色
9-032	Ⅳ-10-3	H27	8110	F6	第９面	－ Ⅶ層	甑型土器	※12.8 △10.1 － －	普通	良	にぶい黄橙色
9-033	Ⅳ-10-3	H27	8110	F6	第９面	－ Ⅶ層	甑	※18.4 15.4 ※3.4 －	普通	良	にぶい黄橙色
9-034	Ⅳ-10-11	H28	2638	C3	第９面	2S－1031 －	甕	－ △5.2 － －	普通	不良	灰白色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表78

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
9-035	Ⅳ-10-11	H28	3085	D3	第9面	2S-1197 –	甕	※19.0 △5.3 – –	普通	良	にぶい黄橙色
9-036	Ⅳ-10-14	H28	2054	C3	第9面	2S-960 清掃中	甕	※18.7 △6.2 – –	普通	良	にぶい黄橙色
9-037	Ⅳ-10-15	H28	2553	C3	第9面	2S-1152 –	甕	※15.9 △5.5 – –	粗	良	にぶい黄橙色
9-038	Ⅳ-10-15	H28	2668	D3	第9面	2S-1170 –	甕	– △5.0 – –	普通	良	にぶい黄橙色
9-039	Ⅳ-10-17	H28	2098	C4	第9面	2S-1154 –	底部	– △5.1 ※3.4 –	粗	良	にぶい黄橙色
9-040	Ⅳ-10-17	H28	3117	D3	第9面	2S-1209 –	器台	– △5.6 – –	普通	良	褐灰色
9-041	Ⅳ-10-30	H28	3112	C3	第9面	2S-959 –	甕	※19.9 △8.6 – –	普通	良	にぶい黄橙色
9-042	Ⅳ-10-30	H28	1541	C3	第9面	2S-959 –	甕	※16.7 △6.5 – –	普通	良	にぶい黄橙色
9-043	Ⅳ-10-30	H28	1541	C3	第9面	2S-959 –	甕	– △4.9 – –	普通	良	灰黄褐色
9-044	Ⅳ-10-30	H28	3102 3103	C3	第9面	2S-959 –	底部	– △13.6 ※3.6 –	普通	良	灰黄褐色
9-045	Ⅳ-10-30	H28	3112	C3	第9面	2S-959 –	高坏脚部	– △4.1 – –	精緻	良	にぶい黄橙色
9-046	Ⅳ-10-30	H28	1594	C3	第9面	2S-959 –	器台	– △4.8 ※17.2 –	普通	良	灰黄褐色
9-047	Ⅳ-10-30	H28	3111	C3	第9面	2S-959 –	蓋	※13.4 6.3 – – つまみ3.3	普通	良	にぶい黄橙色
9-048	Ⅳ-10-31	H26	7423	C1	第9面	3S-105 埋土中	壺	※14.7 △3.9 – –	普通	良	にぶい黄橙色
9-049	Ⅳ-10-31	H26	7423	C1	第9面	3S-105 埋土中	甕	※17.2 △4.5 – –	普通	良	にぶい赤褐色
9-050	Ⅳ-10-31	H26	7312	C1	第9面	3S-105 埋土中	甕	– △3.35 – –	普通	良	にぶい橙色
9-051	Ⅳ-10-32	H27	2558	D5	第9面	2S-676 埋土中	甕	– △5.8 – –	普通	良	灰黄褐色
9-052	Ⅳ-10-37	H28	5133	E5	第9面	2S-1080 –	甕	– △3.6 – –	普通	良	灰白色
9-053	Ⅳ-10-42	H28	1094	E8	第9面	2S-1017 –	甕	※21.1 △8.8 – –	粗	良	にぶい黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表79

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
9-054	Ⅳ-10-42	H28	1119	E８	第９面	2S－1017 －	甕	※16.2 △7.0 － －	普通	良	灰黄色
9-055	Ⅳ-10-42	H28	1113	E８	第９面	2S－1017 －	甕	※17.6 △6.4 － －	普通	良	にぶい黄褐色
9-056	Ⅳ-10-42	H28	1094	E８	第９面	2S－1017 －	脚部	－ △5.2 ※15.2 －	普通	良	灰黄色
9-057	Ⅳ-10-42	H28	1094	E８	第９面	2S－1017 －	底部	－ △3.7 9.0 －	普通	良	にぶい黄橙色
9-058	Ⅳ-10-42	H28	1093	E８	第９面	2S－1018 －	甕	－ △4.7 － －	普通	良	にぶい黄橙色
9-059	Ⅳ-10-42	H28	1221 1093	E８	第９面	2S－1018 －	高坏	－ △12.4 ※15.6 －	精緻	良	にぶい黄橙色
9-060	Ⅳ-10-42	H28	1181	E８	第９面	2S－1019 －	器台	－ △7.9 － －	普通	良	灰黄色
9-061	Ⅳ-10-42	H28	1468	E８	第９面	2S－1020 －	甕	※20.0 △5.1 － －	普通	良	にぶい黄橙色
9-062	Ⅳ-10-42	H28	1468	E８	第９面	2S－1020 －	坏	※11.0 △4.4 － －	精緻	良	にぶい黄橙色
9-063	Ⅳ-10-43	H27	9545	E６	第９面	2S－851 底面直上	甕	17.2 △26.7 3.3 22.3	粗	不良	にぶい黄橙色
9-064	Ⅳ-10-44	H28	2193	D８	第９面	2S－1068 －	甕	※14.0 △3.8 － －	粗	不良	灰白色
9-065	Ⅳ-10-44	H28	2885	D８	第９面	2S－1070 －	壺	※10.6 △4.9 － ※10.0	精緻	良	にぶい黄橙色
9-066	Ⅳ-10-44	H28	380,381,400 494,771	D８	第９面	2S－890 －	甕	19.5 30.9 3.7 23.45	普通	良	灰白色
9-067	Ⅳ-10-46	H28	600	D８	第９面	2S－898 －	甕	※17.0 △5.5 － －	普通	良	にぶい黄橙色
9-068	Ⅳ-10-48	H28	1549	D８	第９面	2S－1026 －	甕	※20.6 △6.1 － －	精緻	良	にぶい黄橙色
9-069	Ⅳ-10-48	H28	1548	D８	第９面	2S－1026 －	甕	※19.2 △5.6 － －	普通	良	灰白色
9-070	Ⅳ-10-48	H28	1179 1550	D８	第９面	2S－1026 －	甕	※17.2 △9.6 － －	普通	良	にぶい黄橙色
9-071	Ⅳ-10-48	H28	1178	D８	第９面	2S－1026 －	甕	※15.0 △14.3 － ※16.5	普通	良	にぶい黄橙色
9-072	Ⅳ-10-50	H28	4588	D８	第９面	2S－1028 －	器台	－ △6.0 － －	普通	良	にぶい黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表80

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
9-073	Ⅳ-10-55	H28	5042	D4	第9面	2S-856 –	直口壺	– △4.8 – –	普通	良	にぶい黄橙色
9-074	Ⅳ-10-55	H28	5044	C4	第9面	2S-856溝内 –	甕	– △2.6 – –	精緻	良	にぶい黄橙色
9-075	Ⅳ-10-58	H28	2955	E4	第9面	2S-1143 –	甕	※17.9 △13.1 – ※22.8	普通	良	灰黄褐色
9-076	Ⅳ-10-58	H28	2612	E4	第9面	2S-1143 –	甕	※20.8 △4.7 – –	普通	良	にぶい黄橙色
9-077	Ⅳ-10-58	H28	2612	E4	第9面	2S-1143 –	甕	※15.9 △6.2 – –	普通	良	にぶい黄橙色
9-078	Ⅳ-10-58	H28	3009	E4	第9面	2S-1143 –	甕	– △4.9 – –	普通	良	にぶい黄橙色
9-079	Ⅳ-10-63	H28	1240	B3	第9面	2S-1023	甕	※14.2 △4.9 – –	普通	良	にぶい橙色
9-080	Ⅳ-10-63	H28	1235	C3	第9面	2S-1023	甕	※18.6 △5.4 – –	普通	良	灰黄色
9-081	Ⅳ-10-63	H28	1687	C3	第9面	2S-1023	甕	※17.8 △3.5 – –	普通	良	にぶい黄橙色
9-082	Ⅳ-10-63	H28	1687	C3	第9面	2S-1023	甕	※27.1 △8.4 – –	普通	良	にぶい黄橙色
9-083	Ⅳ-10-63	H28	2623	C4	第9面	2S-951 –	甕	– △3.0 – –	普通	良	にぶい黄褐色
9-084	Ⅳ-10-63	H28	3815	C4	第9面	2S-951 –	甕	– △5.1 – –	普通	良	にぶい黄褐色
9-085	Ⅳ-10-63	H28	2623	C4	第9面	2S-951 –	底部	– △4.6 ※4.1 –	普通	良	灰黄色
9-086	Ⅳ-10-64	H28	1425	E2	第9面	2S-978 –	壺	13.3 △5.1 – –	普通	良	にぶい黄褐色
9-087	Ⅳ-10-64	H28	1518	E2	第9面	2S-978 –	甕	※14.9 △8.4 – –	普通	良	にぶい赤褐色
9-088	Ⅳ-10-64	H28	1428	E2	第9面	2S-978 –	甕	※15.7 △7.8 – –	普通	良	明赤褐色
9-089	Ⅳ-10-64	H26	4735	D1	第9面	2S-978 (3S-49) 埋土中	甕	※13.0 △4.6 – –	普通	良	にぶい橙色
9-090	Ⅳ-10-64	H26	4736	E1	第9面	2S-978 (3S-49) 埋土中	甕	※15.8 △6.7 – –	普通	良	にぶい橙色
9-091	Ⅳ-10-64	H26	4735	D1	第9面	2S-978 (3S-49) 埋土中	甕	– △3.6 – –	普通	良	灰黄褐色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表81

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
9-092	Ⅳ-10-64	H26	4736	E１	第９面	2S－978 (3S－49) 埋土中	甕	※18.8 △5.8 － －	普通	良	灰白色
9-093	Ⅳ-10-64	H26	4735	D１	第９面	2S－978 (3S－49) 埋土中	高坏	－ △8.5 － －	普通	良	にぶい黄橙色
9-094	Ⅳ-10-66	H28	2280	E４	第９面	2S－1120 －	甕	※19.3 △6.2 － －	普通	良	にぶい黄褐色
9-095	Ⅳ-10-66	H28	2284	E４	第９面	2S－1120 清掃中	甕	－ △4.5 － －	普通	良	にぶい黄橙色
9-096	Ⅳ-10-66	H28	2756	E４	第９面	2S－1120 埋土中	甕	※20.0 △7.8 － －	普通	良	にぶい黄橙色
9-097	Ⅳ-10-66	H28	2757	E４	第９面	2S－1120 埋土中	甕	※16.2 △5.5 － －	普通	良	にぶい黄橙色
9-098	Ⅳ-10-66	H28	2757	E４	第９面	2S－1120 埋土中	高坏	－ △6.0 － －	普通	良	にぶい黄橙色
9-099	Ⅳ-10-66	H28	2276	E４	第９面	2S－1120 －	蓋	つまみ5.0 6.7 口径※13.4 －	普通	良	にぶい黄橙色
9-100	Ⅳ-10-67	H26	7461 7509 7576	D０・１	第９面	3S－115 埋土中	甕	※16.6 △17.5 － ※19.9	普通	良	灰褐色
9-101	Ⅳ-10-67	H26	7330 7580	D０・１	第９面	3S－115 埋土中 Ⅶ層	甕	※17.3 △15.0 － ※18.5	普通	良	黒褐色
9-102	Ⅳ-10-67	H26	7460	D１	第９面	3S－115 埋土中	甕	15.25 △8.75 － －	普通	良	にぶい褐色
9-103	Ⅳ-10-67	H26	7578	D０	第９面	3S－115 埋土中	甕	※17.0 △5.25 － －	普通	良	灰白色
9-104	Ⅳ-10-68	H26	7581 7582 7583	D１	第９面	3S－115 埋土中	甕	※14.6 △7.4 － ※18.3	普通	良	にぶい黄橙色
9-105	Ⅳ-10-68	H26	7922	D１	第９面	3S－115 埋土中	甕	※21.6 △5.8 － －	普通	良	にぶい黄橙色
9-106	Ⅳ-10-68	H26	7954	D１	第９面	3S－115 埋土中	甕	※17.8 △3.75 － －	普通	良	にぶい黄褐色
9-107	Ⅳ-10-68	H26	7935	D１	第９面	3S－115 埋土中	甕	－ △5.2 － －	普通	良	にぶい黄橙色
9-108	Ⅳ-10-68	H26	7461,7464,7509 7577,7579	D０・１	第９面	3S－115 埋土中 Ⅶ層	甕	－ △18.9 － ※18.8	普通	良	黒褐色
9-109	Ⅳ-10-68	H26	7460	D１	第９面	3S－115 埋土中	底部	－ △3.8 6.3 －	普通	良	にぶい黄橙色
9-110	Ⅳ-10-68	H26	7460	D１	第９面	3S－115 埋土中	底部	－ △2.55 5.9 －	普通	良	暗灰黄色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表82

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
9-111	Ⅳ-10-68	H26	7920	D1	第9面	3S-115 埋土中	底部	– △1.7 3.7 –	普通	良	灰褐色
9-112	Ⅳ-10-68	H26	7573	D1	第9面	3S-115 埋土中	高坏	– △10.8 – –	普通	良	灰黄色
9-113	Ⅳ-10-68	H26	7511	D1	第9面	3S-115 埋土中	高坏	– △2.5 – –	普通	良	にぶい橙色
9-114	Ⅳ-10-68	H26	7934	D1	第9面	3S-115 埋土中	器台	– △4.4 – –	普通	良	にぶい黄橙色
10-001	Ⅳ-11-1	H28	1590	B3	第10面	– Ⅷ層	直口壺	※12.4 △8.4 – –	普通	良	にぶい黄橙色
10-002	Ⅳ-11-1	H27	8482	F6	第10面	– Ⅷ－5層	壺	※10.0 △8.9 – 13.2	普通	良	にぶい黄橙色
10-003	Ⅳ-11-1	H28	2195 2300	C4	第10面	– Ⅷ層	壺	7.2 9.2 3.6 11.4	粗	不良	にぶい橙色
10-004	Ⅳ-11-1	H27	8285 8295 8456 8482	F6	第10面	– Ⅷ層 Ⅷ－2層 Ⅷ－5層	甕	※21.2 △23.1 – ※27.3	普通	良	にぶい黄橙色
10-005	Ⅳ-11-1	H28	1590 1592	B3	第10面	– Ⅷ層	甕	※18.9 △23.5 – ※22.2	普通	良	にぶい橙色
10-006	Ⅳ-11-1	H28	1731	C3	第10面	– Ⅷ層	甕	※18.1 △17.2 – ※21.5	普通	良	にぶい黄橙色
10-007	Ⅳ-11-1	H27	8321 8517	F6	第10面	– Ⅷ層下面ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ Ⅸ層下面検出中	甕	※13.4 △13.1 – 18	普通	良	にぶい黄橙色
10-008	Ⅳ-11-1	H26	7968	D1	第10面	– Ⅷ層	甕	– △3.05 – –	普通	良	にぶい黄橙色
10-009	Ⅳ-11-1	H26	7969	D1	第10面	– Ⅷ層	甕	※17.2 △4.2 – –	普通	良	にぶい黄橙色
10-010	Ⅳ-11-1	H28	1817	C3	第10面	– Ⅷ層	甕	※16.7 △5.1 – –	普通	良	にぶい黄橙色
10-011	Ⅳ-11-1	H28	1596	F2	第10面	– Ⅷ層	甕	※18.1 △6.3 – –	普通	良	にぶい黄橙色
10-012	Ⅳ-11-1	H27	9043	F6	第10面	– Ⅸ層	甕	※17.9 △5.3 – –	普通	良	にぶい黄橙色
10-013	Ⅳ-11-1	H27	8482	F6	第10面	– Ⅷ－5層	甕	※19.3 △8.9 – –	普通	良	にぶい黄橙色
10-014	Ⅳ-11-1	H27	8181 8285	F6	第10面	– Ⅶ層下面ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ Ⅷ層	甕	※19.6 △7.8 – –	普通	良	にぶい橙色
10-015	Ⅳ-11-1	H27	8497	F6	第10面	– Ⅸ層	甕	※17.7 △6.6 – –	普通	良	にぶい黄褐色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表83

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
10-016	Ⅳ-11-1	H27	8285	Ｆ６	第10面	－ Ⅷ層	甕	－ △5.6 － －	普通	良	にぶい黄橙色
10-017	Ⅳ-11-3	H27	8285	Ｆ６	第10面	－ Ⅷ層	甕	－ △6.1 － －	普通	良	にぶい黄橙色
10-018	Ⅳ-11-3	H28	1592	Ｂ３	第10面	－ Ⅷ層	甕	※18.4 △7.0 － －	普通	良	にぶい黄橙色
10-019	Ⅳ-11-3	H28	1521	Ｅ２	第10面	－ Ⅷ層	甕	※20.6 △7.5 － －	普通	良	にぶい黄橙色
10-020	Ⅳ-11-3	H28	1596	Ｆ２	第10面	－ Ⅷ層	甕	※17.2 △4.8 － －	普通	良	にぶい黄橙色
10-021	Ⅳ-11-3	H28	1909	Ｅ２	第10面	－ Ⅷ層	蓋	つまみ3.4 3.6 口径8.6 －	普通	良	灰黄褐色
10-022	Ⅳ-11-3	H28	1799	Ｃ３	第10面	－ Ⅷ層	脚部	－ △5.1 10.4 －	粗	良	にぶい橙色
10-023	Ⅳ-11-3	H28	1798	Ｃ３	第10面	－ Ⅷ層	鉢	－ △4.3 ※4.6 －	普通	良	にぶい黄橙色
10-024	Ⅳ-11-3	H28	1836	Ｃ４	第10面	－ Ⅷ層	高坏	※26.2 △5.0 － －	普通	良	にぶい黄橙色
10-025	Ⅳ-11-3	H28	1847	Ｅ２	第10面	－ Ⅷ層ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ２	高坏	※25.8 △3.7 － －	普通	良	灰白色
10-026	Ⅳ-11-3	H27	8285 8334 8482	Ｆ６	第10面	－ Ⅷ－５層 Ⅷ－４層	高坏	※17.4 △14.8 ※15.5 －	粗	良	にぶい橙色
10-027	Ⅳ-11-3	H27	8297	Ｆ６	第10面	－ Ⅷ層	高坏	－ 14.6 17.2 －	普通	良	にぶい黄橙色
10-028	Ⅳ-11-3	H28	1836	Ｃ４	第10面	－ Ⅷ層	高坏	－ △7.2 ※13.2 －	粗	不良	にぶい黄橙色
10-029	Ⅳ-11-3	H28	1521	Ｅ２	第10面	－ Ⅷ層	器台	－ △11.9 ※16.8 －	普通	良	にぶい黄橙色
10-030	Ⅳ-11-3	H27	8285	Ｆ６	第10面	－ Ⅷ層	甑型土器	※13.6 △10.5 － －	普通	良	灰黄色
10-031	Ⅳ-11-3	H27	8482	Ｆ６	第10面	－ Ⅷ－５層	鉢	※11.6 9.3 ※4.0 －	普通	良	にぶい黄橙色
10-032	Ⅳ-11-10	H26	8296	Ｄ１	第10面	３Ｓ－122 床層	甕	－ △2.1 － －	普通	良	にぶい黄褐色
10-033	Ⅳ-11-10	H26	8081	Ｄ１	第10面	３Ｓ－122－Ｐ２ 埋土中	甕	※17.3 △3.0 － －	普通	良	灰白色
10-034	Ⅳ-11-10	H26	5995 7994	Ｄ１	第10面	３Ｓ－123 埋土中 Ⅵ層・２層	直口壺	※14.3 △6.4 － －	普通	良	灰黄色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表84

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
10-035	Ⅳ-11-10	H26	7508	D1	第10面	3S-130 (3S-107) 埋土中	甕	※17.2 △3.85 – –	普通	良	にぶい黄橙色
10-036	Ⅳ-11-10	H26	7995	D1	第10面	3S-128 埋土中	甕	– △5.1 – –	普通	良	にぶい黄橙色
10-037	Ⅳ-11-10	H26	7508	D1	第10面	3S-130 (3S-107) 埋土中	高坏	– △3.0 – –	精緻	良	にぶい橙色
10-038	Ⅳ-11-11	H28	1714	D8	第10面	2S-1027 埋土中	甕	※15.8 △5.5 – –	普通	良	にぶい黄橙色
10-039	Ⅳ-11-11	H28	1764	D8	第10面	2S-1027 埋土中	甕	※17.8 △6.1 – –	普通	良	暗灰黄色
10-040	Ⅳ-11-11	H28	1578	D8	第10面	2S-1027 埋土中	甕	※15.2 △6.6 – –	普通	良	にぶい黄橙色
10-041	Ⅳ-11-11	H28	1546	D8	第10面	2S-1027 (V-4層)	甕	※17.2 △5.8 – –	普通	良	灰黄色
10-042	Ⅳ-11-11	H28	1713 1578	D8	第10面	2S-1027 埋土中	蓋	– △8.3 ※16.8 –	普通	良	にぶい黄橙色
10-043	Ⅳ-11-13	H28	2419	E2	第10面	2S-1071 –	甕	– △4.7 – –	普通	良	灰黄褐色
10-044	Ⅳ-11-13	H28	2549	E2	第10面	2S-1071 –	甕	– △4.9 – –	普通	良	にぶい黄橙色
10-045	Ⅳ-11-14	H28	2169	D8	第10面	2S-1062 埋土中	甕	※19.0 △5.6 – –	普通	良	にぶい黄橙色
10-046	Ⅳ-11-14	H28	2245	D8	第10面	2S-1062 埋土中	甕	※20.0 △5.5 – –	普通	良	にぶい黄橙色
10-047	Ⅳ-11-19	H28	2000	E2	第10面	2S-1072 –	甕	– △5.6 – –	普通	良	にぶい黄褐色
10-048	Ⅳ-11-19	H28	2040	E2	第10面	2S-1073 –	甕	– △4.4 – –	普通	良	灰黄色
10-049	Ⅳ-11-19	H28	2290	E2	第10面	2S-1095 –	甕	– △4.0 – –	普通	良	にぶい黄橙色
10-050	Ⅳ-11-20	H28	4059	D2	第10面	2S-1148 –	甕	– △3.3 – –	普通	良	にぶい黄橙色
10-051	Ⅳ-11-22	H27	8587	F6	第10面	2S-831 埋土中	甕	※14.0 △4.3 – –	普通	良	灰黄色
10-052	Ⅳ-11-22	H27	8591	F6	第10面	2S-839 埋土中	甕	– △5.6 – –	普通	良	にぶい黄橙色
10-053	Ⅳ-11-25	H27	9253	F6	第10面	2S-833 埋土中	壺	※9.0 9.9 4.4 11.8	普通	良	にぶい黄褐色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表85

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
10-054	Ⅳ-11-25	H27	8795	Ｆ６	第10面	２Ｓ－833 下層	甕	※16.5 △6.8 － －	普通	良	にぶい黄色
10-055	Ⅳ-11-25	H27	9136	Ｆ６	第10面	２Ｓ－833 埋土中	甕	※17.5 △5.3 － －	普通	良	にぶい橙色
10-056	Ⅳ-11-25	H27	9253	Ｆ６	第10面	２Ｓ－833 埋土中	甕	※21.7 △6.2 － －	普通	良	にぶい黄橙色
10-057	Ⅳ-11-25	H27・28	739 9125	Ｆ６,Ｆ５	第10面	２Ｓ－833 ２Ｓ－904 埋土中	底部	－ △2.3 ※13.0 －	粗	良	にぶい黄橙色
10-058	Ⅳ-11-34	H28	1474	Ｃ８	第10面	２Ｓ－1025 埋土中	甕	※17.4 △9.1 － －	普通	良	にぶい黄橙色
10-059	Ⅳ-11-34	H28	1474	Ｃ８	第10面	２Ｓ－1025 埋土中	甕	※11.6 △7.7 － －	普通	良	にぶい黄橙色
10-060	Ⅳ-11-37	H28	1916	Ｄ８	第10面	２Ｓ－1029 埋土中	甕	※18.6 △5.2 － －	普通	良	にぶい黄橙色
10-061	Ⅳ-11-37	H28	1916	Ｄ８	第10面	２Ｓ－1029 埋土中	甕	※13.2 △10.2 － ※16.0	普通	良	にぶい黄橙色
10-062	Ⅳ-11-37	H28	1984	Ｄ８	第10面	２Ｓ－1029 埋土中	壺	－ △8.0 － －	精緻	良	にぶい黄橙色
10-063	Ⅳ-11-37	H28	2043	Ｄ８	第10面	２Ｓ－1029 埋土中	蓋	9.4 6.8 － － つまみ5.1	普通	良	浅黄色
10-064	Ⅳ-11-40	H28	848 3241	Ｄ８	第10面	２Ｓ－1066 Ⅵ層	甕	※13.7 △6.2 － －	普通	良	浅黄橙色
10-065	Ⅳ-11-40	H28	2534	Ｄ８	第10面	２Ｓ－1066 埋土中	壺	－ △8.3 － 10.6	普通	良	にぶい黄橙色
10-066	Ⅳ-11-40	H28	2876	Ｄ８	第10面	２Ｓ－1066 埋土中	甕	※17.8 △8.8 － －	普通	良	にぶい黄褐色
10-067	Ⅳ-11-40	H28	2632 2753 2984 3270	Ｄ８	第10面	２Ｓ－1066 埋土中	甕	※16.3 △19.0 ※3.4 ※18.6	普通	良	にぶい黄橙色
10-068	Ⅳ-11-40	H28	3920	Ｄ８	第10面	２Ｓ－1066 埋土中	蓋	－ △3.7 － － つまみ3.0	普通	良	灰黄色
10-069	Ⅳ-11-40	H28	2984	Ｄ８	第10面	２Ｓ－1066 埋土中	底部	－ △3.8 ※4.0 －	普通	良	にぶい黄橙色
10-070	Ⅳ-11-43	H28	2604	Ｃ６	第10面	２Ｓ－1069 埋土中	甕	※17.6 △9.6 － －	普通	良	にぶい黄橙色
10-071	Ⅳ-11-43	H28	2592	Ｃ６	第10面	２Ｓ－1069 埋土中	甕	※15.9 △7.8 － －	普通	良	にぶい黄橙色
10-072	Ⅳ-11-43	H28	2710	Ｃ６	第10面	２Ｓ－1069 埋土中	甕	※19.2 △5.9 － －	普通	良	にぶい黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表86

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
10-073	Ⅳ-11-43	H28	3502	C6	第10面	2S-1069 埋土中	甕	※18.0 △8.2 – ※18.2	普通	良	黄褐色
10-074	Ⅳ-11-43	H28	2708	C6	第10面	2S-1069 埋土中	甕	※14.8 △4.9 – –	普通	良	にぶい黄橙色
10-075	Ⅳ-11-43	H28	2592	C6	第10面	2S-1069 埋土中	甕	– △5.3 – –	普通	良	灰黄褐色
10-076	Ⅳ-11-43	H28	3508	C6	第10面	2S-1069 埋土中	小型壺	※10.0 △4.4 – –	普通	良	にぶい黄橙色
10-077	Ⅳ-11-43	H28	3747	C6	第10面	2S-1069 埋土中	高坏	※22.4 △5.6 – –	普通	良	にぶい黄橙色
10-078	Ⅳ-11-43	H28	2752	C6	第10面	2S-1069 埋土中	器台	– △6.5 ※18.0 –	普通	良	橙色
10-079	Ⅳ-11-43	H28	2592	C6	第10面	2S-1069 埋土中	脚部	– △6.0 ※7.6 –	精緻	良	にぶい橙色
10-080	Ⅳ-11-47	H28	3275 3486	E2	第10面	2S-1079 上層	壺	※21.6 △9.2 – –	普通	良	にぶい黄橙色
10-081	Ⅳ-11-47	H28	3141	E2	第10面	2S-1079 –	甕	※18.3 △9.9 – ※18.9	普通	良	にぶい黄褐色
10-082	Ⅳ-11-47	H28	3314	E2	第10面	2S-1079 –	甕	※19.3 △16.2 – ※18.6	普通	良	にぶい黄褐色
10-083	Ⅳ-11-47	H28	3141	E2	第10面	2S-1079 –	甕	※21.0 △6.3 – –	普通	良	にぶい黄褐色
10-084	Ⅳ-11-47	H28	3314	E2	第10面	2S-1079 –	甕	※16.9 △5.4 – –	普通	良	にぶい橙色
10-085	Ⅳ-11-47	H28	3744	E2	第10面	2S-1079 下層	甕	※14.4 △20.9 – 18.0	普通	良	にぶい黄橙色
10-086	Ⅳ-11-47	H28	3314	E2	第10面	2S-1079 –	高坏	※20.2 △5.3 – –	普通	良	にぶい黄橙色
10-087	Ⅳ-11-47	H28	3275	E2	第10面	2S-1079 –	高坏	– △7.0 – –	普通	良	にぶい黄褐色
10-088	Ⅳ-11-47	H28	3141	E2	第10面	2S-1079 –	脚台部	– △6.3 ※8.8 –	普通	良	にぶい黄橙色
10-089	Ⅳ-11-47	H28	3861	E2	第10面	2S-1079 –	器台	– △8.3 ※13.6 –	普通	良	灰黄褐色
10-090	Ⅳ-11-52	H27	8468	F6	第10面	2S-829 埋土中	甕	※16.9 △6.9 – –	普通	良	暗灰黄色
10-091	Ⅳ-11-52	H27	8371	F6	第10面	2S-829 埋土中	甕	※17.1 △6.1 – –	普通	良	にぶい黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表87

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
11-001	Ⅳ-12-２	H28	2615	Ｅ２	第11面	－ Ｘ層	壺	※19.0 △8.6 － －	精緻	良	淡橙色
11-002	Ⅳ-12-２	H28	2615	Ｅ２	第11面	－ Ｘ層	壺	※16.6 △14.4 － ※23.2	普通	良	にぶい黄橙色
11-003	Ⅳ-12-２	H28	1841	Ｅ４	第11面	－ Ｘ層	直口壺	※11.5 △5.2 － －	精緻	良	灰白色
11-004	Ⅳ-12-２	H28	4159	Ｅ２	第11面	－ Ｘ層	壺	17.2 31.3 5.7 23.3	普通	良	にぶい橙色
11-005	Ⅳ-12-２	H28	3011 4158	Ｅ・Ｆ２	第11面	－ Ｘ層	壺	※15.6 27.6 4.2 21.6	普通	良	明灰褐色
11-006	Ⅳ-12-２	H28	2577	Ｅ４	第11面	－ Ｘ層	直口壺	11.0 23.3 3.2 17.5	普通	良	にぶい黄橙色
11-007	Ⅳ-12-２	H27	9348	Ｇ６	第11面	－ Ｘ層	壺	※20.4 △9.0 － －	普通	良	にぶい黄橙色
11-008	Ⅳ-12-２	H28	2615	Ｅ２	第11面	－ Ｘ層	甕	※14.8 △8.5 － －	普通	良	にぶい褐色
11-009	Ⅳ-12-２	H28	2615	Ｅ２	第11面	－ Ｘ層	壺	※14.4 △17.5 － ※17.1	精緻	良	にぶい黄橙色
11-010	Ⅳ-12-２	H28	3230	Ｅ２	第11面	－ Ｘ層	壺	10.1 12.2 3.4 13.7	普通	良	にぶい黄色
11-011	Ⅳ-12-２	H28	2576	Ｅ４	第11面	－ Ｘ層	壺	6.6 8.4 3.0 10.7	普通	不良	灰黄色
11-012	Ⅳ-12-２	H28	2762	Ｅ２	第11面	－ Ｘ層	甕	※16.3 △13.2 － ※20.2	粗	良	にぶい黄橙色
11-013	Ⅳ-12-２	H28	2615	Ｅ２	第11面	－ Ｘ層	甕	※14.5 △8.6 － －	普通	良	明褐色
11-014	Ⅳ-12-２	H28	2615	Ｅ２	第11面	－ Ｘ層	甕	※16.0 △9.5 － －	普通	良	にぶい橙色
11-015	Ⅳ-12-３	H28	2238 2416	Ｅ４	第11面	－ Ｘ層	甕	※17.6 △24.0 － ※22.2	普通	良	にぶい黄褐色
11-016	Ⅳ-12-３	H28	2495	Ｅ４	第11面	－ Ｘ層	甕	※17.7 △11.0 － －	普通	良	灰黄褐色
11-017	Ⅳ-12-３	H28	2416 2431	Ｅ４	第11面	－ Ｘ層	甕	※17.0 △11.2 － ※17.0	普通	良	にぶい黄橙色
11-018	Ⅳ-12-３	H28	2433	Ｅ４	第11面	－ Ｘ層	甕	※18.5 △7.9 － －	普通	良	にぶい黄橙色
11-019	Ⅳ-12-３	H28	1819 1821 1874 2543	Ｅ４	第11面	－ Ｘ層	甕	※19.4 △7.4 － －	普通	良	にぶい黄褐色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表88

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
11-020	Ⅳ-12-3	H28	2495	E4	第11面	－ X層	甕	※18.0 29.3 ※4.6 ※21.8	普通	良	にぶい黄橙色
11-021	Ⅳ-12-3	H27	8779	F6	第11面	－ X層	甕	※18.6 △6.4 － －	普通	良	灰黄色
11-022	Ⅳ-12-3	H28	1842	E4	第11面	－ X層	甕	※18.6 △7.6 － －	普通	良	にぶい黄橙色
11-023	Ⅳ-12-3	H28	1821	E4	第11面	－ X層	甕	※17.4 △9.3 － －	普通	良	にぶい黄橙色
11-024	Ⅳ-12-3	H28	1842 1874	E4	第11面	－ X層	甕	※17.8 △9.25 － －	普通	良	にぶい橙色
11-025	Ⅳ-12-3	H28	1821 1841	E4	第11面	－ X層	甕	※15.4 △9.1 － －	普通	良	にぶい黄橙色
11-026	Ⅳ-12-3	H28	1821	E4	第11面	－ X層	甕	※17.8 △12.5 － ※20.8	普通	良	にぶい黄橙色
11-027	Ⅳ-12-3	H28	2416	E4	第11面	－ X層	甕	※17.2 △9.3 － ※16.0	普通	良	にぶい黄橙色
11-028	Ⅳ-12-3	H28	1819 1841	E4	第11面	－ X層	甕	※14.6 △9.05 － －	普通	良	灰白色
11-029	Ⅳ-12-3	H28	2493	E4	第11面	－ X層	甕	※11.7 △14.4 2.8 13.0	普通	不良	浅黄橙色
11-030	Ⅳ-12-3	H28	1819	E4	第11面	－ X層	甕	－ △7.0 － －	普通	良	にぶい黄橙色
11-031	Ⅳ-12-4	H28	2472 2487 2490 2491	E4	第11面	－ X層	高坏	※28.4 △7.4 － －	普通	良	淡黄色
11-032	Ⅳ-12-4	H28	3007	E2	第11面	－ X層	器台	－ △7.9 13.6 －	粗	良	にぶい黄橙色
11-033	Ⅳ-12-4	H28	1900	E4	第11面	－ X層	器台	※21.5 △10.6 － －	普通	良	灰白色
11-034	Ⅳ-12-4	H28	2606	E2	第11面	－ X層	蓋	※15.4 △6.3 － －	普通	良	にぶい黄橙色
11-035	Ⅳ-12-4	H28	1874	E4	第11面	－ X層	蓋	※12.0 5.8 － － つまみ5.0	普通	良	にぶい黄橙色
11-036	Ⅳ-12-4	H28	2430	E4	第11面	－ X層	蓋	11.0 5.2 － － つまみ4.8	普通	良	にぶい黄橙色
11-037	Ⅳ-12-15	H28	3656	E2	第11面	2S－1147 床面直上	甕	※12.6 △2.6 － －	普通	良	浅黄橙色
11-038	Ⅳ-12-15	H28	3704 3709	E2	第11面	2S－1147 床面直上	甕	※10.8 △3.7 － －	普通	良	にぶい橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表89

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
11-039	Ⅳ-12-15	H28	3661 3704 3709 3710	Ｅ２	第11面	２Ｓ－1147 床面直上 埋土最下部	器台	※21.2 △6.3 － －	普通	良	にぶい黄橙色
11-040	Ⅳ-12-23	H28	4964	Ｄ８	第11面	２Ｓ－1262 埋土中	壺	※17.4 △14.6 － －	普通	良	にぶい黄橙色
11-041	Ⅳ-12-23	H28	5014	Ｄ８	第11面	２Ｓ－1268 埋土中	甕	※22.2 △5.9 － －	粗	不良	にぶい黄橙色
11-042	Ⅳ-12-23	H28	4585	Ｄ８	第11面	２Ｓ－1231 埋土中	甕	※14.5 △14.7 － ※17.2	普通	良	暗灰黄色
11-043	Ⅳ-12-23	H28	4585	Ｄ８	第11面	２Ｓ－1231 埋土中	低脚坏	※17.2 6.9 ※7.2 －	普通	良	にぶい橙色
11-044	Ⅳ-12-23	H28	4347	Ｄ８	第11面	２Ｓ－1262 埋土中	甕	－ △5.1 － －	普通	良	にぶい黄橙色
11-045	Ⅳ-12-23	H28	5013	Ｄ８	第11面	２Ｓ－1267 埋土中	甕	－ △4.1 － －	普通	良	にぶい黄橙色
11-046	Ⅳ-12-23	H28	3129	Ｄ８	第11面	２Ｓ－1195 埋土中	甕	－ △5.1 － －	普通	良	灰黄褐色
11-047	Ⅳ-12-23	H28	3024	Ｄ８	第11面	２Ｓ－1192 埋土中	壺	－ △3.8 － －	精緻	良	にぶい黄橙色
11-048	Ⅳ-12-24	H28	5011	Ｃ４	第11面	２Ｓ－1272 埋土中	甕	※30.0 △7.4 － －	精緻	不良	灰黄色
11-049	Ⅳ-12-24	H28	5134	Ｃ４	第11面	２Ｓ－1272 埋土中	脚部	－ △4.0 7.4 －	普通	良	にぶい黄橙色
11-050	Ⅳ-12-24	H28	5130	Ｄ４	第11面	２Ｓ－1276 埋土中	深鉢	－ △6.6 － －	普通	不良	にぶい黄橙色
11-051	Ⅳ-12-29	H28	2795	Ｅ４	第11面	２Ｓ－1046 －	甕	※18.2 △16.8 － ※18.7	普通	良	にぶい黄橙色
11-052	Ⅳ-12-29	H28	2766 2791 2796	Ｅ４	第11面	２Ｓ－1046 －	甕	※15.6 △9.4 － －	粗	良	にぶい黄橙色
11-053	Ⅳ-12-29	H28	2883	Ｅ４	第11面	２Ｓ－1046 底面	甕	※17.8 △5.0 － －	普通	良	浅黄橙色
11-054	Ⅳ-12-29	H28	3931	Ｅ４	第11面	２Ｓ－1046 掘方埋土中	甕	※15.8 △9.0 － －	普通	良	灰白色
11-055	Ⅳ-12-29	H28	3833	Ｅ４	第11面	２Ｓ－1046 －	壺	11.2 10.9 － 12.6	普通	良	にぶい黄褐色
11-056	Ⅳ-12-33	H28	3350	Ｅ４	第11面	２Ｓ－1047 －	甕	※17.4 △5.2 － －	普通	良	灰白色
11-057	Ⅳ-12-33	H28	3433	Ｅ４	第11面	２Ｓ－1047 ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ －	壺	※8.2 11.0 ※2.4 ※11.2	普通	良	にぶい黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表90

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
11-058	Ⅳ-12-33	H28	3350	E4	第11面	2S-1047 –	蓋	※12.0 6.5 – – つまみ※3.6	普通	良	灰黄褐色
11-059	Ⅳ-12-34	H28	3847	E4	第11面	2S-1048 –	器台	※17.7 △9.6 – –	普通	良	にぶい黄橙色
11-060	Ⅳ-12-49	H28	2778	C8	第11面	2S-1030B 埋土中	甕	※17.0 △5.4 – –	普通	良	にぶい黄橙色
11-061	Ⅳ-12-49	H28	1897	C8	第11面	2S-1030 埋土中	甕	15.6 13.4 – 13.9	普通	良	にぶい黄褐色
11-062	Ⅳ-12-49	H28	1912	C8	第11面	2S-1030 埋土中	甕	※16.4 △5.1 – –	普通	良	にぶい黄褐色
11-063	Ⅳ-12-49	H28	1976	C8	第11面	2S-1030下層溝 埋土中	甕	※14.7 △3.8 – –	普通	良	にぶい黄褐色
11-064	Ⅳ-12-49	H28	1977,2012 1985,2102 1912	C・D8	第11面	2S-1030底面 2S-1030 埋土中	器台	※19.1 △15.4 ※14.3 –	普通	良	にぶい黄橙色
11-065	Ⅳ-12-56	H28	4751	D8	第11面	2S-1264 埋土中	壺	※21.6 △5.1 – –	普通	良	にぶい黄褐色
11-066	Ⅳ-12-56	H28	4752	D8	第11面	2S-1264 埋土中	高坏	– △3.9 – –	普通	良	灰黄褐色
11-067	Ⅳ-12-60	H28	2270	D8	第11面	2S-1065 埋土中	甕	※19.5 △11.8 – –	普通	良	黄灰色
11-068	Ⅳ-12-60	H28	2270 3000	D8	第11面	2S-1065 埋土中	甕	※16.4 △9.3 – –	普通	良	にぶい黄橙色
11-069	Ⅳ-12-60	H28	2292	D8	第11面	2S-1065 埋土中	甕	※20.4 △9.6 – –	普通	良	灰白色
11-070	Ⅳ-12-60	H28	2270	D8	第11面	2S-1065 埋土中	甕	– △4.8 – –	普通	良	にぶい黄橙色
11-071	Ⅳ-12-60	H28	1916 2270	D8	第11面	2S-1065 (一部2S-1029) 埋土中	甕	※16.0 △4.5 – –	精緻	良	にぶい黄褐色
11-072	Ⅳ-12-60	H28	3000 3271	D8	第11面	2S-1065 埋土中	高坏	※21.6 △4.7 – –	普通	良	にぶい橙色
11-073	Ⅳ-12-60	H28	2322	D8	第11面	2S-1065 埋土中	蓋	※12.4 6.1 – – つまみ2.8	普通	良	にぶい橙色
11-074	Ⅳ-12-60	H28	2322	D8	第11面	2S-1065 埋土中	底部	– △4.9 ※4.2 –	普通	良	にぶい黄橙色
11-075	Ⅳ-12-61	H28	3712	D8	第11面	2S-1063 埋土中	甕	※14.8 △4.3 – –	普通	良	にぶい黄橙色
11-076	Ⅳ-12-61	H28	2295	D8	第11面	2S-1063 埋土中	甕	※17.0 △5.9 – –	普通	良	にぶい橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表91

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
11-077	Ⅳ-12-63	H28	4036 4061	Ｄ８	第11面	２Ｓ－1234 埋土中	甕	※19.4 △15.5 － 22.9	普通	良	にぶい黄橙色
11-078	Ⅳ-12-63	H28	4215	Ｄ８	第11面	２Ｓ－1234 埋土中	甕	※22.0 △5.5 － －	普通	良	にぶい黄褐色
11-079	Ⅳ-12-63	H28	4036 4147	Ｄ８	第11面	２Ｓ－1234 埋土中	甕	※15.4 △14.9 － ※16.0	普通	良	灰黄褐色
11-080	Ⅳ-12-63	H28	4215	Ｄ８	第11面	２Ｓ－1234 埋土中	甕	※16.4 △3.8 － －	普通	良	灰白色
11-081	Ⅳ-12-63	H28	4147	Ｄ８	第11面	２Ｓ－1234 埋土中	壺	－ △8.8 － ※13.2	普通	良	灰黄褐色
11-082	Ⅳ-12-63	H28	4036	Ｄ８	第11面	２Ｓ－1234 埋土中	蓋	※13.2 5.8 － － つまみ4.0	普通	良	にぶい黄橙色
11-083	Ⅳ-12-63	H28	4592	Ｄ８	第11面	２Ｓ－1263 埋土中	甕	※16.8 △14.7 － ※18.8	普通	良	にぶい黄橙色
11-084	Ⅳ-12-64	H28	4593	Ｄ８	第11面	２Ｓ－1263 埋土中	甕	※19.8 △5.1 － －	普通	良	にぶい黄橙色
11-085	Ⅳ-12-64	H28	4965	Ｄ８	第11面	２Ｓ－1265 埋土中	甕	※19.2 △20.8 － ※22.1	普通	良	灰黄褐色
11-086	Ⅳ-12-65	H28	5184	Ｄ８	第11面	２Ｓ－1265 埋土中	蓋	－ △7.3 － － つまみ5.2	普通	良	灰黄褐色
11-087	Ⅳ-12-66	H28	2629	Ｄ４	第11面	２Ｓ－964 埋土中	高坏	※21.7 △4.8 － －	普通	良	にぶい橙色
11-088	Ⅳ-12-71	H28	2134	Ｃ４	第11面	２Ｓ－1057 埋土中	壺	※12.6 △21.8 － 18.0	精緻	良	暗灰黄色
11-089	Ⅳ-12-71	H28	2081	Ｃ４	第11面	２Ｓ－1057 埋土中	甕	18.2 23.8 4.3 19.6	普通	良	にぶい橙色
11-090	Ⅳ-12-71	H28	3914	Ｃ３	第11面	２Ｓ－1057 Ａ－Ａ'９層相当	甕	※16.9 △3.8 － －	粗	良	灰白色
11-091	Ⅳ-12-71	H28	3868	Ｃ４	第11面	２Ｓ－1057 Ａ－Ａ'17層相当	甕	※20.5 △6.1 － －	普通	良	にぶい黄橙色
11-092	Ⅳ-12-71	H28	3331	Ｃ４	第11面	２Ｓ－1057 埋土中	甕	※16.0 △17.1 － 22.2	普通	良	にぶい黄橙色
11-093	Ⅳ-12-71	H28	3912	Ｃ３	第11面	２Ｓ－1057 Ａ－Ａ'９層相当	甕	※14.2 △12.6 － ※17.1	普通	良	にぶい橙色
11-094	Ⅳ-12-71	H28	2323	Ｃ４	第11面	２Ｓ－1057 埋土中	高坏	※26.2 △5.8 － －	普通	良	にぶい黄橙色
11-095	Ⅳ-12-71	H28	3756,2262(遺物注記2196)	Ｃ４	第11面	２Ｓ－1057 Ａ－Ａ'９層相当	器台	※21.0 △5.4 － －	普通	良	灰白色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表92

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
11-096	Ⅳ-12-71	H28	2196	C4	第11面	2S－1057 埋土中	器台	※24.8 △12.2 － －	粗	良	にぶい橙色
11-097	Ⅳ-12-71	H28	2323 3562 3674	C4	第11面	2S－1057 A－A'8.9層相当	脚付鉢	※15.8 9.9 ※8.8 －	普通	良	灰黄褐色
11-098	Ⅳ-12-87	H28	5091 5097	E4	第11面	2S－840 下層 中層	壺	※14.8 △11.1 － －	普通	良	にぶい黄橙色
11-099	Ⅳ-12-87	H27	9522	F7	第11面	2S－840 埋土中	壺	※16.6 △9.8 － －	普通	良	にぶい黄橙色
11-100	Ⅳ-12-87	H28	3233 3516	E4	第11面	2S－840 中層	壺	※12.5 △22.5 － ※18.9	普通	良	にぶい黄褐色
11-101	Ⅳ-12-87	H28	2911 2909	E4	第11面	2S－840 中層	壺	※15.2 △23.9 － 17.6	普通	良	にぶい黄橙色
11-102	Ⅳ-12-87	H28	3232 3518 3521	E4	第11面	2S－840 中層	壺	※14.0 25.2 ※4.0 ※18.8	普通	良	にぶい黄橙色
11-103	Ⅳ-12-87	H28	2770,2908,2911 2920,2946,4174	E4	第11面	2S－840 E・Fﾗｲﾝ間ﾄﾚﾝﾁ 中層	壺	※16.0 △27.5 ※4.7 ※23.7	普通	良	にぶい黄橙色
11-104	Ⅳ-12-87	H28	3617	E4	第11面	2S－840 中層	直口壺	※14.4 △7.4 － －	普通	良	にぶい黄褐色
11-105	Ⅳ-12-87	H28	2953	E4	第11面	2S－840 中層	直口壺	※13.3 △7.0 － －	粗	良	灰白色
11-106	Ⅳ-12-87	H28	3238 3733 3936	E4	第11面	2S－840 中層	直口壺	※13.6 △7.0 － －	普通	良	灰黄褐色
11-107	Ⅳ-12-87	H28	2867 2951 3125	E4	第11面	2S－840 中層	直口壺	※15.2 △5.9 － －	普通	良	にぶい橙色
11-108	Ⅳ-12-87	H28	2758	E4	第11面	2S－840 中層	壺	※21.2 △9.3 － －	普通	良	灰白色
11-109	Ⅳ-12-87	H28	2681 4073 4074	E4	第11面	2S－840 E・F間ﾄﾚﾝﾁ 上層	直口壺	※10.8 △7.5 － －	普通	良	にぶい黄橙色
11-110	Ⅳ-12-87	H28	3359 4073	E4	第11面	2S－840 E・Fﾗｲﾝ間ﾄﾚﾝﾁ 下層	台付装飾壺	－ △11.2 － ※17.8	精緻	良	にぶい黄橙色
11-111	Ⅳ-12-87	H28	2681	E4	第11面	2S－840 上層	甕	※13.6 △8.4 － －	普通	良	浅黄橙色
11-112	Ⅳ-12-87	H28	3137	E4	第11面	2S－840 中層	甕	※7.2 △9.5 － ※8.0	普通	良	褐灰色
11-113	Ⅳ-12-87	H28	4051	E4	第11面	2S－840 中層	鉢	5.1 5.0 3.3 －	普通	良	にぶい黄橙色
11-114	Ⅳ-12-87	H28	3359	E4	第11面	2S－840 下層	甕	※14.6 △6.2 － －	普通	良	浅黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表93

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
11-115	Ⅳ-12-87	H28	3359	Ｅ４	第11面	２Ｓ－840 下層	甕	※13.2 △7.2 － －	普通	良	灰黄褐色
11-116	Ⅳ-12-92	H28	3125	Ｅ４	第11面	２Ｓ－840 中層	甕	※19.0 △14.6 － ※21.4	普通	良	にぶい黄褐色
11-117	Ⅳ-12-92	H28	3718 3935	Ｅ４	第11面	２Ｓ－840 中層	甕	※21.1 △13.5 － －	普通	良	にぶい橙色
11-118	Ⅳ-12-92	H28	3435 3733 3735	Ｅ４	第11面	２Ｓ－840 中層	甕	※20.3 △19.1 － ※24.1	普通	良	にぶい黄橙色
11-119	Ⅳ-12-92	H28	3232,3233,3517 3531,3936	Ｅ４	第11面	２Ｓ－840 中層	甕	17.2 △13.8 － 18.8	普通	良	にぶい黄橙色
11-120	Ⅳ-12-92	H28	2957,2958,2960 2973,2977	Ｅ４	第11面	２Ｓ－840 中層	甕	※17.0 △16.9 － ※19.7	普通	良	灰黄褐色
11-121	Ⅳ-12-92	H28	4928 5045	Ｅ４	第11面	２Ｓ－840 中層	甕	※18.6 △17.5 － ※22.2	普通	良	にぶい褐色
11-122	Ⅳ-12-92	H28	3125 4073 4074	Ｅ４	第11面	２Ｓ－840 Ｅ・Ｆﾗｲﾝ間ﾄﾚﾝﾁ 中層	甕	－ △12.9 － ※19.5	普通	良	にぶい黄橙色
11-123	Ⅳ-12-92	H28	2634	Ｅ４	第11面	２Ｓ－840 上層	甕	※18.6 △13.0 － －	普通	良	灰白色
11-124	Ⅳ-12-92	H28	2952 3352	Ｅ４	第11面	２Ｓ－840 中層	甕	※15.7 △10.0 － ※16.8	普通	良	灰黄褐色
11-125	Ⅳ-12-92	H28	4748 4882	Ｅ４	第11面	２Ｓ－840 中層	甕	※16.3 △8.9 － －	普通	良	にぶい黄褐色
11-126	Ⅳ-12-92	H28	2679	Ｅ４	第11面	２Ｓ－840 中層	甕	※17.2 △9.1 － －	普通	良	灰白色
11-127	Ⅳ-12-92	H28	1677 2546	Ｅ４	第11面	２Ｓ－840 ５ﾗｲﾝﾄﾚﾝﾁ拡張部分 上層	甕	※15.3 △4.8 － －	普通	良	にぶい黄橙色
11-128	Ⅳ-12-92	H28	3174 3232	Ｅ４	第11面	２Ｓ－840 中層	甕	※15.5 △12.2 － ※15.8	普通	良	にぶい黄橙色
11-129	Ⅳ-12-92	H28	2680	Ｅ４	第11面	２Ｓ－840 中層	甕	※16.4 △8.1 － －	普通	良	にぶい黄橙色
11-130	Ⅳ-12-92	H27	8944 9018	Ｆ５・６	第11面	２Ｓ－840 中層	甕	※14.8 △5.3 － －	普通	良	にぶい黄褐色
11-131	Ⅳ-12-96	H28	3352,3519,3531 3733,3935,3936 4882,5045	Ｅ４	第11面	２Ｓ－840 中層	甕	※28.5 42.2 7.2 ※34.1	普通	良	にぶい橙色
11-132	Ⅳ-12-96	H28	2683 2772	Ｅ４	第11面	２Ｓ－840 Ｅ・Ｆﾗｲﾝ間ﾚﾝﾁ拡張部分 上層	甕	※31.6 △26.4 － ※37.6	普通	良	にぶい黄橙色
11-133	Ⅳ-12-96	H27	9018	Ｆ５	第11面	２Ｓ－840 中層	底部	－ △19.4 ※10.0 －	普通	良	にぶい黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表94

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
11-134	Ⅳ-12-96	H28	3733 3735	E4	第11面	2S-840 中層	甕	19.1 31.0 4.6 24.0	普通	良	にぶい黄橙色
11-135	Ⅳ-12-96	H28	3735 4174	E4	第11面	2S-840 E・Fﾗｲﾝ間ﾄﾚﾝﾁ 中層	甕	※18.2 △26.1 － ※25.6	普通	良	灰黄褐色
11-136	Ⅳ-12-96	H28	3126 3179	E4	第11面	2S-840 中層	甕	17.2 28.2 4.5 20.7	普通	良	灰黄褐色
11-137	Ⅳ-12-99	H28	2907	E4	第11面	2S-840 中層	甕	19.4 25.3 3.6 21.0	普通	良	灰黄色
11-138	Ⅳ-12-99	H28	2909	E4	第11面	2S-840 中層	甕	※16.8 27.5 4.1 20.3	普通	良	にぶい橙色
11-139	Ⅳ-12-99	H28	3076	E4	第11面	2S-840 中層	甕	17.6 26.6 4.8 20.9	普通	良	灰黄褐色
11-140	Ⅳ-12-99	H28	2906	E4	第11面	2S-840 中層	甕	18.6 24.0 3.8 19.5	普通	良	暗灰黄色
11-141	Ⅳ-12-99	H28	2954 3058	E4	第11面	2S-840 中層	甕	※16.7 △20.6 － ※18.2	普通	良	にぶい橙色
11-142	Ⅳ-12-99	H28	3060	E4	第11面	2S-840 中層	甕	14.6 17.3 3.7 14.8	普通	良	灰黄褐色
11-143	Ⅳ-12-99	H28	2680	E4	第11面	2S-840 中層	甕	※13.1 △9.1 － －	普通	良	浅黄橙色
11-144	Ⅳ-12-99	H28	1675 3238	E4	第11面	2S-840 5ﾗｲﾝﾄﾚﾝﾁ拡張部分 中層	甕	13.1 12.7 3.9 13.1	普通	良	にぶい黄橙色
11-145	Ⅳ-12-99	H28	3137	E4	第11面	2S-840 中層	甕	※14.4 △13.6 － 14.0	粗	良	にぶい黄褐色
11-146	Ⅳ-12-99	H28	4882 5097	E4	第11面	2S-840 中層	高坏	※27.8 △5.8 － －	普通	良	にぶい橙色
11-147	Ⅳ-12-99	H28	2894	E4	第11面	2S-840 中層	高坏	－ △8.3 17.0 －	普通	良	淡黄色
11-148	Ⅳ-12-99	H28	2787	E4	第11面	2S-0840 中層	高坏	－ △6.6 12.4 －	普通	良	黒褐色
11-149	Ⅳ-12-99	H28	3074	E4	第11面	2S-840 －	高坏	－ △15.3 16.4 －	普通	良	にぶい黄橙色
11-150	Ⅳ-12-102	H28	4779	E4	第11面	2S-840 中層	蓋	※13.1 6.8 － － つまみ※3.4	普通	良	にぶい黄褐色
11-151	Ⅳ-12-102	H28	3125 3134	E4	第11面	2S-840 中層	蓋	※12.8 7.4 － － つまみ5.4	普通	良	にぶい黄褐色
11-152	Ⅳ-12-102	H28	3167	E4	第11面	2S-840 中層	蓋	※14.0 6.5 － － つまみ3.2	精緻	良	にぶい橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表95

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
11-153	Ⅳ-12-102	H28	3166	E４	第11面	２S－840 中層	蓋	13.2 6.7 － － つまみ5.0	精緻	良	暗灰黄色
11-154	Ⅳ-12-102	H28	3171	E４	第11面	２S－0840 中層	器台	※18.7 16.5 ※14.6 －	普通	良	灰黄色
11-155	Ⅳ-12-102	H28	2814	E４	第11面	２S－840 中層	器台	※19.6 △14.9 － －	普通	良	灰黄色
11-156	Ⅳ-12-102	H28	3150 3152	E４	第11面	２S－840 中層	器台	※18.9 △13.3 － －	普通	良	にぶい黄橙色
11-157	Ⅳ-12-102	H28	4783	E４	第11面	２S－840 中層	器台	15.1 △11.3 － －	粗	不良	にぶい黄橙色
攪乱-１	Ⅳ-13-１	H27	1430	D４	－	攪乱	壺	※17.8 △7.0 － －	普通	良	灰白色
攪乱-２	Ⅳ-13-１	H27	1352	D４	－	攪乱	甕	※14.1 △3.6 － －	普通	良	灰色～にぶい黄橙色
攪乱-３	Ⅳ-13-１	H27	1316	D４	－	攪乱	低脚坏	－ △3.3 5.9 －	普通	良	にぶい褐色
Tr２-１	Ⅳ-13-４	H26	7046	D１		２ライントレンチ －	台付装飾壺	－ △2.7 － ※16.1	普通	良	にぶい黄橙色
Tr４-１	Ⅳ-13-４	H26	3370	C４	—	４ライントレンチ －	甕	※12.8 △6.15 － －	普通	良	灰白色
Tr４-２	Ⅳ-13-４	H26	890	E４	—	４ライントレンチ －	甕	※30.9 △8.3 － －	普通	良	にぶい黄橙色
Tr４-３	Ⅳ-13-４	H26	895 897	E４	—	４ライントレンチ －	甕	※22.2 △8.1 － －	普通	良	にぶい黄橙色
Tr４-４	Ⅳ-13-４	H26	505	E４	—	４ライントレンチ －	甕	※17.5 △8.9 － －	普通	良	にぶい黄橙色
Tr４-５	Ⅳ-13-５	H26	491	D４	—	４ライントレンチ －	直口壺	※9.2 △10.1 － ※12.0	普通	良	灰白色
Tr４-６	Ⅳ-13-５	H26	3581	D４	—	４ライントレンチ －	低脚坏	15.8 6.4 5.6 －	普通	良	にぶい橙色
Tr４-７	Ⅳ-13-５	H26	463	D４	—	４ライントレンチ －	低脚坏	－ △3.3 7.8 －	普通	良	にぶい黄橙色
Tr４-８	Ⅳ-13-５	H26	490	D４	—	４ライントレンチ －	高坏	－ △7.7 ※10.9 －	普通	良	灰白色
Tr４-９	Ⅳ-13-５	H26	495 513	D４	—	４ライントレンチ －	高坏	－ △8.65 14.95 －	普通	良	灰白色
Tr４-10	Ⅳ-13-５	H26	505 874	E４	—	４ライントレンチ －	器台	※23.6 13.85 ※19.0 －	普通	良	灰白色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表96

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
Tr4-11	Ⅳ-13-5	H26	505 878	E4	—	4ライントレンチ –	器台	– △9.5 – –	普通	良	灰黄色
Tr5-1	Ⅳ-13-6	H26	3972	D4	—	5ライントレンチ –	壺	※20.0 △9.3 – –	普通	良	灰白色
Tr5-2	Ⅳ-13-6	H26	5881	C5	—	5ライントレンチ –	台付装飾壺	– △5.95 – ※13.4	普通	良	灰白色
Tr5-3	Ⅳ-13-6	H26	3377	C5	—	5ライントレンチ –	壺	16.1 △7.45 – –	普通	良	にぶい黄橙色
北-1	Ⅳ-13-8	H26	262	C6	—	北側溝 –	壺	10.4 △6.25 – –	普通	良	浅黄橙色
北-2	Ⅳ-13-8	H26	237	B3	—	北側溝 –	甕	※16.4 △7.55 – ※19.2	普通	良	灰黄色
北-3	Ⅳ-13-8	H26	4019	C6		北側溝 –	甕	※22.9 △7.5 – –	普通	良	浅黄橙色
北-4	Ⅳ-13-8	H26	250 253	B3	—	北側溝 –	甕	17.1 19.4 9.9 20.15	普通	良	灰白色
北-5	Ⅳ-13-8	H26	274	C7	—	北側溝 –	甕	※13.5 △5.7 – –	普通	良	浅黄橙色
北-6	Ⅳ-13-8	H26	3887	C7	—	北側溝 –	甕	※23.0 △7.15 – –	普通	良	にぶい橙色
北-7	Ⅳ-13-8	H26	8737	C2	—	北側溝 –	高坏	– △9.4 ※15.6 –	普通	良	灰白色
北-8	Ⅳ-13-8	H26	672	C6	—	北側溝 –	高坏	– △13.85 ※16.8 –	普通	良	灰白色
北-9	Ⅳ-13-8	H26	308	B3	—	北側溝 –	台付甕	16.1 △18.0 – 19.35	普通	良	灰白色
北-10	Ⅳ-13-8	H26	648	D9	—	北側溝 –	低脚坏	※14.1 5.45 4.9 –	普通	良	にぶい橙色
北-11	Ⅳ-13-8	H26	330	C8	—	北側溝 –	低脚坏	※18.6 5.4 4.4 –	普通	良	灰白色
北-12	Ⅳ-13-8	H26	299	C7・8	—	北側溝 –	小型器台	8.75 △7.35 – –	普通	良	灰白色
北-13	Ⅳ-13-8	H26	7454	C7	—	北側溝 –	蓋	7.9 5.7 – –	普通	良	にぶい黄橙色
北-14	Ⅳ-13-8	H26	331	D9	—	北側溝 –	鉢	※6.4 5.35 – –	普通	良	灰黄色
北-15	Ⅳ-13-9	H26	3887 4391	C7・8	—	北側溝 –	坏蓋	※13.1 3.55 – –	普通	良	灰色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表97

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(ｃｍ) 器高(ｃｍ) 底径(ｃｍ) 胴部最大径(ｃｍ)	胎土	焼成	色調
北-16	Ⅳ-13-９	H26	3936	Ｃ８	—	北側溝 –	坏身	※12.0 4.5 – –	精緻	良	灰白色
北-17	Ⅳ-13-９	H26	307 331	Ｄ９	—	北側溝 –	高坏	– △12.4 10.3 –	精緻	良	灰白色
北-18	Ⅳ-13-９	H26	273	Ｃ６	—	北側溝 –	皿	– △2.1 4.2 –	精緻	良	灰白色 釉，オリーブ灰
中-１	Ⅳ-13-９	H26	2842	Ｄ１	—	中央側溝 –	壺	※8.8 △5.65 – ※10.6	普通	良	にぶい褐色
中-２	Ⅳ-13-９	H26	3133	Ｄ１	—	中央側溝 –	甕	※18.6 △9.3 – –	普通	良	にぶい黄橙色
中-３	Ⅳ-13-９	H26	3017	Ｄ１	—	中央側溝 –	甕	※14.6 △6.75 – –	普通	良	にぶい黄橙色
中-４	Ⅳ-13-10	H26	2841	Ｄ０	—	中央側溝 –	甕	※13.8 △10.75 – –	普通	良	灰黄褐色
中-５	Ⅳ-13-10	H26	3028	Ｄ１	—	中央側溝 –	甕	※18.0 △8.7 – –	普通	良	浅黄橙色
中-６	Ⅳ-13-10	H26	2999 3019	Ｄ１・２	—	中央側溝 –	甕	※16.4 △19.6 – ※19.1	普通	良	灰白色
中-７	Ⅳ-13-10	H26	2842 3086	Ｄ１	—	中央側溝 –	甕	※22.0 △17.15 – ※27.0	普通	良	灰白色
中-８	Ⅳ-13-10	H26	3110	Ｄ１	—	中央側溝 –	高坏	– △5.65 ※11.4 –	普通	良	浅黄色
中-９	Ⅳ-13-10	H26	3049	Ｄ１	—	中央側溝 –	台付鉢	– △5.65 ※7.8 –	普通	良	浅黄色
中-10	Ⅳ-13-10	H26	3036 3037	Ｄ１	—	中央側溝 –	器台	※21.9 △10.6 – –	普通	良	にぶい黄橙色
中-11	Ⅳ-13-10	H26	2842	Ｄ１	—	中央側溝 –	器台	※19.3 △6.1 – –	普通	良	にぶい黄橙色
南-１	Ⅳ-13-12	H27	6967 6965	Ｇ６	—	南側溝 –	甕	※22.0 28.9 ※3.2 ※25.6	普通	良	にぶい黄褐色
南-２	Ⅳ-13-12	H26	2776 2803	Ｆ１・２	—	南側溝 –	甕	※14.5 △22.0 – ※21.1	普通	不良	灰白色
南-３	Ⅳ-13-12	H26	2802 7333	Ｆ０・１	—	南側溝 –	甕	※18.8 △8.8 – –	普通	良	にぶい黄橙色
南-４	Ⅳ-13-12	H27	7780	Ｆ５	—	南側溝 –	甕	18.35 △6.2 – –	普通	良	にぶい黄橙色
南-５	Ⅳ-13-12	H27	6965	Ｇ６	—	南側溝 –	甕	※13.3 △7.4 – –	普通	良	にぶい黄橙色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表98

掲載番号	挿図番号	調査年度	取上No.	グリッド	遺構面	遺構層位	器種/部位	口径(cm) 器高(cm) 底径(cm) 胴部最大径(cm)	胎土	焼成	色調
南-6	Ⅳ-13-12	H27	37 6966 6967	F・G6	—	南側溝 –	甕	※13.0 14.6 ※2.3 ※14.65	普通	良	灰白色
南-7	Ⅳ-13-12	H27	6	F5	—	南側溝 –	鉢	9.7 6.45 – 7.95	普通	良	浅黄橙色
南-8	Ⅳ-13-12	H27	6791	G6	—	南側溝 –	低脚坏	※13.8 △4.8 – –	普通	良	浅黄橙色
南-9	Ⅳ-13-12	H27	99	F7	—	南側溝 –	低脚坏	※14.6 6.45 6.0 –	普通	良	灰白色
南-10	Ⅳ-13-12	H26	2796	F1	—	南側溝 –	高坏	– △4.55 ※10.25 –	普通	良	灰白色
南-11	Ⅳ-13-12	H27	42	F2	—	南側溝 –	蓋	– △3.0 – –	普通	良	灰白色
南-12	Ⅳ-13-12	H27	6955	G7	—	南側溝 –	蓋	※13.7 5.5 – –	普通	良	にぶい橙色
南-13	Ⅳ-13-12	H27	7567	G7	—	南側溝 –	蓋	13.15 5.75 – –	普通	良	灰黄色
南-14	Ⅳ-13-12	H27	11	F5	—	南側溝 –	蓋	※13.3 7.05 – –	普通	良	灰黄褐色

第Ⅵ－２－１表　土器観察表99

掲載番号（取上№）	挿図番号	年度	グリッド	遺構面	遺構層位	器種	法量 長さ（ｃｍ）	幅（ｃｍ）	厚さ（ｃｍ）	重さ（ｇ）	石材
S0256	Ⅳ-２-４	H27	Ｇ６	第１面	－ Ⅱ層	剥片	2.4	2.8	1.4	7.6	黒曜石
S0301	Ⅳ-２-４	H27	Ｇ７	第１面	－ Ⅱ層	敲石	△11.6	5.3	5.2	△450.0	安山岩
S0312	Ⅳ-２-４	H27	Ｄ３	第１面	－ Ⅱ層	砥石	△7.1	4.9	1.1	△55.7	シルト岩～泥岩
S3402	Ⅳ-２-４	H26	Ｃ５	第１面	－ Ⅱ～Ⅳ層	石斧	10.6	6.4	4.9	590.0	安山岩
S1506	Ⅳ-２-４	H26	Ｂ３	第１面	－ Ⅱ層	剥片 （玉作り）	3.5	2.3	1.1	4.4	緑色碧玉
S1539	Ⅳ-２-４	H26	Ｃ４	第１面	－ Ⅱ層	凹石	13.3	10.8	8.8	1610.0	安山岩
S0364	Ⅳ-２-32	H27	Ｆ２	第１面	２Ｓ-372 埋土中	砥石	△7.6	△7.9	△2.5	△141.5	シルト岩～泥岩
S0807	Ⅳ-２-32	H27	Ｆ７	第１面	２Ｓ-555 埋土中	敲石	8.25	5	3.75	184.0	玄武岩～安山岩
S2775	Ⅳ-３-１	H26	Ｅ９	第２面	－ Ⅲ層	敲石	△7.6	△6.5	△4.7	340.0	安山岩～デイサイト
S3339	Ⅳ-４-４	H26	Ｃ４	第３面	－ Ⅳ層	敲石	6.7	5.1	5.0	220.0	花こう斑岩
S5845	Ⅳ-５-７	H26	Ｄ８	第４面	－ Ⅴ層	石皿	21.7	△14.1	8.5	△3140.0	溶結凝灰岩 （安山岩～デイサイト質）
S1235	Ⅳ-５-７	H27	Ｅ５	第４面	－ Ⅴ層下面精査中	砥石	4.6	3.1	0.6	12.7	シルト岩～泥岩
S2593	Ⅳ-５-41	H27	Ｇ６	第４面	２Ｓ-666 埋土下層	敲石	15.9	10.5	6	1500.0	安山岩
S2736	Ⅳ-５-41	H27	Ｇ６	第４面	２Ｓ-666 埋土下層	敲石	16.15	8.7	△5.8	△912.5	安山岩
S2816	Ⅳ-５-41	H27	Ｇ７	第４面	２Ｓ-666 埋土下層	砥石	10.9	2.9	1.9	90.2	安山岩
S2250	Ⅳ-５-41	H27	Ｇ６	第４面	２Ｓ-666 埋土下層	砥石	△8.65	3.2	1.5	△56.0	泥岩
S3050	Ⅳ-５-41	H27	Ｇ７	第４面	２Ｓ-672 埋土中	砥石	6.4	4.0	2.1	46.5	凝灰質泥岩
S2005	Ⅳ-５-50	H27	Ｅ５	第４面	２Ｓ-637 埋土中	砥石	△9.3	10.35	5.0	△545.0	砂岩
S4556	Ⅳ-５-57	H26	Ｃ６	第４面	２Ｓ-180 埋土中	石錘	5.5	3.6	3.3	94.4	安山岩
S6872	Ⅳ-５-57	H26	Ｄ５	第４面	２Ｓ-180 埋土中	石包丁	△4.7	△6.3	△1.0	△33.3	粘板岩
S4522	Ⅳ-５-57	H26	Ｃ６	第４面	２Ｓ-180 埋土中	石斧	18.9	5.6	3.9	690.0	緑色片岩
S4555	Ⅳ-５-58	H26	Ｃ５	第４面	２Ｓ-180 埋土中	敲石	8.6	6.9	4.7	330.0	ホルンフェルス （接触変成岩）
S4513	Ⅳ-５-58	H26	Ｃ５	第４面	２Ｓ-180 埋土中	砥石	△17.0	9.1	7.5	△1120.0	砂岩
S1543	Ⅳ-５-58	H27	Ｄ３	第４面	２Ｓ-180 埋土中	敲石	9.85	6.1	2.1	196.0	泥岩
S1940	Ⅳ-５-61	H28	Ｄ２	第４面	２Ｓ-650 埋土中	粗割礫	4.0	2.4	2.0	23.4	水晶（石英の結晶）
S4706	Ⅳ-６-７	H27	Ｆ５	第５面	－ Ⅴ-２層	砥石	△7.6	3.0	△1.3	△29.2	泥岩
S3834	Ⅳ-６-７	H27	Ｅ２	第５面	－ Ⅴ-２層	石包丁	6.5	15.7	0.9	△130.6	緑色岩
S3666	Ⅳ-６-７	H26	Ｃ１	第５面	－ Ⅴ-２層	石斧	△11.8	4.4	△5.7	△510.0	緑色片岩
S5987	Ⅳ-６-７	H26	Ｂ３	第５面	－ Ⅴ-２層	石錘	4.8	4.0	3.8	81.9	安山岩
S5862	Ⅳ-６-７	H26	Ｄ３	第５面	－ Ⅴ-２層	石斧	11.3	7.9	1.2	△174.8	粘板岩
S7198	Ⅳ-６-７	H26	Ｄ５	第５面	－ Ⅴ-２層	石斧	△9.3	5.5	4.3	△340.0	閃緑岩
S2148	Ⅳ-６-９	H27	Ｅ５	第５面	－ Ⅴ-２層	敲石	12.6	7.3	4.4	△510.0	安山岩
S7152	Ⅳ-６-９	H26	Ｃ１	第５面	東西アゼ２ Ⅴ-２層	敲石	14.1	4.3	3.0	△260.0	砂岩
S3386	Ⅳ-６-９	H27	Ｇ７	第５面	－ Ⅴ-２層	石皿	15.0	15.9	5.1	1010.0	砂岩
S2639	Ⅳ-６-34	H27	Ｅ５	第５面	２Ｓ-348 埋土中	砥石	△4.9	2.1	△0.5	△5.5	シルト岩～泥岩
S5273	Ⅳ-６-50	H27	Ｅ５	第５面	２Ｓ-759 埋土中	砥石	△8.8	△3.7	△2.8	△84.5	砂岩
S4410	Ⅳ-６-50	H27	Ｅ５	第５面	２Ｓ-758 埋土中	剥片 （玉作り）	△1.0	0.9	0.6	△0.9	緑色碧玉
S2625	Ⅳ-６-60	H27	Ｅ５	第５面	２Ｓ-730 サブトレンチ２	敲石	9.4	5.7	2.0	130.0	安山岩

第Ⅵ－２－２表　石器観察表１

掲載番号（取上No.）	挿図番号	年度	グリッド	遺構面	遺構層位	器種	法量 長さ（cm）	幅（cm）	厚さ（cm）	重さ（g）	石材
S3143	Ⅳ-6-60	H27	E5	第5面	2S-730 埋土中	石皿	25.7	22.0	9.1	6800.0	安山岩～デイサイト
S7159	Ⅳ-6-63	H26	C2	第5面	2S-292 埋土中	敲石	12.4	8.1	4.5	680.0	玄武岩質安山岩
S3554	Ⅳ-6-72	H27	E4	第5面	2S-699 埋土中	砥石	△9.8	8.4	△6.9	△839.0	凝灰岩
S1063	Ⅳ-6-84	H28	D4	第5面	2S-999 埋土中	石皿	33.0	25.1	9.9	8200.0	安山岩～デイサイト
S1379	Ⅳ-6-85	H28	D4	第5面	2S-999 埋土中	敲石	11.4	7.1	4.8	530.0	安山岩～デイサイト
S1848	Ⅳ-6-85	H28	D2	第5面	2S-290 埋土中	敲石	△11.25	9.1	5.1	△731.0	安山岩
S1755	Ⅳ-6-85	H28	D3	第5面	2S-999 埋土中	石錘	6.7	4.1	3.5	99.3	火山礫凝灰岩
S1017	Ⅳ-6-85	H28	D4	第5面	2S-999 埋土中	石鏃	2.0	1.4	0.2	0.6	安山岩または粘板岩？
S1800	Ⅳ-6-85	H28	D3	第5面	2S-999 埋土中	管玉	2.0	0.7	0.6	1.5	緑色岩
S1937	Ⅳ-6-85	H28	D4	第5面	2S-999 埋土中	石包丁	2.4	6.8	0.8	18.0	粘板岩
S5447	Ⅳ-6-85	H28	D4	第5面	2S-999 埋土中	石包丁	8.0	6.5	1.0	55.4	安山岩(板状節理)
S5742	Ⅳ-6-85	H26	D2	第5面	3S-39 埋土中	敲石	△13.4	△11.2	△5.3	△1010.0	安山岩
S4675	Ⅳ-6-96	H26	E1	第5面	3S-40 埋土中	石包丁	△3.3	△3.9	△0.7	△12.9	緑色片岩
S5692	Ⅳ-6-96	H26	E1	第5面	3S-40 埋土中	敲石	△10.7	△12.3	△4.0	△630.0	安山岩～デイサイト
S4447	Ⅳ-6-96	H26	F1	第5面	3S-40 埋土中	砥石	△3.6	2.5	△0.6	△6.5	泥岩
S4449	Ⅳ-6-96	H26	E1	第5面	3S-40 埋土中	砥石	△9.4	△5.2	△1.7	△116.1	凝灰岩
S5561	Ⅳ-6-96	H26	E1	第5面	3S-40 埋土中	砥石	18.0	7.7	5.6	970.0	安山岩
S4197	Ⅳ-7-8	H27	F5	第6面	－ Ⅴ-3層	砥石	△4.6	△2.6	△0.8	△8.1	泥岩
S5787	Ⅳ-7-50	H27	G7	第6面	2S-762 埋土中	敲石	12.2	5.3	3.8	340.0	安山岩～デイサイト
S4573	Ⅳ-7-50	H27	G6	第6面	2S-762 埋土中	砥石	6.8	3.9	1.7	72.0	泥岩
S4259	Ⅳ-8-5	H27	E4	第7面	－ Ⅴ-4層	石錐	△2.8	2.0	1.0	△4.3	黒曜石
S5283	Ⅳ-8-43	H26	C5	第7面	2S-245 埋土中	砥石	△7.1	8.1	4.8	△470.0	凝灰岩
S8772	Ⅳ-8-97	H27	D3	第7面	2S-764 埋土中	敲石	9.7	6.9	5.3	530.0	安山岩
S8470	Ⅳ-8-116	H27	G6	第7面	2S-824 埋土中	砥石	3.8	2.0	1.3	16.7	泥岩
S5932	Ⅳ-8-126	H27	F5	第7面	2S-763 埋土中	石核（玉作り）	4.6	3.4	2.7	33.3	緑色碧玉
S7495	Ⅳ-8-126	H27	E2	第7面	2S-763 下層	石斧	△4.7	△4.8	△2.3	△45.6	玄武岩～安山岩
S6183	Ⅳ-8-126	H27	E3	第7面	2S-763 埋土中	石斧	△8.6	△5.2	△4.0	△239.6	泥岩
S7925	Ⅳ-8-126	H27	E4	第7面	2S-763 下層	敲石	8.45	7	5.9	463.5	安山岩
S9068	Ⅳ-8-126	H27	E3	第7面	2S-763 杭35・36ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ －	砥石	△8.8	4.5	3.1	△177.5	シルト岩～泥岩
S5032	Ⅳ-8-152	H26	C2	第7面	3S-55 埋土中	剥片	△8.3	4.3	1.25	46.8	安山岩(サヌカイト)
S0101	Ⅳ-9-6	H28	D4	第8面	－ Ⅵ層	砥石	△13.1	△10.4	△6.2	△679.0	デイサイト～流紋岩
S0226	Ⅳ-9-6	H28	D4	第8面	－ Ⅵ層	楔形石器	2	2.1	1.3	4.4	水晶(石英の結晶)
S7309	Ⅳ-9-6	H26	C2	第8面	－ 2ライントレンチ Ⅵ層	石皿	12.6	△10.9	△3.6	△680.0	安山岩
S7271	Ⅳ-9-25	H26	D1	第8面	3S-76 埋土中	石核	8.5	8.1	5.5	530.5	安山岩
S4065	Ⅳ-9-52	H28	E5	第8面	2S-904 清掃中	管玉	△1.5	0.3	0.3	△0.1	緑色碧玉
S1210	Ⅳ-10-3	H28	C3	第9面	－ Ⅶ層	勾玉	2.4	1.3	0.8	3.7	泥岩
S7196	Ⅳ-10-3	H26	D2	第9面	－ Ⅶ層	石鍬	23.4	14.8	2.7	990.5	安山岩(サヌカイト)
S3119	Ⅳ-10-16	H28	C3	第9面	－ 住居跡貼り床内	敲石	16.1	9.4	5.8	1170.0	安山岩

第Ⅵ－２－２表　石器観察表２

掲載番号（取上№）	挿図番号	年度	グリッド	遺構面	遺構 層位	器種	法量 長さ（ｃｍ）	幅（ｃｍ）	厚さ（ｃｍ）	重さ（ｇ）	石材
S1742A	Ⅳ-11-３	H28	Ｃ３	第10面	－ Ⅷ層	石包丁	5.0	4.5	0.5	19.1	緑色片岩
S1535	Ⅳ-11-３	H28	Ｄ２	第10面	－ Ⅷ層	敲石	△7.9	10.1	△6.4	△699.0	シルト岩
S9103	Ⅳ-11-31	H27	Ｆ６	第10面	２S-833 埋土中	敲石	△9.8	△7.2	4.3	△430.0	砂岩
S1588	Ⅳ-11-35	H28	Ｄ８	第10面	２S-1025 埋土中	台石	28.3	15.9	11.8	8200.0	安山岩
S2036	Ⅳ-11-38	H28	Ｄ８	第10面	２S-1029 埋土中	敲石	11.7	6.5	5.9	670.0	安山岩
S8246	Ⅳ-12-４	H26	Ｄ１	第11面	－ Ｘ層	削器	4.7	3.8	1.1	23.9	黒曜石
S1914	Ⅳ-12-50	H28	Ｄ８	第11面	２S-1030 埋土中	石核	4.8	3.9	3.6	90.3	緑色碧玉
S2302	Ⅳ-12-60	H28	Ｄ８	第11面	２S-1065 埋土中	敲石	10.8	7.6	4.9	510.0	安山岩～デイサイト
S4600	Ⅳ-12-65	H28	Ｄ８	第11面	２S-1265 （Ⅴ-４層取上）	石錘	5.5	3.5	3.1	46.9	安山岩スコリア
S2135	Ⅳ-12-71	H28	Ｃ４	第11面	２S-1057 埋土中	玉未製品	3.7	1.4	1.3	7.2	凝灰岩
S2769	Ⅳ-12-105	H28	Ｅ４	第11面	２S-840 埋土中	石鏃	△5.5	2.5	0.6	△7.5	安山岩(サヌカイト)
S3361	Ⅳ-12-105	H28	Ｅ４	第11面	２S-840 下層	石鍬	14.5	6	2.6	264.5	シルト岩
S9044	Ⅳ-12-105	H27	Ｆ５	第11面	２S-840 中層	敲石	14.6	6.0	3.7	440.0	安山岩
S2685	Ⅳ-12-105	H28	Ｅ４	第11面	２S-840 上層	剥片	△1.8	△1.8	△0.5	△1.4	泥岩
S3143	Ⅳ-12-105	H28	Ｅ４	第11面	２S-840 中層	敲石	9	8.3	4.7	609.0	玄武岩～安山岩
S3355	Ⅳ-12-105	H28	Ｅ４	第11面	２S-840 中層	敲石	10.6	6.5	5.6	575.0	安山岩
S0219	Ⅳ-13-１	H27	Ｇ６	－	撹乱 －	石核 （玉作り）	4.3	3.3	2.5	39.9	緑色碧玉
S0213	Ⅳ-13-４	H26	Ｃ２	－	東側溝 －	石錘	6.3	5.2	1.3	73.0	シルト岩～泥岩
S0492	Ⅳ-13-５	H26	Ｃ４	－	４ライントレンチ －	石斧	3.5	5.8	1.6	44.7	泥岩
S0581	Ⅳ-13-５	H26	Ｂ・Ｃ４	－	４ライントレンチ －	石錘？	5.0	3.6	2.6	65.0	花こう岩
S1681	Ⅳ-13-６	H28	Ｅ４	－	５ライントレンチ 拡張部分 －	石斧	3.9	1.1	1.1	8.1	泥岩
S2453	Ⅳ-13-７	H28	Ｃ５	－	６ライントレンチ －	石皿	33.2	26.4	8.5	9000.0	安山岩
S2872	Ⅳ-13-８	H28	Ｃ８	－	８ライントレンチ 拡張部分 －	石斧	11.7	3.8	2.5	176.7	シルト岩
S2250	Ⅳ-13-８	H28	Ｄ８	－	８ライントレンチ 西側壁面 －	石錘	7.2	6.1	4.6	245.6	安山岩～デイサイト
S0281	Ⅳ-13-９	H26	Ｃ７	－	北側溝 －	石斧転用 叩石	10.5	4.5	3.2	260.7	泥岩
S1711	Ⅳ-13-10	H26	Ｄ５	－	中央側溝 －	石包丁	5.6	8.9	0.6	48.8	泥岩
S2675	Ⅳ-13-11	H28	Ｅ４	－	Ｅ・Ｆライン間 トレンチ －	直方体 （玉作り）	2.4	1.2	1.0	5.1	緑色碧玉
S0984	Ⅳ-13-11	H27	Ｅ５	－	Ｅ・Ｆライン間 トレンチ －	石鍬	16.3	7.0	2.95	427.0	泥岩
S8095	Ⅳ-13-15	H27	Ｇ７	－	Ｈ７-２トレンチ －	石包丁	7.1	18.3	1.3	262.2	緑色片岩
S6954	Ⅳ-13-15	H27	Ｇ７	－	Ｈ７-２トレンチ 下層 －	環状石斧	7.4	8.1	1.4	96.0	玄武岩～安山岩
S1970	Ⅳ-13-16	H28	Ｃ８	－	－ 層位不明	石包丁	5.6	5.6	0.7	37.0	無斑晶状安山岩
S0094	Ⅳ-13-16	H28	Ｃ３	－	東西サブ トレンチ１ －	石皿	21.6	18.3	5.3	2840.0	安山岩

第Ⅵ－２－２表　石器観察表３

掲載番号（取上No.）	挿図番号	年度	グリッド	遺構面	遺構層位	器種	法量 長さ（ｃｍ）	幅（ｃｍ）	厚さ（ｃｍ）	備考
Br0265	Ⅳ-２-31	H27	Ｇ６	第１面	２S-370 埋土中	巴形銅器	△8.0	7.8	1.15	68.87g
F2992	Ⅳ-３-１	H26	Ｃ７	第２面	－ Ⅲ層	棒状品	10.7	1.54	0.86	
Br1160	Ⅳ-３-１	H27	Ｅ４	第２面	－ Ⅲ層	銅鏃	1.8	0.95	0.15	
Br1746	Ⅳ-５-61	H27	Ｄ３	第４面	２S-650 埋土中	素文鏡	2.3	2.35	0.5	
F2147	Ⅳ-６-９	H27	Ｅ４	第５面	－ Ⅴ-２層	板状品	13.5	2.8	0.8	
Br1296	Ⅳ-７-８	H26	Ｆ６	第６面	南側溝 Ⅴ-３槽	銅鏃	4.1	1.15	0.4	
Br4068	Ⅳ-９-52	H28	Ｅ５	第８面	２S-904 清掃中	銅鏃	3.05	2.05	0.3	
Br1837	Ⅳ-13-１	H26	Ｄ７	－	－ Ⅰｂ層	八禽鏡	△6.7	△3.85	0.45	31.5g 復元径9.1ｃｍ
F0509	Ⅳ-13-10	H26	Ｄ３	－	中央側溝 －	袋状鉄斧	8.7	3.5	1.35	

第Ⅵ－２－３表　金属器観察表

取上No.	挿図番号	年度	グリッド	遺構面	遺構層位	種類	法量 径（ｃｍ）	孔径（ｃｍ）	厚さ（cm）	重さ（ｇ）
C0293	Ⅳ-２-４	H27	Ｅ３	第１面	－ Ⅱ層	元聖元宝	2.51	0.6	0.13	3
C1795	Ⅳ-13-３	H26	Ｄ７	－	－ Ⅰｂ層	至道元宝	2.4	0.61	0.14	2
C3940	Ⅳ-13-３	H26	Ｄ６	－	－ Ⅰｂ層	古寛永	2.54	0.5	0.12	3
C0261	Ⅳ-13-10	H26	Ｄ４・５	－	中央側溝 －	古寛永	2.34	0.48	0.12	3

第Ⅵ－２－４表　古銭観察表

掲載番号（取上No.）	挿図番号	年度	グリッド	遺構面	遺構層位	器種	法量 長さ（ｃｍ）	幅（ｃｍ）	厚さ（ｃｍ）	色調
B2872	Ⅳ-６-59	H27	Ｅ５	第５面	２S-730 底面	勾玉	1.2	0.8	0.45	淡青
B3752	Ⅳ-12-104	H27	Ｆ５	第11面	２Ｓ-840 ６ライン トレンチ89層	小玉	0.31	0.42		淡青

第Ⅵ－２－５表　ガラス玉観察表

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
0211	Ⅳ-２-３	H27	G６	第１面	－ Ⅱ層	底板	△9.0 △2.6 △0.6		柾目			
0230	Ⅳ-２-３	H27	E５	第１面	－ Ⅱ層	蓋	△13.3 △3.2 0.55		追柾目			
0258	Ⅳ-２-３	H27	G７	第１面	－ Ⅱ層	建築部材	△50.6 17.1 2.4		板目			
1407	Ⅳ-２-３	H26	C３	第１面	－ Ⅱ層	底板	7.75 △6.6 0.8		追柾目			割れあり
1439	Ⅳ-２-３	H26	C２	第１面	－ Ⅱ層	椀	－ △5.0 －	トチノキ	横木取	有	真空凍結乾燥	両面朱漆塗
1483	Ⅳ-２-３	H26	C２	第１面	－ Ⅱ層	椀	－ △4.4 －	トチノキ	横木取	黒漆	真空凍結乾燥	外面に赤彩残る
1514	Ⅳ-２-３	H26	D３	第１面	－ Ⅱ層	椀	－ △4.2 －	ブナ属	横木取	有	真空凍結乾燥	外面黒漆塗、 内面ベンガラ漆塗
1514A	Ⅳ-２-３	H26	D３	第１面	－ Ⅱ層	底板	△15.7 △13.8 1.1		板目			２点接合可
2251	Ⅳ-２-19	H26	C３	第１面	２S-75 埋土中	柱	△72.05 15.7 15.65		芯去材 (分割材)			
2782	Ⅳ-２-19	H26	C３	第１面	２S-72 埋土中	柱	△52.9 16.75 16.1		芯持材			
4093	Ⅳ-２-20	H26	D６	第１面	２S-45 埋土中	柱	△22.7 20.8 10.0		芯持材			
7374	Ⅳ-２-20	H26	D５	第１面	２S-361 埋土中	柱	△26.9 14.1 13.5		芯持材			
7962	Ⅳ-２-20	H26	D６	第１面	２S-343 埋土中	柱	△35.3 21.3 22.5		芯持材			
0895	Ⅳ-２-21	H27	E２	第１面	２S-376 埋土中	柱	△52.5 17.2 16.2		芯持材			
7396	Ⅳ-２-21	H26	C１	第１面	３S-62 埋土中	柱	△40.6 18.0 17.4		芯持材			
0894	Ⅳ-２-22	H27	F２	第１面	２S-576 埋土中	柱	△72.8 16.15 13.25		芯持材			
7395	Ⅳ-２-22	H26	C１	第１面	３S-72 埋土中	柱	△59.5 21.5 19.7		芯持材			
9544	Ⅳ-２-26	H27	F６	第１面	２S-842 埋土中	柱	△41.2 15.8 14.7		芯持材			
1966 2020	Ⅳ-２-28	H27	E６	第１面	２S-593 埋土中	不明 (板状品)	△50.0 19.2 2.1	スギ	柾目		真空凍結乾燥	
0741	Ⅳ-２-33	H27	D２	第１面	２S-479 埋土中	杭	△25.7 10.4 7.1		芯持材 (分割材)			
5497	Ⅳ-２-33	H27	E３	第１面	２S-786 埋土中	紡錘車	△12.0 △9.2 1.7		追柾目			中央部穴あり
2828	Ⅳ-２-38	H27	D５	第１面	２S-733 埋土中	不明 (分割材)	45.7 8.9 9.1		追柾目 (分割材)			
2830	Ⅳ-２-38	H27	D５	第１面	２S-733 埋土中	不明 (分割材)	48.8 11.3 5.8		追柾目 (分割材)			
2851	Ⅳ-２-38	H27	D５	第１面	２S-733 埋土中	不明 (分割材)	48.2 11.4 7.3		板目 (分割材)			
2829	Ⅳ-２-39	H27	D５	第１面	２S-733 埋土中	槽	43.0 24.4 4.6		柾目			
7082	Ⅳ-２-40	H26	D１	第１面	３S-90 埋土中	不明 (板状品)	13.6 4.4 1.0		追柾目			穴１つあり
2722	Ⅳ-２-45	H26	D３	第１面	２S-66 埋土中	建築部材	△29.35 4.2 3.2		板目			
2864	Ⅳ-３-６	H26	C８	第２面	－ Ⅲ層	蓋	△16.5 △6.2 0.8		板目			桜の皮付き
3385	Ⅳ-３-６	H26	E９	第２面	２S-104 埋土中	柱	△29.0 17.2 16.2		芯持材			
3387	Ⅳ-３-６	H26	E９	第２面	２S-108 埋土中	柱	△45.7 18.0 12.0		芯去材			
2217	Ⅳ-４-４	H27	G６	第３面	－ Ⅳ層	底板	△8.5 △2.5 △0.5		柾目			

第Ⅵ－２－６表　木器観察表１

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
3858	Ⅳ-4-4	H26	D7	第3面	Ⅳ層	建築部材	△128.8 △13.2 1.5		追柾目			
3860	Ⅳ-4-4	H26	D7	第3面	－ Ⅳ層	不明 (棒状品)	49.75 3.7 1.5	イチイ属	板目		真空凍結乾燥	
4090	Ⅳ-4-4	H26	D5	第3面	－ Ⅳ層	建築部材	△79.3 △25.5 2.4		柾目			
4268	Ⅳ-4-6	H26	D5	第3面	2S-152 埋土中	柱	△22.4 16.8 16.0		芯持材			
4269	Ⅳ-4-6	H26	C3	第3面	2S-155 埋土中	柱	△20.0 10.55 10.1		芯持材			
7435	Ⅳ-4-6	H26	D9	第3面	2S-319 埋土中	柱	△26.6 9.0 7.5		芯持材			
7436	Ⅳ-4-6	H26	E9	第3面	2S-321 埋土中	柱	△27.7 14.5 15.4		芯持材 (分割材)			
4271	Ⅳ-4-7	H26	D8	第3面	2S-136 埋土中	杭	△48.7 7.2 7.4		芯持材 (丸太材)			
4272	Ⅳ-4-7	H26	D8	第3面	2S-136 埋土中	杭	△49.2 7.4 6.6		芯持材 (丸太材)			
4218	Ⅳ-4-19	H26	C8	第3面	2S-138 埋土中	不明 (刺突具？)	143.3 3.4 2.95		板目			
4750	Ⅳ-4-19	H26	C8	第3面	2S-138 埋土中	不明 (部材)	18.5 △12.25 0.9		柾目			
4759	Ⅳ-4-19	H26	C8	第3面	2S-138 埋土中	機織具？	△26.75 3.15 1.2		板目			
4774	Ⅳ-4-19	H26	C8	第3面	2S-138 埋土中	不明 (棒状品)	△23.3 3.35 3.0		芯持材			
4777	Ⅳ-4-19	H26	C8	第3面	2S-138 埋土中	建築部材	46.9 7.3 3.1		板目			
7439	Ⅳ-4-19	H26	C8	第3面	2S-138 埋土中	不明	30.6 △8.0 1.8		柾目			
7442	Ⅳ-4-19	H26	C8	第3面	2S-138 埋土中	不明	28.0 7.6 1.0		追柾目			
1177	Ⅳ-5-7	H27	E5	第4面	－ Ⅴ層	不明	△42.7 △12.2 △1.3		板目			
5109	Ⅳ-5-7	H26	D6	第4面	－ Ⅴ層	容器	－ △2.0 －	トチノキ	横木取		真空凍結乾燥	
8499A	Ⅳ-5-8	H26	C5・6	第4面	－ Ⅴ層	樋	172.0 14.9 6.1		芯去材			
8499B	Ⅳ-5-8	H26	C5・6	第4面	－ Ⅴ層	建築部材	277.9 18.6 1.7		板目			
6925	Ⅳ-5-17	H26	B3	第4面	2S-307 埋土中	柱	△46.65 12.6 11.7		芯持材			
7006	Ⅳ-5-17	H26	D9	第4面	2S-192 埋土中	柱	△33.45 18.0 18.7		芯去材			
7192	Ⅳ-5-17	H26	D4	第4面	2S-318 埋土中	柱	△44.7 11.4 10.8		芯持材			
7498	Ⅳ-5-17	H26	D6	第4面	2S-344 埋土中	柱	△25.85 16.55 10.6		芯持材 (分割材)			
8311	Ⅳ-5-17	H26	D9	第4面	2S-193 埋土中	柱	△10.85 13.55 10.75		芯持材			
2487	Ⅳ-5-40	H27	G6	第4面	2S-666 埋土下層	不明 (板状品)	△32.6 △10.2 1.6		板目			
2676	Ⅳ-5-40	H27	G6	第4面	2S-666 埋土上層	不明	62.1 19.25 3.4		板目			
2751	Ⅳ-5-40	H27	G7	第4面	2S-666 埋土下層	桶	△26.7 △13.9 6.1		縦木取			
1872	Ⅳ-5-50	H27	E5	第4面	2S-637 底面	杭	△53.1 10.2 6.0		芯去材			
1191	Ⅳ-5-51	H28	E5	第4面	2S-977 －	高杯	－ 5.2 △13.7	ヤマグワ	横木取	黒		
4505	Ⅳ-5-59	H26	C5	第4面	2S-180 埋土中	杭	△16.6 8.3 4.4		芯去材 (樹皮付半裁 丸太材)			

第Ⅵ－２－６表　木器観察表２

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
4553	Ⅳ-５-59	H26	Ｃ６	第４面	２S-180 埋土中	不明	△3.5 △6.95 0.95		板目			
4630	Ⅳ-５-59	H26	Ｄ４	第４面	２S-180 埋土中	杭	△21.2 5.1 4.9		芯持材 (丸太材)			
4700	Ⅳ-５-59	H26	Ｄ４	第４面	２S-180 埋土中	杭 (転用材)	△33.0 △10.4 △8.8		芯持材 (丸太材)			全10点　接合不可
4701	Ⅳ-５-59	H26	Ｄ４	第４面	２S-180 埋土中	杭 (転用材)	△16.95 12.4 9.4		芯持材 (丸太材)			
4920	Ⅳ-５-59	H26	Ｄ４	第４面	２S-180 埋土中	脚 (腰掛)	37.7 13.7 4.1	スギ	追柾目			
6825	Ⅳ-５-59	H26	Ｄ５	第４面	２S-180 埋土中	機織具	45.7 2.8 1.4	スギ	板目			
3634	Ⅳ-６-10	H26	Ｅ１	第５面	－ Ⅴ-２層	容器 (脚裾部)	－ △2.9 ※16.0		横木取			
5254	Ⅳ-６-10	H26	Ｄ６	第５面	－ Ⅴ-２層	刀形	△52.50 2.7 1.0		板目			
5256	Ⅳ-６-10	H26	Ｄ６	第５面	－ Ⅴ-２層	栓？	△18.5 2.2 2.2		芯去材			
7029	Ⅳ-６-10	H26	Ｄ６	第５面	－ Ⅴ-２層	建築部材	△216.6 19.6 1.9		板目			
7034	Ⅳ-６-10	H26	Ｄ６	第５面	－ Ⅴ-２層	建築部材	41.5 14.8 9.4		芯持材			
6997	Ⅳ-６-18	H26	Ｄ２	第５面	２S-289 埋土中	柱	△38.55 15.8 14.0		芯持材			
7201	Ⅳ-６-18	H26	Ｃ３	第５面	２S-278 埋土中	柱	△39.0 8.0 6.8		芯持材 (丸太材)			
7202	Ⅳ-６-18	H26	Ｃ２	第５面	２S-291 埋土中	柱	△51.0 12.3 12.9		芯持材			
3280	Ⅳ-６-19	H27	Ｅ４	第５面	２S-704 埋土中	柱	△75.4 15.2 14.0		芯持材			
6377	Ⅳ-６-19	H27	Ｅ４	第５面	２S-705 埋土中	柱	62.2 14.7 12.6		芯持材			
6567	Ⅳ-６-19	H27	Ｅ４	第５面	２S-705 埋土中	柱	△44.6 13.1 13.5		芯持材			
3281	Ⅳ-６-20	H27	Ｄ４	第５面	２S-713 埋土中	柱	△45.05 12.3 9.1		芯持材			
4096	Ⅳ-６-20	H26	Ｂ２	第５面	３S-10 埋土中	柱	△24.9 17.3 8.9		板目			
4393	Ⅳ-６-22	H27	Ｅ５	第５面	２S-761 埋土中	礎板 (転用材)	54.2 △31.0 △1.9		板目			
4490	Ⅳ-６-22	H27	Ｅ５	第５面	２S-761 埋土中	礎板 (転用材)	50.5 △30.2 2.05		板目			
4647	Ⅳ-６-22	H27	Ｅ５	第５面	２S-761 埋土中	礎板 (転用材)	50.6 8.2 5.3		芯去材 (追柾目)			
4648	Ⅳ-６-22	H27	Ｅ５	第５面	２S-761 埋土中	礎板 (転用材)	48.4 7.8 4.8		芯去材 (追柾目)			
4481	Ⅳ-６-29	H27	Ｇ７	第５面	２S-742 埋土中	桶	△71.7 △72.9 6.9	スギ	縦木取		高級アルコール	
7502	Ⅳ-６-32	H26	Ｄ６	第５面	２S-347 埋土中	剣形	33.0 3.9 2.5	カヤ	芯去材			貫通穴４つあり
7848	Ⅳ-６-32	H26	Ｄ６	第５面	２S-347 埋土中	杭	50.1 3.45 3.1		追柾目			
7871	Ⅳ-６-32	H26	Ｄ６	第５面	２S-347 埋土中	梯子	△21.6 22.0 8.6		板目			
9556	Ⅳ-６-32	H27	Ｅ５	第５面	２S-347 埋土中	建築部材	△181.25 5.6 2.5		板目			
2752	Ⅳ-６-34	H27	Ｅ５	第５面	２S-348 埋土中	蓋	△16.6 △5.4 △0.8		追柾目			
2765	Ⅳ-６-34	H27	Ｅ５	第５面	２S-348 底面	不明 (板状品)	△33.4 24.6 1.0	スギ	柾目		真空凍結乾燥	
7525	Ⅳ-６-34	H26	Ｄ６	第５面	２S-348 埋土中	不明 (棒状品)	△67.7 4.05 3.9		板目			
4597	Ⅳ-６-39	H27	Ｅ２	第５面	２S-754内杭３ サブトレンチ －	槽	△16.7 6.45 1.5	カヤ	横木取			

第Ⅵ－２－６表　木器観察表３

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
5782 8382	Ⅳ-6-39	H27	E2	第5面	2S-754 –	杭	74.9 9.7 4.3		芯持材 (樹皮付 丸太材)			杭8 全4点接合可
6152	Ⅳ-6-43	H27	G7	第5面	2S-738 埋土中	杭	△81.5 6.7 5.7		板目			
4391	Ⅳ-6-50	H27	E5	第5面	2S-758 埋土中	杙	△22.2 2.0 1.7		追柾目			
4651	Ⅳ-6-50	H27	E5	第5面	2S-759 埋土中	不明 (板状品)	38.2 7.3 2.9		板目			
4664	Ⅳ-6-50	H27	E5	第5面	2S-759 埋土中	火鑽臼	△19.1 2.4 1.5		柾目			
5252	Ⅳ-6-50	H27	E5	第5面	2S-759 埋土中	不明 (棒状品)	37.5 2.7 1.4		柾目			
2936	Ⅳ-6-51	H27	D4	第5面	2S-698 埋土中	不明 (櫂状)	△34.85 △8.4 1.5	スギ	板目			
2920	Ⅳ-6-60	H27	E5	第5面	2S-730 底面	蓋	※26.8 △3.6 –	スギ	横木取	有		2点接合可　表面穿孔1か所　立ち上がりに目釘5か所
3055	Ⅳ-6-60	H27	E5	第5面	2S-730 埋土中	タタリ	12.2 16.8 器高4.5 厚さ3.7	スダジイ	横木取		真空凍結乾燥	穴幅2.0 ほぞ穴にはまる別材あり
2922	Ⅳ-6-61	H27	E5	第5面	2S-730 埋土中	不明 (部材)	△23.05 2.1 1.05		板目			
3221	Ⅳ-6-61	H27	E5	第5面	2S-730 底面	不明	48.8 15.1 1.3	スギ	板目			穴多数あり
3225	Ⅳ-6-61	H27	E5	第5面	2S-730 底面	不明 (杭状)	△92.2 4.95 1.2		板目			
3809	Ⅳ-6-61	H27	E5	第5面	2S-730 底面	栓	△9.9 6.9 2.2		追柾目			
3230	Ⅳ-6-62	H27	E5	第5面	2S-730 底面	不明 (板状品)	40.9 21.7 4.7		追柾目			
3119	Ⅳ-6-62	H27	E5	第5面	2S-730 埋土中	臼	△79.8 △49.8 △65.8		縦木取		トレハロース	
3223	Ⅳ-6-62	H27	E5	第5面	2S-730 底面	建築部材	△191.8 △24.1 1.5		板目			
2745	Ⅳ-6-73	H27	E4	第5面	2S-701 埋土中	有頭棒	△45.3 2.9 1.5		板目			
2893	Ⅳ-6-73	H27	F5	第5面	2S-703 埋土下層	不明	△32.3 8.7 2.0		柾目			
3163	Ⅳ-6-73	H27	F5	第5面	2S-703 底面	不明 (板状品)	△14.85 36.7 1.25		板目			
3550	Ⅳ-6-73	H27	E3	第5面	2S-703 底面	火鑽臼	16.1 2.7 1.4	マタタビ属	横木取		真空凍結乾燥	
3678	Ⅳ-6-73	H27	E4	第5面	2S-701 埋土中	杙	23.8 3.15 1.85	ヒノキ属？	柾目			
3679	Ⅳ-6-73	H27	E4	第5面	2S-701 埋土中	不明 (桶転用)	20.75 7.4 1.15		板目			
2886	Ⅳ-6-74	H27	E4	第5面	2S-703 埋土下層	建築部材	△184.0 5.9 1.7		板目			炭化
2887	Ⅳ-6-74	H27	E4	第5面	2S-703 埋土下層	建築部材	198.4 6.2 1.7		板目			
2888	Ⅳ-6-74	H27	E4	第5面	2S-703 埋土下層	建築部材	△207.4 4.1 1.8		板目			
2889	Ⅳ-6-74	H27	E4	第5面	2S-703 埋土下層	建築部材	△202.5 5.1 1.7		追柾目			
3449	Ⅳ-6-74	H27	E4	第5面	2S-703 埋土中	不明 (板状品)	53.5 9.6 1.8		板目			
3130	Ⅳ-6-75	H27	F5	第5面	2S-703 埋土下層	梯子	△50.9 19.0 8.1		板目			
3553	Ⅳ-6-75	H27	E3	第5面	2S-703 底面	梯子	△34.3 △11.7 △5.4		板目			
1060	Ⅳ-6-86	H28	D4	第5面	2S-999 –	桶	△28.4 17.1 3.1		追柾目			
1061	Ⅳ-6-86	H28	D4	第5面	2S-999 –	直柄横鍬 (未製品)	28.5 15.8 2.2	アカガシ亜属				

第Ⅵ－２－６表　木器観察表４

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
1260	Ⅳ-６-86	H28	Ｄ２	第５面	２S-290 －	木錘	△8.7 △9.8 △7.2		芯持材			
1765	Ⅳ-６-86	H28	Ｄ２	第５面	２S-290 埋土中	建築部材	△55.3 15.3 1.5		板目			
6460	Ⅳ-６-86	H26	Ｄ２	第５面	３S-39 埋土中	不明 (板状品)	△39.3 6.6 2.4		板目			枘穴１
8185	Ⅳ-６-86	H26	Ｄ２	第５面	３S-39 埋土中	不明 (部材)	△4.4 △6.7 1.4		板目			
1613	Ⅳ-６-87	H28	Ｄ２	第５面	２S-290 －	不明 (板状品)	△36.8 △19.0 2.1		追柾目			
1766	Ⅳ-６-87	H28	Ｄ２	第５面	２S-290 －	不明 (棒状品)	△103.0 3.4 3.2		柾目			
1962	Ⅳ-６-87	H28	Ｄ３	第５面	２S-999 －	杭	△48.6 8.1 3.6		板目			
1963	Ⅳ-６-87	H28	Ｄ３	第５面	２S-999 －	杭	△49.4 7.6 3.4		板目			
4105	Ⅳ-６-87	H26	Ｄ１	第５面	３S-39 埋土上層	建築部材	△71.7 15.7 2.8		板目			
1953	Ⅳ-６-88	H28	Ｄ３	第５面	２S-999 －	杭	△25.7 8.4 3.5		板目			
5008	Ⅳ-６-88	H28	Ｄ３	第５面	２S-999 底面	杭	△25.0 8.1 4.0		板目			
5010	Ⅳ-６-88	H28	Ｄ３	第５面	２S-999 底面	杭	△21.7 9.0 4.0		板目			
4230	Ⅳ-６-91	H26	Ｅ１	第５面	３S-40-2 埋土中	不明 (板状品)	27.25 10.0 1.95		板目			
8404	Ⅳ-６-91	H26	Ｅ１	第５面	３S-40-2 埋土中	紡錘車	6.5 6.8 0.7	クワ属	柾目		真空凍結乾燥	紡輪部分
8407A	Ⅳ-６-91	H26	Ｅ１	第５面	３S-40-2 埋土中	枠	14.3 2.2 1.1		板目			
1284	Ⅳ-７-10	H26	Ｆ６	第６面	南側溝 －	槽	△24.4 30.5 器高△6.2 厚さ5.1	スギ	柾目		真空凍結乾燥	
4126	Ⅳ-７-10	H27	Ｇ７	第６面	－ Ⅴ-３層上面	梯子	△37.5 16.6 8.5		柾目			
4281	Ⅳ-７-10	H27	Ｅ３	第６面	－ Ⅴ-３層	アカトリ	△23.70 15.85 1.70		板目			
4839	Ⅳ-７-10	H27	Ｇ７	第６面	－ Ⅴ-３層	底板	12.1 11.6 0.7		追柾目			
4978	Ⅳ-７-10	H27	Ｇ７	第６面	－ Ⅴ-３層	桶	△39.0 △19.1 4.3	スギ	縦木取		真空凍結乾燥	
4276A	Ⅳ-７-10	H27	Ｅ３	第６面	－ Ⅴ-３ｂ層	紡錘車	△5.3 △6.8 1.15		柾目			
4276B	Ⅳ-７-10	H27	Ｅ３	第６面	－ Ⅴ-３ｂ層	紡錘車	△7.45 △4.15 0.55		板目			
4837	Ⅳ-７-11	H27	Ｇ７	第６面	－ Ⅴ-３層	桶	59.5 △26.1 4.9	スギ	縦木取		真空凍結乾燥	
4838	Ⅳ-７-11	H27	Ｇ７	第６面	－ Ⅴ-３層	桶	△60.2 △57.0 5.8	スギ	縦木取	内：黒彩	真空凍結乾燥	
4841	Ⅳ-７-11	H27	Ｇ７	第６面	－ Ⅴ-３層	桶	63.5 △17.4 4.0	スギ	縦木取	内：黒彩	真空凍結乾燥	
5193	Ⅳ-７-11	H27	Ｇ７	第６面	－ Ⅴ-３層	桶	△48.3 △29.3 3.2	スギ	縦木取		真空凍結乾燥	
5279	Ⅳ-７-11	H27	Ｇ６	第６面	－ Ⅴ-３層	盾	△51.05 △13.45 1.25		板目			
5278・5282	Ⅳ-７-11	H27	Ｇ６	第６面	－ Ⅴ-３層	盾	△50.3 △20.7 1.3	モミ属	板目		真空凍結乾燥	
4122	Ⅳ-７-12	H27	Ｇ７	第６面	－ Ⅴ-３層上面	杓子形木器	△24.3 11.6 1.7		柾目			
4844	Ⅳ-７-12	H27	Ｇ７	第６面	－ Ⅴ-３層	不明	32.2 12.9 5.35		板目			
4931	Ⅳ-７-12	H27	Ｇ７	第６面	－ Ⅴ-３層	不明 (部材)	39.4 28.75 1.8	スギ	板目			

第Ⅵ－２－６表　木器観察表５

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
5461	Ⅳ-7-12	H27	G7	第6面	－ V-3層	鳥形	24.5 3.7 1.65		板目			
4974	Ⅳ-7-12	H27	G7	第6面	－ V-3層	杓子形木器	17.7 7.4 0.9		板目			
4193	Ⅳ-7-13	H27	E5	第6面	－ V-3層	建築部材	△21.6 9.0 4.6		柾目			
4840	Ⅳ-7-13	H27	G7	第6面	－ V-3層	柱	△148.7 23.85 9.3		芯持材			
4850	Ⅳ-7-13	H27	G7	第6面	－ V-3層	建築部材	△28.3 △16.1 1.7		板目			穴2ヶ所あり
4875	Ⅳ-7-13	H27	G7	第6面	－ V-3層	建築部材	△120.4 △13.6 △2.2	スギ	柾目		真空凍結乾燥	
4912	Ⅳ-7-14	H27	G7	第6面	－ V-3層	建築部材	△55.2 △9.3 4.4		柾目			
5379	Ⅳ-7-14	H27	G7	第6面	－ V-3層	建築部材	△42.2 △11.0 2.1		追柾目			
7900	Ⅳ-7-29	H26	D6	第6面	2S-266 堀方埋土	礎板	67.0 16.3 4.2		板目			
7901	Ⅳ-7-29	H26	D6	第6面	2S-266 堀方埋土	礎板	△69.6 15.3 3.2		板目			
8312	Ⅳ-7-29	H26	D6	第6面	2S-313 堀方埋土	礎板	△65.75 9.45 2.8		追柾目			
7899	Ⅳ-7-30	H26	D5	第6面	2S-314 掘方埋土	礎板	68.3 31.6 5.4		板目			
7905	Ⅳ-7-30	H26	D5	第6面	2S-315 堀方埋土	礎板	52.1 13.3 3.8		板目			
8007	Ⅳ-7-30	H26	D5	第6面	2S-315 堀方埋土	礎板	25.2 12.9 3.5		柾目			
8304	Ⅳ-7-30	H26	D6	第6面	2S-313 堀方埋土	礎板	63.2 △10.2 3.0		板目			
7536 7537	Ⅳ-7-30	H26	D5	第6面	2S-316 堀方埋土	礎板	69.8 31.4 3.5		板目			
7539	Ⅳ-7-31	H26	D5	第6面	2S-315 掘方埋土	礎板	42.1 15.4 3.5		板目			
7566	Ⅳ-7-31	H26	D5	第6面	2S-316 堀方埋土	礎板	81.5 28.05 7.0		板目			
7987	Ⅳ-7-31	H26	D5	第6面	2S-315 堀方埋土	礎板 (槽転用)	△42.0 △18.2 5.8	スギ	板目		真空凍結乾燥	7987と8006同一個体
8006	Ⅳ-7-31	H26	D5	第6面	2S-315 堀方埋土	礎板 (槽転用)	△37.6 △17.0 4.3	スギ	板目		真空凍結乾燥	7987と8006同一個体
8093	Ⅳ-7-31	H26	D5	第6面	2S-315 堀方埋土	礎板	45.1 △11.5 2.7		柾目			
8094	Ⅳ-7-31	H26	D5	第6面	2S-315 堀方埋土	礎板	44.8 19.35 4.5		柾目			
7540	Ⅳ-7-32	H26	D5	第6面	2S-315 掘方埋土	礎板	43.4 23.0 3.65		板目			
7961	Ⅳ-7-32	H26	D5	第6面	2S-315 堀方埋土	礎板	△40.8 8.75 3.4		板目			
7986	Ⅳ-7-32	H26	D5	第6面	2S-315 堀方埋土	礎板	41.5 22.1 4.5		板目			
5418	Ⅳ-7-37	H27	G6	第6面	2S-790 埋土中	不明	△107.6 17.5 4.5		板目			
7816	Ⅳ-7-37	H27	G6	第6面	2S-790 埋土中	タタリ	15.65 7.5 4.7		板目			
8114	Ⅳ-7-37	H27	G6	第6面	2S-790 埋土中	杭	24.4 2.9 2.0	クワ属	柾目 ミカン割		真空凍結乾燥	
8115	Ⅳ-7-37	H27	G6	第6面	2S-790 埋土中	杭	40.5 3.1 1.8	クワ属	板目		真空凍結乾燥	
8116	Ⅳ-7-37	H27	G6	第6面	2S-790 埋土中	杭	△17.7 2.7 1.9	クワ属	柾目 ミカン割		真空凍結乾燥	
8118	Ⅳ-7-37	H27	G6	第6面	2S-790 埋土中	杭	△27.9 3.3 1.9	クワ属	柾目 ミカン割		真空凍結乾燥	

第Ⅵ－２－６表　木器観察表６

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
5417	Ⅳ-７-38	H27	G６	第６面	２S-790 埋土中	建築部材	139.5 23.3 2.0		柾目			
7824B	Ⅳ-７-38	H27	G６	第６面	２S-790 埋土中	建築部材	△113.6 11.6 1.7	キハダ	板目		真空凍結乾燥	
8231	Ⅳ-７-39	H27	G６	第６面	２S-790 埋土中	杭	△20.9 3.9 2.1		芯去材			孔２あり
8232	Ⅳ-７-39	H27	G６	第６面	２S-790 埋土中	杭	△44.7 5.7 5.4		芯持材 (丸太材)			
5312	Ⅳ-７-45	H27	G７	第６面	２S-762 埋土中	容器	△11.3 6.3 1.3	スギ	柾目		真空凍結乾燥	
5847	Ⅳ-７-45	H27	G７	第６面	２S-762 埋土中	桶	△18.15 △14.3 2.95		縦木取			
5295	Ⅳ-７-46	H27	G７	第６面	２S-762 埋土中	盾	△16.65 △6.2 1.3		板目			
5356	Ⅳ-７-46	H27	G７	第６面	２S-762 埋土中	桶	39.25 △10.9 3.2		縦木取			
5684	Ⅳ-７-46	H27	G７	第６面	２S-762 埋土中	桶	△11.2 △18.15 4.3		板目			
5956	Ⅳ-７-46	H27	G６	第６面	２S-762 埋土中	柄	△23.15 7.75 3.0	ヒノキ属	芯持材			
9326	Ⅳ-７-46	H27	G６	第６面	２S-762 埋土中	槽	41.9 △21.75 2.2	スギ	縦木取			
5308	Ⅳ-７-47	H27	G７	第６面	２S-762 埋土中	桶	△17.7 12.6 2.5	スギ	縦木取		真空凍結乾燥	
5416	Ⅳ-７-47	H27	G６	第６面	２S-762 埋土中	木包丁	△8.3 4.3 0.7		柾目			
5525	Ⅳ-７-47	H27	G７	第６面	２S-762 埋土中	不明	△9.8 4.4 0.4		追柾目			
5716	Ⅳ-７-47	H27	G７	第６面	２S-762 埋土中	桶	△41.0 △26.5 3.2	スギ	縦木取		真空凍結乾燥	
5689B	Ⅳ-７-47	H27	G７	第６面	２S-762 埋土中	底板	△22.2 △10.4 1.0					全３点内２点接合可
5483	Ⅳ-７-48	H27	G６	第６面	２S-762 埋土中	建築部材	△116.5 12.1 1.6		板目			
5701	Ⅳ-７-48	H27	G７	第６面	２S-762 埋土中	不明 (板状品)	44.5 30.55 2.0		追柾目			
5297	Ⅳ-７-49	H27	G７	第６面	２S-762 埋土中	杭	△79.0 5.5 4.6		板目			
5361	Ⅳ-７-49	H27	G７	第６面	２S-762 埋土中	杭	△58.2 8.5 2.2		追柾目			全６点接合不可
5489	Ⅳ-７-49	H27	G６	第６面	２S-762 埋土中	杭 (矢板)	△43.4 13.25 1.9		板目			全３点内１点接合可
5657	Ⅳ-７-49	H27	G７	第６面	２S-762 埋土中	杭	△121.9 5.9 2.4		板目			
5722	Ⅳ-７-49	H27	G７	第６面	２S-762 埋土中	建築部材	△61.8 23.9 2.0		柾目			
5903	Ⅳ-７-49	H27	G６	第６面	２S-762 埋土中	杭？	△64.3 △24.1 3.4		芯持材 (丸太材)			
9283	Ⅳ-７-49	H27	G６	第６面	２S-762 埋土中	杭	△30.5 △9.1 △5.0		芯去材 (板目)			
4304	Ⅳ-８-16	H27	E３	第７面	－ V-４層	横槌	△19.8 △12.05 △8.25		芯持材			
4388	Ⅳ-８-16	H27	E３	第７面	－ V-４層	火鑽臼	△19.4 3.2 1.75		板目			
5675	Ⅳ-８-16	H27	E５	第７面	－ V-４層	不明 (板状品)	△27.9 △11.8 4.5		板目			
7034	Ⅳ-８-16	H27	G７	第７面	－ V-４層	桶	長径33.2 短径21.0 器高27.8	スギ	縦木取	内：黒彩	真空凍結乾燥	口縁部に桜の樹皮の輪、底部に穿孔・目釘
7882	Ⅳ-８-16	H27	G７	第７面	－ V-４層	不明木製品	24.8 23.8 2.5	スギ	縦木取		真空凍結乾燥	綛(かせ、枠) 四隅のほぞに目釘
7883	Ⅳ-８-16	H27	G７	第７面	－ V-４層	不明木製品	20.0 16.4 1.8	スギ	縦木取		真空凍結乾燥	綛(かせ、枠) 四隅のほぞに目釘

第Ⅵ－２－６表　木器観察表７

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
6335B	Ⅳ-8-16	H27	G7	第7面	－ V-4層	枠	14.85 1.9 1.2		板目			
6363C	Ⅳ-8-16	H27	G6	第7面	V-4層	不明	△16.0 △7.0 △0.9		板目			
7058	Ⅳ-8-17	H27	G7	第7面	－ V-4層	建築部材	△43.1 44.0 2.5		柾目			
7191	Ⅳ-8-17	H27	G7	第7面	－ V-4層	建築部材	△121 △16.5 1.0		柾目			
7262	Ⅳ-8-17	H27	G7	第7面	－ V-4層	建築部材	△123.0 13.3 7.7		板目			
7263	Ⅳ-8-17	H27	G7	第7面	－ V-4層	建築部材	△79.8 △28.6 3.8		柾目			
7024	Ⅳ-8-18	H27	G7	第7面	－ V-4層	建築部材	△193.35 28.9 1.8		板目			
8214	Ⅳ-8-18	H27	G6	第7面	－ V-4層	不明	△114.6 15.8 1.6	スギ	板目		真空凍結乾燥	
6338	Ⅳ-8-19	H27	G6	第7面	－ V-4層	建築部材	△100.05 10.1 2.5		板目			
7194	Ⅳ-8-19	H27	G7	第7面	－ V-4層	建築部材	△111.1 7.15 2.9		板目			
7278	Ⅳ-8-19	H27	G7	第7面	－ V-4層	建築部材	90.8 9.3 3.0		板目			
4730	Ⅳ-8-21	H27	E2	第7面	2S-788 埋土中	柱	△10.8 11.7 10.35		芯持材			
5750	Ⅳ-8-21	H27	E4	第7面	2S-769 埋土中	柱	△21.65 8.75 9.35		芯持材			
6501	Ⅳ-8-21	H27	E3	第7面	2S-782 埋土中	柱	△31.35 10.3 9.6		芯持材			
5050	Ⅳ-8-44	H26	C5	第7面	2S-245 埋土中	木包丁	△11.5 6.0 1.2		柾目			
5857	Ⅳ-8-44	H26	D6	第7面	2S-245 埋土中	木包丁	△8.5 △4.3 1.05		柾目			
8060	Ⅳ-8-44	H26	C5	第7面	2S-245 埋土中	木包丁	△11.5 △5.7 1.0		柾目			
8381	Ⅳ-8-44	H26	D6	第7面	2S-245 埋土中	櫂	△54.4 11.3 2.0	スギ	板目			
8653	Ⅳ-8-44	H26	D6	第7面	2S-245 埋土中	鋤	△24.3 △10.9 1.0	アカガシ亜属	柾目		真空凍結乾燥	組合せ鋤
8652	Ⅳ-8-44	H26	D6	第7面	2S-245 埋土中	直柄又鍬	△27.1 △6.2 2.7	アカガシ亜属	柾目		真空凍結乾燥	
8941	Ⅳ-8-44	H26	D6	第7面	2S-245 埋土中	直柄又鍬	△15.5 7.3 1.8		柾目			
5234	Ⅳ-8-44	H26	D6	第7面	2S-245 埋土中	曲柄又鍬	△10.4 △4.55 1.4		柾目			
9025	Ⅳ-8-44	H26	D6	第7面	2S-245 埋土中	鎌？	△17.8 3.6 0.8	アカガシ亜属	柾目		真空凍結乾燥	
5279	Ⅳ-8-45	H26	D6	第7面	2S-245 埋土中	桶	26.0 △7.4 3.0		縦木取			
8481	Ⅳ-8-45	H26	C4	第7面	2S-267 埋土中	装飾付の柄	14.8 1.9 1.1	スギ	柾目		真空凍結乾燥	片面に金属茎の装着部
8569	Ⅳ-8-45	H26	C5	第7面	2S-245 埋土中	底板	△19.9 △10.5 1.1		板目			
8625	Ⅳ-8-45	H26	C4	第7面	2S-245 木杭断割	木錘	△8.3 4.7 3.2		芯持材			
8657	Ⅳ-8-45	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	桶	△12.8 △4.6 1.4		縦木取			
8886	Ⅳ-8-45	H26	D6	第7面	2S-245 埋土中	鞘	△24.7 4.9 1.5	スギ	柾目			
8992	Ⅳ-8-45	H26	D6	第7面	2S-245 埋土中	編み台	△40.6 4.1 1.3		柾目			
8625-1	Ⅳ-8-45	H26	C4	第7面	2S-245 杭断割	盾	△9.9 △2.9 1.0	モミ属	追柾目		真空凍結乾燥	同No.に盾の破片2点有り 綴じ穴に赤色塗彩残る

第Ⅵ－２－６表　木器観察表８

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
8625-２	Ⅳ-８-45	H26	C４	第７面	２S-245 杭断割	盾	△8.1 △3.2 0.7	モミ属	追柾目		真空凍結乾燥	
5165A	Ⅳ-８-45	H26	D６	第７面	２S-245 埋土中	弭	△9.4 1.4 1.7		柾目			
5190	Ⅳ-８-46	H26	C６	第７面	２S-245 埋土中	匙	△26.7 △2.3 △2.6	イヌガヤ	柾目			
1721	Ⅳ-８-46	H28	D５	第７面	２S-245SPC ライントレンチ －	匙	12.3 △5.5 1.0	スギ？	柾目			２点接合
5076	Ⅳ-８-46	H26	C５	第７面	２S-245 埋土中	容器	※27.2 △12.0 －	スギ	横木取			
5185	Ⅳ-８-46	H26	C６	第７面	２S-245 埋土中	高杯	－ △7.4 －	ケヤキ	横木取	赤彩		
5911	Ⅳ-８-46	H26	D５	第７面	２S-245 埋土中	容器	※14.5 △5.6 －	スギ	横木取			
8432	Ⅳ-８-46	H26	D６	第７面	２S-245 埋土中	容器	△8.4 △3.6 1.0		横木取			
8502	Ⅳ-８-46	H26	C４	第７面	２S-267 （２S-367） 埋土中	容器	※18.4 △4.9 －	ヤマグワ	横木取			
8710	Ⅳ-８-46	H26	D６	第７面	２S-245 埋土中	高杯 （脚）	－ △6.2 ※17.0	カヤ	横木取			土器の中から出た
5969	Ⅳ-８-46	H26	C５	第７面	２S-245 埋土中	底板	9.5 △8.0 0.5		板目			全２点接合不可
5207	Ⅳ-８-47	H26	C５	第７面	２S-245 埋土中	不明 （部材）	18.4 3.0 2.4		柾目			
8971	Ⅳ-８-47	H26	D６	第７面	２S-245 埋土中	栓	8.0 細棒6.4 2.7 2.3	スギ	柾目		真空凍結乾燥	棒部分6.５ｃｍ
8982	Ⅳ-８-47	H26	D６	第７面	２S-245 埋土中	栓？	40.9 2.7 2.3	スギ？	芯去材			
6916	Ⅳ-８-47	H26	C５	第７面	２S-245 埋土中	栓	△12.6 6.6 3.8		板目			
6976	Ⅳ-８-47	H26	D５	第７面	２S-245 埋土中	容器	7.4 1.9 0.9	モクレン属	横木取	有	真空凍結乾燥	ベンガラ赤色塗彩
8931	Ⅳ-８-47	H26	C４	第７面	２S-245 木杭断割	把手	14.2 3.3 △4.0	スギ？	板目			
9010	Ⅳ-８-47	H26	D６	第７面	２S-245 埋土中	脚 （机）	22.9 9.3 8.1	スギ	芯去材			枘あり
1313	Ⅳ-８-48	H28	D６	第７面	２S-245 堀方埋土中	不明	△28.0 1.75 0.9		柾目			
5213	Ⅳ-８-48	H26	D６	第７面	２S-245 埋土中	不明 （部材）	15.5 35.4 5.3		柾目			
8018	Ⅳ-８-48	H26	C４	第７面	２S-245 埋土中	不明 （棒状品）	△37.0 2.6 1.9		板目			
8037	Ⅳ-８-48	H26	C４	第７面	２S-245 埋土中	不明 （棒状品）	24.35 5.9 3.5		板目			
8069	Ⅳ-８-48	H26	C５	第７面	２S-245 埋土中	不明 （部材）	△37.7 2.6 1.2		板目			
8243	Ⅳ-８-48	H26	D６	第７面	２S-245 埋土中	不明 （棒状品）	△13.8 3.3 1.6		板目			
8423	Ⅳ-８-48	H26	C・D６	第７面	２S-245 埋土中	不明 （部材）	27.6 2.1 1.25		板目			
8554	Ⅳ-８-48	H26	D６	第７面	２S-245 埋土中	不明 （板状品）	20.9 2.9 1.0		板目			
8866	Ⅳ-８-48	H26	B４	第７面	２S-245 埋土中	不明 （部材）	△12.3 2.05 1.7		板目			
8877	Ⅳ-８-48	H26	D６	第７面	２S-245 埋土中	不明 （部材）	12.6 1.8 1.45		柾目			
4981A	Ⅳ-８-48	H26	C５	第７面	２S-245 埋土中	不明 （部材）	3.7 13.5 2.8		板目			
5165B	Ⅳ-８-48	H26	D６	第７面	２S-245 埋土中	不明 （棒状品）	△29.7 2.0 1.3		板目			
3246	Ⅳ-８-49	H28	D５	第７面	２S-245	不明 （板状品）	18.6 4.5 2.0					

第Ⅵ－２－６表　木器観察表９

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
5090	Ⅳ-8-49	H26	D6	第7面	2S-245 埋土中	不明 (桶転用)	△27.95 △10.1 1.5		縦木取			
5278	Ⅳ-8-49	H26	D6	第7面	2S-245 埋土中	不明 (部材)	△29.8 9.35 1.05		板目			
8460	Ⅳ-8-49	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	不明 (板状品)	35.5 △12.0 1.3		板目			
8597	Ⅳ-8-49	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	不明 (板状品)	46.7 12.8 2.9		板目			
8615	Ⅳ-8-49	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	不明 (板状品)	△51.4 6.7 2.9		板目			
0660	Ⅳ-8-50	H28	C6	第7面	2S-245 堀方埋土中	不明 (板状品)	40.1 17.0 4.5		板目			
5261	Ⅳ-8-50	H26	D5	第7面	2S-245 埋土中	不明 (部材)	△25.3 4.9 2.35		板目			
8691	Ⅳ-8-51	H26	D5	第7面	2S-245 埋土中	不明 (部材)	△71.2 5.4 1.8	クワ属	柾目		真空凍結乾燥	
5055	Ⅳ-8-51	H26	C5	第7面	2S-245 埋土中	不明 (部材)	△42.2 △2.5 △2.5	イヌザンショウ属	縦木取		真空凍結乾燥	
8654	Ⅳ-8-51	H26	D6	第7面	2S-245 埋土中	剣形	△20.0 4.9 0.9	アカガシ亜属	板目		真空凍結乾燥	
1870	Ⅳ-8-52	H28	D5	第7面	2S-245 埋土中	杭	△27.0 6.75 2.8					
4974	Ⅳ-8-52	H26	C5	第7面	2S-245 埋土中	杭	△8.5 5.5 5.1		芯持材 (樹皮付 丸太材)			全7中3点接合
5054	Ⅳ-8-52	H26	C5	第7面	2S-245 埋土中	杭	△34.7 6.75 1.7		芯去材 (分割材)			全2点　接合不可
5867	Ⅳ-8-52	H26	D4	第7面	2S-245 埋土中	杭	△15.0 △5.15 △2.2		芯去材 (分割材)			
8038	Ⅳ-8-52	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	杭	△35.0 5.8 5.0		芯去材 (分割材)			
8097	Ⅳ-8-52	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	杭	△16.7 △4.2 △4.7		芯去材 (分割材)			
8131	Ⅳ-8-52	H26	C5	第7面	2S-245 埋土中	杭	△20.4 4.4 1.7		芯去材 (分割材)			
8132	Ⅳ-8-52	H26	C5	第7面	2S-245 埋土中	杭	△18.6 2.9 2.0		芯去材 (分割材)			
8701	Ⅳ-8-52	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	杭	△20.7 7.6 △6.3		芯持材 (樹皮付 丸太材)			
8798	Ⅳ-8-52	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	杭	△15.3 △5.9 △4.8		芯持材 (樹皮付 丸太材)			
8978	Ⅳ-8-52	H26	D6	第7面	2S-245 埋土中	杭	△26.4 4.9 1.5		芯去材 (分割材)			
8997	Ⅳ-8-52	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	杭	△27.6 7.15 3.5		芯去材 (半裁丸太材)			
8461	Ⅳ-8-53	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	杭	△31.0 4.8 2.4		芯去材 (分割材)			
8516	Ⅳ-8-53	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	杭	△23.0 △5.8 △3.6		芯去材 (半裁丸太材)			
8517	Ⅳ-8-53	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	杭	△29.5 8.3 △3.3		芯去材 (板目)			
8573	Ⅳ-8-53	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	杭	△33.0 3.8 2.0		芯去材 (分割材)			
8576	Ⅳ-8-53	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	杭	△37.2 5.65 4.6		芯持材 (樹皮付 丸太材)			未接合2点あり
8577	Ⅳ-8-53	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	杭	△30.65 8.0 4.1		芯去材 (樹皮付半裁 丸太材)			
8581	Ⅳ-8-53	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	杭	△31.7 6.6 6.0		芯持材 (樹皮付 丸太材)			
8582	Ⅳ-8-53	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	杭	△32.6 6.6 5.6		芯持材 (半裁丸太材)			
8596	Ⅳ-8-53	H26	D4	第7面	2S-245 埋土中	杭	△36.2 7.2 6.6		芯持材 (樹皮付 丸太材)			2点接合
8599	Ⅳ-8-53	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	杭	△32.8 7.75 8.6		芯持材 (丸太材)			2点接合

第Ⅵ－2－6表　木器観察表10

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
8702	Ⅳ-８-53	H26	C４	第７面	2S-245 埋土中	杭	20.0 5.8 6.75		芯持材			
3257	Ⅳ-８-54	H28	C５	第７面	2S-245 －	杭	△31.6 2.8 2.3	スダジイ	芯持材		真空凍結乾燥	
8042	Ⅳ-８-54	H26	C４	第７面	2S-245 埋土中	杭 (転用)	△34.1 7.9 5.6		芯去材 (分割材)			
8559	Ⅳ-８-54	H26	D５	第７面	2S-245 埋土中	杭 (転用)	△28.3 6.3 3.3		芯去材 (分割材)			
8673	Ⅳ-８-54	H26	C４	第７面	2S-245 埋土中	杭	△30.0 5.1 2.6		芯去材 (分割材)			
8694	Ⅳ-８-54	H26	C５	第７面	2S-245 埋土中	杭/楔	△26.3 7.1 6.3		芯持材 (丸太材)			接合箇所不明確な同サイズの破片１点有
8785	Ⅳ-８-54	H26	C４	第７面	2S-245 埋土中	杭	△23.4 △7.5 △7.5		芯持材 (樹皮付 丸太材)			
8788	Ⅳ-８-54	H26	C４	第７面	2S-245 埋土中	杭	△32.5 7.1 7.5		芯持材 (樹皮付 丸太材)			
9000	Ⅳ-８-54	H26	C４	第７面	2S-245 木杭断割	杭 (転用)	△26.9 5.5 4.7		芯去材 (分割材)			
3263	Ⅳ-８-55	H28	C５	第７面	2S-245 －	杭	△19.0 2.5 1.7	サカキ	芯持材 (丸太材)		真空凍結乾燥	
8578	Ⅳ-８-55	H26	C４	第７面	2S-245 埋土中	杭 (転用)	△29.8 11.8 6.0		芯去材 (半裁丸太材)			
8592	Ⅳ-８-55	H26	C４	第７面	2S-245 埋土中	杭 (転用)	△38.3 12.0 7.05		芯去材 (半裁丸太材)			
8594	Ⅳ-８-55	H26	C４	第７面	2S-245 埋土中	杭 (転用)	△35.9 4.85 4.1		芯去材 (分割材)			
8815	Ⅳ-８-55	H26	D６	第７面	2S-245 埋土中	杭 (転用)	△29.8 △6.8 △5.0		芯去材 (分割材)			
8858	Ⅳ-８-55	H26	C４	第７面	2S-245 埋土中	杭 (転用)	△30.8 6.4 4.5		芯去材 (分割材)			
8970	Ⅳ-８-55	H26	C５	第７面	2S-245 埋土中	杭 (転用)	△27.2 4.05 2.6		芯去材 (分割材)			
8041	Ⅳ-８-56	H26	C４	第７面	2S-245 埋土中	杭	△57.2 5.0 3.0		芯去材 (分割材)			
8526	Ⅳ-８-56	H26	C４	第７面	2S-245 埋土中	杭	△41.0 △13.5 △7.5		芯去材 (半裁丸太材)			
8574	Ⅳ-８-56	H26	C４	第７面	2S-245 埋土中	杭	△45.6 7.2 5.2		芯持材 (樹皮付 丸太材)			
8579	Ⅳ-８-56	H26	C４	第７面	2S-245 埋土中	杭	△42.9 6.2 6.0		芯持材 (樹皮付 丸太材)			
8912	Ⅳ-８-56	H26	C４	第７面	2S-245 木杭断割	杭 (転用)	△35.6 6.4 4.4		芯去材 (分割材)			
8520	Ⅳ-８-57	H26	C４	第７面	2S-245 埋土中	杭 (転用)	△57.9 9.0 4.1		芯去材 (分割材)			
8524	Ⅳ-８-57	H26	C４	第７面	2S-245 埋土中	杭 (転用)	△44.4 6.65 4.0		芯去材 (分割材)			
8595	Ⅳ-８-57	H26	C４	第７面	2S-245 埋土中	杭 (転用)	△38.0 9.5 9.1		芯持材 (丸太材)			
8855	Ⅳ-８-57	H26	D６	第７面	2S-245 埋土中	杭	△48.5 8.2 4.7		芯去材 (分割材)			
3253	Ⅳ-８-58	H28	C５	第７面	2S-245 －	杭	△37.1 6.1 5.5		芯去材 (分割材)			
3262	Ⅳ-８-58	H28	C５	第７面	2S-245 －	杭	△36.5 3.2 2.9		芯持材 (丸太材)			
8580	Ⅳ-８-58	H26	C４	第７面	2S-245 埋土中	杭 (転用)	△66.7 7.7 3.5		芯去材 (分割材)			
8696	Ⅳ-８-58	H26	C５	第７面	2S-245 埋土中	杭 (転用)	△33.1 △11.8 △7.2		芯去材 (半裁丸太材)			
8744	Ⅳ-８-58	H26	C５	第７面	2S-245 埋土中	杭 (転用)	△36.6 9.3 △4.3		芯去材 (分割材)			
2236	Ⅳ-８-59	H28	C５	第７面	2S-245 －	杭	△36.2 7.3 2.4		芯去材 (分割材)			
8152	Ⅳ-８-59	H26	D６	第７面	2S-245 埋土中	杭 (楔転用)	△45.2 8.0 5.1		芯去材 (分割材)			

第Ⅵ－２－６表　木器観察表11

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
8593	Ⅳ-8-59	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	杭 (転用)	△42.5 12.8 7.35		芯持材 (半裁丸太材)			
8676	Ⅳ-8-59	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	杭 (転用)	△37.1 14.3 7.5		芯去材 (半裁丸太材)			
1658	Ⅳ-8-60	H28	C5	第7面	2S-245 –	杭	88.3 6.7 4.4		芯去材 (分割材)			
1852	Ⅳ-8-60	H28	C6	第7面	2S-245 堀方埋土中	杭	△97.9 4.4 2.4		芯去材 (分割材)			
8666	Ⅳ-8-60	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	杭	△127.8 8.2 3.1		芯去材 (分割材)			
8983	Ⅳ-8-60	H26	D6	第7面	2S-245 埋土中	杭 (転用)	△98.2 3.0 2.5		芯去材 (分割材)			
8663	Ⅳ-8-61	H26	D6	第7面	2S-245 埋土中	杭	△51.7 4.0 2.2		芯去材 (分割材)			
8671	Ⅳ-8-61	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	杭	△58.4 8.0 △2.6		芯去材 (分割材)			
8677	Ⅳ-8-61	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	杭 (転用)	△55.5 6.5 2.7		芯去材 (分割材)			
8748	Ⅳ-8-61	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	杭 (転用)	△56.6 6.0 3.0		芯去材 (分割材)			
8789	Ⅳ-8-61	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	杭	△52.7 5.4 3.3		芯去材 (分割材)			
8950	Ⅳ-8-61	H26	D6	第7面	2S-245 埋土中	杭	△51.8 13.6 5.7		芯去材 (分割材)			
1657	Ⅳ-8-62	H28	C5	第7面	2S-245 –	杭	△48.4 5.7 2.8		芯去材 (分割材)			
1883	Ⅳ-8-62	H28	D5	第7面	2S-245 –	杭	△46.6 4.5 2.1		芯去材 (分割材)			
2273	Ⅳ-8-62	H28	C5	第7面	2S-245 –	杭	△72.7 4.8 3.3		芯去材 (分割材)			
2355	Ⅳ-8-62	H28	C5	第7面	2S-245 –	杭 (転用)	△59.0 8.0 3.5		芯去材 (分割材)			
2997	Ⅳ-8-62	H28	D6	第7面	2S-245 –	杭 (転用)	△49.6 3.2 2.3		芯去材 (分割材)			
3252	Ⅳ-8-62	H28	C5	第7面	2S-245 –	杭 (楔転用)	△54.4 5.4 4.0		芯去材 (分割材)			
3264	Ⅳ-8-62	H28	C5	第7面	2S-245 –	杭	△54.5 4.8 3.6		芯持材 (丸太材)			
3565	Ⅳ-8-62	H28	C5	第7面	2S-245 –	杭	△42.1 4.1 4.2		芯持材 (樹皮付 丸太材)			
1884	Ⅳ-8-63	H28	D5	第7面	2S-245 –	杭	△45.4 6.8 2.7		芯去材 (分割材)			
1885	Ⅳ-8-63	H28	D5	第7面	2S-245 –	杭	△43.3 4.6 1.5		芯去材 (分割材)			
1886	Ⅳ-8-63	H28	D5	第7面	2S-245 –	杭	△58.2 5.0 2.0		芯去材 (分割材)			
3568	Ⅳ-8-63	H28	C5	第7面	2S-245 –	杭 (転用)	△40.3 4.8 4.0		芯去材 (分割材)			
3569	Ⅳ-8-63	H28	C5	第7面	2S-245 –	杭 (転用)	△51.5 4.2 4.2		芯去材 (分割材)			
3669	Ⅳ-8-63	H28	C5	第7面	2S-245 –	杭 (転用)	△57.2 4.5 2.3		芯去材 (分割材)			
8482	Ⅳ-8-63	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	杭	△57.7 6.9 1.9		芯去材 (分割材)			
2237	Ⅳ-8-64	H28	C5	第7面	2S-245 –	杭	△44.2 5.2 3.5		芯去材 (分割材)			
8590	Ⅳ-8-64	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	杭 (転用)	60.4 7.5 3.0		芯去材 (分割材)			
8591	Ⅳ-8-64	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	杭	△63.6 7.4 2.9		芯去材 (分割材)			
8598	Ⅳ-8-64	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	杭	△63.7 6.6 2.5		芯去材 (分割材)			
8845	Ⅳ-8-64	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	杭	△59.7 6.4 4.1		芯去材 (分割材)			
8893	Ⅳ-8-64	H26	C4	第7面	2S-245 木杭断割	杭	△65.5 5.8 3.5		芯去材 (分割材)			

第Ⅵ－２－６表　木器観察表12

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
2594	Ⅳ-８-65	H28	D６	第７面	２S-245 －	杭 (転用)	△93.0 6.9 4.6		芯去材 (分割材)			
2696	Ⅳ-８-65	H28	C６	第７面	２S-245 －	杭 (転用)	△62.5 6.8 5.0		芯去材 (分割材)			
2697	Ⅳ-８-65	H28	C６	第７面	２S-245 －	杭 (転用)	△74.5 8.0 6.3		芯去材 (分割材)			
8859	Ⅳ-８-65	H26	C４	第７面	２S-245 埋土中	杭 (転用)	△92.0 6.5 4.0		芯去材 (分割材)			
8976	Ⅳ-８-65	H26	C４	第７面	２S-245 木杭断割	杭 (転用)	△75.5 8.7 6.4		芯去材 (分割材)			
1577	Ⅳ-８-66	H28	C５	第７面	２S-245 －	杭	△83.0 6.1 2.8		芯去材 (分割材)			
2138	Ⅳ-８-66	H28	C５	第７面	２S-245 －	杭	△72.5 7.1 2.9		芯去材 (分割材)			炭化
2139	Ⅳ-８-66	H28	C５	第７面	２S-245 －	杭	△69.3 7.0 2.9		芯去材 (分割材)			
2142	Ⅳ-８-66	H28	C５	第７面	２S-245 －	杭	△74.1 6.4 3.8		芯去材 (分割材)			
2353	Ⅳ-８-66	H28	D５	第７面	２S-245 －	杭	△72.8 7.5 2.5		芯去材 (分割材)			
2354	Ⅳ-８-66	H28	C５	第７面	２S-245 －	杭	△77.6 6.2 5.7		芯去材 (分割材)			
3220	Ⅳ-８-66	H28	D６	第７面	２S-245 －	杭	64.4 8.3 6.2		芯去材 (分割材)			
1570	Ⅳ-８-67	H28	C６	第７面	２S-245 －	杭	△88.7 15.8 5.0		芯去材 (分割材)			
1571	Ⅳ-８-67	H28	C６	第７面	２S-245 －	杭	△62.2 6.0 3.3		芯去材 (分割材)			
1572	Ⅳ-８-67	H28	C６	第７面	２S-245 －	杭	△73.7 6.7 3.5		芯去材 (分割材)			
2063	Ⅳ-８-67	H28	C５	第７面	２S-245 －	杭	△79.0 7.2 3.1		芯去材 (分割材)			炭化
2140	Ⅳ-８-67	H28	C５	第７面	２S-245 －	杭 (転用)	△77.2 5.2 2.6		芯去材 (分割材)			
1576	Ⅳ-８-68	H28	C５	第７面	２S-245 －	杭 (転用)	△87.7 8.2 4.3		芯去材 (分割材)			
2298	Ⅳ-８-68	H28	D５	第７面	２S-245 －	杭 (転用)	△81.55 4.8 3.3		芯去材 (分割材)			
2352	Ⅳ-８-68	H28	C５	第７面	２S-245 －	杭 (転用)	△53.4 10.9 2.4		芯去材 (分割材)			
3668	Ⅳ-８-68	H28	C５	第７面	２S-245 －	杭 (転用)	△61.8 4.1 3.15		芯去材 (分割材)			
2061	Ⅳ-８-69	H28	C５	第７面	２S-245 －	杭	△81.7 6.7 3.2		芯去材 (分割材)			
2062	Ⅳ-８-69	H28	C５	第７面	２S-245 －	杭	△71.8 5.6 3.4		芯去材 (分割材)			
8518	Ⅳ-８-69	H26	C４	第７面	２S-245 埋土中	杭 (転用)	△66.2 9.4 5.0		芯去材 (分割材)			
8604	Ⅳ-８-69	H26	C５	第７面	２S-245 埋土中	杭	△77.3 7.4 3.0		芯去材 (分割材)			
8692	Ⅳ-８-69	H26	C４	第７面	２S-245 埋土中	杭	△68.3 7.7 3.3		芯去材 (分割材)			
3993	Ⅳ-８-70	H28	C６	第７面	２S-245 －	杭 (転用)	△89.5 8.8 7.9		芯去材 (分割材)			
3995	Ⅳ-８-70	H28	C６	第７面	２S-245 －	杭 (転用)	△89.2 7.7 6.0		芯去材 (分割材)			
2698	Ⅳ-８-71	H28	C６	第７面	２S-245 －	杭 (転用)	△80.6 10.0 6.4		芯去材 (分割材)			
2699	Ⅳ-８-71	H28	C６	第７面	２S-245 －	杭 (転用)	△87.8 10.6 6.4		芯去材 (分割材)			
1575	Ⅳ-８-72	H28	C５	第７面	２S-245 －	杭 (転用)	△85.3 7.8 2.9		芯去材 (分割材)			
2143	Ⅳ-８-72	H28	C５	第７面	２S-245 －	杭 (転用)	△43.3 7.3 3.4		芯去材 (分割材)			

第Ⅵ－２－６表　木器観察表13

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
3749	Ⅳ-8-72	H28	C5	第7面	2S-245 –	杭 (転用)	△66.9 8.4 5.9		芯去材 (分割材)			
3992	Ⅳ-8-72	H28	C6	第7面	2S-245 –	杭	△84.1 10.5 5.2		芯去材 (分割材)			
8523	Ⅳ-8-73	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	杭 (転用)	△80.0 6.4 5.8		芯去材 (分割材)			
8525	Ⅳ-8-73	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	杭 (転用)	△85.7 7.9 6.0		芯去材 (分割材)			
8571	Ⅳ-8-73	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	杭 (転用)	△75.3 5.9 3.1		芯去材 (分割材)			
8572	Ⅳ-8-73	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	杭 (転用)	△96.8 9.5 6.4		芯去材 (分割材)			
2358	Ⅳ-8-74	H28	C5	第7面	2S-245 –	杭 (転用)	99.4 10.9 7.2		芯去材 (分割材)			
3750	Ⅳ-8-74	H28	C5	第7面	2S-245 –	杭 (転用)	△87.3 7.5 5.1		芯去材			
8786	Ⅳ-8-74	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	杭 (転用)	△90.2 8.3 6.7		芯去材 (分割材)			
8796	Ⅳ-8-74	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	杭 (転用)	△83.4 6.3 6.9		芯去材 (分割材)			
1573	Ⅳ-8-75	H28	C6	第7面	2S-245 –	杭 (転用)	△98.6 13.2 6.8		芯去材 (分割材)			
2595	Ⅳ-8-75	H28	D6	第7面	2S-245 –	杭 (転用)	△89.1 10.8 8.1		芯去材 (分割材)			
1656	Ⅳ-8-76	H28	C5	第7面	2S-245 –	杭	△119.8 9.3 4.1		芯去材 (分割材)			
2141	Ⅳ-8-76	H28	C5	第7面	2S-245 –	杭	△125.0 7.6 5.4		芯去材 (分割材)			
2357	Ⅳ-8-76	H28	C5	第7面	2S-245 –	杭 (転用)	△105.4 7.3 6.4		芯去材 (分割材)			
3991	Ⅳ-8-76	H28	C6	第7面	2S-245 –	杭 (転用)	△123.7 16.5 6.2		芯去材 (分割材)			
2394	Ⅳ-8-77	H28	D6	第7面	2S-245 –	杭 (転用)	147.7 19.2 7.2		芯去材 (分割材)			
2994	Ⅳ-8-77	H28	D6	第7面	2S-245 –	杭 (転用)	△132.9 8.4 6.4		芯去材 (分割材)			
2999	Ⅳ-8-77	H28	D6	第7面	2S-245 –	杭 (転用)	△139.9 8.0 9.4		芯去材 (分割材)			
2996	Ⅳ-8-78	H28	D6	第7面	2S-245 –	杭 (転用)	△150.0 10.5 8.9		芯去材 (分割材)			
2998	Ⅳ-8-78	H28	D6	第7面	2S-245 –	杭 (転用)	△147.8 11.3 8.8		芯去材 (分割材)			
2992	Ⅳ-8-79	H28	D6	第7面	2S-245 –	杭 (転用)	△136.2 10.8 7.6		芯去材 (分割材)			
3996	Ⅳ-8-79	H28	D6	第7面	2S-245 –	杭 (転用)	△145.7 10. 6 7.9		芯去材 (分割材)			
2700	Ⅳ-8-80	H28	C6	第7面	2S-245 –	杭 (転用)	△128.7 10.8 6.7		芯去材 (分割材)			
2993	Ⅳ-8-80	H28	D6	第7面	2S-245 –	杭 (転用)	△148.9 11.0 7.8		芯去材 (分割材)			
3092	Ⅳ-8-80	H28	D6	第7面	2S-245 –	杭 (転用)	△142.4 11.7 10.1		芯去材 (分割材)			
8575	Ⅳ-8-81	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	杭 (転用)	△82.8 8.0 4.8		芯去材 (分割材)			
8614	Ⅳ-8-81	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	杭 (転用)	△99.4 8.8 7.0		芯去材 (分割材)			
8674	Ⅳ-8-81	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	杭 (転用)	△82.0 7.5 5.3		芯去材 (分割材)			
8675	Ⅳ-8-81	H26	C4	第7面	2S-245 埋土中	杭	△76.9 6.0 4.5		芯去材 (分割材)			
1149	Ⅳ-8-82	H28	D6	第7面	2S-245 掘方埋土中	不明 (板状品)	52.8 20.6 3.8		追柾目			炭化
2226	Ⅳ-8-82	H28	C5	第7面	2S-245 掘方埋土中	不明 (板状品)	△59.1 5.5 2.2		追柾目			

第Ⅵ－２－６表　木器観察表14

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
8063	Ⅳ-８-82	H26	Ｄ５	第７面	２S-245 埋土中	不明 (板状品)	△74.6 12.1 2.3		追柾目			
8452	Ⅳ-８-82	H26	Ｃ４	第７面	２S-245 埋土中	不明 (板状品)	90.2 6.9 1.8		追柾目			
8546	Ⅳ-８-82	H26	Ｄ６	第７面	２S-245 埋土中	不明 (板状品)	△64.8 11.8 2.4		追柾目			
8996	Ⅳ-８-82	H26	Ｃ４	第７面	２S-245 埋土中	柱	△37.2 16.3 16.2		芯持材			
1322	Ⅳ-８-83	H28	Ｄ６	第７面	２S-245 堀方 埋土中	建築部材	84.0 8.5 3.1		板目			
5282	Ⅳ-８-83	H26	Ｄ６	第７面	２S-245 埋土中	建築部材	62.0 9.0 1.3		柾目			
8818	Ⅳ-８-83	H26	Ｄ５	第７面	２S-245 埋土中	建築部材	76.9 12.9 1.9		柾目			
8896	Ⅳ-８-83	H26	Ｄ６	第７面	２S-245 埋土中	建築部材	108.8 12.7 △3.5		板目			
1487	Ⅳ-８-84	H28	Ｃ５	第７面	２S-245 －	建築部材	△120.5 19.5 1.5		板目			
8459	Ⅳ-８-84	H26	Ｃ４	第７面	２S-245 埋土中	建築部材	108.8 19.92 1.85		柾目			
8147 8149	Ⅳ-８-84	H26	Ｄ６	第７面	２S-245 埋土中	建築部材	135.7 20.05 1.8		板目			
1489	Ⅳ-８-85	H28	Ｃ５	第７面	２S-245 －	板	△158.2 △20.3 2.3		板目			
8450	Ⅳ-８-85	H26	Ｃ４	第７面	２S-245 埋土中	建築部材	△172.0 22.4 2.5		板目			
8456	Ⅳ-８-86	H26	Ｃ４	第７面	２S-245 埋土中	建築部材	177.9 △19.6 3.2		柾目			
8458	Ⅳ-８-86	H26	Ｃ４	第７面	２S-245 埋土中	建築部材	135.0 △12.2 2.9		柾目			
8768	Ⅳ-８-86	H26	Ｃ４	第７面	２S-245 埋土中	建築部材	△87.0 17.8 1.6	スギ	板目		真空凍結乾燥	
8457 (1/2)	Ⅳ-８-86	H26	Ｃ４	第７面	２S-245 埋土中	建築部材	159.1 △21.1 2.1		柾目			
1416	Ⅳ-８-87	H28	Ｄ６	第７面	２S-245 埋土中	建築部材	247.2 39.3 2.1	スギ	板目		真空凍結乾燥	
8448	Ⅳ-８-87	H26	Ｃ４	第７面	２S-245 埋土中	建築部材	113.3 24.7 1.7	スギ	柾目			
2225	Ⅳ-８-88	H28	Ｃ５	第７面	２S-245 埋土中	建築部材	193.1 24.6 3.9	スギ	柾目			
7980	Ⅳ-８-88	H26	Ｃ６	第７面	２S-245 埋土中	建築部材	△211.2 20.3 3.0		板目			
8794	Ⅳ-８-88	H26	Ｃ５・６	第７面	２S-245 埋土中	建築部材	△225.0 △10.9 1.7		板目			
1415	Ⅳ-８-89	H28	Ｃ６	第７面	２S-245 埋土中	建築部材	256.9 △50.1 △3.9		柾目			
8137	Ⅳ-８-89	H26	Ｄ６	第７面	２S-245 埋土中	建築部材	261.3 △19.1 2.7		板目			
1417	Ⅳ-８-90	H28	Ｄ６	第７面	２S-245 掘方埋土	建築部材	274.9 36.6 2.4		板目			
8451	Ⅳ-８-90	H26	Ｃ４	第７面	２S-245 埋土中	建築部材	△239.2 △25.4 2.4		柾目			
1423	Ⅳ-８-91	H28	Ｄ６	第７面	２S-245 －	建築部材	294 45.2 2.1	スギ	柾目		真空凍結乾燥	
1667	Ⅳ-８-91	H28	Ｃ５	第７面	２S-245 －	建築部材	300.7 43.1 1.7		柾目			
5069	Ⅳ-８-98	H27	Ｄ３	第７面	２S-764 埋土中	火鑽臼	△17.4 3.1 1.1	スギ	板目		真空凍結乾燥	
8381	Ⅳ-８-98	H27	Ｄ３	第７面	２S-764 －	建築部材	151.2 △19.5 1.7		板目			
8388	Ⅳ-８-98	H27	Ｅ２	第７面	２S-764 埋土中	容器	△3.85 △9.15 1.15		横木取			
9097	Ⅳ-８-98	H27	Ｄ３	第７面	２S-764 －	杭 (転用)	△36.9 9.2 3.2		芯去材 (板目)			杭８

第Ⅵ－２－６表　木器観察表15

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
9574	Ⅳ-８-98	H27	D３	第７面	2S-764 －	杭 (転用)	△30.5 9.5 3.1		芯去材 (板目)			杭10 欠き込み
6507	Ⅳ-８-99	H27	D４	第７面	2S-764 埋土中	杭 (転用)	△45.3 8.4 5.0		芯去材 (板目)			全２点接合可
9047	Ⅳ-８-99	H27	D４	第７面	2S-764 －	杭 (転用)	△47.4 9.9 2.7		芯去材 (板目)			杭２
9050	Ⅳ-８-99	H27	D３	第７面	2S-764 －	杭	△16.8 △5.5 △2.8		芯去材 (板目)			杭15
9051	Ⅳ-８-99	H27	D３	第７面	2S-764 －	杭	△30.4 6.1 4.0		芯去材 (板目)			杭９ 全３点　接合不可
9052	Ⅳ-８-99	H27	D３	第７面	2S-764 －	杭	△21.3 5.3 2.7		芯去材 (板目)			杭11 全28点中４点接合可
9094	Ⅳ-８-99	H27	D４	第７面	2S-764 －	杭	△21.7 6.2 2.3		芯去材 (板目)			杭12
9095	Ⅳ-８-99	H27	D３	第７面	2S-764 －	杭	△38.0 5.2 5.5		芯持材 (丸太材)			杭16 全３点接合可
9096	Ⅳ-８-99	H27	D３	第７面	2S-764 －	杭	△48.8 8.1 5.8		芯持材 (丸太材)			杭７ 全２点接合可
9573	Ⅳ-８-99	H27	D３	第７面	2S-0764 －	杭	△25.1 9.0 8.1		芯持材 (丸太材)			杭14
4786	Ⅳ-８-100	H27	D４	第７面	2S-764 埋土中	杭	△59.5 10.3 7.0		芯去材 (半裁丸太)			
9553	Ⅳ-８-100	H27	D３	第７面	2S-764 －	杭	△64.6 9.0 4.5		芯去材			杭３
9554	Ⅳ-８-100	H27	D３	第７面	2S-764 －	杭	△55.8 7.0 4.3		柾目			杭４
9601	Ⅳ-８-100	H27	D３	第７面	2S-764 －	杭	△55.2 10.1 5.7		芯去材 (半裁丸太材)			杭18
8611	Ⅳ-８-118	H27	G６	第７面	2S-824 埋土中	容器 (指物)	△11.0 △19.0 0.6	スギ	柾目		真空凍結乾燥	8611・8612・8615・8616・8617は同一個体
8612	Ⅳ-８-118	H27	G６	第７面	2S-824 埋土中	容器 (指物)	△6.9 △2.3 0.5	スギ	柾目		真空凍結乾燥	
8615	Ⅳ-８-118	H27	G６	第７面	2S-824 埋土中	容器 (指物)	19.5 9.3 0.6	スギ	柾目		真空凍結乾燥	
8616	Ⅳ-８-118	H27	G６	第７面	2S-824 埋土中	容器 (指物)	△19.1 13.4 0.5	スギ	柾目		真空凍結乾燥	
8626	Ⅳ-８-118	H27	G６	第７面	2S-824 埋土中	容器 (指物)	△11.2 2.5 0.4	スギ	柾目		真空凍結乾燥	
8617-１	Ⅳ-８-118	H27	G６	第７面	2S-824 埋土中	容器 (指物)	19.3 12.4 0.5	スギ	柾目		真空凍結乾燥	
8617-２	Ⅳ-８-118	H27	G６	第７面	2S-824 埋土中	容器 (指物)	△22.8 16.1 1.0	スギ	柾目		真空凍結乾燥	
8617-３	Ⅳ-８-118	H27	G６	第７面	2S-824 埋土中	容器 (指物)	△17.5 3.4 0.5	スギ	柾目		真空凍結乾燥	
8888	Ⅳ-８-119	H27	F７	第７面	2S-824 埋土中	高杯	－ 幅　25.2 高さ　△6.6	クワ属	横木取	有	高級アルコール	
8281	Ⅳ-８-119	H27	G６	第７面	2S-824 埋土中	底板	△36.9 △7.1 1.3		柾目			
8368	Ⅳ-８-119	H27	G６	第７面	2S-824 埋土中	桶	39.15 △18.45 3.7		縦木取			
8742	Ⅳ-８-119	H27	F６	第７面	2S-824 埋土中	容器	△23.0 △9.0 器高9.3 厚さ1.4	スギ	横木取		真空凍結乾燥	口径△25.0 口縁部に目釘１ヵ所有り
8308	Ⅳ-８-120	H27	G６	第７面	2S-824 埋土中	槽	34.4 △22.55 △8.1		縦木取			
8309	Ⅳ-８-120	H27	G６	第７面	2S-824 埋土中	桶	△32.3 △29.8 2.1	スギ	柾目		真空凍結乾燥	
8813 8815	Ⅳ-８-120	H27	F５	第７面	2S-824 埋土中	桶	△18.1 △15.3 2.6	スギ	縦木取		真空凍結乾燥	
8627	Ⅳ-８-121	H27	G６	第７面	2S-824 埋土中	建築部材	△33.95 △13.3 3.7		板目			

第Ⅵ－２－６表　木器観察表16

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
8731	Ⅳ-８-121	H27	Ｆ６	第７面	２S-824 埋土中	建築部材	135.15 7.95 3.1		柾目			
8890	Ⅳ-８-121	H27	Ｆ５	第７面	２S-824 埋土中	建築部材	△57.7 32.5 2.2		追柾目			
8727	Ⅳ-８-122	H27	Ｆ６	第７面	２S-824 埋土中	建築部材	△145.8 18.3 2.5	スギ	板目		真空凍結乾燥	
8750	Ⅳ-８-122	H27	Ｆ６	第７面	２S-824 埋土中	建築部材	△213.8 10.2 6.2	スギ	柾目		真空凍結乾燥	年輪幅1.0～1.5㎜ 年輪数35本
8807	Ⅳ-８-122	H27	Ｆ６	第７面	２S-824 埋土中	建築部材	160.9 19.3 2.3		板目			
0435	Ⅳ-８-127	H26	Ｆ５	第７面	２S-763 (南側溝) －	杓子	35.7 22.8 柄3.0 器高13.2 厚さ2.2	スギ	横木取		真空凍結乾燥	径14.2ｃｍ
4737	Ⅳ-８-127	H27	Ｅ３	第７面	２S-763(新) 埋土中	曲柄又鍬 (刃部)	△12.4 2.5 1.25		板目			
6422	Ⅳ-８-127	H27	Ｆ５	第７面	２S-763 埋土中	木包丁	△10.4 4.0 0.7	クワ属	柾目		真空凍結乾燥	
6719	Ⅳ-８-127	H27	Ｅ４	第７面	２S-763 埋土中	アカトリ	△17.75 △8.5 2.5		柾目			
6722	Ⅳ-８-127	H27	Ｅ４	第７面	２S-763 埋土中	たも枠	△35.0 23.5 1.8	モミ属	枝分れ		真空凍結乾燥	
7000	Ⅳ-８-127	H27	Ｅ３	第７面	２S-763 埋土中	木包丁	△10.9 5.2 1.2		柾目			穴２ヶ所
7166	Ⅳ-８-127	H27	Ｆ５	第７面	２S-763 埋土中	直柄又鍬	△24.1 13.5 1.8	コナラ属アカガシ亜属	板目		真空凍結乾燥	直柄又鍬
8177	Ⅳ-８-127	H27	Ｅ３	第７面	２S-763 掘方 埋土中	匙	△30.5 9.55 3.45	スギ	板目		真空凍結乾燥	
9625	Ⅳ-８-127	H27	Ｄ３	第７面	２S-763 －	杭 (柄転用)	31.6 6.1 4.3	アカガシ亜属	柾目			杭25
6703	Ⅳ-８-128	H27	Ｅ４	第７面	２S-763 埋土中	桶	21.5 △7.3 1.5		縦木取			
6707	Ⅳ-８-128	H27	Ｅ４	第７面	２S-763 埋土中	桶	20.8 10.7 1.6		縦木取			
6889	Ⅳ-８-128	H27	Ｅ４	第７面	２S-763 埋土中	蓋	13.8 14.0 1.2	スギ	横木取			穿孔１か所
7112	Ⅳ-８-128	H27	Ｆ５	第７面	２S-763 埋土中	蓋 (未製品?)	15.15 16.6 1.1		板目			
7453	Ⅳ-８-128	H27	Ｅ３	第７面	２S-763 埋土中	容器	△22.35 △6.75 4.35		縦木取			
7684	Ⅳ-８-128	H27	Ｅ４	第７面	２S-763 下層	蓋	5.3 7.0 0.6		板目			
8670	Ⅳ-８-128	H27	Ｅ４	第７面	２S-763 埋土中	容器	－ 7.0 －		横木取			
6137	Ⅳ-８-129	H27	Ｆ５	第７面	２S-763 埋土中	容器	△17.6 △6.8 1.9		縦木取			
6236	Ⅳ-８-129	H27	Ｆ５	第７面	２S-763 埋土中	蓋	23.4 △9.7 12.2		板目			
6238	Ⅳ-８-129	H27	Ｆ５	第７面	２S-763 埋土中	底板	△21.6 △10.1 1.4		板目			全３点(１つ曲げ 穴３ヶ所)
6542	Ⅳ-８-129	H27	Ｅ３	第７面	２S-763 埋土中	底板	18.8 △7.9 0.95		板目	黒		うるし？
7468	Ⅳ-８-129	H27	Ｅ２	第７面	２S-763 埋土中	杓子形木器	△39.8 △10.1 1.1		板目			
7680	Ⅳ-８-129	H27	Ｅ４	第７面	２S-763 下層	底板	27.9 17.5 1.3		追柾目			
7705	Ⅳ-８-130	H27	Ｅ４	第７面	２S-763 下層	不明 (部材)	△33.5 11.8 5.5		追柾目			全２点接合可
9414	Ⅳ-８-130	H27	Ｅ４	第７面	２S-763 －	杭	△36.6 5.8 3.0		芯去材 (板目)			
9531	Ⅳ-８-130	H27	Ｅ２	第７面	２S-763 －	杭	△17.6 △6.4 △4.8		芯去材 (板目)			杭14 中央部に刃物痕有

第Ⅵ－２－６表　木器観察表17

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
9596	Ⅳ-8-130	H27	E2	第7面	2S-763 –	杭 (転用)	34.15 9.8 1.2		芯去材 (追柾目)			杭73 全4点内3点接合可
9597	Ⅳ-8-130	H27	E2	第7面	2S-763 –	杭 (転用)	△35.3 9.9 4.5		芯去材 (柾目)			杭73
9619	Ⅳ-8-130	H27	E3	第7面	2S-763 –	杭 (転用)	△34.6 4.2 2.4		芯去材 (板目)			杭59 全5点中2点接合可　破片3点
9620	Ⅳ-8-130	H27	E3	第7面	2S-763 –	杭 (転用)	△26.7 4.6 1.7		芯去材 (板目)			杭60
9621	Ⅳ-8-130	H27	E3	第7面	2S-763 –	杭 (楔転用)	△28.0 6.9 65	カヤ	芯持材 (丸太材)			杭57
9624	Ⅳ-8-130	H27	D3	第7面	2S-763 –	杭	△52.6 5.8 2.4		芯持材 (板目)			杭24 全5点中2点接合可　破片3点
9681	Ⅳ-8-130	H27	E3	第7面	2S-763 –	杭	△44.2 4.8 1.6		芯去材 (板目)			杭46
7630	Ⅳ-8-131	H27	E3	第7面	2S-763 埋土中	杭 (転用)	△63.7 9.5 8.0		柾目			
9535	Ⅳ-8-131	H27	E2	第7面	2S-763 –	杭 (転用)	△41.0 8.1 3.6		芯去材 (板目)			杭4
9591	Ⅳ-8-131	H27	E2	第7面	2S-763 –	杭 (転用)	△41.7 9.1 6.6		芯去材 (板目)			杭17
9629	Ⅳ-8-131	H27	D3	第7面	2S-763 –	杭 (転用)	△49.0 6.8 3.5		板目			杭51
9529	Ⅳ-8-132	H27	E2	第7面	2S-763 –	杭	△41.2 6.9 2.8		芯去材 (板目)			杭7
9532	Ⅳ-8-132	H27	E2	第7面	2S-763 –	杭	△43.9 6.6 2.6		芯去材 (板目)			杭1 全5点
9533	Ⅳ-8-132	H27	E2	第7面	2S-763 –	杭 (転用)	△41.5 11.0 3.8		芯去材 (分割材)			杭2 穴1つ有
9534	Ⅳ-8-132	H27	E2	第7面	2S-763 –	杭	36.4 5.1 2.2		追柾目			杭3
9536	Ⅳ-8-132	H27	E2	第7面	2S-763 –	杭	△35.8 8.1 3.7		芯去材 (板目)			杭5
9589	Ⅳ-8-132	H27	E2	第7面	2S-763 –	杭	△61.2 8.2 2.6		芯去材 (板目)			杭6
9590	Ⅳ-8-132	H27	E2	第7面	2S-763 –	杭	△71.0 11.6 2.2		板目			杭19
7760	Ⅳ-8-133	H27	E4	第7面	2S-763 下層	杭	△117.3 4.0 1.5		柾目			
7852	Ⅳ-8-133	H27	E4	第7面	2S-763 下層	杭	58.4 7.0 5.3		芯去材 (樹皮付半裁丸太)			全4点内2点接合可
9616	Ⅳ-8-133	H27	E3	第7面	2S-763 –	杭	△43.2 7.6 3.0		板目			杭61
9622	Ⅳ-8-133	H27	E3	第7面	2S-763 –	杭	54.2 5.6 2.6		板目			杭56
9627	Ⅳ-8-133	H27	D3	第7面	2S-763 –	杭	△63.3 6.4 2.4		柾目			杭31
9637	Ⅳ-8-133	H27	E3	第7面	2S-763 –	杭	△90.1 6.4 2.5		板目			杭45
9684	Ⅳ-8-133	H27	E4	第7面	2S-763 –	杭	△39.1 7.2 2.6		芯去材 (丸太材)			杭21 2点接合
9688	Ⅳ-8-133	H27	E4	第7面	2S-763 –	杭	△69.1 10.6 5.6		芯去材 (半裁丸太材)			杭22 2点接合
6718	Ⅳ-8-134	H27	E4	第7面	2S-763 埋土中	杭	△80.6 3.0 2.2		板目			
9614	Ⅳ-8-134	H27	E3	第7面	2S-763 –	杭	△75.6 △4.9 3.5		芯去材			杭32
9626	Ⅳ-8-134	H27	D3	第7面	2S-763 –	杭 (転用)	△78.1 5.7 4.4		板目			杭52 加工痕あり
9635	Ⅳ-8-134	H27	E2	第7面	2S-763 –	杭 (転用)	△67.5 5.2 4.5		柾目			杭54
9656	Ⅳ-8-134	H27	E3	第7面	2S-763 –	杭	70.8 4.0 3.8		柾目			杭55
9530	Ⅳ-8-135	H27	E2	第7面	2S-763 –	杭 (転用)	△64.9 10.6 5.7		板目			杭8

第Ⅵ－２－６表　木器観察表18

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
9630	Ⅳ-８-135	H27	Ｅ３	第７面	２S-763 －	杭 (転用)	△67.0 6.4 3.8		板目			杭50
9691	Ⅳ-８-135	H27	Ｅ４	第７面	２S-763 －	杭 (転用)	△73.6 10.3 3.3		追柾目			杭29
6566	Ⅳ-８-136	H27	Ｅ３	第７面	２S-763 －	杭	△85.5 7.1 6.4		芯持材 (樹皮付 丸太材)			
9608	Ⅳ-８-136	H27	Ｅ３	第７面	２S-763 －	杭	△69.1 5.7 4.2		芯持材			杭82
9615	Ⅳ-８-136	H27	Ｅ３	第７面	２S-763 －	杭	△76.0 9.2 5.0		芯持材 (樹皮付 丸太材)			杭20
9623	Ⅳ-８-136	H27	Ｄ３	第７面	２S-763 －	杭	67.1 6.8 6.3		芯持材 (樹皮付 丸太材)			杭68
9641	Ⅳ-８-136	H27	Ｅ３	第７面	２S-763 －	杭	△70.7 5.5 5.5		芯持材 (樹皮付 丸太材)			杭38 樹皮
9606	Ⅳ-８-137	H27	Ｅ３	第７面	２S-763 －	杭	△58.0 7.4 6.0		芯持材 (樹皮付 丸太材)			杭71
9644	Ⅳ-８-137	H27	Ｅ３	第７面	２S-763 －	杭	△55.0 5.2 5.0		芯持材 (樹皮付 丸太材)			杭37 樹皮
9650	Ⅳ-８-137	H27	Ｅ３	第７面	２S-763 －	杭	71.3 5.1 4.3		芯持材 (樹皮付 丸太材)			杭77
9658	Ⅳ-８-137	H27	Ｄ３	第７面	２S-763 －	杭	△52.4 4.4 3.5		芯持材 (樹皮付 丸太材)			杭66
9686	Ⅳ-８-137	H27	Ｅ４	第７面	２S-763 －	杭	△61.7 5.5 5.9		芯持材 (丸太材)			杭78
9687	Ⅳ-８-137	H27	Ｅ４	第７面	２S-763 －	杭	△47.5 6.8 6.2		芯持材 (丸太材)			杭80
6227	Ⅳ-８-138	H27	Ｆ５	第７面	２S-763 埋土中	杭	△18.3 3.9 △4.0		芯持材 (丸太材)			
7256	Ⅳ-８-138	H27	Ｆ５	第７面	２S-763 埋土中	杭	△17.9 5.1 3.7		芯持材 (丸太材)			
9537	Ⅳ-８-138	H27	Ｅ２	第７面	２S-763 －	杭	△16.5 △3.9 4.1		芯持材 (丸太材)			杭16 先端われ有
9600	Ⅳ-８-138	H27	Ｅ３	第７面	２S-763 －	杭	△34.0 7.3 6.3		芯持材 (樹皮付 丸太材)			杭69 全４点
9605	Ⅳ-８-138	H27	Ｅ３	第７面	２S-763 －	杭	△58.8 4.6 4.0		芯持材 (丸太材)			杭70
9636	Ⅳ-８-138	H27	Ｅ３	第７面	２S-763 －	杭	△45.4 14.3 11.8		芯持材 (丸太材)			杭43
9640	Ⅳ-８-138	H27	Ｅ３	第７面	２S-763 －	杭	△33.9 9.6 7.3		芯持材 (丸太材)			杭40
9678	Ⅳ-８-138	H27	Ｅ３	第７面	２S-763 －	杭	△44.4 42 3.2		芯持材 (樹皮付 丸太材)			杭85 ２点接合
9685	Ⅳ-８-138	H27	Ｅ４	第７面	２S-763 －	杭	△42.5 8.1 7.9		芯持材 (樹皮付 丸太材)			杭79
9692	Ⅳ-８-138	H27	Ｅ４	第７面	２S-763 －	杭	△50.0 5.6 4.2		芯持材 (樹皮付 丸太材)			杭27
9371 9372	Ⅳ-８-138	H27	Ｅ２	第７面	２S-763 －	杭	△27.5 3.3 2.7		芯持材 (丸太材)			２点接合
8441	Ⅳ-８-139	H27	Ｅ４	第７面	２S-763 －	建築部材	△90.8 13.0 3.0	スギ	柾目		真空凍結乾燥	
8934	Ⅳ-８-139	H27	Ｅ３	第７面	２S-763 －	建築部材	△135.5 13.1 1.0	スギ	板目		真空凍結乾燥	
9430	Ⅳ-８-139	H27	Ｅ４	第７面	２S-763 －	建築部材	△204.0 △13.2 2.2		板目			
6156	Ⅳ-８-140	H27	Ｆ５	第７面	２S-763 埋土中	建築部材？	49.4 18.5 3.1	スギ	板目		真空凍結乾燥	方形の刳り抜き２ヵ所
6235	Ⅳ-８-140	H27	Ｆ５	第７面	２S-763 埋土中	不明 (樹皮製品)		広葉樹樹皮	樹皮		真空凍結乾燥	穿孔あり
6237	Ⅳ-８-140	H27	Ｆ５	第７面	２S-763 埋土中	不明 (樹皮製品)		広葉樹樹皮	樹皮		真空凍結乾燥	穿孔あり
6327	Ⅳ-８-140	H27	Ｆ５	第７面	２S-763 埋土中	杓子形木器 (未製品？)	△33.2 △7.65 1.8		板目			

第Ⅵ－２－６表　木器観察表19

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
6867	Ⅳ-８-140	H27	Ｅ４	第７面	２S-763 埋土中	不明 (把手？)	31.3 2.4 1.6	スギ	芯去材		真空凍結乾燥	
7606	Ⅳ-８-140	H27	Ｅ２	第７面	２S-763 埋土中	腰掛	40.0 10.0 9.3	スギ	芯去材		真空凍結乾燥	
8171	Ⅳ-８-140	H27	Ｅ３	第７面	２S-763 掘方埋土中	不明 (板状品)	△18.1 4.9 1.8		板目			
0530	Ⅳ-８-141	H26	Ｆ５	第７面	２S-763 (南側溝) －	脚 (腰掛)	24.85 10.55 3.95		柾目			
4802	Ⅳ-８-141	H27	Ｅ３	第７面	２S-763(新) 埋土中	不明	19.15 0.95 0.75		板目			
6033	Ⅳ-８-141	H27	Ｆ５	第７面	２S-763 埋土中	脚 (腰掛)	28.2 13.1 3.7	クスノキ	柾目			
6034	Ⅳ-８-141	H27	Ｆ５	第７面	２S-763 埋土中	脚	29.2 10.6 4.5	ヤマグワ	柾目			ほぞ穴２つあり □○ 横断２縦断 1
6936	Ⅳ-８-141	H27	Ｅ４	第７面	２S-763 埋土中	栓	△21.3 2.6 2.6		芯去材			
7163	Ⅳ-８-141	H27	Ｆ５	第７面	２S-763 埋土中	不明 (棒状品)	△35.2 6.0 5.9		芯持材			
6753	Ⅳ-８-142	H27	Ｅ４	第７面	２S-763 埋土中	不明 (部材)	18.8 2.8 19.0		板目			
6819	Ⅳ-８-142	H27	Ｅ３	第７面	２S-763 埋土中	枠	△33.45 2.80 2.10		柾目			
7259	Ⅳ-８-142	H27	Ｆ５	第７面	２S-763 埋土中	不明 (部材)	△12.95 3.45 1.40		板目			
7626	Ⅳ-８-142	H27	Ｅ２	第７面	２S-763 埋土中	不明	28.7 19.35 1.0		板目			
7629	Ⅳ-８-142	H27	Ｅ３	第７面	２S-763 底面	不明	26.5 17.3 13.3		板目			
7681	Ⅳ-８-142	H27	Ｅ４	第７面	２S-763 下層	不明	△9.4 9.9 3.2		板目			
7700	Ⅳ-８-142	H27	Ｅ４	第７面	２S-763 下層	不明	12.6 2.3 2.3		柾目			
7856	Ⅳ-８-142	H27	Ｅ４	第７面	２S-763 下層	不明 (部材)	29.9 5.9 2.5	スギ	板目		真空凍結乾燥	
2986	Ⅳ-８-146	H28	Ｄ８	第７面	２S-858 －	不明	△50.5 8.9 9.0		芯持材			
2988	Ⅳ-８-146	H28	Ｃ８	第７面	２S-858 －	杭	△77.9 5.6 4.7		柾目			
0351	Ⅳ-９-７	H28	Ｅ２	第８面	－ Ⅵ層	蓋	6.6 4.8 △0.4		柾目			
1176	Ⅳ-９-７	H28	Ｅ４	第８面	第8面清掃中 Ⅵ層	不明 (部材)	△16.4 4.1 1.1		追柾目			
1185	Ⅳ-９-７	H28	Ｅ２	第８面	第8面清掃中 Ⅵ層	杓子形木器	△14.9 △2.5 0.9		板目			
4230	Ⅳ-９-７	H28	Ｄ３	第８面	－ Ⅵ層下面	桶	31.3 11.9 3.1		縦木取			
8306	Ⅳ-９-７	H27	Ｇ７	第８面	－ Ⅵ層	高杯	長さ 23.1 幅 19.8 高さ 16.5	クワ属	横木取	有	高級アルコール	
4632	Ⅳ-９-７	H27	Ｅ２	第８面	２S-754内杭4 サブトレンチ Ⅵ層	蓋	5.5 11.7 0.6	スギ	板目			穴上下２つ
4726	Ⅳ-９-７	H27	Ｅ２	第８面	２S-54杭2 サブトレンチ Ⅵ層	蓋	△8.5 △3.6 0.6		板目			
8796	Ⅳ-９-７	H27	Ｅ３	第８面	－ Ⅵ層	たも枠	△37.7 △23.0 △1.5	カヤ？	芯持材			
6087A	Ⅳ-９-７	H26	Ｄ１	第８面	－ Ⅵ層	不明	13.8 4.0 3.0		芯持材			
6087C	Ⅳ-９-８	H26	Ｄ１	第８面	－ Ⅵ層	不明 (部材)	24.9 2.7 1.2		板目			
0243	Ⅳ-９-８	H28	Ｄ４	第８面	－ Ⅵ層	不明 (板状品)	△41.3 15.8 1.4		板目			
1126	Ⅳ-９-８	H28	Ｅ５	第８面	清掃中 Ⅵ層	不明 (部材)	△46.4 2.9 1.5		板目			

第Ⅵ－２－６表　木器観察表20

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
6526	Ⅳ-９-８	H26	D１	第８面	－ Ⅵb層	杭 (転用)	△43.6 5.0 3.6		芯去材 (柾目)			
5999B	Ⅳ-９-８	H26	D１	第８面	－ Ⅵ層	不明 (部材)	35.0 3.0 1.7		板目			
6087B	Ⅳ-９-８	H26	D１	第８面	－ Ⅵ層	杭	△24.8 1.6 1.8		芯去材			
8307	Ⅳ-９-９	H27	G７	第８面	－ Ⅵ層	梯子	△228.0 25.4 11.2	スギ	板目		真空凍結乾燥	
6364	Ⅳ-９-18	H27	B１	第８面	３S-70 埋土中	盾	14.4 5.1 1.0	モミ属	板目	有	真空凍結乾燥	水銀朱赤色塗彩
6369	Ⅳ-９-18	H26	B１	第８面	３S-70 埋土中	脚付槽	△24.8 △15.8 7.1		縦木取			炭化
6382	Ⅳ-９-18	H26	D１	第８面	３S-70 埋土中	不明 (部材)	24.3 2.7 1.7		追柾目			
6416	Ⅳ-９-18	H26	C１	第８面	３S-70 埋土中	不明 (部材)	△11.3 5.8 △2.6		柾目			
6429	Ⅳ-９-18	H26	C１	第８面	３S-70 埋土中	柄	△12.4 △6.0 △2.7	サカキ	芯持材 (枝分れ)		真空凍結乾燥	
6641	Ⅳ-９-18	H26	C１	第８面	３S-70 埋土中	建築部材	△93.0 6.4 1.0		板目			
6643	Ⅳ-９-18	H26	C１	第８面	３S-70 埋土中	杭	△51.5 2.3 1.6		板目			
6584	Ⅳ-９-19	H26	C１	第８面	３S-70 埋土中	建築部材	△124.5 3.5 1.6		板目			
6841	Ⅳ-９-19	H26	C１	第８面	３S-70 埋土中	柱	252.9 9.8 9.8	シイ属	板目		真空凍結乾燥	
7193	Ⅳ-９-19	H26	C１	第８面	３S-70 埋土中	建築部材	80.9 △27.4 1.8		板目			
4827	Ⅳ-９-21	H28	E３	第８面	２S-1254 －	柱	△69.8 12.6 17.5		芯持材			
2371 2372	Ⅳ-９-21	H28	E３	第８面	２S-1078 －	礎板 (転用)	32.4 13 12.9		芯去材 (分割材)			
6853	Ⅳ-９-26	H26	D１	第８面	３S-76 埋土中	柄	△14.0 △6.6 △2.6		芯持材			
7022	Ⅳ-９-26	H26	D１	第８面	３S-76 ２層	木包丁	15.2 5.4 1.0	ケヤキ	柾目			穴２つあり
7272	Ⅳ-９-26	H26	D１	第８面	３S-76 埋土中	盾	17.1 △2.8 1.2	モミ属	板目	有	真空凍結乾燥	水銀朱赤色塗彩
3608	Ⅳ-９-37	H28	D４	第８面	２S-1141 －	槽	△42.4 △22.1 7.2		横木取			
3942	Ⅳ-９-37	H28	D４	第８面	２S-1141 －	栓	△10.2 △4.0 3.1		柾目			
5107	Ⅳ-９-37	H28	D４	第８面	２S-1141 －	杭	△36.15 5.0 5.0		芯持材 (丸太材)			
3048A	Ⅳ-９-37	H28	D４	第８面	２S-1141 －	杭	△36.65 4.25 4.2		芯持材 (樹皮付 丸太材)			
3048C	Ⅳ-９-37	H28	D４	第８面	２S-1141 －	杭	△23.6 3.5 1.9		芯去材			
3048D	Ⅳ-９-37	H28	D４	第８面	２S-1141 －	杭	△31.55 3.7 2.3		芯去材			
3045	Ⅳ-９-38	H28	D４	第８面	２S-1141 －	杭	△107.5 5.0 4.4		芯去材			
3612	Ⅳ-９-38	H28	D４	第８面	２S-1141 －	杭	△17.7 △5.7 △5.6		芯持材 (丸太材)			
5103	Ⅳ-９-38	H28	D４	第８面	２S-1141 －	杭	△70.2 9.7 4.9		芯持材 (半裁丸太材)			
5104	Ⅳ-９-38	H28	D４	第８面	２S-1141 －	杭	△54.5 7.7 4.9		芯去材 (板目)			
5105	Ⅳ-９-38	H28	D４	第８面	２S-1141 －	杭	△21.7 △7.4 △4.4		芯去材 (板目)			
5106	Ⅳ-９-38	H28	D４	第８面	２S-1141 －	杭	66.0 5.9 3.3		芯去材 (板目)			

第Ⅵ－２－６表　木器観察表21

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
8958	Ⅳ-9-45	H27	G6	第8面	2S-841 埋土中	容器	27.55 △12.8 3.6	カヤ	横木取			
8995	Ⅳ-9-45	H27	F6	第8面	2S-841 埋土中	容器	△5.2 △8.6 △6.7	クワ属	横木取		真空凍結乾燥	
9014	Ⅳ-9-45	H27	F5	第8面	2S-841 埋土中	高杯	※27.2 21.0 器高6.0 –	ケヤキ	横木取	内面：黒彩	真空凍結乾燥	径27.2
9035	Ⅳ-9-45	H27	G6	第8面	2S-841 埋土中	高杯 (花弁高坏)	△16.2 △14.9 △4.1	クワ属	横木取		真空凍結乾燥	杯部 ほぞ穴に差し込み 部残存
9480	Ⅳ-9-45	H27	F5	第8面	2S-841 –	底板	27.3 △12.4 1.3		追柾目			
9651	Ⅳ-9-45	H27	F6	第8面	2S-841 埋土中	容器	△7.6 △17.6 1.6		柾目			
8996E	Ⅳ-9-45	H27	F6	第8面	2S-841 埋土中	容器	△5.2 △13.2 3.3		横木取			内面に漆塗布の痕 跡有
9081	Ⅳ-9-46	H27	F6	第8面	2S-841 埋土中	桶未製品	器高25.8 25.0(把手部幅) 20.1(上面幅) 23.0(底面幅)	スギ	縦木取			
9082	Ⅳ-9-47	H27	F5	第8面	2S-841 埋土中	不明	52.0 26.4 9.2		板目			
9482	Ⅳ-9-47	H27	F5	第8面	2S-841 –	槽	41.4 △14.4 6.4	スギ	柾目		真空凍結乾燥	
9077E	Ⅳ-9-47	H27	F5	第8面	2S-841 埋土中	鍬	△16.0 △9.1 1.2	アカガシ亜属	柾目		真空凍結乾燥	
8957	Ⅳ-9-48	H27	G6	第8面	2S-841 埋土中	横鎚?	37.9 4.8 4.7		芯去材 (板目)			
9034	Ⅳ-9-48	H27	G6	第8面	2S-841 埋土中	不明 (板状品)	18.95 23.2 0.9		柾目			指物か
8970A	Ⅳ-9-48	H27	F6	第8面	2S-841 埋土中	不明	22.15 2.1 1.45		柾目			
8970B	Ⅳ-9-48	H27	F6	第8面	2S-841 埋土中	不明 (板状品)	26.3 △10.9 1.7					穴6つあり
8996A	Ⅳ-9-48	H27	F6	第8面	2S-841 埋土中	不明 (板状品)	26.2 9.0 2.8		柾目			裏面に刺突痕跡 (棒状工具による ものか)
9040B	Ⅳ-9-48	H27	G6	第8面	2S-841 埋土中	不明	19.6 10.3 6.8		柾目			一部捕縛の痕跡有
9040C	Ⅳ-9-48	H27	G6	第8面	2S-841 埋土中	不明 (板状品)	△11.1 △21.5 0.8		柾目			腐食の為、加工痕 不明瞭 指物か
9040D	Ⅳ-9-48	H27	G6	第8面	2S-841 埋土中	不明 (板状品)	24.6 4.8 0.6		柾目			指物の一部か
9077B	Ⅳ-9-48	H27	F5	第8面	2S-841 埋土中	機織具	59.5 2.6 1.8		柾目			
9497	Ⅳ-9-49	H27	F5	第8面	2S-841 –	杭	△58.6 4.8 4.3		芯持材 (樹皮付 丸太材)			
9499	Ⅳ-9-49	H27	F5	第8面	2S-841 –	杭	△75.7 6.7 5.8		芯持材			炭化
9501	Ⅳ-9-49	H27	F5	第8面	2S-841 –	杭	65.2 5.0 4.8		芯持材 (樹皮付 丸太材)			
9505	Ⅳ-9-49	H27	F5	第8面	2S-841 –	杭	△66.2 5.1 6.0		芯持材 (樹皮付 丸太材)			樹皮
9509	Ⅳ-9-49	H27	F5	第8面	2S-841 –	杭	△61.0 6.6 6.2		芯持材 (樹皮付 丸太材)			樹皮
8996	Ⅳ-9-50	H27	F6	第8面	2S-841 埋土中	建築部材	△94.8 5.4 2.85		板目			
9133	Ⅳ-9-50	H27	F5	第8面	2S-841 埋土中	栓	16.6 5.25 3.4		柾目			
9498	Ⅳ-9-50	H27	F5	第8面	2S-841 –	杭	※51.1 4.4 3.1		芯持材 (樹皮付 丸太材)			全2点接合可
9502	Ⅳ-9-50	H27	F5	第8面	2S-841 –	杭	△41.4 4.8 3.4		芯持材 (樹皮付 丸太材)			全2点接合可
9507	Ⅳ-9-50	H27	F5	第8面	2S-841 –	杭	△55.9 5.8 6.1		芯持材 (樹皮付 丸太材)			
9508	Ⅳ-9-50	H27	F5	第8面	2S-841 –	杭	△70.5 7.2 2.1		板目			

第Ⅵ－2－6表　木器観察表22

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
8996C	Ⅳ-９-50	H27	Ｆ６	第８面	２S-841 埋土中	栓	14.85 7.5 5.2		柾目			
9040A	Ⅳ-９-50	H27	Ｇ６	第８面	２S-841 埋土中	建築部材	△38.0 8.4 2.8		板目			
8984	Ⅳ-９-51	H27	Ｆ５	第８面	２S-841 埋土中	建築部材	△318.9 4.3 2.3		板目			
9488	Ⅳ-９-51	H27	Ｆ５	第８面	２S-841 －	柱	321.6 14.5 8.9		板目			全体的に腐朽している部分が多く見られる 裏面は特に多く見られる
1747	Ⅳ-９-53	H28	Ｅ４	第８面	２S-926 －	杭	△54.5 7.0 5.5		芯去材 (分割材)			杭２
1858	Ⅳ-９-53	H28	Ｆ５	第８面	２S-904 －	脚	△26.3 12.2 4.6		板目			
1964	Ⅳ-９-53	H28	Ｅ４	第８面	２S-926 －	杭 (転用)	△53.7 6.0 3.3		芯去材 (分割材)			杭３
3813	Ⅳ-９-53	H28	Ｆ５	第８面	２S-904 －	杭 (転用)	△34.9 △9.4 2.8		芯去材 (分割材)			
4085	Ⅳ-９-53	H28	Ｆ５	第８面	２S-904 －	杭	△56.7 5.2 3.8		芯去材 (分割材)			
0110A	Ⅳ-９-53	H28	Ｅ５	第８面	２S-904 サブトレンチ１ －	木包丁	5.6 △6.7 1.1		柾目			取上台帳は ２S-841サブトレンチ２と記載
0110B	Ⅳ-９-53	H28	Ｅ５	第８面	２S-904 サブトレンチ１ －	不明 (部材)	3.0 14.2 1.4		板目			取上台帳は ２S-841サブトレンチ２と記載
0109	Ⅳ-９-53	H28	Ｆ５	第８面	２S-904 サブトレンチ１ －	匙	△13.3 △7.0 2.8		柾目			取上台帳は ２S-841サブトレンチ２
4082	Ⅳ-９-54	H28	Ｆ５	第８面	２S-904 －	杭	△73.1 4.3 4.3		芯去材 (分割材)			
4083	Ⅳ-９-54	H28	Ｆ５	第８面	２S-904 －	杭	88.3 5.1 5.2		芯去材 (分割材)			
4084	Ⅳ-９-54	H28	Ｆ５	第８面	２S-904 －	杭	△66.9 5.0 3.9		芯去材 (分割材)			
2864	Ⅳ-９-55	H28	Ｆ５	第８面	２S-904 －	建築部材	228.3 10.0 5.5		芯去材 (分割材)			
3812	Ⅳ-９-55	H28	Ｆ５	第８面	２S-904 －	建築部材	197.8 19.6 1.6		板目			炭化
5095	Ⅳ-９-55	H28	Ｅ４	第８面	２S-926 －	杭	△153.5 10.3 7.7		芯去材 (分割材)			
9716	Ⅳ-９-57	H27	Ｄ４	第８面	２S-830 －	鍬未製品	96.5 △17.1 8.4		追柾目			炭化
9721	Ⅳ-９-57	H27	Ｄ４	第８面	２S-830 －	杭	80.5 9.8 6.7		芯去材 (半裁丸太材)			杭２
9722	Ⅳ-９-57	H27	Ｄ４	第８面	２S-830 －	杭	△85.5 8.5 4.6		芯去材 (半裁丸太材)			杭３
3065	Ⅳ-９-61	H28	Ｄ４	第８面	２S-916 －	建築部材	155.7 △19.3 2.2		追柾目			
4997	Ⅳ-９-61	H28	Ｄ４	第８面	２S-916 －	杭	△44.5 4.3 4.1		芯持材 (樹皮付 丸太材)			
4999	Ⅳ-９-61	H28	Ｄ４	第８面	２S-916 －	杭	△44.8 5.1 4.5		芯持材 (樹皮付 丸太材)			接合しない破片１
5000	Ⅳ-９-61	H28	Ｄ４	第８面	２S-916 －	杭	△40.6 4.7 4.8		芯持材 (樹皮付 丸太材)			接合しない破片１
5052	Ⅳ-９-61	H28	Ｄ４	第８面	２S-916 －	杭	51.4 3.9 3.8		芯持材 (丸太材)			
5053	Ⅳ-９-61	H28	Ｄ４	第８面	２S-916 －	杭	△42.5 5.6 2.1		芯去材 (分割材)			
5055	Ⅳ-９-61	H28	Ｄ４	第８面	２S-916 －	杭	△38.0 4.0 1.8		芯去材 (分割材)			
5099	Ⅳ-９-61	H28	Ｄ４	第８面	２S-916 －	杭	△44.4 5.5 5.1		芯持材 (樹皮付 丸太材)			
0858	Ⅳ-９-63	H28	Ｄ３	第８面	２S-901 －	容器	5.4 7.5 0.7	クワ属	横木取		真空凍結乾燥	
1803	Ⅳ-９-63	H28	Ｄ３	第８面	２S-901 －	錘	11.4 5.1 3.9		板目			

第Ⅵ－２－６表　木器観察表23

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
1806	Ⅳ-9-63	H28	D3	第8面	2S-901 –	栓	△24.5 10.9 6.7	スギ	板目		真空凍結乾燥	
1807	Ⅳ-9-63	H28	D3	第8面	2S-901 –	直柄平鍬	△19.4 14.5 2.4	アカガシ亜属	柾目			
2905	Ⅳ-9-63	H28	E3	第8面	2S-901 –	杭	△21.7 5.2 4.1		芯持材 (丸太材)			
5087B	Ⅳ-9-63	H28	E3	第8面	2S-901 –	木包丁	△5.3 △4.3 1.0		柾目			
0510	Ⅳ-9-71	H28	E4	第8面	2S-927 –	不明 (部材)	△9.7 1.5 0.6		板目			
0572	Ⅳ-9-71	H28	E4	第8面	2S-927 –	底板	△15.2 △20.9 △1.3		板目			
1050	Ⅳ-9-71	H28	E4	第8面	2S-927 –	木包丁	△12.1 △3.6 1.1		柾目			
1053	Ⅳ-9-71	H28	E3	第8面	2S-927 –	紡錘車?	4.4 5.5 4.3		柾目			
1054	Ⅳ-9-71	H28	E3	第8面	2S-927 –	容器	※26.4 △3.7 –	カヤ	横木取	有		
2174	Ⅳ-9-71	H28	E4	第8面	2S-927 杭1・2・3 トレンチ	杭	△57.6 10.3 9.5		芯持材 (丸太材)			
4471	Ⅳ-9-71	H28	E3	第8面	2S-927 –	不明	△18.0 △7.55 1.7		追柾目			
4833	Ⅳ-9-71	H28	E3	第8面	2S-927 –	杭	△53.7 11.1 10.5		芯持材 (丸太材)			
2177	Ⅳ-9-72	H28	E4	第8面	2S-927杭4・ 5・6・7トレ ンチ –	杭	△42.1 4.0 3.3	クリ	芯持材 (丸太材)		真空凍結乾燥	
2393	Ⅳ-9-72	H28	E4	第8面	2S-927 –	杭	△23.5 5.3 5.8		芯持材 (樹皮付 丸太材)			
3716	Ⅳ-9-72	H28	E3	第8面	2S-927 –	建築部材	156.9 △13.6 1.0		板目			
3727	Ⅳ-9-72	H28	E3	第8面	2S-927 –	建築部材	131.0 12.7 2.1		板目			
4831	Ⅳ-9-72	H28	E3	第8面	2S-927 –	杭	△14.9 △4.0 △3.5		芯持材 (丸太材)			
5088	Ⅳ-9-72	H28	E3	第8面	2S-927 –	杭	△20.9 5.2 4.6		芯持材 (丸太材)			
2176	Ⅳ-9-73	H28	E4	第8面	2S-927 杭1・2・3ト レンチ	杭	△46.4 8.2 5.8		芯持材 (丸太材)			
2392	Ⅳ-9-73	H28	E4	第8面	2S-927 –	杭	△32.4 5.7 4.7		芯持材 (樹皮付 丸太材)			
4832	Ⅳ-9-73	H28	E3	第8面	2S-927 –	杭	△70.6 2.2 2.3		芯去材 (分割材)			
4840	Ⅳ-9-73	H28	E3	第8面	2S-927 –	杭 (転用)	△74.9 5.2 4.4		芯去材 (分割材)			
4992	Ⅳ-9-73	H28	E3	第8面	2S-927 –	杭	△60.0 7.3 4.9		芯持材 (丸太材)			
5100	Ⅳ-9-73	H28	E3	第8面	2S-927 –	杭 (転用)	△44.4 6.2 5.4		芯去材			
0920	Ⅳ-9-74	H28	E4	第8面	2S-928 –	杭 (楔転用)	△45.3 8.1 6.5		芯去材			
2021	Ⅳ-9-74	H28	E4	第8面	2S-928 –	杭 (転用)	△48.5 10.2 6.4		芯去材 (分割材)			
2023	Ⅳ-9-74	H28	E4	第8面	2S-928 –	杭 (転用)	45.9 9.4 6.8		芯去材 (分割材)			
2025	Ⅳ-9-74	H28	E4	第8面	2S-928 –	杭 (転用)	△72.9 13.7 3.9		芯去材 (分割材)			
2026	Ⅳ-9-75	H28	E4	第8面	2S-928 –	杭 (転用)	△36.2 11.3 3.7		芯去材 (分割材)			
4472	Ⅳ-9-76	H28	E4	第8面	2S-1246 –	柱	△27.8 △13.5 △10.3		芯去材 (分割材)			
0823	Ⅳ-9-78	H28	E4	第8面	2S-923 –	栓	△13.3 7.3 2.8		柾目			
1048	Ⅳ-9-78	H28	E4	第8面	2S-923 –	蓋	△9.1 △5.7 4.7		横木取			

第Ⅵ－２－６表　木器観察表24

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
1392	Ⅳ-９-78	H28	Ｅ４	第８面	２S-923 －	不明	△26.5 20.4 1.1		板目			
1396	Ⅳ-９-78	H28	Ｅ４	第８面	２S-923 －	不明 (部材)	△46.7 5.5 1.5	クワ属	柾目		真空凍結乾燥	
0364	Ⅳ-９-85	H28	Ｄ２	第８面	２S-902 －	盾	△21.0 △4.4 1.3		板目	有		炭化
0404	Ⅳ-９-85	H28	Ｄ２	第８面	２S-902 －	盾	△14.4 △2.8 1.3		板目	有		
0405	Ⅳ-９-85	H28	Ｄ２	第８面	２S-902 －	底板	△11.2 △3.3 1.1		追柾目	黒		
0444	Ⅳ-９-85	H28	Ｅ２	第８面	２S-902 －	底板	14.1 12.6 1.0		追柾目	黒		
0628	Ⅳ-９-85	H28	Ｅ２	第８面	２S-902 －	底板	△18.7 △6.8 0.9		板目			
0632	Ⅳ-９-85	H28	Ｄ２	第８面	２S-902 －	不明 (部材)	17.5 3.7 3.0		追柾目			
0403A	Ⅳ-９-85	H28	Ｄ２	第８面	２S-902 －	盾	△22.2 △6.8 1.1		板目			
0411A	Ⅳ-９-85	H28	Ｅ２	第８面	２S-902 －	木包丁	5.2 △11.8 1.3		柾目			
0559	Ⅳ-９-86	H28	Ｅ２	第８面	２S-902 －	衣笠	40.0 37.0 －	カヤ	芯持材 (枝分れ)			
0564	Ⅳ-９-86	H28	Ｅ２	第８面	２S-902 －	梯子	△45.9 9.7 6.7	スギ	芯去材		真空凍結乾燥	
5101	Ⅳ-９-86	H28	Ｄ３	第８面	２S-902 －	杭 (転用)	△40.5 7.1 1.2		芯去材 (分割材)			
9272	Ⅳ-９-86	H27	Ｅ２	第８面	２S-902 東側溝ベルト 35層	不明 (棒状品)	63.0 2.8 2.0	スギ	芯去材			
9292	Ⅳ-９-86	H27	Ｄ３	第８面	２S-902 ３ラインベルト 20層	建築部材	△49.0 22.8 2.5		板目			
0403B	Ⅳ-９-86	H28	Ｄ２	第８面	２S-902 －	杭	△80.0 2.0 1.8		芯去材 (分割材)			
1189	Ⅳ-10-４	H28	Ｄ２	第９面	－ Ⅶ層	衣笠？	17.0 △4.6 3.9	スギ	芯去材 (分割材)			
1394	Ⅳ-10-４	H28	Ｅ２	第９面	－ Ⅶ層	高坏 (花弁)	△16.3 △10.9 △0.8	ヤマグワ	横木取	外面：赤 内面：黒		
6630	Ⅳ-10-４	H26	Ｄ２	第９面	－ Ⅶ層	容器	8.8 6.8 2.0		横木取			
7053	Ⅳ-10-４	H26	Ｃ１	第９面	－ Ⅶ層	柄頭？	△5.0 3.1 1.4		芯去材			炭化？
1262C	Ⅳ-10-４	H28	Ｄ２	第９面	－ Ⅶ層	指物	21.8 △3.0 0.85		柾目			
1188	Ⅳ-10-６	H28	Ｄ２	第９面	－ Ⅶ層	紡錘車	13.5 △11.9 1.3		追柾目			
1256	Ⅳ-10-６	H28	Ｅ２	第９面	－ Ⅶ層	不明 (部材)	11.5 △5.2 2.1		板目			
2181	Ⅳ-10-６	H28	Ｅ５	第９面	－ Ⅶ層	不明 (板状品)	31.9 13.3 2.6		板目			
6616	Ⅳ-10-６	H26	Ｅ１	第９面	－ Ⅶb層	不明	△14.4 6.95 5.2		芯持材 (樹皮付 丸太材)			炭化
7476	Ⅳ-10-６	H26	Ｃ１	第９面	－ Ⅶ層	杭	△20.4 4.05 4.0		芯持材			
1259A	Ⅳ-10-６	H28	Ｅ２	第９面	－ Ⅶ層	不明	22.4 2.1 1.4		柾目			
1259B	Ⅳ-10-６	H28	Ｅ２	第９面	－ Ⅶ層	紡錘車？	4.5 4.1 △3.7		柾目			
7515	Ⅳ-10-６	H26	Ｄ１	第９面	－ Ⅶ層	杭	34.8 10.3 6.5		芯持材 (半裁丸太材)			
7475	Ⅳ-10-32	H26	Ｃ１	第９面	３S-112 埋土中	柱	△26.6 9.0 7.5		芯持材 (丸太材)			
2460	Ⅳ-10-33	H28	Ｄ４	第９面	２S-970 底面	礎板	27.5 18.0 2.8		板目			表面に当たり痕有
7232A	Ⅳ-10-39	H26	Ｃ１	第９面	３S-97 埋土中	火鑽臼	△11.55 2.85 2.0		芯持材			炭化

第Ⅵ－２－６表　木器観察表25

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
1547	Ⅳ-10-49	H28	D8	第9面	2S-1026 埋土中	不明 (建築部材か)	32.0 17.2 6.4		追柾目			
1769	Ⅳ-10-49	H28	D8	第9面	2S-1026 埋土中	建築部材 (へぎ板)	△63.5 2.6 1.45	スギ	柾目			
1777	Ⅳ-10-49	H28	D8	第9面	2S-1026 埋土中	不明 (へぎ板)	△90.8 2.3 0.8		板目			
1780	Ⅳ-10-49	H28	D8	第9面	2S-1026 埋土中	不明 (板状品)	△56.3 7.1 1.6		板目			炭化
1815	Ⅳ-10-49	H28	C8	第9面	2S-1026 埋土中	建築部材 (棒状品)	△72.6 8.6 4.4		板目			
1828	Ⅳ-10-49	H28	D8	第9面	2S-1026 埋土中	桶	27.9 △15.7 2.8		縦木取			
1829	Ⅳ-10-49	H28	D8	第9面	2S-1026 埋土中	建築部材 (板状品)	△91.0 8.8 3.3		板目			
4590	Ⅳ-10-50	H28	D8	第9面	2S-1028 埋土中	鋤または 祭祀具	△43.5 9.5 1.2	スギ	縦木取		真空凍結乾燥	
1995	Ⅳ-10-55	H28	C4	第9面	2S-856b 埋土中	紡錘車 または脚部	9.1 8.3 2.7	カヤ	板目			
3492	Ⅳ-10-55	H28	C4	第9面	2S-856b 埋土中	不明 (桶か)	△26.6 △15.4 2.9	スギ	縦木取		真空凍結乾燥	
4163	Ⅳ-10-55	H28	C4	第9面	2S-856 埋土中	鍬 (泥除付)	30.6 17.2 1.8	アカガシ亜属	柾目			
4879	Ⅳ-10-55	H28	C4	第9面	2S-856 埋土中	蓋	9.35 △3.3 0.6		板目			
4952	Ⅳ-10-55	H28	C4	第9面	2S-856 埋土中	蓋	10.7 △3.5 0.65		柾目			
4963A 5023	Ⅳ-10-55	H28	C4	第9面	2S-856b 埋土中	蓋	9.05 5.45 0.4	スギ	柾目		真空凍結乾燥	
3445	Ⅳ-10-56	H28	C4	第9面	2S-856 埋土中	建築部材 (板状品)	△214.9 17.8 4.7		柾目			炭化
5020	Ⅳ-10-56	H28	C4	第9面	2S-856 埋土中	杭	△31.5 10.3 9.3		芯持材			
5022	Ⅳ-10-56	H28	C4	第9面	2S-856 埋土中	杭	△20.4 5.1 2.9		芯持材 (丸太材)			
5025	Ⅳ-10-56	H28	C4	第9面	2S-856 埋土中	杭	△16.6 3.7 3.6		芯持材 (樹皮付 丸太材)			
5038	Ⅳ-10-56	H28	D4	第9面	2S-856 埋土中	杭	△44.6 3.7 2.8	スダジイ	芯持材 (樹皮付 丸太材)		真空凍結乾燥	
5041	Ⅳ-10-56	H28	D4	第9面	2S-856 埋土中	杭	△24.0 3.95 4.0		芯持材 (丸太材)			
5111	Ⅳ-10-56	H28	C4	第9面	2S-856 埋土中	杭	△21.0 5.4 5.6		芯持材 (樹皮付 丸太材)			
5118	Ⅳ-10-56	H28	D4	第9面	2S-856 埋土中	杭	△21.8 5.9 6.4		芯持材 (樹皮付 丸太材)			
5119	Ⅳ-10-56	H28	D4	第9面	2S-856 埋土中	杭	△9.3 4.1 3.7		芯持材 (丸太材)			
2800	Ⅳ-10-57	H28	E4	第9面	2S-1143 –	アカトリ	△7.8 △8.3 2.6		板目			
4124	Ⅳ-10-57	H28	E4	第9面	2S-1143 –	杭	△56.7 6.4 4.0		芯持材 (丸太材)			
4128	Ⅳ-10-57	H28	E4	第9面	2S-1143 –	杭	△54.2 7.0 5.3		芯持材 (樹皮付 丸太材)			
4129	Ⅳ-10-57	H28	E4	第9面	2S-1143 –	杭	△27.2 5.5 4.6		芯持材 (丸太材)			
4132	Ⅳ-10-57	H28	E4	第9面	2S-1143 –	杭	△42.7 7.7 4.3		芯持材 (丸太材)			
4980	Ⅳ-10-57	H28	E4	第9面	2S-1143 –	杭	△39.7 6.0 4.3		芯持材 (丸太材)			
4098	Ⅳ-10-59	H28	E4	第9面	2S-1143 –	建築部材	△116.8 △14.5 3.5		板目			
4121	Ⅳ-10-59	H28	E4	第9面	2S-1143 –	杭	△74.9 5.4 2.7	クリ	芯去材 (半裁丸太材)		真空凍結乾燥	
4126	Ⅳ-10-59	H28	E4	第9面	2S-1143 –	杭	△59.2 5.6 2.4	ヤナギ属	芯持材 (丸太材)		真空凍結乾燥	

第Ⅵ－２－６表　木器観察表26

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
4131	Ⅳ-10-59	H28	E４	第９面	２S-1143 －	杭	△48.5 6.0 4.3		芯去材 (樹皮付半裁 丸太材)			
4981	Ⅳ-10-59	H28	E４	第９面	２S-1143 －	杭	△51.0 5.9 5.0		芯持材 (樹皮付 丸太材)			
3858	Ⅳ-10-60	H28	E４	第９面	２S-1143 －	建築部材	△162.3 △15.4 1.4		板目			炭化
4099	Ⅳ-10-60	H28	E４	第９面	２S-1143 －	建築部材	△213.7 22.8 4.0	スギ	板目		真空凍結乾燥	
4100	Ⅳ-10-60	H28	E４	第９面	２S-1143 －	建築部材	△219.3 24.5 4.2	スギ	板目		真空凍結乾燥	
3450	Ⅳ-10-63	H28	C４	第９面	２S-951 埋土中	農具 未成品か	25.6 19.0 3.8		柾目			炭化 裏面腐朽により加工痕わずかに観察
3451	Ⅳ-10-63	H28	C４	第９面	２S-951 埋土中	農具 未成品か	34.3 16.4 2.8		柾目			炭化
3453	Ⅳ-10-63	H28	C４	第９面	２S-951 －	不明	△23.25 10.6 1.5		板目			
1444	Ⅳ-10-65	H28	E２	第９面	２S-978 －	剣形	27.8 3.8 0.8		板目			
1492	Ⅳ-10-65	H28	E２	第９面	２S-978 －	田下駄	41.0 21.9 1.8		追柾目			
1493	Ⅳ-10-65	H28	E２	第９面	２S-978 －	不明 (杭状)	83.9 4.8 3.8		板目			
1506	Ⅳ-10-65	H28	E２	第９面	２S-978 －	杭	△68.0 4.3 2.1		芯去材 (分割材)			
1514	Ⅳ-10-65	H28	E２	第９面	２S-978 －	把手	△18.0 1.65 3.2	スギ	柾目			
1551	Ⅳ-10-65	H28	E２	第９面	２S-978 －	紡錘車？	4.9 4.7 4.8		柾目			
2278	Ⅳ-10-66	H28	E４	第９面	２S-1120 －	柄	△18.5 12.8 3.9	スギ	芯去材 (枝分れ)			
7477	Ⅳ-10-69	H26	D１	第９面	３S-115 埋土中	杓子形木器	16.1 4.1 0.8	スギ	柾目		真空凍結乾燥	
7516C 7517	Ⅳ-10-69	H26	D１	第９面	３S-115 埋土中	木包丁	△7.7 5.1 1.1		柾目			２点接合
7519	Ⅳ-10-69	H26	D１	第９面	３S-115 埋土中	木包丁	△10.5 5.0 0.45	クワ属	柾目		真空凍結乾燥	
7916	Ⅳ-10-69	H26	D１	第９面	３S-115 埋土中	木包丁	△8.0 △5.65 0.85		柾目			
7571	Ⅳ-10-69	H26	D１	第９面	３S-115 埋土中	刳物箱	39.5 18.0 7.1	カヤ	縦木取			
7626	Ⅳ-10-69	H26	D１	第９面	３S-115 埋土中	不明 (部材)	△14.5 3.8 3.1		芯持材			
7630	Ⅳ-10-69	H26	D１	第９面	３S-115 埋土中	脚？	△11.0 3.2 2.2	イスノキ	芯去材		真空凍結乾燥	水銀朱赤色塗彩
7672	Ⅳ-10-69	H26	D１	第９面	３S-115 埋土中	曲柄又鍬	53.7 △8.7 1.2	アカガシ亜属	柾目		真空凍結乾燥	
7764	Ⅳ-10-69	H26	D１	第９面	３S-115 埋土中	直柄横鍬	△12.9 △11.7 1.0	アカガシ亜属	柾目			
7516B	Ⅳ-10-69	H26	D１	第９面	３S-115 埋土中	不明 (棒状品)	△8.8 2.5 0.4		板目			穴あり
7596	Ⅳ-10-70	H26	D０	第９面	３S-115 埋土中	建築部材	△29.9 8.3 3.4		板目			
7614	Ⅳ-10-70	H26	D１	第９面	３S-115 埋土中	杭	△26.8 8.0 7.2		芯持材 (丸太材)			
7632	Ⅳ-10-70	H26	D１	第９面	３S-115 埋土中	盾	△21.4 △3.2 1.0	モミ属	板目	有	真空凍結乾燥	赤色塗彩
7636	Ⅳ-10-70	H26	D１	第９面	３S-115 埋土中	不明 (部材)	△28.5 2.0 1.9		板目			炭化
7670	Ⅳ-10-70	H26	D１	第９面	３S-115 埋土中	杭 (転用)	△24.4 11.6 7.3		芯去材 (樹皮付半裁 丸太材)			全３点内２点接合可
7689	Ⅳ-10-70	H26	D１	第９面	３S-115 埋土中	建築部材	△95.4 △7.6 1.2		板目			

第Ⅵ－２－６表　木器観察表27

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
7918	Ⅳ-10-70	H26	D1	第9面	3S-115 埋土中	不明 (板状品)	△17.0 1.9 0.3		板目			
7629-1	Ⅳ-10-70	H26	D1	第9面	3S-115 埋土中	盾	△14.5 △3.1 0.6	モミ属	柾目	有	真空凍結乾燥	水銀朱赤色塗彩
7629-2	Ⅳ-10-70	H26	D1	第9面	3S-115 埋土中	盾	△23.3 △3.7 0.8	モミ属	柾目		真空凍結乾燥	
7516A	Ⅳ-10-70	H26	D1	第9面	3S-115 埋土中	不明 (部材)	△11.7 6.5 1.3		追柾目			穴あり
2186	Ⅳ-11-4	H28	E2	第10面	– Ⅷ層	底板	25.8 △11.2 1.0		板目			
1877B	Ⅳ-11-4	H28	C4	第10面	– Ⅷ層	杭	△28.5 △5.05 △4.9		芯持材 (丸太材)			
5138	Ⅳ-11-12	H28	E2	第10面	2S-1092 –	柱	△41.6 13.85 12.0		芯持材 (樹皮付 丸太材)			
9412	Ⅳ-11-26	H27	F6	第10面	2S-833 –	杭 (転用)	△76.5 8.7 9.0		芯去材 (分割材)			
9433	Ⅳ-11-26	H27	F6	第10面	2S-833 –	杭 (転用)	△82.5 11.3 9.0		芯去材 (分割材)			
9434	Ⅳ-11-27	H27	F6	第10面	2S-833 –	杭 (転用)	△89.9 8.6 8.8		芯去材 (分割材)			
9435	Ⅳ-11-27	H27	F6	第10面	2S-833 –	杭 (転用)	△85.3 7.8 8.5		芯去材 (分割材)			
9436	Ⅳ-11-28	H27	F6	第10面	2S-833 –	杭 (転用)	93.8 11.1 9.5		芯去材 (分割材)			
9437	Ⅳ-11-28	H27	F6	第10面	2S-833 –	杭 (転用)	△78.1 11.2 8.6		芯去材 (分割材)			
9411	Ⅳ-11-29	H27	F6	第10面	2S-833 –	杭 (転用)	△66.2 6.3 3.2		芯去材 (分割材)			炭化
9455	Ⅳ-11-29	H27	F6	第10面	2S-833 –	杭 (転用)	75.0 8.9 7.0		芯去材 (分割材)			
9456	Ⅳ-11-29	H27	F6	第10面	2S-833 –	杭 (転用)	△64.8 7.7 5.1		芯去材 (分割材)			
9440	Ⅳ-11-30	H27	F6	第10面	2S-833 –	杭 (転用)	△91.8 8.3 7.7		芯去材 (分割材)			
9443	Ⅳ-11-30	H27	F6	第10面	2S-833 –	杭 (転用)	△118.5 10.8 4.5		芯去材 (分割材)			
9444	Ⅳ-11-31	H27	F6	第10面	2S-833 –	杭 (転用)	△68.2 9.4 5.3		芯去材 (分割材)			
9446	Ⅳ-11-31	H27	F6	第10面	2S-833 –	杭 (転用)	△51.0 9.6 4.6		芯去材 (分割材)			
1648	Ⅳ-11-34	H28	D8	第10面	2S-1025 埋土中	建築部材 (板状品)	△58.3 11.8 1.4	スギ	板目		真空凍結乾燥	
1811	Ⅳ-11-34	H28	D8	第10面	2S-1025 埋土中	建築部材 (棒状品)	△148.2 13.6 2.0		追柾目			
1813	Ⅳ-11-34	H28	D8	第10面	2S-1025 埋土中	建築部材 (へぎ板)	△191.9 5.2 1.3		柾目			
1814	Ⅳ-11-34	H28	D8	第10面	2S-1025 埋土中	建築部材 (へぎ板)	△127.4 3.6 1.7		板目			
2072	Ⅳ-11-34	H28	D8	第10面	2S-1025 埋土中	不明	△27.9 6.2 2.5		芯去材 (板目)			
2077	Ⅳ-11-37	H28	D8	第10面	2S-1029 埋土中	不明 (板状品)	△29.3 16.9 1.7		追柾目			
2086	Ⅳ-11-37	H28	D8	第10面	2S-1029 埋土中	杭	△36.1 6.9 2.5		板目			
2837	Ⅳ-11-37	H28	D8	第10面	2S-1066 埋土中	建築部材 (棒状品)	△93.6 3.5 2.0		板目			
2842	Ⅳ-11-40	H28	D8	第10面	2S-1066 埋土中	建築部材 (棒状品)	△91.7 3.1 2.2		柾目			
2849	Ⅳ-11-40	H28	D8	第10面	2S-1066 埋土中	木包丁	△14.6 6.4 1.0	ヤマグワ	柾目			2点接合
2848	Ⅳ-11-41	H28	D8	第10面	2S-1066 埋土中	盤	△33.4 △32.8 3.6	スギ	横木取		真空凍結乾燥	

第Ⅵ－２－６表　木器観察表28

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
3195	Ⅳ-11-41	H28	D８	第10面	２S-1066 埋土中	盤	△37.1 △17.2 2.6		横木取			
3399	Ⅳ-11-44	H28	D６	第10面	２S-1069 埋土中	杭	54.5 8.9 10.1		芯持丸太			
3403	Ⅳ-11-44	H28	D６	第10面	２S-1069 埋土中	桶	37.3 △17.1 6.4		縦木取			炭化
3408	Ⅳ-11-44	H28	D６	第10面	２S-1069 埋土中	桶	△17.1 10.4 3.7		縦木取			炭化
3500	Ⅳ-11-44	H28	C６	第10面	２S-1069 埋土中	杭	△23.9 4.8 2.2		芯去材			
3503	Ⅳ-11-44	H28	C６	第10面	２S-1069 埋土中	建築部材 (板状品)	56.4 14.5 2.1		板目			
3509	Ⅳ-11-44	H28	C６	第10面	２S-1069 埋土中	蓋	10.8 △3.0 0.6		板目			
3762	Ⅳ-11-44	H28	C６	第10面	２S-1069 埋土中	建築部材	36.65 5.1 2.7		芯去材			
3771	Ⅳ-11-44	H28	C６	第10面	２S-1069 埋土中	杭(建築部材 転用)	△9.6 5.2 2.5		芯去材			
2207	Ⅳ-11-47	H28	E２	第10面	２S-1079 －	平鋤 (農具形)	39.1 △9.5 1.2	スギ	追柾目			
3390	Ⅳ-11-47	H28	E２	第10面	２S-1079 上層	農具？	18.6 13.6 1.7		板目			炭化
3745	Ⅳ-11-47	H28	E２	第10面	２S-1079 下層	木包丁 (未製品)	△13.2 △8.9 2.1		柾目			
2249	Ⅳ-11-48	H28	D２	第10面	２S-1079 精査中	不明 (部材)	22.85 2.65 1.85		板目			
3141	Ⅳ-11-48	H28	E２	第10面	２S-1079 －	紡錘車	4.0 5.8 0.8		柾目			
3316	Ⅳ-11-48	H28	E２	第10面	２S-1079 －	蓋	4.2 6.8 0.4		板目			
3389	Ⅳ-11-48	H28	E２	第10面	２S-1079 上層	竪杵	△28.8 9.0 7.8	アカガシ亜属	芯去材 (板目)			
3391	Ⅳ-11-48	H28	E２	第10面	２S-1079 上層	直柄又鍬	24.4 △9.7 2.2	アカガシ亜属	柾目			
3613	Ⅳ-11-48	H28	E２	第10面	２S-1079 上層	底板	△23.6 △6.2 0.8		追柾目			
3826	Ⅳ-11-48	H28	E２	第10面	２S-1079 下層	蓋？ (未製品？)	29.7 20.6 1.8	スギ	板目			
3586	Ⅳ-11-48	H28	E２	第10面	２S-1079 上層	建築部材	△64.9 11.9 1.1		板目			
3588	Ⅳ-11-48	H28	E２	第10面	２S-1079 上層	建築部材	47.1 11.5 1.1		板目			
3969	Ⅳ-11-48	H28	E２	第10面	２S-1079 －	建築部材	△96.7 △6.9 1.0		追柾目			
3598Ｂ	Ⅳ-11-48	H28	E２	第10面	２S-1079 上層	不明 (部材)	△12.5 3.35 1.5		板目			
3384	Ⅳ-11-49	H28	E２	第10面	２S-1079 上層	建築部材	△65.6 15.3 1.7		板目			炭化
3606	Ⅳ-11-49	H28	E２	第10面	２S-1079 上層	建築部材	△59.2 34.9 2.2		板目			
3825	Ⅳ-11-49	H28	E２	第10面	２S-1079 下層	不明 (板状品)	△71.3 5.4 1.1		柾目			
3598A	Ⅳ-11-49	H28	E２	第10面	２S-1079 上層	不明 (板状品)	△48.5 3.3 1.5		板目			
3598C	Ⅳ-11-49	H28	E２	第10面	２S-1079 上層	不明	△27.4 △6.2 1.3		追柾目			
3474	Ⅳ-11-50	H28	E２	第10面	２S-1079 上層	建築部材	△129.2 3.2 0.8		板目			
3541	Ⅳ-11-50	H28	E２	第10面	２S-1079 上層	建築部材	△247.5 4.4 2.3		板目			炭化
3828	Ⅳ-11-50	H28	E２	第10面	２S-1079 上層	建築部材	155.8 31.3 2.1		板目			
1820	Ⅳ-12-５	H28	E４	第11面	－ X層	不明 (部材)	△15.2 7.4 3.7	スギ	板目		真空凍結乾燥	

第Ⅵ－２－６表　木器観察表29

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
3618	Ⅳ-12-5	H28	E2	第11面	－ X層	脚	△20.4 16.6 4.7		芯去材			
8358	Ⅳ-12-5	H26	D0	第11面	－ X層	桶	△22.5 △13.7 2.0		縦木取			
9512	Ⅳ-12-5	H27	G6	第11面	－ X層	平鋤 (組合せ)	△23.6 △8.2 1.5	アカガシ亜属	柾目		真空凍結乾燥	
1903	Ⅳ-12-7	H28	E4	第11面	－ X層	建築部材	△66.0 6.9 2.9		板目			
9510	Ⅳ-12-7	H27	G6	第11面	－ X層	不明 (部材)	51.2 2.6 1.6		板目			
9513A	Ⅳ-12-7	H27	G6	第11面	－ X層	機織具	△65.9 3.8 3.2		芯去材			
9513B	Ⅳ-12-7	H27	G6	第11面	－ X層	不明 (部材)	△21.1 1.9 1.9		芯去材			
4111	Ⅳ-12-14	H28	E2	第11面	2S-1147 －	杭 (転用)	△49.1 8.2 2.8		芯去材 (分割材)			
4117	Ⅳ-12-14	H28	E2	第11面	2S-1147 －	杭 (転用)	△36.2 8.3 2.4		芯去材 (分割材)			
4112	Ⅳ-12-16	H28	E2	第11面	2S-1147 －	杭	△37.7 3.7 3.0		芯持材 (樹皮付 丸太材)			
4113	Ⅳ-12-16	H28	E2	第11面	2S-1147 －	杭	△17.9 2.0 2.3		芯持材 (樹皮付 丸太材)			
4115	Ⅳ-12-16	H28	E2	第11面	2S-1147 －	杭	△18.3 2.9 2.2		芯持材 (樹皮付 丸太材)			
4118	Ⅳ-12-16	H28	E2	第11面	2S-1147 －	杭	△43.4 5.7 5.5		芯持材 (樹皮付 丸太材)			
3940	Ⅳ-12-17	H28	E2	第11面	2S-1147 貼床層	木包丁	△5.7 5.3 0.9		柾目			
4120	Ⅳ-12-17	H28	E2	第11面	2S-1147 貼床下位層	木包丁	14.6 4.0 0.8	ヤマグワ	柾目			
4014	Ⅳ-12-17	H28	E2	第11面	2S-1147 P1 －	柱	△85.6 20.75 19.1	クスノキ	芯持材 (丸太材)			取上台帳は 2S-1237
4013	Ⅳ-12-17	H28	E2	第11面	2S-1147 P2 －	柱	△88.2 19.6 19.0	クスノキ	芯持材 (丸太材)			取上台帳は 2S-1238
3882	Ⅳ-12-18	H28	E2	第11面	2S-1147 溝1a －	建築部材	123.0 24.3 1.7	スギ	追柾目			取上台帳は 2S-1239
3883	Ⅳ-12-18	H28	E2	第11面	2S-1147 溝1b －	建築部材	131.0 17.4 1.9	スギ	追柾目			取上台帳は 2S-1239
5043	Ⅳ-12-22	H28	D8	第11面	2S-1267 埋土中	柱	△55.3 11.7 9.7		芯去材			
5115	Ⅳ-12-22	H28	D8	第11面	2S-1173 埋土中	柱	△51.4 9.25 8.3		芯去材			
5122	Ⅳ-12-22	H28	D8	第11面	2S-1269 埋土中	柱	△57.1 17.7 12.9	スギ	芯去材			
2653	Ⅳ-12-31	H28	E4	第11面	2S-1046 －	蓋	△11.0 △10.8 1.1	ヤマグワ	横木取	黒		
2807	Ⅳ-12-31	H28	E4	第11面	2S-1046 －	建築部材	100.6 △17.3 1.6		板目			
3056	Ⅳ-12-31	H28	E4	第11面	2S-1046 －	桶	△6.3 △10.0 2.3		縦木取			
3848	Ⅳ-12-31	H28	E4	第11面	2S-1046 －	栓	27.1 5.9 3.7	クワ属	征目		真空凍結乾燥	
3965	Ⅳ-12-31	H28	E4	第11面	2S-1046 －	建築部材	△96.7 15.6 1.6		板目			炭化
3049A	Ⅳ-12-31	H28	E4	第11面	2S-1046 －	桶	24.8 △3.45 2.7		縦木取			目釘有
3049B	Ⅳ-12-31	H28	E4	第11面	2S-1046 －	蓋	8.2 5.0 0.65		板目			
3184	Ⅳ-12-32	H28	E4	第11面	2S-1046 －	建築部材	△89.0 38.45 1.45		板目			
3170 4170	Ⅳ-12-32	H28	E4	第11面	2S-1046 －	杭 (転用)	120.7 7.3 6.1		芯去材 (分割材)			
4171	Ⅳ-12-32	H28	E4	第11面	2S-1046 －	杭 (転用)	110.4 8.7 6.7		芯去材 (分割材)			

第Ⅵ－２－６表　木器観察表30

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
3970 4809	Ⅳ-12-32	H28	E４	第11面	２S-1046 －	杭 (転用)	△177.4 8.6 7.0		芯去材 (分割材)			
3974	Ⅳ-12-35	H28	E４	第11面	２S-1250 －	建築部材	△111.2 16.5 1.6		板目			
5171	Ⅳ-12-35	H28	E４	第11面	２S-1248	杭	△57.8 5.0 3.8		芯持材 (樹皮付 丸太材)			２点接合
4169	Ⅳ-12-36	H28	E４	第11面	２S-1250 －	杭 (転用)	△47.1 6.5 4.1		芯去材 (分割材)			
5167	Ⅳ-12-36	H28	E４	第11面	２S-1250 －	杭 (転用)	△67.3 8.2 2.8		芯去材 (分割材)			
5169	Ⅳ-12-36	H28	E４	第11面	２S-1250 －	杭 (転用)	△60.1 8.6 4.3		芯去材 (分割材)			
5170	Ⅳ-12-36	H28	E４	第11面	２S-1250 －	杭 (転用)	△55.8 9.9 4.9		芯去材 (分割材)			
4024	Ⅳ-12-37	H28	E４	第11面	２S-1250 －	不明	△47.8 16.3 2.6		板目			
4058	Ⅳ-12-37	H28	E４	第11面	２S-1250 －	杭 (転用)	△91.6 8.1 1.35	スギ	芯去材 (分割材)		真空凍結乾燥	
5168	Ⅳ-12-37	H28	E４	第11面	２S-1250 －	杭	△26.6 △6.8 3.4		芯去材 (分割材)			
3973	Ⅳ-12-40	H28	E４	第11面	２S-1249 －	建築部材	△176.2 21.9 1.6		板目			
4813	Ⅳ-12-40	H28	E４	第11面	２S-1249 －	杭	107.7 19.0 5.8		芯持材 (樹皮付 丸太材)			
4819	Ⅳ-12-40	H28	E４	第11面	２S-1271 －	杭	△29.5 2.7 2.8	スダジイ	芯持材 (樹皮付 丸太材)		真空凍結乾燥	
4887	Ⅳ-12-40	H28	E４	第11面	２S-1271 －	杭	△28.6 △6.7 △3.7		芯持材 (丸太材)			
4894	Ⅳ-12-40	H28	E４	第11面	２S-1271 －	杭	△29.7 3.3 2.85		芯持材 (樹皮付 丸太材)			
4976	Ⅳ-12-40	H28	E４	第11面	２S-1255 －	杭	△21.2 4.6 4.9		芯持材 (丸太材)			
3984	Ⅳ-12-41	H28	E４	第11面	２S-1253 －	杭 (転用)	43.2 △7.6 2.2		芯去材 (板目)			接合しない破片３点
3985	Ⅳ-12-41	H28	E４	第11面	２S-1253 －	杭 (転用)	△49.1 7.7 1.8		芯去材 (追柾目)			接合しない破片１点
3986	Ⅳ-12-41	H28	E５	第11面	２S-1253 －	杭 (転用)	39.8 7.7 1.9		芯去材 (追柾目)			
4016	Ⅳ-12-41	H28	E４	第11面	２S-1253 －	杭 (転用)	46.5 7.0 2.1		芯去材 (板目)			
4017	Ⅳ-12-41	H28	E４	第11面	２S-1253 －	杭 (転用)	47.0 6.5 2.2		芯去材 (追柾目)			
4018	Ⅳ-12--41	H28	E４	第11面	２S-1253 －	杭 (転用)	48.0 6.6 2.3		芯去材 (板目)			
4020	Ⅳ-12-41	H28	E４	第11面	２S-1253 －	杭 (転用)	△108.0 5.0 4.8		芯去材 (分割材)			
4053	Ⅳ-12-42	H28	E４	第11面	２S-1256 －	杭	△39.8 7.55 1.5		芯去材 (板目)			接合しない破片４点
4055	Ⅳ-12-42	H28	E４	第11面	２S-1256 －	杭	△26.7 3.7 2.0		芯去材 (追柾目)			
4815	Ⅳ-12-42	H28	E４	第11面	２S-1271 －	建築部材	△286.3 34.2 2.2	スギ	板目		真空凍結乾燥	
4052	Ⅳ-12-42	H28	E４	第11面	２S-1256 －	建築部材	230.6 17.6 1.8		追柾目			
1947	Ⅳ-12-50	H28	C８	第11面	２S-1030 埋土中	桶	17.5 △8.6 1.5		縦木取	有		
2007	Ⅳ-12-50	H28	C８	第11面	２S-1030 埋土中	匙	23 5.5 1.2	カヤ	柾目			
2009	Ⅳ-12-50	H28	C８	第11面	２S-1030 埋土中	不明	△20.3 4.7 1.9	ケヤキ	柾目			
2746	Ⅳ-12-50	H28	C８	第11面	２S-1030 b 埋土中	杭 (転用)	△30.2 3.2 2.1	スギ	芯去材			
2744	Ⅳ-12-51	H28	C８	第11面	２S-1030 b 埋土中	盤	△54.7 △32.6 9.4	スギ	横木取		真空凍結乾燥	

第Ⅵ－２－６表　木器観察表31

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
2128	Ⅳ-12-52	H28	D8	第11面	2S-1030 埋土中	建築部材 (板状品)	△79.7 4.0 0.8		板目			
2502	Ⅳ-12-52	H28	D8	第11面	2S-1030 埋土中	建築部材 (板状品)	△71.2 5.7 1.6		板目			
2729	Ⅳ-12-52	H28	D8	第11面	2S-1030b 埋土中	建築部材 (柱か)	△66.6 7.2 6.0		芯去材			
2745	Ⅳ-12-52	H28	C8	第11面	2S-1030b 埋土中	不明 (板状品)	△53.7 12.5 1.2		板目			
2064	Ⅳ-12-53	H28	D8	第11面	2S-1030 埋土中	建築部材 (棒状品)	△123.4 4.3 2.9		芯去材			
2067	Ⅳ-12-53	H28	D8	第11面	2S-1030 埋土中	建築部材 (板状品)	110.5 5.5 1.5		追柾目			
2069	Ⅳ-12-53	H28	D8	第11面	2S-1030 埋土中	建築部材 (棒状品)	71.5 2.0 1.7		芯去材			
2124	Ⅳ-12-53	H28	D8	第11面	2S-1030 埋土中	建築部材 (へぎ板)	△252.3 2.6 1.0		板目			炭化
2131	Ⅳ-12-53	H28	D8	第11面	2S-1030 埋土中	建築部材 (へぎ板)	△244.7 2.8 1.1		柾目			
2066	Ⅳ-12-54	H28	D8	第11面	2S-1030 埋土中	建築部材 (へぎ板)	△204.5 2.3 0.7	スギ	板目		真空凍結乾燥	
2121	Ⅳ-12-54	H28	D8	第11面	2S-1030 埋土中	建築部材 (へぎ板)	△129.6 3.1 1.0	スギ	板目		真空凍結乾燥	
2125	Ⅳ-12-54	H28	D8	第11面	2S-1030 埋土中	建築部材 (へぎ板)	△195.6 2.25 0.85		柾目			
2126	Ⅳ-12-54	H28	D8	第11面	2S-1030 埋土中	建築部材 (へぎ板)	△204.6 2.5 0.8		板目			
2130	Ⅳ-12-54	H28	D8	第11面	2S-1030 埋土中	建築部材 (へぎ板)	△169.6 2.4 1.1		柾目			
2528	Ⅳ-12-54	H28	D8	第11面	2S-1030 埋土中	建築部材 (へぎ板)	△147.6 2.2 1.3		板目			
2714	Ⅳ-12-54	H28	C8	第11面	2S-1030b 埋土中	建築部材 (へぎ板)	△152.6 2.4 1.2		板目			
5112	Ⅳ-12-56	H28	D8	第11面	2S-1264 埋土中	建築部材 (板状品)	△109.2 14.2 1.9	スギ	板目			
5113	Ⅳ-12-56	H28	D8	第11面	2S-1264 埋土中	建築部材 (板状品)	112.0 16.5 1.8		板目			
5124	Ⅳ-12-56	H28	D8	第11面	2S-1264 埋土中	杭	△41.1 △3.0 3.1	スギ	芯持材		真空凍結乾燥	
5127	Ⅳ-12-56	H28	D8	第11面	2S-1264 埋土中	杭	△38.6 6.8 6.3		芯持材 (丸太材)			
5128	Ⅳ-12-56	H28	D8	第11面	2S-1264 埋土中	杭	△19.5 5.1 4.3		芯持材 (丸太材)			
4781	Ⅳ-12-57	H28	D8	第11面	2S-1264 埋土中	不明 (板状品)	△102.7 25.5 2.3		板目			
2663	Ⅳ-12-60	H28	D8	第11面	2S-1065 埋土中	建築部材	△78.0 7.8 3.8		柾目			
3004	Ⅳ-12-60	H28	D8	第11面	2S-1065 埋土中	建築部材 (板状品)	△133.5 4.0 3.5		芯去材			炭化
4629	Ⅳ-12-63	H28	D8	第11面	2S-1234 埋土中	杭	△36.5 5.3 2.5		芯去材			
4632	Ⅳ-12-63	H28	D8	第11面	2S-1234 埋土中	杭	△29.3 4.2 3.0		芯去材			
4633	Ⅳ-12-63	H28	D8	第11面	2S-1234 埋土中	杭	△22.0 8.0 2.7		芯去材			
5121	Ⅳ-12-65	H28	D8	第11面	2S-1265 埋土中	網枠	37.0 14.5 4.2	ヤマグワ	芯去材			枠部と柄の装着部が組まれた状態で出土
2119	Ⅳ-12-72	H28	C4	第11面	2S-1057 埋土中	容器	30.1 14.4 1.0		柾目			表面に付着物あり(漆か) 内面(表)手斧痕有
2145	Ⅳ-12-72	H28	C4	第11面	2S-1057 埋土中	指物	22.8 12.25 0.8		柾目			下部中央付近の目釘穴に、目釘が残存している
3456	Ⅳ-12-72	H28	C4	第11面	2S-1057 埋土中	桶蓋	24.0 19.4 1.0	スギ	板目			

第Ⅵ－２－６表　木器観察表32

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
3702	Ⅳ-12-72	H28	C４	第11面	２S-1057A-A' ８・９層相当	指物	15.2 7.4 0.75	スギ	板目			
4087	Ⅳ-12-72	H28	C４	第11面	２S-1057 A-A'８層相当	指物	13.8 6.3 0.6		板目			
2058	Ⅳ-12-73	H28	C４	第11面	２S-1057 トレンチ	又鍬	△29.8 △6.3 1.6	アカガシ亜属	柾目			２点接合 全体に炭化している
3328	Ⅳ-12-73	H28	C４	第11面	２S-1057 A-A'８層相当	平鋤	28.8 16.8 1.4	アカガシ亜属	柾目			
3418	Ⅳ-12-73	H28	C４	第11面	２S-1057 埋土中	木包丁	△13.7 4.85 1.2	ヤマグワ	柾目			
4203	Ⅳ-12-74	H28	C４	第11面	２S-1057A-A' ９層相当	又鍬未製品	41.0 15.0 3.0	アカガシ亜属	柾目			炭化
2279	Ⅳ-12-74	H28	C４	第11面	２S-1057 埋土中	櫂	△30.1 13.2 1.8	ヤマグワ	柾目			
3417	Ⅳ-12-74	H28	C４	第11面	２S-1057A-A' ８層相当	盾	△53.8 △7.3 1.0	スギ	板目			
3593	Ⅳ-12-74	H28	C４	第11面	２S-1057A-A' ８・９層相当	不明 (未製品か)	36.3 16.1 9.1	クリ	縦木取			
3759	Ⅳ-12-74	H28	C４	第11面	２S-1057 A-A'９層相当	杭	△53.0 8.0 5.6		芯去材			炭化
3801	Ⅳ-12-74	H28	C４	第11面	２S-1057 A-A'９層相当	杭	△27.3 4.5 4.5		芯持材 (丸太材)			
3865	Ⅳ-12-75	H28	C４	第11面	２S-1057 A-A'７・８層相当	建築部材 (板状品)	△161.8 14.9 4.0		板目			
3866	Ⅳ-12-75	H28	C４	第11面	２S-1057 A-A'７・８層相当	建築部材 (板状品)	△180.0 15.5 4.8		板目			
3494	Ⅳ-12-76	H28	C４	第11面	２S-1057 A-A'相当８層	建築部材 (板状品)	323.5 △10.2 2.1	スギ	板目		真空凍結乾燥	
4194	Ⅳ-12-76	H28	C４	第11面	２S-1057 A-A'12層相当	建築部材 (板状品)	△204.7 13.4 1.7		板目			裏面著しく腐朽 炭化
4195	Ⅳ-12-76	H28	C４	第11面	２S-1057A-A' ９層相当	建築部材 (棒状品)	130.2 7.5 5.0	スギ	芯去材			炭化
3777	Ⅳ-12-77	H28	C４	第11面	２S-1057A-A' ９層相当	建築部材 (板状品)	116.0 17.8 1.9		板目			炭化
3887	Ⅳ-12-77	H28	C４	第11面	２S-1057 A-A'15層相当	建築部材 (板状品)	△139.8 20.8 1.8		追柾目			
3899	Ⅳ-12-78	H28	C４	第11面	２S-1057 A-A'12層相当	建築部材 (板状品)	△88.3 △9.8 1.1		板目			
4201	Ⅳ-12-78	H28	C４	第11面	２S-1057A-A' ９層相当	建築部材 (板状品)	75.6 8.2 1.5		板目			
4202	Ⅳ-12-78	H28	C４	第11面	２S-1057 A-A'９層相当	建築部材 (板状品)	102.2 24.7 2.5		板目			炭化
3663 4032	Ⅳ-12-78	H28	C４	第11面	２S-1057 A-A'９層相当	建築部材 (板状品)	△67.2 14.9 1.2	スギ	追柾目		真空凍結乾燥	
2006	Ⅳ-12-79	H28	C４	第11面	２S-1057トレンチ -	栓	17.2 8.2 3.5	スギ	板目		真空凍結乾燥	
2410	Ⅳ-12-79	H28	C４	第11面	２S-1057A-A' ７層相当	建築部材	△35.9 17.0 12.95		芯去材			表裏一部炭化
3321	Ⅳ-12-79	H28	C４	第11面	２S-1057 A-A'７層相当	礎板	28.6 18.7 2.7	スギ	板目		真空凍結乾燥	
3511	Ⅳ-12-79	H28	C４	第11面	２S-1057 A-A'８・９層相当	不明 (板状品)	△20.5 12.4 1.8		板目			
3543	Ⅳ-12-79	H28	C４	第11面	２S-1057 A-A'８・９層相当	不明 (板状品)	△34.7 8.9 1.5		板目			
3774	Ⅳ-12-79	H28	C４	第11面	２S-1057 A-A'９層相当	不明 (板状品)	△23.0 10.7 1.6		板目			
3906	Ⅳ-12-79	H28	C４	第11面	２S-1057 トレンチ	礎板	29.5 20.1 3.1		板目			
4197	Ⅳ-12-79	H28	C４	第11面	２S-1057 A-A'９層相当	建築部材	△50.3 △16.9 4.0		縦木取			炭化
2103	Ⅳ-12-80	H28	C５	第11面	２S-1057 埋土中	建築部材 (棒状品)	△68.7 5.5 3.8		芯去材			
2401	Ⅳ-12-80	H28	C４	第11面	２S-1057 A-A'８層相当	建築部材 (棒状品)	△128.1 4.7 2.9	スギ	板目		真空凍結乾燥	

第Ⅵ－２－６表　木器観察表33

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
3327	Ⅳ-12-80	H28	C4	第11面	2S-1057 A-A'7層相当	建築部材 (へぎ板)	△124.0 5.0 1.8		板目			
3556	Ⅳ-12-80	H28	C4	第11面	2S-1057 A-A'8・9層相当	建築部材 (棒状品)	△80.5 4.6 1.8		柾目			炭化
3670	Ⅳ-12-80	H28	C4	第11面	2S-1057A-A' 8層相当	建築部材 (棒状品)	△134.0 3.8 3.4	スギ	芯去材			炭化
2269	Ⅳ-12-81	H28	C4	第11面	2S-1057 埋土中	不明	△19.3 3.0 0.9		板目			
2325	Ⅳ-12-81	H28	C4	第11面	2S-1057 埋土中	不明	△12.9 8.7 2.05		追柾目			
2407	Ⅳ-12-81	H28	C4	第11面	2S-1057 A-A'9層相当	不明 (棒状品)	△45.4 5.2 4.8		芯去材			
3344	Ⅳ-12-81	H28	C4	第11面	2S-1057A-A' 7層相当	未製品か (板状品)	17.5 20.7 2.4	ケヤキ	柾目			表面・側面手斧痕有 裏面は手斧痕不明瞭
3345	Ⅳ-12-81	H28	C4	第11面	2S-1057 A-A'7層相当	不明 (板状品)	△10.35 7.1 1.7		柾目			
3554	Ⅳ-12-81	H28	C4	第11面	2S-1057 A-A'9層相当	不明 (板状品)	△20.4 8.7 1.7		板目			
4501	Ⅳ-12-108	H28	E4	第11面	2S-840 中層	平鋤 (組合せ)	30.3 14.2 1.9	アカガシ亜属	追柾目			
4852	Ⅳ-12-108	H28	E4	第11面	2S-840 中層	横槌	29.9 8.9 5.9		追柾目			
4602	Ⅳ-12-108	H28	E4	第11面	2S-840 中層	木包丁	9.3 △13.7 1.0	スギ	柾目			
4903	Ⅳ-12-108	H28	E4	第11面	2S-840 中層	木包丁	△16.95 5.1 1.2	ヤマグワ	柾目			
4883C	Ⅳ-12-108	H28	E4	第11面	2S-840 中層	木包丁	△13.6 5.2 1.1	クワ属	柾目		真空凍結乾燥	
3148D	Ⅳ-12-108	H28	E4	第11面	2S-840 中層	柄	△7.7 9.1 △1.7	サカキ	芯持材 (枝分れ)			
5047G	Ⅳ-12-108	H28	E4	第11面	2S-840 中層	直柄又鍬	△21.0 △7.7 2.6		柾目			炭化
5047M	Ⅳ-12-108	H28	E4	第11面	2S-840 中層	曲柄又鍬	△10.2 △7.2 △1.5		柾目			
3175	Ⅳ-12-114	H28	E4	第11面	2S-840 中層	機織具	86.5 4.1 2.8		柾目			
3291	Ⅳ-12-114	H28	E4	第11面	2S-840 中層	衣笠	16.1 11.1 1.8	カヤ	芯持材 (枝分れ)			
4844	Ⅳ-12-114	H28	E4	第11面	2S-840 中層	紡錘車	△30.2 紡茎1.2 紡輪6.0	カヤ	柾目			
4929	Ⅳ-12-114	H28	E4	第11面	2S-840 中層	鍬	△49.6 △7.2 0.4	アカガシ亜属	柾目		真空凍結乾燥	
4883B 4884F	Ⅳ-12-115	H28	E4	第11面	2S-840 中層	曲柄又柄	△28.1 4.0 2.5	ツバキ属	芯持材		真空凍結乾燥	
3717	Ⅳ-12-115	H28	E4	第11面	2S-840 中層	網枠	△38.2 △41.8 2.2	カヤ	芯去材			
4134	Ⅳ-12-115	H28	E4	第11面	2S-840 中層	櫂	△51.8 15.5 2.1	シイ属？	追柾目			
3934B	Ⅳ-12-115	H28	E4	第11面	2S-840 中層	櫂	△26.1 △7.9 △2.5	ヤマグワ？	追柾目			
3981 3982	Ⅳ-12-116	H28	E4	第11面	2S-840 中・下層	刺突具？	128.6 2.4 2.2	スギ	追柾目		真空凍結乾燥	
4787	Ⅳ-12-116	H28	E4	第11面	2S-840 中層	盾	73.7 △18.3 1.2	スギ	板目			
3804B	Ⅳ-12-116	H28	E4	第11面	2S-840 中層	盾	△32.0 △7.9 1.4		板目			
4884A-1	Ⅳ-12-116	H28	E4	第11面	2S-840 中層	盾	△39.4 △3.2 0.7		板目			
4884A-2 4884A-3	Ⅳ-12-116	H28	E4	第11面	2S-840 中層	盾	△49.1 △16.5 0.7		板目			炭化
2786	Ⅳ-12-117	H28	E4	第11面	2S-840 中層	桶	△9.2 △15.9 3.0		縦木取			炭化 目釘2ヶ所あり

第Ⅵ－２－６表　木器観察表34

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
3159	Ⅳ-12-117	H28	E４	第11面	２S-840 中層	桶	22.0 △11.5 2.4		縦木取			
4021	Ⅳ-12-117	H28	E４	第11面	２S-840 中層	桶	24.9 △22.4 2.3	スギ	縦木取	有	真空凍結乾燥	
4820	Ⅳ-12-117	H28	E４	第11面	２S-840 中層	桶	△22.2 △9.5 △1.7	スギ	縦木取	黒		
3581	Ⅳ-12-118	H28	E４	第11面	２S-840 中層	桶	25.7 △26.4 2.1	スギ	縦木取		真空凍結乾燥	
4190	Ⅳ-12-118	H28	E４	第11面	２S-840 中層	桶	31.1 △18.0 2.7	スギ	縦木取		真空凍結乾燥	
4900	Ⅳ-12-118	H28	E４	第11面	２S-840 中層	桶	22.9 17.0 2.1	スギ	縦木取		真空凍結乾燥	
4856	Ⅳ-12-119	H28	E４	第11面	２S-840 中層	蓋	11.4 11.0 1.2	クワ属	横木取	有	真空凍結乾燥	4790とセット
4790	Ⅳ-12-119	H28	E４	第11面	２S-840 中層	台付壺	9.7 推定9.5 5.5	クワ属	横木取	有	真空凍結乾燥	4856とセット
4818	Ⅳ-12-119	H28	E４	第11面	２S-840 中層	不明 (槽転用)	△46.9 △10.5 2.0		柾目			
9506	Ⅳ-12-119	H27	F５	第11面	２S-840 －	桶	46.0 △24.6 4.3		縦木取			
3172	Ⅳ-12-120	H28	E４	第11面	２S-840 中層	高杯	16.4 △9.6 1.6	スギ	横木取			
4037	Ⅳ-12-120	H28	E４	第11面	２S-840 中層	高坏 (脚部)	－ △9.9 ※14.6	クワ属	横木取	有	真空凍結乾燥	4038と保存処理後接合 処理後の歪み大きく、脚部破片接合できず
4038	Ⅳ-12-120	H28	E４	第11面	２S-840 中層	高坏 (杯部)	19.3 △7.5 －	クワ属	横木取	有	真空凍結乾燥	4037と保存処理後接合 処理後の歪み大きく、割れが拡大
4523	Ⅳ-12-120	H28	E４	第11面	２S-840 中層	脚？	△10.15 7.7 2.1	広葉樹 (散孔材)	柾目			
3934D	Ⅳ-12-120	H28	E４	第11面	２S-840 中層	容器	※28.0 △4.7 1.7	スギ	横木取			
9503 9504	Ⅳ-12-120	H27	F５	第11面	２S-840 －	高杯 (脚部)	△11.9 △14.4 △1.4	クワ属	縦木取		真空凍結乾燥	
3173	Ⅳ-12-121	H28	E４	第11面	２S-840 中層	槽	62.6 27.4 10.3	スギ	横木取		真空凍結乾燥	
4849	Ⅳ-12-121	H28	E４	第11面	２S-840 中層	槽	54.4 △11.6 1.8		横木取			炭化
3934Ⅰ	Ⅳ-12-121	H28	E４	第11面	２S-840 中層	槽	△32.8 △7.4 1.8	スギ	横木取		真空凍結乾燥	
3047	Ⅳ-12-122	H28	E４	第11面	２S-840 中層	蓋	△10.8 7.2 0.5		追柾目			
3285	Ⅳ-12-122	H28	E４	第11面	２S-840 中層	底板	△10.15 △4.95 0.7		板目			
3621	Ⅳ-12-122	H28	E４	第11面	２S-840 中層	底板	26.2 14.7 1.7		追柾目			
4191	Ⅳ-12-122	H28	E４	第11面	２S-840 中層	蓋？	24.9 6.7 2.1	ケヤキ	柾目			
4859	Ⅳ-12-122	H28	E４	第11面	２S-840 中層	蓋	8.0 5.0 0.7		追柾目			
4931	Ⅳ-12-122	H28	E４	第11面	２S-840 中層	蓋	10.0 6.0 0.6		柾目			
5047D	Ⅳ-12-122	H28	E４	第11面	２S-840 中層	不明 (板状品)	46.4 △6.15 1.1		追柾目			
5096C	Ⅳ-12-122	H28	E４	第11面	２S-840 中層	蓋	8.7 4.9 0.8		追柾目			
4603	Ⅳ-12-123	H28	E４	第11面	２S-840 中層	指物	9.4 9.3 1.2		追柾目			
3148A	Ⅳ-12-123	H28	E４	第11面	２S-840 中層	指物	13.9 7.6 1.1		板目			
3148B	Ⅳ-12-123	H28	E４	第11面	２S-840 中層	指物	13.2 6.9 10.5		追柾目			
3297 3582	Ⅳ-12-123	H28	E４	第11面	２S-840 中層	匙	28.9 6.9 1.3	カヤ	板目	黒		２点接合

第Ⅵ－２－６表　木器観察表35

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
4883A	Ⅳ-12-123	H28	E 4	第11面	2S-840 中層	杓子形木器	△30.7 △4.6 △2.2		板目			
5096D	Ⅳ-12-123	H28	E 4	第11面	2S-840 中層	底板	19.2 △13.4 1.0	スギ	板目		真空凍結乾燥	
0093	Ⅳ-12-124	H27	E 4	第11面	2S-40 4ライン トレンチ	刀形	28.9 9.8 7.6	スギ	横木取		真空凍結乾燥	
4884C	Ⅳ-12-124	H28	E 4	第11面	2S-840 中層	刀形	△31.5 2.9 0.9		追柾目			炭化
5096A	Ⅳ-12-124	H28	E 4	第11面	2S-840 中層	剣形？	△90.3 3.1 1.9		板目			
3066	Ⅳ-12-125	H28	E 4	第11面	2S-840 中層	火鑽臼	△24.9 3.0 1.7		板目			炭化
3075	Ⅳ-12-125	H28	E 4	第11面	2S-840 中層	指物？	△18.1 △6.0 △0.9		板目			
3849	Ⅳ-12-125	H28	E 4	第11面	2S-840 中層	不明 (部材)	30.0 2.2 1.4		柾目			
4899	Ⅳ-12-125	H28	E 4	第11面	2S-840 中層	不明 (部材)	15.85 2.6 1.0		追柾目			
4908	Ⅳ-12-125	H28	E 4	第11面	2S-840 中層	栓	19.1 7.4 6.5		板目			
3804C	Ⅳ-12-125	H28	E 4	第11面	2S-840 中層	不明 (部材)	△11.8 11.5 2.1		板目			
3804G	Ⅳ-12-125	H28	E 4	第11面	2S-840 中層	不明 (部材)	△26.2 1.7 1.3		柾目			
5047I	Ⅳ-12-125	H28	E 4	第11面	2S-840 中層	不明 (部材)	△11 △1.8 △1.3		追柾目			
5047L	Ⅳ-12-125	H28	E 4	第11面	2S-840 中層	把手	△14.2 △3.2 3.1		追柾目			
4902	Ⅳ-12-126	H28	E 4	第11面	2S-840 中層	脚	26.7 6.5 4.2	クリ	柾目		真空凍結乾燥	
2801 3907	Ⅳ-12-126	H28	E 4	第11面	2S-840 中層	腰掛	41.7 25.3 1.7	スギ	横木取		真空凍結乾燥	
3156	Ⅳ-12-127	H28	E 4	第11面	2S-840 中層	不明	△15.8 △10.9 3.0	ハリギリ	追柾目		真空凍結乾燥	
3223	Ⅳ-12-127	H28	E 4	第11面	2S-840 中層	不明	21.6 10.1 2.4	ハリギリ	追柾目		真空凍結乾燥	
4715	Ⅳ-12-127	H28	E 4	第11面	2S-840 中層	栓？	53.9 3.6 3.5		板目			
3145A	Ⅳ-12-127	H28	E 4	第11面	2S-840 中層	不明 (板状品)	△45.9 7.5 2.7		柾目			炭化
4884B	Ⅳ-12-127	H28	E 4	第11面	2S-840 中層	不明 (杭状品)	△49.9 2.0 1.2		板目			
2788	Ⅳ-12-128	H28	E 4	第11面	2S-840 中層	不明	△36.1 5.9 1.3		追柾目			
4502	Ⅳ-12-128	H28	E 4	第11面	2S-840 中層	不明 (円形)	8.1 8.3 1.1		板目			
4513	Ⅳ-12-128	H28	E 4	第11面	2S-840 中層	不明 (部材)	△12.7 2.0 2.0	広葉樹 (散孔材)	芯持材			
3237A	Ⅳ-12-128	H28	E 4	第11面	2S-840 中層	不明	12.0 △3.7 2.8		板目			炭化
3237B	Ⅳ-12-128	H28	E 4	第11面	2S-840 中層	不明 (部材)	△34.6 2.0 1.2		板目			
3804F	Ⅳ-12-128	H28	E 4	第11面	2S-840 中層	不明	8.6 23.0 4.7		柾目			
3934C	Ⅳ-12-128	H28	E 4	第11面	2S-840 中層	不明 (板状品)	△36.6 △3.9 0.9		追柾目			
5047H	Ⅳ-12-128	H28	E 4	第11面	2S-840 中層	不明	△19.9 2.0 0.8		板目			
5047N	Ⅳ-12-128	H28	E 4	第11面	2S-840 中層	不明 (刺突具？)	△4.4 △8.1 0.9		柾目			
4912	Ⅳ-12-129	H28	E 4	第11面	2S-840 中層	不明	13.9 △4.8 1.0		追柾目			
5047O	Ⅳ-12-129	H28	E 4	第11面	2S-840 中層	盾	65.8 △6.6 1.1		板目			

第Ⅵ－２－６表　木器観察表36

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
5047C 5047F	Ⅳ-12-129	H28	E４	第11面	２S-840 中層	盾	47.8 △6.85 1.2		板目			
5047E	Ⅳ-12-129	H28	E４	第11面	２S-840 中層	盾	48.9 △5.75 1.0		追柾目			
3803F	Ⅳ-12-129	H28	E４	第11面	２S-840 中層	不明 (部材)	△32.4 △4.8 1.7		板目			
3934F	Ⅳ-12-129	H28	E４	第11面	２S-840 中層	不明 (部材)	27.3 5.1 0.7		追柾目			
5047B	Ⅳ-12-130	H28	E４	第11面	２S-840 中層	盾	△44.0 △4.6 0.9		追柾目			
4905	Ⅳ-12-130	H28	E４	第11面	２S-840 中層	不明 (板状品)	31.2 △7.9 1.4		板目			
4940	Ⅳ-12-130	H28	E４	第11面	２S-840 中層	不明 (板状品)	14.5 9.6 0.7		追柾目			
3148C	Ⅳ-12-130	H28	E４	第11面	２S-840 中層	不明 (板状品)	△22.8 △15.65 0.8		板目			
3804A	Ⅳ-12-130	H28	E４	第11面	２S-840 中層	指物？	△38.2 7.0 1.9		柾目			
5047A	Ⅳ-12-130	H28	E４	第11面	２S-840 中層	不明 (板状品)	31.1 △7.2 1.7		板目			
4567	Ⅳ-12-131	H28	E４	第11面	２S-840 中層	不明 (板状品)	△28.9 6.0 2.6		柾目			炭化
4923	Ⅳ-12-131	H28	E４	第11面	２S-840 中層	不明 (板状品)	△75.6 △26.7 3.5		板目			炭化
9500	Ⅳ-12-131	H27	F５	第11面	２S-840 －	不明 (板状品)	△51.0 20.4 7.0		芯持材			
3934G	Ⅳ-12-131	H28	E４	第11面	２S-840 中層	不明 (板状品)	△26.6 21.0 2.5		板目			
4767	Ⅳ-12-132	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△57.1 26.1 1.7	スギ	板目		真空凍結乾燥	
4858	Ⅳ-12-132	H28	E４	第11面	２S-840 中層	不明 (板状品)	24.3 △8.2 2.7		板目			炭化
4884D	Ⅳ-12-132	H28	E４	第11面	２S-840 中層	不明 (部材)	23.9 8.0 1.5		板目			
4526	Ⅳ-12-133	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△64.7 8.8 2.0		追柾目			炭化
4811	Ⅳ-12-133	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△70.1 10.0 1.3	スギ	板目		真空凍結乾燥	
4850	Ⅳ-12-133	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	66.8 23.5 1.3	スギ	板目		真空凍結乾燥	
4938	Ⅳ-12-133	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	60.5 13.0 4.3		板目			
3148E	Ⅳ-12-133	H28	E４	第11面	２S-0840 中層	柱	30.4 11.4 9.3		芯持材 (丸太材)			
5096B	Ⅳ-12-133	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△28.3 18.8 5.1		追柾目			
4373	Ⅳ-12-134	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△135.6 14.4 1.1		追柾目			
4521	Ⅳ-12-134	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	52.8 15.7 1.1	スギ	板目		真空凍結乾燥	
4522	Ⅳ-12-134	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△89.1 7.8 2.0		板目			
4791	Ⅳ-12-134	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△120.3 10.0 2.2		板目			
5093	Ⅳ-12-134	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	142.5 15.5 2.2		追柾目			
2687	Ⅳ-12-135	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△75.4 7.5 3.8		追柾目			
4507	Ⅳ-12-135	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	90.9 8.0 4.5		柾目			
4518	Ⅳ-12-135	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	77.2 7.3 5.5		柾目			
4519	Ⅳ-12-135	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	79.8 4.8 4.1		柾目			

第Ⅵ－２－６表　木器観察表37

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
3534	Ⅳ-12-136	H28	E4	第11面	2S-840 中層	建築部材	△57.3 8.4 1.5		板目			
3961	Ⅳ-12-136	H28	E2	第11面	2S-840 –	建築部材	△86.9 7.0 1.5		板目			
4786	Ⅳ-12-136	H28	E4	第11面	2S-840 中層	不明 (板状品)	61.5 22.2 1.7		板目			
4812	Ⅳ-12-136	H28	E4	第11面	2S-840 中層	建築部材	101.2 10.2 1.8		追柾目			
4854	Ⅳ-12-136	H28	E4	第11面	2S-840 中層	建築部材	55.7 12.9 1.2		追柾目			炭化
4909	Ⅳ-12-136	H28	E4	第11面	2S-840 中層	建築部材	△89.3 22.2 1.8		板目			
4914	Ⅳ-12-136	H28	E4	第11面	2S-840 中層	建築部材	140.4 15.0 2.0		板目			炭化 木目でのハダ分かれ
3615	Ⅳ-12-137	H28	E4	第11面	2S-840 中層	建築部材	△112.7 15.2 1.3		板目			炭化
4780	Ⅳ-12-137	H28	E4	第11面	2S-840 中層	建築部材	142.3 7.8 3.9		板目			
4893	Ⅳ-12-137	H28	E4	第11面	2S-840 中層	建築部材	△130.9 7.4 2.7		板目			
3513	Ⅳ-12-138	H28	E4	第11面	2S-840 中層	建築部材	△89.4 9.8 2.1		板目			
4814	Ⅳ-12-138	H28	E4	第11面	2S-840 中層	建築部材	△123.5 17.1 1.3		板目			
4933	Ⅳ-12-138	H28	E4	第11面	2S-840 中層	建築部材	△165.6 9.4 2.0		板目			
4941	Ⅳ-12-138	H28	E4	第11面	2S-840 中層	建築部材	135.3 5.0 1.5		板目			
3630	Ⅳ-12-139	H28	E4	第11面	2S-840 中層	建築部材	178.5 20.7 2.0		板目			
4374	Ⅳ-12-139	H28	E4	第11面	2S-840 中層	建築部材	△185.0 19.8 2.0		板目			
4891	Ⅳ-12-139	H28	E4	第11面	2S-840 中層	建築部材	△162.9 25.4 1.7		追柾目			
3629	Ⅳ-12-140	H28	E4	第11面	2S-840 中層	建築部材	△195.4 31.4 1.7	スギ	板目			
4892	Ⅳ-12-140	H28	E4	第11面	2S-840 中層	建築部材	△157.3 26.6 1.6		板目			炭化
3190	Ⅳ-12-141	H28	E4	第11面	2S-840 中層	建築部材	△139.1 14.7 4.4		板目			
4377	Ⅳ-12-141	H28	E4	第11面	2S-840 中層	建築部材	236.6 43.9 2.0	スギ	追柾目			
4527	Ⅳ-12-142	H28	E4	第11面	2S-840 中層	建築部材	△317.4 18.2 1.8		板目			炭化
4528	Ⅳ-12-142	H28	E4	第11面	2S-840 中層	建築部材	△298.5 30.8 2.9		板目			炭化
4636	Ⅳ-12-142	H28	E4	第11面	2S-840 中層	建築部材	△264.0 17.8 2.3		板目			
4788	Ⅳ-12-143	H28	E4	第11面	2S-840 中層	建築部材	△238.9 35.3 2.1		板目			
4845	Ⅳ-12-143	H28	E4	第11面	2S-840 中層	建築部材	△320.1 53.1 2.5	スギ	板目		真空凍結乾燥	
2947	Ⅳ-12-144	H28	E4	第11面	2S-840 中層	建築部材	△145.6 17.3 4.0		板目			炭化
3614	Ⅳ-12-144	H28	E4	第11面	2S-840 中層	建築部材	△138.8 11.5 3.1	スギ	追柾目			
4401	Ⅳ-12-144	H28	E4	第11面	2S-840 中層	建築部材	△308.3 14.4 6.1	スギ	板目		真空凍結乾燥	
4405	Ⅳ-12-144	H28	E4	第11面	2S-840 中層	建築部材	△307.0 18.5 5.2	スギ	板目			
4237	Ⅳ-12-145	H28	E4	第11面	2S-840 中層	建築部材	△77.6 1.5 1.1		板目			
4241	Ⅳ-12-145	H28	E4	第11面	2S-840 中層	建築部材	△104.2 1.4 0.6	スギ	板目		真空凍結乾燥	

第Ⅵ－２－６表　木器観察表38

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
4312	Ⅳ-12-145	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△79.7 2.5 0.4	スギ	板目		真空凍結乾燥	
4321	Ⅳ-12-145	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△84.1 2.2 0.7	スギ	板目		真空凍結乾燥	
4324	Ⅳ-12-145	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△96.2 2.2 1.1		板目			
4392	Ⅳ-12-145	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△75.5 2.0 1.2		板目			
4393	Ⅳ-12-145	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△77.9 1.3 1.3	スギ	板目		真空凍結乾燥	
4443	Ⅳ-12-145	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△70.9 2.2 1.0		板目			
4766	Ⅳ-12-145	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△82.3 2.1 2.0		柾目			炭化
4935	Ⅳ-12-145	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△89.6 2.9 0.9	スギ	板目		真空凍結乾燥	
4639	Ⅳ-12-145	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△44.6 1.1 0.9	スギ	板目		真空凍結乾燥	
4640	Ⅳ-12-145	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△49.6 0.9 1.0	スギ	柾目		真空凍結乾燥	
4257	Ⅳ-12-146	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△140.5 2.3 0.7	スギ	板目		真空凍結乾燥	
4277	Ⅳ-12-146	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△53.4 2.4 1.0	スギ	板目		真空凍結乾燥	
4291	Ⅳ-12-146	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△29.1 1.75 1.1		追柾目			
4475	Ⅳ-12-146	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△129.3 2.5 1.2	スギ	板目		真空凍結乾燥	
4512	Ⅳ-12-146	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△18.9 2.2 0.8		板目			
4540	Ⅳ-12-146	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△16.6 2.8 1.8		板目			
4542	Ⅳ-12-146	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△92.3 2.5 0.9	スギ	板目		真空凍結乾燥	
4551	Ⅳ-12-146	H28	E４	第11面	２S-0840 中層	建築部材	△30.5 2.1 1.2		板目			
4700	Ⅳ-12-146	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△141.8 3.2 1.1		板目			
4731	Ⅳ-12-146	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△151.2 3.3 1.1		板目			
4741	Ⅳ-12-146	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△128.4 2.6 1.3		板目			
3804D	Ⅳ-12-146	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△22.0 2.5 1.4		板目			
4292	Ⅳ-12-147	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△32.55 3.1 1.8		板目			
4318	Ⅳ-12-147	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△89.1 3.2 0.8	スギ	板目		真空凍結乾燥	
4425	Ⅳ-12-147	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△124.8 3.1 1.5		板目			
4438	Ⅳ-12-147	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△47.0 2.8 1.8		追柾目			
4553	Ⅳ-12-147	H28	E４	第11面	２S-0840 中層	建築部材	△91.1 3.4 0.6		板目			
4729	Ⅳ-12-147	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△126.7 3.3 0.6	スギ	板目		真空凍結乾燥	
3178	Ⅳ-12-148	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△106.3 5 1.5	スギ	柾目		真空凍結乾燥	
3989	Ⅳ-12-148	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△119.6 3.5 1.7		板目			
4710	Ⅳ-12-148	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△153.4 4.4 1.9		柾目			炭化
4737	Ⅳ-12-148	H28	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材	△98.4 4.4 0.5	スギ	板目		真空凍結乾燥	

第Ⅵ－２－６表　木器観察表39

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
2789	Ⅳ-12-149	H28	E４	第11面	２S-840 中層	杭 (転用)	70.8 9.5 4.6		芯去材 (分割材)			
3515	Ⅳ-12-149	H28	E４	第11面	２S-840 中層	杭 (転用)	△35.5 5.5 3.8		芯去材 (分割材)			
3975	Ⅳ-12-149	H28	E４	第11面	２S-0840 －	杭 (転用)	87.8 6.6 3.7		芯去材 (分割材)			炭化
2810	Ⅳ-12-150	H28	E４	第11面	２S-840 中層	杭	△55.6 7.7 5.2		芯持材 (丸太材)			
3148G	Ⅳ-12-150	H28	E４	第11面	２S-840 中層	杭	△74.1 2.3 2.0		芯去材 (分割材)			
3803A	Ⅳ-12-150	H28	E４	第11面	２S-840 中層	杭 (転用)	△85.8 8.3 4.5		芯去材 (分割材)			
3934A	Ⅳ-12-150	H28	E４	第11面	２S-840 中層	杭	△59.6 12.8 2.7		芯去材 (分割材)			
4793	Ⅳ-12-151	H28	E４	第11面	２S-840 中層	杭	△107.6 6.5 5.9		芯持材 (樹皮付 丸太材)			
4794	Ⅳ-12-151	H28	E４	第11面	２S-840 中層	杭	89.0 6.8 5.6		芯持材 (樹皮付 丸太材)			
4795	Ⅳ-12-151	H28	E４	第11面	２S-840 中層	杭	△106.6 7.4 7.1		芯持材 (樹皮付 丸太材)			
3148F	Ⅳ-12-151	H28	E４	第11面	２S-840 中層	杭	△95.2 2.9 2.0		芯去材 (分割材)			
0118	Ⅳ-13-１	H27	E６	－	撹乱 －	蓋 (挽物)	11.2 11.0 器高2.3 厚さ0.8	トチノキ	横木取	内外面黒漆	真空凍結乾燥	径11.0
1062	Ⅳ-13-１	H28	D４	－	撹乱 (２S-1021)	漆器椀	－ △4.4 －		縦木取	外面：黒漆 内面：赤漆		
1338	Ⅳ-13-１	H26	C２	－	－ Ⅰ層	紡錘車	8.4 8.0 0.9	スギ	板目		真空凍結乾燥	径8.4 鉄製軸を伴う
1446	Ⅳ-13-１	H27	D４	－	撹乱 (２S-641)	漆器椀	※10.8 4.6 ※6.0		横木取	外面：黒漆 内面：赤漆		全10点　内４点接合可
1706	Ⅳ-13-１	H26	C４	－	－ －	椀	－ △3.4 ※5.2	ブナ属	横木取	有	真空凍結乾燥	外面黒漆塗、 内面ベンガラ漆塗
3970	Ⅳ-13-１	H27	E２	－	－ 撹乱	不明 (部材)	12.6 2.8 2.0		板目			
7502	Ⅳ-13-１	H27	E２	－	－ 撹乱	椀	※13.6 △9.2 ※6.6	ブナ属	横木取	有	真空凍結乾燥	口径13.6、底径6.6 外面黒漆塗、工具痕残る 内面ベンガラ漆塗
0404	Ⅳ-13-２	H27	F２	－	－ 撹乱	馬形？	10.5 △2.2 0.4		板目			
0881	Ⅳ-13-２	H27	D２	－	－ 撹乱	不明 (板状品)	△7.9 30.0 5.5		柾目			
0919	Ⅳ-13-２	H26	G７	－	撹乱 －	杓子	△34.8 30.6 器高14.3 厚さ2.5	スギ	横木取		真空凍結乾燥	径△33.5
2089	Ⅳ-13-２	H26	C３	－	－ 撹乱	蓋	△15.2 △7.4 1.2		板目			全４点接合不可
3934	Ⅳ-13-２	H27	E２	－	－ 撹乱	底板	9.5 9.1 0.6		柾目			
0379B	Ⅳ-13-２	H27	F２	－	撹乱 (２S-400) 埋土中	底板/蓋	△22.6 △5.2 △1.6		板目			割れ面に目釘
0992	Ⅳ-13-３	H26	G７	－	－ 撹乱	梯子 (木製)	△196.0 19.4 7.0	スギ	板目		真空凍結乾燥	
1254	Ⅳ-13-４	H28	E２	－	東側溝 －	刳物箱	26.6 9.5 5.6	スギ	縦木取			
7318A	Ⅳ-13-４	H26	D２	－	２ライントレンチ根株付近 －	蓋	△18.5 △3.7 1.1		板目			樹皮あり　穴２つあり
7007	Ⅳ-13-５	H26	D４	－	４ライン トレンチ －	桶	29.1 13.8 2.6	スギ	板目		真空凍結乾燥	
3381	Ⅳ-13-６	H26	C５	－	５ライン トレンチ －	杭 (転用)	△44.9 9.9 2.9		芯去材 (分割材)			枘穴１個

第Ⅵ－２－６表　木器観察表40

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
1879A	Ⅳ-13-６	H28	C４	－	５ライン トレンチ －	杭	△58.5 8.6 6.0		芯持材 (丸太材)			
1879B	Ⅳ-13-６	H28	C４	－	５ライン トレンチ －	不明 (部材)	△35.5 6.7 4.8		板目			
2455	Ⅳ-13-７	H28	C６	－	６ライン トレンチ －	不明 (部材)	△23.4 6.7 3.0		板目			
3894	Ⅳ-13-９	H26	D７	－	北側溝 －	木錘	(右半分)10.8 7.4 8.1 (左半分)7.9 7.4 6.7	イスノキ	芯持材		真空凍結乾燥	同一個体、くびれ部欠損
3945	Ⅳ-13-９	H26	C８	－	北側溝 －	杭	63.0 5.5 4.6		芯持材 (丸太材)			
0812	Ⅳ-13-11	H27	E４	－	E・Fライン間 トレンチ －	不明 (部材)	△12.2 △13.3 1.9		追柾目			
2644	Ⅳ-13-11	H28	E４	－	E・Fライン間 トレンチ －	杭	92.45 3.1 3.15		芯去材 (分割材)			
4075E	Ⅳ-13-11	H28	E５	－	E･Fライン間 トレンチ －	底板	△25.6 △14.7 1.4		板目			２点接合
0821	Ⅳ-13-12	H26	F５	－	南側溝 －	栓？	△24.2 4.3 3.6		芯持材 (樹皮付 丸太材)			真中に加工痕あり
7783	Ⅳ-13-13	H27	G６	－	G７トレンチ －	不明	29.5 5.4 1.6		板目			
7784	Ⅳ-13-13	H27	G７	－	G７トレンチ －	指物？	△28.8 △5.7 0.8		追柾目			
7798	Ⅳ-13-13	H27	G７	－	G７トレンチ －	紡錘車	5.7 5.6 0.8		柾目			穴あり
9016	Ⅳ-13-13	H27	G６	－	G７トレンチ －	匙	△18.8 △8.4 1.5	クワ属	柾目		真空凍結乾燥	
9164	Ⅳ-13-13	H27	G６	－	G７トレンチ －	扉部材	129.4 26.0 2.0	スギ	板目		真空凍結乾燥	北側扉
9165	Ⅳ-13-13	H27	G６	－	G７トレンチ －	扉部材	134.0 23.6 2.0	スギ	板目		真空凍結乾燥	南側扉
9166	Ⅳ-13-13	H27	G６	－	G７トレンチ －	扉部材	△7.5 6.6 3.0	クワ属	柾目		真空凍結乾燥	北側門
9167	Ⅳ-13-13	H27	G６	－	G７トレンチ －	扉部材	△6.1 8.4 3.0	クワ属	柾目		真空凍結乾燥	南側門
9241	Ⅳ-13-13	H27	G６	－	G７トレンチ －	容器 (花弁高坏)	※17.0 3.1 －	クワ属	横木取	有	真空凍結乾燥	ベンガラ赤色塗彩
9242	Ⅳ-13-13	H27	G６	－	G７トレンチ －	桶	23.0 △16.2 2.8	スギ	縦木取		真空凍結乾燥	
7280	Ⅳ-13-14	H27	G７	－	H７-２トレンチ －	不明木製品	60.2 22.8 2.3	スギ	芯持材		真空凍結乾燥	ホゾ1.5×1.0、目釘φ0.4 絽(かせ、枠) 腕と支えのほぞに目釘
7471	Ⅳ-13-14	H27	G７	－	H７-２トレンチ －	容器 (刳物)	12.6 8.7 0.5	スギ	横木取		真空凍結乾燥	桶底板　穿孔と目釘あり
7563	Ⅳ-13-14	H27	G７	－	H７-２トレンチ －	槽	△33.0 △41.0 器高10.4 底厚さ2.0	スギ	横木取		真空凍結乾燥	
7788	Ⅳ-13-14	H27	G７	－	H７-２トレンチ －	不明 (棒状品)	△26.5 △4.1 2.1		板目			
8167	Ⅳ-13-14	H27	G７	－	H７-２トレンチ －	田下駄	19.6 △24.9 2.5		板目			
8286	Ⅳ-13-14	H27	G７	－	H７-２トレンチ －	盾	△3.9 △3.2 0.7	モミ属	柾目	有	真空凍結乾燥	水銀朱赤色塗彩
8476	Ⅳ-13-14	H27	G７	－	H７-２トレンチ －	木包丁	△5.1 △5.45 △1.1		柾目			穴１つあり
8866	Ⅳ-13-14	H27	G７	－	H７-２トレンチ －	底板？	△21.4 △8.8 2.3		追柾目			穴２つあり
7469 7471	Ⅳ-13-14	H27	G７	－	H７-２トレンチ －	容器 (刳物)	長径18.8 短径14.9 器高△14.5	スギ	横木取		真空凍結乾燥	脚・把手つきの刳物容器 内面炭化、底部に目釘

第Ⅵ－２－６表　木器観察表41

掲載番号 (取上No.)	挿図 番号	調査 年度	グリッド	遺構面	遺構名 層位名	器種等	最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底(脚)径	樹種	木取り	彩色	保存処理	備考
3535	Ⅳ-13-15	H27	G6	−	F･G6確認坑 −	容器 (刳物)	12.0 12.0 器高4.2 厚さ1.5	クワ属	横木取		真空凍結乾燥	径12.0 内外面に黒漆塗または 黒色塗彩
7605	Ⅳ-13-15	H27	G6	−	F・G6確認坑 −	木包丁	△3.8 △5.7 △1.0		柾目			
8135	Ⅳ-13-15	H27	G6	−	F・G6確認坑 V-4層	建築部材	66.5 11.3 2.1		板目			
9056	Ⅳ-13-15	H27	G6	−	F・G6確認坑 −	高杯 脚	− △7.2 17.8	クワ属	横木取	有	真空凍結乾燥	水銀朱赤色塗彩
4002	Ⅳ-13-16	H28	C3	−	東西サブ トレンチ1 −	梯子	△54.3 17.2 8.3		板目			炭化

第Ⅵ－２－６表　木器観察表42

調査年度	取上No.	挿図番号	グリッド	遺構面	遺構層位	器種	法量（ｃｍ）高さ	法量（ｃｍ）幅
H26	3928		D５	第１面	２S-45 埋土中	土玉	2.3	2.9
H26	2201		C３	第１面	２S-51 埋土中	土玉	2.4	2.7
H26	2010A		C３	第１面	２S-51 埋土中	土玉	1.9	2.4
H26	2010B		C３	第１面	２S-51 埋土中	土玉	2.4	2.8
H26	2057		C６	第１面	２S-66 埋土中	土玉	2.9	3.2
H26	2156	Ⅳ-２-45	D３	第１面	２S-66 埋土中	土玉	2.0	2.3
H26	2478	Ⅳ-２-45	D３	第１面	２S-66 埋土中	土玉	3.2	3.2
H26	2917		D４	第１面	２S-66 埋土中	土玉	2.0	2.2
H26	3508		D４	第１面	２S-66 埋土中	土玉	2.2	2.7
H26	2191		D３	第１面	２S-71 埋土中	土玉	2.5	3.0
H27	365		F２	第１面	２S-372 埋土中	土玉	2.5	3.0
H27	634		E２	第１面	２S-0375 埋土中	土玉	2.1	2.4
H27	496		F２	第１面	２S-394 埋土中	土玉	2.4	2.4
H27	660	Ⅳ-２-48	F５	第１面	２S-507 埋土中	その他	2.0	2.4
H27	3965		E２	第１面	２S-744 埋土中	土玉	2.4	2.7
H27	1042A		G７	第２面	２S-623 埋土中	土玉	2.4	2.7
H27	1042B		G７	第２面	２S-623 埋土中	土玉	2.3	2.8
H26	4022		E９	第３面	２S-118 埋土中	土玉	3.0	3.1
H26	4839		C８	第３面	２S-138 埋土中	土玉	2.4	2.7
H26	4034		D３・４	第３面	２S-148 埋土中	土玉	2.3	2.4
H27	1375		G７	第３面	２S-627 下層	土玉	2.1	2.3
H27	1636		G７	第３面	２S-627 下層	土玉	2.3	2.5
H27	1213	Ⅳ-４-９	H７	第３面	２S-628 埋土中	土玉	1.6	2.0
H28	873	Ⅳ-５-７	B３	第４面	Ⅴ層	勾玉	3.1	1.7
H27	2225	Ⅳ-５-37	G６	第３面	２S-666 埋土上層	その他	1.9	2.3
H26	4349	Ⅳ-５-58	D４	第４面	２S-180 埋土中	土玉	2.3	2.9
H26	4440	Ⅳ-５-58	D５	第４面	２S-180 埋土中	土玉	2.8	2.9
H26	4546		C５	第４面	２S-180 埋土中	土玉	2.7	2.8
H26	4574	Ⅳ-５-58	C５	第４面	２S-180 埋土中	土玉	2.2	2.3
H26	4650		D４	第４面	２S-180 埋土中	土玉	2.3	2.6
H26	4651A	Ⅳ-５-58	D４	第４面	２S-180 埋土中	土玉	3.1	3.1
H26	4651B		D４	第４面	２S-180 埋土中	土玉	2.3	2.3
H26	4651C		D４	第４面	２S-180 埋土中	土玉	2.6	3.0
H26	4651D		D４	第４面	２S-180 埋土中	土玉	2.3	2.6
H26	4651E	Ⅳ-５-58	D４	第４面	２S-180 埋土中	土玉	2.0	2.4
H26	4726		D５	第４面	２S-180 埋土中	土玉	2.7	2.8
H26	4727		D５	第４面	２S-180 埋土中	土玉	2.6	3.0
H26	6872	Ⅳ-５-58	D５	第４面	２S-180 埋土中	土玉	2.8	2.9
H26	6873A	Ⅳ-５-58	D５	第４面	２S-180 埋土中	土玉	3.0	3.1
H26	6873B		D５	第４面	２S-180 埋土中	その他	1.7	1.8
H27	1614A		D４	第４面	２S-180 埋土中	土玉	2.2	2.7
H27	1614B	Ⅳ-５-58	D４	第４面	２S-180 埋土中	土玉	3.0	△3.0
H28	1079	Ⅳ-５-58	D４	第４面	２S-180 埋土中	土玉	2.3	2.6
H26	6183		D７	第４面	２S-222 埋土中	土玉	2.5	2.6
H26	6255		D７	第４面	２S-251 埋土中	その他	4.1	2.5
H27	1462		E５	第４面	２S-637 埋土中	土玉	2.7	3.0
H27	1482		E５	第４面	２S-637 埋土中	土玉	2.2	2.5
H27	1532		E５	第４面	２S-637 埋土中	その他	粉々の為計測不能	
H27	1811	Ⅳ-５-61	D２	第４面	２S-650 埋土中	土玉	2.7	2.9
H27	1813		D３	第４面	２S-650 埋土中	土玉	2.4	2.8
H28	1598A		D２	第４面	２S-0650 埋土中	土玉	2.6	2.7
H28	1598B	Ⅳ-５-61	D２	第４面	２S-650 埋土中	土玉	2.3	2.4
H27	2723	Ⅳ-５-37	G６	第４面	２S-666 埋土下層	土玉	2.6	2.8
H27	2347A	Ⅳ-５-37	G６	第４面	２S-666 埋土下層	土玉	2.3	2.7
H27	2347B		G６	第４面	２S-666 埋土下層	土玉	2.5	2.6
H27	2356A	Ⅳ-５-37	G６	第４面	２S-666 埋土下層	土玉	2.4	2.6
H27	2356B		G６	第４面	２S-666 埋土下層	土玉	2.1	2.4
H27	2356C		G６	第４面	２S-666 埋土下層	土玉	2.3	2.6
H27	2980		G７	第４面	２S-666 埋土中	土玉	2.1	2.6
H27	2448		G７	第４面	２S-672 埋土中	土玉	2.4	2.7
H27	2458	Ⅳ-５-39	G７	第４面	２S-672 埋土中	土玉	2.0	2.5
H27	2769	Ⅳ-５-39	G７	第４面	２S-672 埋土中	土玉	2.0	2.2
H28	1603		E５	第４面	２S-977 埋土中	土玉	△2.9	△2.9
H26	6688A		C３	第５面	２S-290 埋土中	土玉	2.8	3.1
H26	6688B		C３	第５面	２S-290 埋土中	土玉	2.5	2.9
H28	1239		D２	第５面	２S-290 埋土中	土玉	2.6	2.7
H26	7405		D６	第５面	２S-347 埋土中	土玉	△2.0	2.2
H27	3264A	Ⅳ-６-36	E４	第５面	２S-700 埋土上層	土玉	3.1	3.3
H27	3264B	Ⅳ-６-36	E４	第５面	２S-0700 埋土上層	土玉	3.3	3.6
H27	3371	Ⅳ-６-36	D４	第５面	２S-700 埋土上層	土玉	2.8	3.1
H27	3761		E４	第５面	２S-701･703 ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ３断面２層	土玉	2.6	2.7
H27	2983	Ⅳ-６-72	E４	第５面	２S-703 埋土上層	土玉	3.3	3.4
H27	2743		E４	第５面	２S-0703 埋土中	土玉	2.2	2.5
H27	2782	Ⅳ-６-72	E４	第５面	２S-703 埋土中	土玉	2.3	2.7
H27	3003		E４	第５面	２S-703 埋土中	土玉	2.3	2.6
H27	3481	Ⅳ-６-72	E４	第５面	２S-703 埋土中	土玉	2.1	2.5
H27	3617	Ⅳ-６-72	E４	第５面	２S-703 埋土中	土玉	2.0	2.2
H27	3936		E４	第５面	２S-703 埋土中	土玉	2.4	2.5
H27	2812	Ⅳ-６-60	E５	第５面	２S-730 埋土中	土玉	△2.3	2.5
H27	3347		E５	第５面	２S-730 ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ３断面６層	土玉	2.6	2.5
H27	3387		G７	第５面	２S-738 埋土中	土玉	2.0	2.4

第Ⅵ－２－７表　２・3区土製品観察表１

調査年度	取上No.	挿図番号	グリッド	遺構面	遺構層位	器種	法量(cm)高さ	法量(cm)幅
H27	3466		G7	第5面	2S-738 埋土中	土玉	2.3	2.7
H27	3504	Ⅳ-6-45	G7	第5面	2S-738 埋土中	土玉	2.4	2.6
H27	3630	Ⅳ-6-45	G7	第5面	2S-738 埋土中	土玉	2.5	2.4
H27	3922	Ⅳ-6-45	G7	第5面	2S-738 埋土中	土玉	2.0	2.3
H27	4053A		G7	第5面	2S-738 埋土中	土玉	2.2	2.4
H27	4053B	Ⅳ-6-45	G7	第5面	2S-738 埋土中	土玉	2.0	2.0
H27	4545	Ⅳ-6-29	G7	第5面	2S-742 埋土中	土玉	2.2	2.4
H27	3825	Ⅳ-6-76	E2	第5面	2S-748 埋土中	土玉	2.1	2.3
H27	4166	Ⅳ-6-39	E2	第5面	2S-754 埋土中	土玉	2.3	2.6
H28	1130A		D4	第5面	2S-999 埋土中	土玉	2.5	3.0
H28	1130B		D4	第5面	2S-999 埋土中	土玉	2.3	2.7
H28	1130C		D4	第5面	2S-999 埋土中	土玉	2.3	2.4
H28	1130D		D4	第5面	2S-999 埋土中	土玉	1.5	1.9
H28	1756A		D3	第5面	2S-999 埋土中	土玉	2.4	2.7
H28	1756B		D3	第5面	2S-999 埋土中	土玉	2.4	2.6
H27	4236		E5	第6面	2S-758 ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ1 －	土玉	2.5	2.7
H27	4487	Ⅳ-7-42	G7	第6面	2S-762 埋土中	土玉	2.6	2.6
H27	4572	Ⅳ-7-42	G6	第6面	2S-762 埋土中	土玉	2.7	3.0
H27	4576		G6	第6面	2S-762 埋土中	土玉	2.1	2.6
H27	4611	Ⅳ-7-42	G7	第6面	2S-762 埋土中	土玉	2.4	2.3
H27	5123		G7	第6面	2S-762 埋土中	土玉	2.4	2.9
H27	5415		G6	第6面	2S-762 埋土中	土玉	2.7	2.7
H27	5455		G6	第6面	2S-762 埋土中	土玉	2.4	3.0
H27	5528		G7	第6面	2S-762 埋土中	土玉	2.0	2.5
H27	5225A	Ⅳ-7-42	G6	第6面	2S-762 埋土中	土玉	2.5	2.8
H27	5225B	Ⅳ-7-42	G6	第6面	2S-762 埋土中	土玉	2.6	2.7
H27	5614	Ⅳ-7-42	G6	第6面	2S-762 埋土中	土玉	2.2	2.6
H27	5778A	Ⅳ-7-42	G6	第6面	2S-762 埋土中	土玉	2.7	2.7
H27	5778B	Ⅳ-7-42	G6	第6面	2S-762 埋土中	土玉	2.3	2.7
H27	5786		G7	第6面	2S-762 埋土中	土玉	2.4	2.8
H27	5968		G6	第6面	2S-762 埋土中	土玉	2.5	2.5
H27	6479		G6	第6面	2S-762 埋土中	土玉	2.4	2.8
H27	5546	Ⅳ-7-38	G6	第6面	2S-790 埋土中	土玉	2.3	2.6
H27	6795	Ⅳ-7-36	G7	第6面	2S-818	土玉	2.4	2.8
H26	5017A		C4	第7面	2S-245 埋土中	土玉	2.9	2.9
H26	5017B		C4	第7面	2S-245 埋土中	土玉	2.1	2.7
H26	5116		C3	第7面	2S-245 埋土中	土玉	2.4	2.8
H26	5118		C5	第7面	2S-245 埋土中	土玉	2.3	2.9
H26	5854A	Ⅳ-8-51	C4	第7面	2S-245 埋土中	土玉	2.9	3.0
H26	5854B		C4	第7面	2S-245 埋土中	土玉	2.5	2.6
H26	5858	Ⅳ-8-51	D6	第7面	2S-245 埋土中	土玉	2.2	2.7
H26	8090A	Ⅳ-8-51	D5	第7面	2S-245 埋土中	土玉	2.4	3.0
H26	8090B	Ⅳ-8-51	D5	第7面	2S-245 埋土中	土玉	3.0	3.0
H26	8623		C4	第7面	2S-245 木杭断割	その他	2.3	3.2
H26	8793		C4	第7面	2S-245 埋土中	土玉	2.3	2.7
H28	485	Ⅳ-8-51	C5	第7面	2S-245 掘方埋土中	土玉	2.5	2.7
H28	1532	Ⅳ-8-51	C6	第7面	2S-245 掘方埋土中	土玉	2.0	2.1
H28	2265	Ⅳ-8-51	C5	第7面	2S-245 埋土中	土玉	2.4	2.4
H26	6316		B3	第7面	2S-267 埋土中	土玉	2.2	2.8
H26	6318		C3	第7面	2S-267 埋土中	土玉	2.1	2.5
H26	8493A		C4	第7面	2S-67 埋土中	土玉	2.3	2.7
H26	8493B		C4	第7面	2S-267 埋土中	土玉	2.5	2.4
H27	5804A		F5	第7面	2S-763 埋土中	土玉	2.5	2.7
H27	5804B		F5	第7面	2S-763 埋土中	土玉	2.5	2.8
H27	5959	Ⅳ-8-122	E4	第7面	2S-763 埋土中	土玉	2.7	2.8
H27	6419	Ⅳ-8-122	F5	第7面	2S-763 埋土中	土玉	2.3	2.9
H27	6533	Ⅳ-8-122	E3	第7面	2S-763 埋土中	土玉	1.8	2.2
H27	6675	Ⅳ-8-122	E2	第7面	2S-763 埋土中	土玉	2.2	2.4
H27	6974A	Ⅳ-8-122	E2	第7面	2S-763 埋土中	土玉	2.8	3.0
H27	6974B		E2	第7面	2S-763 埋土中	土玉	1.8	2.3
H27	6975	Ⅳ-8-122	E2	第7面	2S-763 下層	土玉	2.2	2.4
H27	6981		E4	第7面	2S-763 埋土中	土玉	2.7	2.8
H27	7307	Ⅳ-8-122	E4	第7面	2S-763 下層	土玉	2.1	2.3
H27	7310	Ⅳ-8-122	E4	第7面	2S-763 下層	土玉	2.8	3.0
H27	7443	Ⅳ-8-122	E4	第7面	2S-763 下層	土玉	2.6	2.8
H27	7772	Ⅳ-8-122	D3	第7面	2S-763 埋土中	土玉	1.8	2.2
H27	7886A	Ⅳ-8-122	E4	第7面	2S-763 下層	土玉	2.3	2.4
H27	7866B		E4	第7面	2S-763 下層	土玉	2.2	2.4
H27	8048	Ⅳ-8-122	E4	第7面	2S-763 埋土中	土玉	2.3	2.4
H27	8280A		E4	第7面	2S-763 埋土中	土玉	2.3	2.4
H27	8280B	Ⅳ-8-122	E4	第7面	2S-763 埋土中	土玉	2.3	2.3
H27	8449	Ⅳ-8-122	E2	第7面	2S-763 埋土中	土玉	2.6	2.8
H27	8774	Ⅳ-8-122	E4	第7面	2S-763 埋土中	土玉	3.1	3.3
H27	4735A	Ⅳ-8-96	E3	第7面	2S-763(新) 埋土中	土玉	2.6	2.9
H27	4735B	Ⅳ-8-96	E3	第7面	2S-763(新) 埋土中	土玉	2.4	2.5
H27	6672		D3	第7面	2S-763 ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ －	その他	1.7	2.1
H27	7753		E4	第7面	2S-763 ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ －	土玉	2.4	2.5
H27	9055		E3	第7面	2S-763杭43 ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ －	土玉	2.3	2.9
H27	9102		D3	第7面	2S-763杭47 ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ －	土玉	2.3	2.7

第Ⅵ－２－７表　２・3区土製品観察表２

調査年度	取上No.	挿図番号	グリッド	遺構面	遺構層位	器種	法量（ｃｍ）高さ	幅
H27	5391	Ⅳ-８-98	Ｄ３	第７面	２S-764 埋土中	土玉	2.7	2.8
H27	6498	Ⅳ-８-98	Ｄ３	第７面	２S-764 埋土中	土玉	2.4	2.7
H27	8282		Ｇ６	第７面	２S-824 埋土中	土玉	2.3	2.9
H27	8783A	Ⅳ-８-116	Ｆ６	第７面	２S-824 埋土中	土玉	2.5	2.8
H27	8783B	Ⅳ-８-116	Ｆ６	第７面	２S-824 埋土中	土玉	2.6	2.8
H27	8911	Ⅳ-８-116	Ｆ６	第７面	２S-824 埋土中	土玉	2.8	3.0
H27	8127		Ｆ６	第７面	２S-824 ﾄﾚﾝﾁ１	土玉	2.2	2.6
H28	475	Ⅳ-８-147	Ｄ８	第７面	２S-895 埋土中	土玉	3.2	3.0
H27	8952A		Ｇ６	第７面	２S-841 埋土中	土玉	2.7	3.0
H27	8952B	Ⅳ-９-44	Ｇ６	第８面	２S-841 埋土中	土玉	3.1	3.3
H27	8995	Ⅳ-９-44	Ｆ６	第８面	２S-841 埋土中	土玉	2.4	2.5
H27	9039		Ｇ６	第８面	２S-841 埋土中	土玉	2.9	2.8
H27	9076		Ｆ５	第８面	２S-841 埋土中	土玉	2.5	2.6
H27	9118	Ⅳ-９-44	Ｆ５	第８面	２S-841 埋土中	土玉	2.5	2.5
H28	153		Ｆ５	第８面	２S-841 ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ１	土玉	2.2	2.6
H28	378	Ⅳ-９-22	Ｅ８	第８面	２S-886 埋土中	土玉	2.5	3.0
H28	505A		Ｄ３	第８面	２S-901 埋土中	土玉	3.0	3.1
H28	505B	Ⅳ-９-63	Ｄ３	第８面	２S-901 埋土中	土玉	2.0	2.4
H28	880		Ｄ３	第８面	２S-901 埋土中	土玉	2.2	2.4
H28	981A	Ⅳ-９-63	Ｄ３	第８面	２S-901 埋土中	土玉	2.5	2.8
H28	981B	Ⅳ-９-63	Ｄ３	第８面	２S-901 埋土中	土玉	2.9	3.0
H28	371A	Ⅳ-９-83	Ｄ２	第８面	２S-902 埋土中	土玉	2.4	2.7
H28	371B		Ｄ２	第８面	２S-902 埋土中	土玉	2.2	2.5
H28	402		Ｄ２	第８面	２S-902 埋土中	土玉	2.4	2.6
H28	410A		Ｅ２	第８面	２S-902 埋土中	土玉	2.8	2.8
H28	410B	Ⅳ-９-83	Ｅ２	第８面	２S-902 埋土中	土玉	2.6	2.7
H28	410C	Ⅳ-９-83	Ｅ２	第８面	２S-902 埋土中	土玉	2.7	3.1
H28	690	Ⅳ-９-83	Ｄ３	第８面	２S-902 埋土中	土玉	2.2	2.3
H28	2212		Ｄ３	第８面	２S-902 埋土中	土玉	2.6	3.0
H28	1445	Ⅳ-９-52	Ｅ４	第８面	２S-912 埋土中	土玉	2.4	2.7
H28	798		Ｄ４	第８面	２S-913 埋土中	土玉	2.0	2.6
H28	512A	Ⅳ-９-68	Ｅ３	第８面	２S-927 埋土中	土玉	2.2	2.3
H28	512B		Ｅ３	第８面	２S-927 埋土中	土玉	2.1	2.6
H28	1041	Ⅳ-９-68	Ｅ４	第８面	２S-927 埋土中	土玉	2.4	2.7
H28	4961A		Ｄ４	第９面	２S-856 埋土中	土玉	2.8	2.8
H28	4961B		Ｄ４	第９面	２S-0856 埋土中	土玉	2.1	2.5
H28	2624		Ｃ４	第９面	２S-951 埋土中	土玉	2.1	1.6
H28	1435A	Ⅳ-10-64	Ｅ２	第９面	２S-978 埋土中	土玉	2.2	2.4
H28	1435B		Ｅ２	第９面	２S-978 埋土中	土玉	2.9	2.9
H28	1241	Ⅳ-10-63	Ｂ３	第９面	２S-1023 埋土中	土玉	2.3	2.7
H28	1688A	Ⅳ-10-63	Ｃ３	第９面	２S-1023 埋土中	土玉	2.4	2.8
H28	1688B		Ｃ３	第９面	２S-1023 埋土中	土玉	2.2	2.6
H28	1688C		Ｃ３	第９面	２S-1023 埋土中	土玉	2.4	2.7
H28	2281		Ｅ４	第９面	２S-1120 埋土中	土玉	2.4	3.1
H28	2094		Ｄ３	第９面	２S-1155	土玉	△2.4	△2.6
H28	1544	Ⅳ-10-11	Ｃ４	第９面	２S-1155（２S-958）埋土中	土玉	2.5	2.8
H28	3113	Ⅳ-10-30	Ｃ３	第９面	２S-1155（２S-959）埋土中	土玉	2.8	3.1
H28	2365	Ⅳ-10-14	Ｄ３	第９面	２S-1155（２S-1035）埋土中	土玉	1.9	2.4
H28	2642	Ⅳ-10-15	Ｄ３	第９面	２S-1155（２S-1170）埋土中	土玉	1.8	2.4
H27	9581		Ｆ７	第10面	２S-853 埋土中	土玉	3.0	△2.9
H28	688		Ｄ４	第10面	２S-964 ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.8	3.0
H28	2774	Ⅳ-11-40	Ｄ８	第10面	２S-1066 埋土中	土玉	2.5	2.8
H28	2101	Ⅳ-12-49	Ｄ８	第10面	２S-1030 埋土中	土玉	2.6	2.7
H28	2241	Ⅳ-12-71	Ｃ４	第10面	２S-1057 埋土中	その他	2.2	2.4
H28	2263A		Ｃ４	第10面	２S-1057 埋土中	土玉	2.6	2.8
H28	2263B	Ⅳ-12-71	Ｃ４	第10面	２S-1057 埋土中	土玉	2.5	2.8
H28	2019		Ｃ４	第10面	２S-1057 ﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.7	2.9
H28	3269	Ⅳ-12-23	Ｄ８	第10面	２S-1195 埋土中	土玉	2.5	2.9
H28	4348		Ｄ８	第10面	２S-1262 埋土中	土玉	3.0	3.4
H28	4862		Ｄ８	第10面	２S-1264 埋土中	土玉	2.3	2.4
H28	2548	Ⅳ-12-102	Ｅ４	第11面	２S-840 埋土中	土玉	2.4	2.7
H28	2682	Ⅳ-12-102	Ｅ４	第11面	２S-840 上層	土玉	3.1	3.3
H28	2759A	Ⅳ-12-102	Ｅ４	第11面	２S-840 中層	土玉	2.9	3.2
H28	2759B	Ⅳ-12-102	Ｅ４	第11面	２S-840 中層	土玉	2.8	3.0
H28	2759C	Ⅳ-12-102	Ｅ４	第11面	２S-840 中層	土玉	2.3	2.7
H28	2759D	Ⅳ-12-102	Ｅ４	第11面	２S-840 中層	土玉	2.5	3.2
H28	2759E	Ⅳ-12-102	Ｅ４	第11面	２S-840 中層	土玉	2.5	2.6
H28	2759F	Ⅳ-12-102	Ｅ４	第11面	２S-840 中層	土玉	2.6	2.9
H28	2759G		Ｅ４	第11面	２S-840 中層	土玉	2.5	2.9
H28	2759H		Ｅ４	第11面	２S-840 中層	土玉	2.6	2.7
H28	2759Ｉ	Ⅳ-12-102	Ｅ４	第11面	２S-840 中層	土玉	2.3	2.6
H28	2759J	Ⅳ-12-102	Ｅ４	第11面	２S-840 中層	土玉	2.2	2.4
H28	2759K	Ⅳ-12-102	Ｅ４	第11面	２S-840 中層	土玉	2.0	2.4
H28	2759L		Ｅ４	第11面	２S-840 中層	土玉	2.2	2.6
H28	2880		Ｅ４	第11面	２S-840 埋土中	土玉	2.5	2.6
H28	3012A	Ⅳ-12-102	Ｅ４	第11面	２S-840 中層	土玉	2.3	2.9
H28	3012B		Ｅ４	第11面	２S-840 中層	土玉	2.5	2.8
H28	3134		Ｅ４	第11面	２S-840 中層	土玉	2.4	2.8
H28	3227A	Ⅳ-12-102	Ｅ４	第11面	２S-840 中層	土玉	2.4	2.7

第Ⅵ－２－７表　２・3区土製品観察表３

調査年度	取上No.	挿図番号	グリッド	遺構面	遺構層位	器種	法量(cm)高さ	法量(cm)幅
H28	3227B		E4	第11面	2S-840中層	土玉	2.6	2.9
H28	3227C	Ⅳ-12-102	E4	第11面	2S-840中層	土玉	2.5	2.6
H28	3227D	Ⅳ-12-102	E4	第11面	2S-840中層	土玉	2.0	2.5
H28	3227E	Ⅳ-12-102	E4	第11面	2S-840中層	土玉	2.3	2.5
H28	3227F		E4	第11面	2S-840中層	土玉	2.4	2.5
H28	3227G		E4	第11面	2S-840中層	土玉	3.1	2.3
H28	3730	Ⅳ-12-102	E4	第11面	2S-840中層	土玉	2.5	2.7
H28	3937A	Ⅳ-12-102	E4	第11面	2S-840中層	土玉	2.7	3.2
H28	3937B	Ⅳ-12-102	E4	第11面	2S-840中層	土玉	2.3	2.4
H28	4178	Ⅳ-12-102	E4	第11面	2S-840中層	土玉	2.3	2.6
H28	4604		E4	第11面	2S-840中層	土玉	2.4	2.5
H27	9527		F7	第11面	2S-840埋土中	土玉	2.4	2.4
H27	9583		F6	第11面	2S-852埋土中	土玉	2.5	2.8
H28	3651		E2	第11面	2S-1147埋土最下部	土玉	2.6	2.7
H28	3652		E2	第11面	2S-1147埋土最下部	土玉	2.2	2.6
H28	3367		E2	第11面	2S-1147清掃中	その他	1.4	2.0
H28	3706		E2	第11面	2S-1243埋土最下部	土玉	△2.7	△2.9
H28	3707		E2	第11面	2S-1243床面直上	土玉	2.3	2.7
H28	3708		E2	第11面	2S-1243床面直上	土玉	2.5	2.9
H26	1699		D4		Ⅰ層	土玉	2.3	2.5
H26	1906		D9		Ⅰ層	土玉	2.3	2.7
H26	1406		C3	第1面	Ⅱ層	土玉	2.5	2.5
H26	1408A		C3	第1面	Ⅱ層	土玉	2.2	2.8
H26	1408B		C3	第1面	Ⅱ層	土玉	2.4	2.7
H26	1440		C2	第1面	Ⅱ層	土玉	2.4	2.7
H26	1508A		C2	第1面	Ⅱ層	土玉	2.7	3.1
H26	1508B		C2	第1面	Ⅱ層	土玉	2.2	2.8
H26	1535		C3	第1面	Ⅱ層	土玉	3.3	3.4
H26	1538		C4	第1面	Ⅱ層	土玉	2.3	3.0
H26	1543		D3	第1面	Ⅱ層	土玉	2.4	2.6
H26	1572A		B2	第1面	Ⅱ層	土玉	2.0	2.6
H26	1572B		B2	第1面	Ⅱ層	土玉	2.4	2.7
H26	1572C		B2	第1面	Ⅱ層	土玉	2.2	2.7
H26	1576		B3	第1面	Ⅱ層	土玉	2.1	2.3
H26	1580		C3	第1面	Ⅱ層	土玉	2.6	2.7
H26	1584		B2	第1面	Ⅱ層	土玉	2.3	2.5
H26	1600		C3	第1面	Ⅱ層	土玉	3.1	3.3
H26	1649A		C6	第1面	Ⅱ層	土玉	2.1	2.5
H26	1649B		C6	第1面	Ⅱ層	土玉	2.5	2.7
H26	1652		D4	第1面	Ⅱ層	土玉	2.2	2.6
H26	1748		D5	第1面	Ⅱ層	土玉	2.4	2.8

調査年度	取上No.	挿図番号	グリッド	遺構面	遺構層位	器種	法量(cm)高さ	法量(cm)幅
H26	1759		C7	第1面	Ⅱ層	土玉	2.6	2.7
H26	1851		D8	第1面	Ⅱ層	土玉	2.3	2.4
H26	2021		D3	第1面	Ⅱ層	土玉	2.3	2.9
H27	225		G6	第1面	Ⅱ層	土玉	1.9	2.4
H27	241		G6	第1面	Ⅱ層	土玉	2.7	3.9
H27	244A		G7	第1面	Ⅱ層	土玉	3.3	3.4
H27	244B		G7	第1面	Ⅱ層	土玉	2.2	2.5
H27	249		E4	第1面	Ⅱ層	土玉	2.6	2.9
H27	257		G7	第1面	Ⅱ層	土玉	2.2	2.3
H27	261		E4	第1面	Ⅱ層	土玉	3.3	3.5
H27	287		G7	第1面	Ⅱ層直下	土玉	2.5	2.7
H27	299		G6	第1面	Ⅱ層	土玉	2.2	2.6
H27	315		D3	第1面	Ⅱ層	土玉	2.4	2.9
H27	320		E3	第1面	Ⅱ層	土玉	2.1	2.5
H27	2333		D5	第1面	Ⅱ層	土玉	2.3	2.5
H27	8962		F7	第1面	Ⅱ層	土玉	2.4	2.9
H26	2759A		D9	第2面	Ⅲ層	土玉	2.3	2.8
H26	2759B		D9	第2面	Ⅲ層	土玉	2.3	2.5
H26	2833		D9	第2面	Ⅲ層	土玉	2.7	2.9
H26	2979		C7	第2面	Ⅲ層	土玉	2.4	3.0
H27	983		G6	第2面	Ⅲ層	土玉	2.4	2.7
H27	1048		H7	第2面	Ⅲ層	土玉	2.6	3.2
H27	1148		E4	第2面	Ⅲ層	土玉	2.5	2.5
H27	1172		E4	第2面	Ⅲ層	土玉	2.6	2.9
H27	8090		F6	第2面	Ⅲ層	土玉	2.4	2.1
H26	3603		C3	第3面	Ⅳ層	土玉	2.2	2.5
H26	3605		C3	第3面	Ⅳ層	土玉	2.4	2.7
H26	3608		D3	第3面	Ⅳ層	土玉	2.3	1.4
H26	3609		D3	第3面	Ⅳ層	土玉	1.8	2.3
H26	3612		D6	第3面	Ⅳ層	土玉	2.3	2.6
H26	3697		C7	第3面	Ⅳ層	土玉	2.7	2.9
H27	1692		G7	第3面	Ⅳ層	土玉	2.2	2.7
H26	4110		C2	第4面	Ⅴ層	土玉	2.4	2.7
H26	4237		D3	第4面	Ⅴ層	土玉	1.7	2.2
H26	4343A		D6	第4面	Ⅴ層	土玉	2.3	2.6
H26	4343B		D6	第4面	Ⅴ層	土玉	2.7	3.0
H26	4538		C・D8	第4面	Ⅴ層	土玉	2.4	2.8
H27	1010		F5	第4面	Ⅴ層	土玉	2.4	3.1
H27	1189		F5	第4面	Ⅴ層	土玉	2.0	2.4
H27	1198		E4	第4面	Ⅴ層	土玉	2.0	2.3
H27	2265		G7	第4面	Ⅴ層	土玉	2.2	2.6

第Ⅵ－２－７表　２・3区土製品観察表４

調査年度	取上No.	挿図番号	グリッド	遺構面	遺構層位	器種	法量（ｃｍ）高さ	法量（ｃｍ）幅
H27	2336		G７	第４面	Ⅴ層	土玉	2.4	2.8
H27	2459		G７	第４面	Ⅴ層	土玉	2.2	3.1
H27	2048		E５	第４面	Ⅴ層下面清掃中	土玉	2.1	2.1
H27	2060		E５	第４面	Ⅴ層下面清掃中	土玉	2.2	2.4
H27	2066		D４	第４面	Ⅴ層下面清掃中	土玉	1.9	2.3
H27	1231		F６	第４面	Ⅴ層下面精査中	土玉	2.3	2.8
H27	1735		E３	第４面	Ⅴ層下面精査中	土玉	2.5	2.9
H27	1321A		E２	第４面	Ⅴ層下面精査中	土玉	2.9	3.2
H27	1321B		E２	第４面	Ⅴ層下面精査中	土玉	2.1	2.5
H28	211A		C３		Ⅴ層ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ３	土玉	2.6	2.7
H28	211B		C３		Ⅴ層ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ３	土玉	2.1	2.4
H26	4901		C６	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.6	2.7
H26	4903		D５	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.8	2.6
H26	4940		C４	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.1	2.6
H26	5709		B２	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.2	2.5
H26	5712		C２	第５面	Ⅴ-２層	土玉	1.9	2.4
H26	5715		C・D２	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.3	2.4
H26	5717		D３	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.2	2.5
H26	6064		C３	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.3	2.6
H26	6189		C４	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.2	2.7
H26	6191		D２	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.6	2.3
H26	6323		C３	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.7	2.7
H26	6324		C３	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.2	2.5
H26	6663		C２	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.2	2.7
H26	6878		C３	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.6	3.0
H26	6066A		D３	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.0	2.3
H26	6066B		D３	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.1	2.3
H26	6883		E９	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.5	2.8
H27	2149A		F５	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.3	2.7
H27	2149B		F５	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.2	2.5
H27	2152		E５	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.3	3.1
H27	2224		D４	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.3	2.3
H27	2234		E３	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.1	2.3
H27	2267A		E３	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.6	2.8
H27	2267B		E３	第５面	Ⅴ-２層	土玉	1.9	2.2
H27	2269		D３	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.6	2.5
H27	2294		E２	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.8	2.9
H27	2358		E２	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.1	2.6
H27	2396A		E４	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.6	2.7
H27	2396B		E４	第５面	Ⅴ-２層	土玉	1.9	2.6
H27	2438		D４	第５面	Ⅴ-２層	土玉	3.3	3.3

調査年度	取上No.	挿図番号	グリッド	遺構面	遺構層位	器種	法量（ｃｍ）高さ	法量（ｃｍ）幅
H27	2440		F２	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.2	2.5
H27	2442		E４	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.7	2.8
H27	2537		E４	第５面	Ⅴ-２層	土玉	3.0	3.1
H27	8806		D５	第５面	Ⅴ-２層下面	土玉	2.1	2.3
H27	3947		D４	第５面	Ⅴ-２層下面清掃中	土玉	2.7	3.0
H27	4028		E２	第５面	Ⅴ-２層下面清掃中	土玉	2.4	2.5
H27	4088		E５	第５面	Ⅴ-２層下面清掃中	土玉	2.5	2.9
H28	149		E８	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.4	2.4
H28	155		D８	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.4	2.7
H28	827		E８	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.5	2.6
H28	984		B３	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.6	2.5
H28	1078A		D３	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.8	3.0
H28	1078B		D３	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.4	2.8
H28	1078C		D３	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.1	2.6
H28	1078D		D３	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.1	2.1
H28	1542		D３	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.1	2.3
H28	1749		C５	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.2	2.5
H28	2686		D８		Ⅴ-２層ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ１	その他	3.2	3.1
H28	1368		D８		Ⅴ-２層ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ４	土玉	1.9	2.3
H28	1372		D８		Ⅴ-２層ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ５	土玉	2.3	2.5
H28	2561		D８		Ⅴ-２層ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ７	土玉	2.6	2.6
H27	4349		E３	第６面	Ⅴ-３層	土玉	2.4	2.4
H27	4352		G７	第６面	Ⅴ-３層	土玉	2.5	2.8
H27	4355		G７	第６面	Ⅴ-３層	土玉	2.5	2.8
H27	4367		G７	第６面	Ⅴ-３層	土玉	2.5	2.7
H27	4381		G６	第６面	Ⅴ-３層	土玉	2.2	2.6
H27	4422		G７	第６面	Ⅴ-３層	土玉	2.4	2.5
H27	5860A		E２	第６面	Ⅴ-３層下面精査中	土玉	2.6	2.9
H27	5860B		E２	第６面	Ⅴ-３層下面精査中	土玉	2.2	2.2
H27	4192		F５		Ⅴ-３層ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ１	土玉	2.1	2.3
H27	4416		E２	第７面	Ⅴ-４層	土玉	2.3	2.3
H27	5539		E４	第７面	Ⅴ-４層	土玉	1.8	2.4
H27	5543		F５	第７面	Ⅴ-４層	土玉	2.2	2.2
H27	6165		E２	第７面	Ⅴ-４層	土玉	2.2	2.5
H27	6322		G７	第７面	Ⅴ-４層	土玉	2.7	2.8
H27	6331		G６	第７面	Ⅴ-４層	土玉	2.5	2.8
H27	6359		G７	第７面	Ⅴ-４層	土玉	2.3	2.6
H27	6476		G６	第７面	Ⅴ-４層	土玉	2.5	2.5
H27	6582		G７	第７面	Ⅴ-４層	土玉	2.2	2.8
H27	7939		G７	第７面	Ⅴ-４層	土玉	2.7	2.9
H27	4408A		D３	第７面	Ⅴ-４層	土玉	2.1	2.4

第Ⅵ－２－７表　２・3区土製品観察表５

調査年度	取上No.	挿図番号	グリッド	遺構面	遺構層位	器種	法量（ｃｍ）高さ	幅
H27	4408B		D３	第７面	V－４層	土玉	2.7	2.7
H27	4412A		E３	第７面	V－４層	土玉	2.3	2.4
H27	4412B		E３	第７面	V－４層	土玉	2.1	2.7
H27	5457A		E５	第７面	V－４層	土玉	2.1	2.4
H27	5457B		E５	第７面	V－４層	土玉	1.9	2.1
H27	5867A		D２	第７面	V－４層	土玉	2.6	3.3
H27	5867B		D２	第７面	V－４層	土玉	2.4	2.7
H27	5867C		D２	第７面	V－４層	土玉	2.3	2.6
H28	1524		D８	第７面	V－４層	土玉	2.6	2.5
H28	4044		D８	第７面	V－４層	土玉	2.2	2.6
H28	4755		D８	第７面	V－４層	土玉	2.3	2.5
H27	4531		E４	第７面	V－４層下面検出中	土玉	2.8	2.9
H27	4537		D３	第７面	V－４層下面検出中	土玉	1.8	2.4
H27	5607		E５	第７面	V－４層下面検出中	土玉	2.5	2.6
H27	5758		F５	第７面	V－４層下面検出中	土玉	2.1	2.1
H27	8520		D３	第７面	V－４層下面検出中	土玉	2.6	2.9
H27	8411		D３	第７面	V－４層下面清掃中	土玉	1.9	2.4
H27	4542		D３		V－４層下面ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ１	土玉	3.2	3.1
H27	8078		F６	第７面	V－５層	土玉	2.8	3.0
H28	314		C４	第８面	Ⅵ層	土玉	2.6	3.0
H28	1169A		D８	第８面	Ⅵ層	土玉	2.4	2.6
H28	1169B		D８	第８面	Ⅵ層	土玉	2.1	2.5
H27	9028A		D３	第８面	Ⅵ層	土玉	3.0	3.1
H27	9028B		D３	第８面	Ⅵ層	土玉	2.9	2.9
H27	9028C		D３	第８面	Ⅵ層	土玉	2.8	2.9
H27	9028D		D３	第８面	Ⅵ層	土玉	2.8	2.8
H27	9028E		D３	第８面	Ⅵ層	土玉	2.9	2.9
H27	9029		D３	第８面	Ⅵ層	土玉	2.9	2.9
H28	150A		E４	第８面	Ⅵ層	土玉	3.0	3.6
H28	150B		E４	第８面	Ⅵ層	土玉	2.7	3.5
H28	154		D４	第８面	Ⅵ層	土玉	2.4	2.7
H28	157		E４	第８面	Ⅵ層	土玉	2.4	2.8
H28	162A		F５	第８面	Ⅵ層	土玉	2.7	3.0
H28	162B		F５	第８面	Ⅵ層	土玉	2.5	2.6
H28	173		D３	第８面	Ⅵ層	土玉	2.8	2.7
H28	176		E３	第８面	Ⅵ層	土玉	2.2	2.6
H28	206		D４	第８面	Ⅵ層	土玉	2.9	3.0
H28	344		D２	第８面	Ⅵ層	土玉	2.4	2.6
H28	354A		E３	第８面	Ⅵ層	土玉	2.9	3.0
H28	354B		E３	第８面	Ⅵ層	土玉	2.4	2.9
H28	1796A		E４	第８面	Ⅵ層下面精査中	土玉	2.2	2.7
H28	1796B		E４	第８面	Ⅵ層下面精査中	土玉	2.7	3.1
H26	6880		D９	第９面	Ⅶ層	土玉	2.6	2.8
H27	8124A		F６	第９面	Ⅶ層	土玉	2.3	2.6
H27	8124B		F６	第９面	Ⅶ層	土玉	1.9	2.5
H27	8259		F６	第９面	Ⅶ層下面清掃中	土玉	2.7	2.9
H28	394A		C４	第９面	Ⅶ層	土玉	2.4	2.9
H28	394B		C４	第９面	Ⅶ層	土玉	2.7	2.9
H28	801		B３	第９面	Ⅶ層	土玉	2.2	2.3
H28	820		C３	第９面	Ⅶ層	土玉	2.0	2.5
H28	875		C３	第９面	Ⅶ層	土玉	2.5	3.0
H28	999A		B３	第９面	Ⅶ層	土玉	2.3	2.4
H28	999B		B３	第９面	Ⅶ層	土玉	2.1	2.3
H28	1014		B３	第９面	Ⅶ層	土玉	2.1	2.3
H28	1074		C３	第９面	Ⅶ層	その他	2.2	2.4
H28	1160		C３	第９面	Ⅶ層	土玉	2.2	2.5
H28	1236		E２	第９面	Ⅶ層	土玉	2.8	2.9
H28	1242A		C３	第９面	Ⅶ層	土玉	2.2	2.4
H28	1242B		C３	第９面	Ⅶ層	土玉	2.1	2.3
H28	1242C		C３	第９面	Ⅶ層	土玉	2.2	2.3
H28	1242D		C３	第９面	Ⅶ層	土玉	2.2	2.3
H28	1252A		D２	第９面	Ⅶ層	土玉	2.2	2.1
H28	1252B		D２	第９面	Ⅶ層	土玉	2.6	2.9
H28	1252C		D２	第９面	Ⅶ層	土玉	2.4	2.6
H28	1366A		E２	第９面	Ⅶ層	土玉	2.8	3.0
H28	1366B		E２	第９面	Ⅶ層	土玉	2.6	2.8
H28	1366C		E２	第９面	Ⅶ層	土玉	2.1	2.3
H28	1467A		C３	第９面	Ⅶ層	土玉	2.6	3.0
H28	1467B		C３	第９面	Ⅶ層	土玉	1.9	2.2
H28	1699		B３	第９面	Ⅶ層	土玉	2.1	2.5
H28	2310		E４	第９面	Ⅶ層	土玉	2.5	2.6
H28	3080		C３	第９面	Ⅶ層	土玉	2.4	2.6
H28	1992		C３	第９面	Ⅶ層下面	土玉	2.7	3.0
H28	2459		C４	第９面	Ⅶ層下面	土玉	2.6	2.6
H27	8274A		F６	第10面	Ⅷ層	土玉	2.7	2.8
H27	8274B		F６	第10面	Ⅷ層	土玉	2.4	2.6
H27	8274C		F６	第10面	Ⅷ層	土玉	2.2	2.3
H27	8285		F６	第10面	Ⅷ層	土玉	2.4	2.4
H27	8469A		F６	第10面	Ⅷ層	土玉	3.1	3.0
H27	8469B		F６	第10面	Ⅷ層	土玉	2.9	3.1
H27	8469C		F６	第10面	Ⅷ層	土玉	2.9	2.9
H27	8469D		F６	第10面	Ⅷ層	土玉	2.9	3.0

第Ⅵ－２－７表　２・3区土製品観察表６

調査年度	取上No.	挿図番号	グリッド	遺構面	遺構層位	器種	法量（ｃｍ）高さ	法量（ｃｍ）幅
H27	8469E		F６	第10面	Ⅷ層	土玉	3.0	3.0
H27	8469F		F６	第10面	Ⅷ層	土玉	3.0	3.1
H27	8469G		F６	第10面	Ⅷ層	土玉	3.0	3.1
H27	8469H		F６	第10面	Ⅷ層	土玉	2.8	3.0
H27	8469I		F６	第10面	Ⅷ層	土玉	3.0	3.1
H27	8469J		F６	第10面	Ⅷ層	土玉	2.2	2.4
H27	8469K		F６	第10面	Ⅷ層	土玉	2.1	2.5
H27	8469L		F６	第10面	Ⅷ層	土玉	2.1	2.5
H27	8469M		F６	第10面	Ⅷ層	土玉	2.7	2.5
H27	8482		F６	第10面	Ⅷ層	土玉	2.1	2.5
H27	8593		F６	第10面	Ⅷ層	土玉	2.6	2.9
H28	1531		E２	第10面	Ⅷ層	土玉	2.5	2.9
H28	1595A		B３	第10面	Ⅷ層	土玉	2.5	3.0
H28	1595B		B３	第10面	Ⅷ層	土玉	2.3	2.8
H28	1684		C３	第10面	Ⅷ層	土玉	2.0	2.1
H28	1757A		C３	第10面	Ⅷ層	土玉	2.5	2.6
H28	1757B		C３	第10面	Ⅷ層	土玉	2.2	2.4
H28	1851		E２	第10面	Ⅷ層	土玉	2.8	2.7
H28	1876		C４	第10面	Ⅷ層	土玉	2.5	2.6
H28	2214		E２	第10面	Ⅷ層	土玉	2.5	2.8
H28	2457A		C４	第10面	Ⅷ層下面	土玉	2.6	2.7
H28	2457B		C４	第10面	Ⅷ層下面	土玉	2.5	2.8
H28	1847		E２		Ⅷ層 ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ２	土玉	2.2	2.6
H27	8498		F６	第10面	Ⅸ層	土玉	2.5	2.7
H27	8780		F６	第11面	Ⅹ層	土玉	2.4	2.4
H28	1843A		E４	第11面	Ⅹ層	土玉	2.4	2.5
H28	1843B		E４	第11面	Ⅹ層	土玉	2.3	2.6
H28	1843C		E４	第11面	Ⅹ層	土玉	2.4	2.5
H28	1843D		E４	第11面	Ⅹ層	土玉	2.4	2.8
H28	1843E		E４	第11面	Ⅹ層	土玉	2.5	2.6
H28	1843F		E４	第11面	Ⅹ層	土玉	2.3	2.4
H28	1843G		E４	第11面	Ⅹ層	土玉	2.3	2.3
H28	1843H		E４	第11面	Ⅹ層	土玉	1.9	2.0
H28	2418		E４	第11面	Ⅹ層	土玉	2.3	2.7
H28	2544		E４	第11面	Ⅹ層	土玉	2.4	2.7
H28	2630		E２	第11面	Ⅹ層	土玉	2.6	2.8
H28	2666A		E２	第11面	Ⅹ層	土玉	2.4	3.0
H28	2666B		E２	第11面	Ⅹ層	土玉	2.5	2.7
H28	2763A		E２	第11面	Ⅹ層	土玉	2.6	2.9
H28	2763B		E２	第11面	Ⅹ層	土玉	2.4	2.8
H28	3017		E２	第11面	Ⅹ層	土玉	2.8	2.7

調査年度	取上No.	挿図番号	グリッド	遺構面	遺構層位	器種	法量（ｃｍ）高さ	法量（ｃｍ）幅
H26	466A		E４		４ﾗｲﾝﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.9	3.4
H26	466B		E４		４ﾗｲﾝﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.3	2.4
H26	495		D４		４ﾗｲﾝﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.7	2.8
H26	507		C４		４ﾗｲﾝﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.4	2.8
H26	1265A		D４		４ﾗｲﾝﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.1	2.5
H26	1265B		D４		４ﾗｲﾝﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.6	2.6
H28	161		C４		４ﾗｲﾝﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.8	3.0
H27	251		E４		５ﾗｲﾝﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.4	2.7
H28	1678		E４		５ﾗｲﾝﾄﾚﾝﾁ 拡張部分	土玉	2.0	2.2
H28	1682		E４		５ﾗｲﾝﾄﾚﾝﾁ 拡張部分	土玉	2.5	2.9
H26	457		F５		６ﾗｲﾝﾄﾚﾝﾁ	土玉	1.9	2.2
H26	3599		C６		６ﾗｲﾝﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.9	2.9
H26	6674		C８	第１面	８ﾗｲﾝﾄﾚﾝﾁ Ⅱ層	土玉	2.8	3.1
H26	6676		D８	第１面	８ﾗｲﾝﾄﾚﾝﾁ Ⅱ層	土玉	2.5	2.7
H28	2873A		C８		８ﾗｲﾝﾄﾚﾝﾁ 拡張部分	土玉	2.6	2.9
H28	2873B		C８		８ﾗｲﾝﾄﾚﾝﾁ 拡張部分	土玉	2.4	2.7
H28	1248A		D３		D３ﾄﾚﾝﾁ４	土玉	2.1	2.2
H28	1248B		D３		D３ﾄﾚﾝﾁ４	土玉	2.0	2.3
H28	1612		D３		D３ﾄﾚﾝﾁ５	土玉	2.5	2.4
H27	442		E３		EFﾗｲﾝ間ﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.8	3.2
H27	4139A		E５		EFﾗｲﾝ間ﾄﾚﾝﾁ	土玉	3.1	3.5
H27	4139B		E５		EFﾗｲﾝ間ﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.5	2.6
H28	4043A		E４		EFﾗｲﾝ間ﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.9	3.3
H28	4043C		E４		EFﾗｲﾝ間ﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.1	3.0
H28	4043E		E４		EFﾗｲﾝ間ﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.5	2.8
H28	4043G		E４		EFﾗｲﾝ間ﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.1	2.3
H28	4043Ｉ		E４		EFﾗｲﾝ間ﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.6	2.6
H28	4043B		E４		EFﾗｲﾝ間ﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.4	2.8
H28	4043D		E４		EFﾗｲﾝ間ﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.5	2.8
H28	4043F		E４		EFﾗｲﾝ間ﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.4	2.4
H28	4043H	Ⅳ-13-15	E４		EFﾗｲﾝ間ﾄﾚﾝﾁ	その他	3.9	2.1
H27	2221		E４		Eﾗｲﾝﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.0	2.5
H27	3252		F６		F･G６確認坑	土玉	2.7	3.0
H27	3276		F６		F･G６確認坑	土玉	2.2	2.4
H27	3379		G６		F･G６確認坑	土玉	2.9	2.7
H27	3482		G６		F･G６確認坑	土玉	2.4	2.6
H27	3505A		G６		F･G６確認坑	土玉	2.4	2.5
H27	3505B		G６		F･G６確認坑	土玉	2.1	2.4
H27	3642		F６		F･G６確認坑	土玉	2.2	2.6
H27	3684		G６		F･G６確認坑	土玉	2.2	2.5
H27	6606		G６		G７ﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.3	2.7

第Ⅵ－２－７表　２・3区土製品観察表７

調査年度	取上No.	挿図番号	グリッド	遺構面	遺構層位	器種	法量(cm)高さ	法量(cm)幅
H27	7489		G6		G7ﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.8	3.2
H27	7564		G6		G7ﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.5	2.8
H27	8329		G6		G7ﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.5	2.6
H27	9015		G6		G7ﾄﾚﾝﾁ	土玉	1.8	2.3
H27	9318		G6		G7ﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.1	2.4
H27	1456		G7		H7ﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.6	3.0
H27	1058	Ⅳ-13-15	G7		H7-2ﾄﾚﾝﾁ	勾玉	3.9	2.6 1.6(厚)
H27	6487	Ⅳ-13-15	G7		H7-2ﾄﾚﾝﾁ	その他	1.9	2.1
H27	6962		G7		H7-2ﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.8	2.5
H27	7426		G7		H7-2ﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.6	2.9
H27	8247		G7		H7-2ﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.9	3.1
H27	8264A		G7		H7-2ﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.6	3.0
H27	8264B		G7		H7-2ﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.8	2.9
H27	8472		G7		H7-2ﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.0	2.3
H27	8488		G7		H7-2ﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.2	2.8
H27	8506		G7		H7-2ﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.2	2.3
H27	8511		G7		H7-2ﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.4	2.8
H27	8523		G7		H7-2ﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.4	2.8
H27	8602		G7		H7-2ﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.3	2.5
H27	8786		G7		H7-2ﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.3	2.7
H27	9010		G7		H7-2ﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.5	2.6
H27	9105		G7		H7-2ﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.3	2.7
H26	278		D3		中央側溝	土玉	2.3	2.7
H26	509		D3		中央側溝	土玉	2.9	3.0
H26	869		D4		中央側溝	土玉	1.7	2.1
H26	6198		D4		中央側溝	土玉	2.3	2.4
H26	3115		D9		中央側溝	土玉	2.6	2.7
H26	1939A		D5		中央側溝 Ⅱ層以下	土玉	2.7	2.7
H26	1939B		D5		中央側溝 Ⅱ層以下	土玉	3.0	3.0
H26	177		C2		東側溝	土玉	2.6	2.8
H26	206		E2		東側溝	土玉	2.7	3.0
H26	209		B2		東側溝	土玉	2.6	3.1
H26	212		C2		東側溝	土玉	2.7	2.8
H28	1250A		E2		東側溝	土玉	2.3	2.6
H28	1250B		E2		東側溝	土玉	2.4	2.6
H26	8240		D・E2		東側溝	土玉	1.9	2.6
H27	9288		E2		東側溝ベルト 20層	土玉	2.5	2.8
H26	467		F3		南側溝	土玉	2.5	2.7
H26	785		F5		南側溝	土玉	3.0	3.1
H26	1501		F6		南側溝	土玉	2.3	2.7

調査年度	取上No.	挿図番号	グリッド	遺構面	遺構層位	器種	法量(cm)高さ	法量(cm)幅
H27	38		F6		南側溝	土玉	2.8	2.9
H27	109A		F5		南側溝	土玉	2.6	2.7
H27	109B		F5		南側溝	土玉	2.4	2.3
H27	6957		G7		南側溝	土玉	2.7	3.2
H27	8960		F5		南側溝	土玉	1.9	2.2
H26	208		B3		北側溝	土玉	2.7	2.9
H26	248		B3		北側溝	土玉	2.3	2.9
H26	251A		B3		北側溝	土玉	4.0	3.8
H26	251B		B3		北側溝	土玉	2.2	2.7
H26	325		B3		北側溝	土玉	2.2	2.4
H26	749		C6		北側溝	土玉	2.5	2.7
H26	773		C6		北側溝	土玉	2.1	2.5
H26	3937		C8		北側溝	土玉	2.4	2.2
H28	156A		C3		東西ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ1	土玉	2.6	2.9
H28	156B		C3		東西ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ1	土玉	2.3	2.4
H28	156C		C3		東西ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ1	土玉	2.2	2.3
H28	156D		C3		東西ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ1	土玉	2.3	2.4
H28	2096A		C3		L字ﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.3	2.7
H28	2096B		C3		L字ﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.2	2.3
H26	4813		E8		ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.3	2.4
H26	6196		E8		ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.4	2.6
H26	6328		D7		ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.7	2.7
H28	1026		D3		ｻﾌﾞﾄﾚﾝﾁ2	土玉	2.7	2.7
H26	122		40～50mﾗｲﾝ		表土	土玉	2.7	3.1
H26	123		40mﾗｲﾝ		表土	土玉	2.3	2.5
H27	96		G6		表土掘削後 平面精査中	土玉	2.3	2.6
H27	208		G7		表土掘削後 平面精査中	土玉	2.1	2.5
H26	1036		D7		機械掘削後 清掃中	土玉	2.7	2.9
H26	1271		C2		機械掘削後 清掃中	土玉	2.2	2.6
H26	1274		C3		機械掘削後 清掃中	土玉	2.2	2.2
H26	1996		C2	第1面	第1面 検出作業中	土玉	2.5	2.6
H27	190		F6	第1面	第1面 検出作業中	土玉	2.2	2.5
H27	344		D3	第1面	第1面 検出作業中	土玉	2.2	2.4
H27	345A		E3	第1面	第1面 検出作業中	土玉	2.5	2.6
H27	345B		E3	第1面	第1面 検出作業中	土玉	2.4	2.6
H27	345C		E3	第1面	第1面 検出作業中	土玉	2.1	2.4
H27	644		E4	第1面	第1面 検出作業中	土玉	2.2	2.5
H26	4659		E9	第4面	第4面 検出作業中	土玉	2.2	2.8
H26	7070		B2	第5面	第5面 清掃作業中	土玉	2.4	2.6
H26	7073		C3	第5面	第5面 清掃作業中	土玉	1.5	1.6
H26	7157		C2	第5面	第5面 清掃作業中	土玉	2.7	3.0

第Ⅵ－２－７表　２・3区土製品観察表８

調査年度	取上No.	挿図番号	グリッド	遺構面	遺構層位	器種	法量（ｃｍ）高さ	法量（ｃｍ）幅
H26	8335A		C２・３	第５面	第５面 清掃作業中	土玉	2.2	2.3
H26	8335B		C２・３	第５面	第５面 清掃作業中	土玉	2.9	3.1
H26	8337		D９	第５面	第６面 清掃作業中	土玉	2.2	2.3
H28	1154		E４	第８面	第８面 清掃作業中	土玉	2.4	2.6
H28	1253		E２	第８面	第８面 清掃作業中	土玉	2.5	2.8
H26	1634		C５		清掃中	土玉	2.4	2.8
H27	4160		G７		清掃中	土玉	2.6	2.6
H27	8419		H７		清掃中	土玉	2.3	2.2
H27	9356		F６		清掃中	土玉	2.4	2.6
H28	164				清掃中	土玉	2.5	2.8
H28	165				清掃中	土玉	2.7	3.0
H28	4149		D３		清掃中	土玉	2.2	2.4
H28	2031		C８		層位不明	土玉	2.5	2.7
H28	4612		D６		層位不明	土玉	2.9	2.9
H26	741		G７		撹乱	土玉	2.5	2.6
H26	769		G６		撹乱	土玉	2.6	2.9
H26	1989		D４		撹乱	その他	2.3	2.3
H26	4120		C４		撹乱	土玉	2.1	2.3
H27	34		G７		撹乱	土玉	2.3	2.4
H27	135		F６		撹乱	土玉	2.0	2.3
H27	136		G６		撹乱	土玉	2.1	2.3
H27	183		G６		撹乱	土玉	2.3	2.5
H27	191		G６		撹乱	土玉	2.2	2.5
H27	193		G６		撹乱	その他	5.1	2.8
H27	394		D２		撹乱	土玉	2.2	2.6
H27	414		E３		撹乱	土玉	2.1	2.4
H27	483		E４		撹乱	土玉	4.0	3.0
H27	525		E４		撹乱	土玉	2.8	3.2
H27	1217		E４		撹乱	土玉	2.9	2.9
H27	2291A		E２		撹乱	土玉	2.5	3.0
H27	2291B		E２		撹乱	土玉	2.2	2.8
H27	2419		E２		撹乱	土玉	3.0	3.1
H27	5101		E４		撹乱	土玉	2.5	2.6
H27	8131		F６		撹乱	土玉	2.5	2.8
H28	978		E５		撹乱	土玉	2.2	2.6
H28	1692		C３		撹乱	土玉	2.3	2.8
H28	2153		E５		撹乱	その他	1.2	3.6
H28	2215		E５		撹乱	土玉	2.1	2.2
H26	5899		D７		撹乱	土玉	2.7	2.6
H28	1158				廃土中	土玉	3.3	3.4
H26	1415		F６		表採	土玉	2.7	3.0

調査年度	取上No.	挿図番号	グリッド	遺構面	遺構層位	器種	法量（ｃｍ）高さ	法量（ｃｍ）幅
H26	7081	Ⅳ-２-40	D１	第１面	３S-90 埋土中	土玉	2.6	2.9
H26	4261	Ⅳ-６-63	B１	第５面	３S-3 埋土中	土玉	2.6	2.7
H26	4055		D１	第５面	３S-39 埋土中（上部砂層）	土玉	2.9	3.1
H26	4363		D１	第５面	３S-39 埋土上層	土玉	2.7	3.0
H26	4459	Ⅳ-６-84	D２	第５面	３S-39 埋土下層（泥炭層）	土玉	2.2	2.9
H26	4568		D２	第５面	３S-39 埋土下層（泥炭層）	土玉	2.2	2.6
H26	4674	Ⅳ-６-84	D１	第５面	３S-39 埋土中	土玉	2.3	2.5
H26	4695	Ⅳ-６-84	D１	第５面	３S-39 埋土中	土玉	2.3	2.6
H26	7304		E１	第５面	３S-39 埋土中	土玉	2.5	2.9
H26	7559	Ⅳ-６-84	D１	第５面	３S-39 埋土中（砂層）	土玉	2.6	2.6
H26	4367	Ⅳ-６-95	E１	第５面	３S-40 埋土中	土玉	2.0	2.6
H26	4379	Ⅳ-６-95	E１	第５面	３S-40 埋土中	土玉	3.1	3.2
H26	4448		F１	第５面	３S-40 埋土中	土玉	2.2	2.7
H26	4450A		E１	第５面	３S-40 埋土中	土玉	2.3	2.4
H26	4450B		E１	第５面	３S-40 埋土中	土玉	2.0	2.6
H26	4566	Ⅳ-６-95	E・F０	第５面	３S-40 清掃中	土玉	2.8	2.7
H26	4671		E１	第５面	３S-40 埋土中	土玉	2.6	2.8
H26	4677		E２	第５面	３S-40 埋土中	土玉	2.9	3.2
H26	5989A	Ⅳ-６-95	E１	第５面	３S-40 埋土中	土玉	2.0	2.4
H26	5989B	Ⅳ-６-95	E１	第５面	３S-40 埋土中	土玉	2.1	2.4
H26	5989C		E１	第５面	３S-40 埋土中	土玉	2.2	2.5
H26	8406	Ⅳ-６-95	E１	第５面	３S-40 埋土中	土玉	2.6	2.5
H26	5030A		C１	第７面	３S-50 埋土中	土玉	2.6	2.6
H26	5030B	Ⅳ-８-149	C１	第７面	３S-50 埋土中	土玉	2.1	2.6
H26	5129	Ⅳ-８-149	C１	第７面	３S-50 埋土中	土玉	2.9	3.2
H26	5033A	Ⅳ-８-152	C２	第７面	３S-55 埋土中	土玉	2.2	2.5
H26	5033B	Ⅳ-８-152	C２	第７面	３S-55 埋土中	土玉	2.6	2.8
H26	5033C		C２	第７面	３S-55 埋土中	土玉	2.1	2.8
H26	5033D		C２	第７面	３S-55 埋土中	土玉	2.0	2.4
H26	5033E	Ⅳ-８-152	C２	第７面	３S-55 埋土中	土玉	2.7	2.8
H26	5136		C１	第８面	３S-60 埋土中	土玉	2.3	1.8
H26	5239A	Ⅳ-９-６	C１	第８面	３S-60 埋土中	土玉	2.3	2.5
H26	5239B		C１	第８面	３S-60 埋土中	土玉	2.5	2.8
H26	5239C	Ⅳ-９-６	C１	第８面	３S-60 埋土中	土玉	2.5	2.6
H26	6079A	Ⅳ-９-13	C１	第８面	３S-70 埋土中	土玉	2.1	2.1
H26	6079B	Ⅳ-９-13	C１	第８面	３S-70 埋土中	土玉	2.5	2.7
H26	7140		C１	第８面	３S-70 埋土中	土玉	2.4	2.6
H26	6701	Ⅳ-９-25	D１	第８面	３S-76 埋土中	土玉	1.9	2.2
H26	6893	Ⅳ-９-25	D１	第８面	３S-76 １層	土玉	2.5	2.7

第Ⅵ－２－７表　２・3区土製品観察表９

調査年度	取上No.	挿図番号	グリッド	遺構面	遺構層位	器種	法量（ｃｍ）高さ 幅
H26	6983	Ⅳ-９-25	Ｄ１	第８面	３S-76 ２層	土玉	2.1 3.2
H26	7462	Ⅳ-10-68	Ｄ１	第９面	３S-115 埋土中	土玉	2.7 3.0
H26	7510A	Ⅳ-10-68	Ｄ１	第９面	３S-115 埋土中	土玉	2.2 2.9
H26	7510B		Ｄ１	第９面	３S-115 埋土中	土玉	2.5 3.0
H26	7510C	Ⅳ-10-68	Ｄ１	第９面	３S-115 埋土中	土玉	△2.6 3.6
H26	3358		Ｄ１	第１面	Ⅱ層	土玉	2.4 2.5
H26	3898		Ｃ１	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.6 2.8
H26	3627		Ｄ１	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.2 2.4
H26	3715		Ｄ１	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.2 2.8
H26	3629		Ｅ１	第５面	Ⅴ-２層	土玉	1.8 2.0
H26	3630		Ｅ１	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.6 2.8
H26	3904		Ｄ１	第５面	Ⅴ-２層	土玉	2.5 2.6
H26	3822		Ｅ２		Ⅴ-２～Ⅴ-４層	土玉	2.4 2.7
H26	4953		Ｃ１	第７面	Ⅴ-４層	土玉	2.3 2.8
H26	4955		Ｄ１	第７面	Ⅴ-４層	土玉	2.2 2.6
H26	7134A		Ｃ１	第８面	東西ｱｾﾞ２ Ⅵ層	土玉	2.4 2.5
H26	7134B		Ｃ１	第８面	東西ｱｾﾞ２ Ⅵ層	土玉	2.5 2.4
H26	7077A		Ｃ１	第８面	Ⅵ層（畦畔）	土玉	2.3 2.7
H26	7077B		Ｃ１	第８面	Ⅵ層（畦畔）	土玉	2.2 2.6
H26	7077C		Ｃ１	第８面	Ⅵ層（畦畔）	土玉	2.5 2.6
H26	5734A		Ｃ・Ｄ１	第８面	Ⅵ層	土玉	2.9 3.1
H26	5734B		Ｃ・Ｄ１	第８面	Ⅵ層	土玉	2.7 3.0
H26	5734C		Ｃ・Ｄ１	第８面	Ⅵ層	土玉	2.5 2.7
H26	5994A		Ｄ１	第８面	Ⅵ層	土玉	2.2 2.4
H26	5994B		Ｄ１	第８面	Ⅵ層	土玉	2.2 2.5
H26	6084		Ｄ１	第８面	Ⅵ層	土玉	2.6 2.8
H26	6085		Ｄ１	第８面	Ⅵ層	土玉	1.9 2.2
H26	7131		Ｄ２	第８面	Ⅵ層	土玉	2.1 2.6
H26	7049		Ｃ１	第９面	Ⅶ層	土玉	2.4 2.5
H26	6762		Ｄ１	第９面	Ⅶ層	土玉	2.7 2.7
H26	7952A		Ｄ１	第９面	Ⅶ層	土玉	2.8 2.9
H26	7952B		Ｄ１	第９面	Ⅶ層	土玉	2.7 2.9
H26	7226		Ｄ２	第９面	Ⅶ層	土玉	2.4 2.5
H26	7047		Ｄ１		２ﾗｲﾝﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.6 3.1
H26	7328		Ｄ１		２ﾗｲﾝﾄﾚﾝﾁ	土玉	2.3 2.6
H26	7317		Ｄ２		２ﾗｲﾝﾄﾚﾝﾁ 根株付近	土玉	2.4 2.6
H26	7298		Ｅ１	第５面	２ﾗｲﾝﾄﾚﾝﾁ Ⅴ-２層	土玉	2.7 3.1
H26	7229		Ｄ２	第５面	２ﾗｲﾝﾄﾚﾝﾁ Ⅴ-２層	土玉	1.7 2.2
H26	7301		Ｃ２	第８面	２ﾗｲﾝﾄﾚﾝﾁ Ⅵ層	土玉	2.4 2.9
H26	7248		Ｄ２	第８面	２ﾗｲﾝﾄﾚﾝﾁ Ⅵ層	土玉	2.3 2.7
H26	2838		Ｂ２		北側溝	土玉	2.9 3.2

調査年度	取上No.	挿図番号	グリッド	遺構面	遺構層位	器種	法量（ｃｍ）高さ 幅
H26	7334		Ｆ０・１		南側溝	土玉	2.4 2.6
H26	2997		Ｄ１		中央側溝	土玉	2.4 2.5
H26	3038		Ｄ１		中央側溝	土玉	2.4 2.5
H26	3083		Ｄ１		中央側溝	土玉	2.4 2.6
H26	3003		Ｄ１		下水溝	土玉	2.1 2.8
H26	3002A		Ｃ２		下水溝	土玉	3.0 3.2
H26	3002B		Ｃ２		下水溝	土玉	2.1 2.5
H26	5040		Ｃ１		撹乱	土玉	2.6 2.9
H26	3121		Ｃ１		第１面 検出作業中	土玉	2.8 3.0
H26	3352		Ｅ０		第１面 清掃作業中	土玉	1.5 2.2
H26	4730		Ｃ１		第４面 清掃作業中	土玉	2.0 2.7
H26	4947		Ｃ１		第５面 清掃作業中	土玉	2.4 2.7
H26	7021		Ｅ２		第５面 清掃作業中	土玉	2.3 2.4
H26	8370		Ｄ１		第７面 清掃作業中	土玉	2.5 2.6
H26	3010		Ｅ２		検出作業中	土玉	2.6 3.0
H26	1998				表土掘削中	土玉	2.2 2.2
H26	2026				表土掘削中	土玉	2.3 2.4
H26	2087A				機械掘削中	土玉	2.0 2.4
H26	2087B				機械掘削中	土玉	2.1 2.4
H27	1698		Ｆ２		－	土玉	2.1 2.6

第Ⅵ－２－７表　２・3区土製品観察表10

第３節　炭化種実一覧表

炭化種実は、モモ、トチを中心に集計し、種類不明のものは(　)で表記した。特に多量に出土したのはモモで、完形品の合計は2,038点である。半分に割れたものが180点あるので、合計すると2,128点分のモモの種が出土したことになる。トチはほぼ完形のものが合計11点、半分程度残存するものが合計４点である。

モモの完形品が最も多く出土した遺構面は第７面で557点出土し、次いで第５面が290点、第８面が272点である。出土した遺構は、溝、流路、落ち込みからのものが最も多く、土坑から出土するものもあるがまとまって出土することは無いので、埋没過程での流入したと考えられる。溝(第７面：２S-763)は１遺構としては277点と非常にまとまって出土しており、単なる流入というよりは、この溝に意図的に廃棄された可能性が高いと考えられる。２S-763とほぼ同一場所に設置された第８面の溝(２S-927)、第11面の溝(２S-1046)、第11面の谷(２S-840)なども出土点数が多く、２区南側丘陵の張り出し部の裾の遺構からより多く出土した。(馬路)

遺構面	遺構・層位	モモ(点)			トチ・その他※の種(点)		
		完形	半分	破片	完形	半分	破片
第１面	２S-45	1					
第１面	２S-66	7	3		(1)		
第１面	２S-412	2					
第１面	２S-416	1					
第１面	２S-427	11					
第１面	２S-507	1					
第１面	２S-532	8					
第１面	２S-594	1					
第１面	２S-786	1					
第１面	２S-787	1					
第１面	３S-90	4	2				
第１面	Ⅱ層	26					
	小　計	64	5		(1)		
第２面	Ⅲ層	8					
	小　計	8					
第３面	２S-138・189	15				3	
	Ⅳ層	7	3			(2)	(1)
	小　計	22	3			3(2)	(1)
第４面	２S-180	13			1		2
第４面	２S-631	3	1				
第４面	２S-637	36					
第４面	２S-650	10	4				
第４面	２S-651	1					
第４面	２S-652			1			
第４面	２S-666	1					
第４面	２S-672	1					
第４面	２S-977	5	2				
第４面	Ⅴ層	43	13	1			
	小　計	113	20	2	1		2
第５面	２S-290	5	1				
第５面	２S-347	3					
第５面	２S-348	14	2				

遺構面	遺構・層位	モモ(点)			トチ・その他※の種(点)		
		完形	半分	破片	完形	半分	破片
第５面	２S-699	39	37	1			
第５面	２S-700	3					
第５面	２S-701	3					
第５面	２S-703	8					
第５面	２S-704	3					
第５面	２S-705	1					
第５面	２S-708	1					
第５面	２S-716		1				
第５面	２S-729	1		1			
第５面	２S-730	63	4				
第５面	２S-738	2					
第５面	２S-742			14			
第５面	２S-751	5		2			
第５面	２S-754	3					
第５面	２S-758	3					
第５面	２S-759	1					
第５面	２S-761	1					
第５面	２S-999				(1)		
第５面	３S-39	5	1				
第５面	３S-40	15	3	1			
第５面	Ⅴ-２層	111	6				
	小　計	290	55	19	(1)		
第６面	２S-747	1					
第６面	２S-762	16					
第６面	２S-790	15	4				
第６面	２S-818	1	1				
第６面	Ⅴ-３層	3					
	小　計	36	5				
第７面	２S-245	50	11	4	3		2
第７面	２S-245 トレンチ	2	1				
第７面	２S-245掘方 検出中	9					
第７面	２S-763古	277	10				

第Ⅵ－３－１表　２・3区炭化種実１

遺構面	遺構・層位	モモ(点)			トチ・その他※の種(点)		
		完形	半分	破片	完形	半分	破片
第７面	２S-763新	3					
第７面	２S-764	46	3				
第７面	２S-774		1				
第７面	２S-792	1					
第７面	２S-794	2					
第７面	２S-796		1				
第７面	２S-824	13	1	1			
第７面	２S-858・883・895・898サブトレンチ	3	1				
第７面	３S-50	1	1				
第７面	３S-55・59・69	2	1				
第７面	Ⅴ-４層	148	3	4			(2)
	小　計	557	34	9	3		2(2)
第８面	２S-841	17	1				
第８面	２S-901	20				1	
第８面	２S-902	71	2				
第８面	２S-904	14	1				
第８面	２S-905		1				
第８面	２S-912	15	2				
第８面	２S-913	2					
第８面	２S-916	4					
第８面	２S-923	3					
第８面	２S-927	46	2		1		
第８面	２S-1009	2					
第８面	２S-1141	1					
第８面	３S-70	11	1	3			
第８面	３S-76	4					
第８面	Ⅵｂ層	2					
第８面	Ⅵ層	60					
	小　計	272	10	3	1	1	
第９面	２S-856	1					
第９面	２S-898	1					
第９面	２S-951		1				
第９面	２S-978	13	1				
第９面	２S-978						(2)
第９面	２S-1034	1					
第９面	２S-1120	6	1				
第９面	２S-1143	7					
第９面	２S-856ｂ	3					
第９面	３S-105	1					
第９面	３S-115	2	1				
第９面	Ⅶｂ層	1					
第９面	Ⅶ層	87	11				
	小　計	123	15				(2)
第10面	２S-833	10	1				
第10面	２S-964				1		
第10面	２S-1025	19	1				
第10面	２S-1027	6					
第10面	２S-1029	1					
第10面	２S-1030	7	1		1		
第10面	２S-1057	16					
第10面	２S-1066	2					1
第10面	２S-1069	11	1				
第10面	２S-1079	16	1				
第10面	２S-1090		1				
第10面	２S-1091	3					
第10面	２S-1175	3					
第10面	３S-122	1	2	1			
第10面	３S-130	2					
第10面	Ⅷ・Ⅸ層	11					
	小　計	108	8	1	2		1
第11面	２S-840	81	1	2			
第11面	２S-1046	36					
第11面	２S-1047	4					
第11面	２S-1147	2		2			
第11面	２S-1147貼床下位層	2					
第11面	Ⅹ層	23					
	小　計	148	1	4			
	２ライントレンチ	2					
	東側溝	6					
	３ライントレンチ	10					
	４ライントレンチ	12	1		(1)	(1)	
	５ライントレンチ	6			1		5
	６ライントレンチ	1			2		
	８ライントレンチ	2					
	北側溝	5	1	2			
	中央側溝	7	1				3
	Eライントレンチ	3	1				
	E・Fライン間トレンチ	28	2				
	南側溝	12		1			
	G７トレンチ	4					
	H７-２トレンチ	8	2				
	F・G６確認坑	13	2		(3)		(1)
	南西部トレンチ	1					
	サブトレンチ	60	6	1（細片多数）	1		(1)
	精査・清掃中	38	1				
	Ⅰ層	7			(2)		
	攪乱・排土	72	7	6			(1)
	小　計	297	24	9	4(6)	(1)	8(3)
	総　計	2,038	180	47	11(8)	4(3)	13(8)

※(　)内の点数はトチ以外の種類不明のもの

第Ⅵ－３－１表　２・3区炭化種実２

第４節　遺物観察表(写真のみ掲載の遺物)

取上No.	写真図版	年度	調査区	グリッド	遺構面	遺構 層位	器種
1742	PL.184-1	H27	２区	H６	第２面	H７ﾍﾞﾙﾄ Ⅲ層	坏
7873	PL.194-1	H27	２区	G７	第４面	H７-２ﾍﾞﾙﾄ Ⅴ層	高坏
1059	PL.246-5	H28	２区	D４	第５面	２S-999 －	器台
8081	PL.280-1	H27	２区	F６	第７面	－ Ⅴ-５層	壷
8081	PL.286-5	H27	２区	F６	第７面	－ Ⅴ-５層	蓋
8081	PL.286-5	H27	２区	F６	第７面	Ⅴ-５層	蓋
8043	PL.286-5	H27	２区	G６	第７面	F・G６確認坑 Ⅴ-４層	蓋
8081	PL.287-2	H27	２区	F６	第７面	－ Ⅴ-５層	甕
9570	Pl.287-3	H27	２区	G６	第７面	－ Ⅴ-５層	甕

第Ⅵ－４－１表　２・３区土器観察表

取上No.	写真 図版	年度	地区	グリッド	遺構面	遺構 層位	器種
4781	PL.367-3	H26	２区	C８	第４面	２S-138 埋土中	不明 (棒状品)
3174	PL.386-2	H27	２区	E４	第５面	２S-701 底面	火きり臼
3175	PL.386-2	H27	２区	E４	第５面	２S-701 底面	火きり臼
5449	PL.390-1	H26	３区	D２	第５面	３S-39 埋土中	不明
8821	PL.412-4	H26	２区	D５	第７面	２S-245 埋土中	容器
8842	PL.416-4	H26	２区	D６	第７面	２S-245 埋土中	不明 (棒状品)
6975	PL.419-1	H26	２区	D５	第７面	２S-245 埋土中	不明 (部材)
9334	PL.438-3	H27	２区	D３	第７面	２S-763 －	建築部材
6532	PL.448-4	H26	３区	D２	第８面	－ Ⅵ層	不明 (板状品)
6572	PL.451-2	H26	３区	C１	第８面	３S-70 埋土中	建築部材
6345	PL.451-3	H26	３区	B１	第８面	３S-70 埋土中	建築部材
1904	PL.471-1	H28	２区	D２	第９面	－ Ⅶ層	不明 (部材)
1262A	PL.471-1	H28	２区	D２	第９面	－ Ⅶ層	不明 (部材)
5031	PL.483-3	H28	２区北側	C４	第９面	２S-856 埋土中	杭
5114	PL.495-2	H28	２区北側	D８	第10面	２S-1264 埋土中	建築部材
2115	PL.494-1	H28	２区北側	C８	第11面	２S-1030	建築部材
3559	PL.501-1	H28	２区北側	C４	第10面	２S-1057 (A-A'８・９層相当)	板(農具？)
2500	PL.504-1	H28	２区北側	C４	第10面	２S-1057 (A-A'８層相当)	板

取上No.	写真 図版	年度	地区	グリッド	遺構面	遺構 層位	器種
3786	PL.505-1	H28	２区北側	C４	第10面	２S-1057 (A-A'９層相当)	建築部材
3760	PL.505-4	H28	２区北側	C４	第10面	２S-1057 (A-A'８・９層相当)	建築部材
3673	PL.506-3	H28	２区北側	C４	第10面	２S-1057 (A-A'７層相当)	柱
4198	PL.506-3	H28	２区北側	C４	第10面	２S-1057 (A-A'９層相当)	板
3320	PL.506-4	H28	２区北側	C４	第10面	２S-1057 (A-A'７層相当)	礎板
2412	PL.507-1	H28	２区北側	C４	第10面	２S-1057 (A-A'13層相当)	板
3701	PL.507-1	H28	２区北側	C４	第10面	２S-1057 (A-A'９層相当)	建築部材
3483	PL.512-2	H28	２区	E２	第９面	２S-1079 上層	建築部材
4335	PL.552-1	H28	２区南側	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材
4441	PL.552-1	H28	２区南側	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材
4247	PL.552-1	H28	２区南側	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材
4249	PL.552-1	H28	２区南側	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材
4573	PL.552-1	H28	２区南側	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材
4740	PL.552-1	H28	２区南側	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材
4246	PL.552-1	H28	２区南側	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材
4698	PL.552-1	H28	２区南側	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材
4306	PL.552-1	H28	２区南側	E４	第11面	２S-840 中層	建築部材

第Ⅵ－４－２表　２・３区木器観察表

第Ⅶ章　総括

第１節　乙亥正屋敷廻遺跡の変遷

調査のまとめとして、丘陵部（１区）と谷底平野（２・３区）の利用について遺跡の変遷を５段階に整理した。区分は主に、２・３区に形成された谷部と溝のあり方に基づいて行った。第１段階は、弥生時代後期以前で、丘陵裾部に形成された谷部が埋没せず、水が流れていたと考えられる時期である。この時期の遺物はあるが、明確な遺構は少ない。第２段階は、谷部が埋められて溝が形成される段階で第９～11面（乙亥正Ⅴ～Ⅶ期）が対応する。第３段階は、溝が最も体系的に整備される時期で、第７、８面（乙亥正Ⅶ期）が対応する。第４段階は、護岸を伴う溝がほとんどなくなる時期で、第４～６面（乙亥正Ⅷ～Ⅹ期）が対応する。第５段階は、遺跡の利用が低調になる古墳時代中期以降の第１～３面である。なお、第１面には本来下位の遺構面に帰属する遺構が多数含まれている。（馬路）

１　第１段階（弥生時代後期以前）

第１段階とした乙亥正Ⅳ期以前は、明確な遺構は確認できなかったが、遺物は多少出土する。最も古いのは縄文土器だが、出土量は極少数で遺構の検出にも至らなかった。乙亥正Ⅲ～Ⅳ期にかけて、徐々に遺物量が増加するので、その頃から丘陵部を中心に人々の日常的な活動領域に組み込まれていったと考えらえる。

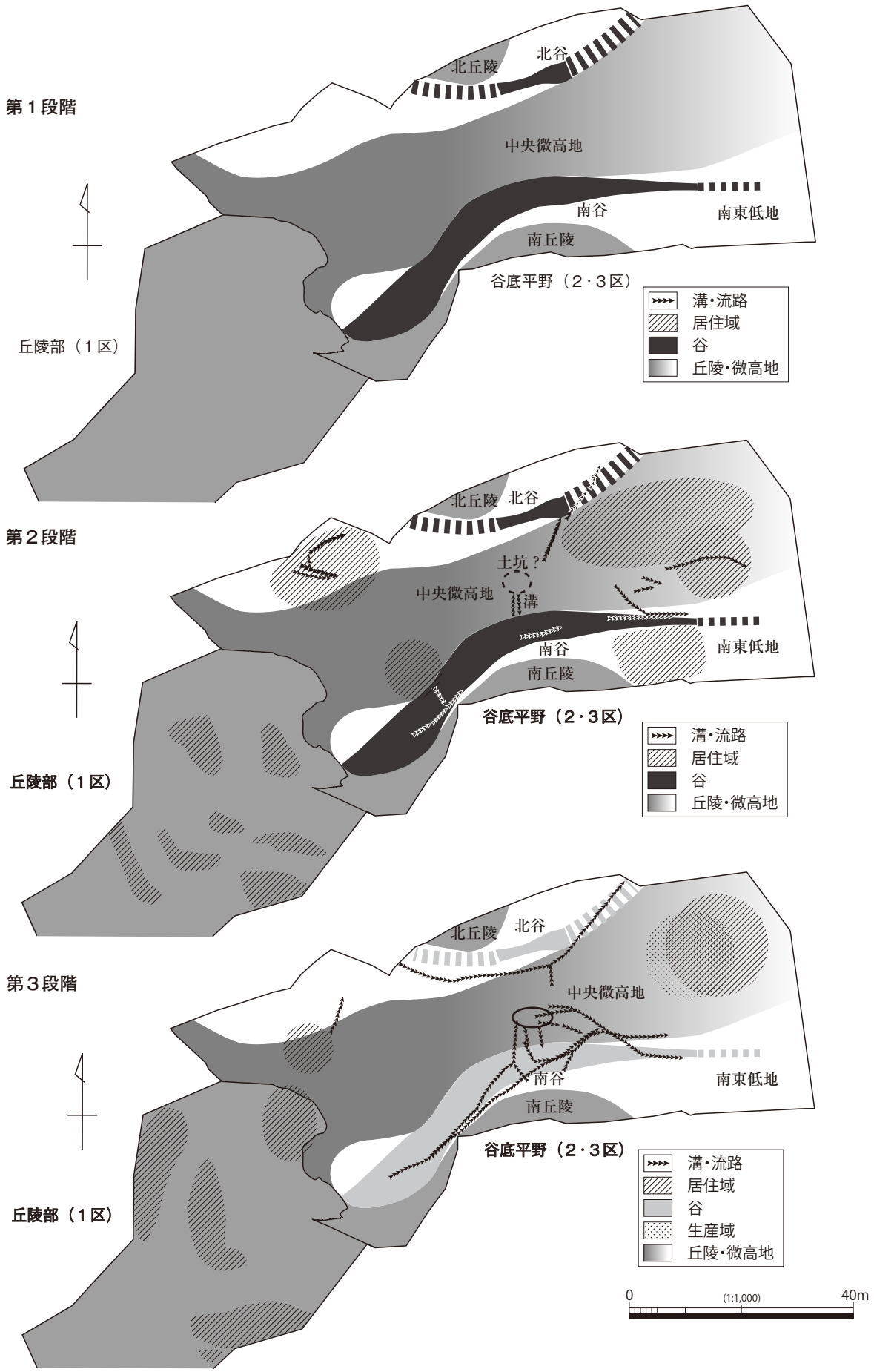
谷底平野の２・３区では、４ライントレンチ断面の102層から採取した炭化物混じりの土壌の年代測定では、縄文時代草創期から早期頃という結果が出た。102層は、黒褐色のシルト層で、旧表土と考えられる。この地層は２区中央部から南側になだらかに下って、南側丘陵との間に谷を形成している。よって、２S-840とした谷地形は縄文時代には形成されていたと考えられる。２区北側で２S-1057とした谷は、いつ頃形成されたのかわからないが、おそらく南側の谷部と同様の時期には形成されていた可能性が高いと考えられる。

居住開始期の地形を整理して、２区北側にある東西方向の尾根が南に張り出した部分を「北丘陵」、その裾を廻る谷を「北谷（２S-1057）」と呼ぶ。同様に２区南側にある東西方向の尾根が北に張り出した部分を「南丘陵」、その裾を廻る谷を「南谷（２S-840）」と呼ぶ。北谷と南谷で挟まれた２区中央部の微高地を「中央微高地」と呼ぶ。調査区南東端は、掘削深度の制限があり、第５面目までしか調査していないが、隣接部分の工事では調査区から南東方向に地形が下っていることがわかっているので、この部分を「南東低地」と呼ぶ。（馬路）

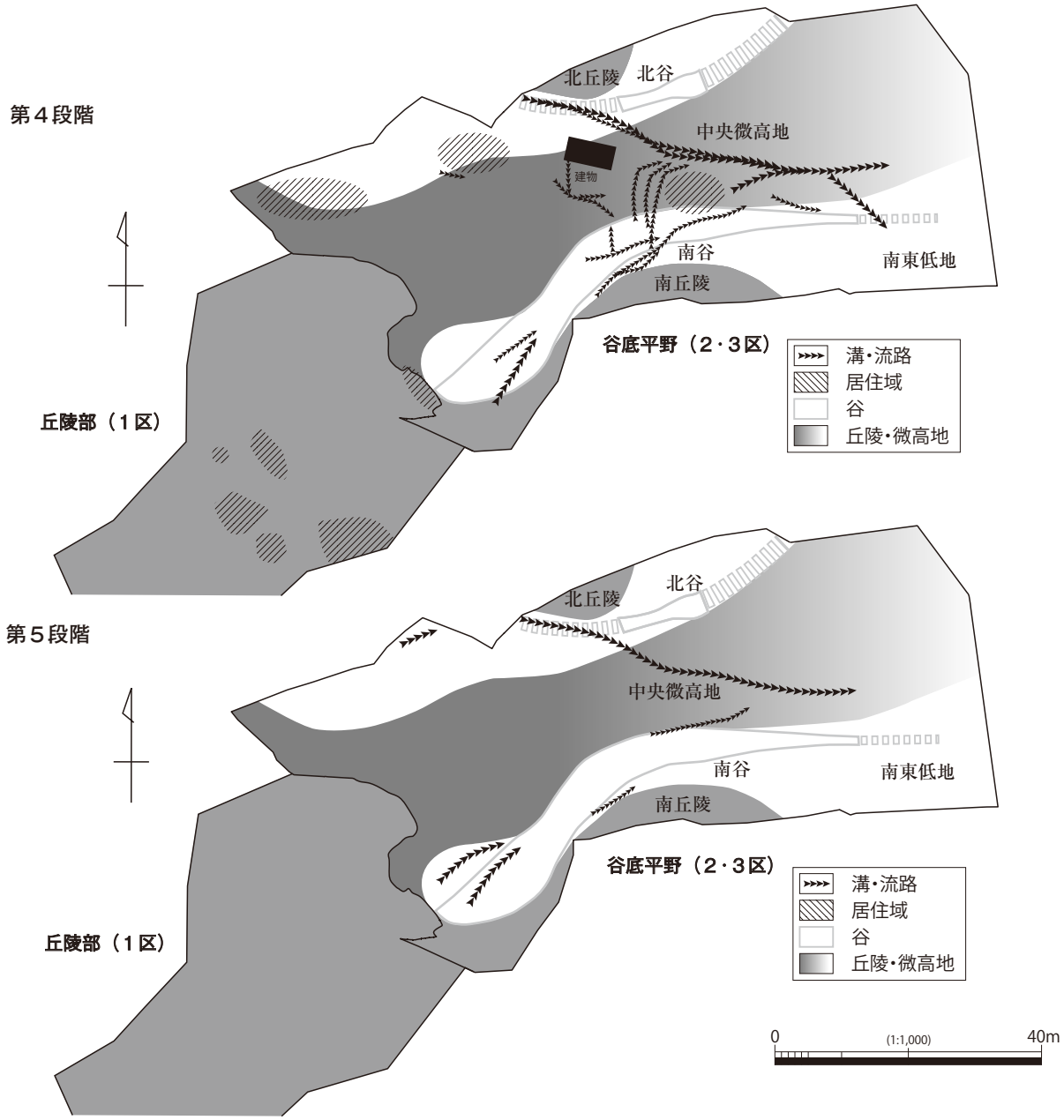
２　第２段階（広範な居住域の形成と展開、南谷の整備：第９～11面）

この時期には、遺物が質、量ともに大幅に増加し、谷底平野（２・３区）では中央微高地の落ち際と中央微高地上に竪穴住居が建築されて、居住域として利用されるようになる。妻木晩田遺跡などの丘陵上の居住域のように５棟前後の竪穴住居が特定の場所に密集するというよりは、１、２棟の竪穴住居を、少しずつ位置をずらしながら建て替えて継続的に居住している。

谷底平野の南北両側の谷では、木器や土器が多量に廃棄されていたが、南谷（２S-840）では、下層


第１段階
北丘陵
北谷
中央微高地
南谷
南東低地
南丘陵
谷底平野（２・３区）
丘陵部（１区）
溝・流路
居住域
谷
丘陵・微高地
第２段階
北丘陵
北谷
土坑？
中央微高地
溝
南谷
南東低地
南丘陵
谷底平野（２・３区）
丘陵部（１区）
溝・流路
居住域
谷
丘陵・微高地
第３段階
北丘陵
北谷
中央微高地
南谷
南東低地
南丘陵
谷底平野（２・３区）
丘陵部（１区）
溝・流路
居住域
谷
生産域
丘陵・微高地
0
(1:1,000)
40m

第Ⅶ－１－１図　遺跡遷図１



第Ⅶ－１－２図　遺跡遷図２

の砂層の上に、南丘陵から南谷を横断するように建築部材などの多量の遺物が廃棄されていた。これらの建築部材は炭化していたので、焼失した建物の廃材と考えられる。この廃棄行為は１度に一括して行われたわけではない。建築部材の上下関係を整理すると、５回程度に分けて行われたと考えられる。初めは、長さ１ｍ程度の板材や農工具、雑具、土器を廃棄し、その次に長さ３ｍ、幅20ｃｍ程度の板材、次に木舞を廃棄する。木舞には、垂木との組み合わせがわかるものがあり、本来は緊縛された状態で廃棄された可能性が高い。その後長さ３ｍ、幅10ｃｍ程度の棒状の材が廃棄され、その上に長さ２ｍ、幅10～20ｃｍ程度の部材が廃棄される。それぞれの間には、容器、農工具及び雑具などの木器や土器が多量に廃棄されていた。これらの上には更に、谷筋に沿って、南丘陵斜面の落ち際に板材や棒状の部材、容器、土器が廃棄されていた。こうした廃棄行為は、出土した土器から乙亥正Ⅴ期に始まりⅥ期まで継続したと考えられる。この廃棄行為は、南丘陵の張り出し部に面した幅３ｍ程の区間でのみ認められるもので、他の場所では認められなかった。これらの一連の廃棄行為により、南

谷の湿地化が進み、泥炭層が堆積する。その後、南谷は、淘汰の悪い地山ブロックを多く含む土で埋められ、その中に溝が掘削される。

こうした谷を埋める廃棄行為は明らかに人為的に継続して行われており、何らかの意図があったと考えられる。その一つとして考えられるのが、導水施設の構築である。十分な調査を行えなかったため不明な部分も多くあるが、２S-840の谷を埋めて、南谷の北側にある中央微高地に導水するためだったと考えられる。谷の中に設置された護岸は谷筋に沿うものと、谷筋に直行して南北方向に設置されたものの２種類がある。南丘陵に面したこの場所が谷部を流れる水のコントロールポイントとして認識されていたと考えられる。

南谷から中央微高地に導水された水が、その後どのように流れたのかは明らかではないが、次段階の大型の土坑（２S-1141）がこの段階には既に掘削されて機能していた可能性が考えられる。その理由は、２S-1141の杭列と２S-916の杭にはこれらの遺構に伴う他の杭よりも、明らかに地上部の腐食が著しいものがあり、古い段階の溝の存在が想定できるからである。さらに、２区北側には中央微高地から北谷に向けた溝が設置されている。こうした状況から、中央微高地に導水して、再び南谷筋を流れる溝に接続するか、北谷へと排水していたと考えられる。

なお、南谷の埋土中からはイネ属の花粉、植物遺体としてもイネが多く出土した。この時期の生産域は、調査区内では確認できなかったが、調査区のさらに東側に生産域が広がっていたと考えられる。（馬路）

また、北谷と中央微高地の境界付近にあたる２区北西側では、乙亥正Ⅴ～Ⅵ期頃を中心に、谷を整地し居住域を造成する。微高地から谷への落ち際ラインに沿い排水または区画のための溝（２S-1063、1065、1234他）を繰り返し掘削し、その北側（谷側）に竪穴住居とみられる建物を建築する。乙亥正Ⅶ期になると、居住域は少し南側の微高地上へ移動し、ここから北側の谷へ向けての排水溝（２S-858、883他）が整備される。北谷はこの時期に埋没しつつあり、北東側は湿地の状態であったと考えられる。

一方、丘陵上（１区）では、乙亥正Ⅳ期頃から居住域が形成され、乙亥正Ⅵ～Ⅷ期頃を盛期とし、乙亥正Ⅸ期頃まで継続する。丘陵の地形は、調査区中央付近に南西から北東方向へ続き２区の南谷へ繋がる浅い谷地形があり、この谷を取り囲むように急峻な斜面が形成されている。

居住域形成の端緒となるのは丘陵裾付近の標高18m前後に形成された竪穴住居である（S-725、726）。周辺は近世、近代の造成で大きく削平されており、S-733など断片的に残る遺構の存在からは、本来周辺には同時期の遺構が存在していたと考えられる。

乙亥正Ⅴ～Ⅵ期頃には、より斜面上方の標高24～34mの広い範囲に居住域が展開される。斜面の平均的な傾斜角度が20度から30度、部分的には40度を超える急峻な地形に存在する僅かな緩斜面部の５箇所を選択的に利用し、竪穴住居、段状遺構のほか、断面袋状の土坑（以下貯蔵穴）、土坑といった関連施設を造成している。本来存在したであろう加工段同士の連絡通路は検出されていない。また今回の調査範囲は、谷底平野（２・３区）からみて西側の丘陵部にあたるが、周囲には同様の地形の丘陵斜面が存在するため、谷筋を除く谷底平野の北・西・南側の丘陵斜面地には同様の居住域が広がっていた可能性が高い。

乙亥正Ⅴ～Ⅵ期頃の明確な竪穴住居は、１区中央部の標高24～25m付近で２棟検出されている。このうち、北側の１棟（S-606）は、比較的大型（床面の長軸方向が最大約6.4m）の平面多角形を呈する

ものである。これら２棟の竪穴住居を契機として、本来比較的広い緩斜面であったこの地点は乙亥正Ⅷ期頃にかけて多数の加工段が形成される丘陵側居住域の中心的な場所となる。

段状遺構は、斜面に沿い細長く造成された加工段に数本の柱と屋根を有する構造物を主とし、断片的に残る竪穴住居や、竪穴住居の背面周壁部にみられる段、あるいは掘立柱建物や貯蔵穴を形成する基盤面としての加工段なども含む。乙亥正Ⅴ～Ⅵ期頃には少なくとも６地点で20基程度、居住域が継続する乙亥正Ⅸ期頃までを含めるとのべ80基を超え、いずれも短期間に繰り返し建て替え造成されていることが特徴的である。竪穴住居が比較的広い緩斜面部を利用しているのに対して、段状遺構は急峻な斜面地にも作られており、居住とは別に生活に必要な諸作業や保管を担う施設であったと考えられる。短期間での建て替えや再造成は、立地上、たとえ斜面上方で一定の排水対策を施したとしても、風雨による被害により頻繁な建て替え、再造成を余儀なくされていたことを示すものと理解される。（岡野）

３　第３段階（水路網の整備期、丘陵側居住域の盛期：第７・８面）

谷底平野では、前の段階の居住域が引き続き利用されているが、中央微高地東端の居住域は縮小し、居住域から生産域へと変わっていく。中央微高地東端に居住が始まった時は、南東低地寄りに建てられていたが、徐々に標高の高い北側へと住居をずらしており、南東低地へ南谷からの土砂流出が継続的に進んだことにより、基準面が上昇していったと考えられる。このような水分環境の変化に対応して、居住域から生産域へと利用方法を転換したものと考えられる。

前の段階の導水施設が明確になり、中央微高地では貯水のためと考えられる大型の土坑（２S-1141）を確認することができた。この段階に土坑と溝の大半が帰属しているのは、この場所が微高地にあたり、Ⅵ層下面が地山に相当するためである。よって、これらの中には下面の遺構面に帰属するものが含まれる可能性がある。そうした状況を踏まえて、この導水施設の構造を検討すると、調査区南西隅から湧き出る水を北東に流し、南丘陵張り出し部に差し掛かったあたりで、北向きに屈曲させて中央微高地上の土坑に流して貯水する。この土坑からは、さらに、東ないし南東方向に溝を敷設して谷筋に沿って設けた溝と合流させる。あるいは、土坑から再び南向きに設けた溝で排水して谷筋に沿った溝と合流させるといった方法で管理されていたと考えられる。また、北谷筋に設けた溝（２S-245）は南岸が途切れて土坑方向からの水が流れ込む部分があるので、この溝に向けて溝があった可能性もある。大型土坑から出土した遺物は全般的に少なく、少量の土器片と埋土上層に割れた槽などの木器が出土したのみで、祭祀に関連すると考えられる遺物は出土しなかった。中央微高地などに居住する人々の日常的な取水場所であったと考えられる。なお、南谷と大型土坑で行った寄生虫卵分析結果では、両遺構とも排泄物による汚染は想定されなかった。

第２段階以降、居住域の開発と生活用具の調達などの目的で丘陵部の伐採が進んだことにより、土砂の流出量も増加したと考えられる。北谷、南谷いずれの谷筋でも溝が埋没するたびに、少しだけ場所をずらして新たな溝をほぼ同じ場所に作り直しているが、この段階を最後にしっかりした護岸の構築は行われなくなる。北谷の溝（２S-245）は谷の奥から北丘陵の張り出し部のあたりにかけて、拳から人頭大の礫や板材が多数流れ込み、北岸の横板はなぎ倒されて、杭の上部も失われていた。南岸の護岸は、攻撃面に当たる部分はその痕跡をほとんど留めていなかった。この部分は、今回の一連の調査では最も太くて長い杭と長くて厚みのある横板が打設された場所であり、そういった場所が洪水に

よる土砂で壊滅的な打撃を受けたことが入念に護岸を行うことを止める心理的要因の一つだったと考えられる。さらに、物理的要因としては、第３節で述べるとおり大径木の入手が難しくなりつつあったことが考えられる。

なお、巴形銅器や銅鏃は型式学的に、概ね第２、３段階に相当する時期のものと考えられるので、これらの段階に入手されたものと考えられる。これらの青銅器以外には、明らかに他地域から入手したと考えられるものは少ない。土器には周防灘周辺地域のものと考えられる搬入品（８-028）がある以外には、近畿北部系のものと考えられる高坏が出土しているが、これら以外に他地域から搬入されたものはない。

モモの種の出土量が最も多くなるのもこの段階の特徴で完形品が合計829点（第７面557点、第８面272点）出土し、特に第７面の２S-763からは、277点と一つの遺構としては最も多量に出土した。（馬路）

丘陵上（１区）では、乙亥正Ⅴ～Ⅵ期に続き、平面的にも垂直的にも広い範囲に居住域が展開する。標高17～31m前後の概ね４地点で、竪穴住居、掘立柱建物、段状遺構、貯蔵穴、土坑を確認した。

竪穴住居は、南東側斜面の上方、標高32m付近に１棟（S-835、平面方形）、斜面下方の標高17m付近に１棟（S-220、平面円形）がみられ、いずれも周囲に同時期の貯蔵穴を複数伴う。

掘立柱建物（S-648）は、乙亥正Ⅴ～Ⅵ期の大型竪穴住居（S-606）に続き居住域の中心部となる標高25m付近に立地する、梁間１間、桁行２間の建物である。丘陵側居住域では唯一確認できた掘立柱建物で、南北を主軸とし、広い段状遺構を基盤に建てられたとみられる。屋内の中央部で検出された方形土坑は建物に伴う遺構かもしれない。段状遺構は、この掘立柱建物が立地する緩斜面部を中心に４ヶ所で検出された。このうち、南東側斜面部、標高32m付近に位置する広い加工段（S-852下層に推定される段状遺構）では、乙亥正Ⅵ～Ⅷ期にかけて多数の貯蔵穴が設置されている。同様の加工段は、西側斜面標高27m付近のS-285付近にも推定される。（岡野）

４　第４段階（衰退期：第４～６面）

この段階になると、谷底平野の居住域は、中央微高地のより標高の高い西側へと移動し、他は北西部の丘陵斜面部だけになる。柱穴や周壁溝の可能性のある溝が複数あることから、少しずつ場所をずらして建て替えられていたと考えられる。他には、北谷に沿って設置された溝（２S-245）が洪水により埋没した後、溝の南岸に接する場所に大型掘立柱建物が建てられるが、それ程長期間は維持されなかったと考えられ、北谷に沿って流れる流路により北西隅の柱穴が埋没してしまっている。

南谷の奥にあたる２区南西部では、湧水地点近くに大型の木製桶を転用した井戸と木製構造物が作られている。木製構造物は谷筋に沿ってコの字形に下流側を堰き止めるように設置されている。湧水地点近くに設けられていることから、ここで水を貯めて、溢れた分を下流に流していたと考えられる。下流側に構造物はなく、自然流路が谷筋に沿って流れていたと考えられる。

前段階まで多数設置された溝は、南東低地の西側に、幅の狭い溝（２S-754）１条が護岸を伴って設置された以外は、明瞭な護岸を伴うものはない。

流路の流れる方向が変わるのが一つの特徴としてあげられる。前段階までは北丘陵の張り出しの下を、谷筋に沿って南東から北東へと回り込んで流れていたが、丘陵の張り出し部で曲がらずにそのまま、南東方向へ直流して南東低地に達するようになる。この直流化に伴い、流路（２S-180）は、局所

的に枝を払った丸太材を積み上げて流路が北東に振れるのを防いでいる。護岸は、前段階までのように横板と杭による強固な構造の護岸が構築されることはなくなる。また、南谷の流路も南丘陵の張り出し部から北東方向に流れて北谷の流路と合流する。このことにより、南北両方の谷を流れる水は、中央微高地の先端でY字形に合流して東に流れ、最終的に南東低地に流れ込むようになる。これらの流路変更により、前段階までは、南東低地と調査区外の北東部の２カ所に流れ込んでいた土砂が全て南東低地に集まるようになる。結果的に南東低地の堆積（３S-40）が大きく進むことになったと考えられる。

この段階も他地域からの搬入品と考えられる遺物は少なく、畿内系の甕や高坏などの土器が少量出土した。（馬路）

丘陵側居住域でも遺構数が急速に減少する。明確な竪穴住居は検出しておらず、段状遺構などが数か所で存在するのみで、居住域全体が急速に衰退・廃絶する。（岡野）

５　第５段階（古墳時代後期以降：第１～３面）

第４段階以降、古墳時代後期までの時期は、丘陵上では重山古墳群の築造が行われているが、谷底平野では極少数の遺物が出土する以外には生活の痕跡は不明である。

古墳時代後期になると、再び小規模な居住域が認められ、流路内からは多くの土器や木器が出土するようになるとはいえ、居住域の実態はあまり明確にはできなかった。古代以降も散発的に遺物が出土する程度で、どの程度利用されていたのかは明らかではない。（馬路）

丘陵上では、居住域の廃絶後、古墳時代中期・後期、奈良時代、中世の遺構が検出されているが、いずれも１基程度のもので、断絶的な利用である。標高28～29m付近では、古墳時代中期には段状遺構１基（竪穴住居か）が形成され、尾根上に重山古墳群が築造される古墳時代後期や、続く奈良時代（８世紀頃）にも土坑１基が形成される。これ以降丘陵上部の利用は行われない。

丘陵裾の標高17～19m付近では、中世に一時的に利用されており、土坑、地下式坑が検出され、包含層を含めて白磁皿、羽釜などが出土している。２基検出した地下式坑は、細い竪坑下に地下室をもつ構造で、竪坑部は詰め石などで丁寧に封鎖されている。機能は不明であるが、出土した土器や炭化物の放射性炭素年代測定により16世紀頃の築造とみられる。

近世・近代には、斜面下方の標高17～23m付近で、弥生･古墳時代の集落遺構を削平し大小の段状遺構が造成され、建物や土坑が構築される。（岡野）

第２節　竪穴住居について

１　竪穴住居の構造

弥生時代後期から古墳時代前期の竪穴住居の調査事例は、鳥取県中・西部に比べると東部は少なかったが、鳥取西道路関連の発掘調査により調査事例が増加した。その中で、特に乙亥正屋敷廻遺跡の調査事例は、下坂本清合遺跡の良好な焼失住居に並ぶいくつかの重要な知見をもたらした。それらは周堤溝に関することと、竪穴住居の内部構造に関することである。

２　周堤溝

初めに周堤溝（３S-70、103、104、105、123、130）に関しては、鳥取東部の低地では松原田中遺跡に次ぐ検出例と考えられる。県中・西部の丘陵上の遺跡では周堤溝および周堤の検出例は妻木晩田遺跡などで知られているが、東部の低地ではこれまで調査例は限られていた。丘陵上で検出された周堤溝の特徴は、１）丘陵斜面の山側を中心に掘削されて斜面側には掘削されないこと、２）溝の幅に広狭はあるが50ｃｍ程度と狭く、断面形は逆台形ないしＵ字形であること、３）竪穴住居の平面形に関わらず、周堤溝の平面形は半円形であることがあげられる。なお、周堤と周堤溝がセットで検出されたものは無い。

このような丘陵上の周堤溝と比べると、乙亥正屋敷廻遺跡の周堤溝は、１と３については、同様の特徴を持っているが、溝の幅が１ｍ前後あり、規模が異なる。この違いは、丘陵上と沖積地という立地の違いが反映されている可能性が高い。丘陵上の場合は、斜面や屋根を伝う水を処理すれば良いが、沖積地の場合は、それらに加えて湧水や湿気への対応も必要だったと考えられるからである。妻木晩田遺跡の例では、周堤溝の底面レベルは竪穴住居の床面レベルと同程度かそれよりも高いのに対し、乙亥正屋敷廻遺跡の場合は、竪穴住居の床面よりも深く掘り込まれている。松原田中遺跡の場合も、竪穴住居床面よりも周堤溝の方が深く掘り込まれており共通する。

３　内部構造

次に、竪穴住居の内部構造について、床溝の蓋と壁材が検出されたことがあげられる。焼失住居の調査事例では、垂木や主柱が検出される例が多いが、確実な壁材の検出例は非常に少ない。最新の調査事例は網羅できていないが、３例認められる（馬路2008）。古市宮ノ谷山遺跡SI07や石脇第３遺跡SI02ではアンペラ状の編み物が壁材として報告されている。また、三林遺跡SI33では壁際の丸太材が、壁材を固定するための部材として報告されている。下坂本清合遺跡の焼失住居でも、現地を見た際に壁材と考えられる部材があった。これらの事例のように、焼失住居では稀に壁材の存在が示唆されてきたが、原位置を保たず、はっきりしない場合が多かった。今回の調査例（２S-1147）では、明らかに竪穴住居の周壁に壁材が杭で固定された状態で検出できたのが大きな成果の一つである。壁材の設置は、隅丸方形の竪穴の直線部には比較的長い板材を横位に用いて細い丸杭で固定し、隅部は小割りした板材を縦長に用いて前後に少しずつ重ねて掘方に沿わせていたことが明らかとなった。壁材の下半分は、周壁溝内に入れて、貼床で埋め殺しており、埋まっていた部分から上が焼けて炭化していた。また、壁材は必ずしも周壁を全周しない可能性もある。

床溝については、板材の蓋が初めて検出された。これまでの調査事例と同様に、床溝と中央ピットは繋がっており、底面は中央ピットに向かって緩く傾斜している。ただ、中央ピットと繋がらない壁際に掘られた溝にも蓋があり、機能は明らかでない。竪穴住居の機能時には、貼床の上面は蓋の上面とほぼ同レベルで、蓋は露出した状態だったと考えられる。いずれにしても、これらの床溝の機能は、今後の課題である。

主柱は、焼失しなかった床面から下の部分が残存した。断面円形で直径約20ｃｍのクスノキを利用していた。外面全体を手斧で加工し、末端部は平坦に周辺から加工して仕上げている。掘方内に埋める部分も非常に丁寧に加工していて、竪穴住居や掘立柱建物とは認識できない柱穴から出土した柱の多くが、外面をほとんど加工していないのとは対照的なあり方をしている。

また、掘方の深さについては、２つのタイプが存在する。主柱の残存した２S-1147や１区の調査で検出した竪穴住居の主柱穴は、約60～80ｃｍの深さがあり、一般的なものである。一方、３区で検出した竪穴住居（３S-122）の主柱穴は深さ約20ｃｍしかない。多少削り込んで検出したとはいえ、大きく変わることはない。この状況は、先に挙げた松原田中遺跡の竪穴住居１も同様に浅く、沖積低地に建てる場合の特徴と考えられる。深く掘削すると水が湧く可能性があったのかもしれないし、主柱をそれほど深く掘方内で固定しなくても倒れない構造だった可能性もある。

馬路晃祥2008「竪穴住居復元のための焼失住居の基礎的検討」鳥取環境大学浅川研究室編『山陰地域の弥生時代建築に関する実証的復元研究』76-79頁

※各遺跡の発掘調査報告書は省略

第３節　乙亥正屋敷廻遺跡の木材利用について

１　主な木器の変遷と特徴について

今回の調査で出土した主な木器の変遷は、遺構の変遷による段階区分に合わせて図をまとめた。第４段階（第４～６面）は農工具、容器、雑具など、いずれの種類のものも量と種類が減少し、容器類は桶と槽・盤類を中心にした組成になる。第２段階（第９～11面）と第３段階（第７、８面）は高杯や桶などに赤彩された精製品が目立つ一方で、第４段階になると合子の蓋しか赤彩された製品は見られなくなり、精製品の製作自体が激減する。

農工具

木包丁、曲柄又鍬など出土資料の多くは、青谷上寺地遺跡出土の木器と共通する一方で、青谷上寺地遺跡では見られないものもある。例えば、２S-763出土の直柄又鍬（第Ⅶ－３－６図7166）は、６本歯で方形の頭部を作りだし、方形の柄孔を持つもので青谷上寺地遺跡の分類（君嶋編2012）には当てはまらないタイプのものである。鳥取県内でも類例は知られていないと考えられる。２S-245出土の直柄又鍬の歯（第Ⅶ－３－６図8652）も、おそらく同型のものと考えられる。樹種は、いずれもアカガシ亜属である。

漁労具

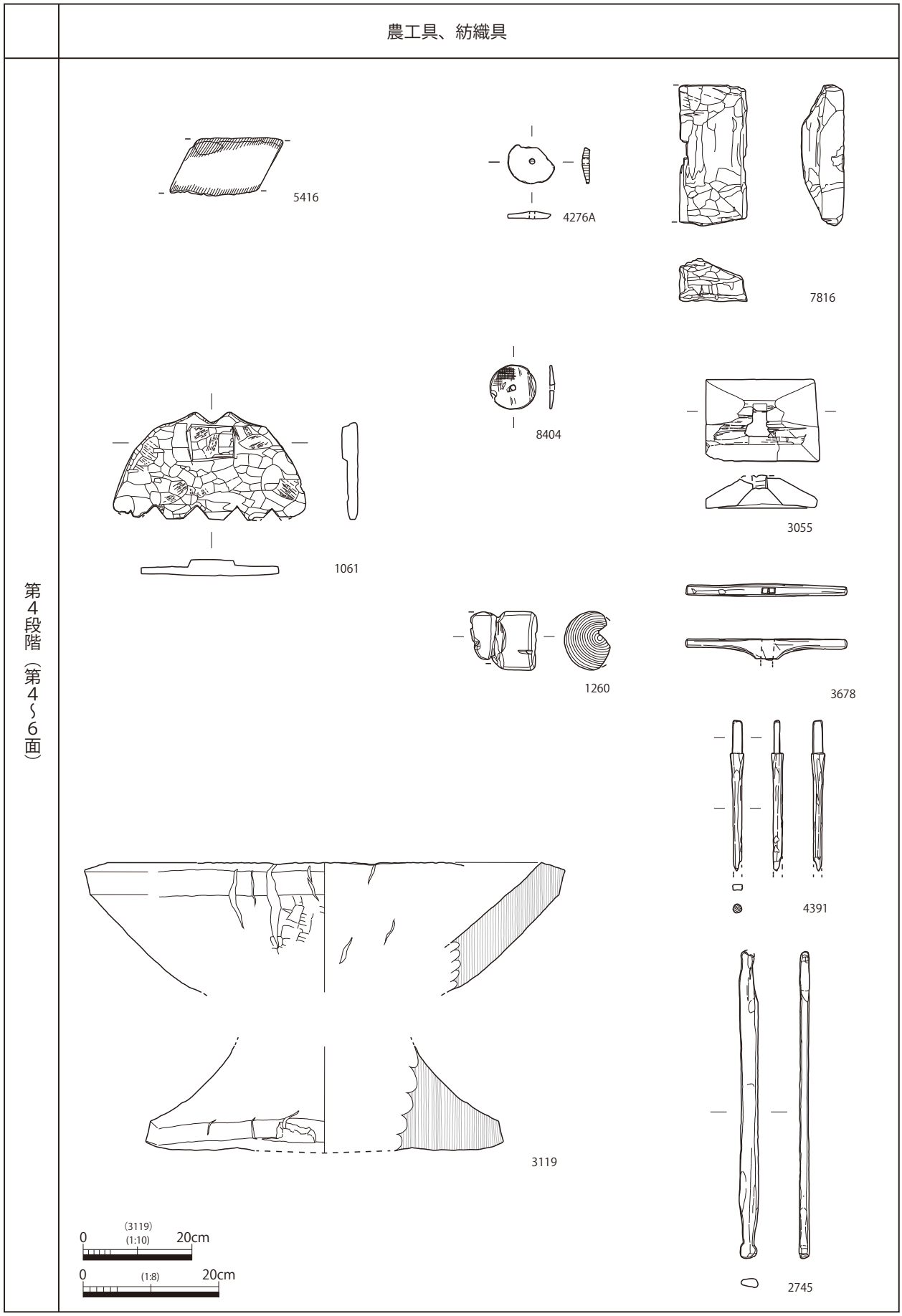
２S-1265出土のヤマグワ製の網枠（第Ⅶ－３－８図5121）は、枠木を固定する部材が付属した状態で出土しており、着柄状態が推定できるものとしては初めての出土例と考えられる。着柄方法は、概ね木器集成図録（上原編1993、fig.109）で提示された方法と同じものと考えられる。なお、部材中央部の柄孔の断面は方形である。

祭祀具

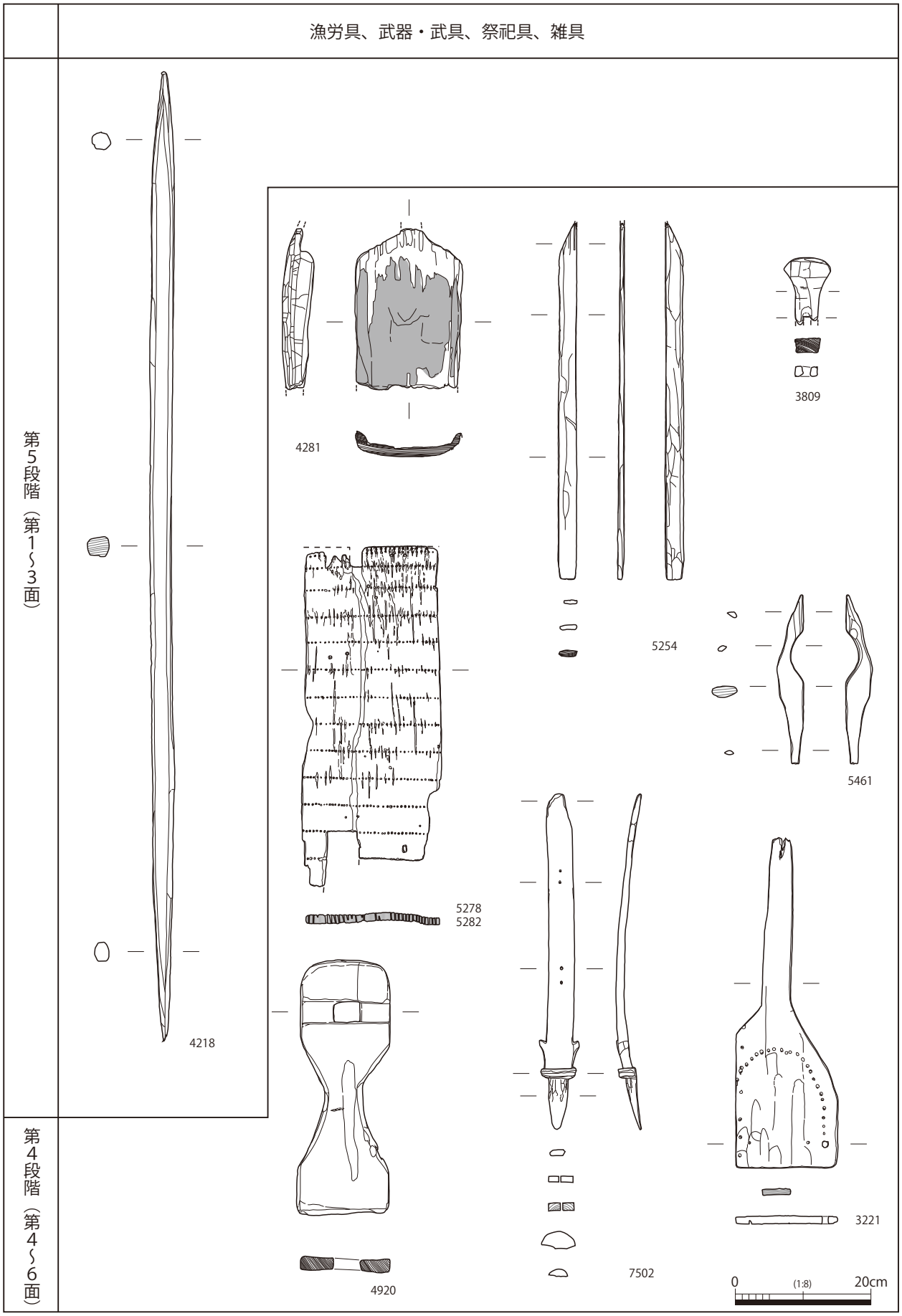
祭祀具としては、２S-347、840出土の剣ないし刀形として報告したもの（第Ⅶ－３－２図7502、第Ⅶ－３－10図0093）は特異な形態をしている。十分な類例を検討していないが、県内では出土例が無い。器種分類を含めて検討が必要かもしれない。

容器

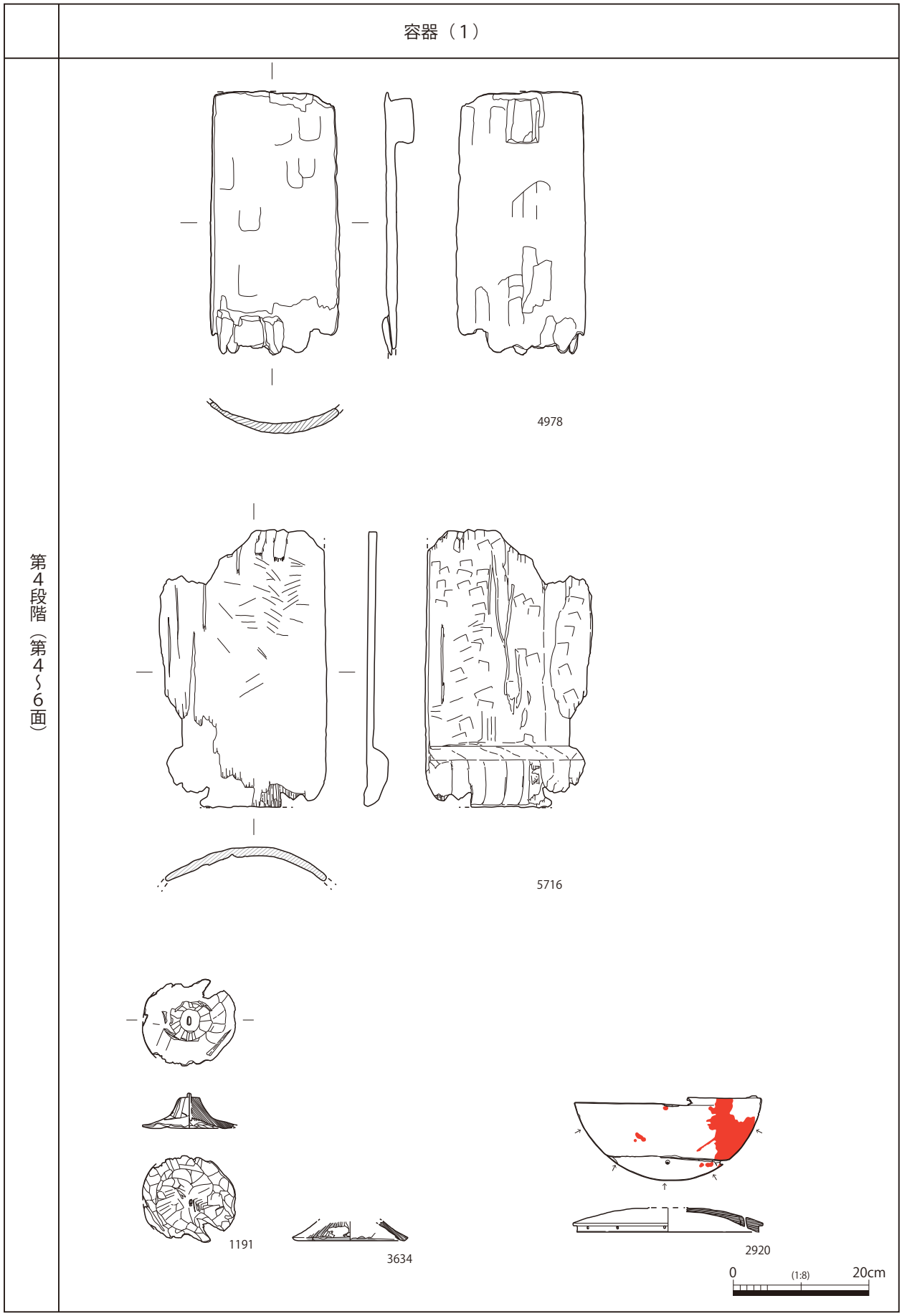
花弁高杯は、樹種同定した５点（第Ⅶ－３－12図4037、4038、9503、9504、1394、8888、9035）はいずれもクワ属で、青谷上寺地遺跡や松原田中遺跡出土品と同じ樹種である。杯部の花弁装飾は４弁と



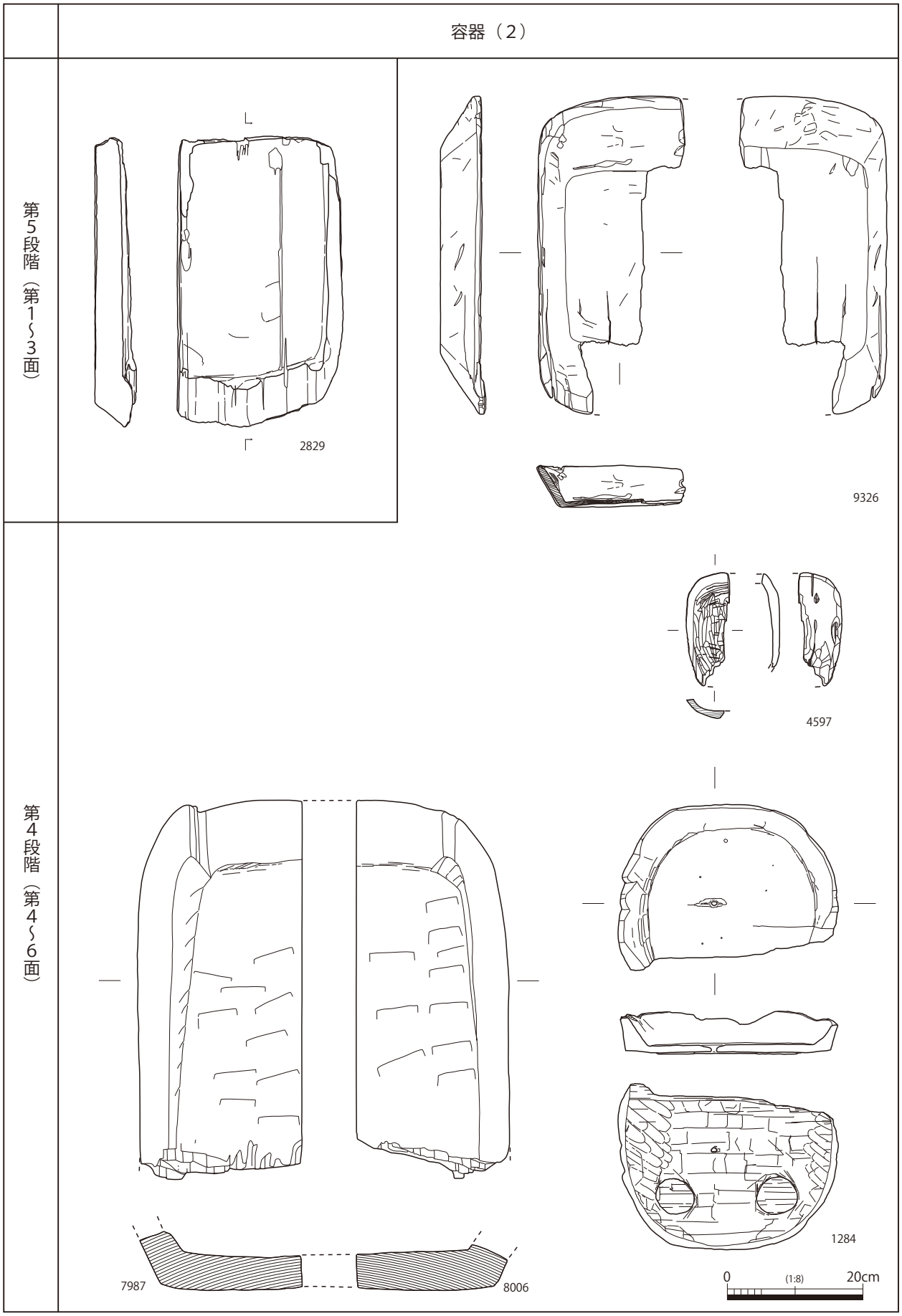
第Ⅶ－３－１図　木器変遷図１



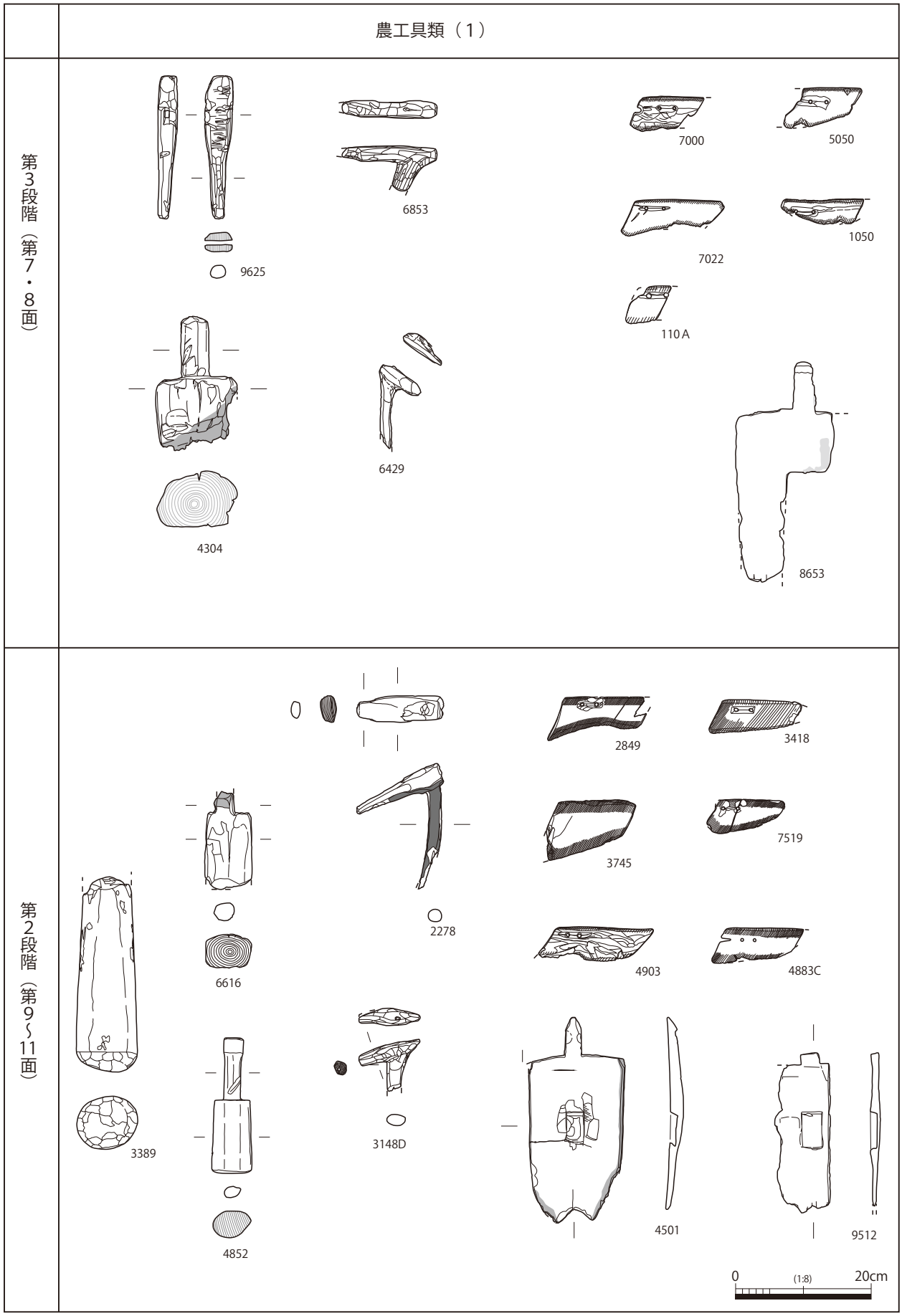
第Ⅶ－３－２図　木器変遷図２



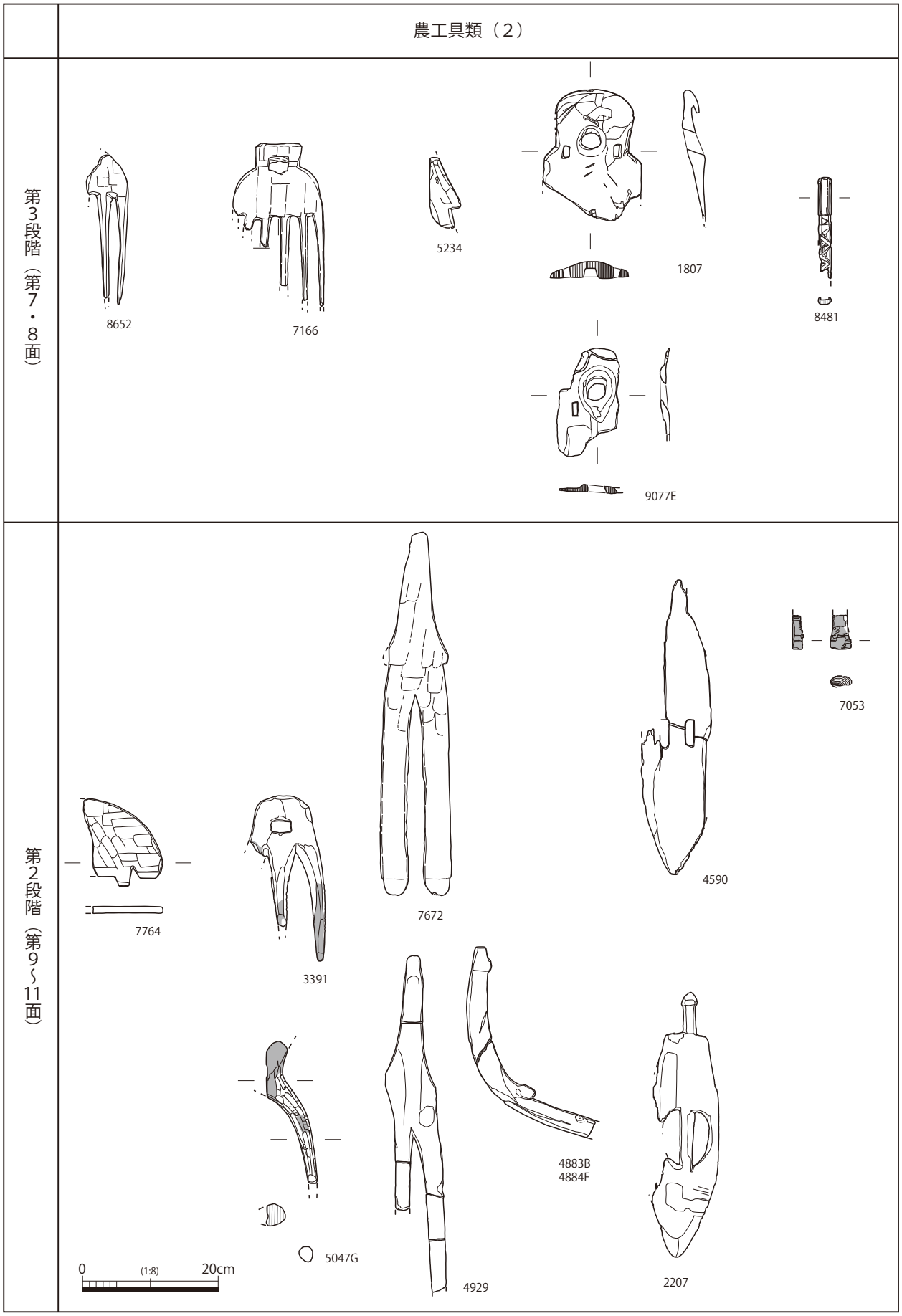
第Ⅶ－３－３図　木器変遷図３



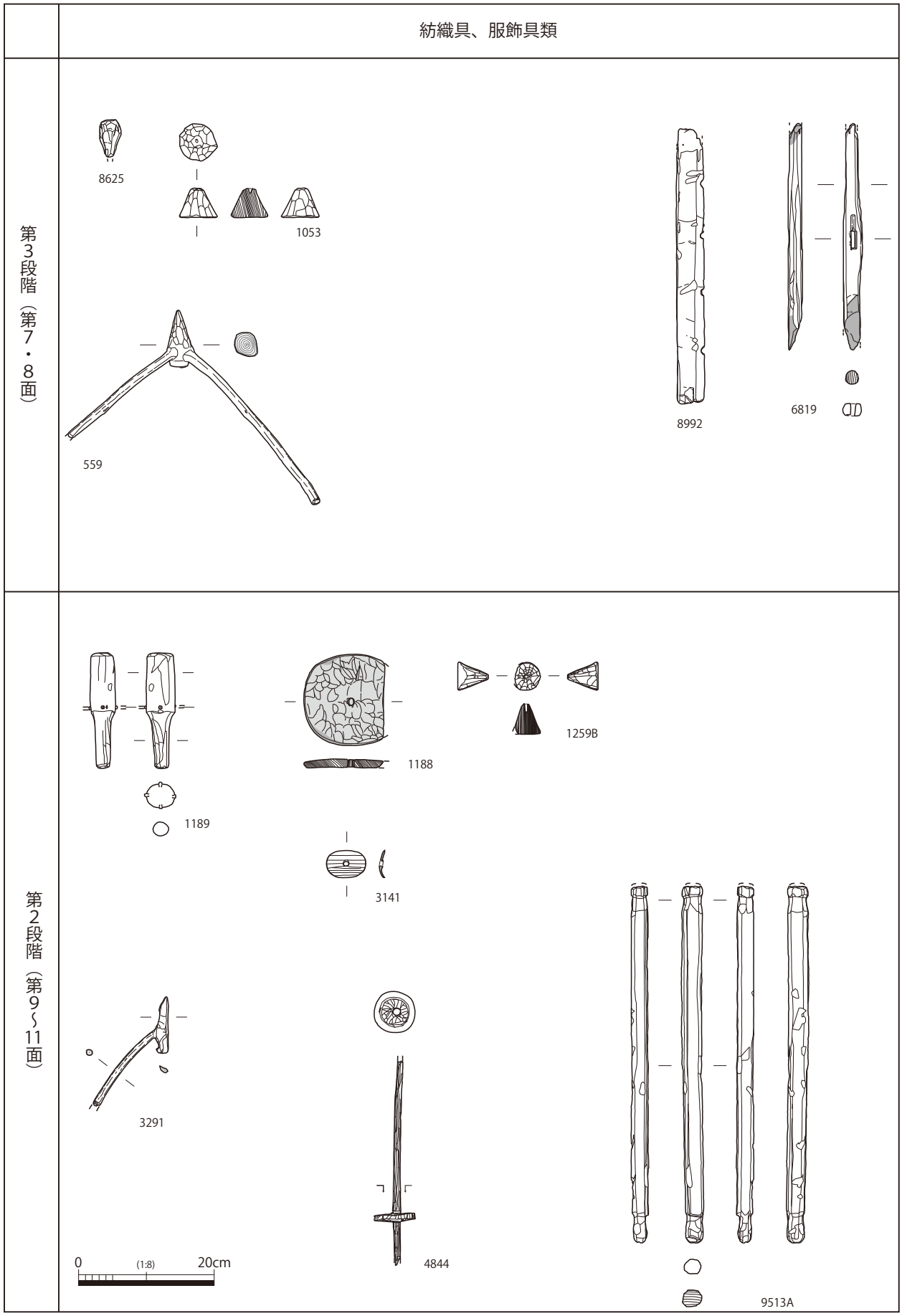
第Ⅶ－３－４図　木器変遷図４



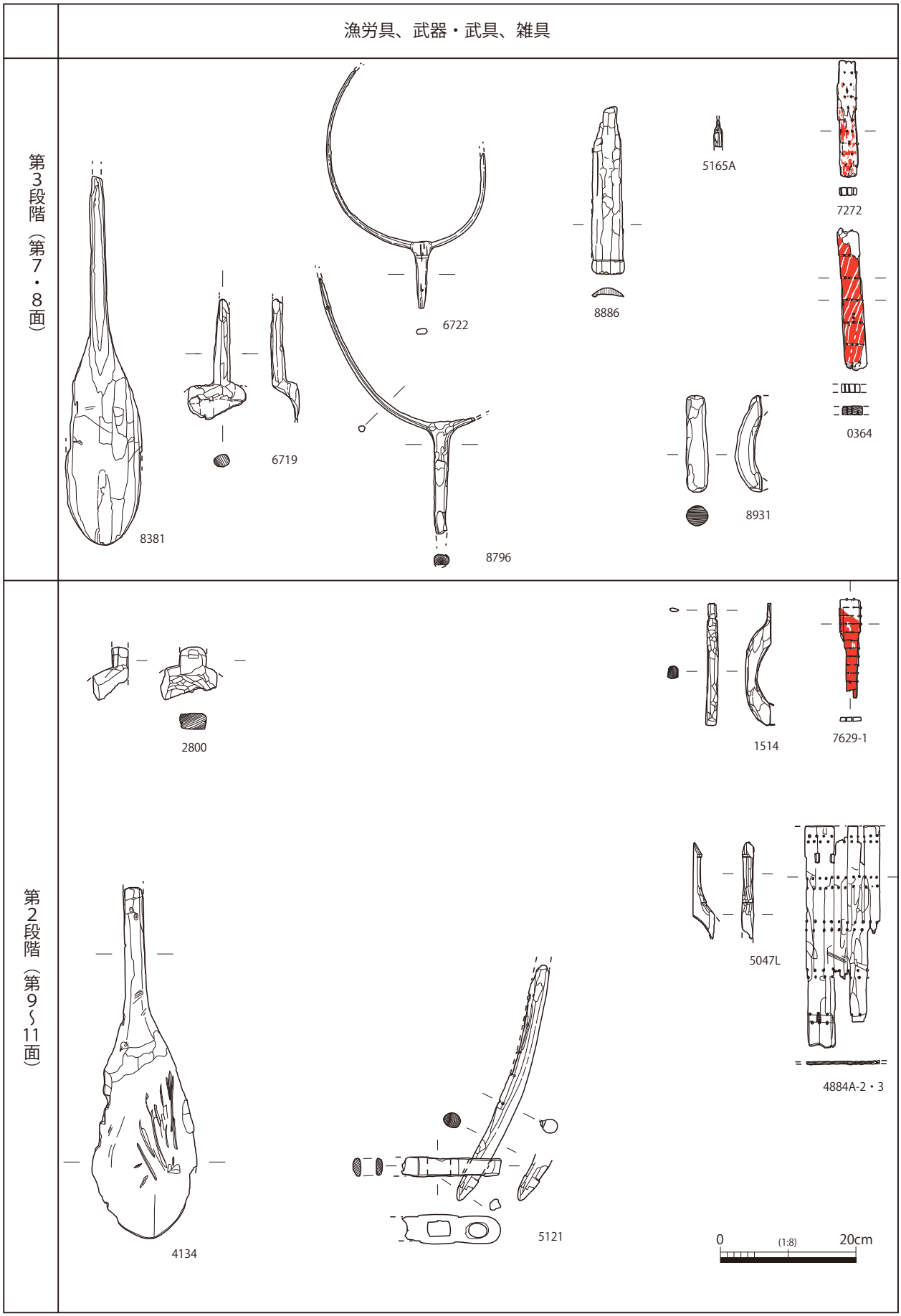
第Ⅶ－３－５図　木器変遷図５



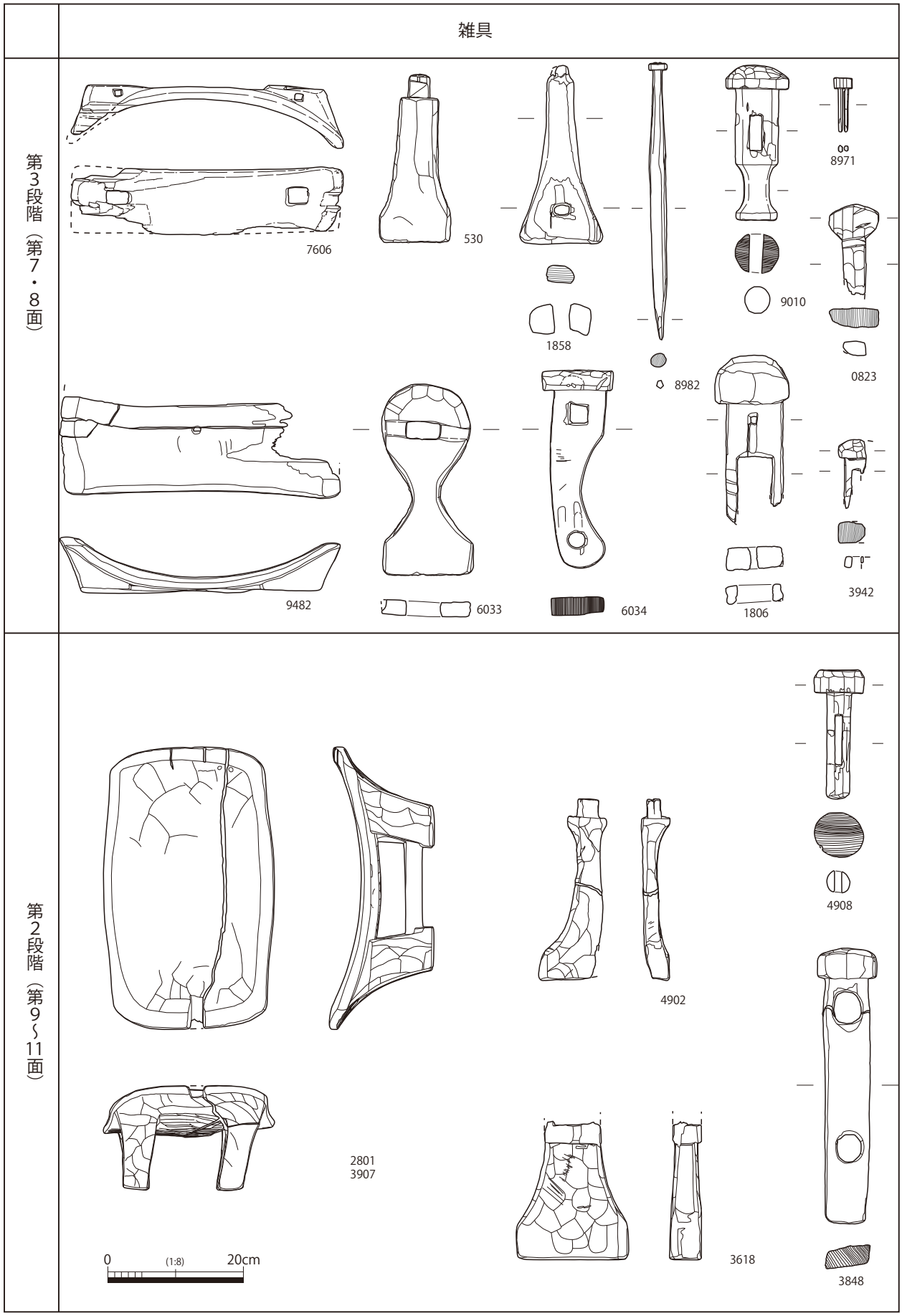
第Ⅶ－３－６図　木器変遷図６



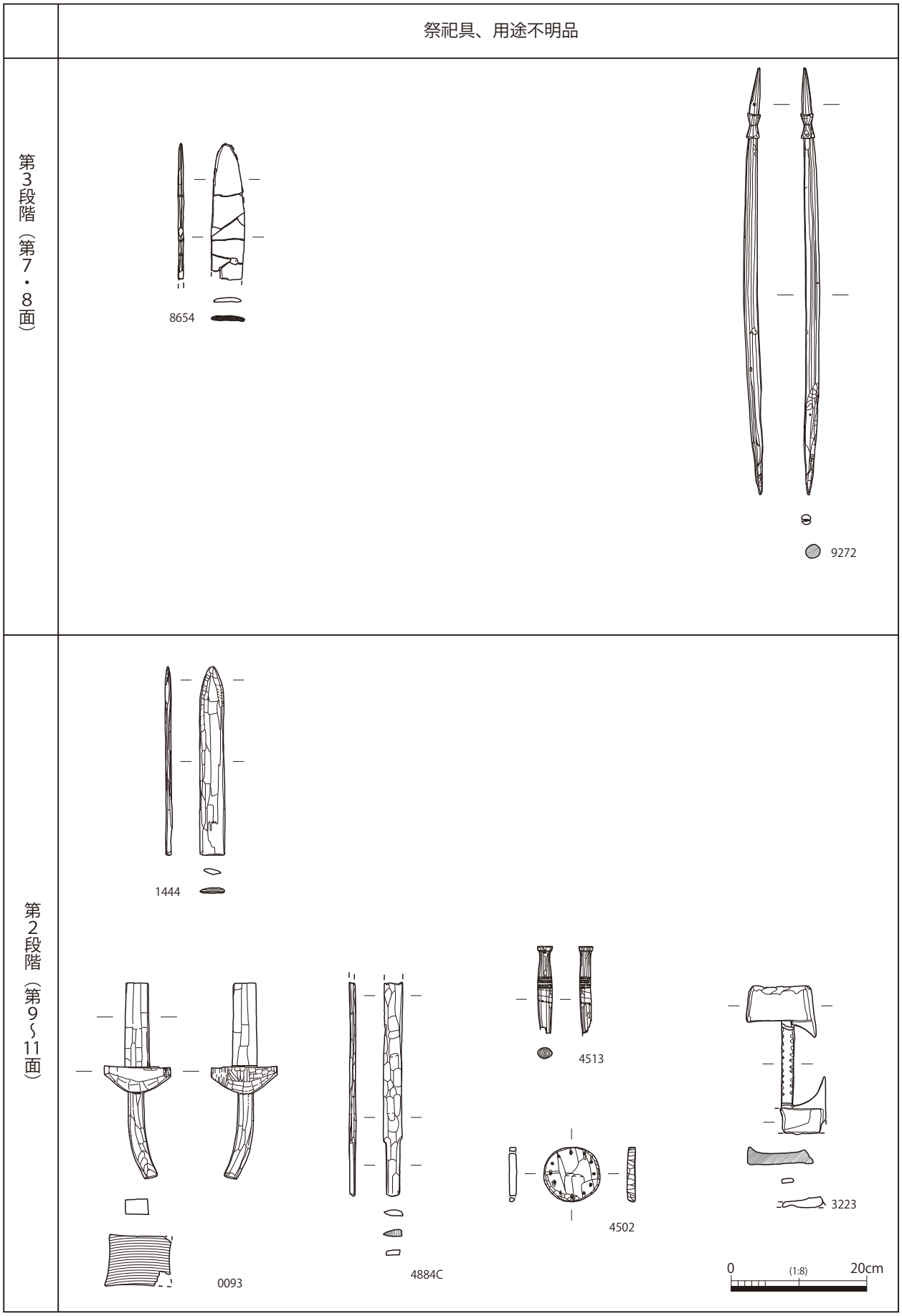
第Ⅶ－３－７図　木器変遷図７



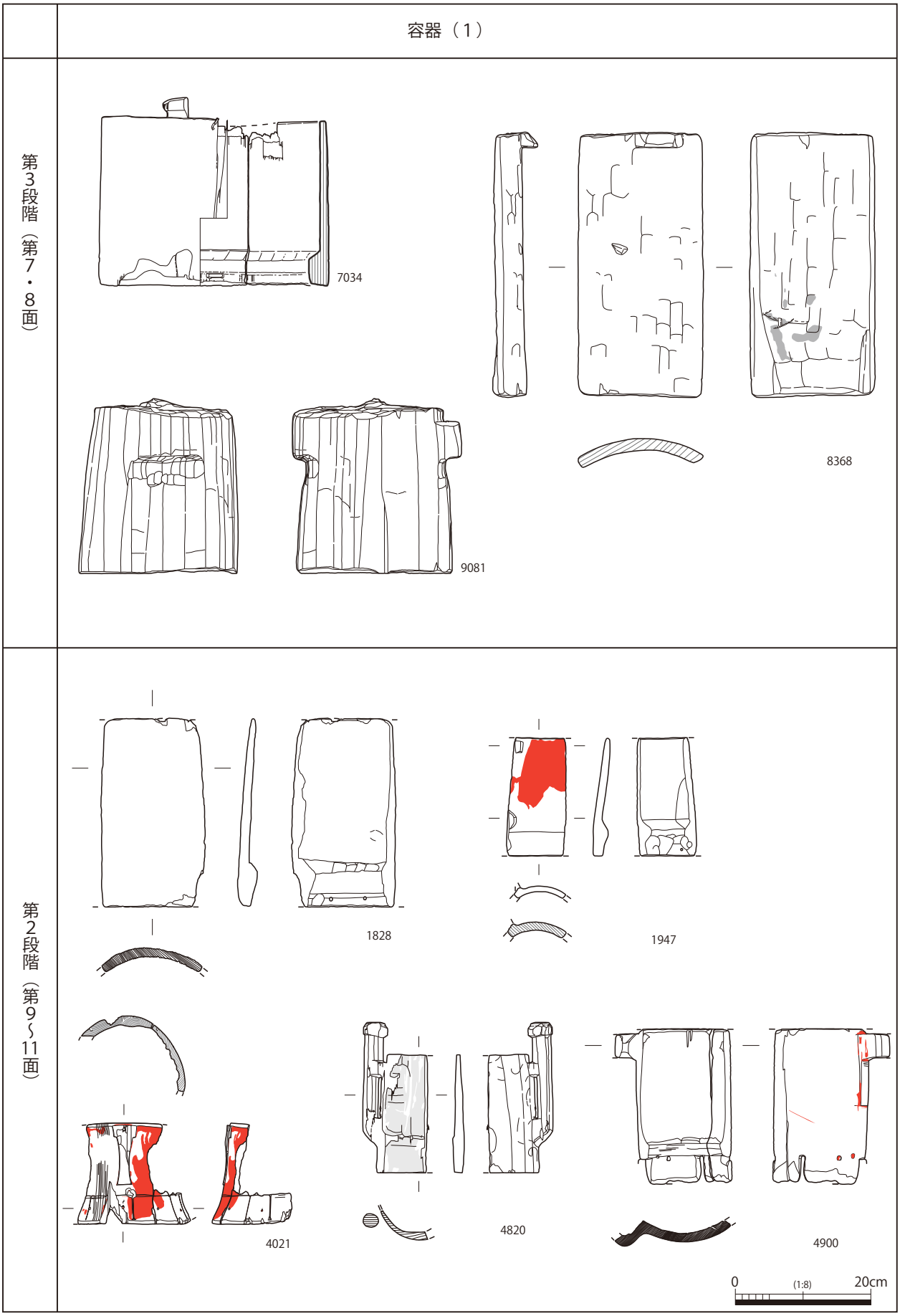
第Ⅶ－３－８図　木器変遷図８



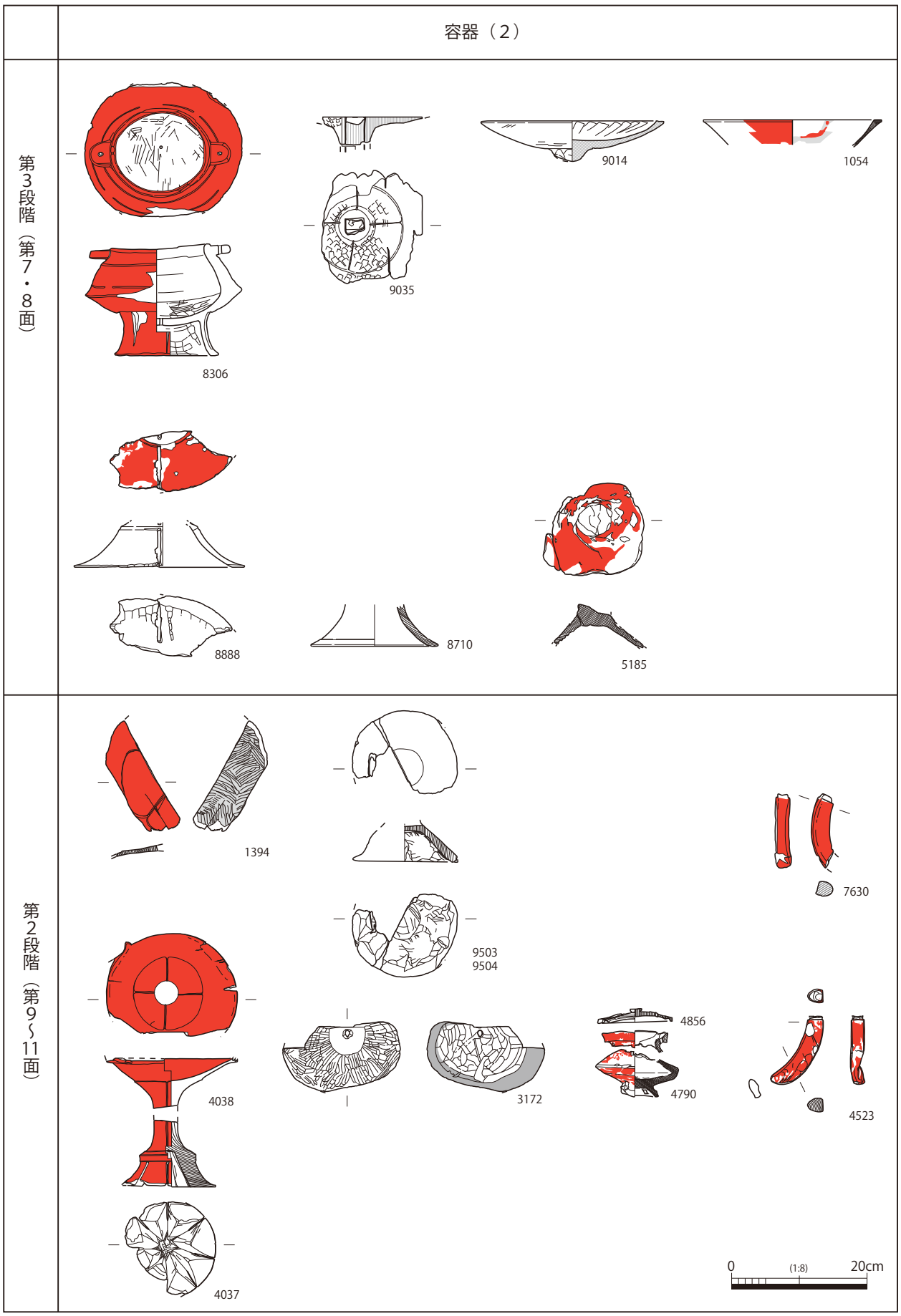
第Ⅶ－３－９図　木器変遷図９



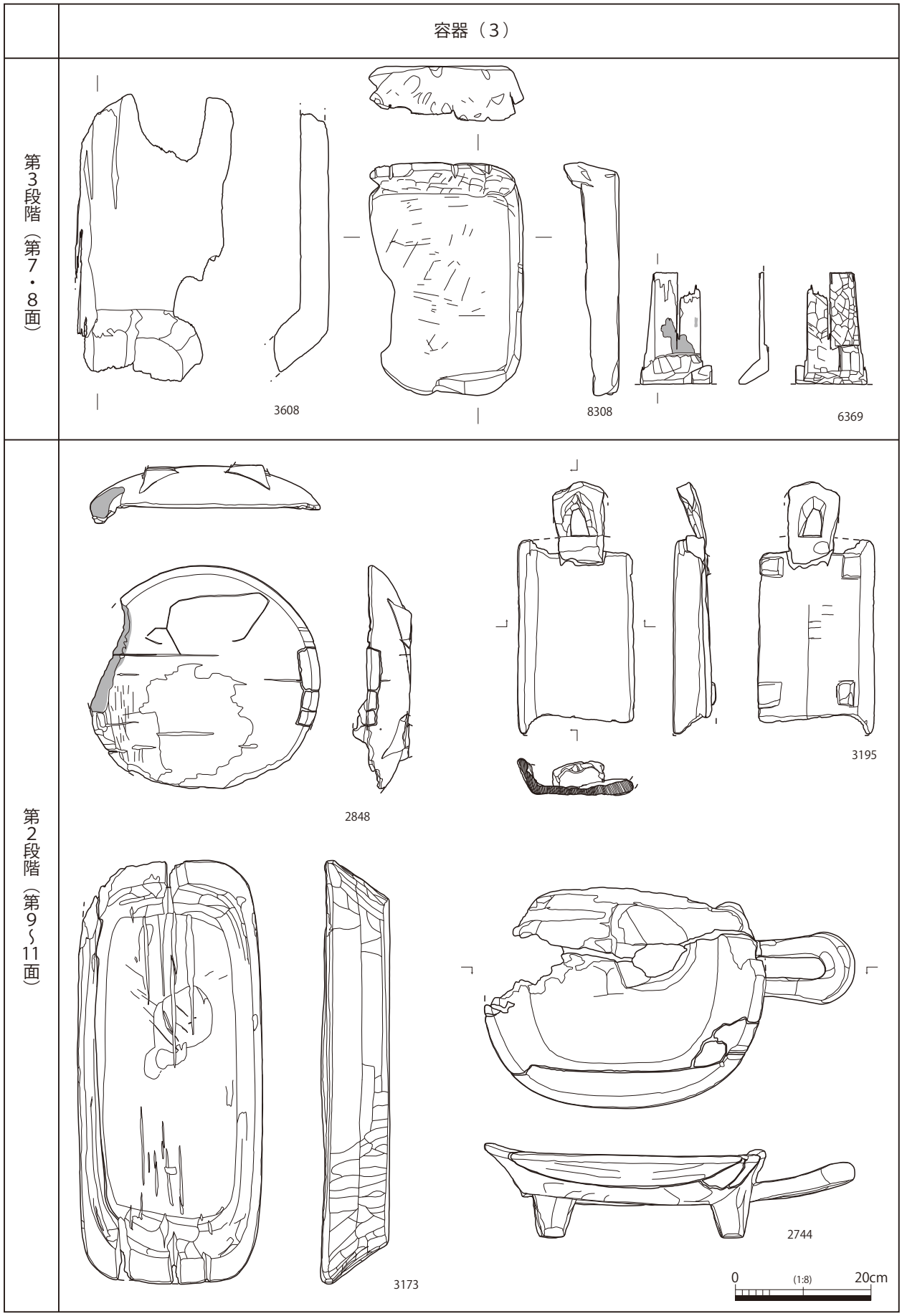
第Ⅶ－３－10図　木器変遷図10



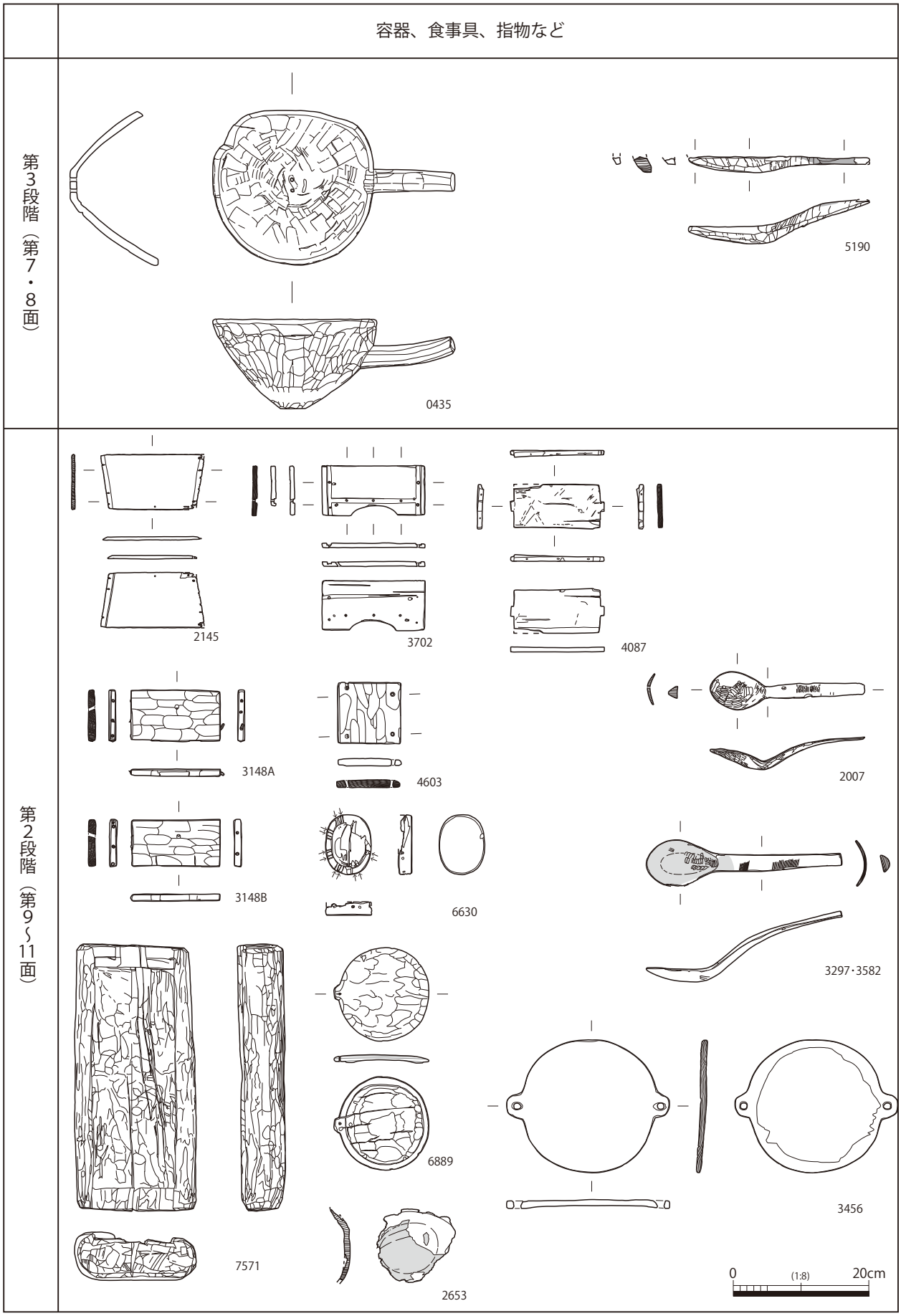
第Ⅶ－３－11図　木器変遷図11



第Ⅶ－３－12図　木器変遷図12



第Ⅶ－３－13図　木器変遷図13



第Ⅶ－３－14図　木器変遷図14

５弁のものがある。脚部は２S-840出土のもので上層から出土した9503・9504(第Ⅶ－３－12図)は内面の加工は荒く、脚裾部は溝で切り離されない。脚裾部の接地面は、三角形ないし五角形に加工しようとしているが、概ね円環状になっている。２S-824出土の高杯(第Ⅶ－３－12図8888)の脚端部接地面も全体に薄く円環状に仕上げられている。9503・9504は粗製のものと考えられるが、層位的な花弁高杯脚部の全体的な変化は、脚裾部接地面の形状が三角形ないし五角形がくずれて円環状へと変化し、厚さは薄くなる方向に変化すると考えられる。また、脚柱部と脚裾部の間の突帯も退化するようで、8888では浅い段として残存するだけである[1)]。脚裾部外形は土器の器台の変化と類似しており、新しくなるにつれて、脚裾部は外湾気味に緩く湾曲しながら広がり、器高が低くなる。こうした型式変化の流れを踏まえて青谷上寺地遺跡出土の資料(野田・茶谷編2005)を見てみると、脚裾部接地面が三角形ないし五角形のものが多く、円環状のものが２点認められる。円環状のものは、乙亥正屋敷廻遺跡のものより厚手で、脚柱部と裾部の間の突帯も明瞭である。青谷上寺地遺跡のものよりも乙亥正屋敷廻遺跡のものの方がより新しい型式のものまで含むと考えられる。

また、他の器種で青谷上寺地遺跡の様相と大きく異なるのは、数は少ないが２S-1030、1066から把手・脚付槽(第Ⅶ－３－13図2744、3195)が出土したことである。乙亥正屋敷廻遺跡の特徴の一つと考えられる。

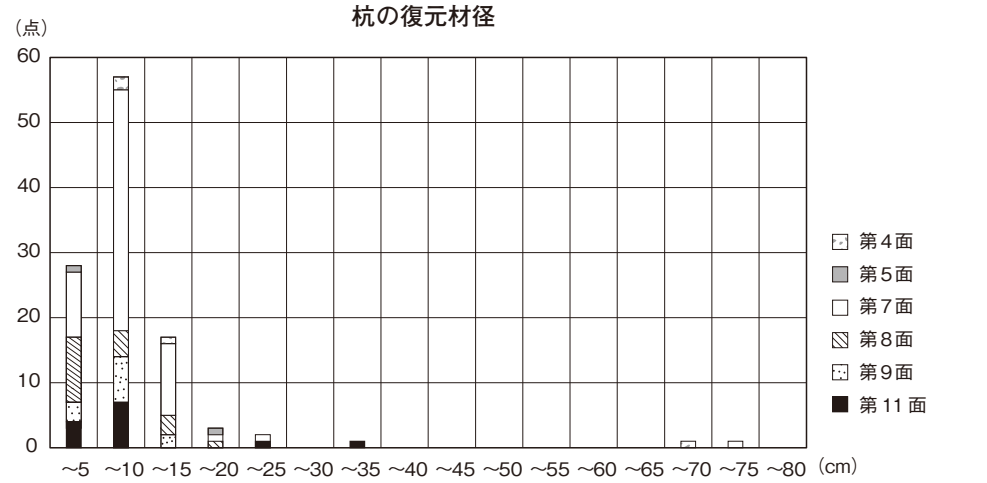
用途不明品

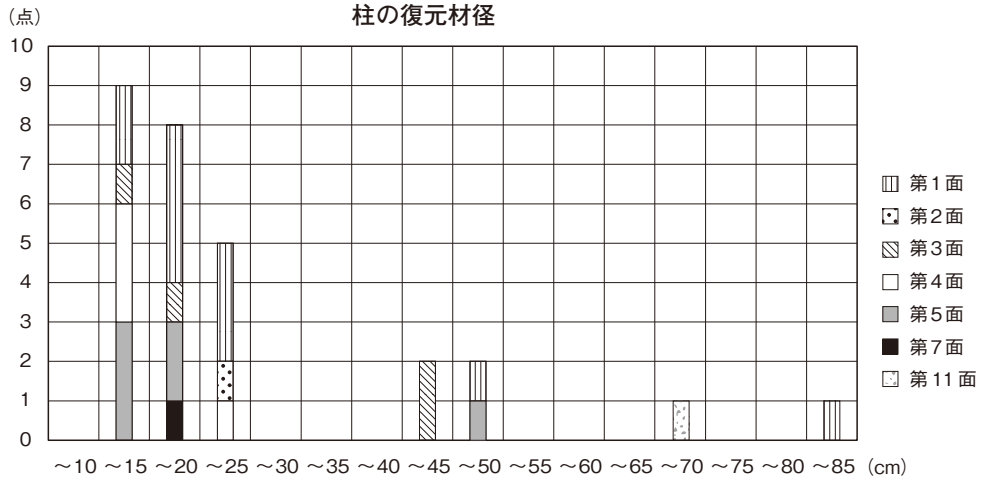
用途不明品で２S-689、730から出土したもの(第Ⅳ－６－51図2936、第Ⅶ－３－２図3221)は、京都府古殿遺跡、滋賀県下長遺跡など日本海沿岸及びその周辺のスギが多く分布する地域に類似品が分布し、近年の調査では湖山池南岸の高住牛輪谷遺跡でも類似品(W68、W75)が出土している。

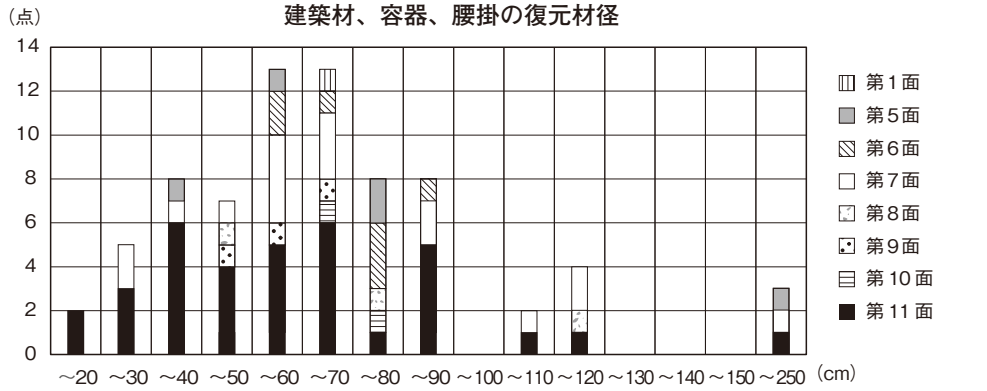
このように、青谷上寺地遺跡を中心とした近隣の遺跡出土の木器と共通した器種・型式のものが多く認められる一方で、直柄又鍬、把手・脚付槽、剣／刀形などのように独自性を示す木器も出土している。また、共通する要素の花弁高杯も青谷上寺地遺跡のものに比べるとやや小型で作りが薄く、より新しい型式の資料を含むと考えられる。また、杯部の形態的特徴は、青谷上寺地遺跡の花弁高杯はいずれも底部から口縁部にかけて見込みの部分が緩やかに湾曲して立ち上がるのに比べて、乙亥正屋敷廻遺跡のものは、見込みの部分の湾曲が弱く全体的に底部から口縁部にかけて直線的に立ち上がっている。また、乙亥正屋敷廻遺跡の花弁装飾は、花弁というよりは溝で扇形に分割したような形状だが、青谷上寺地遺跡や松原田中遺跡のものは溝の幅が花弁の根元から先端に向けてV字状に広くなり、１弁ずつの花弁の独立性が明瞭である。このように、細部において青谷上寺地遺跡などのものとは作りが異なる。花弁高杯の出土量は青谷上寺地遺跡が圧倒的に多いので、青谷上寺地遺跡が花弁高杯の中心的な製作地の可能性は高いが、乙亥正屋敷廻遺跡のものは当遺跡内で製作された可能性が高いと考えられる。

２　材径及び年輪本数の推定

今回の調査では多量の木器が出土し、図化に際してはできる限り年輪の本数と傾きを正確に書くように努めた。このことにより、従来の模式図では難しかった材径と年輪本数の推定を行いうる資料が数は多くないが得られた[2)]。実際の分析に利用できる資料が少なかったのは、年輪は常に同心円状に一定間隔で形成される訳ではないので、非常にうねりが大きいものや、直線的で短いものは径の復元



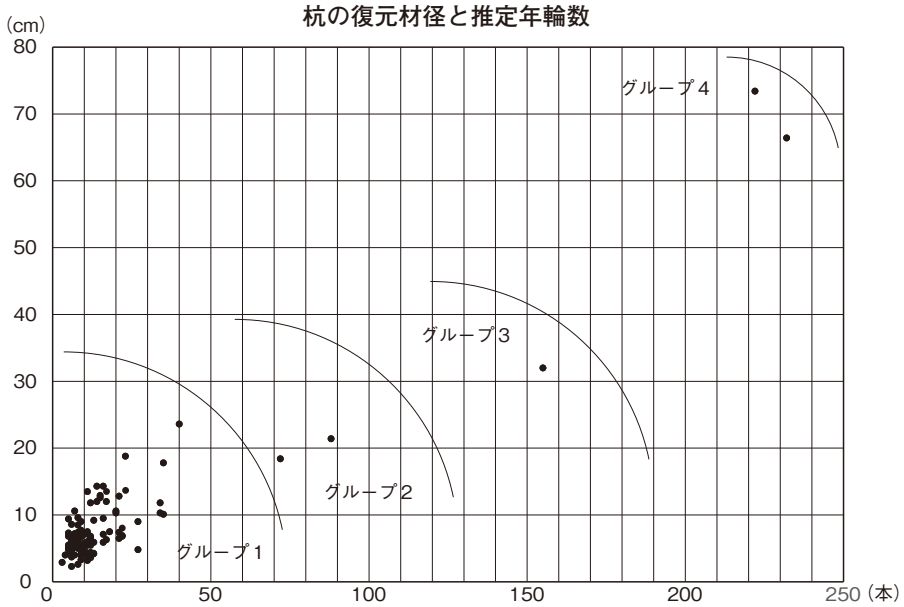


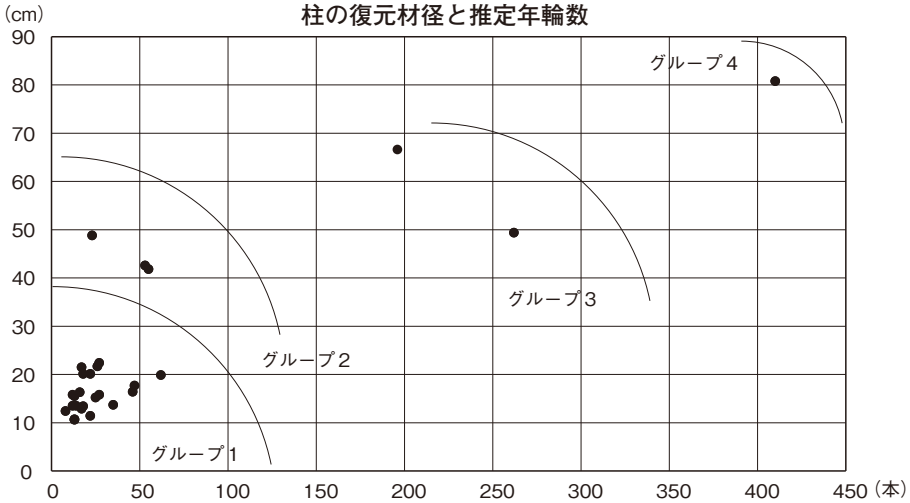


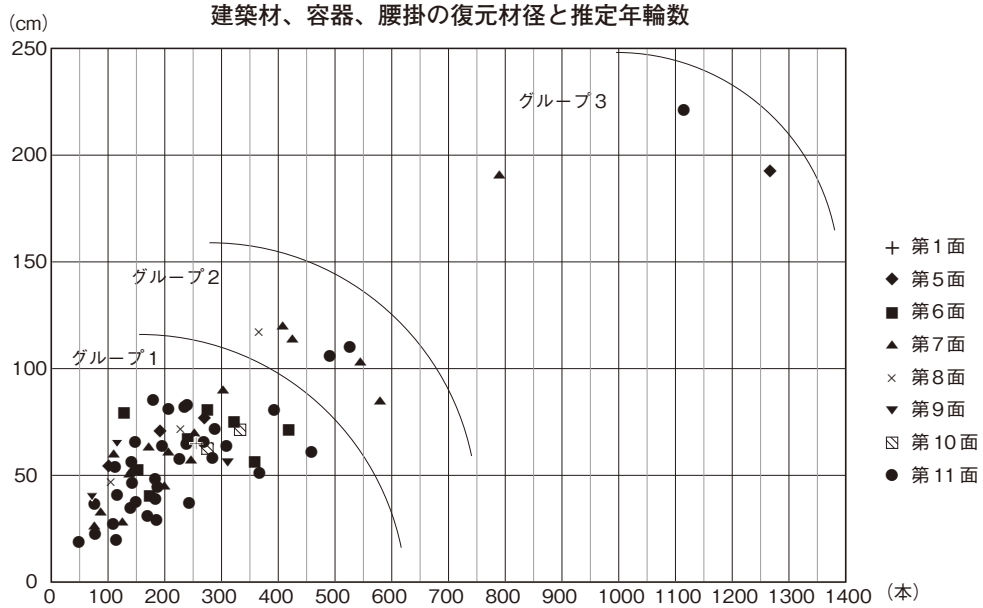
第Ⅶ－３－15図　復元径グラフ

には適さないので除外したからである。結果的に利用できる資料の大半は、板目で、うねりが少ない板材および芯持ち丸太ないし半裁丸太材となった。ただし、今回は試験的に残存径が1/8以下のもので材径復元を試みたものや、年輪数の推定を薄い板材から行ったものがあるので、誤差がかなり大きくなった可能性がある[3)]。以上のような前提条件を念頭に結果を見てみてみたい。

全体的な傾向は、復元径が50ｃｍ未満のものは柱や杭が多く、50ｃｍ以上のものは建築部材と考え







第Ⅶ－３－16図　復元径と推定年輪数グラフ

られる板材が圧倒的に多い(第Ⅶ－３－15図)。50ｃｍ以上の建築部材でも、復元径のより小さい方のものほど、芯に近い部分を利用しており、幅約20ｃｍ以上で長さ約1.5m以上の大型の板材ほど復元径が大きくなり、辺材寄りの部分を利用している。大型の槽や腰掛なども復元径が大きい。復元径の規模が概ね分析した資料の器種と対応するので、杭、柱、建築部材と容器などの３つに分けて資料を提示した。

復元径の小さい杭110点の特徴を見てみると(第Ⅶ－３－15図)、芯持ち丸太材か半裁丸太材は樹皮が残存するものが多く直径約４～10ｃｍのもので、杭として利用する際の大きさとしてはこの程度のものが好まれたと考えられる。なお、分割材はこれらよりも、復元径が大きくなっている。柱は28点あり、芯持材の復元径は10～25ｃｍ程度に集中し、分割材は40ｃｍ以上に分布する(第Ⅶ－３－15図)。杭も柱も分割材を用いる場合は、復元径が大きくなる傾向がある。樹種同定を行った資料はあまりなく、樹種利用の傾向は断定できないが、芯持ち丸太材、半裁丸太材の杭は、樹種同定を行ったが図化できなかった資料(第Ⅴ章第９節参照)も含めてクリ、スダジイ、クワ属、ヤナギ属などの広葉樹が利用されており、居住域近くで入手可能な材が多く利用されたと考えられる。花粉分析の結果(第Ⅴ章第４節参照)でもこれらの広葉樹が検出されている。杭の推定年輪数(第Ⅶ－３－16図)は、10～20本前後のグループ１に特に集中している。枝か幹かはわからないが、直径10～25ｃｍ程度の利用しやすい太さに成長するのにそれぐらいの年数を要したということだろう。柱は、約10～50本のグループ１に集中し、利用する材径の大きさと対応する。

次に、建築部材に容器などを加えた73点について見てみると(第Ⅶ－３－16図)、復元径は60～70ｃｍ程度のものが最も多く、点数は９点と少ないが１ｍを超えるものもある。

復元径と推定年輪数との関係を見てみると(第Ⅶ－３－16図)、大きく３つに分布が分かれる。最も数が多いのは、復元径１ｍ未満、年輪数500本未満のグループ１である。次は、復元径１ｍ前後で年輪数350～600本程度(グループ２)、次が復元径1.9～2.2mで年輪数700～1300本程度(グループ３)である。推定値に誤差はあるとしても、グループ２、３はかなりの大径木だったと考えられる。主に、第11面と第７面の建築部材の板材がこれらのグループに入る。グループ１に入るものも、他のグループよりも芯に近い部分を利用している可能性が高く、復元径は他のグループに近いものが含まれると考えられる。

樹種同定を行ったものは９点あり、建築部材と槽の８点はスギで、脚はクリである。樹種同定をしていない多くの建築部材もおそらくスギなどの針葉樹と考えられる。第７面から第11面といった下層の遺構面から出土したものにこうした大径木が多い傾向があるのは、入植当時には遺跡内あるいは比較的近隣にはこうした針葉樹の大径木が豊富に生育していたためと考えられる。自然科学分析の結果(第Ⅴ章第４節参照)でも、下層から上層にかけてマツ属やスギ属は多産している。このように豊富な木材資源を入手可能な場所だったからこそ居住地として選ばれたと考えられる。どこに居住域を定めるかを検討する際の要素として、木材資源のあり方も重要な要素だったと考えられる。

ところで、６ライントレンチの２S-840下層に相当する層からは多数のカラスザンショウの種実やアカメガシワの種実が出土した。５ライントレンチでは下層からの出土は極少数で、２S-840中層相当層以降徐々に多くなる(第Ⅴ章第６節参照)。このことは、本格的に居住域として開発される以前の乙亥正Ⅰ～Ⅳ期に、先行して居住域としての開発が始まった箇所が部分的に存在し、そうした場所が既に伐開されて二次林が形成されていたと考えられる[4)]。

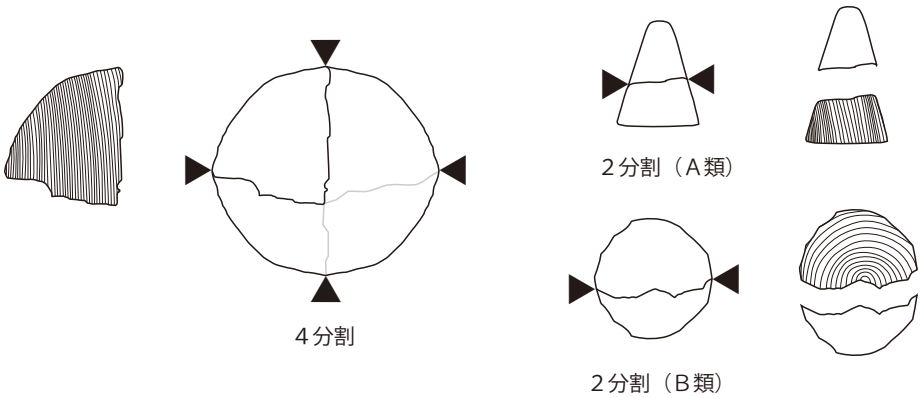
３　大型材の出土状況の検討

以上の分析から、居住域として開発された当初は大径木のスギなどの針葉樹がかなり豊富にあった可能性が考えられるので、遺跡内で時期毎にどのように利用されていたか検討してみたい。分析は、針葉樹と考えられる大型の板材と分割して杭に転用された柱等の建築部材の遺跡内での利用状況を概観する。

初めに杭についてみてみたい。分析の対象としたのは、横断面形が扇形と隅丸台形をしたもので、長さ１ｍ前後の分割材である。図化した位置での年輪数は40～50本のものが多く、それより若干本数が少ないものでも密度はほとんど変わらず緻密である。年輪は短く直線的なものが多いので、材径復元はできないがこれらも本来は大径木から分割製材されたものと考えられる。これらの特徴を有する杭は、第７面から第11面までの溝から出土し、その後は認められない。出土するのは、２S-1046、926、833、245の各溝である。例えば、２S-1046(4170、4171、4809)、926(5095)、833(9412、9433、9434、9436、9437)から出土した杭は横断面扇形のもので、丸みを帯びる部分は平行切削の痕跡が残るが、それを挟む２辺は割肌である。割肌の面は分割面で、丸みを帯びる部分を基に分割前の直径を復元すると約15～18ｃｍのものが多く、10ｃｍ前後のものも若干ある。多くは直径10数ｃｍの円形の柱材を４分割して杭に転用したものと考えられる(第Ⅶ－３－17図)。また、２S-833と245には横断面形が隅丸台形をしたものがある。例えば２S-245の2998、2996、2999や２S-833の9440、9435である。２S-833のものは、全面に加工痕が残っており分割されずにそそのまま利用されているが、２S-245のものは隅丸台形部分の上辺と底辺の真ん中あたりで分割されて利用されており、分割面が割肌のままである(第Ⅶ－３－17図A類)。2998、2996、2999などが上辺側で、2700は底辺側の材と考えられる。これらの材は樹種同定を行っていないが、針葉樹と考えられる。このように、柱などの建築部材を４分割ないし２分割して利用する例が多く見られる一方、これらの転用された材が分割前の状態でそのまま出土した例はほとんど無い。２S-833の杭も、長さは短くなっているので、分割は行われている。

分割利用の方法には、他にも横断面円形の直径10ｃｍ程の材を２分割するもの(第Ⅶ－３－17図Ｂ類)もあるが、多くは芯持ちの丸太材で大径木ではないと考えられるものである。こうした転用事例は、溝の護岸に限らず、礎板でも認められる。例えば、２S-315(第６面)では槽を分割して礎板に転用している。

次に、大型の板材について検討する。大型の板材は、欠損などもあるので厳密ではないがおよそ長



第Ⅶ－３－17図　柱等の分割パターン

さ２ｍ以上、幅20ｃｍ以上のものを主に対象とした。第４面から第11面まで出土する。第４面、第５面で図化したのは包含層ないし落ち込み（２S-730）から出土した３点（第Ⅳ－５－９図、第Ⅳ－６－10、62図）だけだが、それら以外にはほとんど出土しなかった。第６面には、２S-790という構造物があり（第Ⅳ－７－37図）、１～１ｍ50ｃｍ程度の材が利用されている。大型の板材は２区南西部の包含層から若干出土しただけである。第７面から第11面では、溝の護岸材として大型の板材が数多く出土している。２S-245（第Ⅳ－８－85～91図8450、8456、1416、2225、1415、1417、8451、1667、1423）、２S-904（Ⅳ－９－55図3812）、２S-1143（第Ⅳ－10－60図4100、4099）、２S-1057（第Ⅳ－12－77図3887）、２S-1249（第Ⅳ－12－40図3973）、２S-1256と1271（第Ⅳ－12－42図4052、4185）からは方孔、欠き込みを伴う建築部材の転用例が多数ある。第８面の３S-70（第Ⅳ－９－19図7193）、第11面の２S-840（第Ⅳ－12－139～143図3630、4374、4891、3629、4892、4377、4636、4527、4528、4788、4845）は転用されることなく、廃棄されている。これらの板材は、概ね長い材は長いままで転用、廃棄されたと考えられ、第５面の２S-761や第６面の掘建柱建物で壁材や床材などの板材を分割して礎板に転用する場合のように、長さを短くして転用する例はあまり見られない。

以上のように、居住開始当初は、廃棄されるものも少なからずあるが、その後は積極的に転用されており、廃棄と転用（第11面）から積極的な転用（第７～10面）へと移行し、その後（第６面以降）は転用される場合もあるが、ほとんど廃棄もされなくなるという流れがある。全体的な大型材の出土量を考慮すると、第11面から第７面までの間は、豊富に入手できる大径木が時間とともに減少するとはいえ、未だに大径木を利用可能な環境は残存しており、不足分あるいは転用材で用をなす部分は転用材で賄うという木材利用を想定できる。一方、第６面以降は、大型材だけでなく全体的に出土する木器の種類と量が大幅に減少し、赤彩された精製品の激減もほぼ同時期に進行しており、針葉樹の大径木だけでなく、広葉樹でも有用な材の入手が難しくなっていったと考えられる。

４　製作工具について

今回の調査では、集落の最盛期にあたる乙亥正Ⅴ～Ⅹ期に確実に伴う鉄器は非常に少なく、その中で器種が明らかなものは、１区のS-８段状遺構出土の釣り針（第Ⅲ－５－153図Ｆ487）、２区の中央側溝内で出土した袋状鉄斧１点（第Ⅳ－13－10図F0509）だけである。その一方で、木器は非常に精巧な容器類から建築部材まで多様なものが、質・量ともに豊富に出土した。それらは、製品だけでなく、匙の未製品や桶の未製品、鍬の未製品、鉄斧の柄なども含まれる。鉄器以外の工具としては、石製の伐採斧や加工斧が12点ある。ただし、加工斧と考えられるのは扁平片刃石斧１点（第Ⅳ－６－７図S5862）と柱状片刃石斧１点（第Ⅳ－13－６図S1681）だけで、他は伐採斧と考えられる。加工具の少なさは鉄器と状況は変わらない。

この状況からいくつかの可能性を検証してみたい。一つ目は、遺跡内での作業は、木の伐採や分割など石製工具や木器の楔などで対応可能な工程に限定され、それ以外の木器の加工は、他の集落に依存していたので、そもそも鉄器をほとんど保有しなかった。二つ目は、鉄器は非常に大切に利用、管理されており、集落廃絶時まで使い続けて、次の集落へと持ち出した。三つ目は、乙亥正屋敷廻遺跡の近くに居住域とは別に工房域があり、製作や廃棄の大半はそこで行われた。複雑な状況を考えれば他にも可能性は考えられるが、あまり意味はないだろう。可能性として一番高いのは、二つ目と三つ目と考えられる。一つ目の可能性は、未製品の出土例や、出土量から考えて他の集落に依存するには

あまりにも多すぎると考えられる。一部には他の集落から入手したものもあるかもしれないが、遺跡内あるいはその近傍で製作しなかったとは考えられない。

鉄器は、ほとんど廃棄されることなく大切に使い続けられていたとすると、鉄器の供給量はそれほど豊富ではなかったと考えられるが、乙亥正屋敷廻遺跡と同様に多量の木器が出土した青谷上寺地遺跡で鉄器が多量に出土したのとは、対照的なあり方を示している。仮に工房域が別にあったとすれば、青谷上寺地遺跡のような状況を想定できるのかもしれない。

いずれにしても、鉄器はほとんど出土しなかっただけでなく、鍛冶関連遺構や遺物は全く無かったので、鉄器そのものは外部からの供給に依存していたのは間違いない。湖山池南岸の桂見地区において、乙亥正屋敷廻遺跡とほぼ同時期の集落のあり方を検討した際には、複数の遺跡間での役割分担を想定し、鉄器は湖山池に面した交易に利便性の高い遺跡からの供給を想定したことがある（馬路2014）。浜村地域の調査事例が蓄積すれば、いずれはこうした鉄器の問題についてもより深い検討が可能になると考えられる。

註

１）青谷横木遺跡P10区出土のW1487は、ケヤキ製のもので脚端部は欠損するが、類似品の可能性が高い。

２）こうした分析は樋上昇（樋上2012）などで積極的に行われている。

３）今回は年代測定を行ったものはないが、年代測定を併用することでより信頼性を高めることができると考えられる。ただし、本遺跡の資料は整理作業の過程で、実測対象となった資料は防腐剤とPEG（10％）の入った水に入れていたため、それらが年代測定に影響する可能性があるし、既に保存処理を実施したものもある。

４）丘陵尾根の先端部には、乙亥正Ⅳ期と考えられる重山１号墓が築造されており、尾根上での伐開も一部では行われていたと考えられる。

参考文献

上原真人編1993『木器集成図録近畿原始篇（解説）』奈良国立文化財研究所

君嶋俊行編2012『青谷上寺地遺跡出土調査研究報告８　木製農工具・漁労具』鳥取県埋蔵文化財センター

野田真弓、茶谷満編2005『青谷上寺地遺跡出土調査研究報告１　木製容器・かご』鳥取県埋蔵文化財センター

樋上昇2012「Ⅳ　木製品をめぐる応用研究」『出土木製品の保存と対応』135-161頁　同成社

馬路晃祥2014「第Ⅵ章　総括」馬路、奥村他編『東桂見遺跡』193-205頁

掲載番号（取上No.）	挿図番号	遺構面	遺構名 層位名	法量(cm) 最大長 最大幅 最大厚	樹種	木取り	年輪（本）	推定年輪（本以上）	復元最大径（cm以上）
1872	Ⅳ-5-50	第４面	2S-637 底面	△53.1 10.2 6.0		芯去材	39	232	66.4
4630	Ⅳ-5-59	第４面	2S-180 埋土中	△21.2 5.1 4.9		芯持材（丸太材）	5	5	5.1
4700	Ⅳ-5-59	第４面	2S-180 埋土中	△33.0 △10.4 △8.8		芯持材（丸太材）	5	5	9.4
4505	Ⅳ-5-59	第４面	2S-180 埋土中	△16.6 8.3 4..4		芯去材（樹皮付半裁丸太材）	4	12	11.8
5782 8382	Ⅳ-6-39	第５面	2S-754 −	74.9 9.7 4.3		芯持材（樹皮付丸太材）	10	10	4.5
5008	Ⅳ-6-88	第５面	2S-999 底面	△25.0 8.1 4.0		板目	9	23	18.8
4974	Ⅳ-8-52	第７面	2S-245 埋土中	△8.5 5.5 5.1		芯持材（樹皮付丸太材）	5	5	5.5
9553	Ⅳ-8-100	第７面	2S-764 −	△64.6 9.0 4.5		芯去材	27	27	9.0
9601	Ⅳ-8-100	第７面	2S-764 −	△55.2 10.1 5.7		芯去材（半裁丸太材）	35	35	10.1
4786	Ⅳ-8-100	第７面	2S-764 埋土中	△59.5 10.3 7.0		芯去材（半裁丸太材）	34	34	10.3
9621	Ⅳ-8-130	第７面	2S-763 −	△28.0 6.9 65		芯持材（丸太材）	22	22	6.9
9533	Ⅳ-8-132	第７面	2S-763 −	△41.5 11.0 3.8		芯去材（分割材）	26	88	21.4
9590	Ⅳ-8-132	第７面	2S-763 −	△71.0 11.6 2.2		板目	21	222	73.4
7852	Ⅳ-8-133	第７面	2S-763 下層	58.4 7.0 5.3		芯去材（樹皮付半裁丸太）	7	7	7.0
9684	Ⅳ-8-133	第７面	2S-763 −	△39.1 7.2 2.6		芯去材（丸太材）	9	20	10.6
9688	Ⅳ-8-133	第７面	2S-763 −	△69.1 10.6 5.6		芯去材（半裁丸太材）	7	7	10.6
9641	Ⅳ-8-136	第７面	2S-763 −	△70.7 5.5 5.5		芯持材（樹皮付丸太材）	7	7	5.5
9608	Ⅳ-8-136	第07面	2S-763 −	△69.1 5.7 4.2		芯持材	6	6	5.7
9623	Ⅳ-8-136	第７面	2S-763 −	67.1 6.8 6.3		芯持材（樹皮付丸太材）	5	5	6.8
6566	Ⅳ-8-136	第７面	2S-763 埋土中	△85.5 7.1 6.4		芯持材（樹皮付丸太材）	10	10	7.1
9615	Ⅳ-8-136	第７面	2S-763 −	△76.0 9.2 5.0		芯持材（樹皮付丸太材）	13	13	9.2
9658	Ⅳ-8-137	第７面	2S-763 −	△52.4 4.4 3.5		芯持材（樹皮付丸太材）	12	12	4.4
9644	Ⅳ-8-137	第７面	2S-763 −	△55.0 5.2 5.0		芯持材（樹皮付丸太材）	5	5	5.2
9650	Ⅳ-8-137	第７面	2S-763 −	71.3 5.1 4.3		芯持材（樹皮付丸太材）	12	12	5.9
9686	Ⅳ-8-137	第７面	2S-763 −	△61.7 5.5 5.9		芯持材（丸太材）	16	16	5.9
9687	Ⅳ-8-137	第７面	2S-763 −	△47.5 6.8 6.2		芯持材（丸太材）	12	12	6.8
9606	Ⅳ-8-137	第７面	2S-763 −	△58.0 7.4 6.0		芯持材（樹皮付丸太材）	8	8	7.4
9371 9372	Ⅳ-8-138	第７面	2S-763 −	△27.5 3.3 2.7		芯持材（丸太材）	9	9	3.3
6227	Ⅳ-8-138	第７面	2S-763 埋土中	△18.3 3.9 △4.0		芯持材（丸太材）	11	11	4.0
9537	Ⅳ-8-138	第７面	2S-763 −	△16.5 △3.9 4.1		芯持材（丸太材）	9	9	4.1
9678	Ⅳ-8-138	第７面	2S-763 −	△44.4 42 3.2		芯持材（樹皮付丸太）	10	10	4.2
9605	Ⅳ-8-138	第７面	2S-763 −	△58.8 4.6 4.0		芯持材（丸太材）	6	6	4.6
7256	Ⅳ-8-138	第７面	2S-763 埋土中	△17.9 5.1 3.7		芯持材（丸太材）	6	6	5.1
9692	Ⅳ-8-138	第７面	2S-763 −	△50.0 5.6 4.2		芯持材（樹皮付丸太材）	9	9	5.6
9685	Ⅳ-8-138	第７面	2S-763 −	△42.5 8.1 7.9		芯持材（樹皮付丸太材）	17	17	6.3
9600	Ⅳ-8-138	第７面	2S-0763 −	△34.0 7.3 6.3		芯持材（樹皮付丸太材）	5	5	7.3
9640	Ⅳ-8-138	第７面	2S-763 −	△33.9 9.6 7.3		芯持材（丸太材）	8	8	9.6
9636	Ⅳ-8-138	第７面	2S-763 −	△45.4 14.3 11.8		芯持材（丸太材）	16	16	14.3
8798	Ⅳ-8-52	第７面	2S-245 埋土中	△15.3 △5.9 △4.8		芯持材（樹皮付丸太材）	13	13	5.9
8997	Ⅳ-8-52	第７面	2S-245 埋土中	△27.6 7.15 3.5		芯去材（半裁丸太材）	11	11	7.2
8701	Ⅳ-8-52	第７面	2S-245 埋土中	△20.7 7.6 △6.3		芯持材（樹皮付丸太材）	9	9	7.6
5867	Ⅳ-8-52	第７面	2S-245 埋土中	△15.0 △5.15 △2.2		芯去材（分割材）	8	35	17.8
8582	Ⅳ-8-53	第７面	2S-245 埋土中	△32.6 6.6 5.6		芯持材（半裁丸太材）	12	12	6.6
8581	Ⅳ-8-53	第７面	2S-245 埋土中	△31.7 6.6 6.0		芯持材（樹皮付丸太材）	7	7	6.6
8702	Ⅳ-8-53	第７面	2S-245 埋土中	20.0 5.8 6.75		芯持材	9	9	6.8
8596	Ⅳ-8-53	第７面	2S-245 埋土中	△36.2 7.2 6.6		芯持材（樹皮付丸太材）	8	8	7.2
8577	Ⅳ-8-53	第７面	2S-245 埋土中	△30.65 8.0 4.1		芯去材（樹皮付半裁丸太材）	8	8	8.5
8599	Ⅳ-8-53	第７面	2S-245 埋土中	△32.8 7.75 8.6		芯持材（丸太材）	6	6	8.6
3257	Ⅳ-8-54	第７面	2S-245 −	△31.6 2.8 2.3	スダジイ	芯持材	8	8	2.6
8694	Ⅳ-8-54	第７面	2S-245 埋土中	△26.3 7.1 6.3		芯持材（丸太材）	16	16	7.1
8788	Ⅳ-8-54	第７面	2S-245 埋土中	△32.5 7.1 7.5		芯持材（樹皮付丸太材）	18	18	7.5
8785	Ⅳ-8-54	第７面	2S-245 埋土中	△23.4 △7.5 △7.5		芯持材（樹皮付丸太材）	11	11	7.5
8578	Ⅳ-8-55	第７面	2S-245 埋土中	△29.8 11.8 6.0		芯去材（半裁丸太材）	34	34	11.8
8592	Ⅳ-8-55	第７面	2S-245 埋土中	△38.3 12.0 7.05		芯去材（半裁丸太材）	17	17	12.0
8579	Ⅳ-8-56	第７面	2S-245 埋土中	△42.9 6.2 6.0		芯持材（樹皮付丸太材）	8	8	6.2
8574	Ⅳ-8-56	第７面	2S-245 埋土中	△45.6 7.2 5.2		芯持材（樹皮付丸太材）	7	7	7.2
8526	Ⅳ-8-56	第７面	2S-245 埋土中	△41.0 △13.5 △7.5		芯去材（半裁丸太材）	11	11	13.5
8595	Ⅳ-8-57	第７面	2S-245 埋土中	△38.0 9.5 9.1		芯持材（丸太材）	16	16	9.5
3262	Ⅳ-8-58	第７面	2S-245 −	△36.5 3.2 2.9		芯持材（丸太材）	11	11	3.2
8696	Ⅳ-8-58	第７面	2S-245 埋土中	△33.1 △11.8 △7.2		芯去材（半裁丸太材）	15	15	12.9
8593	Ⅳ-8-59	第７面	2S-245 埋土中	△42.5 12.8 7.35		芯持材（半裁丸太材）	21	21	12.8
8676	Ⅳ-8-59	第７面	2S-245 埋土中	△37.1 14.3 7.5		芯去材（半裁丸太材）	14	14	14.3
3565	Ⅳ-8-62	第７面	2S-245 −	△42.1 4.1 4.2		芯持材（樹皮付丸太材）	13	13	4.2
3264	Ⅳ-8-62	第７面	2S-245 −	△54.5 4.8 3.6		芯持材（丸太材）	10	10	4.8
9095	Ⅳ-8-99	第７面	2S-764 −	△38.0 5.2 5.5		芯持材（丸太材）	8	8	5.5
9096	Ⅳ-8-99	第７面	2S-764 −	△48.8 8.1 5.8		芯持材（丸太材）	8	8	7.3
9573	Ⅳ-8-99	第７面	2S-764 −	△25.1 9.0 8.1		芯持材（丸太材）	9	9	9.0
5107	Ⅳ-9-37	第８面	2S-1141 −	△36.15 5.0 5.0		芯持材（丸太材）	6	6	4.2
5103	Ⅳ-9-38	第８面	2S-1141 −	△70.2 9.7 4.9		芯持材（半裁丸太材）	27	27	4.8
3612	Ⅳ-9-38	第８面	2S-1141 −	△17.7 △5.7 △5.6		芯持材（丸太材）	11	11	6.0
9721	Ⅳ-9-57	第８面	2S-830 −	80.5 9.8 6.7		芯去材（半裁丸太材）	14	14	12.0
9722	Ⅳ-9-57	第８面	2S-830 −	△85.5 8.5 4.6		芯去材（半裁丸太材）	11	15	12.6

第Ⅶ－３－１表　杭の復元径、年輪数データ１

掲載番号(取上No.)	挿図番号	遺構面	遺構名層位名	法量(cm)最大長最大幅最大厚	樹種	木取り	年輪(本)	推定年輪(本以上)	復元最大径(cm以上)
5052	Ⅳ-9-61	第８面	2S-916 －	51.4 3.9 3.8		芯持材(丸太材)	11	11	3.9
4997	Ⅳ-9-61	第８面	2S-916 －	△44.5 4.3 4.1		芯持材(樹皮付丸太材)	9	9	4.0
4999	Ⅳ-9-61	第８面	2S-916 －	△44.8 5.1 4.5		芯持材(樹皮付丸太材)	5	5	4.8
5000	Ⅳ-9-61	第８面	2S-916 －	△40.6 4.7 4.8		芯持材(樹皮付丸太材)	4		4.8
5099	Ⅳ-9-61	第８面	2S-916 －	△44.4 5.5 5.1		芯持材(樹皮付丸太材)	6	6	5.0
5055	Ⅳ-9-61	第８面	2S-916 －	△38.0 4.0 1.8		芯去材(分割材)	15	72	18.4
2905	Ⅳ-9-63	第８面	2S-901 －	△21.7 5.2 4.1		芯持材(丸太材)	6	6	4.9
2174	Ⅳ-9-71	第８面	2S-927 杭1・2・3トレンチ	△57.6 10.3 9.5		芯持材(丸太材)	20	20	10.3
4831	Ⅳ-9-72	第８面	2S-927 －	△14.9 △4.0 △3.5		芯持材(丸太材)	11	11	4.0
2393	Ⅳ-9-72	第８面	2S-927 －	△23.5 5.3 5.8		芯持材(樹皮付丸太材)	6	6	6.4
2392	Ⅳ-9-73	第８面	2S-927 －	△32.4 5.7 4.7		芯持材(樹皮付丸太材)	4	4	4.0
2176	Ⅳ-9-73	第８面	2S-927 杭1・2・3トレンチ	△46.4 8.2 5.8		芯持材(丸太材)	6	6	4.8
4992	Ⅳ-9-73	第８面	2S-927 －	△60.0 7.3 4.9		芯持材(丸太材)	10	10	5.4
7476	Ⅳ-10-6	第９面	－ Ⅶ層	△20.4 4.05 4.0		芯持材(樹皮付丸太材)	12	13	4.4
5025	Ⅳ-10-56	第９面	2S-856 －	△16.6 3.7 3.6		芯持材(丸太材)	12	12	3.7
5020	Ⅳ-10-56	第９面	2S-856 －	△31.5 10.3 9.3		芯持材	23	23	13.7
5118	Ⅳ-10-56	第９面	2S-856 －	△21.8 5.9 6.4		芯持材(樹皮付丸太材)	6	6	6.4
5022	Ⅳ-10-56	第９面	2S-856 －	△20.4 5.1 2.9		芯持材(丸太材)	11	11	5.1
5041	Ⅳ-10-56	第９面	2S-856 －	△24.0 3.95 4.0		芯持材(丸太材)	7	7	4
5111	Ⅳ-10-56	第９面	2S-856 －	△21.0 5.4 5.6		芯持材(樹皮付丸太材)	7	7	6
4131	Ⅳ-10-59	第９面	2S-1143 －	△48.5 6.0 4.3		芯去材(樹皮付半裁丸太材)	6	6	6.0
4981	Ⅳ-10-59	第９面	2S-1143 －	△51.0 5.9 5.0		芯持材(樹皮付丸太材)	10	10	5.9
4121	Ⅳ-10-59	第９面	2S-1143 －	74.9 5.4 2.7	クリ	芯去材(半裁丸太材)	12	12	5.4
7670	Ⅳ-10-70	第９面	3S-115 埋土中	△24.4 11.6 7.3		芯去材(樹皮付半裁丸太)	17	17	13.5
7614	Ⅳ-10-70	第９面	3S-115 埋土中	△26.8 8.0 7.2		芯持材(丸太材)	22	22	8.0
3975	Ⅳ-12-149	第11面	2S-840 －	87.8 6.6 3.7		芯去材(分割材)	34	155	32.0
2810	Ⅳ-12-150	第11面	2S-840 中層	△55.6 7.7 5.2		芯持材(丸太材)	9	9	7.7
4793	Ⅳ-12-151	第11面	2S-840 中層	△107.6 6.5 5.9		芯持材(樹皮付丸太材)	21	21	6.5
4794	Ⅳ-12-151	第11面	2S-840 中層	89.0 6.8 5.6		芯持材(樹皮付丸太材)	22	22	6.8
4795	Ⅳ-12-151	第11面	2S-840 中層	△106.6 7.4 7.1		芯持材(樹皮付丸太材)	21	21	7.4
4113	Ⅳ-12-16	第11面	2S-1147 －	△17.9 2.0 2.3		芯持材(樹皮付丸太材)	6	6	2.3
4115	Ⅳ-12-16	第11面	2S-1147 －	△18.3 2.9 2.2		芯持材(樹皮付丸太材)	3	3	2.9
4112	Ⅳ-12-16	第11面	2S-1147 －	△37.7 3.7 3.0		芯持材(樹皮付丸太材)	6	6	3.7
4118	Ⅳ-12-16	第11面	2S-1147 －	△43.4 5.7 5.5		芯持材(樹皮付丸太材)	6	6	5.7
5171	Ⅳ-12-35	第11面	2S-1248 －	△57.8 5.0 3.8		芯持材(樹皮付丸太材)	8	8	5.0
4976	Ⅳ-12-40	第11面	2S-1255 －	△21.2 4.6 4.9		芯持材(丸太材)	9	9	4.9
4887	Ⅳ-12-40	第11面	2S-1271 －	△28.6 △6.7 △3.7		芯持材(丸太材)	9	9	6.7
3984	Ⅳ-12-41	第11面	2S-1253 －	43.2 △7.6 2.2		芯去材(板目)	4	40	23.6

第Ⅶ－３－１表　杭の復元径、年輪数データ２

掲載番号(取上No.)	挿図番号	遺構面	遺構名層位名	法量(cm)最大長最大幅最大厚	樹種	木取り	年輪(本)	推定年輪(本以上)	復元最大径(cm以上)
2251	Ⅳ-2-19	第１面	2S-75 埋土中	△72.05 15.7 15.65		芯去材(分割材)	128	410	80.8
2782	Ⅳ-2-19	第１面	2S-72 埋土中	52.9 16.75 16.1		芯持材	13	13	15.5
7962	Ⅳ-2-20	第１面	2S-343 埋土中	△35.3 21.3 22.5		芯持材	17	17	21.5
4093	Ⅳ-2-20	第１面	2S-45 埋土中	△22.7 20.8 10.0		芯持材	17	27	22.4
7374	Ⅳ-2-20	第１面	2S-361 埋土中	△26.9 14.1 13.5		芯持材	21以上	23	48.8
7396	Ⅳ-2-21	第１面	3S-62 埋土中	△40.6 18.0 17.4		芯持材	47	47	17.7
0895	Ⅳ-2-21	第１面	2S-376 埋土中	△52.5 17.2 16.2		芯持材	22	22	20.1
0894	Ⅳ-2-22	第１面	2S-576 埋土中	△72.8 16.15 13.25		芯持材	18	18	13.4
7395	Ⅳ-2-22	第１面	3S-72 埋土中	△59.5 21.5 19.7		芯持材	62	62	19.9
9544	Ⅳ-2-26	第１面	2S-842 埋土中	△41.2 15.8 14.7		芯持材	27	27	15.8
0741	Ⅳ-2-33	第１面	2S-479 埋土中	△25.7 10.4 7.1		芯持材(分割材)	13	13	10.7
3385	Ⅳ-3-6	第２面	2S-104 埋土中	△29.0 17.2 16.2		芯持材	26	26	21.7
4269	Ⅳ-4-6	第３面	2S-155 埋土中	△20.0 10.55 10.1		芯持材	13	13	10.6
4268	Ⅳ-4-6	第３面	2S-152 埋土中	△22.4 16.8 16.0		芯持材	46	46	16.4
7436	Ⅳ-4-6	第３面	2S-321 埋土中	△27.7 14.5 15.4		芯持材(分割材)	42	55	41.8
7435	Ⅳ-4-6	第３面	2S-319 埋土中	△26.6 9.0 7.5		芯持材	38	53	42.6
7192	Ⅳ-5-17	第４面	2S-318 埋土中	△44.7 11.4 10.8		芯持材	22	22	11.4
8311	Ⅳ-5-17	第４面	2S-193 埋土中	△10.85 13.55 10.75		芯持材	12	12	13.5
7498	Ⅳ-5-17	第４面	2S-344 埋土中	△25.85 16.55 10.6		芯持材(分割材)	18	18	20.1
4701	Ⅳ-5-59	第４面	2S-180 埋土中	△16.95 12.4 9.4		芯持材(丸太材)	8	8	12.4
7202	Ⅳ-6-18	第５面	2S-291 埋土中	△51.0 12.3 12.9		芯持材	17	17	12.9
6997	Ⅳ-6-18	第５面	2S-289 埋土中	△38.55 15.8 14.0		芯持材	12	12	15.8

第Ⅶ－３－２表　柱の復元径、年輪数データ１

掲載番号（取上No.）	挿図番号	遺構面	遺構名層位名	法量(cm)最大長 最大幅 最大厚	樹種	木取り	年輪（本）	推定年輪（本以上）	復元最大径（cm以上）
6567	Ⅳ-6-19	第５面	2S-705 埋土中	△44.6 13.1 13.5		芯持材	14	14	13.5
6377	Ⅳ-6-19	第５面	2S-705 埋土中	62.2 14.7 12.6		芯持材	35	35	13.7
3280	Ⅳ-6-19	第５面	2S-704 埋土中	△75.4 15.2 14.0		芯持材	25	25	15.2
4096	Ⅳ-6-20	第５面	3S-10 埋土中	△24.9 17.3 8.9		板目	90	262	49.4
8996	Ⅳ-8-82	第７面	2S-245 埋土中	△37.2 16.3 16.2		芯持材	16	16	16.3
5122	Ⅳ-12-22	第11面	2S-1269 –	△57.1 17.7 12.9		芯去材	72	192	66.8

第Ⅶ－３－２表　柱の復元径、年輪数データ２

掲載番号（取上No.）	挿図番号	遺構面	遺構名層位名	器種	法量（cm）最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底径	樹種	木取り	年輪数（本）	推定年輪数（本以上）	復元最大径（cm以上）
2829	Ⅳ-2-40	第１面	2S-733 埋土中	槽	43.0 24.4 4.6		横木取	88	255	65.0
3223	Ⅳ-6-62	第５面	2S-730 底面	建築部材	△191.8 △24.1 1.5		板目	33	1267	192.6
3230	Ⅳ-6-62	第５面	2S-730 底面	不明 （板状品）	40.9 21.7 4.7		追柾目	67	270	77.4
4105	Ⅳ-6-87	第５面	3S-39 埋土上層	建築部材	△71.7 15.7 2.8		板目	14	192	71.0
7871	Ⅳ-6-32	第５面	2S-347 埋土中	梯子	△21.6 22.0 8.6		板目	38	102	54.2
1060	Ⅳ-6-86	第５面	2S-999	桶	△28.4 17.1 3.1		追柾目	62	175	39.8
7905	Ⅳ-7-30	第６面	2S-315 堀方埋土	礎板	52.1 13.3 3.8		板目	27	277	80.4
7986	Ⅳ-7-32	第６面	2S-315 堀方埋土	礎板	41.5 22.1 4.5		板目	25	129	79.6
4393	Ⅳ-6-22	第６面	2S-761 埋土中	不明	54.2 △31.0 △1.9		板目	53	323	74.8
8304	Ⅳ-7-30	第６面	2S-313 堀方埋土	礎板	63.2 △10.2 3.0		板目	43	419	71.6
7566	Ⅳ-7-31	第６面	2S-316 堀方埋土	礎板	81.5 28.05 7.0		板目	96	241	66.2
7900	Ⅳ-7-29	第６面	2S-266 堀方埋土	礎板	67.0 16.3 4.2		板目	79	360	56.0
7540	Ⅳ-7-32	第６面	2S-315 掘方埋土	礎板	43.4 23.0 3.65		板目	18	150	52.0
8137	Ⅳ-8-89	第７面	2S-245 埋土中	建築部材	261.3 △19. 1 2.7		板目	18	790	190.6
2225	Ⅳ-8-88	第７面	2S-245 –	建築部材	193.1 24.6 3.9		柾目	32	408	119.8
1417	Ⅳ-8-90	第７面	2S-245 掘方埋土	建築部材	274.9 36.6 2.4		板目	34	425	113.4
1489	Ⅳ-8-85	第７面	2S-245 –	建築部材	△158.2 △20.3 2.3		板目	26	546	103.0
7980	Ⅳ-8-88	第７面	2S-245 埋土中	建築部材	△211.2 20.3 3.0		板目	45	303	89.4
8896	Ⅳ-8-83	第７面	2S-245 埋土中	建築部材	108.8 12.7 △3.5		板目	41	580	84.6
8459	Ⅳ-8-84	第７面	2S-245 埋土中	建築部材	108.8 19.92 1.85		柾目	36	253	69.8
8381	Ⅳ-8-98	第７面	2S-764 –	建築部材	151.2 △19.5 1.7		板目	17	172	63.2
8794	Ⅳ-8-88	第７面	2S-245 埋土中	建築部材	△225.0 △10.9 1.7		板目	18	207	60.6
1570	Ⅳ-8-67	第７面	2S-245 –	建築部材	△88.7 15.8 5.0		芯去材 （分割材）	26	111	59.6
1667	Ⅳ-8-91	第７面	2S-245 –	建築部材	300.7 43.1 1.7		柾目	40	247	57.0
7629	Ⅳ-8-142	第７面	2S-763 底面	不明	26.5 17.3 13.3		板目	89	143	52.4
1149	Ⅳ-8-82	第７面	2S-245 掘方 埋土中	建築部材	52.8 20.6 3.8		追柾目	50	138	50.6
8147 8149	Ⅳ-8-84	第７面	2S-245 埋土中	建築部材	135.7 20.05 1.8		板目	43	199	44.8
8457 (1/2)	Ⅳ-8-86	第７面	2S-245 埋土中	建築部材	159.1 △21.1 2.1		柾目	48	87	32.6
5282	Ⅳ-8-83	第７面	2S-245 埋土中	建築部材	62.0 9.0 1.3		柾目	22	125	27.8

第Ⅶ－３－３表　建築部材・容器等の復元径、年輪数データ１

掲載番号 (取上No.)	挿図番号	遺構面	遺構名 層位名	器種	法量(ｃｍ) 最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底径	樹種	木取り	年輪数 (本)	推定 年輪数 (本以上)	復元 最大径 (ｃｍ以上)
8456	Ⅳ-8-86	第７面	2S-245 埋土中	建築部材	177.9 △19.6 3.2		柾目	37	75	26.0
3716	Ⅳ-9-72	第８面	2S-927 –	建築部材	156.9 △13.6 1.0		板目	8	366	117.4
3608	Ⅳ-9-37	第８面	2S-1141 –	槽	△42.4 △22.1 7.2		横木取	61	228	71.8
3065	Ⅳ-9-61	第８面	2S-916 –	建築部材	155.7 △19.3 2.2		追柾目	44	105	46.8
4100	Ⅳ-10-60	第９面	2S-1143 –	建築部材	△219.3 24.5 4.2	スギ	板目	15	118	65.4
2181	Ⅳ-10- 6	第９面	– 第Ⅶ層	不明 (板状品)	31.9 13.3 2.6		板目	22	312	56.1
4099	Ⅳ-10-60	第９面	2S-1143 –	建築部材	△213.7 22.8 4.0	スギ	板目	10	71.4	40.8
3586	Ⅳ-11-48	第10面	2S-1079 上層	建築部材	△64.9 11.9 1.1		板目	11	333	71.6
3826	Ⅳ-11-48	第10面	2S-1079 下層	蓋？ (未製品？)	29.7 20.6 1.8	スギ	板目	17	275	62.4
4788	Ⅳ-12-143	第11面	2S-840 中層	建築部材	△238.9 35.3 2.1		板目	33	1116	220.6
4850	Ⅳ-12-133	第11面	2S-840 中層	建築部材	66.8 23.5 1.3	スギ	板目	32	525	115.5
3630	Ⅳ-12-139	第11面	2S-840 中層	建築部材	178.5 20.7 2.0		板目	40	491	106
3173	Ⅳ-12-121	第11面	2S-840 中層	槽	62.6 27.4 10.3	スギ	横木取	56	180	85.2
5096B	Ⅳ-12-133	第11面	2S-840 中層	建築部材	△28.3 18.8 5.1		追柾目	76	239	83.0
3973	Ⅳ-12-40	第11面	2S-1249 –	建築部材	△176.2 21.9 1.6		板目	11	236	82.4
2744	Ⅳ-12-51	第11面	2S-1030 b 埋土中	盤	△54.7 △32.6 9.4	スギ	横木取	53	208	81.8
3965	Ⅳ-12-31	第11面	2S-1046 –	建築部材	△96.7 15.6 1.6		板目	15	393	80.4
3513	Ⅳ-12-138	第11面	2S-840 中層	建築部材	△89.4 9.8 2.1		板目	15	288	71.4
2807	Ⅳ-12-31	第11面	2S-1046 –	建築部材	100.6 △17.3 1.6		板目	10	148	65.8
3190	Ⅳ-12-141	第11面	2S-840 中層	建築部材	△139.1 14.7 4.4		板目	37	269	65.6
4401	Ⅳ-12-144	第11面	2S-840 中層	建築部材	△308.3 14.4 6.1	スギ	板目	47	187	44.6
2801 3907	Ⅳ-12-126	第11面	2S-840 中層	腰掛	41.7 25.3 1.7	スギ	横木取	89	239	64.6
4814	Ⅳ-12-138	第11面	2S-840 中層	建築部材	△123.5 17.1 1.3		板目	20	309	63.8
3882	Ⅳ-12-18	第11面	2S-1239 –	建築部材	123.0 24.3 1.7		追柾目	41	195	63.6
2947	Ⅳ-12-144	第11面	2S-840 中層	建築部材	△145.6 17.3 4.0		板目	59	459	61
4528	Ⅳ-12-142	第11面	2S-840 中層	建築部材	△298.5 30.8 2.9		板目	27	284	58.8
4892	Ⅳ-12-140	第11面	2S-840 中層	建築部材	△157.3 26.6 1.6		板目	43	225	58.0
4786	Ⅳ-12-136	第11面	2S-840 中層	不明 (板状品)	61.5 22.2 1.7		板目	23	143	56
4923	Ⅳ-12-131	第11面	2S-840 中層	不明 (板状品)	△75.6 △26.7 3.5		板目	18	111	53.8
4938	Ⅳ-12-133	第11面	2S-840 中層	建築部材	60.5 13.0 4.3		板目	58	368	51.4
4202	Ⅳ-12-78	第11面	2S-1057 A-A'断面 9層	板	102.2 24.7 2.5		板目	22	182	48.8
4791	Ⅳ-12-134	第11面	2S-840 中層	建築部材	△120.3 10.0 2.2		板目	12	142	46.4
4781	Ⅳ-12-57	第11面	2S-1264 –	不明 (板状品)	△102.7 25.5 2.3		板目	41	117	40.6
4522	Ⅳ-12-134	第11面	2S-840 中層	建築部材	△89.1 7.8 2.0		板目	22	184	38.8
3618	Ⅳ-12- 5	第11面	– 第Ⅹ層	脚	△20.4 16.6 4.7		芯去材	64	149	37.4
4636	Ⅳ-12-142	第11面	2S-840 中層	建築部材	△264.0 17.8 2.3		板目	23	244	37.2

第Ⅶ－３－３表　建築部材・容器等の復元径、年輪数データ２

掲載番号（取上No.）	挿図番号	遺構面	遺構名 層位名	器種	法量（ｃｍ） 最大長/口径 最大幅/器高 最大厚/底径	樹種	木取り	年輪数（本）	推定年輪数（本以上）	復元最大径（ｃｍ以上）
3803A	Ⅳ-12-150	第11面	2S-840 中層	建築部材	△85.8 8.3 4.5		芯去材 （分割材）	17	76	36.4
3883	Ⅳ-12-18	第11面	2S-1147 溝１a	建築部材	131.0 17.4 1.9		追柾目	45	140	35.2
4914	Ⅳ-12-136	第11面	2S-840 中層	建築部材	140.4 15.0 2.0		板目	43	170	30.6
3056	Ⅳ-12-31	第11面	2S-1046 –	桶	△6.3 △10.0 2.3		縦木取	33	183	29.4
4902	Ⅳ-12-126	第11面	2S-840 中層	脚	26.7 6.5 4.2	クリ	芯去材	25	109	26.8
9500	Ⅳ-12-131	第11面	2S-840 –	不明	△51.0 20.4 7.0		芯持材	85	77	22.8
4893	Ⅳ-12-136	第11面	2S-840 中層	建築部材	△130.9 7.4 2.7		板目	33	114	19.8
4858	Ⅳ-12-132	第11面	2S-840 中層	不明	24.3 △8.2 2.7		板目	18	48	18.6

第Ⅶ－３－３表　建築部材・容器等の復元径、年輪数データ３

第４節　段状遺構の構造と出土建築部材の検討

今回の調査では、弥生時代後期から古墳時代前期の建物遺構として、竪穴住居、掘立柱建物、段状遺構が検出されている。少数の竪穴住居や掘立柱建物とともに短期間で繰り返し建て替えられる段状遺構が多く検出されたことは、本遺跡の集落構造を考える上で重要な要素である。また、遺構内外を含めて多量の建築部材が出土しており、建物構造を検討する面でも多くの情報を提供している。竪穴住居の構造については、第２節で触れられているので、本節ではまず段状遺構についてその構造を分析し、次に出土した建築部材から推定される建物構造について検討を行う。

１　段状遺構の構造

１区を中心に80基（古墳時代後期以降の遺構を除く）を超える段状遺構が検出されている。段状遺構とは、斜面を断面L字状に掘削し平坦面を造成した遺構を広く呼称したものであり、概ね下記ａ～ｄ類に整理される。

a）細長い加工段に柱穴が列状に伴うもの。壁溝のあるものとないものがある。（S-982ほか）

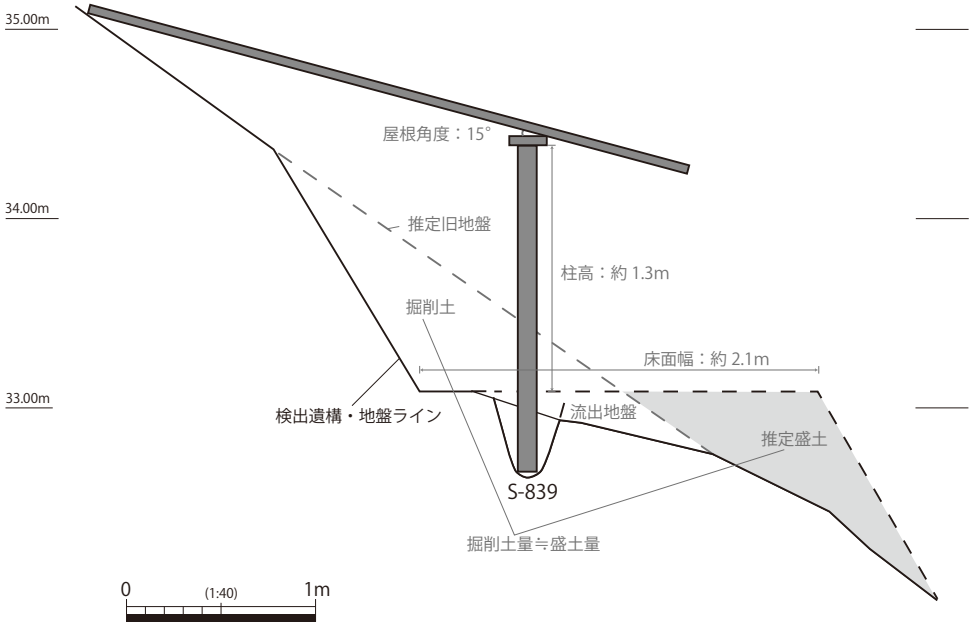
b）ａと同じ加工段だが、柱穴を伴わないもの。壁溝はあるものないものがある。（S-916、974ほか）

c）建物設置のための加工段とみられるもの。（S-648掘立柱建物の周辺加工段ほか）

d）貯蔵穴設置のための加工段とみられるもの。（S-864、875等貯蔵穴周辺、S-852下層）

ｃ類、ｄ類は新しい遺構による削平等で残存しないが、貯蔵穴や掘立柱建物の位置・形状・周囲の地形からその存在が推定できるものである。ａ類には断片的に残る竪穴住居との区別が難しいものがあり、ｂ類には削平や誤認により検出できなかった柱穴の存在や竪穴住居背面周壁部にしばしばみられる段などの可能性を考慮する必要があり、同じ類型であっても機能は一様ではないとみられる。こうした状況を認識の上で、ａ類のうち竪穴住居とは異なる構造、機能が推定される段状遺構の構造について以下で検討する。

検討素材はS-982段状遺構である。これは、壁面や床面がほぼ地山で遺構の誤認や取りこぼしが少



第Ⅶ－４－１図　段状遺構（S-982）の構造（横断面図）

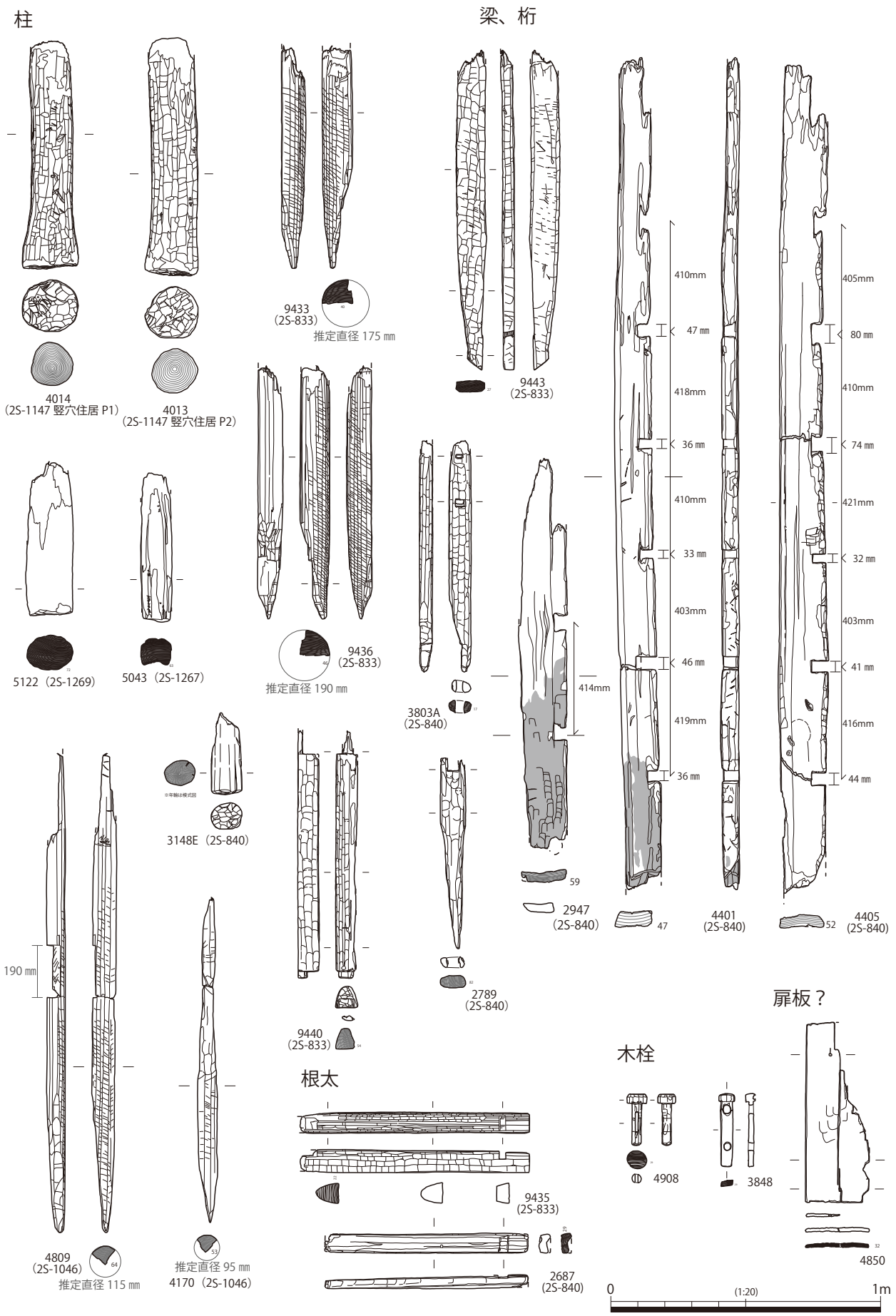
なく、加工段と柱穴との共伴関係をある程度推定できるからである。まず、床面の長軸方向は５ｍ～６ｍと推測され、床面の幅は現状で0.64mが残存する。壁溝はない。柱穴は４本が列状に確認される。加えて35度程度の急峻な斜面地でもあり、斜面下方に大規模な盛土は想定し難いことから、この遺構は竪穴住居とは考え難い。

柱間は、0.9～1.2m、柱穴の径からみて直径10ｃｍ～15ｃｍ程度の柱と推定される。背面の壁には垂木尻を設置する段はみられず、屋根の垂木尻は斜面上方の掘方外側に位置すると推定される。斜面上方側の雨仕舞を考えると、片流れの屋根構造が考えられ、柱上部に横架した桁に斜面上方からの垂木を乗せたと推定される。この状態では梁行方向の固定が脆弱のため、壁面と柱・桁の間や斜面下方側を補強していたかもしれないが、いずれにしても根入れの浅さもあり強固な架構は推定し難い。仮に屋根角度15度程度、内部で人が座位状態で作業できる空間高を考慮し床面からの柱高を1.3m程度であったと仮定すると、第Ⅶ－４－１図のようになる。床面幅は現状が最大0.64mだが、段の掘削土で斜面側を盛土したとすれば、その発生土量からみて幅約2.1m程度が限度とみられ、斜面の等高線に沿う細長い構造物であったと考えられる。脆弱な架構や、急峻な斜面上方からの流水の処理には苦慮したことであろうが、段状遺構が短期間で繰り返し建て替えが行われた背景にはこうした建物の立地や構造が大きく影響していたと考えられる。

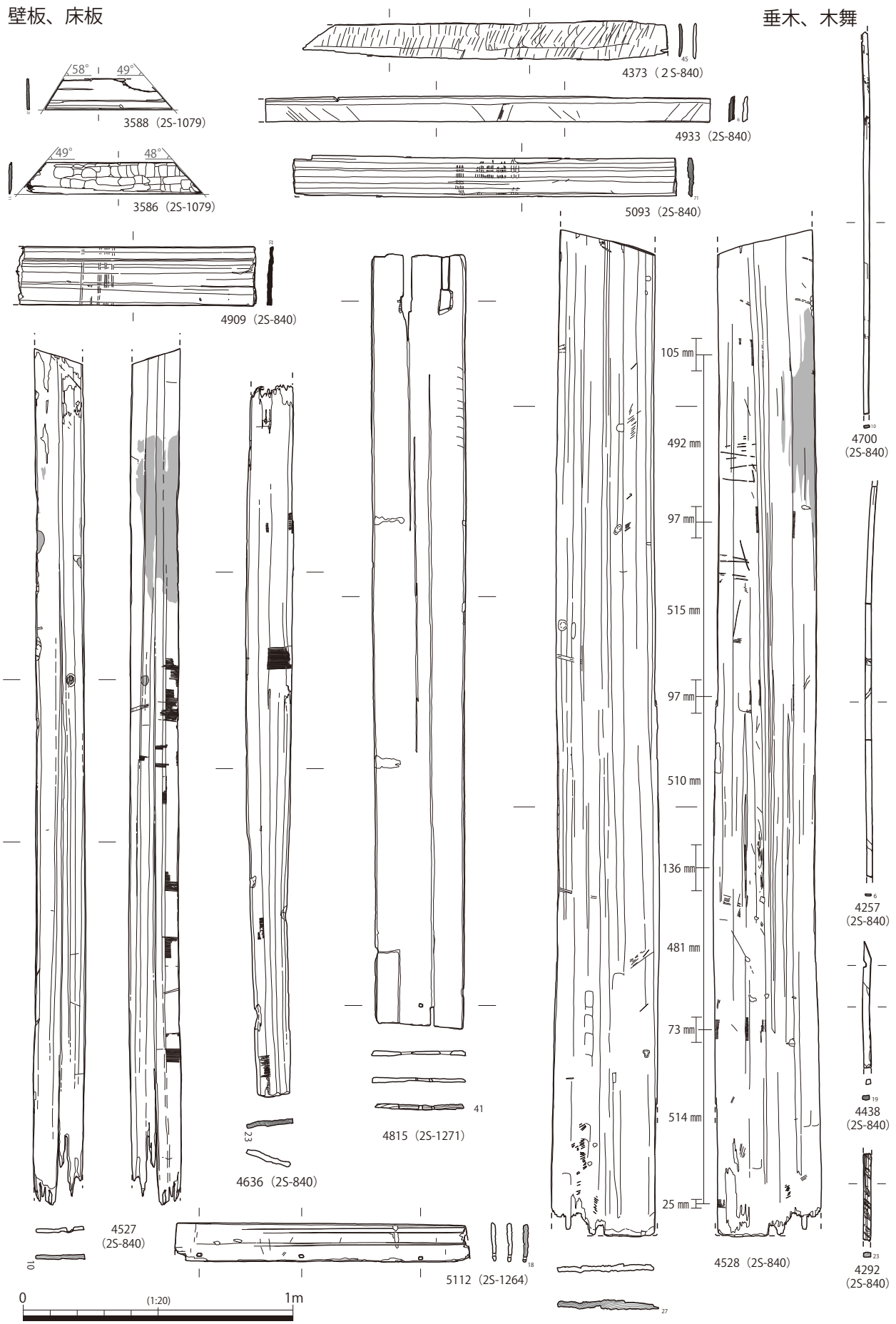
また、段状遺構の機能を推定する上で考慮すべきなのは、地床炉が少ないことである。焼土面が検出された遺構は２基（S-582、916）のみであり、床面の削平や流出を考慮したとしても竪穴住居と比較するとかなり少ない。本遺跡の居住域では、未調査地を含めると一時期に数棟から10棟程度の竪穴住居の存在が推定されることから、ａ類の段状遺構にはこうした居住機能とは別に、生活に必要な物品・資材の保管、加工作業を行う簡易家屋としての機能も含まれていたと考えておきたい。

２　出土建築部材の分析

第１～11面各面から主に弥生時代後期から古墳時代にわたる建築部材が出土した。本節では、比較的まとまって出土した、第10、11面検出遺構出土遺物と、第７～９面検出遺構出土遺物の二段階に分



第Ⅶ－４－２図　第10、11面出土の建築部材１



第Ⅶ－４－３図　第10、11面出土の建築部材２

けてまずは分析し、次に両時期を俯瞰する中でどのような建物構造が考えうるのかを検討する。なお、断片的な部材や用途不明の部材は検討から除外している。

（１）第10面、11面出土建築部材

検討する部材は、主に竪穴住居（２S-1147）の柱、溝（２S-833、1046）の護岸施設に転用された部材、谷（２S-840）に投棄された部材である。推定される部位ごとに記述する。部材の樹種は、記載した一部を除いて針葉樹とみられるものである。主に乙亥正Ⅴ～Ⅵ期頃の部材とみられる。

柱　芯持ちの丸太材と芯去の分割材がある。断面形状は円形のものが多いが、楕円形、方形の可能性のあるもの、束柱には断面山形のものもある。直径17～19ｃｍ程度の比較的太い柱と、直径９～12ｃｍ程度の細い柱がある。

4013・4014は竪穴住居（２S-1147）の柱穴に残る柱である。下端部での直径が19～21ｃｍのクスノキの芯持ち材で、全面を丁寧に手斧加工する。9433、9436は、溝（２S-833）の護岸杭に転用された柱である。断面扇形のうち円弧以外の二辺は割肌状をなすことから、本来円柱であったものを転用に際して３～４分割したと考えられる。芯去の分割材を断面円形となるよう加工したもので、直径は17～19ｃｍ程度と比較的太い柱である。9436の下方に残る仕口は貫通孔とみられる。4809、4170も溝（２S-1046）の杭に転用された柱である。２S-833と同様に円柱状の柱を３～４分割したものと考えられるが、より細い直径９～11.5ｃｍ程度の柱である。また、4809には、長さ約19ｃｍの貫穴が確認できる。5122、5043は、建物跡（２S-1269、1267）の柱穴に残る柱である。腐朽しているが、5122は断面楕円形（17.7×12.9ｃｍ）、5043は方形状（11.7×9.7ｃｍ）を呈する。3148Eは、谷（２S-840）から出土したもので、断面楕円形（11.4×9.3ｃｍ）の芯去材である。

9440は、断面山形を呈し上端を輪薙込、下端を枘仕口とする。垂直荷重を受ける束柱とみられる。

梁、桁、大引　断面長方形の部材で、厚さ４～５ｃｍ程度で長い部材は梁、桁と考えられる。仕口を持たない9443は棟木や大引の可能性もある。桁とほぼ特定できるのは、谷（２S-840）から出土した4401、4405、2947である。幅14.4～18.5ｃｍ、厚さ5.2～6.1ｃｍ、片側のみほぼ等間隔で欠込があり、この欠込に垂木が組み合わされていたと考えられる。欠込の幅は、3.3～4.4ｃｍのものが多く、最大8.0ｃｍ、間隔は40～42ｃｍであることから、直径または一辺が４ｃｍ程度の垂木が40ｃｍ程度の間隔で組まれていたことが分かる。9443は溝（２S-833）の杭、3803A、2789は、谷（２S-840）から出土したもので、いずれも幅8.3～10.8ｃｍ、厚さ4.5ｃｍ程度のものである。梁、桁、棟木などの可能性もある。3803Aは２か所に枘穴があり水平構造材とみられる。2879は端部に輪薙込か枘穴を施す。輪薙込であれば束柱、枘穴であれば梁であろうか。

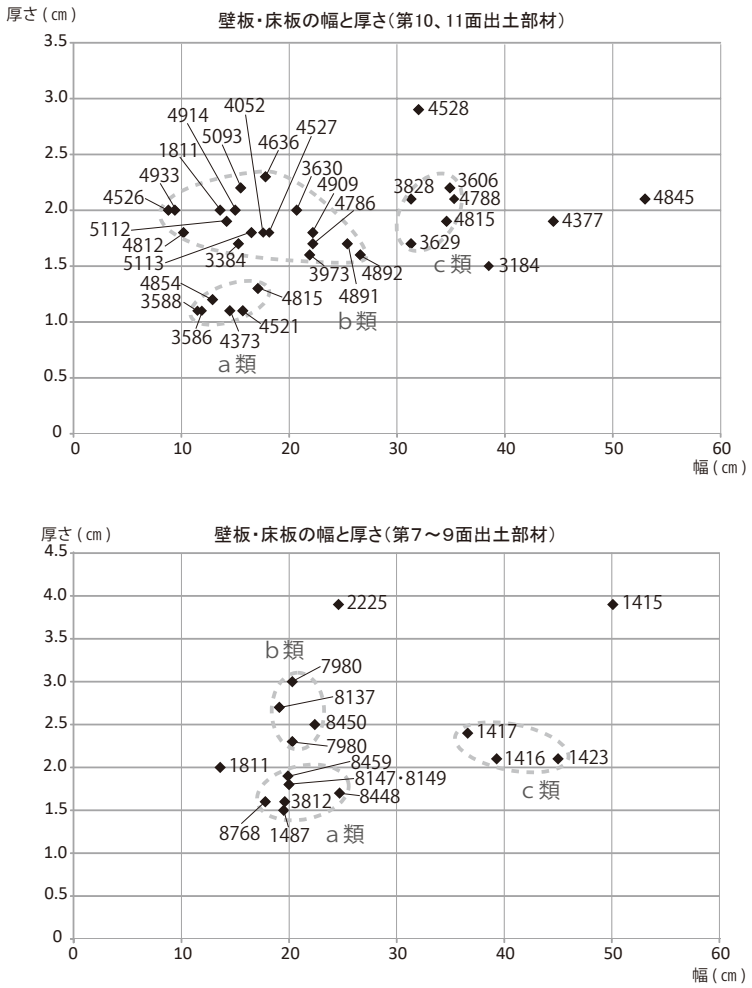
根太　溝（２S-833）の護岸杭に転用された9435、及び谷（２S-840）出土の2687で、いずれも端部付近に大引材と組み合わせたとみられる欠込がある。欠込幅は2.4ｃｍ（9435）、3.3ｃｍ（2687）程度である。断面形は山形（9435）と長方形（2687）がある。

壁板、床板　谷（２S-840）及び流路（２S-1079）に投棄された部材が主である。幅と厚さが分かる33点を分析すると、概ね下記に分類される。

ａ類：幅12～17ｃｍ程度、厚さ1.0～1.3ｃｍのもの。妻壁板を含む。

ｂ類：幅９～27ｃｍ程度、厚さ1.6～2.3ｃｍのもの。全体の半数を占める。

ｃ類：幅31～35ｃｍ程度、厚さ1.7～2.2ｃｍのもの。



第Ⅶ－４－４図　壁板・床板とみられる部材の幅と厚さ

ｄ類：ａ～ｃ類に含まれない厚い板や幅38ｃｍ以上の大型品。

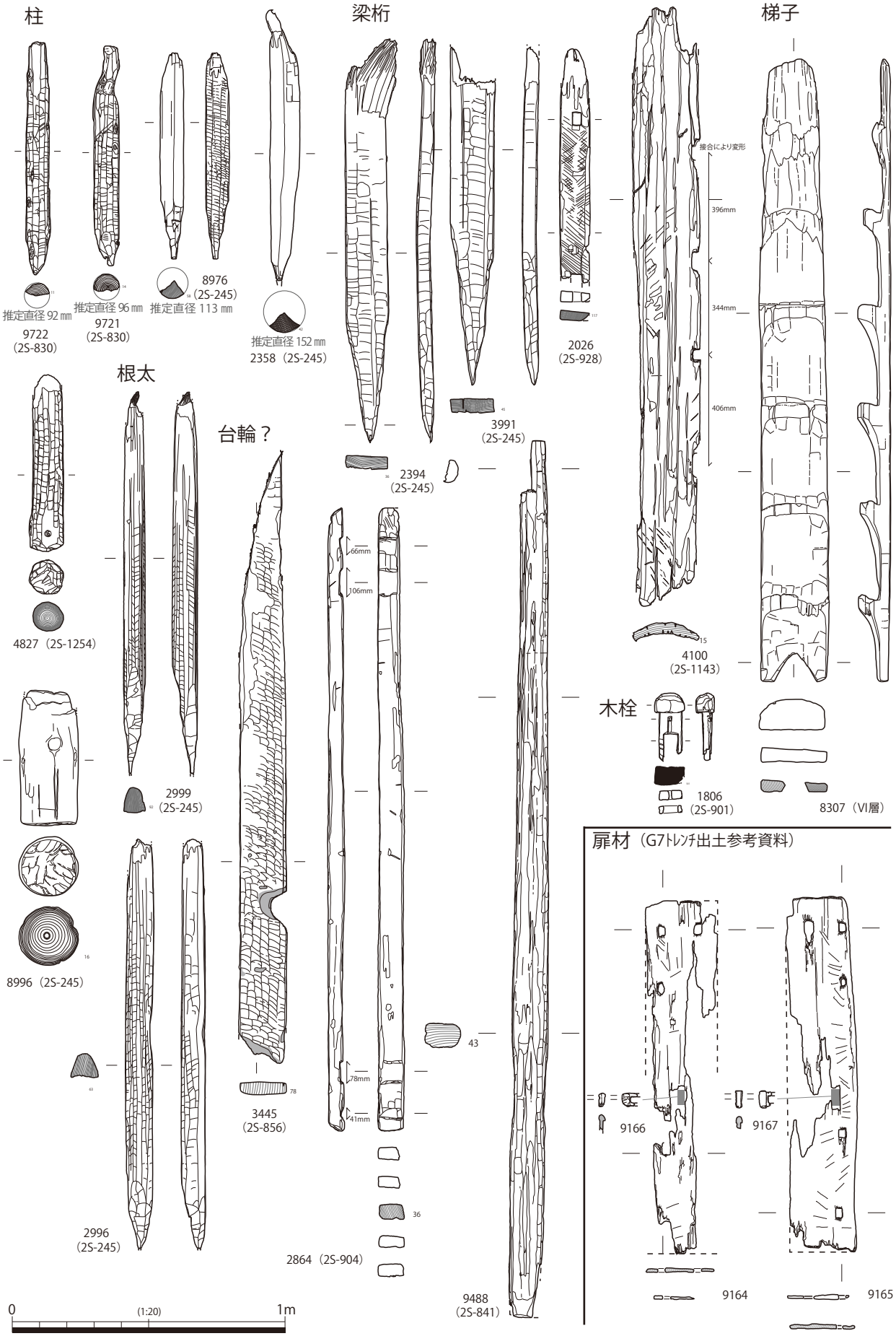
このうち、用途をほぼ特定できる板は、ａ類の妻壁板3588、3586と、ｄ類の床板4528である。ａ類は薄さからみても壁板、4528は３ｃｍ近い厚みからみて床板とみられる。ｂ、ｃ類は壁板、床板の特定は難しく、両方に使用された材とも言える。妻壁板の両端部は屋根勾配に合わせて加工したとみられ、3588は49度と58度、3586は48度と49度であり、50度程度の屋根角度が推定される。注目すべきは、ａ類～ｄ類のすべてにおいて、建物に装着するためのえつり孔や木栓孔などが少ないことである。後述する第７面～９面出土の部材ではえつり孔が多数みられる部材が一定量存在するが、第10、11面の部材では稀である。妻壁板しか使用しない屋根倉タイプの建物も考え得るが、妻壁板や壁板の可能性が高い厚さ1.5ｃｍ程度の薄い板でもみられないものが多いため、壁板の装着方法として、えつり孔と同時に板の短軸方向に紐や縄で緊縛する方法が推定される。4909や5093などにみられる縄紐状の圧痕（または擦痕）はこうした壁板装着方法の証左か。一方、床板とみられる4528（ｄ類）の裏面には、概ね48～51ｃｍの間隔で板の長軸に直交する方向で細い線状痕のまとまり６か所がみられる。部材同士が擦れたか圧着した際の痕跡とみられる。幅は、2.5ｃｍから13.6ｃｍだが、幅10ｃｍ程度のものが多く、先述の根太（9435、2687）の幅とも整合することから、根太と床板が接触した痕跡と理解した。

垂木、木舞　谷２S-840からは、垂木と木舞とみられる部材がほぼ組まれた状況で出土した。垂木は直径４ｃｍ前後の芯持丸太、または幅３～４ｃｍ、厚さ２ｃｍ程度の断面方形の部材とみられ、概ね40ｃｍ程度の間隔で平行し、これらに直交して、幅２ｃｍ程度、厚さ１ｃｍ程度の細いへぎ板状の部材が多数置かれており木舞とみられる。紐縄などの緊縛材は出土していない。

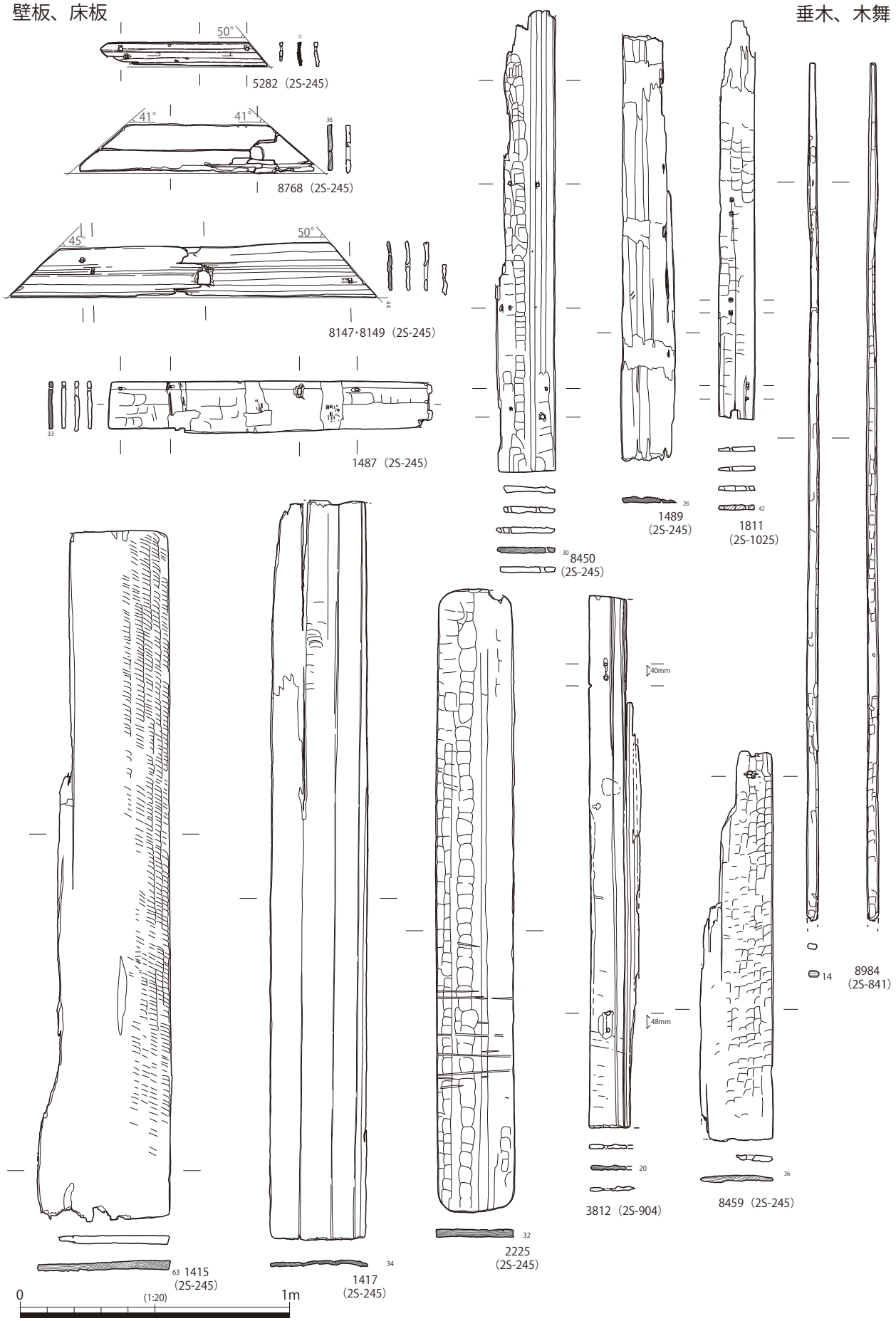
扉材、木栓　扉関連の確実な部材はない。4850（板目板）の端部の僅かな突起が軸となるかもしれない。木栓は、軸部の断面が円形のタイプと方形のタイプがある。

（２）第７～９面出土の建築部材

主に溝（２S-245、830、841ほか）の護岸施設の杭と横板、及び溝埋土中から出土した。記載した部材の樹種は、２S-840出土の垂木など一部の部材は不明だが、ほとんどがスギとみられる。概ね乙亥



第Ⅶ－４－５図　第７～９面出土の建築部材１



第Ⅶ－４－６図　第７～９面出土の建築部材２

正Ⅶ期頃の部材とみられる。

柱　芯持ちの丸太材と芯去の分割材がある。第10～11面出土部材と同様に、本来円柱状の柱を２～４分割したとみられ、推定復元直径は概ね９～11ｃｍ程度のもの(9722、9721、8976ほか)と、直径15ｃｍ程度のもの(2358ほか)、直径20ｃｍ程度のもの(8996)がある。根太とした2999、2996は、第10、11面の9440と同類とみれば束柱の可能性もある。

梁、桁、大引　杭に転用された2394、3991は、幅15～16ｃｍ、厚さ4.5～4.7ｃｍで梁桁か大引などの水平構造材とみられる。2026は幅11.3ｃｍ、厚さ3.7ｃｍとやや小ぶりであるが、枘穴を有し、水平構造材か。4100は、第10～11面出土の4401、4405と類似し、片側に34～41ｃｍ程度の間隔で欠込がある。欠込は垂木をはめ込むのための仕口であろう。部材断面が円弧状をなす点が異なるが桁とみられる。9488は、幅14.5ｃｍ、厚さ8.9ｃｍの断面隅丸方形をなし、端部に片欠の継手または仕口をもつ。水平構造材とすれば、端部を桁に乗せる梁か。2864は、両端部に２箇所ずつの欠込があり、欠込の対面側の両端部は概ね58度の角度でカットされている。青谷上寺地遺跡の建築部材の検討では、端部をカットした根太状の部材は屋根倉式建物の梁と考えられている。一方、両端部の欠込は、外側が断面台形、内側は断面三角形を呈しており、外側同士(約208ｃｍ)、内側同士(約180ｃｍ)がセットと推定される。

根太　2996、2999は、第10、11面の9435と同様に断面山形の根太とみられる。

台輪　3445は幅17.8ｃｍ、厚さ4.7ｃｍで、側面に直径12ｃｍ程度の半円形の欠込があり、一部炭化するが柱をはめ込むものと推定される。根太上に柱の外側からはめ込み躯体を固める台輪のような部材の可能性がある。

壁板・床板　第７～９面出土部材と同様に、壁板、床板とみられる部材の幅と厚さを検討した。

ａ類：幅18～25ｃｍ程度、厚さ1.5～2.0ｃｍのもの。(妻壁板8768、8147、8149を含む)

ｂ類：幅はａ類と同様であるが、厚さ2.3～3.0ｃｍとやや厚いもの。

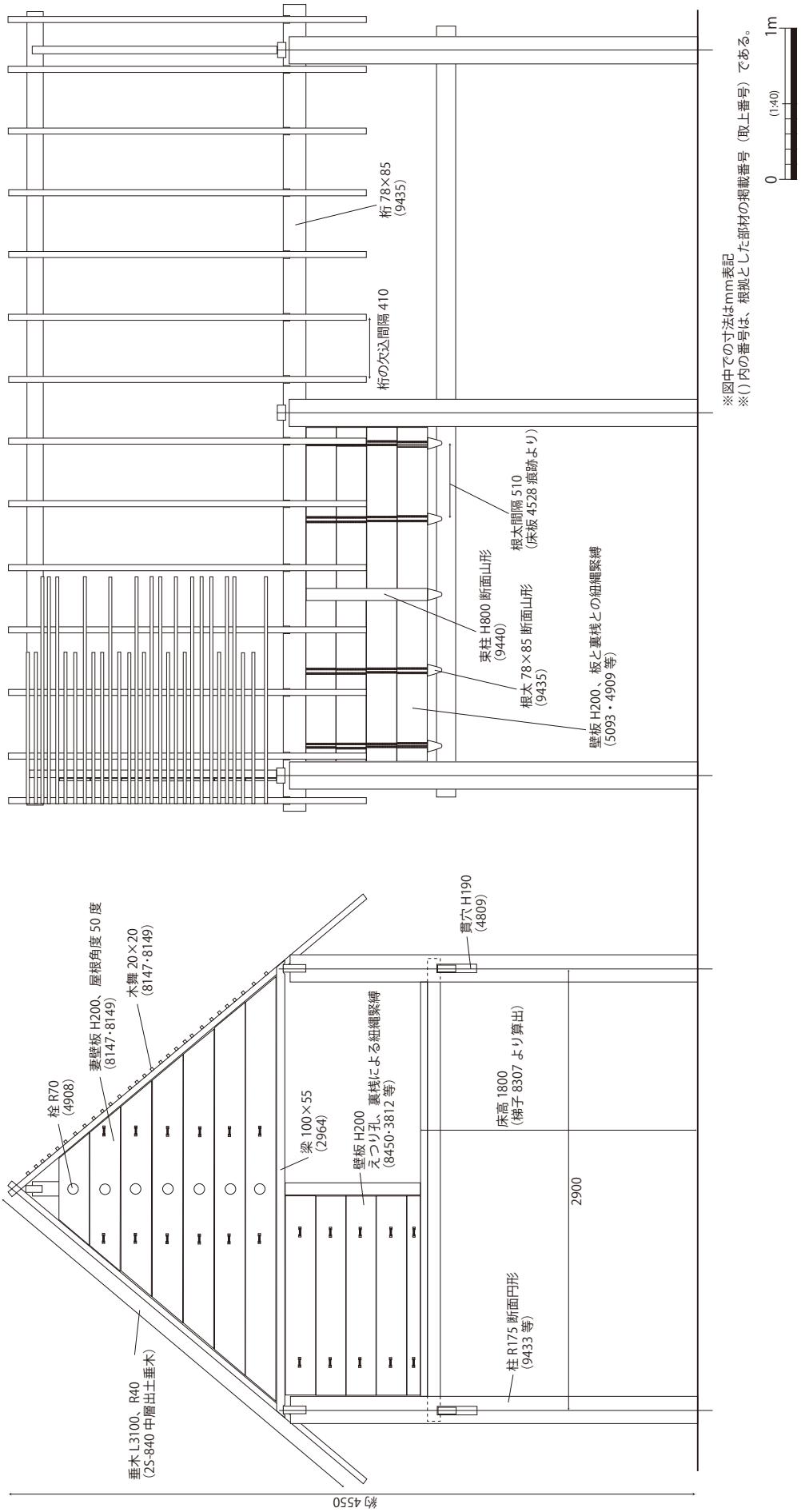
ｃ類：幅37～45ｃｍ程度、厚さ2.1～2.4ｃｍのもの。

ｄ類：その他ａ～ｃ類に含まれない大型品等

ａ類には妻壁板２点を含むことやえつり孔を多数もつ部材があり、壁板でよいとみられる。屋根角度であろう妻壁板両端部の加工角度は、5282が50度、8768が41度、8147、8149は45度(左)、50度(右)である。第10～11面出土妻壁板も50度程度のものがあり、合わせて40度程度の建物の存在も推定される。

ａ類より厚めのｂ類には多数のえつり孔をもつ部材があることから、壁板も含まれるとみられ、幅広かつ厚めのｃ類を含めて、明確に壁板、床板を区分できない。ｂ類、ｃ類の違いは使用された建物の仕様の違いか。第10、11面出土部材と比較すると、幅、厚みの点ではａ～ｄ類ともに平均的にやや幅広、肉厚で、造作の点ではａ、ｂ類にえつり孔(または木栓孔)をもつ部材が多い点が特徴的である。第10、11面ではえつり孔が少ないことから壁板の全体を裏桟と紐縄で緊縛する接合方法を推定したが、第７～９面ではえつり孔、裏桟を介した紐縄による接合や木栓による接合が推定できる。ｄ類のうち、1415のような幅広肉厚の部材は床板とみられるが、2225は端部が丸く整形されており、屋内の棚板のような部材か。

垂木、木舞　特定できる部材はないが、幅１～２ｃｍ、厚さ１ｃｍ程度の棒状材は各所で出土してい



第Ⅶ－４－７図　出土建築部材から推定される建物構造

る。垂木の可能性があるのは、8984（２S-841）で、幅4.8ｃｍ、厚さ2.3ｃｍ、長さ318ｃｍの部材である。

扉材　可能性のある部材として、検出面を特定できないが、Ｇ７トレンチ出土の板材9164、9165がある。9164が129.4×26.0ｃｍ、9165が134.0×23.6ｃｍの柾目板で、いずれも片側に４ヶ所に方孔があり、中央よりやや下方に木栓状の部材9166、9167がはまった状態で出土した。２枚の板が並んで出土し、木栓状部材の位置も同じであることから２枚セットで使用されたとみられる。島根県出雲市三田谷Ⅰ遺跡では、類似した部材が出土しており、板材を窓枠材（縦枠）、組み合わさる木栓状の部材を片扉の軸受と理解している。ただ、9164、9165は、木栓状の部材が板の中央に寄っておりこの位置を軸受とすると、軸受上方の空間に疑問がでる。軸孔も三田谷Ⅰ遺跡例が楕円形なのに対し、9166、9167が隅丸方形を呈するのも異なる点である。拙速な判断はできないが、入口や窓などに使用された可能性を指摘しておく。

破風板　可能性がある大型の板材（1667、8451、Ⅳ－８－90・91図参照）が出土している。ほぼ完存する1667は、長さ300.7ｃｍ、幅43.1ｃｍ、厚さ1.7ｃｍの部材で、実測図上の両側面が緩やかにカーブし、上下端部は丸く加工、下方には木栓孔がある。破風板として２枚セットで屋根の妻面に装着し合掌部を木栓で留め、接合部を飾板で隠したのかもしれないが、不明な点が多い。

３　部材から考えうる建物構造

上記の検討結果をもとに、建物構造を検討する。出土した部材には、本遺跡で検出された掘立柱建物、竪穴住居、段状遺構の一部に使用された部材を含むとみられ、建物の規模、大きさ、用途などを考慮すると、掘立柱建物でも複数の種類が存在したことが想定される。ただ、壁板、床板のほか貫通の仕口、根太などがみられることから、板倉状の高床建物が存在したことが推定される。屋根倉状の高床建物や段状遺構など異なる建物も考えうるが、ここではより多種類の部材を必要とする板倉建物を検討することで、本遺跡の建築部材の代表としたい。

部材の組み上げにあたっては、柱、梁、桁などの主要部材が比較的多くみられる第10～11面出土の部材を主に使用し、必要に応じて第７～９面出土部材を使用する。なお、本来別々の建物に使用されたであろう部材を寄せ集めたことから、組み上げた結果となる第Ⅶ－４－７図は、復元図というより使用部位や形状を説明、理解するための解説図として理解いただきたい。

構造検討にあたり、まず参考としたのは、谷２S-840中層から出土した垂木、木舞とみられるセットである。垂木は、径４ｃｍ程度、長さは一部途切れている部分があるものの概ね3.1m程度はあると考えられる丸太材（一部角材の可能性あり）で、概ね40ｃｍ前後で配されている。途切れている部分の解釈や２S-841出土の8984（長さ318ｃｍ）を垂木とするともう少し長くなるかもしれない。木舞はこれら垂木と直交し、幅２ｃｍ前後、長さ１～1.5m程度の木舞材が数ｃｍ間隔で置かれたもので、これら垂木、木舞は組まれた状態で谷へ投棄されていた。解説図では、垂木、木舞をほぼこの状態で表現した。

屋根勾配は、妻壁両端部の加工角度が表すものと理解した。40度程度のものと50度程度のものがあり、50度程度のものが多いことから、図では50度とした。仮に、垂木長を310ｃｍ、屋根勾配を50度とし、柱芯からの軒の出を45ｃｍ程度とすれば、梁間は概ね2.9mとなる。桁行長は資料がないが、S-648掘立柱建物の梁桁比率を参考にすると、桁行は4.8m程度となる。梁間がやや長くなるが、梁

間１間、桁行２間の建物として表現した。

桁は、約41ｃｍ間隔で欠込仕口がある4401、4405を使用した。これは、２S-840中層出土の垂木ピッチとほぼ一致する。柱と桁の接続方法に根拠はないが、梁として両端部に欠込を有する2864を採用したことから、桁はこの欠込幅に見合う縦使いとし、結果的に柱上端は輪薙込による接続となった。垂木長と屋根角度を建物規模の基礎としたことで、やや大型の建物となることから、柱は9433を参考にやや太めの17.5ｃｍとしている。柱には、4809を根拠に貫通孔（上下幅19ｃｍ）を造作し、根太の欠込幅より若干厚いが9443と同規模の大引を通している。貫通孔の高さを決定する床面高は、Ⅵ層出土の梯子8307（長さ228ｃｍ）を約70度の角度に立てかけ、上下の余長を考慮し、180ｃｍ程度に設定した。壁面の高さは、束柱9440を根拠に高さ80ｃｍとした。なお、この束柱は上端を輪薙込、下端を枘とする垂直方向の構造材で、根太同様に断面山形を呈する。輪薙込は山形三角形の底辺と平行することから、桁を輪薙込で受け根太に枘で接続する束柱とした。山形なのは装飾的効果を狙ったか根太の転用であろうか。大引上に横架する根太は、山形断面をもつ9435を使用した。設置ピッチは、床板4528に残る約51ｃｍ間隔の痕跡を根拠とした。桁上に立ち上げ棟木を受ける束柱は適切な部材が見当たらず2789くらいか。

壁板は、妻側と平側で異なる装着方法を表現した。妻側の壁板は8450、3812を参考にえつり孔と裏側に通した縦桟と緊縛するもので、妻壁板には8147、8149（木栓は4908）を根拠に木栓留めを併用している。ちなみに破風板の可能性のある板が２S-245から出土しており（1667・8451）、妻壁板前面の垂木付近に装着されるのかもしれない。平側の壁板は第10～11面にえつり孔を有する壁板が少ないことや板に残る紐縄の痕跡を根拠に板の短軸方向全体と裏側に通した縦桟とを緊縛する方法とした。壁板の幅は、第10、11面の平均的な数値として20ｃｍとした。扉口は、構造を含めて不明な点が多いため、表現していない。

こうして図化した板倉タイプの掘立柱建物は、複数の時期や規模の異なる建物材の寄せ集めでありこの建物がそのまま存在したわけではないが、技術的な側面からみると、部材ごとの形状や接続方法など、本遺跡の西側に位置する青谷上寺地遺跡との共通性は高く、部材の解釈も多くをその研究成果を参考としている。ただ、断面山形の根太など、青谷上寺地遺跡ではみられない形状の部材も散見され、今後の比較研究を行う必要がある。（岡野）

参考文献

鳥取県埋蔵文化財センター2008『青谷上寺地遺跡出土品調査研究報告３　建築部材（資料編）』
鳥取県埋蔵文化財センター2009『青谷上寺地遺跡出土品調査研究報告４　建築部材（考察編）』
鳥取県教育委員会2012『国史跡妻木晩田遺跡整備事業報告書2005-2012』
島根県教育委員会2000『三田谷Ⅰ遺跡　Vol３』

第５節　まとめ

乙亥正屋敷廻遺跡の発掘調査は、調査最終年度の平成28年度に２区の調査期間が限られたことから、調査範囲を限定して面的な掘り下げを進める形を取ったため、集落様相を含めた遺跡の全容を明らかにすることはできなかった。しかしながら、主に弥生時代後期から古墳時代前期にかけて、１区では丘陵斜面に平坦面を作出して住居、段状遺構を設け居住地としている様子が窺え、２区においても多量の土器、木器の出土を見るとともに、周堤溝を伴う住居や護岸施設を伴う溝が確認されるなど、当該期の集落の一端を知ることができたものと考えられる。この限られた調査成果と、自然科学分析（第Ⅴ章参照）により明らかとなった植生環境を基に、以下にスギ、マツに着目した観点から遺跡の変遷について述べることとする。

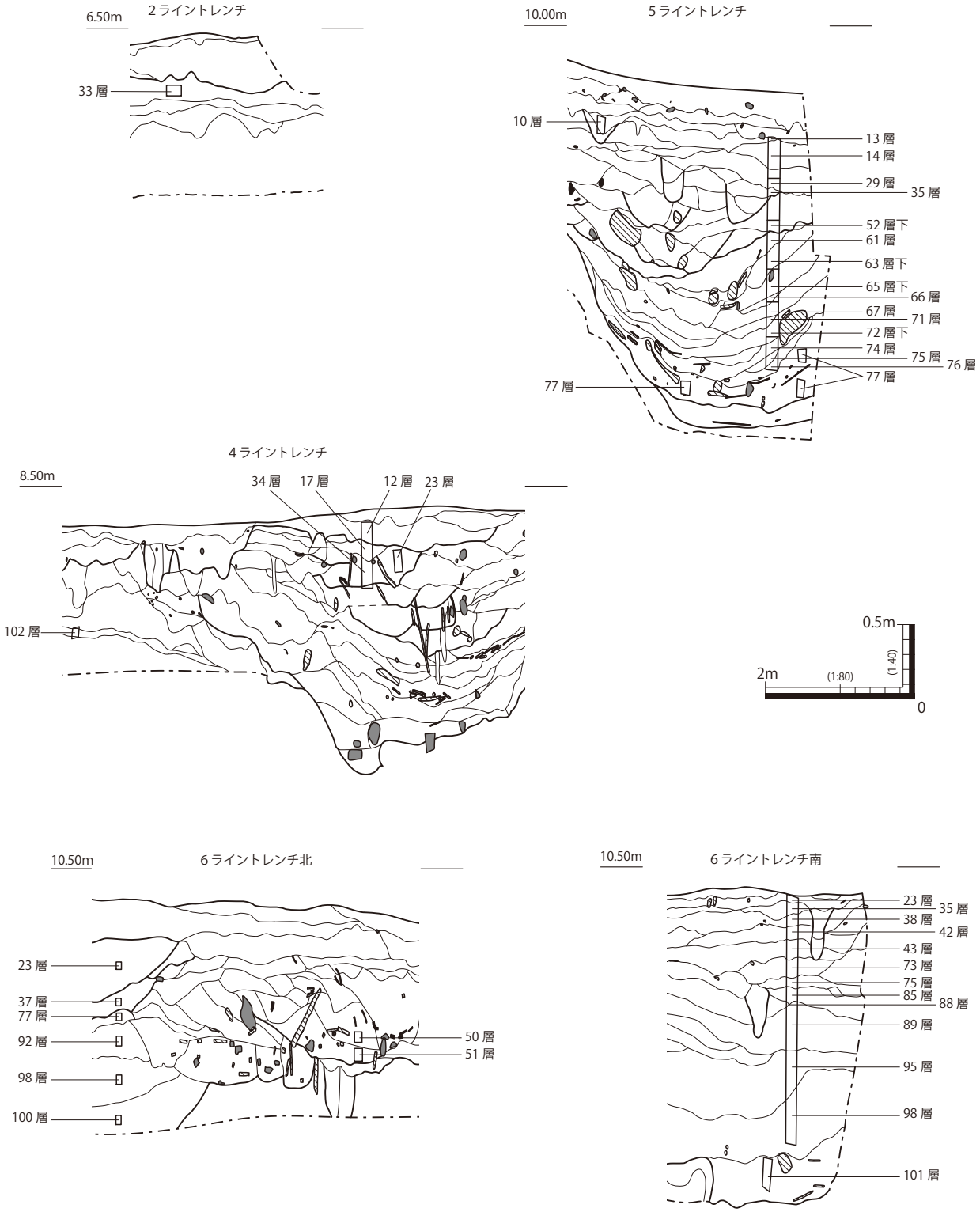
乙亥正屋敷廻遺跡地内で集落の形成が始まるのは、先に述べたように、遺跡の全容を明らかにできていないので、更に熟考する余地は残されているが、調査地南側丘陵で調査が行われた重山１号墓の時期が弥生時代後期中葉に比定され、その時期の土器も含め、弥生時代中期後葉に遡る土器の出土も見られることから、この頃に集落形成が始まったと考えることができる。しかし、出土量の比率は極めて少なく、弥生時代後期後葉に至ってからの土器の出現率が極めて高くなるため、本格的な集落形成は弥生時代後期後葉に至ってからであると考える。

集落形成が始まった頃の当該地は、周囲を丘陵で囲まれ、南北両側を谷で挟まれた微高地と、それに続く低地が広がっていたと想定される。当時の植生等から周辺環境を考察するために行った花粉分析で、集落形成以前の堆積層として捉えサンプリングを行った４ライントレンチ102層（第Ⅶ－５－１図）の年代が集落形成期前後とかけ離れた数値を示したことに加え、花粉化石の保存状態が悪かったことから、検出された花粉化石はシダ類の胞子以外ほとんどなく参考にすることができなかった。しかし、Ｘ層下面で検出した２S-840で大量に出土した建築部材の多くがスギ材を用いており、スギが好む低地の存在も考えられることから、集落形成期の当該地周辺には建築部材として適しているスギ林をはじめ豊富な森林資源が広がっていたと想定される。

本格的な集落形成が始まったと想定される弥生時代後期後葉の当該地は、建築部材等に利用するため、周辺のスギを含めた森林を伐開し、それに伴い丘陵斜面地も開墾することで居住域を広げていったものと考えられる。自然科学分析における考察でも「遺跡周辺はイネ科を主体とした草本植生が中心の開けた環境であったことが窺える」とされており、居住域と生産域が近接する当時の中心的な集落として、古墳時代前期に至るまでこの地を生活拠点としていたものと想定される。この間及びその後の遺跡周辺の状況について、花粉分析の結果から以下の点が類推できる（第Ⅶ－５－１図・第Ⅶ－５－１表）。

○第11面の状況

Ｘ層下面２S-840では、イネ属の花粉が確認されることから、この時点で既に周辺で稲作が行われていたことは明らかである。また、マツ属の花粉も多数確認されていることに加え、イネ属以外の草本花粉も確認されることから、遺跡周辺は伐開・開墾が進み、マツ属が二次林として形成されつつあるとともに、耕地化も進んでいたものと考えられる。スギ属については、一部で数値が逆転しているものの、スギ属の花粉がマツ属に比べて優勢であり、他の木本花粉も圧倒していることから、遺跡周辺にスギ林が残されていたものと考える。なお、６ライントレンチ北77層・92層・98層・100層につ



第Ⅶ－５－１図　各トレンチ花粉分析サンプリング位置図

遺構面	層序	サンプル採取位置	層位	遺構	スギ属	マツ属	イネ属
第３面	Ⅳ層下面	６ライントレンチ北	２３層	２Ｓ－０６６	13	11	3
第４面	Ⅴ層下面	６ライントレンチ北	３７層	２Ｓ－１８０	－	29	3
第５面	Ⅴ－２層	６ライントレンチ南	２３層	－	18	12	－
第５面	Ⅴ－２層下面	４ライントレンチ	１２層	２Ｓ－７０３	230	333	43
第６面	Ⅴ－３層	５ライントレンチ	１０層	－	204	57	271
第６面	Ⅴ－３層	６ライントレンチ南	３５層	－	5	10	12
第７面	Ⅴ－４層	４ライントレンチ	１７層	－	18	35	－
第７面	Ⅴ－４層	５ライントレンチ	１３層	－	－	10	－
第７面	Ⅴ－４層	５ライントレンチ	１４層	－	1	1	－
第７面	Ⅴ－４層	６ライントレンチ南	３８層	－	12	16	－
第７面	Ⅴ－４層	６ライントレンチ南	４２層	－	－	－	－
第７面	Ⅴ－４層下面	６ライントレンチ北	５０層	２Ｓ－２４５	71	27	60
第７面	Ⅴ－４層下面	６ライントレンチ北	５１層	２Ｓ－２４５	6	11	17
第７面	Ⅴ－４層下面	２Ｓ－７６３	1929	２Ｓ－７６３	36	64	50
第７面	Ⅴ－４層下面	２Ｓ－７６３	2118	２Ｓ－７６３	294	302	319
第７面	Ⅴ－４層下面	４ライントレンチ	２３層	２Ｓ－７６３	316	155	179
第８面	Ⅵ層	２ライントレンチ	３３層	－	423	93	226
第８面	Ⅵ層	４ライントレンチ	３４層	－	183	150	44
第８面	Ⅵ層	５ライントレンチ	２９層	－	4	8	－
第８面	Ⅵ層	６ライントレンチ南	４３層	－	4	4	－
第８面	Ⅵ層下面	２Ｓ－１１４１	１１層	２Ｓ－１１４１	－	2	2
第８面	Ⅵ層下面	２Ｓ－１１４１	１２層	２Ｓ－１１４１	13	3	15
第11面	Ⅹ層	６ライントレンチ南	７３層	－	7	14	－
第11面	Ⅹ層	６ライントレンチ南	７５層	－	－	4	－
第11面	Ⅹ層下面	５ライントレンチ	５２層下	２Ｓ－８４０	68	30	8
第11面	Ⅹ層下面	５ライントレンチ	６１層	２Ｓ－８４０	29	14	5
第11面	Ⅹ層下面	５ライントレンチ	６３層下	２Ｓ－８４０	38	17	－
第11面	Ⅹ層下面	５ライントレンチ	６５層下	２Ｓ－８４０	153	68	34
第11面	Ⅹ層下面	５ライントレンチ	６６層	２Ｓ－８４０	97	43	109
第11面	Ⅹ層下面	５ライントレンチ	６７層	２Ｓ－８４０	215	63	342
第11面	Ⅹ層下面	５ライントレンチ	７１層	２Ｓ－８４０	112	27	95
第11面	Ⅹ層下面	５ライントレンチ	７２層下	２Ｓ－８４０	2	－	6
第11面	Ⅹ層下面	５ライントレンチ	７４層	２Ｓ－８４０	174	73	139
第11面	Ⅹ層下面	５ライントレンチ	７５層	２Ｓ－８４０	59	15	39
第11面	Ⅹ層下面	５ライントレンチ	７６層	２Ｓ－８４０	31	5	15
第11面	Ⅹ層下面	５ライントレンチ	７７層	２Ｓ－８４０	107	24	165
第11面	Ⅹ層下面	５ライントレンチ	７７層	２Ｓ－８４０	16	12	155
第11面	Ⅹ層下面	５ライントレンチ	７７層	２Ｓ－８４０	132	47	－
第11面	Ⅹ層下面	６ライントレンチ南	１０１層	２Ｓ－８４０	96	80	64
第11面	Ⅹ層下面	６ライントレンチ南	８５層	２Ｓ－８４０	4	4	－
第11面	Ⅹ層下面	６ライントレンチ南	８８層	２Ｓ－８４０	9	26	－
第11面	Ⅹ層下面	６ライントレンチ南	８９層	２Ｓ－８４０	1	3	－
第11面	Ⅹ層下面	６ライントレンチ南	９５層	２Ｓ－８４０	55	30	261
第11面	Ⅹ層下面	６ライントレンチ南	９８層	２Ｓ－８４０	60	15	1135
－	－	６ライントレンチ北	７７層	－	10	3	3
－	－	６ライントレンチ北	９２層	－	345	105	61
－	－	６ライントレンチ北	９８層	－	26	2	－
－	－	６ライントレンチ北	１００層	－	171	83	－

第Ⅶ－５－１表　各トレンチ検出花粉数（定量）

いては、層序対比ができていないものの、第９面より下層にあると位置付けられ、そこで確認された花粉の状況は２S-840の状況に近いことから、第11面と同じような状況が続いていたものと考えられる。

○第８面の状況

ここでも第11面の状況と同じく、スギ属の花粉がマツ属や他の木本花粉よりも優勢であり、スギ林は残されていたと考えるが、マツ属と数値が逆転している状況に加え、２ライントレンチ33層のように、スギ属がマツ属を圧倒する箇所がある一方で、４ライントレンチ34層では、スギ属とマツ属の差が縮まっており、マツ属の二次林が広がっていたことが想定される。

○第７面の状況

第７面ではＶ－４層下面の時点でマツ属が優勢になってきている状況が窺える。４ライントレンチ23層（２S-763）のようにスギ属がマツ属の倍以上の数値を示す箇所もあるが、同じ２S-763で採取した他の２箇所ではマツ属がスギ属の数値を上回っており、全体的にスギ林の減少を示しているものと考える。なお、Ｖ－４層では全体的に花粉化石の保存状態が悪いこともあり、拙速な判断となりかねないが、６ライントレンチ42層では、スギ属、マツ属の花粉は確認されていないものの、コナラ属、カラスザンショウ属の花粉が確認され、５ライントレンチ14層では、スギ属、マツ属に加えてコナラ属、カラスザンショウ属の花粉が確認されるとともに、他のイネ科、カヤツリグサ科、アブラナ科の花粉が確認されるなど、遺跡周辺はスギ、マツに限らず森林の伐開が進む一方、耕地化は拡大していった可能性が考えらえる。これは、Ｖ－４層下面で確認された２S-245の護岸に用いられている横板に、スギを用いた建築部材を転用しているものが認められる点からも、スギを含めた良質な木材を近隣から入手することが困難であったことを裏付けるものかも知れない。また、このＶ－４層で他のイネ科の花粉は確認されているものの、イネ属の花粉が確認されていない点は、森林資源の減少と共に集落が衰退していく一因となり、この時期が集落経営の一つの画期として位置付けられる可能性がある。

○第５・６面の状況

スギ属とマツ属の状況は、イネ属を含めて第７面Ｖ－４層の状況と異なり、Ｖ－４層下面及び第８面に近い様相を呈している。これが花粉化石の保存状態の差に起因するのか、時間的な差に起因するのか分からないが、前段階において集落経営の画期があったと仮定し、集落規模が大きく縮小されたとすれば、伐開によりかなり開けていた遺跡周辺の状況に変化が生じ、スギ林やマツ林の成長が促されたと捉えることが出来るかも知れない。実際に２区Ｖ－３層下面で確認できた遺構数が、Ｖ－４層下面で確認できた遺構数より減ってきていることも傍証になり得る。しかし、第５面Ｖ－２層の状況は、再度Ｖ―４層の状況に近くなっている。これは、２区Ｖ－２層下面で確認された遺構数が増加していることから、森林資源が復活したことに伴い、この地での活動が活発となり、遺跡周辺の伐開も再度行われていたためと考えられる。

○第４面の状況

採取箇所が第４面Ｖ層下面の遺構埋土（２S-180）１箇所であるため、その埋没時期と花粉の飛散時期との関係から判断することは難しいが、スギ属の花粉が確認されておらず、マツ属の花粉は確認されているものの、それ以外の木本花粉が優勢となっている状況が窺えることから、仮にスギ属の花粉が確認されたとしても、マツ属も含めその花粉の大半は他所から飛散してきたものであり、遺跡周辺

には少なかったことが想定される。仮にそうであるならば、Ⅴ層下面の時点で遺跡周辺は再度開けた場所になっており、今までに繰り返されてきた森林資源の伐開が、第５面Ⅴ－２層下面の時点で再開されたことにより、有効な森林資源がこの時点で枯渇に近い状況になったものと考えられる。この地を生活の拠点として以来、建築部材をはじめとして、ここでの暮らしを支えてきた森林資源の枯渇が、弥生時代後期後葉から続く生活拠点の場を他所へと移動せざるを得ない一因となった可能性があり、確認されたイネ属の数量も減っていることから、生産域の場にも変化があった可能性がある。

○第３面の状況

第３面はⅣ層下面で確認された遺構で須恵器が出土することから、古墳時代後期の時期にまで下る時間幅を持っている。この面においても第４面同様に、採取箇所が第３面Ⅳ層下面の遺構埋土（２S-060）１箇所であるため拙速な判断はできないが、スギ属、マツ属とも花粉が確認されているものの、やはりそれ以外の木本花粉が優勢となっており、スギ属、マツ属の花粉の大半は他所から飛散してきたもので、遺跡周辺には少ない状況に変化はなかったことが想定される。これは、前段階において弥生時代後期後葉から続く一連の集落が終わりを迎えた後も、２区では北西部を中心に遺構が集中していることから、この地で生活するとともに、何らかの活動は継続して行われていたためであろう。なお、イネ属の数量は第４面と同様の状況を呈しており、生産域に大きな変化はなかったものと考える。

花粉分析に資した試料を基にした推論は第３面までとなるが、第３面での状況は以後も続くことになったものと思われる。第４面から第３面に至るまで、またその後であっても、何らかの活動が継続している限り、第５・６面で想定したような一時的な森林資源の復活はあるにせよ、一度枯渇したものが当初の姿にまで復元されるとは考えづらく、「遺跡周辺はイネ科を主体とした草本植生が中心の開けた環境であったことが窺える」とされた遺跡景観に変化はなかったと想定される。

以上、花粉分析結果で得られた内容を基に、スギ属、マツ属を軸とした推論を試みた。全体に花粉化石の保存状態が悪かったことに加え、スギ、マツ共に風媒花であること、堆積環境、試料採取箇所など条件が一定ではないが、調査で確認された遺構の粗密との間に何らかの相関関係があることは想定される。特に第７面での状況は、集落の在り方を考える上で重要なポイントなり得るものであったと考える。集落の盛衰が森林資源をはじめとした周辺環境だけに左右されるものではないが、一つの要因としてあったことに変わりはなかろう。

報告書抄録

ふ り が な	おつがせやしきまわりいせき
書　　名	乙亥正屋敷廻遺跡
副　書　名	一般国道９号（鳥取西道路）の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻　　次	ＸＸＸⅧ
シリーズ名	鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書
シリーズ番号	68
編著者名	岡野雅則、原田雅弘、馬路晃祥
編集機関	鳥取県埋蔵文化財センター
所　在　地	〒680-0151　鳥取県鳥取市国府町宮下 1260 番地　TEL(0857)27-6711
発行年月日	2019（平成 31）年３月 18 日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
おつがせやしきまわり 乙亥正屋敷廻遺跡（いせき）	とっとりけんとっとりし 鳥取県鳥取市 しかのちょうおつがせ 鹿野町乙亥正	31201	16-244	35°29'54"	134°02'58"	20140417 ～ 20160927	6,080 ㎡	一般国道９号（鳥取西道路）の改築

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
乙亥正屋敷廻遺跡	集落	弥生時代	竪穴住居 段状遺構 土坑 溝	弥生土器 木器 石器 八禽鏡（破鏡） 巴形銅器	・八禽鏡は近現代の流路中で出土。 ・巴形銅器は県内２例目の出土。
	集落	古墳時代	竪穴住居 段状遺構 土坑 溝	土師器 須恵器 木器 石器	

要　　約

乙亥正屋敷廻遺跡では、縄文時代から近世に至る遺物や遺構を確認した。

特に、弥生時代後期から古墳時代前期にかけては、東に開いた谷部とそれを囲む丘陵斜面上に集落を形成しており、多数の遺構とともに、多量の土器、木器などが良好な状態で出土している。谷部には豊富な湧水が見られ、検出された溝状遺構の中には、横板と杭を用いた護岸を施す物も見られる。丘陵斜面部では、急峻な斜面に平坦面を作出して住居、段状遺構を設けており、調査区外においても同様の地形が見られることから、丘陵斜面全体に居住域が広がっていたものと想定される。

出土遺物には、容器類、建築部材をはじめとした多種多様の木器が認められ、この場で加工・製作を行っていたと考えられるが、その際に用いたはずの鉄製工具の出土は見られない。

当遺跡は、豊富な水資源と周囲に広がる森林資源が集落基盤の背景にあったと類推され、出土遺物に八禽鏡、巴形銅器が見られることから、当時の中心的な集落の一つであったことが考えられる。

鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書 68
一般国道９号（鳥取西道路）の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ＸＸＸⅧ
鳥取県鳥取市鹿野町

乙亥正屋敷廻遺跡

第4分冊（自然科学分析、データ一覧、総括）

発　行　2019年3月18日
編　集　鳥取県埋蔵文化財センター
〒680－0151　鳥取市国府町宮下 1260 番地
電話（0857）27－6711
発行者　鳥取県埋蔵文化財センター
印　刷　株式会社鳥取平版社
〒680－0845　鳥取市富安１丁目 79 番地
電話（0857）24－7311